

# 同盟通信 海外電報

宋子文はモスクワ赤軍大學出身の蔣介石の息、經國を帯同してモスクワに使ひしてゐる、この使命をロイターの政治記者キムチは、劇的な反轉であると形容し、過去三週間來、滄延の關係が急激に悪化した一つの證據とみてゐる、しかして、宋子文がモスクワで受取る回答は、ソ聯は中國の內政に干渉しない原則の言明と、滄延關係の打開についてソ聯はグッド・オフィスを提供するに吝かでないといふ意思表示であらうと推定してゐる、キムチの論から推斷すれば、宋子文のモスクワ訪問は滄延關係をモスクワを通じて打開するにあるといふことになるが、果してそのみが彼の使命であるかどうか、ソ聯でフアシストの元兇の一人とレッテルを貼られてゐる宋子文が、わざわざ選ばれてモスクワに行くのは單に桑港でモロトフと交驩のゆかりに基くものであるかどうか、宋子文



がモスクワ行きの使命を托されたのは彼が重慶におけるアメリカの利益を代表するが故であるとの解釋はどうであらうか、彼はアメリカの意を體して、差迫つてゐる米軍の大

陸接岸作戰に關聯して、ソ聯の態度を打診せしめられたのだとの解釋はどうであらうか、米軍の上陸作戰の前提條件として滄延關係の調整が大切であることはキムチもまた認めてゐるが、問題は軍事的よりも寧ろ政治的である米軍の上陸作戰を口實にして、ソ聯の東亞政策を白状させるのがアメリカの、そしてまた、重慶のねらひであり、この觀點よりするとき宋子文の使命は積極的よりも寧ろ消極的なものである、モスクワでのモロトフ・宋會談で、新しい重慶モスクワ關係の出發點が畫されるなどは期待しない方がよい、宋のモスクワ行きはアメリカの、即ち重慶の、次の行動に對する豫備的布石の一つである、刻々明白化しつつある米ソの行動限界線の、東亞に關する部分のクラリフィケーションの一手段である

## 【目次】

亡命波政權の處理に困窮……………	一八七〇
ソ聯の對土攻勢に英苦悶……………	〃
佛の新提案携行……………	〃
シムラ會議抄らざ……………	一八七一
延期に反映する焦慮……………	〃
フィリッブス辭任……………	〃
プレジデント社身賣り……………	〃
米新年度豫算額……………	〃
【ソ 聯】	
ス議長を大元帥に任命……………	一八七二
ソ聯の西亞進出に英不安……………	〃
【歐洲戰後處理】	
バルカン・ブロック案……………	〃
ドイツ奴隸化計畫……………	一八七三
三頭會談で平和條約を準備……………	〃
獨工業力の八割は無痕……………	〃
ダルナン捕はる……………	〃
波、國境の安定に努む……………	一八七四
【印 度】	
ウエーヴェル説得に努力……………	〃
アンラ使節團印度へ……………	一八七五
【英 帝 國】	
英帝國の必然的崩壊を豫言……………	〃
カナダ損害十萬……………	〃
英に新型成層圏戰闘機……………	〃
新波統合政府を繞る諸問題……………	一八七六
【特 輯】	
グルー演説と米の世界觀……………	一八七七
【資 料】	
獨逸首腦の行方(上)……………	一八八三
占領地の文化工作……………	一八八四

### 亡命波政権の處理に困窮

(ストックホルム二十九日發) 新ポーランド國民統合政府は二十八日正式成立をみたが、ロンドンからのロイター電報によればヤルタ協定國即ち米英ソ三國が統合政府の構成について審議した後、正式に承認する手筈といはれ、承認にさきだちポーランド統合政府は無記名投票による自由選挙を實施する旨誓約することとなつてゐる、以上は單なる形式的手續に過ぎず、ロンドンのアルチシェフスキー政権に對する米英兩國政府の承認取消しはもはや時間の問題とみられてゐるが、ワルシャワ新政府の承認が済むまではアルチシェフスキー政権は將來の計畫を明かにしない意向といはれ、本據をエールの首都ダブリンに移すとの噂に對しては、同政権當局は正式に否定してゐる、またワルシャワの新政府を承認すれば英國が今日までロンドンの亡命政権に對して續けてきた財政的援助をどうするかといふ問題が當然起るが、英國外務省當局は二十九日「亡命ポーランド政府に對する財政援助を七月一日限りで打切る根據はない」と言明した、いづれにしても米英兩國が承認を取消した後でアルチシェフスキー政権をどうするかといふことが早くも頭痛の種となつてゐる模様で、新政府の成立によつてポーランド紛争が簡單に片付くとは考へられない

### ソ聯の對土攻勢に英苦悶

(ストックホルム二十九日發) ソヴェト政府がトルコとの新友好相互援助條約を新たに締結する前提條件としてダーダネルスの管理とカフカーズ國境の改訂を要求したとの噂は、ソ土兩國關係をポーランド紛争につぐ重大外交問題に押し上げるに至つた、ソ聯と共にトルコにおいて極めて大きな利害關係を有する英國政府はソ聯の外交攻勢に色を失つて對策苦慮中だが、桑港會議に代表として出席したトルコ外相ハツサン・サカは歸途ロンドンに立ち寄つてチャーチル、イーデンの兩者と會見して、ソ聯の要求を中心に英國の意向を打診する

豫定といはれるが、トルコとしてもダーダネルス海峡あつてのトルコだから、もしもソ聯の要求を容れるならば自國の地歩を全く失ふばかりでなく英國の庇護をも同時に失してソ聯の屬國と化さねばならぬため深刻に苦慮してゐると傳へられる英國外務省當局も二十九日トルコに對するソ聯の要求と新友好條約の締結はソ土兩國だけの問題だと前提しながら

もしもダーダネルス海峡がソ土兩國間に問題となるならば英國政府も無關心たり得ない、尤も海峡問題は來るべき三頭會談で検討される筈であり、ソ聯の意圖するところがもつとはつきりしなければ何も言へない

と非公式に見解を表明して、場合によつてはソ土交渉に干渉する決意を仄めかした

しかしながらソ聯に對するトルコの依存度は最近急激に大となつてをり、ロイター記者ジョン・キムチは二十九日次の通り報じてゐる

英國フェニックス石油運輸會社の回狀によればルーマニアはソ聯に對する賠償支拂として石油生産高の大部分を今後六年間ソ聯に引渡すこととなつたといはれるが、従來主としてルーマニアに石油の供給を仰いでゐたトルコは他に供給源を見出さねばならなくなり、結局ソ聯に石油を仰ぐためダーダネルス海峡に關するソ聯の要求を容れねばならなくなるのではないかと一般に觀測されてゐる

### 佛の新提案 携行

(リスボン二十九日發) ロイターベイルト電によればレヴァント、フランス全權代表部次席代表オストログは本國政府と打合せを遂げたのち、二十七日パリよりベイルトに歸任したが、シリア、レバノン係争解決のため新提案を携行したものと信ぜられる、他方レバノン外相アンリ・フロアオンは二十九日午後シリア外相ジャメル・マルダムとベイルト、ダマスカス間のシュタウラにおいて會見し、佛政府に送致すべき共同通牒内容につき最後の打合を遂げることとなつた

### シムラ會議抄らす

(リスボン二十九日發)ロイターシムラ電ニシムラ會議は二日間休會の後、二十九日午前十時續會したが、休會中の各派折衝は所期の成果を得ず、回教徒聯盟總裁ジンナー、國民會議派議長アヅアツドいづれも再度休會を主張、結局十五日間休會の後、七月十四日再開するに決定、その旨公表された、この間各派はそれぞれ運用委員會を召集して行政參議會への代表を選定する筈である

### 延期に反映する焦慮

(リスボン二十九日發)シムラ會議が十五日間の討議延期を決定したことは、會議が相當の難關に逢着したものととして英國各紙も漸く焦慮の色をみせてゐる、討議の中心は

(一)總督の行政參議會に移讓すべき権限の範圍  
(二)總督の拒否權留保問題

(三)行政參議會における各派の椅子割當

等であるが、英論調は會議の暗礁を専ら第三の問題、即ち各派の割込運動に歸してゐる、例へば「エコノミスト」誌は「印度各紙は英政府より委讓すべき権限問題よりか各派間の権限分擔問題に集中してをり、總督の拒否權留保に對する憂慮の如きは回教徒派及び印度教徒間の勢力均衡問題で漸次重要性が薄らいで來た」とし、各派の妥協を不可能視してゐる、その他會議派及び回教徒聯盟の抗争を強調して萬一シムラ會議失敗の責任轉嫁に備へた報道振りが顯著である

「タイムズ」紙も二十九日の論說で「印度各派が一堂に集つた圓卓會議を開くとは近來初めてのことであるが各派の頑強な争執は憲法上の前進に對する凡る努力を阻むものでその責任重大だとし、然し種々克服を要する重大な障壁があるものの、會議の建設的な空氣に鑑み會談の挫折は何とか廻避されよう」と述べてゐる

### フリッツプス辭任

(リスボン二十九日發)ワシントン來電ニ米國國務長官顧問ウイリアム・フリッツプスは二十九日辭任した、フリッツプスは嘗て國務次官に任じてゐ

た事があり、其後ルーズヴェルトの特使として印度に駐在したが、昨年この職を辭して國務長官の近東極東問題顧問となり今日に至つたものである

### 米新年度豫算額

(リスボン二十九日發)ワシントン來電ニ下院は二十八日政府各機關關係豫算案三十六億三千四百萬弗を可決上院に廻付した、米國の新會計年度は愈々來る七月一日から開始されるが、上院には右の新豫算案のほかにもなほ多數の豫算案あり、上院が六月三十日夜半までにこれら豫算案の審議を完了すれば、本年一月一日以降議會を通過する一九四五―六年度の米國豫算總額は七百六十億弗、うち軍事費は六百二十億弗とならう

### ブレジデント社身賣り

(リスボン二十九日發)サンフランシスコ來電ニ財界消息筋の情報によれば目下アメリカン・ブレジデント汽船會社、マートン航路會社及びヘンリー・カイザー三者の間にブレジデント社の身賣り交渉が進められてゐるといはれる、ブレジデント社は戦前には約二十隻の巨大船舶を擁する大船會社だつたが戦争開始以來日本軍の攻撃により沈没破損した船舶多く、またその他の船は米國政府の海事委員會に委讓され、現在同社が所有してゐる船は僅か三隻に過ぎないものの、なほ且つ長大な航路を支配してゐる他、政府の戦時海運にも參劃してゐる依然たる大資本であり、この身賣り交渉が成立すれば米國海運界空前の大取引きとならうといはれる

ブレジデント社は遠く米國太平洋岸におけるゴールド・ラッシュ時代に創立されたパンフィック・メール會社に始まり、次いでダーラー汽船會社となつたが、これはさらに現在のブレジデント社に買収された、同社の船舶はいづれも米國大統領の名前を有し日本にも極めて馴染の深い會社だが、現在は同社の九十一%までが海事委員會の支配下におかれてゐる、同社の買収交渉にあつてゐるマートン社は太平洋にある米國最大の船會社であり、またカイザーは開戦以來戦時造船に或ひは飛行機の生産にめきめきと賣出した戦争成金である

## ス議長を大元帥に任命

(ストツクホルム二十八日發) モスクワ來電によればソヴェト聯邦最高會議幹部會は今回大元帥の位階を新たに設定、二十七日スターリン議長を大元帥に任命したといはれる

## ソ聯の西亞進出に英不安

(ストツクホルム二十八日發) 中立筋の情報によればソ聯はソ土友好條約を新たに締結するための前提條件としてダーダネルス海峽の獨占管理とソ土國境の一部改訂を要求したと傳へられてゐるがソ土兩國關係は必然的に西亞全體に影響を波及するだけに、英國政府は情報網を強化して成行を注視してゐる様子だ、ロイター記者ジョン・キムチはトルコ問題が現在紛争の渦中にあるレヴァント地方ばかりでなくイランをも捲き込む事實を指摘して二十八日次の通り報じてゐる

「將來のダーネルス管理その他トルコに關する諸問題がベルリンの三頭會議で議題の一つとして組上のせられることはいまや確實とみられるに至つてゐる、以上の問題についてソ聯トルコ兩國政府間に進められてゐる交渉の内容はまだ正式に發表されてゐないが、それがある程度シリア紛争及びレヴァントの一般情勢と結び付いてゐることは明瞭だ、確信するにソヴェト政府はトルコと新たに友好相互援助條約を締結する際ダーダネルス海峽に關するモントルー協約の廢棄を實現しようとするといはれるが、ソ聯の提案は

一、あらゆる外國軍艦に對して海峽を閉鎖し

一、ソ聯及びトルコの軍艦のみ通行を許す

の二條件にあり、そのためソヴェト政府はダーダネルス海峽とエーゲ海を保護する目的の共同基地の設置を申し入れたと傳へられる、またトルコ政界はソ聯が現在のトルコ政府に不満を抱き、もつと民主主義的な民意を代表した政府に改組するやう要求したことを重視してゐるやうだがソ聯の提案したカルス地方の國境改訂は、ソ聯が代償とし

てシリア北部のアレッポをトルコの手に入るやう努めようと約束してゐる點で、トルコにとつては些して大きな問題となり得ない、トルコ政府は米英ソ三國が共同でレヴァントの諸基地を占領する事を提案してゐるが、米英兩國の軍隊が共同でレヴァントの警備に當るといふ内容の英國の提案を米國が拒絶してゐるから問題となり得ない、またイラン北部に駐屯する赤軍が一部地域の割讓をイラン政府に要求、同方面のアゼルバイジャン地區でソ聯の要求を支持する住民間に不穩の氣配がみえるが、もしも以上が實現するならば、トルコはイランとの直接の接觸を斷たれるばかりでなく結局はソ聯にモスール地方をも含む新國境線を許すこととなるので英國政府は事態を重視してゐる

## 【歐洲戰後處理】

## バルカン・プロツク案

(チユーリツヒ二十八日發) 「バーズラー・ナハリヒテン」紙ミラノ特派員はトリエストの近況につき次の通り報じてゐる

「二十六日トリエストで行はれた罷業はたつた二十四時間しか續かなかつたが、この罷業はチトー元帥がヴェネチア・ジュリア地區撤收に際し、同地區に自己勢力下の優秀な組織を残して行つたことを示した、聯合軍及びチトー元帥は公式には相互の友好關係を強調してゐるが、事實上兩者の間に激甚な鬭争が行はれてゐることは明かだ、チトーはユーゴスラヴィア、アルバニア、ブルガリア、ルーマニアを含む巨大なバルカン聯合の指導權を握らうとしてをり、米英兩國はチトーのかかる動向を特に注視してゐる、バルカン聯合がつくられれば、この聯合はトリエスト、カツタロ、ドラツオ、ヴァロナの諸港を所有し相當有力な海洋國となつてアドリア海全域を支配する可能性があるわけだ、イタリア消息筋ではもしこの聯合が結成されればそれは三千八百萬の人口を有し、その空軍は二十分以内にローマを攻撃しうるだらうと論じてゐる」

### ドイツ奴隸化計畫

(リスボン二十七日發) 米英兩國が戰敗國ドイツを再起不能にするため苛酷な條件を考慮し或は既に實施しつつあることは周知の通りであるが、更に當地に到着した英紙に基き具體的内容を綜合してみよう

△「マンチエスター・ガーディアン」紙(廿二日附)

ドイツの再起を防止するため凡ゆる計畫が講じられてゐるが、その一としてドイツ參謀本部はドイツ國外の小さな植民地に孤立化されよう、又ドイツ親衛隊は多分二十年間俘虜收容所に監禁されよう、英國のドイツ占領軍司令官モンゴメリーが二十一日言明した所によればドイツは膝をかがめたまま次の三ヶ月間試験されるのだ、ドイツ精銳百萬の兵員は既に除隊の後嚴重に監視されてゐる、最も反英感情の強い國防軍補助部隊も同様である

△「デーリー・エクスプレス」紙二十三日ワシントン特電

米大統領の顧問格バーナード・バルーチは世界或は歐洲の強國としてのドイツを全的に破砕する計畫を立案し二十二日議會に送致したがトルーマンが三巨頭會議に携行するといふのは恐らくこの案だらう、バルーチの勸告内容は、ドイツの歐洲における支配を破砕すること、ドイツの東西兩重要地帯を友好國に轉入すること、乃至全ドイツ重工業を根絶すること、ドイツを莊園式に寸斷すること、ドイツの輸出入を嚴重統制すること、世界中のドイツ財産及び通商組織を叩き出すこと、ドイツの輸出を強制してその生活水準を保障し、右水準の低下を防止し得る限りドイツ能力の最大限度において賠償を課すこと、ドイツが精神的にまた經濟的に蘇生する可能性ある限りドイツを占領すること等を含むものである

### 三頭會談で平和條約を準備

(リスボン二十七日發) インデペンデンス(ミゾリー州)來電 大統領トルーマンはサンフランシスコからワシントンへの歸途二十七日ミゾリー州

インデペンデンスに立寄り一般市民の歡迎會に臨んだが、席上來るべき三頭會談において最終的平和協定の方式が決定されるだらうと豫告、次の通り語つた

大統領として余が現在直面してゐる問題は對日戰の完遂と將來の世界平和の確立に關する事業だ、チャーチル首相並びにスターリン元帥との會談でわれわれは將來の平和確保を目的とする平和條約の豫備工作を行ひたいと思つてゐるさらにトルーマンは  
ステチニアスの國務長官辭任に伴ふ後任は七月二日正式に發表される筈だと言明した

### 獨工業力の八割は無虞

(リスボン二十八日發) ワシントン來電 米國檢事總長代理ウエンデル・ページは二十八日上院戰時動員委員會に對してドイツ工業處理に關する證言を行ひ、前大戰後ドイツの工業を徹底的に剝奪しなかつたため、短期間に國力の回復を許した事實を指摘した後次の通り述べた

米英空軍の爆撃によつて損害を蒙つたドイツの工業力は僅か二十パーセントで、全體の四分の三は比較的無虞のまま残つてゐる、従つてドイツはこの残つた工業力を利用すれば間もなく軍事力を回復し得るから、徹底的な監視と統制が必要である、即ちドイツが平和産業を營むに必要な最少限の機械設備を慎重に調査し、將來ドイツに許可する最少限の機械設備に嚴重な統制を加へねばならない

### ダルナン捕はる

(チユーリッヒ二十八日發) ローマ來電によればヴァイシー政府時代内相兼義勇軍司令官であつたジョセフ・ダルナンはスイス、イタリア國境から程遠からぬベルガモの北方エドラ近傍で二十五日逮捕された、ダルナンはその女秘書サザンヌ・シャラズと待ち合はせるためミラノに行かうとしてゐた處で、女秘書は二十七日待合せ場所で逮捕された、ダルナンは對獨協力派の主要人物の一人で、同人の指揮した義勇軍は抗戰集團と對抗し、多數のフランス人をドイツに引渡した

## 波國境の安定に努む

(チユーリツヒ二十八日發) 統合政府の樹立に伴ひ目下ポーランドはソ聯の強力な支持をうけて國境地區の安定強化に努め、新たに獲得した地域からドイツ人を悉く追放處分に付してゐる様子でエキスチエンジ通信社のモスクワ電は以上の點につき左の通り報じてゐる。

「數百萬のドイツ人はオーデル、ナイセの線の東方地區から一物も持たずに撤收しなければならぬことになつてゐる、何故ならばソ聯支持の下にポーランドが將來の國境強化工作を開始してゐるからである、更にポーランドはシュテツチンにも垂涎してをりオーデル河の線に配置されてゐるポーランド軍は赤軍が進撃してくる前に一旦逃亡したドイツ人が家郷に歸るのを阻止してゐる、二萬七千平方軒からなる東プロイセンも全面的にポーランド化され現在ではポーランド領マズリア地方と呼稱されてゐる、但し東プロイセンに住んでゐた多數のドイツ人がどういふ運命を辿るかについては明かでない、ポーランド假政府の回復地域相オチャブも

ポーランドは一九三九年當時の西ポーランド國境とオーデル、ナイセの線との中間地域に居住するドイツ人二百五十萬を追放するためあらゆる努力を拂ひ二百萬のポーランド人を以て追放されたドイツ人に代らせる方針である、また現在同方面に居住する數的に優勢なドイツから孤立化されたポーランド人が攻撃されないやうに必要な軍事的措置をとる

旨述べてゐる状態だ、かかるポーランドの遣り方に對しては或る外國政府は反對してゐるがソ聯はオーデル、ナイセの線を以て國境としようとするポーランドの要求を支持してをりかくてドイツ人はボメラニアからも撤收しなければならぬ譯だ」

### 【印 度】

#### ウエーヴェル説得に努力

(リスボン二十八日發) 英國は對印新提案において行政參議會の構成を印度人十三名英國人二名と規定すると同時に回印兩教徒からそれぞれ五名の

代表を出させ残りの三名は少數派から選ぶ旨を明かにしてゐるが、シムラ來電によれば印度人十三名の内譯は會議派所屬印度教徒一名、會議派以外の印度教徒一名、回教徒聯盟所屬回教徒四名、右以外の回教徒一名、シーク教徒一名、不可觸階級一名、その他一名といはれ、目下回教徒聯盟以外から回教徒代表一名を出す點を繞つて會議は難航を續けてゐる様子だ、二十七日朝ウエーヴェルは前後一時間に亘つて印度側代表の一部と會見したが同日午前十一時から開催を豫定されてゐた正式の會議は二十六日の會議で到達した暫定的結論について更に各代表間で個別的に討議を加へるため二十九日まで延期され、同日第三回の正式會議を開くことになつた、續いて同夜ウエーヴェルは突如回教徒聯盟總裁ジンナーと會見したが右會談の中心議題はジンナーが回教徒聯盟以外の回教徒を行政參議會に入れることを認めるかどうかにあつた様子で、會談後ジンナーは「總督が彼に對して讓歩を要求した」といふ報道については、否定も肯定もしなかつたが、ジンナーは「回教徒聯盟のみが新行政參議會に参加する回教徒を出し得るのであつてそれ以外の組織からする回教徒代表は認めない」といふ強硬態度をとつてゐるといはれる之に對し會議派及びガンジー翁は猛烈に反對し成程會議派内において支配的勢力を占めてゐるのは印度教徒だが回教徒もまた多數包含されてゐる

と反駁してゐる  
もし總督案の如く回教徒聯盟以外の黨派から回教徒一名が選出されるとすれば會議派議長アツア(回教徒)の如きも會議派の代表としてではなく回教徒として參議會に参加し得るわけで、かくの如くなれば形式上回印兩教徒は五名づつの代表を行政參議會に送るとしても事實上會議派は六名回教徒聯盟は四名の勢力比となる、ウエーヴェルの老獪さはここに充分示されてゐるのであつてこれによつて彼はあくまで支配的地位を要求する會議派を宥和せんとしたものと見られる、目下この點を繞つて會議は行き悩みの状態にあり各代表間の個別的協議も悉くこの問題に關聯するものだといはれる

### アンラ使節團印度へ

(リスボン二十七日發)ワシントン來電アンラ事務總長ハーバート・レーマンは二十五日次の通り發表した

アンラ使節團は本日印度へ向けて出發するが同使節團は印度が醸出してゐる二千四百萬弗をもつて購入すべき物資について、印度政廳と協議するの目的である、使節團はカイロ、バグダッドに立寄りエジプト並びにイラク政府のアンラに對する財政的寄與に關する協議を行ひ、また南阿並びに南ローデシア政廳とも物資獲得について懇談する豫定である、同使節團の團長はアンラの外交顧問であり前比島駐劄高等辨務官であるフランシス・セイヤーで、一行は七月五日ニューデリーに到着し三週間乃至四週間同地に滞在する

### 【英 帝 國】

#### 英帝國の必然的崩壊を豫言

(ストックホルム二十七日發)ロンドン來電英國は今次戦争で十億餘磅の在外資産を蕩盡したほか二十三億磅の外債を負ひ、世界最大の債金國となつたが、この經濟的窮境を脱する唯一の途は英帝國プロツクの名において自治領諸國を擯取する以外にない、しかるに茲一兩年來自治領諸國の離反的傾向は頗る顯著となり英國を根柢から震撼せしめてゐたが、英國著名の經濟學者アラン・フイツシャー教授は去る六月十二日チャタムハウスにおいて實業家團體を前にして一場の演説を行ひ、英帝國の必然的崩壊と英本國の孤立化を豫言して聽衆を深刻な不安に陥れた、講演の要旨次の通り

英帝國プロツクを效果的に實現出來ると考へる者は手酷い幻滅の悲哀を嘗めねばならぬだらうなぜなれば自治領諸國は自國の將來の經濟を英國の近視眼的な利益に順應させる氣持は毫末もないからだ、自治領諸國の見解では將來の經濟的繁榮を保障する必須の條件は英聯邦の外部に通商關係を樹立する事である、カナダにおいて世界通商障壁を思ひ切つて縮小して、自由な通商活動において積極的役割を希望する聲が支

配的だ、カナダ經濟の將來は米國と緊密に結び付けられてゐるため米國からの輸入に對して巨額の支拂を終へぬ限り、排他的な英帝國プロツクに参加出來ない、英帝國に對する南阿聯邦の態度が常に冷淡なのは、カナダ以上に多角的な世界通商制を利益としてゐるためである、濠洲の輿論は太平洋戦によつて震撼せしめられてゐる、米國は濠洲の肉類、小麦、羊毛等の購買國としての純經濟的考慮は別としても、濠洲に對して支配的な役割を演ずることにならう、他方英帝國間の安全保障組織が實現しない場合、濠洲はアウタルキーと自國工業の最大限の發展へと追ひやられることも大いに考へられる、ニュージールランドの場合も濠洲と同様で、印度に至つては明瞭な孤立主義の傾向へ進んでゐる

#### カナダ損害十萬

(リスボン二十八日發)オツタワ來電カナダ政府は開戦以來今日までの損害總數を二十七日次の通り發表した

△陸 軍 八萬五十四名  
うち戦死二萬一千八百六名

△海 軍 二千三百三十六名  
うち戦死千九百一十一名

△空 軍 二萬五百六十四名  
うち戦死一萬四千二百四十七名

總 計 十萬二千九百五十四名

#### 英に新型成層圏戦闘機

(ストックホルム二十八日發)ロンドン來電英國飛行機製作省は「ウェルキン」といふ新型の双發成層圏戦闘機を製作してゐる旨二十七日發表した、同機は單座戦闘機中最大といはれ、七十呎の翼幅を有してゐる

#### B 24 生産停止

(リスボン二十七日發)デトロイト來電によればフォード會社ウイロウランのB 24(通稱リベライター)製作工場は今回閉鎖され、B 24の生産は停止されることになつた

## 新波統合政府を繞る諸問題

新ポーランド統合政府の顔觸れでまづ第一に注意を牽くことは、副首相兼農相のミコライチクを除いて、殆んど全部の重要な椅子が舊ワルシャワ政權の代表によつて占められてゐることだ、新首相のオスプカIIモラフスキ、副首相のゴモルカがそれぞれワルシャワ政權の首相、副首相であつたことは周知の事實だが、新國防相のローリヤIIジミエルスキーはワルシャワ政權の國防相兼ポーランド軍司令官であり、新公共保安相のラドキエヴィツ、文化相のルジモフスキ、藏相のドンブロフスキ、交通相のロバノフスキもそれぞれワルシャワ政權において同じ椅子を占めてゐた。従つてミコライチクを除いて僅かに公共事業相のキエリクがポーランド本國から、遞相のトウグイトがロンドン亡命ポーランド人からの代表として新政府に参加してゐるだけだが、トウグイトの如きは六月初めロンドンからワルシャワに乗り込んで、既にワルシャワ政權に参加してゐたから、純粹な意味で海外ポーランド人の代表と呼ぶことは出来ない、尤も米英兩國政府を黒幕とし、ロンドンのポーランド農民黨を代表するミコライチクが副首相兼農相の重要な椅子を占めてゐることは農業がポーランド政治の決定的要因をなしてゐるだけに當然のことと思はれるが、ロンドンの社會黨左派の指導者で本國でも大きな勢力を占めてゐるヤン・スタンチクが當初の豫想を裏切つて新政府に参加してゐないことは、二十三日發表されたモスクワ會議の公報に全く反するもので、二十三日から二十八日までの間に舊ワルシャワ政權の首腦とスタンチクとの間に何等かの意見の衝突が生じたのではないかとみられてゐる。

以上の如く新ポーランド國民統合政府は本國及び海外から二三の人物を取り入れて簡単に改組したもので、クリミヤ宣言にみられるやうに「より廣般な民主主義的基礎」に立つに至つたかどうかは大いに疑問だが、同宣言で明確に「ポーランド臨時政府(ワルシャワ政權)を改組すると規定してある」事は嚴乎たる事實であるから、スターリン外交が今度も決定的の勝利を博したことは否定し

得ぬ事實である、さて新ポーランド統合政府は實體はどうでも形式的には米英ソ三國政府の肝入りで成立したものであるから、ロンドンの亡命ポーランド政府に對する米英兩國政府の承認取消しはもはや時間の問題となつたが、新政府と亡命政權との新たな關係に就てロイター外交記者シルヴェン・マンジヨットは二十八日次の通り報じてゐる。「新ポーランド統合政府の成立はポーランドの將來に新たな重大試験期を齎すものだ、この問題を検討する場合」

一、スターリン議長の善意を信すべきかどうか  
一、ポーランドにおいて眞の自由選舉が行はれる基礎が初めて固められたかどうか

の二大要因を考慮する必要がある、以上の兩條件に關してロンドンの亡命ポーランド政府は最近二つの公文書を發表したが、第一の文書は新ポーランド統合政府の效力を認めることが出来ないから自由な選舉によつて眞に民意を代表した政府が樹立されるまでは政權を明け渡さぬ決意を表明したものであり、第二の文書は以上の趣旨をポーランド民衆に訴へた内容のものであつた、以上の亡命ポーランド政府の態度は、ソ聯及び赤軍占領下にポーランド行政の任を委託されたポーランド人に對する深刻な不信の念によつて支配されてゐるのであり、モスクワ協定に署名したポーランド人達がポーランド問題を解決する唯一の途はソ聯政府の善意を承認するにあると確信してゐる態度と明確に對立する。

また亡命ポーランド政府は「赤軍がポーランド全域を占領し、ソヴェト政治警察が民衆を支配してゐる限り、自由な選舉といふが如きものはあり得ない」と主張してゐるが、新ポーランド統合政府は「自由な選舉が今日のポーランドにおいて不可能かどうかを調査出来るやう外國新聞記者にあらゆる機會と便宜を與へる」と負けてゐない、いづれにしても亡命ポーランド政府の態度はポーランド人の傳統的なソ聯不信感に根差してゐるのに對し、新政府の味方は新たなソ聯のポーランドに對する誠實且つ友好的な態度を信じようとしてゐるのであり、以上の兩者のいづれが正しいかは、一にポーランドの將來の事態が判決を下すであらう」





グルー演説と米の世界觀

木下秀夫

### △米國の獨善主義

米國は今次大戦に日本及び樞軸國の「挑發」を受けたが故に參戰したのだと主張する、あるひはまた民主主義を擁護し、世界平和を確立するために干戈をとるにいたつたのだと宣傳する、これが米國參戰の理由であり、また米國の戰爭目的なのである。

しかしながら、米國の參戰に至るまでの道程を回顧するならば「挑發」を敢てした國が米國であつたか、日獨側であつたかはあまりにも明らかであらう、また米國の擁護せんとする民主主義がいかなるものであるか、乃至はかかる民主主義を擁護することによつて確立さるべき世界平和が如何なる性格のものであるかについては、米國民は敢て疑問をさへ起さないのである。

米國民の國民的性格を特徴づける最大のものはその獨善性である、自分だけが常に正しいとするひとりよがりである、ここには自己批判のごときは存在しない、かつてナチ政權がユダヤ人に對し壓迫を加へた時、米國人達は前古未曾有の人類迫害事件なりとし、人類の史上に一大汚點を残すものとして眼の色をかへて騒ぎたてた、然るに、日米兩國が開戦するや、この同じ米國人は太平洋岸にあつた日系市民の住居を奪ひ財産を沒收して、これを大陸奥地の草木でさへその生命を維持できないやうな沙漠地帯に追ひこんで恬として恥ぢなかつたのである、日本人強制移住に對する一部からの非難に對しては、米國當局は單に「總べては戰爭のため、米國の安全を確保するためだ」と回答し、米國民も文句なしにこれを支持した、ナチ政權もまたドイツ國家の利益のためにユダヤ人迫害を行つたことを想起すべきである、然るに、米國人にとつては、ドイツの場合は人類の史上に一大汚點を残すやうなましい事件であるにも拘らず、米國の場合には全く問題にならない當然の

ことなのだ

しかしてこの獨善性を米國の持つ老大な國力を背景とした米國の傲岸不遜な態度を生み出してゐるのだ、しかも今次大戦においては、米國はその天與の物力のおかげをもつて聯合國の盟主たる地位を獲得した、米國の獨善性はここに愈々拍車をかけられる結果となつた、米國は聯合國陣營に君臨し、さらにはよくば全世界に號令せんとしてゐる。

孤立主義は既に米國では死滅し去つたといつても差支へなからう、少くとも孤立主義が再び擡頭して、米國の外交政策を支配するといふやうなことは今のところ殆んど想像できないのであり、その兆候となるべきものも全く發見できない、米國の全世界を對象とする覇道政策は今後愈々積極的に推進されるであらう。

民主主義の擁護といつても結局は米國式民主主義の擁護なのである、米國のいはゆる「民主主義」は換言すればアメリカ主義なのだ、即ち、米國の主張する民主主義はアメリカ的政治體制、アメリカの生活様式、アメリカ的思想をその内容とするのであつて、それ以外の何物でもあり得ない、かくて「民主主義の擁護」なる米國の戰爭目的をもつとわかりやすいいふならば、アメリカ主義を有無をいはず他國民に押しつけんとするにあり、全世界をアメリカ色一色をもつて塗りつぶさんとするにある。

さらにまた、世界平和の樹立といふも、この平和はあくまでも米國に都合のいい平和でなければならぬのだ、參戰前日本及び歐洲の樞軸國に對して、實際の戰鬪行爲には入らなかつたがそのぎりぎりのところまで、あらゆる政治的、經濟的挑發行爲を敢てしながらも、米國にとつてはこれが決して挑發行爲とはならなかつたと同じ論法で、米國にとつては米國のためにならない平和は決して平和ではなく、むしろ却つて「平和に對する脅威」であるのだ。

### △グルーの演説

米國國務次官グルーは六月二十三日、ワシントン「の」外事専門學校「The School of Advanced

International Studies の開校式に臨んでの一場演説を行つた、この學校は各種の用務を帯びて海外に赴かんとする者、就中外交官の養成を目的として新たに設立されたものだが、政府當局の息のかかつてゐること勿論で、いはば米國の霸道政策の推進の重要な機關である、グルーの演説はもちろん極めて體裁のいい言葉をもつて粉飾されてはゐる、しかしながら、われわれはこの演説を通じて以上に述べたやうな米國の世界觀にふれることができるだらう

### △國際關係の新性格

世界各國民の間における關係は確かに新しい性格のものとなつた、交通通信の分野における科學的進歩が國際關係の範圍と内容を變へたといふのはあらためてここに繰返す必要はないかも知れない、しかしながらたとへこの表現が平凡であらうともこの事實は完全に認識さるべきである、今次大戰勃發以來短波無電、フアクシミリ新聞或ひは國際電送寫眞等は非常な發達を遂げたが、われわれはこの事實を當然のこととして見過しがちである、われわれは瞬時にして地球を一周する無電放送の事や、數十時間にして全世界を飛翔する飛行機に慣れつこになつてしまつた、「人類の議會」は今や單なる言葉ではなく、事實となつたのである、現在各國政府間に交換されてゐる通信の量は世界各國民の間に交はされてゐる奔流の如き通信の量に比較すれば實に雀の涙にも等しい

これと同様に各國の外交機能に關する全概念も今や修正されつつある、米國が現在米國を代表するものとして全世界に送り出してゐる男女は實に六百萬に達してゐる、そしてこれら軍隊の制服を纏つた米國代表達は、米國に對する世界各國の態度を決定する上において過去二十五年間の長きに亘り米國の外交、商業代表がなした以上の重大な役割を、極めて短時日の間に果しつとつあると言つてよからう

すなはち、世界各國は敵味方を問はず、これら米國將兵を通じ直接米國に就き、その國力、性格國內的團結の強弱、或ひはその國是乃至目標に就いての知識を得つつあるのである、かかる状態は

決して正常なものではないが、然しこの一時的な人間の移動に依つて生ずる結果には何等の相違もない、今後長きに亘つてこれら米國海外遠征軍の後に續き外國に出かける米國市民の事業は、米國軍隊が海外諸國民の間に残して來る印象の如何に依つて大いに左右されるであらう

### △米國遠征軍の影響

この大きな軍隊の海外諸國に與へる影響は前大戰のそれとは比較にならぬ程大きい、米國がかかるといふ歌を歌つて喜ぶ米國兵達から小錢を貰つてゐるだらう、また負傷したソ聯の英雄達は配給された米國製煙草の包紙をしみじみと眺め入つてゐるだらう、あるひは英國の家庭に下宿したキヤンサス州出身の米國兵は炊事手傳ひに皿を洗つたり、子供達にチューインガムやチョコレートなどを頒ち與へて英國民と大いに交驩を遂げてゐることでもあらう、かくの如く海外駐屯米國兵の諸國民に與へる影響は小さな事柄が何百萬となく重なり合つて大きな力となつてゐるのであり、これがワシントン並びにサンフランシスコにおいて決定されつつ政策と共に米國の國際關係を支配する要素となつてゐるのである、われわれはこれらのことをすべて研究し、考慮のうちにに入れておかない

われわれは今後何ヶ月か、何ヶ年かの故に對外的用務を帯びて外國に出かけて行くだらうが、この時にわれわれは以上述べた海外派遣の米國男女

將兵が残して来たことを引き継ぐこととならう、  
そして將兵と同様、われわれもまた米國の國際關  
係の一部を負担する責任を持つのである、これは  
われわれが政府を代表し、あるひは商用を帶び、  
乃至は研究、教授、旅行その他如何なる目的をも  
つて海外に赴かうともすこしも變りはない

### △米國の利益代表

以上の新事實を考慮に入れて次の舊い問題に檢  
討を加へてみよう

われわれは海外において米國をいかに代表すべ  
きであるか、いかにして米國民の最高の利益に  
最もよく奉仕することが出来るか

これは非常に複雑な問題であるかもしれないが、  
余の意見ではこれに對する回答は極めて簡單であ  
る、米國の外交的任務に携はる人々のとつて來た  
舊い傳統ともいふべき原則は米國を代表する最善  
の方法はそれを正直に代表するといふ事であつた  
しかるにこれを實行するためには、われわれは米  
國といふものをよく知らなければならぬ、自分  
が生活してきた州とか地方をしるだけでは十分で  
ない、或ひは自分の屬する社會の一部をしるだけ  
でも十分でない、われわれのしらなければならぬ  
ことは、廣大な國土並びに米國に住む複雑な人  
間のことであるが、この事實を辨へてゐない人が  
往々にして存在する

今後いかなる資格であれ、米國を海外に代表す  
る仕事に携はる人々は悉く以下に擧げる經驗と知  
識とを體得するやう希望する、即ち米國の全土を  
限なく旅行すること、米國人の生活における融合  
の意味、並びに多くの民族から成立しながら一人  
の理想の中に相互に融和せんとする米國人の特殊  
な力を理解する事、多くの歐洲文化が米國文化に  
貢獻したことを認識する事、米國民の團結力並び  
に團結しながらもその内部においては依然として  
限りない多様性を維持してゐることを自ら體驗す  
る事等がこれである、換言すれば米國を代表する  
人は誰でも骨身に徹して米國を意識し、米國にた  
いして限りない愛情をもつことを希望する、諸君  
がこの學校を卒業して一度外部の世界に出るなら  
ば、米國は諸君の一擧手一投足によつて判斷され

るであらう、諸君の責任は重大である

外國に米國を代表する人々はすべて以上の資格  
をもつべきである、この資格の他に米國の歴史並  
びに外交關係に對する健全な知識、外國において  
従事すべき仕事に對する優秀な能力といふ基本的  
な資格をもたなければならぬことはいふまでもな  
い

米國を海外に代表する人々に以上の資格を全部  
要求することは無理なことかもしれないが、しか  
し余は敢へてこれを要求すべきだと信ずる、米國  
の前途に控へる危険或ひは對外交渉において米國  
の直面する問題がこれを要求してやまないのだ、  
國際社會における米國の新しい地位並びに新しい  
役割が、このことを絶體に必要としてゐるのであ  
る

### △米國の地位と役割

米國のこの新たな地位とは地球上における最  
強國としての地位である、また米國の果すべきこ  
の新たな役割とは、奉仕並びに指導者としての  
役割であり、これこそ世界の舞臺において主役を  
演ずる國にふさはしい唯一の役割とも稱すべきで  
あらう

米國民は一國としての米國の國力に關して話す  
ことを遠慮しなくてもよろしい、しかしながらわ  
れわれはこの國力についてひそひそと語つたり、  
これに反して大いにこれを宣傳したり、乃至はこ  
れを自慢したり、或ひは申譯けをしたりすること  
はつつしまなければならぬ、米國の國力は現實  
である、世界のあらゆる國民がこれを認識すると  
同様、米國民自身もこれを理解すべきだ、米國の  
友邦の國民たちは米國民がこの現實を理解するこ  
とを決して恐れてはゐない、彼らはむしろわれわ  
れがこれを理解しないことを恐れてゐるのだ、な  
ぜなれば、もしも米國民が米國の國力を正當に理  
解しないならば、それは必ず米國に負はされた責  
任を米國民が引受けなといふ結果を招來するだ  
らうからである

歴史上の悲劇は結局力の誤用から發生してゐる

歴史家が常に指摘してやまないところは、國家にせよ或ひは文化にせよ、その衰亡は必然的且つ理論的に指導力をもたない大きな力が存在したといふ致命的事實から出發してゐる、アーノルド・トインビーの言葉をかりれば「權力が發動する場合にこれが誤用されないといふ例は極く稀である、いかなる場合においても權力を握る地位にあるものが、指導者としての能力を失つたときには、權力を持ち続けるといふことと自體が、胃潰である」

### △歴史の動き

ハロルド・ニコルソンは一九一九年の平和會議に失望して「人類の本性は丁度氷河の如く一千年の間に僅か一時か二時しか前進するに過ぎない」と慨歎した、余は敢へてこの有名な外交官と争ひその言葉にけちをつけようとするものではないがしかし彼の觀察が示唆する如き悲觀論乃至宿命論に賛意を表することは出来ない

人類の性格は前進する、人もまた國家も貴重な經驗によつて利口になつて行くものだ、われわれは自分自身の運命の支配者であり、將來もまた支配者たるであらう、余は常に人類自由意思の哲學の信奉者であつた、さればこそその一生を過去の探究に捧げ、最後に次の結論に達した、A・L・フイツシャーの如き歴史家の見解を支持するのである、フイツシャーは曰く

余よりも賢明で學識もある人々が歴史の中にはあらかじめ決定されてゐる計畫の如きものが存在することを主張してゐる、しかしながら余はかかる事實を發見することは出来なかつた、余が發見し得たことは、丁度波が後から後からと起つてくる如く、偶發事件が次々に發生してるといふことだけであつた、この偶發事件はいづれも特異なものであり、従つてただ一つの大きな事實は歴史の流れの上には綜合的定則の如きはあり得ないといふことだ、歴史家が遵奉すべき唯一つの健全な法則は人類の運命の展開の中に演じられるものが、すべて偶發事件と豫測し難い事件のみだといふことを認識することであつた、しかしこの法則は決して犬儒主義乃至自暴自棄から出發したものではない、進歩の事

實は歴史の頁の上に大きく且つはつきりと書かれてゐる、しかしながら進歩は自然の法則ではない、一時代が獲得したものは次の時代によつて失はれるかもしれない、また人類の思想は災厄及び野蠻に導く方向に流れて行くかもしれない

しかしながら歴史はまた同時に、成熟した文化及び國民も力を賢明に行使することによつて、生きのびる例のあることをも教へてゐる、このよい例は英國民である、英國民はその發展時代における獲得、同化力の行使に當つて犯した過誤をたどり、その後修正と讓歩とによつて彼らの權力を維持、強化することを學び且つこれを實施した

### △米國の最大問題

われわれは歴史の教訓を學びとるることによつて利益を得ることが出来るのであり、またこれを得なければならぬ、しかしながら終局においては米國民はその力の問題を米國獨特の方法によつて解決しなければならぬまい、米國民がこの問題を立派に解決し得るだらうことについては、余は何らの疑問もいだかない、しかしながらこの力の問題こそ米國の歴史始まつて以來、米國民に挑戦し來つた最大の問題といふことが出来よう

かくてもしもわれわれの第一の義務が米國の力を認識するにあるとするならば、われわれの第二の義務はこの力がいかなる内容をもつてゐるかを理解するにある、米國の力のうち、最もはつきりした形をもつてゐるのは、いふまでもなく軍需力であり、その内容は飛行機、艦船、戦車、銃砲並びにこれら兵器を綜合的に使用することに熟練した兵員から成つてゐる、米國はさらにまた近代戦においてはこれらよりも一層重要なものをもつてゐる、即ちこれは工業力並びに科學的、工業的技術といふ形態をとつた龐大な軍事的潜在力である

### △軍事力の使用

從來米國が非難を受けた點は一、二に留まらぬ、しかしながらまだ一度も軍國主義的な國民だ

との非難を受けたことはなかつた、されば米國が今後世界の平和を脅威すべく、その軍事力を使用するだらうなどといふのは、ただ、事實に反するばかりでなく、馬鹿げ切つたことである、米國はその軍事力を二回に亘る世界戦争に使用した如く法と正義と人類の自由のために使用するであらう換言すれば米國の軍事力は世界の平和のために使用されるのであり、この平和なくしては、米國自身もその最高の利益を確保することが出来なからう、米國は今やその平和愛好國とともに米國は勿論のことその他の國の軍事力もただ共同の利益のためにのみ使用されることを確實ならしめるための盟約を結ばんとしてゐる、かくて軍事力は今後國際平和並びに正義の蹂躪者のみに脅威を與へる力となるであらう

### △米國の經濟力

米國の軍事力が峻嚴なる必要の産物であるとすれば、米國の經濟力はわれわれに輝かしい機會を與へてくれる、しかしわれわれはこの經濟力を豫算とか工作機械とか組立工場などの大きさと一緒にしてはならない、この經濟力とは本質的に人間的なものであつて、物質的なものではない、即ちその内容は國民の生命力、創造的才能あるひは忍耐を必要とする困難な仕事に對する才能等から成つてゐるのだ、もし今度の戦ひで米國の國土が戦火に荒らされ、全工業施設が破壊されたとしても、これは米國の經濟的進歩の一時的停止を意味するかもしれないが、決してその破壊は意味しない、そしてこのことはたまたま日獨兩國をいかに處分するかといふ問題の一部をなす、なぜなれば日獨兩國ともにわれわれと等しく生産的な國民であり、彼らが再び世界平和を脅威するやうな經濟力を得ることをいかにして防止するかといふ問題がこれである

われわれは米國の經濟力がどのくらゐであるかをしつてゐる、さらにわれわれはこの經濟力を世界平和を強めるために用ひることが出来、且つ用ひなければならぬことをしつてゐる、米國民の手によつてこの經濟力はまづ第一に米國民自身の生活水準並びに雇補水準を引上げることを使用

されなければならぬ、われわれは再び國內的不況を招くやうなことがあつてはならないが、この不況こそ國內的にいふべからざる悲惨事を招いたばかりでなく、全世界に深甚な影響を與へた

米國民のなすべきことは以上に留まらない、われわれはまた米國の生産物資並びに勞務及びその海外における配給が、戦火によつて荒らされた友邦諸國をして再び彼らの經濟を再建し、その國民に職を與へて米國に輸出し得る物資を生産せしめるとともに、米國からもまたますます多くの物資を購入し得るやうにせしめるやう取計はなければならぬ、言葉を換へて言へば、米國民は友邦諸國民といかにして協力するかその具體的方法を發見し、これによつて世界貿易額を増加し、さらに全般的繁榮を月を追ひ年を追つて促進するやう努力しなければならぬ

もしも米國民が今後狭量な態度を示し、いはゆる「外國の競争の危険」なる言葉で示されるやうな純粹に國家主義的見地に立つて行動するならば歐洲の復興もなく、國內的繁榮もなく、従つて世界貿易の増進もなく、經濟不況と政治的不安定とが再現し、やがて再び新たな世界大戰にまで發展するであらう

### △米國は債權國

第一次世界大戰後米國は高い關稅障壁を樹立し外國に巨額な融資を行ふ一方では、戦債の支拂ひを要求するといふ危険にして矛盾した政策に乗り出した、米國は債權國だつたにも拘はらず、債權國らしく振舞ふことを拒否したのである、米國は今や再び債權國としての地位に立つに至つたが、われわれは今度こそこの地位が、如何なる意味をもつかを正直に考慮すべきである、米國が各國と締結してゐる互惠通商條約の擴張は、米國がその立場を認識せんとする意圖をもつてゐる一つの證據である、更に、ブレトン・ウッズ會議で決定された世界銀行並びに國際爲替安定基金案は、米國が正しい方向に向つて大きな一歩を踏み出した事を示す、米國は聯合國國際機構を通じ、經濟協力

の途を進むであらう、この機構中に設けられた經濟社會理事會は各國將來の幸福を増進するために最も望みある寄與をなすことが期待される

米國が過去において示した記録のために、米國の經濟力は外國で不信の目をもつてみられてゐるばかりでなく、恐れられてさへもゐる、これらの恐怖を除去するために、米國は言葉によらず具體的協力の實例を示すべきであるが、この方法こそ米國の利益に一番良く合致しよう

今次大戦において米國の經濟力はどの程度に生産し、轉換を行ひ、さらにその生産物資をこれまた米國で製造された船舶並びに飛行機によつて輸送し得るかといふことを實にはつきりと示した

### △米國の精神力

米國民が完全には理解してゐないこと、余の意見によれば米國民がまだ嘗て一度もこれを理解し、諒解したことのないものは、諸外國の國民に對する米國の道義的、精神的力である、このことを認識するためにはわれわれはほとんど不可能にも近いこと、即ち他國民が米國人をみる立場にたつて自らを眺める、といふことをしなければならぬ、勿論外國人の米國觀はその個人的な經驗によつて左右される、文字により乃至は言葉により、映畫により、米國人との個人的接觸により、さらに數百萬に上る歐洲人の場合には、米國に移住してきた兄弟や従兄弟や伯父等の經驗を通じ、その米國觀を決定する

非常な総合的な觀察ではあるが、世界各國民が米國に對してゐる印象は、非常に大きく信じられない程金持であり、またこの上もなく幸福な國だといふにあるだらう、これが海外においてもたれてゐる米國觀であり、とくに注目を要するのは、米國が今日のやうな幸福な國家をつくり得たのは困難と努力と勇氣とによつたのでなく、神様のおかげ即ち全くの幸運によつて達成されたのだとしてゐる點である、米國から報道される非常に高い理想や主義が海外の友邦諸國に餘り大きな印象を與へ得ない理由の一つは、實にこの點に存する

しかしながら彼らは米國指導者の一部がもつてゐる誠實な性格には深い印象を受けてゐる、彼ら

はさらに米國指導者のステイツマンシップにも深い感銘をうけてゐる、このステイツマンシップの具體的な一例は武器貸與法であり、歴史家はこの法律の成立をもつて今次大戦において聯合國が決定的勝利を得た重大要因として擧げるであらう、米國は當時抗戰國ではなかつたが、同法の成立によつて米國のあらゆる精神的、經濟的軍事的力が樞軸國擊破に傾注されることとなり、聯合國の勝利が豫約されたのである、ステイツマンシップの勇敢にして現實にとらはれない行爲が、その威力を發揮するのは、一國が非常な危機に直面した場合に限られるといつてもよからう、實に武器貸與法並びに英國首相チャーチルのフランスに對する英佛合邦案の如きはこの顯著な實例である

しかしながら實際問題としては、國際關係にはいつでも危機が存在する、この危機とは利己的乃至不適當な行動または義務の不履行によつて招來さるべく、かかる事件が度重なる途には恐るべき災厄にまで發展するのである、われわれは一刻たりともその注意を怠ることは出来ない

### △力の使用

力といふものは古い袋の中の金のやうにしまひこんでおくわけにはいかない、力は常に且つ賢明に行使されなければならず、これによつて世界のあらゆる地域における平和の友の地位は確保さるべく、同時にこれによつて米國人自身の地位も安泰にならう、擊破した敵國に對する力の使用問題は非常に複雑である、しかしながら、聯合國をはじめ、その他友邦諸國の力を統一する問題に比較すればむしろ簡單といへる、アイゼンハワーは戰時中においてその問題の處理に成功した、われわれは平和建設の事業においてこの問題をいかに處理するかを學ばねばなるまい

この道路は困難なものであらう、もしもわれわれがこの道程において一步でも熱意を失ひ、冷淡な態度をとるならば、米國の力は人類に對して惠みとなる代りに呪ひとなるであらう

われわれはわれわれ自身を解放しなければならぬ、それによつて始めて自分たちの國をしつかりと把握することが出来る

### 獨逸首腦の行方(上)

—ストックホルム齋藤特派員—



二十世紀のナポレオンとも喩へられたヒトラー總統も、優勢な赤軍、米英軍をもつてする二正面攻撃には抗し難く、五月一日午後ベルリン總統官邸内の司令部署で作戦指揮中壯烈な戦死を遂げ、同時に總統の下五年有半よく結集して最後の瞬間まで戦ひ抜いたナチ黨も刀折れ矢盡き、遂に全面的崩壊を餘儀なくされた、ナチ黨華かなりし頃、或は黨に或は軍にあつて國民の指導並びに戦鬪指揮に奮勵努力したナチ黨領袖、國防軍將星の行方については總統と共にベルリン防衛陣の華と散つた者もあるが、自ら命を絶つ者、或は聯合軍に逮捕される者など何れも「英雄の末路哀れ」な情報も傳へられてゐる、現在なほ行方不明といはれる者も少なくないが、今までの情報を経合してドイツ無條件降伏以後に於る彼等の行動を辿つてみよう

### 閣僚

一、マルチン・ボルマン

前總統官房長(國務相) ヒトラー總統の戦死と相前後してゲツベルス前宣傳相らと共に總統官邸内で戦死を遂ぐ

一、ハインリッヒ、ヒムラー

内相、親衛隊長兼保安警察隊長 四月十九日ベルリンで例のベルナドツテ伯と會見、更に二十四日リユベックで再び同伯との會見が傳へられ爾來消息を絶つてゐたが、ヒーツインガーなる假名の下に變裝潜伏中五月二十一日ブレイメルフォルデにおいて英第二軍に捕へられ野戦保安拘留所で取調べを受けた際青酸カリ自殺を遂げ二十五日リユネベルグにある英軍司令部附近に埋葬さる、ヒムラー夫人並びに娘は五月十四日イタリア領チロル地方で米第八十八歩兵師團に逮捕された

一、フォン・リツベントロップ男

前外相 五月二日クロージツク男に外相を讓つて以來行方不明だったが、ライゼの假名をもつ

てハンブルグの下宿に投宿中、六月十四日英軍に逮捕され、査問のためリユネベルグより某地へ護送さる、英國及び聯合國戦争犯罪人表に加へられ公判は九月開始の豫定

息子ルドルフ・フォン・リツベントロップは米第三軍に捕へられ同軍捕虜收容所に收監中

アネリーズ夫人はデンマークに潜伏中だったがコペンハーゲンからデンマーク船でドイツへ密航を企てたのを路上で發見逮捕さる

一、ヘルマン・ゲーリング元帥

前空相兼最高國防會議々長 四月二十四日ベルヒテスガーデンから電話でヒトラー總統にたいしドイツ指導者の地位に就任しようとして出したためヒトラー總統から死刑の宣告を受け、一旦親衛隊に逮捕されたが空軍將兵によつて救助された、五月八日米第七軍によつてインスブルック東方キーツビュエルの路上で夫人及び子供達と共に逮捕さる、第一級戦争犯罪人表に加へられ審問は九月開始の豫定

一、ヨセフ・ゲツベルス

前宣傳相兼總力動員統監 夫人並びに子女四名及び前記ボルマン氏等と共に總統官邸で戦死を遂ぐ、毒藥自殺を遂げたとの説もある

一、ワルター・フンク

前經濟相 聯合軍に逮捕さる

一、ヒヤルマール・シヤハト

前國務相 聯合軍に逮捕さる

一、フォン・ノイラート男

前國務相兼樞密會議々長 フランス第一軍に逮捕さる

一、アルフレッド・ローゼンブルグ

前東邦相、「二十世紀の神話」の著者 五月上旬フランスブルグで英第二軍に逮捕さる

一、カール・デーニッツ元帥

總統兼ドイツ軍最高司令官 五月一日ヒトラー氏の後を受け總統に就任、七日アイゼンハワー司令部で無條件降伏取り極めに調印す、聯合軍最高司令部發表によれば現在俘虜として拘禁されてゐる模様

一、フオン・クロージツク伯

元藏相、前外相、首相代理兼藏相

一、アルバート・シュエア

前軍需生産相

一、ヘルバート・バツケ

前食糧相

一、フランツ・ゼルテ

前労働相

一、ユリウス・ドルブミュラー

前交通相

以上五名五月二日デーニッツ内閣に入閣、現在デーニッツ提督と共に聯合軍俘虜の取扱ひを受けてゐる模様

### ナチ黨 首 腦

一、ローベルト・ライ博士

前ナチ黨組織局長、ドイツ労働運動指導者

五月十六日ベルヒテスガーデン南方六十四軒の地點に潜伏中米第一百一師團によつて逮捕さる

一、マツクス・アマン

前ナチ黨出版局長、聯合軍に逮捕さる

一、フランツ・シュワルツ

前ナチ黨財務局長、一時自殺したといはれてゐたが、五月聯合軍に逮捕されたことが判明した

一、バルドウル・フオン・シーラツハ

元ナチ黨青年教育局長前ウイーン州知事、オーストリア領シユワルワで米第十二軍に逮捕さる

一、ユリウス・シュライヒアー

前反ユダヤ運動指導者、五月二十三日オーストリアの某地で米軍空挺部隊によつて逮捕さる

一、ヘルゲゼル

前總統秘書長、聯合軍に逮捕さる

一、ウイルヘルム・ブリユツクナー

前總統首席副官、聯合軍によつて逮捕さる

一、ハンス・ゲツベルス

前親衛隊部隊長、ゲツベルス博士の弟、聯合軍によつて逮捕さる

一、ウエルナー・ナウマン

前宣傳省勤務、五月上旬總統官邸で戦死を遂ぐ

一、カール・クログマン

前ハンブルグ市長、五月解職となる

一、クルト・デイトマール

陸軍中將、軍事評論家、聯合軍により逮捕さる

### 占領地の文化工作

「ダーゲンス・ニヘター」紙

六月二十七日

米軍占領下のドイツにおける文化工作について傳へられるところによれば米軍當局はドイツ國內の大學の再開の準備を進めておりケツチンゲン及びハイデルベルヒ兩大學は近く開校することになつてゐる、米軍のドイツ占領の當初は大學の管理者に適當な人が集らず、ナチ黨によつて追放された老人などが、教育施設管理者に任命された、ついで二、三週間程前には、アーヘンで小學校が再開されたものの、再開までには水、食糧、住宅といふ問題が解決されねばならず、また學校で使ふ教科書からナチ色を拂拭する必要がある、この事業は急速に完成されるわけもないから、現在開校されたといつても、いまだ授業がうまく行はれてゐるわけではない、現在アーヘンの小學校で僅かながら使用されてゐる教科書は米國のコロンビア大學附屬圖書館にあつた古い教科書の複寫だ、次の問題は教師の確保問題で、米軍當局はアーヘンで目下教師を養成してゐる有様だ、このやうな状態だからアーヘン以外の占領地域で小學校を再開するにはここ半年乃至一ケ年を要するだらう、米軍占領下の地域では一切の娯樂は禁止され映畫館一つ開かれてゐない、音楽のきけるところといへば教會位のもので、之はソ聯の遣り方とは好い對照をなしてゐる、米軍は今日までドイツに四百萬冊に上る軍事、政治關係書を送り込んでをり、侵攻軍司令部も百二十五冊の米英書籍をドイツ語に翻譯してドイツ人の再教育を行ふことになつてゐるが、このうちにはグルー著「滯日十年」も含まれてゐる



昭和二十年七月三日(火)  
第三四七一號

# 同盟通信

## 海外電報

(151)

國共兩政權の確執は、遂に重慶行政院長兼外交部長宋子文のモスクワ訪問となつた、米英宣傳機關はこれを機會にそれぞれの角度から勝手な謀略放送を行ひ、恰も宋のモスクワ乗込みで全東亞の問題が組上へのせられるかのやうに宣傳してゐるが、その手のうちは見えずいてゐる、本日のリスボン電は、ワシントンの時事評論家バーナード・



ノーヴァアの所論を報じてゐるが重慶に對しては相當痛烈な批判を加へてゐる、即ち重慶は何時の間にか大國の列に加へられたが、これは聯合國が自己の陣營を華々しく飾りたいための仕組に過ぎず、ノーヴァアはそれをあつさり暴露した、即ち重慶政權の統制圏は唯に延安の勢力圏に及ばぬばかりでなく、支那の主要港灣や鐵道幹線、重要工業地點は悉くその支配圏外にある、従つてノーヴァアによれば聯合國間に介する大國としての重慶の地位は、事實と言ふよりは儀禮に過ぎず、現實と言ふよりは希望に過ぎぬのだ、それが延安と日々深刻に争つてゐたのは、聯合國の東亞における共同戦線も怪しいものである、だから米國としても渝延の合作を希望すること當然である、然しこの當然はなかなか實現しない、寧ろ不可能に近い、渝延關係の不圓滑な因子は、第一には中國の政情による内在的なものであり、第二には、今日の國際關係よりする外來的なものである、兩者の確執は先には孫文時代の聯俄容共を必要とし、次には西安事變を誘致し、更に支那事變を契機としての國共合作から、今日更に再分裂するに至つた事情を見て、如何に底深いものであるかがわかる、本來水火相容れぬものが、時の外的環境により政治的勾結を行つてゐるに過ぎない、しかしその勾結と言ひ合作と言ふものは、水と油の合流と異らぬのである、この内在的事情に加へて、國際關係の微妙な作用がある、渝延關係の調整はパトロンである米國とソ聯が思ひ思ひの考を持つてゐては難しいことだ、上述ノーヴァアがモスクワ會談に對して、多分に警戒的結論を附してゐるのは注意すべきである。

### 目次

ス議長宋子文會見	一八八六
米英會談を重視	〃
赤軍移動を開始	〃
三頭會談は今週末	〃
【米 國】	
國務長官にバーンズ	一八八七
大統領後任決定法案	〃
軍隊から外交官募集	〃
米國共產黨員の活動	〃
空港建設豫算案	〃
戦時食糧局廢止	〃
失業者激増せん	一八八八
罷業従業者を徵集	〃
軍港撤去工事に捕虜を使役	〃
全米知事會議	〃
米國輸出入狀況	〃
米國に對する逆貨與額	〃
米軍負傷兵の歸還	〃
【英 帝 國】	
チャーチル労働黨を攻撃	一八八九
駐ソ濠公使の反ソ言動	〃
ホーホー卿公判に	〃
印度各派協議を續く	〃
【ス ペ イ ン】	
ラヴァル引渡しを拒否	一八九〇
聯合國西に新要求	〃
西の對米媚態	〃
政治犯裁判所を廢止	〃
【歐洲戦後處理】	
米軍近く伯林入城	〃
カルパトをソ聯に割讓	一八九一
占領地帯の再調整開始	〃
獨紙の發行を許可	〃
【波 蘭 問 題】	
波統合政府に参加を拒否	〃
グラブスキー波都へ	〃
瑞典、統合政府を承認	〃
フランスも承認	〃
沖繩の戦訓	一八九二
【特 輯】	
英國と西歐聯合	一八九三
【資 料】	
聯合國機構憲章全文	一八九七

## ス議長宋子文會見

(モスクワ三十日發)重慶行政院長宋子文は三十日午後モスクワ飛行場に到着、モロトフ外務人民委員、ロゾフスキー同次長はじめモスクワ駐劄米國大使ハリマン、英國大使クラーク・カーの出迎へをうけたが、スタリーン議長は同日直ちにクレムリンにおいて宋子文と會見して、右會見にはモロトフ並びに重慶駐劄ソ聯大使ペトロフの兩氏が列席した、モスクワ飛行場はソ聯、重慶兩國々旗で飾られ、宋子文の到着に際して兩國々歌が奏せられるといふ有様だつた

## 米英、會談を重視

(ワシントン一日發)宋子文一行が三十日モスクワに到着、愈々ソ聯當局と商議開始の段取りとなつたとのモスクワ電は、聯合國統一戦線のエヤー・ボケット、渝延關係に對して調整の試みが行はれるものとして、その成否に對しては米英兩國とも相當關心を示してゐる、但し英米いづれも重慶、延安兩政權に對しては、必ずしもソ聯と立場を同じくせぬため、モスクワ會談が直ちに自己の有利に展開するとは期待せず、ただ目下探索的報道を試みてゐる程度だ、右につき米國時事評論家バーネット・ノーヴァーは一日の「ワシントン・ポスト」紙上大要次の解説を試みてゐる

ソ聯、重慶關係がうまく解決されぬと東亞における事態にも響くところ大きい、宋子文のモスクワ乗込みでここに兩國關係を阻む主要な問題に對する處理方式發見に絶好の機會が到來したわけだ、現在のところ重慶の聯合國關係における大國としての地位は、實際上の地位をいふよりか、寧ろ儀禮的なものであり、現實のものといふよりか希望的なものに過ぎぬ、第一支那の重要な地域は、主要港灣や鐵道網と共に重慶政權の統制下にはなく、工業の大部分も極く小部分を除く外同様である、且つ南京政權の統制下以外の地域においても、重慶の統制が及ばぬ地域即ち延安の勢力圏がある、米國は支那の役割をもつと大きくするために、重慶と延安の接

近に努めたが失敗に終つた、渝延の何れも他方の希望を容れようとはせず、殊に延安は蔣介石が中共の條件を容れようとする毎にその代償を倍に引き上げる始末であつた、今のところ米國の援助は重慶一本に集中されてはゐるものの、聯合國として渝延を接近させる努力を抛棄したといふのではない、ただし聯合國の渝延確執に對する中立は、ソ聯の態度によりぶちこはされはせぬか、その危険は十分ある、蓋しモスクワの援助は延安にだけ行はれる恐れがあるからである

## 赤軍移動を開始

### — 獨占領地境界線の修正 —

(チューリッヒ一日發)ドイツ占領地の境界線畫定問題については最近米英兩國とソ聯間に意見の一致をみるに至つたが、第二十一集團軍司令部からのロイター電によれば、境界線の最終的決定に伴ふ兵力の移動が七月一日から開始されたといはれる、かねて豫想されてゐた通り赤軍の西方進出は米軍の占領地域において著しく英軍はバルト海岸地區のメクレンブルクから大半撤收した様子だ即ちリューベック來電によれば赤軍の前進部隊は正面四十哩深さ二十七哩に亘る英軍の撤收地域に進駐したが右地域の中にはシユヴェーリン、ルドウイツヒスルスト、ハーゲナウ、シエンベルグの各地區並びにリューネブルクの一部(ヴァイスマールを含む)が含まれてゐるといはれる、一方米軍の撤收地域に關してはまだ公式發表がないが米軍はヤルタ決定に基く境界線の東方八十乃至百哩の地點まで進出してゐたので、米軍の後退は廣範圍に及ぶ様子だ

## 三頭會談は今週末か

(ストツクホルム三十日發)ロンドンからのロイター電報が英國消息筋の觀測として傳へるところによれば、三頭會談は七月七日か八日にベルリンで開催されるものとみられてゐる、ただしイデーデンは病氣のため會談には參加出来ない模様だ

## 【米 國】

### 國務長官にバーンズ

(リスボン三十日發) カンサス・シテイ來電 下院陸軍委員會は過般來米國における共產黨員の活動に關し調査を行つてゐたが、二十九日要旨左の中間報告を發表した

「米國の共產黨員は外國からの積極的支持並びに潤澤な財政的援助等を得て全米到る所で活動を續けて來た、この活動は一般社會のみにとどまらずつひには軍隊の内部にまで入り込んだ、ただし、米ソ兩國はドイツを共同の敵としてゐた關係上、共產黨員の活動は米國の國家的利益と背馳する如き方向には進まなかつた、即ちドイツがソ聯に侵入して以來、共產黨の宣傳の中からは武力をもつて米國政府を顛覆し、米國內に共產主義國家を建設するといふやうな主張は消え去つた、しかしながら今や米國は新たな時代に入らんとしてをり、今後如何なる事態が発生するか豫測出来ない、斷乎たる決意を持つ共產黨員は再びマルクス及びレーニンの夢を實現する如き革命を企圖すべく、彼等のかかる活動は外國からの支援があらうとなからうと、如何なる妨害にもめげず斷乎繼續されることを豫想せねばならない」

### 大統領後任決定法案

(リスボン三十日發) ワシントン來電 下院は二十九日大統領後任決定法案を可決、上院に廻付した、この法案はさき到大統領トルーマンによつて議會に勸告されたものだが、下院を通過した法案の要旨左の通り

一、大統領及び副大統領なきとき、大統領に就任するものを下院議長とする(現行法によればこの人物は國務長官)

一、下院議長なきときは、下院が議長を選出するまで臨時上院議長が大統領に就任する

### 軍隊から外交官募集

(リスボン三十日發) ワシントン來電 國務省は二十九日次の通り發表した

國務省は近く四百名の外交官を採用するが、このうち出来るだけ多數を陸海軍、海兵隊、沿岸警備隊の兵員中から募集する豫定で既に陸海軍當局との間にも打合せを了した、今回の外交官の大量採用は戦後の國際關係において米國の荷ふべき責任が極めて増大することに對處せんとするものであるが、一方では國務省は開戦以來陸海軍の兵員要求に應じて新たに外交官の採用を中止してゐたため、現在非常な人手不足状態にあるためである、應募者の資格は年齢二十一歳乃至三十歳で、十五年以上米國市民でありまた既婚者の場合その妻も米國市民でなければならぬ

### 米國共產黨員の活動

(リスボン三十日發) ワシントン來電 下院陸軍委員會は過般來米國における共產黨員の活動に關し調査を行つてゐたが、二十九日要旨左の中間報告を發表した

「米國の共產黨員は外國からの積極的支持並びに潤澤な財政的援助等を得て全米到る所で活動を續けて來た、この活動は一般社會のみにとどまらずつひには軍隊の内部にまで入り込んだ、ただし、米ソ兩國はドイツを共同の敵としてゐた關係上、共產黨員の活動は米國の國家的利益と背馳する如き方向には進まなかつた、即ちドイツがソ聯に侵入して以來、共產黨の宣傳の中からは武力をもつて米國政府を顛覆し、米國內に共產主義國家を建設するといふやうな主張は消え去つた、しかしながら今や米國は新たな時代に入らんとしてをり、今後如何なる事態が発生するか豫測出来ない、斷乎たる決意を持つ共產黨員は再びマルクス及びレーニンの夢を實現する如き革命を企圖すべく、彼等のかかる活動は外國からの支援があらうとなからうと、如何なる妨害にもめげず斷乎繼續されることを豫想せねばならない」

### 空港建設豫算案

(リスボン三十日發) ワシントン來電 下院國際商業委員會は二十九日總額六億五千萬弗の一般用空港建設豫算案を可決した、この計畫によれば聯邦政府の手により今後十ヶ年に米國各地に多くの空港を建設せんとするもので、更に民間航空局長は商業用並びに軍事用に使用し得る空港擴充計畫を樹立すべきことを規定してゐる

### 戦時食糧局廢止

(リスボン三十日發) ミズリー(カンサス州)來電 大統領秘書チャールス・ロスは二十九日左の通り發表した

大統領トルーマンは戦時食糧局を廢止し、その機能をあげて農務省に移譲する大統領令に署名した

## 失業者激増せん

(リスボン二十九日發)ワシントン來電 戰時人的資源委員會は二十八日次の統計を發表した  
一、今後十二ヶ月間に軍需産業の閉鎖により職を失ふ労働者並びに軍隊から解放される者の數は七百七十萬に達しよう

一、但しこのうち民需經濟活動の擴大によりこの方面に吸収される者は六百三十萬に上らう  
一、結局昨年七月一日までには米國は百八十萬の失業者を出す豫想である

而して右は政府當局の作成した非常に控へ目な統計であり、労働界その他民間の統計はいづれもこれより遙かに大きな失業者數を豫告してゐる

## 罷業従業員を徴集

(リスボン三十日發)アクロン(オハイオ州)來電 一  
アクロンのグッド・イアイゴム會社工場従業員一萬六千七百名は賃銀問題から罷業を繼續中であつたが政府は三十日突如として強權を發動して罷業中の従業員中兵役年齢にある者全部を強制的に陸海軍に徴集するに決した旨發表した、これに對し組合側は大統領トルーマンに對して抗議電報を發し政府の措置が「非アメリカ的、非民主主義的」であるといきまいてゐる

## 軍港撤去工事にドイツ捕虜を使役

(リスボン二十九日發)シアトル來電 米國陸軍當局は今夏ドイツ人捕虜七百名に對して強制労働を課しアラスカの某地點に設置された陸軍用港の施設撤去工事を開始することになつたといはれる  
同港施設は一千八百萬弗の經費をもつて設置されアリニューシヤン列島方面に作戦した米陸軍の補給に任ずること十一ヶ月で今回撤去されることになつたものである

## 全米知事會議

(リスボン三十日發)デトロイト來電 全米知事會議は七月二日からヒューロン湖のマキナック島で開催されることになり四十二州の知事がこれに出席する、トルーマンも右會議に出席する豫定であるが主要議題は現下深刻化しつつある食糧事情

の緊急對策の協議にあるものとみられる

## 米國輸出入狀況

(リスボン三十日發)ワシントン來電 商務省は二十九日一九四四年の米國の輸出入狀況に關し左の報告を發表した

一九四四年における米國の輸出高は百四十億弗の巨額を示した、但しこれには海外派遣軍向物資を除く武器貸與物資が含まれてゐる、而してこの輸出額の約三分の二は英本國及びソ聯向けであつたが、これは一九三九年、即時戦前には總輸出額の僅か十八パーセントに過ぎなかつた一方、一九四四年の輸入は三十九億弗でその三分の一餘は中南米諸國からであつたが、一九三九年における同地域からの輸入額は總額の二十パーセントであつた

## 米國に對する逆貸與額

(リスボン三十日發)ワシントン來電 外國經濟院長クロリーは二十八日米國が聯合國から受けた逆貸與狀況につき次の通り發表した

一九四一年三月武器貸與法成立以來、米國が聯合國諸國から受けた逆貸與額はつひに五十億弗を突破した、逆貸與額は最近數週間特に激増したが、この主要原因はクエーン・メリー、アキタニア號等を含む英國の船舶が歐洲戰域からの米國兵の本國歸還に動員された結果、英國の對米勞務供給額が激増したこと、太平洋、東亞戰域にある米國兵に對する聯合諸國の食糧供給額の増加並びに歐洲における米國兵の移動に對するフランス、ベルギー、オランダ諸國の物資援助の増加等である

## 米軍負傷兵の歸還

(リスボン二十九日發)ワシントン來電 歐洲及び地中海方面に未だ米軍負傷兵約一萬九千が残留してゐるが、この内一萬四千は船で、五千は飛行機で、八月一日までに全部本國へ歸還する豫定であると、二十八日陸軍省から發表された、なほ今日までに本國へ歸還した負傷兵は八萬三千名に達してゐる

## 【英 帝 國】

### チャーチル、労働黨を攻撃

(ストックホルム三十日發) ロンドン來電ニ英國首相チャーチルは三十日夜ラジオを通じて海外の英國軍將兵に向つて選舉演説を行ひ、労働黨を攻撃して次の通り述べた

「余が首相として諸君に語るのこれが最後かも知れぬし、あるひはさうでないかも知れぬ、一切は諸君の意思に懸つてゐる、余は他の何人よりも諸君が來るべき數年間危険と困難を潜り抜けるのをよく援助出來ると確信するし、また全力を盡す決意である、余は諸君の回答を待つてゐる、「否」か「應」だけでよいのだ、余は誇りも權力への渴望もなしに諸君の答を待つてゐる、過去において起つた一切の事件と諸君が余のためにつくした一切のことを考へるならば、余が首相の地位を維持して何を得、首相の地位を失つて何を喪ふといふのであらうか、余は確信をもつて諸君の回答を待つものだ、諸君が余を政權から追ひ落さずに、余の政敵たる労働黨か自由黨に投票出來るといふことは絶対に不可能だ、労働黨は過般の大會で選舉後他の政黨と提携しないと正式に宣言した、余もまた英國を破局に導く政策をとる労働黨内閣に仕へるを潔しとしない、もしも労働黨内閣が再び誕生したならば、政權を掌握するのは労働黨の首腦者達であり、彼等が全部の責任を負ふべきだ、もしも労働黨が壓倒的多數を確保せずに第一黨となつたならば、自由黨の支持を求めらるであらうが、それは根本的に政見を異にし、政權を維持する以外に大目的を持たぬ人々の間の不健全な妥協を基礎とする弱い不安定な政府とならう、現下の時局が要請するのはかかる政府ではない、必要なのは強力且つ統一ある政府である、英國は他の諸國に勢力を揮はずしては、戰爭中英帝國自治領諸國から勝ち得た信頼感を失ふこととならう、そして驚くほど短期間に二流國に墮してしまふであらう

### 駐ソ濠公使の反ソ言動重大化

(リスボン二十九日發) キャンベラ來電によれば、モスクワ駐劄濠洲公使ジョセフ・マロニーは、

最近歸國した際非公式の席上で濠洲労働黨の議員團及び「サン」紙記者を前にしてソ聯國內情勢を一席辯じ

一、ソヴェト政府は共產黨員及び高級技術者を普通の労働者よりも遙かによく待遇して新たな貴族制度を持ち込んでゐる

一、ソヴェト政府は仕事の種類に従つて五種の食堂切符を出してゐるが、切符を交附する實權を共產黨が握つてゐるため帝制時代と同様の嚴格な階級差別が存在することになつてゐる

一、國營の賣店で公然と闇取引が行はれてゐるため、地位の高い者はなんでも手に入るが普通の労働者には手も出ない

と述べたといはれるが、キャンベラ駐在ソ聯公使館はマロニーの反ソ言動に對して強硬な態度を示し、二十八日正式に濠洲外務省に説明を要求した濠洲政府はあまりにも事件がはつきりしてゐるため陳謝のほかないとみられるが、場合によつてはマロニーの召還も起り得る様子だ

### 「ホーホー卿」公判

(ストックホルム三十日發) ロンドン來電ニ反英放送で有名な「ホーホー卿」と英人ウイリアム・ジョイスはロンドンのボウ街警察裁判所で取調べられ、大逆罪をもつて起訴されるに決定したが二十八日オールドベリーレイの最高法院で公判に付せられることになつた

### 印度各派協議を續く

(リスボン三十日發) シムラ來電によればウエーヴェルは印度各派代表に對して來る七月五日までに行政參議會に入るべき各派代表の名簿を提出するやう要請、これに對し各派では依然協議を續けてをり國民會議派は三日回教徒聯盟は五日それぞれ執行委員會を開いてこの問題に對する最後の決定を下す豫定といはれる、ロイター特派員の報道によれば國民會議派では行政參議會の改組に關しては英國案即ち行政參議會内における印回兩教徒の均勢並びに各派の推薦した候補者に對する選擇權は總督の手中にあるとの案を受諾したがジンナは依然新參議會における回教徒委員は回教徒聯盟の任命によらなければならないとの強硬な態度を持してゐると傳へられる

## 【スペイン】

### ラヴァアル引渡を拒否

(リスボン三十日發)ロンドン來電「デーリー・メール」紙ベルセロナ特派員の報道によれば、スペイン政府は閣議の結果フランス政府の要求にも拘はらず、目下同國に亡命中の元フランス首相ピエール・ラヴァアルをフランス政府には引渡さぬことに決定した、即ち佛西兩國間の逃亡犯罪人引渡協定には亡命政客は含まれぬことになつて居り、これを理由にスペイン政府はラヴァアル引渡しの要求を斷乎拒否するに決したもので、フランス赤色分子のスペイン潜入問題、フランス抗戦集團のスペイン人搭載列車襲撃事件、兩國國境の閉鎖などの諸事件を機に一路險悪化してゐる佛西關係は更に緊迫するに至り、兩國の斷交も豫想されるに至つた、勿論、スペイン政府はフランスに對しては強硬な態度を採りつつも米英に對しては媚態的外交政策を採つてをり米英兩國がラヴァアルを戦争犯罪人として引渡せと要求した場合には之に應ずることには内定してゐる模様だ

### 聯合國スペインに新要求

(リスボン三十日發)「ニューヨーク・タイムズ」紙マドリッド特派員はスペインにたいする聯合國諸の新たな壓迫について、三十日次の通り報じてゐる

スペイン國內のドイツ系學校を秋になつて再開しようとする計畫があるので、スペイン駐劄聯合諸國の代表はスペイン政府に對しドイツ系學校の全財産を引渡し、且つドイツ管理理事會が許可を與へるまでこれらのドイツ系學校をドイツ系以外の基金によつて再開することを許さない旨の保證を與へよと要求してゐる、他方スペインの有力筋では學校を従前通り經營させようと盛んに運動資金を集め廻つてをり、もしドイツ系學校の經營繼續が不可能なら學校を他所へ移し學校名をスペイン名前に變へ、スペイン人の教師を使つて經營させようと運動してゐるスペイン政府としてはドイツ系學校が地券を所有して經營されてゐるためこれをドイツ政府の

資産として差押へることが出来ない事情にあり聯合諸國代表がドイツ系學校はナチの宣傳機關であるから早く引渡せと嚴重に要求してゐるにも拘はらず、ほとんど何等の効果も擧げてゐない、スペイン國內にあるドイツ系學校の總數は三十に達し、生徒數は約一萬に上つてゐる

### スペインの對米媚態

(リスボン二十九日發)獨伊樞軸の潰滅により頓に孤立化したスペインのフランス政府は米英陣營に乗換へのため種々屈辱的態度に出て居り、米國の如き特にこの弱點に乗じてスペインを米國の利權國化しようとして高壓迫方策を弄してゐる模様である、既にフランス政府は昨年十二月、米西航空協定により米國航空會社に對してマドリッド附近に飛行場の讓與を約したが、二十四日附「オプザーヴァ」市の報ずるところによれば、スペイン人はマドリッド市外に「新ジブラタル」が出来たとて眉をひそめてゐる、さらに同紙の報道によれば米國諸會社の利權割込みは續々と行はれ、テキサス・ヴァキウム石油會社はカナリ島に龍大な精油工場及び貯油所の構築權を獲得した、その他數々の對米利權讓歩が噂されてゐるが、何れにせよ歐洲及び近東の中繼地としてのスペインに米國が航空基地を持つことは英國の利害にも直接響くことであり、「オプザーヴァ」紙の如きは、フランスの利權政策をもつて以夷制夷の奸策であると間接攻撃を試みてゐる

### 政治犯裁判所を廢止

(リスボン三十日發)マドリッド來電によればスペイン政府は今回政治犯裁判所を廢止し、肅清委員會を設置するに決した旨發表した

### 【歐洲戦後處理】

### 米軍近く伯林入城

(チューリッヒ二十九日發)ベルリン全域は目下赤軍が單獨で占領してゐるがパリからのAP電報によれば米國軍は來る七月一日ベルリンに向つて「勝利進軍」を行ひ、共同占領に着手する豫定といはれる

# 同盟通信

海外電報 (第三種郵便物認可)

## カルバートをソ聯に割譲

(ストツクホルム二十九日發)モスクワ來電ソヴエト政府は二十九日夜タス通信社を通じて「ソヴエト、チエコスロヴァキア兩國間にチエコ領カルバート・ウクライナ地方をソ聯に割譲する旨の協定が成立、二十九日モロトフ外務人民委員とチエコ首相フイエリルンゲルとの間に調印を了した」旨發表した

カルバート・ウクライナは山嶽に富む農業地方で五千五百平方哩、戦前の人口は八十萬であつたソ聯、ルーマニア、ハンガリー國境を接し、第一次大戦前はオーストリア・ハンガリー聯合王國の一部をなしてゐた、同地方は前世界大戦後の處理に於てはチエコスロヴァキアの東域に編入されたがヒトラー政権下、ズデーテン問題處理に關する一九三八年九月三十日のミュンヘン協定後、國內に擡頭した少數民族獨立の機運に乗じ、遂に一九三九年三月、ベームン、メーレンのドイツ保護領化に當りスロヴァキア共和國の獨立とともに獨立を宣し、事實上下ドイツ勢力下にあつたものである

## 占領地帯の再調整開始

(リスボン三十日發)パリ來電歐洲侵攻軍司令部は三十日次の通り發表した  
ソ聯との間の取極め成立に伴ひドイツの占領地帯内における赤軍と聯合軍との再調整は七月一日から開始され米英佛三軍もそれぞれの占領地帯が最終的に決定次第速かに再調整を行ふ豫定である

## 獨紙の發行を許可

(リスボン二十八日發)パリ來電歐洲侵攻軍司令部はハイグリツヒ・ホランヅに對してドイツ語紙發行に關する臨時許可を與へた、右は聯合軍の占領地帯内における最初の許可で、ホランヅは本年二月二十四日以来アーヘンで「アーヘナー・ナハリヒテン」といふ週刊紙を發行してゐたが今回正式に許可を與へられたものである、同紙は現在發内部數五萬を算してをり聯合軍新聞部長代將ロバート・マツクルーアは右許可を與へるに際しホ

ランヅに對して次の通り言明した

貴下の眞摯な努力と誠實とによりドイツ人に役立つ民主主義的新聞を作製するに成功すればやがて新聞發行に關する一切の制限が除去され貴下の新聞がドイツ全土における自由な新聞の典型となる日が來るであらう

## 【波蘭問題】

### 波統合政府に参加を拒否

(ストツクホルム三十日發)ロンドン來電によれば新ポーランド統合政府の遞信相に任命された、ヴィヤチエスラフ・トウグートは二十九日亡命ポーランド政府首相アルチシエフスキーに對して新政府に参加する意思が全くなく、従つてロンドンを離れない旨通告したといはれる、ロイター通信社はトウグートが六月初旬ワルシヤワに赴き既にポーランド假政府に参加してゐると報じたが、今回の報道によりトウグートが依然ロンドンに留まつてゐることが明かにされた、トウグートの新政府参加拒絶によりワルシヤワ政府以外から参加したポーランド政界代表は僅かに四名となつたわけである

### グラブスキー波都へ

(ストツクホルム三十日發)ロンドン來電亡命ポーランド政府の元國民會議々長スタニスラフ・グラブスキーは今回新ポーランド統合政府の本國民會議副議長に任命されたので、三十日ロンドンを出發、ワルシヤワに赴いた

### 瑞典統合政府を承認

(ストツクホルム二十九日發)スエーデン政府は新ポーランド統合政府と外交使臣を交換するに決定した旨二十九日發表した、大使にはポーランドからの石炭購入の交渉に當つてゐたブリノルフ・エンク氏が任命される

### フランスも承認

(チユーリツヒ二十九日發)パリ來電フランス假政府は新ポーランド統合政府を承認するに決定すると同時にロンドンの亡命ポーランド政府との外交關係を斷絶した旨二十九日發表した

## 沖繩の戦訓

(ストックホルム二十六日發) 近着の「デーリー・メール」紙は沖繩従軍記者コリン・ベッドノールの現地十九日發電の沖繩戦に關する次の如き報道を載せてゐるが、敵軍が如何に皇軍の特攻戦術に慘澹たる損害を喫しつつあるかを述べ、敵もまた「沖繩の戦訓」により爾後の對日戦に覺悟を新にせねばならぬことを示してゐる

沖繩は略々米軍の手に歸したが、第一にはこのため流された血、第二には終局において日本々土攻撃に際して當面せねばならぬ先例として考慮すべき點に鑑み沖繩戦は慎重檢討を要する

米國の軍事評論家中には米軍最高指揮指導部にたいして眞珠灣以來の痛烈な批判が行はれてゐるが、沖繩戦が重大な反響を呼ぶことは不可避で、その一つとしてマツカーサーにたいして太平洋全陸上軍の最高指揮權を與へようとの動きが政界に現はれることは先づ確かだ、沖繩戦を吟味して第一に顯著な事實は米軍が上陸後南進に當り敵の困難かつ高價な正面攻撃に遭遇したことである、日本軍は沖繩防衛のため捨身の戦法に出たが、これは硫黄島でみたより更に大規模なもので日本守備軍を殆ど一人づつ殺さねばならなかつた、沖繩戦の教へる第二は日本軍司令部が將來にたいして非常に意を強くしたことである、蓋し沖繩作戦の最高潮時において聯合國海軍は揚陸した海兵よりも陸兵よりも大きな損害を蒙つた、こんなことは米國海軍の歴史においても、乃至近代式水陸兩様作戦においても會てなかつたことである、第五十八機動部隊司令官ミツチャーは自分の坐乗してゐた旗艦を二回に亘つて日本航空部隊によつて攻撃されてをり、米國海軍省が正式に發表した沈没乃至破損艦船丈でも七十五隻以上に達してゐる、日本艦艇は沖繩戦には事實上参加せず、米國側の損害の殆んど全部は日本航空部隊の擧げた戦果であるといへる、沖繩戦に日本側が海軍艦艇を使用せず専ら空軍力を駆使したことは新しい手だ、同作戦における「カミカゼ」特攻機の出撃は眞に危険

な武器であつた、重大損傷を受けた艦船は浮ドックでは修理を行ふことは出來ず、幾千哩かを航行して本國に回航し、造船所に入れて徹底的修理を施さねばならぬのだ、ところが、歐洲戦の終了の前後に無数の造船工員は奥地の家に移動を開始したため太平洋戦域から米國に回航された破損艦艇を修理するのに手不足を來した、このことは米國政府當局も公然と發表してゐる

沖繩作戦に参加して損傷した艦艇を修理出來るやうな風に造船所を活動させるには海軍省當局としても猛烈な努力を行はねばならぬわけだ、日本の特攻機が沖繩沖で米國艦艇に體當りを敢行したことは米國戦力の弱點を衝いたものであつた、特攻機の活躍によつて米國艦艇は約一ヶ月間も戦闘區域から後退しなければならなかつたし、日本側が特攻機の作戦で成功を収めたことは残念ながら否定出來ない事實だ、また沖繩の日本軍守備隊の數は日本軍の總數に較べると微々たるものだが、米軍上陸以來三ヶ月の日本軍の熾烈な遊撃は沖繩の日本軍が如何に旺盛な抗戰意識をもつて戦つたかを實證するものだ、この日本軍と對抗するためには想像を絶するほど老大な準備を必要とする

そこで日本々土で遭遇を豫想される若干の自然障rierについてここで簡単に検討を加へるのもあながち無益であるまい、もしも日本の地形圖の上に英本國の輪廓を載せて透してみるならば日本が豫想以上に大きいことにまづ一驚を喫するであらう

日本は歐洲人が世界地圖を眺めて頭の中で考へてゐるよりも實際には遙かに大きい、名古屋から東京灣までと九州南部の一部、日本海岸等は好適の上陸地を提供してゐるが、狭い海岸沿ひの平野を到るところにもち鬱蒼と樹木の繁る山嶽があり或場合には到底入り込むことが出來ない、しかるに山脈のないところには別種の軍事的重大障rierがあるのだが、これは米英に殆んど知られてゐないことだ、この障rierとは完全に水溝で圍まれ無数の米畑や數限りない小さな島だ、稻が伸びてゐる時には畑は膝まで浸るほどの泥で埋まつてゐる、時には米畑は巨大な湖と化してゐるところもある、以上の山嶽地帯と米畑の擴りは機械化戦争には全然適しない、この點はよく記憶しておく必要がある





### 英國と西歐聯合

—「エコノミスト」誌の論説を中心に—

原子林二郎

#### △大陸國としての英國

逆説的な言ひ方が許されるならば、第二次歐洲大戰までの英國の政治は本國になくて歐洲大陸にあつた、世界における英國の地位を決定する尺度は、歐洲大陸における英國の地歩如何にあつた、第二次大戰前までの歐洲外交史を繙くものは、英國が歐洲大陸諸強の對立相剋を煽動し工作することによつて諸小國の帝國主義的支配に努めてきたことを知るであらう、即ち英國の自治領植民地に對する政治的、經濟的支配は、歐洲大陸における英國の地歩従つて歐洲大陸諸小國に對する英國の政治的經濟的支配によつて始めて完了すると言へよう、このことは英國獨占資本の必然の要請であつた、この點からみて英國は寧ろ歐洲大陸國と稱べねばなるまい

英國が一九三九年九月三日ドイツに對して宣戰を布告したのは、東歐の弱小國ポーランドを援助するのでもなければ、歐洲民主主義の大義を擁護するためでもない、まして英國のやむにやまれぬ義務感からでもないことはいふまでもない、それはナチ・ドイツの進出が歐洲大陸における英國の勢力均衡政策を粉碎し、歐洲大陸諸小國における英國支配に重大脅威を與へたからであつた、英國にとつては單なるポーランドの運命は問題となり得ない、問題となるのはポーランドを含む歐洲諸小國における英國の地歩であつた、従つて歐洲戰の勃發は英國獨占資本の必然の要請であつた譯だ

#### △戰後の救済

歐洲戰爭が始まり、獨ソ戰の勃發となり、英國は五ヶ年餘に亘つて文字通りの惡戰苦闘を續けたを以て英國の手に入れたものはなんであつたか、ソヴェト聯邦の軍事評論家トルチェノフ大佐によ

れば、ドイツの敗戦を運命付けたものはソヴェト聯邦の軍事力と米國の經濟力とであつたといふことだが、更に老帝國主義國たる英國の衰頹が數へられはしないであらうか、英國は成程ソヴェト聯邦の武力と米國の經濟力のお蔭でドイツを仆すことが出来た、が、その結果達成したものは所謂民主主義の護持でもなければ、フアシズムの覆滅でもなく(なぜならば英國の政體を言葉の眞の意味における民主主義といふことも出来ないし、植民地における英國の支配形態はフアシズムと二滴の水のやうに似通つてゐるからだ)實に戰前、歐洲において占めてゐた地歩の喪失であつた、英國に對する米國の武器貸與が、英國をして政治的にも經濟的にも米國の隸屬國に追ひやつたことは別問題とするもバルカンも含む歐洲大陸においては、英國はソヴェト聯邦に發言權を奪はれ、南米、東亞における市場は米國に喪はれ、更に英國の破産白書によれば十億餘磅の海外資産を蕩盡したばかりか二十三億餘磅の老大な對外債務を背負ひ込むに至つたのだ、歐洲における英國の地歩を支へるものは磅の光であつたのだが、債權國から一轉して世界最大の借金王になつたのである

英國は歐洲の大半からは閉め出され、戰後の世界市場において米國と鬪ふ餘力がないとすれば、どこかに救済の道を講じなければならぬ、そこで英國の基督として現れたのがスマッツ元帥の西歐聯合案である、爾來英國は西歐聯合案の宣傳と實現のための工作を執拗に展開したが、ソヴェト聯邦や米國からその「帝國主義的意圖」を攻撃され西歐諸國からは木で鼻をくくつたやうに扱はれ、いつしか立ち消えを餘儀なくされてしまつた、しかるに實際に歐洲戰が終つた今日、再び燒棒杖に火がついて西歐聯合案が蒸し返され初めた、その第一聲を承はつたのが「エコノミスト」誌である

#### △歐洲統一の夢破る

「エコノミスト」誌は六月二日號に「歐洲における新たな型」と題する論説を掲載して西歐聯合が歴史の必然的要請である所以を縷々と述べてゐるが、まづ以前英國の西歐聯合を提唱する聲が一應消え失せたクリミア會談以後の歐洲における事態

から筆を起してゐる

「ヤルタ會談では歐洲を數個の勢力圏に分割することを防止するため至高の努力が拂はれ、昨秋英國政府によつて削減された祝福を受けた西歐聯合案はソヴェト聯邦が東歐における自國の排他的勢力圏を辯護する材料として使用しないやうに慎重に押し除けられた、會談が終つた後一寸の間、以上の計畫が成功を収め、米英ソ三大國の協力の下に全歐洲に單一の統合政策を實現する夢想を育むことが出来ると信じてよかつた、しかるに甘い夢は長くつづがなかつた、リユベツクからトリエストにかけて歐洲を縦斷して走る支那の長城の既成事實から依然逃れることが出来るかどうかは別問題としても、ソヴェト聯邦の東歐勢力圏が他國の介入を許さうともせぬことは、もはや明白な事實となつた、ソヴェト聯邦はかうした意圖を明瞭に表示した結果今日では西歐諸國のより緊密な聯合に對する攻撃を手控へるに至つてゐる、勿論西歐プロツクはソヴェトの東歐プロツクほど高い障壁を廻らすべきものではない、それどころか歐洲全體の自由な聯邦乃至は統合の理想に一步近付き得る唯一の方途は西歐諸國、そして恐らくは地中海諸國を緊密に結び付けるにある」

なるほど「エコノミスト」誌のいふやうに、ヤルタ會談における全歐洲統一の實現は一場の夢に過ぎなかつた、しかしこのことは必ずしもソヴェト聯邦の東歐プロツク案によつて攪亂されたものといふことは出来ない、相互に全く利害關係を異にする米英ソ三大國によつて歐洲全體が統一される筈はないし、三國の指導者達も恐らくかかる夢を眞面目に考へられるほど非現實的な譯はない、しかも東歐プロツクが排他的であるのにたいして、英國の提唱する西歐聯合が排他的でないといふ主張は多少滑稽だ、ソヴェト聯邦の企圖する東歐勢力圏は自國の國境を守るためのいはば「防衛前哨要塞線」であり、英國の意圖する西歐勢力圏とは全く性質を異にする、しかも西歐プロツク、更に地中海プロツク（ベギリシヤ、イタリア、トルコ等）を意味するものであらう）が歐洲全體の「繁榮を保障された」自由な聯邦に至る第一歩となすに至

つては恐るべき詭辨である、だが先を続けよう

### △西歐市場の獨占

「大西洋の彼方では米國は地域主義政策に向つて着實に進みつつある、メキシコ市で開催された米洲會議で成立をみたチャプルテペツク憲章は共同防衛と經濟協力を目的とする一種の地域的取極めである、桑港會議においてはラテン・アメリカ諸國を代表する地域主義者達は、安全保障理事會の寛大な監視下に地域的防衛協定の效力を確保することに成功した、もつとも米ソ兩國が地域主義をその外交政策の基石と見做してゐることは、必ずしも兩國が歐洲にも同じ政策を適用する意圖を示すことにはならない、勿論米ソ兩國の今日の態度を明確に規定することは難しいが、スターリン議長は最近の演説で西歐プロツクの理念を祝福してゐるやうだ、勿論スターリン議長は西歐聯合がドイツの將來の復活に對抗するためか、あるひはソヴェト勢力の將來の擴大延長に對抗するためのものかといふ問題を念頭においてゐることはいふまでもない、また米國は西歐聯合の特殊な經濟上の取極めを疑惑の念をもつて眺めよう、西歐聯合の目的は通商關係を結ぶにあるのではなく通商關係を擴大するにあり、一億二千萬の總人口を有する有望な市場としてみるときは、西歐洲は不況と失業の餌食となる分裂した歐洲よりも遙かに安定した通商の對象であることを米國に確信させることは可能である、また局地的聯合が西歐諸國をして經濟繁榮と國際通商を目的とする世界政策に参加することを妨げる筈はない、もしも西歐聯合がチャプルテペツクの諸原則を模範とし、善隣政策に力點を置くならば他の如何なる時にもまして今日こそ米國の遙かに同情に富む承認を受けねばならぬはずである、地域的取極めに對する米ソ兩國の態度變更は東歐洲の緊密な提携への道を切り拓く役目を果す以外のなにもでもない」

ソヴェト聯邦が東歐勢力圏の樹立に努め、米國が米洲共同防衛に名を藉りて西半球勢力圏の確立に向つて邁進するならば、英國もまた西歐勢力圏の設定を目的としてもよいはずではないかといふ

の「エコノミスト」誌の論據である、しかもソヴェト聯邦に對しては西歐聯合は決してソヴェトに對抗し、將來ソヴェト聯邦に對する攻撃の足場とすることを目的とするものではなく、ドイツ・ファシズムの侵略行動に對する防塞の役割を果すものだとして、西歐聯合の軍事的政治的、しかし戦略的意義の隱蔽に努めてゐる、他方米國に對しては、西歐聯合は英國資本の西歐市場獨占を意圖するものではなく「善隣政策」の原則に従つて米國にも甘い汁を吸はせる餘地はあるのだと辯解し、西歐市場の有望なことを仄かして米國の御機嫌を伺つてゐる、將に問はず語りと言はるべきではなからうか

## △フランスの反對

英國の西歐聯合案の意圖するところは明瞭だ、スマツツ將軍がその新世界構想において率直に述べてゐるやうに、英帝國自治領の本國離反傾向と印度その他にみられる植民地における獨立の氣運に直面した英國にとつて残された一途は、戰前傍ブロックの囿となつてゐた西歐洲諸國を英國の支配下に繋ぎ留めて、老衰した英國資本主義の市場を開拓する傍ら、歐洲全域に對するソヴェト勢力を喰ひ止め様とするのが西歐聯合の眞に意圖するところだ、即ち經濟的には西歐洲に排他的な獨占市場を確保し、政治、軍事的には西歐洲に英國の國境乃至は跳躍臺を設定するにある

先へ進まう

「然しながら以上は消極的要因に過ぎない、決定的要因はなんといつても西歐諸國自身の態度如何にある、ノルウェー及びオランダは過去において「大西洋協同體」を提唱した、一九四三年にオランダの外相ヴァン・クレフエンスはドイツの將來の侵略行爲に對する強固な防壁として西歐聯合の觀念を特に支持した、ベルギー政府も共産黨の閣僚を除いて、隣接諸國との最大限の軍事的經濟的結合に賛成してゐることは周知の事實である、フランスでは意見が岐れてゐるやうだ、一般の輿論は、そして共産黨以外特に社會黨は緊密な結合の觀念を支持してゐる、彼等は西歐聯合を既に佛ソ條約に依て基礎づけられた安全保障體制の自然な延長だと見做して

ゐる、歐洲を横斷する安全保障の橋は西の端において強化されねばならぬのだ

政府の政策は通例多様に解釋される曖昧至極のもので且つは甚だ感情的である、ド・ゴールがフランス外交政策の形成に主な責任を負つてゐる限り、事態は何等の變化もみまい、英國政府は既にフランスに對して同盟條約の締結を申し入れた、この申し入れに對してフランスは出来るだけ強固な地盤の上に同盟關係を据ゑるためには、一切の重要問題特にレヴァント紛争及びドイツのフランス占領地帯の問題をまづ第一に解決すべきであると回答してきたのである、そこで交渉はひとまづ頓坐したやうだ、交渉の基礎が英佛兩國の共同政策を積極的に決定するにあるのでなく、意見の相違といつた消極的問題を解決するといふ點に重心を置いてゐる限り打開の途を講ずる方策はあるまい

然しながら諸大國の態度變更を利用して、西歐諸小國間の協力の希望を建設的な方向へ流れ込ませるならば、フランスの歩み寄りをあまり長く待つ必要はない、いづれにしても正しい方向は進んで話し合はうといふ國々を相手に交渉を進め、フランスには席を空けておくことだ、さうすればフランスの態度から角がとれるのも間もないことと思はれる」

## △人民戦線派の疑惑

「エコノミスト」誌によれば西歐諸國で英國の西歐聯合案に反對を唱へてゐるのは共産黨勢力だといふことだが、このこと自體西歐聯合案の本質を遺憾なく曝露するものではなからうか、歐洲戰を契機として各國の共産黨勢力は人民戦線戰術を再び採用してゐるやうだが、もしも「エコノミスト」誌が述べてゐるやうな目的を西歐聯合案が眞實に持つてゐるならば、共産黨は反對しないはずだ、すくなくとも反對することは彼らの戰術的地歩を弱めるはずだ

しかるに共産黨が西歐聯合に反對してゐるのは西歐聯合の背後に英帝國主義の獨占支配の大文字をみてゐるからだ、例をベルギーの國王復位問題にとらう、ベルギーの共産黨、社會黨等の人民戦線派は、レオポルド三世の歸國に反對してゐる、反對してゐるのは國王が一九四〇年五月十八日辱

すべき降伏を行つたためではない、すくなくとも王政問題には感情の入り込む隙はないはずだ、ベルギーの人民戦線がレオポルドの歸國に反対するのは、レオポルドとともに英國勢力の支配が歸つて来るからだ、英國の支配はベルギーの王政を支柱としてゐる、人民戦線が王政に反対するのは間接に英國の衛星化に反対してゐるためだ、即ちベルギーの人民戦線が西歐聯合に反対してゐるのはまづベルギーの主権を確保し、言葉の眞の意味における獨立を實現しようとする點にある。

フランスの場合は多少違ふ、レヴァント紛争にもみられるやうに、フランス帝國主義の利害關係のあるところ必ず英帝國主義の利害關係がある、レヴァント紛争は煎じ詰めれば、シリア、レバノンからフランス帝國主義を追ひ出して、かはりに英帝國主義が御輿を据えようといふにある、従つて西歐においても英國が盟主とならうと努めると同様に、フランスもまだそれを希望してゐる譯だ英國にとつてはフランスをふくむ英國の西歐聯合は、必然的にフランスを除外し、獨立化せしめる性質のものでなければならぬ、第一次大戦後の英佛關係は以上の事實を明確に示唆してゐる、「エコノミスト」誌がフランスの「空席」のまま西歐聯合の結成を提案してゐる所以もまた茲にある。

#### △都合のよい御都合主義

結論を聞かう

「西歐聯合の政策のみならず聯合を實現するための實際的方策を論ずべき時は既に訪れてゐる口火を切るのは英國政府だけだ、この際西歐聯合がソヴェト聯邦に對する脅威をなすものでなく、寧ろ現存の英ソ條約及び佛ソ條約を強化するものであることを出来るだけ明確にして置かねばならない、また西歐聯合が排他的で侵略を意圖する勢力圏を劃するものでなく、相互援助の原則の實際的な適用を目的とするものであることを米國及び自治領諸國に理解させて承認を得て置かねばならない、しかも西歐聯合に關する如何なる計畫も、英「帝國主義」乃至は英國の支配を思はせるものであつてはならない、唯一の可能な政策は善隣政策である、それは西歐

洲の軍事的經濟的要求に合致する、政策を形成する人達は融通の利かぬ盟約を作るやうなことがあつてはならない、西歐聯合の提案は實用を原則とする便益主義を旨とし、理論でなく實踐によつて正しさが實證される場合にのみ成功を保障される。

西歐聯合の前には恐らく多くの障壁が横はつてゐることだらうが、提案そのものには克服出来ぬ障壁はないはずだ、同時にかかる團結を達成すれば國際生活に新たな潮流を生ぜしめることにならう、今日まで一方の極端たる自給自足と侵略による版圖擴大と他の極端たる政治的にも經濟的にも孤立した主權護持との間に中間の道が発見されてゐないが、もしも西歐聯合が主權の獨立は政治軍事上の聯合の障壁とならず、經濟政策の統一が單一の國民協同體よりもさらに廣い基礎で可能なことを實證するならば、同一の政策を追求する他の諸國も西歐諸國に參加するであらう、過去において民衆の聯合は單一の中心から發足し、次第に加盟者を得て増大して行つた、以上の方策に沿ふ西歐聯合も二十世紀の新型の國際主義となり得るであらう。

#### △問はず語りの告白

英國を別に犯罪者に譬へるわけではないが、犯罪者といふものとはかく訊ねられもせぬことを辯解するものだ、「エコノミスト」誌は「ソヴェト聯邦には脅威を意味するものでなく、米國には經濟的孤立圏を意圖するものでない」ことを辯解しなければならぬといふ力説してゐるが、ソヴェト聯邦が恐れ、米國が疑問視してゐるのは將にこの點なのだ、全く「西歐聯合の計畫には英帝國主義や英國の支配の匂ひだにさせてはならない」わけだ、火のないところに煙は立たぬといふが、如何に英國が煙を立てぬやう努めても、實踐において煙が立たぬはずはなく、既にソヴェト聯邦や米國は煙でなく火をみてゐるとすればどうであらうか、以上述べて来たところから結論されるものは、西歐聯合には軍事的政治的にはソヴェト聯邦に對抗し、經濟的には米國に對抗する純粹に防衛的性質のものだといふことだが、必ずしもさうではない、イソツプの寓話のやうに、老ひた獅子を莫迦

にすると飛んでもないことになる、だが莫迦にしてゐないからこそ、ソヴェト聯邦も米國も西歐聯合の結成に反對してゐるのだ、もつとも西歐聯合の實現は英國の主觀的意圖だけでは不可能だ、客觀的條件が成熟してゐなければ、英國が如何に躍起の工作を行つても實現は難しい

客觀的條件とは第一に歐洲における英國の力關係にある、たとへ英國がソヴェト聯邦と米國の反對を押し切つて西歐聯合の實現に進まうとも、諸小國が英國に一方的になびいて來るはずはない、小國は諸大國の力關係の上に動搖してゐるのだ、第二の條件は英國と西歐諸國との關係だ、單に地理的に近接してゐるだけでは結合の動機にはならない、それはバルカン協商のやうにみじめな失敗に終るであらう、しかもこの第二條件は必然的に第一の條件に結び付くものである、第三の條件は西歐諸國自身の國內情勢だ、勿論英國と結び付き英國の庇護の下に自己の支配を維持しようとする一派と、その支配を覆滅しようとする一派とがある、然も歐洲戦における國內抗戰集團の勢力擡頭に伴ひ、後者の勢力は急激に増大してゐる、彼等は國の支配層と闘ふためには、その背後の英帝國主義とも闘はざるを得ない

以上の結論は、英國の希望にも拘らず西歐聯合と呼ばれる英國勢力圏の設定は不可能だといふことである



## 聯合國機構憲章全文(上)

### 前文

われら聯合國人民は

- 一、われらの生涯に二度まで人類に未曾有の悲哀を齎せる戦争の災厄よりつぎの世代を救ひ
- 一、人格の尊嚴と價值における基本的人權、男女並びに大小國民の同權に對する信念を再確認し
- 一、より大なる自由の下に社會的進歩と生活水準の向上を促し

さらにその目標のために

- 一、寛容をことし相互に善き隣人として共に平和に生活し

- 一、國際的平和並びに安全を維持するために力を協せ、しかして

- 一、共通の利益となるに非ざる限り武装兵力を使用すべからずとの原則を承認しそれを保證する方法を立て

- 一、あらゆる國民の經濟的社會的前進を促すために國際機構を利用することにより

以上諸目的の達成のためにわれらの努力を糾合すべく決意せり

よつてわれら各自の政府は、サンフランシスコに會同し十分且つ正式なる形において全權を發揮せる代表を通じ、本聯合國憲章に同意し、ここに聯合國と稱せらるる國際機構を設立す

### 第一章 目的並びに原則

#### 第一條 目的

本機構の目的左の如し

- (一) 國際平和並びに安全の維持、しかしてこの目的のために、平和に對する脅威の防止並びに除去及び侵略行爲その他平和破壊行爲の抑壓にとり效果的なる集團的措置を採り、平和的手段により正義の原則に従つて、平和破壊に導く恐れある國際紛争乃至事態の國際的調整乃至解決を齎す

- (二) 諸國民の同權並びに自決なる原理に對する尊敬に基き、諸國家間の友好關係を促進す

- (三) 經濟的社會的文化的或ひは人文的諸問題の解決、民族、性、言語乃至宗教の差別なく全人類の權利並びに基本的自由に對する尊敬の促進及び獎勵において、國際協力を達成す

- (四) 以上共通諸目的の達成において諸國民の行爲を調和するための中心となる

#### 第二條 原則

本機構並びにその加盟國は第一條に述べたる目的の追求に於て次の諸原則に従ひ活動すべし

- (一) 本機構は全加盟國の主權平等なる原則に基礎をおく

- (二) 全加盟國はその全員に對し加盟より生ずる權利並びに恩恵を確實ならしめるため本憲章に準據し自己に課せられたる諸義務を忠實に遂行すべし

- (三) 全加盟國は國際平和、安全、並びに正義を殆ふからしめざるごとき態度をもつて平和的手段によりその國際紛争を解決すべし

- (四) 全加盟國は國際關係においていかなる國の領土的安全乃至政治的獨立に對しても脅威或ひ

は實力行使に出て、その他すべて聯合國の目的に背馳する態度に出づることを避くべし

(五) 全加盟國は聯合國が本憲章に準據してとるすべての行爲にあらゆる援助を與ふべく、聯合國の防止措置乃至強制措置の對象たるものに援助を與ふることを避くべし

(六) 機構は聯合國に加盟しをらざる國家が國際平和並びに安全の維持に必要な限りにおいて以上諸原則に基き行動するごとく保證すべし  
本憲章に含まるるいかなる字句も本質的に一國家の國內司法權に屬する諸問題に聯合國が介入するを認むるものに非ず、但し本規定は第七章に定められたる強制措置の適用を妨ぐる事なし

## 第二章 加盟國

### 第三條

聯合國創立國は、サンフランシスコにおける聯合國々際機構會議に参加しあるひは一九四二年一月十二日の聯合國宣言に調印したる國家にして本憲章に調印これを批准せる國家とす

### 第四條

(一) 聯合國加盟權は、本憲章に含まるる諸責務を容認し、機構の判斷においてこれら諸責務を遂行する能力と用意ありと認めらるる他のすべての平和愛好國に與へらる

(二) すべてかかる國家の聯合國への加盟に對する許可は安全保障理事會の推薦に基く總會の決定により發効す

### 第五條

安全保障理事會による防止行動乃至強制措置の對象となりたる加盟國は、安全保障理事會の勧告に基き、總會により加盟國としての權利並びに特權の行使を停止せらるることあるべし

### 第六條

本憲章に含まるる諸原則を絶えず侵犯せる加盟國は安全保障理事會の勧告に基き、總會により機構より除名せらるることあるべし

## 第三章 主要機關

### 第七條

(一) 聯合國の主要機關左の如し

### 一、總會

- 一、安全保障理事會
- 一、經濟社會理事會
- 一、國際信託統治理事會
- 一、國際司法裁判所
- 一、書記局

(二) 本機構は更に必要と思はれる諸機關を設置す

### 第八條

聯合國はその使用機關並びに補助機關において男女が同資格をもつて選任されることに何らの制限をも加ふることなし

## 第四章 總會

### 第九條

(一) 總會は聯合國全加盟國をもつて構成さる  
(二) 各加盟國は總會に五名以上の代表を出席せしむるを得

### 第十條

總會は本憲章の規定範圍に入るいかなる問題乃至疑問、或ひは本憲章に規定さるるいかなる機關の權限乃至機能に關する問題をも審議するを得

### 第十一條

(一) 總會は國際平和並びに安全の維持において武装解除並びに武装管理の諸原則を含み、協力の一般原則を考慮し、この種諸原則に關し安全保障理事會の加盟國に對して勧告を行ひ、或ひはその双方を行ふを得

(二) 總會は加盟國中の一國、安全保障理事會或ひは加盟國に非ざる國家より提出せられたる國際平和並びに安全の維持に關するいかなる問題をも(第三十五條第二項に従ひ)審議するを得  
同時に第十二條は規定せられたる場合を除く、當事國の一または多數或ひは安全保障理事會もしくはその双方に對して、この種問題に關して勧告するを得、すべて行動を必要とするこの種問題は審議の前後に總會より安全保障理事會へ傳達せらるべし

(三) 總會は國際平和並びに安全を危殆に陥れる惧れある事態につき、安全保障理事會の注意を喚起するを得

# 同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

(四) 本條に定められたる總會の権限は第十條の一般的分野を限定することなし  
第十二條

(一) 安全保障理事會がすべて紛争乃至情勢に應じ、本憲章に定められたる機能を遂行しつつある場合、總會は安全保障理事會より要請せらるるに非ざる限り、當該紛争乃至事態に關し、一切勸告すべからず

(二) 事務總長は安全保障理事會の同意のもとに總會の開催毎に當時安全保障理事會の處理しつつある國際平和並びに安全の維持に關するすべての問題につき總會に通告すべし、總會の開催せられざる場合には、安全保障理事會は當該問題の處理を停止するや、直ちにこれを總會乃至各加盟國に通告す

## 第十三條

(一) 總會は次の二つの目的をもつて研究を發意し勸告を行ふべし

A、政治分野における國際協力の促進並びに國際法の進歩發達及び法典編纂の獎勵

B、經濟社會、文化、教育、衛生の諸分野における國際協力の促進並びに民族、性、言語、宗教に差別なき全人類の權利並びに基本的自由の實現における援助

(二) 右第一項B段に述べられたる諸問題に關する總會の責任、機能並びに權限の詳細は第九章並びに第十章に規定せられる

## 第十四條

第十二條の規定に従ひ、總會は原因の如何を問はず、聯合國の目的ならびに原則を定むる本憲章の設定から生ずる事態を含み、全般的な福祉乃至友好關係を害ふ惧れあるすべての事態の平和的調制のための措置を勸告するを得

## 第十五條

(一) 總會は安全保障理事會より、年次報告並びに臨時報道をうけこれを審議すべし、これ等報告は國際平和並びに安全の維持のために、安全保障理事會が決定乃至採用せる措置の説明を含むべし

(二) 總會は聯合國の他の諸機關より報告を受け審議すべし

## 第十六條

(一) 總會は戰略的と稱せられざる諸地域の信託統治協定の承認を含み、國際信託統治制度に關し、第十二章並びに第十三章において定められたる諸機能を遂行すべし

## 第十七條

(一) 總會は機構の豫算を審議し承認すべし  
(二) 機構の支出は總會の割當てに従ひ、加盟國これを負擔すべし

(三) 總會は第五十七條に規定せられたる特殊代理機關との總ての財政上、豫算上の取極を審議承認すべく、當該代理機關に勸告する意味に於てかかる特殊代理機關の經常豫算を検討すべし  
第十八條 表 決

(一) 重要な諸問題に關する總會のすべての決定は、出席投票國の三分の二による多數決をもつてすべし、これら諸問題の中には國際平和並びに安全の維持に關する勸告、安全保障理事會非常任理事國の選出、第八十六條第一項C段に基いて行ふ信託統治理事國の選出、聯合國新加盟國の承認、加盟國の權利並びに特權の停止、加盟國の除名、信託統治制の運営に關する諸問題、豫算上の諸問題等を含む

(二) 三分の二の多數決をもつて決定さるべき諸問題の附屬部分の決定をも含む他の諸問題の決定は、出席投票國の多數決をもつてすべし  
第十九條

機構への財政的寄附の支拂ひを延滞せる聯合國加盟國は、延滞金額が滿二ヶ年分に相當する寄附額と同等若しくはそれ以上になりたる場合、總會において表決權を有せざるべし、しかしながら總會は支拂ひの延滞が加盟國の統制力を超える條件によるといふことを十分に認め得たる場合には投票を許可することあるべし

## 第二十條

總會は年次定例會議並びに事件により必要な場合臨時會議を開催すべし、臨時會議は安全保障理事會若しくは加盟國過半数の要請に基き、事務總長これを召集すべし  
第二十一條

總會は自己の手續規則を採擇し、會議毎にその議長を選出すべし

## 第二十二條

總會はその機能の遂行に必要なりと思量さる

る如き補助的諸機關を設置するを得

## 第五章 安全保障理事會

### 第二十三條

(一) 安全保障理事會は聯合國の十一ヶ國をもつて構成す、支那共和國、フランス、ソヴェト社會主義共和國聯邦、大ブリテン・イルランド聯合王國並びにアメリカ合衆國は安全保障理事會常任理事國たるべし、總會は他の六加盟國を安全保障理事國に選出す、選舉に際しては第一に國際平和並びに安全の維持その他機構の他の目的に對する加盟國の寄與、さらに公平なる地理的布置に對して特に顧慮を加ふべし

(二) 安全保障理事會の非常任理事國は二ヶ年の任期をもつて選任すべし、しかしながら非常任理事國の第一回選舉においては三國を一年任期とす、任期滿了せる理事國は直ちに再選せらるる資格を有せず

(三) 安全保障理事會理事國は各一名の代表を出席せしむ

### 第二十四條 機能並びに權限

(一) 聯合國による急速且つ效果的なる行動を保證するために、加盟國は國際平和並びに安全の維持の主要責任を安全保障理事會に委ね、この責任の下に諸任務を遂行する上に安全保障理事會が加盟國に代つて行動することに同意す

(二) これら諸任務の遂行において安全保障理事會は聯合國の目的並びに原則に従ひ行動すべしこれら任務遂行のために安全保障理事會に認めらるる特殊の權限は第六、七、八、十二の各章に規定さる

(三) 安全保障理事會は年次報告並に必要ある場合は臨時報告を總會に提出して審議に委ぬべし

### 第二十五條

聯合國加盟國は本憲章に基く安全保障理事會の決定を容認し遂行することに同意す

### 第二十六條

世界の人的經濟的資源の武装の方向に逸脱すること最も少く國際平和並びに、安全の樹立維持を促進するために、安全保障理事會は第四十七條に言及さるる軍事參謀委員會の協力を得て

武装管理の方式を樹立するために聯合國各加盟國に提示すべき計畫を公式化すべし

### 第二十七條 表決

(一) 安全保障理事會の理事國は各一票の投票權を有す

(二) 手續上の諸問題に關する安全保障理事會の決定は七理事國の賛成投票をもつてすべし

(三) 他のすべての問題に關する安全保障理事會の決定は、常任理事國全員一致の投票を含む七理事國の賛成投票をもつてすべし、但し第二章並に第五十二條第三項の條件下における決定に際しては紛争當事國は表決に於て棄權すべし

### 第二十八條

(一) 安全保事理事會は常に機能し得るやう組織さるべし、各理事國はそのために常に機構所在地に代表を駐在せしむべし

(二) 安全保障理事會は定期的に會議を開催すべく、各加盟國は望みにより政府代表乃至他の特別任命による代表を出席せしむるを得

(三) 安全保障理事會は機構所在地以外に自己の任務を最も容易ならしむと判斷せらるる如き地において會議を開催するを得

### 第二十九條

安全保障理事會はその機能遂行に必要なりと思量せらるる補助機關を設置するを得

### 第三十條

安全保障理事會は議長選任を含み理事會の手續規則を自ら採擇すべし

### 第三十一條

安全保障理事會理事國ならざる聯合國加盟國は安全保障理事會の當該加盟國の利益に特に影響ありと思量する場合は、安全保障理事會に提出せられたる問題の討議に参加するを得、但し表決權は與へられず

### 第三十二條

安全保障理事會理事國ならざる聯合國加盟國若くは聯合國加盟國ならざる國家は安全保障理事會の審議する紛争の當事國なる場合は之を右紛争に關する討議に招請す但し投票權を與へず

安全保障理事會は聯合國加盟國ならざる國家の招請に妥當とせられる如き條件を規定すべし



昭和二十年七月四日(水)  
第三四七二號

# 同盟通信

## 海外電報

(152)

英國は米佛兩國と語つてタンジールの地位に關して商議するため會談の開催を計畫してゐたところ、突如スクリン議長がパリ駐劄ソ聯大使を通じてタンジール會談に参加することを強硬に要求した、ソ聯の要求理由はまだ明かにされてゐないがタンジールの地位に關して直接重大な關係を有する英國とフランスが會談に参加するは諒とするも直接關係を持たぬ米國が参加出來て、歐洲の大國たるソ聯が仲間外れにされてよい筈がないといふのがすくなくとも表面の理由であらう

ソ聯は目下トルコに對してダーダネルス海峽の管理について重大要求を突きつけてゐるが、この要求と今回のタンジール會談問題とは一見直接の關係を持たぬやうだが、實際には有機的な關係を有してゐるのだ、トルコに對するソ聯の要求はソ



聯の傳統的關心である黒海の囚人たる地位から脱して地中海に翼を延ばさうといふのだが、地中海に進出するためには、まづ大西洋への出口を確保しておかねばならない、ソ聯がタンジール問題を注視する所以はここにある

他方英國は地中海を *mare nostrum* として確保するためにダーダネルス海峽と同時にタンジール問題についても主導的地位を確保しておかねばならない、そのためにはフランスが傍役的存在と化した今日、將來の地中海における強敵ソ聯の進出を出来るだけ喰ひとめて置く必要がある、これが今回のタンジール會談でソ聯の存在を故意に無視した理由の一半だ

ソ聯の防衛前哨防塞線は東歐洲とバルカンに過ぎるものではない、それは必然的に西亞に延び、歐洲大陸全域に延びる、ソ聯の西部國境は、ヴィスツラ河の線にあるのではない、それは必然的に地中海、大西洋へと擴大して行かねばならない、即ち英國の關心の存するところ必ずソ聯の關心が存する、タンジール問題が單に英佛兩國をして米國のみの關心事でないのはそのためだ、紙の上の國際憲章は出來上つた、しかしソ聯にとつて必要なのは現實の安全保障措置なのだ

### 【目次】

ソ聯、タンジール會談に参加要求……………	一九〇二
會議派領袖對策を練る……………	〃
總督、ネールと協議……………	〃
シリアの死傷二千五百……………	〃
憲章、米上院に提出……………	一九〇三
ソ聯近く憲章を批准……………	〃
上院バーンズ任命確認……………	〃
新長官食糧政策を闡明……………	〃
第十一航空隊司令更迭……………	〃
【米 洲】	
米改造内閣顔觸れ……………	一九〇四
トルーマン華府へ……………	〃
二島の租借問題経緯……………	〃
陸海統合案……………	〃
リバテイ船建造打ち切り……………	〃
パナマ、スペインと斷交……………	〃
【英 帝 國】	
シムラ會議は獨立への一階梯……………	一九〇五
回印兩教徒の和協を強調……………	〃
南阿聯邦も對日戰に参加……………	〃
【歐 洲】	
タンジール問題で三國會議……………	〃
ハーハ博士死去……………	〃
米英、羅の石油に疑心暗鬼……………	一九〇六
【中 東】	
トルコ對策を練る……………	〃
英、頻りにソ土交渉を牽制……………	〃
【歐洲戰後處理】	
チエコの領土割譲と英の反響……………	一九〇七
伯林共同占領遅延の理由……………	〃
鐵道をドイツ側に引渡し……………	〃
芬蘭の肅清工作……………	〃
【資 料】	
聯合國機構憲章全文(下)……………	一九〇八
米軍の駐歐兵員引揚計畫……………	一九一六

## ソ聯、タンジール會談に参加要求

(リスボン二日發) 米英佛三國代表は三日パリに會合タンジールの地位に關する協議を進める豫定であつたが、二日ロイター通信社パリ特派員ハロルド・キングの報するところによれば、パリ駐劄ソ聯大使アレクサンデル・ボゴモロフ氏が一日午後突如佛外相ジョルジュ・ピドールを訪問、同會談にソ聯の参加を要求したため、會談の進行上番狂はせを來した様子である、ピドール外相は會談の經過は逐一ソ聯側に通報すると述べたのであるが、ソ聯側は問題は通報の有無ではなく他の會談當事者と同様協議に参加させられるか否かであると強硬態度を示したため、果して會談が豫定通り開催されるかどうか疑はしくなつた

別にタンジール二日發ロイター電によれば、三國會談に出席する英國代表はタンジール駐在總領事チャールス・ピークで、ピークは既に二週間もロンドンに在つて、關係筋と豫備的折衝を遂げたなほピークは各種専門家を帶同する筈である

元來タンジールは英佛伊西四國の共同管理下にあつたものを、今次戰爭中にスペインが「その中立性を保持する」との名目で軍隊を進駐したものであるが、戰爭の一段落とともに英佛兩國は右スペインの獨斷的處置に對して再検討を加へ、新地位を確定しようとするもので、英佛兩國政府が米國に對しても會談に参加方を慫慂したのに對し、米國々務省は既に右招請に應ずる旨言明し且つスペインが國際地域を引續き占據する正當な理由はないとの意向を表明して、英佛を支持してゐる、他方スペイン政府もまた會談に参加方の希望を表明したが、三國がこれに應ずるか否か不明である尤も「タイムズ」紙特電によれば會談の後段階に入れば、他の關係國とも協議される筈である、なほ「マンチェスター・ガーディアン」紙外交記者はパリ會談の狙ふタンジールの新國際的地位につき次のやうな見透しをつけてゐる

タンジールの地位については、二つの計畫が考へられる、その一つは戰前に存在したその國際的地位に復歸することで、ただ米國が新に参加することが異ふ、その二はタンジールが新聯合

國機構の直接責任下に管理されることである、更に問題は今まで共同管理者の一であつたイタリアが、新體制に参加させられるか否かである、元來タンジールの國際的地位は一九一二年の佛西條約により附近の地域とともに國際地帯とされ次に一九二三年の英佛西三國條約により補足され更に一九二八年の修正條約によりイタリアの参加が認められた、フランコ政府がこれに軍隊を進駐したのは一九四〇年六月、即ちフランス降伏の直前のことである

### 會議派領袖、對策を練る

(リスボン二日發) シムラ來電「ジャワハルラル・ネールは、シムラ到着後直ちにアヅアド博士並びに會議派執行委員バンデイト・パントと當面の問題につき協議を續けてゐるが會議派では同時に三日執行委員會を開催するに先立ち二日全委員のシムラ到着を俟つて豫備會談を行ひ對策を検討することになつた

### 總督、ネールと協議

(リスボン二日發) シムラ來電「國民會議派の領袖ジャワハルラル・ネールは三日開催される會議派執行委員會に出席するためシムラへ到着したが印度總督ウエーヴェルは二日午後、總督宿舍にネールを招致協議した、右に先立ちウエーヴェルは會議派議長アヅアドの宿舍に宛て「ネールと個人的にまた非公式に會見したい」旨のメッセージを送つてをり兩者の會見は公式なものではないが、ウエーヴェルは英國の提案につきネールの諒解を求めると共にシムラ會議の促進に關しその協力を要請したとみられる

### シリアの死傷二千五百

(リスボン一日發) ダマスクス來電「シリア政府は過般のシリア紛争における死傷者數を一日次の通り發表した

死者 五百九十三名 負傷者 千九百七十二名

「憲章」米上院に提出

(リスボン二日發)ワシントン來電 大統領トルーマンは一日午後、カンサス・シテイから空路ワシントンに歸還したが、二日上院にたいし桑港會で署名をみた「聯合國憲章」を提出、これが即時批准を要請した、「憲章」提出に當りトルーマンは大要次のやうに演説した

余は上院にたいし「桑港憲章」を提出したが、憲章は永續性のある平和を確立するための唯一の途を明示するものである、われわれは平和を愛好する人々と手を握つて決然と憲章の明示する途を進み、われわれの最後の目標に達することを躊躇してはならない、憲章は「聯合國民」の名において起草されたものであり、これ等の人々は大きな關心と希望とをもつてわれわれの行動を見守つてゐる、彼等は米國民の代表たる諸君が率先して憲章を承認し、世界諸國の進むべき途を明示することを期待してゐるのだ、憲章は多數の人の手によつて生れたものであり、三十年間に二回に亘つて戦争を發生させた世界各國の經驗から生れたものだ、この經驗の教訓は憲章の内に織り込まれてゐる、しかして聯合國が新國際機構の運営に經驗を積むに従つて憲章は改善されるだらう、何故なら憲章は靜的な條約ではないからだ、米國憲法と同じやうに憲章は時の経過と共に改善されるだらう、余は上院が憲章を即時批准することを要請する

ソ聯近く憲章を批准

(リスボン二日發)ワシントン來電 桑港會議のソ聯代表でワシントン駐劄ソ聯大使アンドレイ・グロムイコ氏は二日つぎの通り言明した  
ソ聯は國際憲章を批准するため最高會議を召集する豫定である、余は國際憲章に關してスターリン議長に報告するため、近くモスクワに歸還する

上院バーンズ任命を確認

(リスボン二日發)ワシントン來電 米國上院は大統領トルーマンが一日上院に諮つたジェームス・バーンズの國務長官任命を確認した

新長官、食糧政策を闡明

(リスボン一日發)ワシントン來電 クリントン・アンダーソンは一日クロード・ウィツカードに代り農務長官に就任したが、就任後つぎの聲明を發表し農業政策に關する基本方針を明かにした  
「余は現在健全な食糧計畫が何物にもまして重要であるとの確信を抱いて任務を遂行する方針である、健全な食糧計畫こそは一切の戦時計畫の、永續的平和並びに戦後の健全な國家經濟の基礎をなすものであり而して健全な食糧計畫の基礎であるところの四つの重要な問題に對して目下余は關心を集中してゐる、即ち第一は米國間における戦時の需要に應ずるための増産、第二は増産を計るため農夫の要求に對して政府が之を保證すること、と第三は農夫に對する政府の幾つかの公約を履行するために必要な措置をとること、第四は分配を改善し米國民すべてがより公平に食糧を得るやうにすることである

われわれは現在多數の重要な食糧品について重大な不足に直面してゐるが、これは農夫の失策に起因するものではない、農夫は既にその最善を盡してゐるのであつて、事態がかくの如くなつた原因は需要が生産計畫を上廻つたからに過ぎない、もつともこれら食糧品の不足はいま直ちに克服し得ず、それを振つて合圖をすれば食糧の供給量が増加するといふやうな魔法の杖もない、食糧増産の過去を進め食糧を分配するに至るまでには多くの時間を必要とし、また米國內における戦時の需要は依然として昂まるばかりであらう、余はかかる情勢を可及的速かに改善するため最善をつくす覺悟であるが前に横はる任務を遂行するに當つては國民各位の協力を必要とする

第十一航空隊司令更迭

(リスボン一日發)アリユーション航空基地來電 米國陸軍第十一航空隊司令部は三十日、前司令官少將ダヴンポート・ジョンソンが辭職し、前ニユーファウンドランド基地司令官少將ジョン・B・ブルツクスが第十一航空隊司令官として着任した旨發表した、ブルツクスは昨年十月頃から統合參謀本部付になつてゐた

米改造内閣顔觸れ

(リスボン一日發)ワシントン來電ニ大統領トルーマンはその就任後既に五名の閣僚を任命したがうち四名が一日に就任した、新閣僚の顔觸れつぎの通り

△労働長官 ルイス・シユウエーレンバツク(前上院議員、聯邦地方裁判所判事)

△農務長官 クリントン・アングーソン(前民主黨下院議員)

△郵政長官 ロバート・ハネガン(民主黨全國委員長)

△檢事總長 トム・クラーク(前檢事次長)

以上四名の他新たに國務長官に指名されたジェームス・バーンズは上院の承認を待つて就任せんとしてをり、トルーマン内閣は十名の閣僚中その半分までがトルーマンの任命した閣僚となるわけだ、バーンズの任命案は二日上院に提出されるが問題なく承認されるとみられる

トルーマン華府へ

(リスボン一日發)カンサス・シテイ來電ニ過去四日間に亘り郷里カンサス・シテイに滞在中であつた大統領トルーマンは一日朝空路同地を出發、同日午後ワシントンへ歸還の豫定である、トルーマンはカンサス・シテイ滞在中七月二日上院に提出するはずの聯合國機構憲章に關するメツセージを起草した聯邦政府職員の俸給増額案を含む法律案に署名したといはれる

二島の租借問題経緯

(リスボン三十日發)ワシントン來電ニ米國はニユーファンランドに陸海軍基地を保有してゐるが、同島の土地租借に關する米英兩國の公式取極めが三十日國務次官グルーによつて始めて明かにされた、グルーの言明内容次の通り

米國は陸海軍基地を設營するため英國からニユーファンランドの一定の地域を九十九年間租借することにし右に關する取極めが一九四一年六月十四日兩國間に調印された、而して一九

四二年七月には更に新しい地域を同期間中租借する協定が成立した、なほ租借は米國の英國に對する腐朽驅逐艦五十隻の譲渡と交換に行はれたものではない

陸海統合案

(リスボン三十日發)ワシントン來電ニ最近アイゼンハワーがウエスト・ポイントの陸軍士官學校で單一の國防軍編成を主張した結果、米國の陸海軍統合問題は再燃の形だが、上院戰爭調査委員會の共和黨議員ジョセフ・ボールは二十九日要旨左の統合案を發表した

一、陸海軍兩省を廢し國防省を設立する、長官の下に四名の次官を置きそれぞれ地上軍、空軍、海軍、補給を統率、補給次官のみ文官とし他の次官は軍人とする

一、ウエスト・ポイントの陸軍士官學校、アナポリスの海軍兵學校には大學における豫備士官養成課程を終へた者のうちから試験により選抜した者のみの入學を許可する

リバティ船建造打切り

(リスボン一日發)ワシントン來電ニ海事委員會は一日リバティ型船第二千五百八十隻目のスタンレー・フィシャー號の引渡しをもつて戰時緊急船としての同型船の建造を一應打切る旨發表した、リバティ型船は戰時の輸送力維持を目的として、米國參戰直前に建造計畫が樹立され、以來戰時非常型船として大量建造が行はれ、戰爭の前半は米國の戰時海運は専らこの型の船舶をもつてなされたが、大量粗製濫造の結果各種の缺陷を曝露した爲、昨年頃からはこれより性能の優秀なヴィクトリ型船の建造に中心が移されてゐた

パナマ、スペインと斷交

(リスボン一日發)パナマ・シテイ來電ニパナマ政府はフランコ政權下のスペイン外交政策は聯合國の利害並びに民主主義原則に反するとしてスペインと斷交するに決し、三十日大統領令をもつてその旨報告した

【英帝國】

シムラ會議は獨立への一階梯

—ガ翁所信を披瀝—

(リスボン三十日發)シムラ來電ニ總督並びに國民會議派の顧問としてシムラに滞在中のガンジー翁は二十九日、AP記者アレクソン・グロトヴァーと會見、次の通り言明した

國民會議派は獨立への一步前進であるといふ事實を承知の上で今回の會議に参加したのである。余は會議派並びにウエーヴェルの顧問であるに過ぎず、従つて現在會議がどうなつてゐるかは正確には知らない、ただ余は今度の會議から印度及び英國の双方にとつて都合の良い結果が齎されることを希望するだけである

更にガンジー翁はグロトヴァー記者の新行政參議會に對する回教徒代表の選出問題に關する質問に答へて

國民會議派は部分的な乃至は制限された黨派ではなく印度におけるあらゆる集團を代表するものだ

と述べ又過般ガンジー翁が

ジャワハルラル・ネールは余の後繼者であるとの聲明を發表したのについて眞偽を訊されたのに對し

以上の聲明は決して笑談ではない、ネールは能力も知識もあり印度民衆と密接な接觸を保つてゐるので印度人の考へてゐることを印度以外の世界に對して他の誰も出来ないほどよく傳へることが出来るかと答へた

回印の和協を強調

—ネール、シムラへ—

(リスボン一日發)シムラ來電ニ國民會議派前議長ジャワハルラル・ネールは現議長アゾアドの至急要請に基きニューデリーからシムラへ到着したが、シムラ會議に關して一日次の通り言明した

國民會議派は新參議會に關する提案を成功させるためには黨派の如何に拘らず最も優秀な人物を參議會に入れる用意がある、以上の目的を達

成するために、會議派と回教徒聯盟の指導者の間に合意を齎すやう新たな努力がなされてゐるが、國民會議派所屬のものもよろしく小異を捨てて解決到達への道を拓くやう努めるべきである、シムラ會議は印度問題の永久的解決を招来するものではないが、少くも永久的解決を考慮することに對して道を開くことにならう

南阿聯邦も對日戰に参加

(リスボン一日發)自治領各國に對日戰参加を強要してゐる英國は南阿聯邦にも少數の艦艇を太平洋に派遣せしめることになつた様子でロンドン來電によれば南阿聯邦の艦艇五隻が太平洋戰に参加する豫定といはれ、英國海軍省から南阿に讓渡されたフリゲート艦「グッド・ホープ」ナタール・「ホープ」の二隻は太平洋戰域へ赴く途中三十日ケイプタウンに到着、更にフリゲート艦「トランスヴァール」並びに他の二隻の艦艇も近く太平洋へ派遣される豫定である

【歐 洲】

タンジール問題で三國會議

(リスボン一日發)パリからのロイター電報が信すべき筋の情報として傳へる處によれば、二日パリでタンジール管理問題に關する米英佛三國代表の國際會議が開かれるといはれる、タンジールは一九二八年以來英佛スペイン、イタリア四國の共同管理下に置かれてゐたが、一九四〇年スペインが兵力を進駐、占據したもので、同地區をスペインの手から戻し再び國際管理下に置く案について最近各國代表がロンドンで豫備的會談を行つた

ハーハ博士死去

(ストックホルム三十日發)プラーグ來電によれば前ベーマン・メーレン大統領ハーハ博士は五月五日以來逮捕拘禁されてゐたが、三十日死去した享年七十三

## 米英、羅の石油に疑心暗鬼

(リスボン二十九日發) イランの石油利権からソ聯に閉出しを喰はせられた米英兩國はルーマニアの油田に對しても野心を抱いてゐるが、最近ソ聯がプロエスチの石油を獨占するとの噂が擴められた結果極度の不安と猜疑心に苦しんでゐる様子だ「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特派員は以上の消息を二十九日次の通り報じてゐる

ソ聯がルーマニアの石油を獨占確保する協定を締結したとの噂が英國貿易業筋から傳へられた結果、米英兩國石油業者は深刻な不安に囚はれてゐる、ロンドンの米英外交界は條約の存在をきいてゐないと稱してゐるが、石油業者は噂の事實を確信してゐるやうだ、それによるとソ聯は赤軍がルーマニア國境を越えるにさきだち、プロエスチの石油全部と引換へに相當量の物資を供給する趣旨の條約文を作製、戰鬪行爲が終るや否やルーマニア當局に押し付けて高飛車に承認を迫つたものといはれ、祕密に條約が調印されて以來既に數ヶ月を経過してゐると傳へられる

## 【中 東】

### トルコ対策を練る

(リスボン二日發) トルコ政府はソ聯政府より兩國關係改善に關する通牒を受理してより慎重對應策を考慮中の様子だが、ダーダネルス海峡の地位變更に關する問題は、ソ聯に對して優先的地位を賦與すべき要綱が含まれてゐるものの如く、トルコ政府としては關係各國とも事前商議する必要あり、急速には態度を決定しかねてゐる模様であるまたカフカズ國境改定問題はソ土一九二一年條約によりトルコに割讓したカルス及びアルダハンの二區をソ聯が回復しようとするものでトルコ政府としても相當難色を示してゐる、何れにしてもソ聯の對土新平和攻勢は結局においてソ聯勢力の南進を意味しその動向に對しては殊に英國輿論はかなり神經を尖らせてゐる、例へば近着の「マンチエスター・ガーディアン」紙はトルコの立場と稱

して大要次の通り論じてゐるが、事實は英國の利害を示したものにほかならぬ

ソ聯、トルコ間の交渉内容に關しては目下、アンカラ、ロンドン及びワシントンにおいて意見の交換が行はれてゐるが、トルコの對ソ回答はポツダムにおける三巨頭會談後迄延期されようダーダネルスに對するトルコ政府の見解は、本問題は國際的關係事項で、トルコが單獨にソ聯と交渉し得ぬとある、且つトルコ政府としては自國の主權を毀損する要求を討議することには難色あり、またかかることは一九四一年八月十三日、英ソ兩國がトルコに與へた共同保障とも兩立しない

### 英頻りにソ土交渉を牽制

(ストツクホルム三十日發) ソ土交渉は直接西亞諸國に關聯するため英國は深刻な不安と猜疑の眼をもつて成行を凝視してゐるが、交渉の内容がまだ流説の範圍を出てゐないため、眞相の把握に苦慮してゐる様子で、たとへば七月一日附のロンドン日曜新聞「オブザーヴァー」紙はつぎの通り論じてゐる

ソ土兩國政府間の交渉は相當進捗してゐる模様で、結果次第では、西亞にかなりの領土變更が齎されるものとみられる、現在交渉はソ土兩國代表の間だけで進められてゐるが、最後の妥結に達するまでには殆ど全部の西亞國家の關聯する問題が俎上にのせられよう

アンカラ情報に反してソ聯はまだトルコ政府に覺書を渡してゐないが、スターリン議長希望するところは友好條約の更新にあり、ダーダネルス海峡に關するモントルー協約の改訂にはない、従つて目下のところはソ土兩國だけの問題に限定されてゐる譯だ、もつともモントルー條約を改訂する場合には、海峡内の軍事基地と同様ブルガリア及びエーゲ海島嶼の飛行場からも效果的に海峡の管理を行ひ得ることを忘れてはなるまい、従つて海峡の管理はソ土兩國のみの問題でなく、多くの國が關聯を持つ問題とならねばならない

## 【歐洲戰後處理】

### チエコの領土割讓と英の反響

(ストックホルム三十日發) チエコスロヴァキア政府がカルパト・ウクライナ地方をソ聯に割讓することとなつた結果、同地方はウクライナ共和國に編入されるわけだが、以上に關しロイター外交記者は三十日次の通り報じてゐる

「ソ聯、チエコスロヴァキア兩國間に成立した國境調整は、兩友好國間の極めて自然な取り極めとして英國政府筋によつて歓迎されてゐる、ソ聯領に移されたカルパト・ウクライナ地方はチエコスロヴァキアにとつて資産といふよりは經濟的負擔としてみられてゐただけに、チエコの損失はさして大きくはない、しかしながらその結果チエコスロヴァキアはルーマニアと直接の連絡を失ひソ聯とハンガリーは共通の國境を持つことになるわけだ、これと同時にチエコ國民會議はウクライナ人をソ聯に移す件をも承認するものと期待されてゐる、このことはソヴェト政府にとつて多少とも重要なことだ、なぜならばウクライナ人は外部からの反ソ行動の温床となつてゐた、今次大戦でもポーランドのウクライナ人、ついでカルパト・ウクライナのウクライナ人がナチの宣傳によつて反ソ行動にかりたてられてゐる、カルパト・ウクライナの割讓はチエコスロヴァキア政府にとつて一方的な領土上の讓歩ではないやうだ、目下テツシエンを繞つてポーランド、チエコ兩國代表團に交渉が進められてゐるが、ソヴェト政府は直接交渉に介入してはゐないが、恐らくチエコスロヴァキアはテツシエンを手に入れることにならう」

### 伯林共同占領遲延の理由

(チューリッヒ二十九日發) ベルリン陥落以來二ヶ月に垂んとながら赤軍がいまだに米英佛三軍のベルリン入城を承諾しないため米英兩國の間に少なからず不満を生じてゐる様子でスイス紙「ナショナル・ツァイツング」のロンドン電報は

米英軍のベルリン入城の遲延は英國内に憤懣の念を誘致し、また入城式の豫行演習を行ひ車輛を磨いてから既に數週間を経た今日將兵の間に

不信と倦怠の氣がみられる

と報じてゐる、米英軍のベルリン入城の時期については七月一日説がありまたベルリン街道に沿つて目下聯合軍の戦車が行進してゐるとの報道もあるが以上は何れも確認されてをらず、スイス紙の報道によれば入城式が三頭會談の前に行はれるといふ點についてのみロンドンでは確信を抱いてゐるといはれる、更に聯合軍のベルリン入城が遅れた理由としては赤軍の之に對する準備不足があげられる、赤軍がその占領地帯内に回廊地帯を設けしかる後米英軍は伯林占領軍に對し空輸乃至自動車輸送をもつて補給する手筈となつてゐるが、之が未だ完了せず、又ベルリン市内に多數の米英軍司政官を居住せしめる施設がないことも遲延の一因と見られる、ベルリンの四國軍占領地帯については既に取り極めが成立してゐる様子で右によれば英軍はシュパンダウ、ウイメルスドルフ、シヤロットテンブルク並びにクルフューステンダムを含むチアーガルテンを占領することになつてをり英軍の將兵はこれの中で集會所、プール、移動酒保、移動映畫館等を與へられる豫定といはれる

### 鐵道をドイツ側に引渡

(ストックホルム二十九日發) ルクセンブルク放送によればドイツ占領英軍當局は近く占領地内の鐵道施設をドイツ人に引渡す豫定でドイツ人鐵道員が英人の監督下に作業を再開することにならう

### 芬蘭の肅清工作

(ストックホルム一日發) 目下フィンランドでは政界の肅清工作が進められてをりその槍玉にあがつたフィンランド軍總司令官大將エリツク・ハイシリツヒは一日辭職し、退役することになつた、同將軍は一九三九—四〇年のソ芬戰及び今次大戦においてマンネルハイム元帥の緊密な協力者としてフィンランド軍參謀本部で活躍し、昨冬マンネルハイム元帥の後をうけてフィンランド軍總司令官に就任したのだが、ドイツ軍首脳部と親密な間柄であつたためソ芬休戰協定成立前、獨芬兩軍の高級連絡將校を勤めた、また最近ではフィンランド軍司令部内に防諜部を設け政治に干與してゐたので、政界左翼から攻撃の的となつてゐた



聯合國機構憲章全文(下)

第六章 紛争の平和的解決

第三十三條

(一) 紛争の繼續が國際平和並びに安全の維持を危くする恐れある如き場合、紛争當事國は、まづ第一に交渉、調査、居中調停、妥協、和解、司法的決定等にある解決を求め、地域機關乃至取極めに手段を求め、或ひは自己の選ぶ他の平和的手段を求むべし

(二) 安全保障理事會は必要なりと思量する場合には、兩當事者に對し、以上の如き手段により紛争を解決することを要請すべし

第三十四條

安全保障理事會は紛争乃至事態の繼續が平和並びに安全の維持を危くする恐れありや否やを決定するために、國際間の軋轢に導くことあり得る如き、もしくは紛争を生ずることあり得る如きすべての事態、或ひはすべての紛争を調査するを得、

第三十五條

(一) 聯合國加盟國は第三十四條に述べられたる種類のいかなる紛争乃至事態をも安全保障理事會または總會に提出するを得

(二) 聯合國加盟國ならざる國家は豫め紛争に關して本憲章に規定せらるる平和的解決の諸義務を容認する場合には、自己の關係するいかなる紛争に關しても、安全保障理事會もしくは總會の注意を喚起するを得

(三) 本條に基き注意を求められたる問題に關する總會の手續きは、第十一條並びに第十二條の規定に従ふべし

第三十六條

(一) 安全保障理事會は第三十三條に述べられたる如き紛争或ひは同様なる事態のいかなる段階においても、適當なる紛争調整の手續き乃至方法を勧告するを得

(二) 安全保障理事會は紛争の解決に於て既に兩當事國のとりたる總ての手段を考慮に入るべし

(三) 本條に基き勧告を行ふ場合には、安全保障理事會は通常法律上の紛争が國際司法裁判所法規の規定に基き、兩當事國によつて裁判所に提訴さるべきことをも考慮に入るべし

第三十七條

(一) 第三十三條に述べられたる種類の紛争における兩當事國が同條に示されたる如き手段により解決し能はざる場合には、安全保障理事會に提訴すべし

(二) 紛争の繼續が國際平和並びに安全の維持を危からしむる恐れ極めて大なりと思量せらるる場合には、安全保障理事會は第三十六條による行動に出づべきか、或ひは適當なりと考慮さるる如き解決條件を勧告するかを決定すべし

第三十八條

第三十三條乃至第三十七條の諸規定に拘はりなく、安全保障理事會はもしすべての紛争當事國がそれを要求する場合には、紛争の平和的解決を目的として當事國に勧告を行ふを得

第七章 平和に對する脅威、平和破壊

並びに侵略行為に關する措置

第三十九條

安全保障理事會はすべて平和に對する脅威、平和の破壊或ひは侵略行為の存否を決定し、勧告をなし、國際平和並びに安全の維持または回復のために、第四十一條及び四十二條に基きいかなる措置をとるべきかを定むべし

第四十條

事態の悪化を防ぐために、安全保障理事會は勧告をなし或ひは第四十一條に規定せらるる措置を決定するに先立ち、必要或ひは好都合なりと思量せらるる如き暫定的措置に従ふことを當該當事國に要求するを得、かかる暫定的措置は當該當事國の權利、主張或ひは地位に拘はることなし、安全保障理事會はかかる暫定的措置に従はしめ得ざる場合をも十分考慮に入るべし



第四十一條

安全保障理事會はその決定を實現するために、武装兵力の使用を含みいかなる措置をとるべきかを決定するを得、しかしてかかる措置の適用を聯合國諸加盟國に要求するを得、これらの措置には經濟關係、鐵道、海路、空路、郵便、電信、ラジオその他通運手段の全部または一部の遮斷を含む

第四十三條

(一) 聯合國全加盟國は國際平和並びに安全の維持に貢獻するために、安全保障理事會の要求に基き、特殊の一またはそれ以上の協定に従ひ、安全保障理事會に對し國際平和並びに安全の維持に必要なる武装兵力その他通行權を含む援助並びに便宜を提供するものとす

(二) かかる一またはそれ以上の協定は、兵力の數並びに種類その用意の程度並びに一般的所在、さらに與へらるべき便宜並びに援助の性質を規定すべし

(三) 一またはそれ以上の協定は可能なる限り速かに安全保障理事會及び加盟國の發意に基き、安全保障理事會と加盟國または加盟國集團との間において交渉され、各調印國の憲法上の手續きに從ひその批准に委ねらるべし

第四十四條

安全保障理事會は實力行使を決定せる場合には理事會に代表を派遣しをらざる加盟國に對し、第四十三條により定められたる責務の遂行として武装兵力の提供を要求する前に、その加盟國の要求ある場合には、當該加盟國武装兵力の分遣隊の使用に關する安全保障理事會の決定に同國の参加を要請すべし

第四十五條

聯合國をして緊急軍事措置をとるを得しむるために、加盟國は綜合的國際強制措置に直ちに使用し得るやう、自國空軍分遣隊を保有しおくべし、これら分遣隊の兵力並びに用意の程度及びその綜合作戰計畫は第四十三條に述べられたる一またはそれ以上の特殊協定に定められたる限界内において、安全保障理事會により、軍事參謀委員會の輔佐のもとに決定さるべし

第四十六條

武装兵力の使用計畫は安全保障理事會により軍事參謀委員會輔佐のもとに作成さるべし

第四十七條

(一) 國際平和並びに安全の維持、安全保障理事會の措置に委ねられたる兵力の使用並びに指揮武装及び豫想さるる武装解除の統制等に關し、安全保障理事會の軍事的諸要求に助言し、これを輔佐する軍事參謀委員會を設置す

(二) 軍事參謀委員會は安全保障理事會常任理事國の參謀總長またはその代表をもつて構成す、委員會の任務の有効なる遂行にある國の参加が要求せらるる場合には委員會に常時代表を出席せしめざる如きいかなる聯合國加盟國も、委員會に協力することを要請さる

(三) 軍事參謀委員會は安全保障理事會のもとにあつて、安全保障理事會の處理に委ねられたるすべての武装兵力の戰略的指揮に責任を有す、かかる兵力の指揮に關する諸問題は、將來規定さるべし

(四) 軍事參謀委員會は安全保障理事會の承認のもとに適當なる地域的代理機關との協議の後に地域的小委員會を設置することあるべし

第四十八條

(一) 國際平和並びに安全の維持のための安全保障理事會の諸決定を實行するために必要な行動は、安全保障理事會の決定に従ひ、聯合國全加盟國あるひはその一部これをとる

(二) かかる諸決定は聯合國加盟國によつて直接遂行され、あるひはその屬する適當なる國際機關における行動を通じて遂行さるべし

第四十九條

聯合國加盟國はいかなる國家に對して決定されたる安全保障理事會の措置を實行するに當つても相互援助の提供に参加すべし、聯合國加盟國たると否とを問はず、これら諸措置の實行から生ずる特殊經濟問題に直面することを知りたる他のすべての國家は、これら諸問題の解決に關し安全保障理事會に諮問する權利を有す

## 第五十一條

本憲章における規定は安全保障理事會が國際平和並びに安全の維持に必要な措置に出づるまでの期間に聯合國の一加盟國に對し武力攻撃が行はれたる場合、個別的乃至集團的に自ら防衛する本來の權利を害ふことなし、この自衛權の行使において加盟國がとりたる措置費、直ちに安全保障理事會に報告さるべく、安全保障理事會が國際平和並びに安全を維持または回復するために必要なりと思量する如き行動をいつにてもとるべき本憲章における安全保障理事會の權限並びに責任は決してこれにより影響せらるることなし

## 第八章 地域的取極め

### 第五十二條

(一) 本憲章における規定は國際平和並びに安全の維持に對し、地域的措置をもつて十分なる如き諸問題を處理するための地域的取極め乃至機關の存在を妨退することなし、但しかかる取極めまたは機關並びにその活動は聯合國の目的並びに原則と矛盾せざるを要す

(二) かかる取極めに加入しまたはかかる機關を構成する聯合國加盟國は、局地的紛争を安全保障理事會に提訴するに先立ち、かかる地域的取極めを通じもしくはかかる地域的機關によつて紛争の平和的解決を達成するためにあらゆる努力を盡すべし

(三) 安全保障理事會は關係諸國の發意に基き、または安全保障理事會の提議により、この種地域的取極めを通じもしくは地域的機關によつて局地的紛争の平和的解決をみるやう努力すべし

(四) 本條は第三十四條並びに第三十五條の適用を妨ぐることなし

### 第五十三條

(一) 安全保障理事會は、適當なりと認むる場合には、その權限内の強制措置にこの種地域的取極め乃至機關を利用すべし、但し安全保障理事會の認許なき限り地域的取極めの下に、または地域的機關によつては一切強制措置を取るべからず

また機構が關係政府の要請に基き、本條第二項に定むる如き敵國による將來の侵略行爲を阻止

する責任を負ふまでは、第七條に従ひまたはかかる敵國の側の侵略行爲再開に對する地域的取極め内においてその敵國に對してとる措置はこれを例外とす

(二) 本條第一項に使用さるる「敵國」なる字句は第二次世界大戦中本憲章の調印國のいづれかに對し敵たりしすべての國家に對して適用さる

### 第五十四條

安全保障理事會は國際平和並びに安全の維持のために地域的取極めのもとに、または地域的機關によつて、とられもしくは考慮されざる諸活動に關し、常に十分なる情報をも有すべし

## 第九章 國際經濟社會協力

### 第五十五條

諸國民の同權及び自決なる原則に對する尊敬に基く國民間の平和的並びに友好的諸關係に必要な安定と福祉の諸條件を創造する意味において聯合國は次の諸項を促進すべし

A 生活水準の向上、失業なき状態、經濟的社會的進歩發達の諸條件

B 國家間の經濟的、社會的、衛生的諸問題並びに關係諸國の解決、國家間の文化的、教育的協力

C 民族、性、言語あるひは宗教における差別なく、全人類の權利並びに基本的自由に對する全世界的尊敬及びその遵守

### 第五十六條

第五十五條に定められたる目的を達成する爲に機構と協力して共同並びに個別的なる行動をとるべく全員誓約す

### 第五十七條

(一) 各國政府間の協定により設置され、その基本文書の定義により、經濟、社會、文化、教育衛生その他關係諸分野において廣汎なる責任を有する各種特殊機關は第六十三條の規定に従ひ聯合國との關係を保つべし

(二) かくの如くにして聯合國との間に連繫を生じたる機關は以後これを「特殊機關」と稱す

### 第五十八條

機構は特殊機關の諸政策並びに諸活動の調整に關し勸告を行ふべし

第五十九條

機構は適當なりと認められたる場合には、第十五條に定められたる目的の達成のために必要とせらるるいかなる特殊機關の創設に關しても關係諸國の間における交渉を發意すべし

第六十條

本章に定められたる機構の諸機能の遂行の責任は總會に課せられ、總會の權威下においてこの目的のために第十二章中に定められたる諸權限を有する經濟社會理事會に課せらる

第十章 經濟社會理事會

第六十一條 構成

(一) 經濟社會理事會は總會によつて選出せられたる聯合國加盟十八ヶ國をもつて構成す

(二) 第三項の規定により經濟社會理事會の六理事國は任期三ヶ年をもつて毎年これを選出す、任期滿了せる理事國は直ちに再選さるる資格を有す

(三) 第一回選舉においては經濟社會理事會の十八理事國を選任す、總會の取極めに従ひこの選舉によつて選ばれたる六理事國の任期は一年目の終りに、他の六理事國の任期は二年目の終りに終了す

(四) 經濟社會理事會理事國は各一名の代表を出すべし

第六十二條 機能並びに權限

(一) 經濟社會理事會は國際的なる經濟、社會、文化、教育、衛生及び關係諸問題に關し、研究及び報告をなしまたは發意し、すべてかかる問題に關し總會、聯合國加盟國及び關係特殊機關に對し勸告するを得

(二) 理事會は全人類の權利及び基本的自由に對する尊敬及びその遵守に關し勸告するを得

(三) 理事會はその權能内に入る諸問題に關し、總會に提示すべき規約草案を準備するを得

(四) 理事會は聯合國の定むる諸規定に従ひ、その權能内に入る諸問題に關し國際會議を召集するを得

第六十三條

(一) 經濟社會理事會は關係機關が聯合國と聯繫

を有すべき條件を定めたる第五十七條に述べられたる如きすべての機關と協定を行ふを得、かかる協定は總會の承認を受くべし

(二) 理事會はかかる諸機關に對する勸告並びに協議を通じ、總會及び聯合國加盟國に對する勸告を通じて特殊機關の活動を調整するを得

第六十四條

(一) 經濟社會理事會は特殊機關から定期的報告を受くるために適當なる手續をとるを得、理事會は自己の勸告並びに總會により自己の權能に入る諸問題に關し行はれたる勸告を實現すべくとられたる手續に關して報告を得るために、聯合國加盟國並びに特殊機關との間に取極めを行ふを得

(二) 理事會は之ら報告に關する自己の所見を總會に通告するを得

第六十五條

經濟社會理事會は安全保障理事會に情報を提供することあるべく、要求ある場合には安全保障理事會に助力すべし

第六十六條

(一) 經濟社會理事會は總會の勸告の實行に關しその權能内に入る諸機能を遂行すべし

(二) 理事會は聯合國加盟國の要請並びに特殊機關の要請に對し、總會承認の下に盡力するを得

(三) 理事會は本憲章の他の個所に明示され或ひは總會により定めらるるとき他の諸機能をも遂行すべし

第六十七條 表決

(一) 經濟社會理事會理事國は各一票の投票權を有す

(二) 經濟社會理事會の決定は出席投票する理事國の多數決をもつて行ふ

第六十八條 手續

經濟社會理事會は經濟社會諸分野並びに人權促進のための委員會その他その機能遂行に必要なるとき委員會を設置すべし

第六十九條

經濟社會理事會はある加盟國の特殊關心を有する問題の審議においてはその國の参加を要請すべし、ただし投票權は與へず

## 第七十條

經濟社會理事會は理事會の審議並びにその設置せる委員會の審議に特殊機關の代表(投票權なし)を參加せしめ、自己の代表を特殊機關の審議に參加せしめるやう取極めを行ふを得

## 第七十一條

經濟社會理事會はその權能内に入る諸問題に關する非政府機構と協議するために適當なる取極めを行ふを得、かかる取極めは關係加盟國と協議の後、國際的機構並びに適當なりと認めらるる場合は國家的機構との間に行ふを得

## 第七十二條

(一) 經濟社會理事會は理事長選任法を含みその手續規則を自ら採擇すべし  
(二) 經濟社會理事會はその規則により要求さるところに從ひ開催さるべく規則中には理事國の過半数の要求に基き會議を召集する規定を含むべし

## 第十一章 非自治地域に關する宣言

### 第七十三條

人民いまだ完全なる自治手段を獲得しをらざる如き諸地域を統治する責任を有しまたはとる聯合國加盟國は、これら諸地域の住民の利益を最高のものとする原則を認識し、本憲章により樹立されたる國際平和安全保障體制の内部においてこれら諸地域の住民の福祉を最高度にまで促進すべく、その目的のために

A、當該諸人民の文化に十分なる尊敬を拂ひつつその政治的經濟的社會的教育的發達、その正常なる待遇並びにその虐遇に對する保護を確實ならしめ

B、各領土及びその人民並びにその各々の發達段階に應じて自治を發達せしめ、人民の政治的意欲に十分なる考慮を拂ひ、その自由なる政治的組織の漸進的發達に協力し

C、國際平和並びに安全を進め

D、本條に定められたる社會的經濟的科學的諸目的を實際的に達成する意味において、發達の機構的諸措置を促進し、研究を奨勵し、相互に、そして適當なりと認めらるる時と場合には特殊

國際團體との間において協力し

E、報告の目的をもつて、安全保障並びに機構的考慮が要求する如き限定の下に、第十二章並びに第十三章の適用さるる以外の地域にしてこれに對しそれぞれ責任を有する諸地域における經濟社會上教育上の状態に關し統計その他技術的なる報告を事務總長に送達する責務を神聖なる信託として容認す

### 第七十四條

更に聯合國加盟國は、その政策が本章の適用さるる諸地域に關してもその首都におけると同様、世界の殘餘の利益と福祉とを十分考慮し社會的經濟的商業的諸問題において善隣主義の一般原則に基かざるべからざること同意す

## 第十二章 國際信託統治制

### 第七十五條

聯合國はその權限の下に、爾後の個々の協定により制度内に入るべき諸地域の統治並びに監督のために國際信託統治制を創設す、これら諸地域は以後これを信託統治領と稱す

### 第七十六條

本憲章第一條に定められたる聯合國の目的に準據し、信託統治制の基本目的は左の如くなるべし

A、國際平和並びに安全の伸張  
B、信託領住民の政治的經濟的社會的教育的發達並びに各地域人民の特殊事情及び關係諸人民の自由に表明せる希望に適應し且つ各信託統治協定の條項に規定さるる如き自治乃至獨立を目標してのその躍進的發達を促進す

C、民族、性、言語、乃至宗教の差別なく全人類の權利並びに基本的自由に對する尊敬を鼓吹し世界諸人民の獨立の承認を奨勵し

D、聯合國全加盟國並びにその國民に對し經濟上社會上商業上諸問題における平等なる待遇を保證し、同時に後者に對する法の執行において、前述諸目的の獲得に對する偏見なく第八十條の諸規定に基き平等の待遇を保證す

### 第七十七條

(一) 信託統治制は信託統治協定により制度下におかるべき次の範疇に屬する諸地域に適用さる

# 同盟通信

(第三種郵便物認可)

A 現在委任統治下にある諸地域  
B 第二次世界大戦の結果敵國より剝奪さるべき諸地域

C 統治に責任を有する諸國により任意的に制度下に入れられたる諸地域

第七十八條 信託統治制は聯合國加盟國となりたる諸地域にはこれを適用せず、その相互間の關係は主權平等の原則に對する尊敬を基礎とすべし

第七十九條 變更乃至修正を含み信託統治制の下におかるべき各地域に關する信託統治條項は、聯合國加盟國により委任統治制に基き保有せらるる諸地域の場合における委任統治國を含み直接關係諸國によつて協定さるべく、第八十三條並びに第八十五條の規定に従ひ承認さるべし

第八十條 (一) 第七十七條、第七十九條並びに第八十一條に基き各地域を信託統治下におく個々の信託統治協定において同意せらるる場合を除き、本章の規定は、いかなる國家いかなる人民のいかなる權利をも、あるひは聯合國加盟國をそれぞれ當事國とする現存國際文書の條項をもいかなる形にせよ變ずるやう解釋しまたは解釋さるるべからず

(二) 本條第一項は、委任統治領その他の諸地域を第七十七條の規定に従ひ信託統治制下におくための協定の交渉及び締結の遲滯乃至延期の理由を與へるものと解すべからず

第八十一條 信託統治協定はすべての場合において信託統治領を統治すべき諸條項を含むべし、以後統治當局と稱すべきかかる權威は一またはそれ以上の國家あるひは機構それ自體なることあるべし

第八十二條 すべての信託統治協定においては戰略的地域即ち第四十三條によるいかなる特殊協定乃至特殊協定にも左右されることなくその協定の適用さるべき信託統治領の一部もしくはすべてを含む如き地域を指定するを得

第八十三條

(一) 信託統治協定の諸條項及びその變更乃至修正を含み戰略的諸地域に關する聯合國のすべての機能は、安全保障理事會これを行使す

(二) 第七十六條に定められたる根本諸目的は各戰略的地域の人民にも適用するを得べし

(三) 安全保障理事會は信託統治諸協定の諸規定に従ひ、狀況に左右されることなく、戰略的地域における政治的經濟的社會的教育的諸問題に關し、信託統治制下にこれら聯合國の諸機能を行進するために、信託統治理事會の協力を求むべし

第八十四條

國際平和並びに安全の維持において信託統治領がその役割を演ずるやう保障するは、統治當局の任務なりとす、この目的のために統治當局は安全保障理事會に對する責務の遂行に關し、同時に信託統治領内部の局地的防衛並びに法及び秩序の防衛のために、信託統治領より任意に與へらるる兵力便宜並びに援助等を使用するを得

第八十五條

(一) 信託統治諸協定の諸條項並びにその變更乃至修正の承認を含み戰略的地域と指名せられざるすべての地域に對する信託統治諸協定に關する聯合國の諸機能は總會これを行使す

(二) 信託統治理事會は總會の權威下に運営されこれら諸機能の遂行において總會を援助す

## 第十三章 信託統治理事會

第八十六條 構成

(一) 信託統治理事會は左の聯合國加盟國をもつて構成す

A 信託統治領を統治する加盟國

B 第二十三條に明記され信託統治領を統治せざる加盟國

C 總會により三年の任期をもつて選出されたる他の加盟國、信託統治理事會の總理事數を信託統治領を統治する加盟國と統治せざる加盟國との間において同數に二分するに必要な數を選出す

(二) 信託統治理事會各理事國は理事會において自國を代表する特別資格を有する人格を一名指名すべし

## 第八十七條 機能並びに權限

總會並びにその權威下にある信託統治理事會はその諸權能の遂行において

A 統治當局より提出さるる報告を審議し

B 提訴を受領し、統治當局と協議して之を檢討し

C 統治當局と協定せる時期に當該信託統治領に定期的視察を行ふ手配をし

D 信託統治諸協定の諸條項に背馳せざるやう以上並びにその他の行動をとることあるべし

## 第八十八條

信託統治理事會は各信託統治領住民の政治的經濟的社會的教育的利便に關する質問書の形式を定め、總會の權能内に入る各信託統治領の統治當局は右の質問書を基礎として總會に年次報告を提出すべし

## 第八十九條 表決

(一) 信託統治理事會理事國は各一票の投票權を有す

(二) 信託統治理事會の決定は出席投票する理事國の多數決をもつて行ふ

## 第九十條 手續

(一) 信託統治理事會は理事長選任の方法を含むその手續規則を自ら採擇す

(二) 信託統治理事會はその規則に基き要求さるる所に從ひ會議を開催す、規則は理事國の過半數の要求に基き會議を召集する規定を含むべし

## 第九十一條

信託統治理事會は必要なりと認むる場合には、經濟社會理事會並びに特殊諸機關よりその各々關係する諸問題に關し協力を得べし

## 第十四章 國際司法裁判所

### 第九十二條

國際司法裁判所は聯合國の主要司法機關たるべし、裁判所は本憲章附屬の法規に從つて機能すべく、法規は國際常設司法裁判所法規を基礎とし、本憲章の一構成部分をなす

### 第九十三條

聯合國加盟國は安全保障理事會の勸告に基き、總會によりその都度決定せらるる條件において國

際司法裁判所の法規における當事國たるを得

### 第九十四條

(一) 聯合國各加盟國は自己が當事者たるいかなる事件においても國際司法裁判所の決定に從ふべく努む

(二) 一事件における一當事國が裁判所の下せる判決のもとに課せられたる諸責務を遂行し得ざりし場合、相手國は安全保障理事會に上訴するを得べく、安全保障理事會は必要なりと認めれば、判決實行のためにとるべき措置に關し勸告または決定を行ふことあるべし

### 第九十五條

本憲章の規定は聯合國加盟國が既に現存し乃至は將來締結さるべき協定に基き見解の相異の解決を他の法廷に委ねるを妨ぐことなし

### 第九十六條

(一) 總會または安全保障理事會は國際司法裁判所にたいしいかなる法律問題に關しても助言的意見の提示を求むるを得

(二) 聯合國の他の諸機關並びにいつにても總會より承認されたるごとき特殊諸機關は、同じくその活動範圍において生ずる法律諸問題に關し助言的意見を求むるを得

## 第十五章 書記局

### 第九十七條

書記局は事務總長一名並びに機構が必要とする數の書記局員をもつて構成す、事務總長は安全保障理事會の推薦に基き總會によつて任命さるべく機構の主席執行官たり

### 第九十八條

事務總長は總會、安全保障理事會、經濟社會理事會、信託統治理事會のすべての會議においてその權限において活動し、これら諸機關により委託せらるる他の諸權能をも遂行すべし、事務總長は機構の事業に關し年一回總會に報告すべし

### 第九十九條

事務總長は自己の見解において國際平和並びに安全の維持を危くするとみられるいかなる問題についても、安全保障理事會の注意を喚起するを得

# 同盟通信

海外電報

(多量補郵便物認可)

## 第一百條

(一) 事務總長並びに書記局員はその任務の遂行においていかなる政府乃至機構外の他のいかなる權威からの訓令をも求めもしくはは受くべからず、彼らは機構に對してのみ責任を有する國際公吏なる自己の地位に影響する如きいかなる行動をもつしむべし

(二) 聯合國各加盟國は事務總長並びに書記局員の責任の絶對國際的なる性格を尊重しその責任を遂行する彼らに影響を與へざるやう努む

## 第一百一條

(一) 書記局員は總會の定むる規定に従ひ事務總長これを任命す

(二) 經濟社會理事會、信託統治理事會に對しては常時十分なる係書記を設け、係書記は書記局の一部を構成す

(三) 書記局員の採用並びに勤務條件の決定における最高の配慮條件は、能率、能力並びに廉潔の最高水準を確保することの必要にあるべく、可能なる限り廣範圍に亘る地理的基礎の上に書記局員を募集することの重要性に對しても、十分なる顧慮を加ふべし

## 第一百二條

本憲章の發效後において聯合國加盟國が締結せるすべての條約並びにすべての國際協定は、可能なる限り速かに書記局に登録しこれを公表すべし

## 第十六章 雜規

(一) すべてかかる條約乃至國際協定にして本條第一項の規定に従ひ登記せられざりしもの關係國は當該條約乃至協定を聯合國のいかなる機關に對しても援用するを得ず

## 第一百三條

本憲章による聯合國加盟國の責務と他の國際協定による責務とが背馳する如き場合には、本憲章による責務の優位を認む

## 第一百四條

機構は各加盟國の領土においてその機能遂行並びに目的達成にとつて必要なるべき法律上の權能を享受す

## 第一百五條

(一) 機構は各加盟國領土内においてその目的達成に必要な如き特權並びに特免を享受す

(二) 聯合國加盟國の代表並びに機構公吏は同じく機構に關聯するその機能の獨立的遂行に必要な如き特權並びに特免を享受す

(三) 總會は本條第一項並びに第二項の適用に關する詳細を決定する意味において勸告を行ひ、もしくはこの目的のために聯合國加盟國に對し規約を提案するを得

## 第一百六條

安全保障理事會の見解において第四十二條による責任の遂行を可能ならしむる第四十三條に述べられたる如き特殊諸協定が效力を發生するまで、一九四三年十月三十日モスクワにおいて調印されたる四ヶ國宣言の調印並びにフランスは、同宣言第五項の規定に従ひ相互間において、必要ある場合には他の聯合國加盟國との間において、國際平和並びに安全の維持なる目的に必要な如き機構代理の共同行動に關し協議すべし

## 第一百七條

本憲章の規定は、第二次世界大戰中の本憲章調印國の敵國たりし國家に關して大戰の結果として責任政府が採りもしくは承認せる行動を無効ならしめまたは阻害することなし

## 第十八章 修正

## 第一百八條

本憲章の修正は總會參加國の三分の二の投票をもつて採擇され、安全保障理事會全常任理事國を含む聯合國加盟國の三分の二によりそれぞれ憲法上の手續に従ひ批准されるときすべての聯合國加盟國に對し效力を發生す

## 第一百九條

本憲章の再檢討の目的を有する聯合國全體會議は安全保障理事會加盟國の三分の二の投票により決定さるる日時場所において開催するを得、聯合國加盟國は右會議において各一票の投票權を有す

(二) 全體會議の三分の二の投票をもつて提案せられたる本憲章の變更は、安全保障理事會全常任理事國を含む聯合國加盟國の三分の二によりその各々の憲法上の手續に従つて批准されたる

とき效力を發生す

(三) 本憲章の效力發生後、總會の第十回年度會議以前にかかる全體會議が一回も開催されざりし場合には、總會の第十回年度會議日程に全體會議召集の提案を上程すべく、總會の過半数並びに安全保障理事會の七ヶ國をもつて決定されたる場合には會議を開催すべし

## 第十九章 批准並びに調印

### 第一百十條

(一) 本憲章は調印國によりそれぞれの憲法上の手續に従つて批准さるべし

(二) 批准書はアメリカ合衆國政府に寄託さるべく、合衆國政府は寄託毎にすべての調印國、並びに事務總長任命せられたる時には事務總長に對し、通告すべし

(三) 本憲章は支那共和國、フランス、ソヴェト社會主義共和國聯邦、大ブリテン・アイルランド聯合王國及びアメリカ合衆國並びに他の調印諸國の批准書寄託をまつて效力發生す、寄託せられたる批准書に關する調書はその時において合衆國政府これを起草し、その寫本を全調印國に送達すべし

(四) 本憲章が發効せる後にこれを批准する調印國は、それぞれの批准書を寄託せる日附をもつて聯合國創立加盟國となる

### 第一百十一條

本憲章は支英佛露西各國語の原文を等しく正文とし、アメリカ合衆國政府の官文庫に寄託しておくべし、適法に認證されたるその寫本は同政府により他の調印諸國政府に交付さるべし

右真正のため聯合諸國代表は本憲章に調印せり  
(一九四五年六月二十六日、サンフランシスコ市において)

## 米軍の駐歐兵員引揚計畫

「ニューヨーク・タイムズ」紙  
ワシントン特電五月十日附

米國輸送隊司令グロス少將は歐洲からの兵員引揚げ計畫を發表したが、それによると現在歐洲に在る三百五十萬の兵員中四十萬人は占領軍として残す豫定である、空輸司令部は歐洲から毎月兵員五萬を引揚げられるが、残りは水上輸送によらねばならない、この任務には兵員輸送船の外に貨物船の改造したもの四百隻以上が用ゐられるであらう、これらの改造船は一隻三百五十名乃至千五百名の兵員を運ぶことが出来る、而して引揚げは次のやうな豫定によつて行はれる

一、Vデー後最初の三箇月間に約八十四萬五千名  
二、次の三箇月間に約百十八萬五千名  
三、更に次の三箇月間に約八十萬七千名

四、爾後は大體同じ率で引揚げを續けVデー後一年以内に占領軍以外全部の引揚げを完了する

陸軍は前記の率を改善しようとしてゐる、敵の旅客船が破損しない状態で捕獲されれば、三箇月で改装して輸送陣に加へ、第二四半期には六萬名第三四半期には十一萬七千名の割合で引揚げを増加することが出来る、かくして一箇月當り輸送を最高五萬名まで増加し得よう、グロス少將は歐洲から引揚げる三百十萬名の中どの位を太平洋に廻すかについては言明を避け、唯「歐洲からの兵力移動及び一面作戰によつて増大する米軍の威力が日本にはつきり感じられるやうになるには數箇月を要しよう」と語つた、次に米陸軍補給本部長ソマーヴィル少將は歐洲から歸還する兵員の處理について細目を發表したが、これによると歸還部隊は上陸後直ちに各港の兵員配置指導所に赴き、そこで兵員を居住地別に分類し全國各地に設置されてゐる兵員指導機關に送る、之らの兵員指導機關において歸還兵は衣類、給料等を受取り、それから賜暇歸休する、休暇が終ると兵士は前の兵員指導機關に赴き、その内前線に復歸する豫定の者はグループに編成され、兵員集結所に送られそこからまた特別の訓練を受けるため各部隊に廻されるソマーヴィル少將は歐洲戦線の兵員の太平洋移送には多くの技術的問題が伴ふ旨を強調してゐる



昭和二十年七月五日(木)  
第三四七三號

# 同盟通信

## 海外電報

マーシャル作戦で米國軍が費消した戦費は六十億弗だつた、六十億弗といへばルーズヴェルトの濫費政策がはじまる前の米國のほぼ一年間の全歳出にあたる額である、更にサイパン作戦では米國軍がその前年に太平洋全域で一年を通じて費消したと大體同額の燃料を費消した、しかもその後の比島作戦或ひは今回の沖繩作戦に比較すれば、マーシャル、サイパン兩作戦共にその規模は比較にならぬ程小さい、人的出血を先づおくとしても太平洋戦は米國に對して容易ならぬ物的消耗を強要してゐる



ニューヨーク電によると「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙は二十九日の紙上に太平洋戦線に對する燃料の補給に必死となつてゐる最近の米國西海岸の模様を紹介してゐるが、これは燃料の點から太平洋の消耗戦を説明したものととして興味深い、左にその要點を掲げよう

一、現在太平洋では歐洲戦終了前歐洲太平洋兩戦域で費消された以上の石油が消耗されてゐる、この燃料は大部分海軍艦艇によつて費消されたが、日本にたいする空爆戦が強化されるに従ひ航空機用ガソリンの消費も今後激増しよう

一、太平洋戦域で費消される石油の約半分が目下カリフォルニア州の諸港から積出されてゐるがこの額は月平均一千四百萬バレルである、これは太平洋戦開始以來の最大額だが、この額は今後戦争が終るまで殖えるとも減るやうなことがあるまい

一、カリフォルニア州のあらゆる油田では今やその最大限までの採油が行はれてゐる

一、かかる大量の石油を長大な距離を通じてできるだけ早く前線に補給しなければならぬため海上石油輸送の常則の如きは放棄され、あらゆる非常措置が講じられてゐるが、なほかつ石油積出し港では多數の油槽船が積込みの順番を待つて列をつくつてゐる

### 【目次】

ホプキンス突如隱退を聲明	一九一八
三頭會談は十日以後か	〃
宋子文を招待	〃
渝延關係暗澹	〃
ソ聯英帝國主義勢力を牽制	一九一九
濠政府憲章批准	〃
白國王退位を決意か	〃
【米 洲】	
米國の食糧不足深刻	一九二〇
米の對支政策は内亂を誘致	〃
黑人雇傭改善案否決か	一九二一
米の中立國經濟封鎖繼續	〃
プリンストン代艦進水	〃
潜水艦キート沈没	〃
亞大學同盟休校	〃
【歐洲戦後處理】	
金塊處理を繞つて一悶着	〃
伊工業を對日戦に利用か	一九二二
米、伊のケーブルを接收	〃
米、流民送還に使節派遣	〃
米英軍隊の瑞西通過問題	〃
西歐經濟ブロックを提唱	一九二三
ローマ教會の國際化	〃
米技術團獨兵器を調査	〃
火十字團長を審理	〃
パワリア州の四閣僚任命	〃
親衛隊員の財産を登録	一九二四
【英 帝 國】	
ジンナーに妥協を慫慂	〃
米に接近する印度	〃
スマツツ倫敦へ	〃
カーチン病狀悪化	〃
濠六萬五千を動員解除	〃
【資 料】	
民主々義の問題に寄せて	一九二五
獨逸首腦の行方(下)	一九三一

## ホプキンス突如隱退を聲明

對ソ政策變化の前兆か

(リスボン三日發) ワシントン來電によれば、トルーマン大統領の特使として最近モスクワに赴き三頭會談への下準備を進めたハリイ・ホプキンスは今後米國政府との關係を一切斷つて隱退する旨三日正式に發表されたといはれる。隱退の動機としては健康上の理由が擧げられ、暫くの間表立つた公共の責任を負へない状態にあると説明されてゐるが、消息筋の觀測では近くベルリンで開催される三頭會談の下準備のためモスクワを訪問、スターリン議長と交渉を進めた結果につきトルーマンと意見が衝突、自ら政府から手をひいたか或ひはトルーマンに追ひ出されたかのいづれかとみられてゐる。

ホプキンスは故ルーズヴェルト大統領の懷刀として主として武器貸與法の運営に當り、その後は英ソ兩國との關係調整の任に當つてルーズヴェルト外交政策の線に沿ひ、特にソ聯に對する宥和政策を支持してきたが、國務長官ステチニアス更迭につぐホプキンスの隱退はトルーマンが政府からルーズヴェルト色を一掃しようとする意圖を示唆するものであり、且つホプキンスもステチニアスもいはゆる「歐洲派」として知られてゐるところからみても、米國政府の歐洲政策、特にソ聯に對する政策が根柢から變化する前兆とみられ、國內輿論は勿論英ソ政界の深甚な關心を集めてゐる。

## 三頭會談は十日以後か

(ストックホルム三日發) 當地では三頭會談が今後一週間以内にベルリンで開催されるとの觀測が有力だが、ロイター外交記者シルヴェン・マンジョットは會談に關し二日次の通り報じてゐる。

「過般のヤルタ會談ではソ聯側が會談の御膳立てをしたのだが、今度の三頭會談では三國首腦の何れが主催者になり何れが客になるといふやうなこととはないだらう、即ち、會談地は三國軍隊に警備されて他から隔離され會談當事者はこの地域内で自給自足しうることにならう、一部報道は會談の準備は着々進み、ポツダムの夏宮殿を使用すべく

同宮殿の修繕が行はれてゐると報じてゐるが、英國政府當局は右報道を確認も否定もしてゐない。これ迄の三頭會談において會談地の設備を行つた人々はフッドドリツヒ大王の愛用したサン・スーシーの宮殿がベルリン近傍で會談地として最も適當だといふ意見を發表してゐる、サン・スーシー宮殿はベルリン西郊のポツダムから自動車で數分行つた森の中にある」

またロイター記者ヘンリー・バックレーは次の通り報じてゐる。

ポツダムで開催されるものと一般に期待されてゐる三頭會談がいつ開かれるかについては三國政府は嚴重な沈黙を保つてゐる、非公式のラジオ放送は十日だと報じてゐるが、この説は確認されてゐないし、消息筋では恐らく十日より後だらうと觀測してゐる、米大統領秘書チャールス・ロスは會談の開催日ははつきりしないと述べてゐるし、歐洲侵攻軍司令部でも嚴重な秘密を守つてどこで開かれるかといふことさへ明かにしてゐない。

## 宋子文を招待

(モスクワ三日發) モロトフ外務人民委員は二日重慶政權外交部長宋子文を午餐會に招待、モスクワ駐劄大使傅秉乘、ミコヤン外國貿易人民委員、およびヴィシンスキー外務人民委員部次長が列席した。

## 渝 延 關 係 暗 濶

(リスボン三日發) 重慶からのロイター電によれば、七日の國民參政會第四十五次會議を控へて成都、昆明等各地の委員約百名は既に重慶に到着した、別報によれば全委員二百四十名中延安代表八名の不参加を別にしても、現下の交通隘路を克服して大部分が参加出来るか疑はしい、國共の妥協は依然見透しつかず蔣介石は中間派である國家社會黨の黃炎境以下七名を延安に急派して延安代表の引出しを交渉させてゐるが、延安が過去四ヶ月に亘る重慶との全面的對立抗争を清算して國民參政會への参加を受諾するか否かは依然不明だ。

### ソ聯英帝國主義勢力を牽制

Ⅱ 西亞でソ佛共同戦線かⅡ

(ストックホルム三日發) ダーダネルス海峡管理並びにカフカーズ國境改訂に關するソ聯のトルコに對する要求は、ソ聯の西亞外交政策の重要な一環としてその窮極の目的をトルコそのものにおくよりは寧ろ西亞における英國勢力の牽制においてゐるため、英國政府は極度に狼狽、トルコ外相ハッサン・サカのロンドン訪問を待つて對策の樹立を計畫してゐるが、ソ土交渉がシリアを繞る英佛兩國の紛争と直接の關聯を有することは今や全く疑問の餘地がない、即ちソ聯のダーダネルス獨占管理要求は海峡の國際的性格に鑑み實現不可能なことはないふまでもないが、この要求によつてソ聯が英國のシリア乗取り野望に強力な楔を打ち込んだことは英國政府の焦慮によつて明瞭に察知されソ聯とフランスとの間に西亞における共同戦線結成の話し合ひがあつたことは想像に難くない、このことはまた英國の西歐聯合實現の意圖に對するソ聯の對策とも解され、ベルンの新聞「ブント」紙のアンカラ特派員も去る六月三十日、以上の線に沿つて次の通り觀測してゐる

「トルコ政界はソ聯今回の行動を重大問題とみてゐるのはいふまでもないが、部分的には寧ろ危険な行動だとみてゐる様子だ、ソ聯が問題を一気に解決しようとするのは、要求そのものに盛られた意圖でも明瞭だが、トルコ政府は英國が態度を明確にした後に公式に聲明を發する意向と解される、このことはトルコの各新聞が例外なく「ダーダネルス海峡の地位の修正はモントルー締約國全體の關心を持つ問題だ」と述べた「タイムズ」紙政治記者の論説を轉載してゐることからも推察され、トルコ政府がダーダネルス問題をソ聯とともに單獨で解決する意圖は毛頭なく、英國政府の干渉を待機してゐることは明瞭だ、また英國政府としても地中海におけるその利害關係に致命的影響を及ぼす事實に鑑み、一方的にソ聯の有利に解決されるのを坐視してゐる筈はない、いづれにしてもソ聯今回の行動はシリアを繞る英佛兩國

の紛争に直接關係を有する、たとへばトルコのフランス語新聞「トニルキ」紙の如きは英帝國主義がアラブ世界の革命を意圖してゐるのに對するソ聯の報復措置と解してゐるが、ソ佛兩國が英國の東地中海勢力圏に對抗して、ある程度共同政策を採るに至つたことは容易に想像されるところであるこのことはソ聯がすくなくとも戰術的にはシリア問題をダーダネルスを繞る新交渉と結び付けようと試みてゐることを意味しよう、英國がドデカネーゼ諸國の領有を通じて勢力圏の強化を圖ることは、黒海から地中海に進出ししようと努めるソ聯にとつて大きな脅威を意味する」

### 濠政府「憲章」批准

(リスボン三日發) キャンペラ來電 濠洲首相代理フランシス・フォードは三日下院において政府は近く議會に對し「國際憲章」を提出しこれが批准を要請する旨言明した

### 白國王、退位を決意か

(リスボン三日發) レオポルド三世の退位問題に絡まるベルギー政情の行詰りは過去二週間來改善の兆を見せてゐなかつたが、三日ブリュッセル來電によれば國王は遂に退位を決意するに至つた様子といはれる、即ち二日夜レオポルド三世の居住するザルツブルグから歸還したベルギー検事總長コルニルは三日、攝政シャルル並びに臨時首相ヴァン・アツケルに對しレオポルド三世からの親書を手交したが消息筋では右親書は恐らく退位決意を披瀝したものと確信してゐる、六月中旬上下兩院議長その他ベルギー政界の領袖七名がザルツブルグを訪れた際にはレオポルド三世は明かに退位を決意してをらず強要されない限り退位しない方針であつたと傳へられてゐるが、爾來國內の大勢は些かも變化せず國王に對する退位要求が緩和されてゐない實情に鑑み遂にレオポルド三世も退位を決意するに至つたのではないかと解される、もつとも現在ブリュッセルにおいては國王の特使であるジャック・ピレン、ルイ・フレデリックらが退位以外の方法で政情の行詰りを打開せんとして最後の努力を續けてゐるが、右が大勢に影響のないことはいふまでもない

## 米國の食糧不足深刻

(リスボン二日發) 米國內における食糧不足は極度に深刻化してゐるが六月二十六日附の「マンチエスター・ガーディアン」紙はワシントン特派員の報道としてこの問題につき左の通り報じてゐる。「米國內の食糧事情は今や極度に憂慮されるに至つてゐる、あらゆる食糧が不足してゐる中でも肉類の不足は甚だしく特に東海岸では殆んど食肉を入手することが出来ない状態だ、尤もかかる食糧の不足が果して現在までのところ米國人の健康状態に悪影響を及ぼしたかどうかは疑問といふほかないが——食糧の生産額は戦時中全般的に増加してゐるのだが、それにも拘らず不足を來たしてゐる原因としては、第一に軍隊の消費(軍隊内では平時の三倍の食糧を消費してゐる)があげられ、第二は武器貸與に基く國外移出で第三は大衆の購買力の増大であらう、以上の如き理由から現在の食糧行政擔當機關に對して非難が集中してをり、下院も又物價管理局から食肉に關する大半の權限を奪ひ之を農務省に賦與しようといふ法案を可決してゐる」

更に「タイムズ」紙も同日の紙上で「危機的段階にある米國の食糧事情について、物價管理局はもつと現實に即した對策をとるべきであるとの勸告案が最近物價管理局に對して提出されたが、之には東北十三洲の知事が署名してゐる」と報じてゐる

## 米の對支政策は内亂を誘致

米 紙 痛 論 II

(リスボン二日發) 宋子文のモスクワ訪問を契機として米國の重慶政策再檢討の聲が急激に昂まり米國外交評論界の長老ウオルター・リツプマンも米國が國共相剋を寧ろ助長してゐる事實を指摘して再考を促してゐるが、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙も去る六月二十九日「アジアの危機」と題する社説を掲げ、延安を繼子扱ひにして重慶政權のみ支持する態度は支那を内亂の巷に投げ入れるものだと言明し、いまにして米國政府が對支政策を改めねば、支那を繞つて米ソ兩國間に激突の發生する危険なしとしない」と極論し

てゐる、要旨次の通り

「ウオルター・リツプマン氏が二十八日附の本紙論説欄で指摘してゐるやうに、極東において聯合諸國の政策に統一が全く缺けてゐることは日本を勇氣付けるのに役立つばかりだ、即ち、米英ソ重慶四國の間がうまく行かぬかぎり、日本はすくなくとも一縷の希望をそこに見出して抗戦を続けるであらう、かかる事態を生起させる要因の——は渝延兩政權間にふつと沸き立つ内亂の危険である、支那の内亂が支那自身にとつて歓迎出來ぬことは言ふまでもないが、特に米國が現在重慶政權を全面的に支持する旨公約してゐるのに對し、ソ聯が延安政權に同情を寄せ、將來積極的に支持するは明瞭な事態を考慮に入れるならば、これより危険なことはないもしも兩派が、統合政權を樹立するための政治協定に達することが出来るならば、危険の大半は消滅しよう、しかるにかかる結果を齎らさうとした米國の努力は水泡に歸してゐる、現在米國は重慶政權と緊密に協力し、延安政權を無視する政策を採つてゐる、この政策の軍事的成果はおほきいが、政治的結果は失敗の一語に盡きる、それは支那の内亂勃發をもつて脅威するもので、多少とも極東の事情に明るい米國人は米國政府のみちびき行くところを悪夢のごとく懼れてゐる實狀だ、リツプマン氏は米ソ兩國が協力して渝延相剋を解決するやう慫慂してゐるがもしも米ソ兩國の協力が實現すれば、成果は期すべきだが、實現出來なければ、他に支那の紛争を解決する道は鎖されてゐることを知らねばならない、いづれにしても、米國の支那政策は根本から改訂される必要があるが、一手段としては重慶政權の猛烈な反對を無視して、共產地區に米國軍を派遣し、共產軍の遊撃隊を援助し軍需品を供給することだ、もしも渝延兩政權が共に米國の援助に依存するやうになれば、内亂勃發の危険がみられる場合、援助の取消しをもつて脅かせばすくなくとも事態は改善されよう勿論以上の措置は他に多くの危険を孕む困難なものであらうが、現状維持の政策よりは危険でない筈だ」

## 黒人雇傭改善案否決か

(リスボン一日發) ワシントン一日來電によれば  
故大統領ルトズヴェルトは黒人雇傭における差別  
待遇を監視する機關として(公正雇傭實行委員會)  
の設置を議會に提出し、上院はその費用年額二十  
五萬弗に承認を與へてゐたが三十日下院の拒否に  
より本案は成立殆ど絶望視されるに至つた

## 米の中立國經濟封鎖繼續

(チューリツヒ二日發) ニューヨーク來電ニ米國  
製造業者協會の機關紙は三十日國務省當局の聲明  
に基き、米英兩國の中立諸國に對する事實上の經  
濟封鎖は今後も當分の間繼續されると報じてゐる  
米英兩國が以上の措置に出た目的は歐洲の再建設  
に使用されるべき原料資材がスイス、スエーデン  
ポルトガル等の中立各國に過分に流れ込むことを  
防止すると共に中立各國にある樞軸國の金その他  
の財産が償却されることを阻止するにある

## プリンストン代艦進水

(リスボン一日發) ファイデルファイア來電ニレイ  
テ灣海空戰で日本軍に撃沈された米國海軍空母プ  
リンストン(一萬噸)の代艦はファイデルファイア  
の海軍工廠で建造中だつたが来る七月八日進水す  
る模様である、一方同工廠では目下エセックス級  
空母ヴァレー・フォージュ號(一萬七千噸)も建造  
されてゐるが海軍當局は未だ曾てみられなかつた  
程に同號の完成を急いでゐる

## 潜水艦キート沈没

(リスボン一日發) ワシントン來電ニ米國海軍省  
は三十日「潜水艦キートは既に豫定期限を過ぎた  
が歸還せず沈没したものと認められる」旨發表し  
た、同艦は乗組員約八十名で米國海軍省が沈没を  
發表した四十四番目の潜水艦である

## 亞大學同盟休校

(リスボン二日發) アルゼンチンのファレル政權

は過般來國內の進歩分子を彈壓、ファシスト政權  
の非難を受けてゐるが、ブエノスアイレス來電に  
よればアルゼンチン大學聯盟は最近、ファレルの  
政權掌握以來初めて大會を開催、立憲政治への復  
歸を要求する抗議文を可決、全國の大學は直ちに  
同盟罷業を開始したといはれる

## 【歐洲戰後處理】

### 金塊處理を繞つて一悶着

(リスボン二日發) 「ヘラルド・トリビュン」紙パ  
リ版は聯合軍がドイツ國內で發見した金塊の處置  
問題につき次の通り報じてゐる

「フランス政府が現在までに得た情報によると米  
英軍がドイツ國內で鹵獲した金は、この冬になつ  
てドイツの再建設費ドイツ國民の給養費として使用  
されることになつてゐる、一九四三年一月五日及  
び一九四四年二月二十二日の聯合國共同宣言はナ  
チの行つた一占領地域から他の占領地域への金の  
移動は認めない旨述べてゐるが、米英兩國は米第  
三軍がフランクフルトで發見した金塊の出所も調  
査しないでドイツの再建設費に使用せんとしてゐる  
模様で、右金塊の出所を調べようと一生懸命努力  
して來た佛白兩國はがつかりしてしまつた、佛白  
兩國が何故出所調べに努めてゐるかといふと嘗て  
ドイツはベルギー國立銀行が一九三九年末にフラ  
ンス國立銀行へ預けて置いた約二百噸の金をドイ  
ツ國內へ持ち去つてしまつた、そこでベルギーが  
フランス國立銀行へ抗議を申込み、止むを得ずド  
ゴール政權はベルギーへ賠償し、若しドイツ國內  
で、例の金塊が發見されたらフランスのものとする  
といふ約束を結んだ、ところがドイツ國立銀行  
副總裁ブルはドイツ政府の鑄直したベルギーの  
金の四分の一以上がフランクフルト近傍のチュー  
リングン岩鹽鑛山に隠してあつたと言明した事實  
があり米第三軍がフランクフルトで鹵獲した金の  
出所が問題になる譯だ、これまで金塊問題に關す  
る記事は一般に發表されなかつたが、この問題は  
米英兩國とフランスとの關係を悪化せしめる重要  
な因子となつてゐる」

## 伊工業を對日戰に利用か

(チューリッヒ一日發)「トリビューン・ド・ジュネーヴ」紙のキャツソ電報によれば對日戰補給の爲どの程度までイタリア工業を利用出来るか調査するため英國政府から派遣された調査團の一行が北部イタリアに乗り込んだといはれるが、イタリアの工業界並びに實業界はこの機會を逆を利用してイタリア工業を復興しようとする

一、軍需生産を行ふために英國はイタリアに原料を供給する

一、イタリアをアンラに對する補給基地とし、纖維製品を供給する

の二條件につき英國の言質を得るため、英國調査團との會見を希望してゐると傳へられる

## 米、伊のケーブルを接收

(チューリッヒ一日發)スイス通信社のローマ電報によれば、米國の某電信會社がイタリアの電信ケーブル及びラジオ統制權を接收したが、この電信ケーブルにはローマ—モンテヴェイデオ間の一萬三千軒のケーブル及びイタリアからスペイン、ベルギー、米國に達するケーブルが含まれてゐるといはれる

## 米、流民送還に使節派遣

(リスボン一日發)ワシントン來電「米國々務省は次の通り發表した

前移民委員にして現在國際避難民委員會の米國代表であるアール・G・ハリソンは西歐解放諸國並びにドイツ領聯合軍占領地帯における流民の中にある國籍のないもの或は送還出来ない避難民について調査するため歐洲へ向つて出發した、ハリソンは軍當局、關係各國政府、國際救濟機關、私設避難民處理機關によつて現在之ら流民がどの程度救濟されてゐるかを確めるのがその任務である、既に軍當局は二百萬に上る聯合國(ソヴェトを含む)流民を送還したが依然送還が延々になつてゐるものあるひは事實上送還不能の流民が無數にゐる、後者の集團に含まれてゐる者にはナチの迫害をうけながら生き残つたユダヤ人多數があり、彼らを、今後解決策

がとられるまでの間どうするかといふ問題は米國政府機關並びに避難民問題に關係する多數の私的機關の關心の的である、大統領はハリソンの使命に興味を示し調査の結果を報告するやうハリソンに要求した

## 米英軍隊の瑞西通過問題

(チューリッヒ一日發)ベルン來電「目下スイス國內に抑留されてゐる聯合國民の本國歸還問題を検討するため去る十九日ベルンで聯合諸國代表とスイス代表の會議が開かれた、スイスに避難したが、輸送の困難のため歸國出来ない聯合諸國民の歸還及びスイス以外の地域にゐる者をスイス經由歸還せしめる可能性について聯合國及びスイス政府が調査を行ふといふ案について協議が行はれた目下スイスにはドイツから脱走避難した約九千の赤軍將兵がをり、最近これら赤軍將兵の待遇問題で瑞ソ兩國間に紛争が生じたが、スイス政府はソ聯政府に對し、(一)ソ聯はソ聯代表を含む聯合國調査委員會をして赤軍將兵の被抑留狀況を調査すること、(二)これら將兵の本國歸還についてスイス當局と協議すること、を提案し、ソ聯側は之を承諾した

聯合國調査委員會がイタリアの米英軍隊をスイス經由英本土まで歸らせる問題を探り上げて調査するかどうかはいまだ明かでない、もし米英軍隊がイタリア經由で歸還すれば僅か三十六時間で済むが、イタリアから船で英本土へ向へば五日を要するのだ、歐洲戰が既に終つたためスイスが外國軍隊の通過を拒否する理由は一應消滅したやうに思はれるが、太平洋戰爭が続いてゐるため軍隊の通過を認めることは日本の利益に反し米英を利することになる、「ノイエ・チューリッヒヤーツアイツング」紙のベルン特派員は

もし外國軍隊の通過を許すやうな場合には軍隊を全部非武装とするかあるひは武装軍隊の通過を認める代りにスイス國境の周邊にはりめぐらされてゐる米軍の國境封鎖網を撤去して貰はなくてはならないと論じてゐる

### 西歐經濟ブロックを提唱

(リスボン二日發) パリ來電によれば元フランス首相ポール・レインノーは英佛兩國とアフリカの資源を含む西歐經濟ブロックの樹立を提唱次の通り述べた

大量生産が流行してゐる今日の世界において小規模な經濟的領域しか持つてゐない西歐諸國がブロックを構成しないで單獨に繁榮することは困難だ、西歐經濟ブロックはアフリカの全資源を管理したらよいだらう、ブロック内の諸國の生産原價は餘り開きがないやうにしなければならぬ、かかるブロック案に對し米ソ兩國が反對を稱へるのではないかといふ意見もあるが、米國指導部には經濟問題に明るい人が多く、これらの人々は世界の繁榮が米國の基本的利益と合致することを理解するだらう、西歐諸國が近代的生産條件をつくりだすことも阻止すれば米國の利益に反する、またソ聯は、その政治的目標に對抗するやうな西歐ブロックには反對しようが、單に西歐の繁榮を齎す種類のブロックには反對しない

### ローマ教會の國際化

(チューリッヒ一日發)「プリント」紙ローマ特派員は次の通り報じてゐる

法王廳がニューヨーク大司教スペルマンをマリヨーネ師の後任として法王廳國務長官に任命するだらうといふ噂が流布されたが、法王廳がこの噂を否定しなかつたため、イタリア人以外の者が法王に最も近い地位を占めるといふ前例のないことが實現するのではないかとみられ、非常に大きな波紋を捲き起した、若しこの噂が實現すればローマ教會の國際化が行はれる譯で、イタリア人以外の者が法王に選舉されるやうになるかも知れない、イタリア人以外が法王になつた前例は十六世紀にオランダ人の法王ハドリアン四世があるだけだ、ピオ十二世は來る十二月樞機官會議を召集し、全部外國人からなる二十名の新樞機官を任命する豫定といはれ、イタリア宗教界はローマ教會の國際化の傾向に對し

て心穩かならぬものがあるやうだ

### 米技術團獨兵器を調査

(リスボン一日發) ワシントン來電に歐洲派遣米國海軍技術團長ヘンリー・シェードは記者團と會見、次のやうに言明した

現在米國海軍技術團の一行二百名あまりがドイツ海軍並びに海軍關係工業の色々の計畫や記録を研究してをり對日戰に使用出来るドイツ兵器に關する情報を集めてゐる、資材の蒐集はドイツの米英軍占領地域で行はれてゐる、ドイツはたしかに武器の技術面では米國に優つてをり特にロケット砲では米國を凌いでゐた

### 火十字團長を審理

(リスボン三十日發) パリ來電にフランス政府はドイツ軍のフランス占領當時新聞雜誌に對獨協力の要を説き「國家の利益」に反する文章を發表した者を處罰する新法令を發布し、先づ元火十字團長フランソア・ド・ラ・ロツク大佐がこの法令により處斷されることになつた

### バワリア州の四閣僚任命

(チューリッヒ二日發) ミュンヘン來電に米軍政當局の任命したバワリア州統管フリードリッヒ・シェーフアー博士は一日更に次の内閣僚を正式に任命した

- 内相 カール・アウグスト・ジッター博士(ワイマル共和国におけるバワリア州の文相)
- 經濟相 カール・アウグスト・ランゲ博士(前バワリア醸造業組合顧問)
- 文相 オットー・ヒット博士(前レーゲンスブルク市長)
- 勞働相 アルバート・レッツツハフター(前バワリア社會民主黨々首)

なほ藏相はフリードリッヒ・シェーフアーの兼攝となつてゐる

## 親衛隊員の財産を登録

(チューリッヒ二日發) ミュンヘン來電 〓 パワリアに駐屯する米軍當局は前秘密警察隊乃至親衛隊員は財産登録のため出頭すべしとの命令を發した右命令によれば以上のドイツ人は秘密警察隊乃至親衛隊に入隊する以前または入隊後に獲得した一切の財産及び動産を全部登録しなければならないことになつてゐる

## 【英 帝 國】

### ジンナーに妥協を慫慂

(リスボン二日發) ロンドン來電 〓 在英回教徒の大立物として知られるサム・クワレシーは二日回教徒聯盟總裁ジンナーに對し「英國政府によつて提案された中間政府を組織するために會議派と和協する」やうにとのメツセージを送り同時に會議派議長アツアドにも「シムラ會議における貴下の使命の成切を祈る」とのメツセージを發した、更にクワレシーは二日シムラ會議に關聯して左の通り言明した

若しジンナーが躓きの石であることがはつきりすれば總督は回教徒聯盟の協力を俟たずして中間政府を組織するであらう、總督がヒンヅ・マハサバ派の代表を入れずに中間政府を組織しようとしてゐるところに徴しても以上のことは明かであらう、國民會議は印度におけるあらゆる階級、宗派を眞に代表するただ一つの組織である、更に余はネールがシムラ會議に出席して會議の雰圍氣をよくし事態を好轉させることを望む

### 米に接近する印度

(リスボン二日發) 政治上の自由獲得へ邁進すると同時に印度は戦後の經濟的發展を目指し躍起の努力を續け過般來タタ、ビルラ等印度實業界の代表八名を英國及び米國に派遣し兩國の經濟的援助を要請せしめてゐるが、最近特に印度が米國の經

濟力に依存せんとする傾向が強くなつてゐるのが注目される、たとへば行政參議會の企畫開發委員であるアルデシル・デラルは目下米國を訪問し米外交界並びに實業界の巨頭と會見印度に對する經濟的援助、即ち米國製の機具、重工業用施設並びに技術者等の供給を懇請してゐる有様で、ポストン來電によればデラルは米誌「クリスチアン・サイエンス・モニター」記者に對して

印度は戦後の工業擴張計畫について米國から主要な援助を獲得しようとして目下その見込みがあるかどうかを検討してゐるところだと言明したといはれる

### スマツツ倫敦へ

(ストツクホルム二日發) ロンドン來電 〓 桑港會議の南阿聯邦首席代表ヤン・スマツツ將軍はサンフランシスコからの歸途一日ロンドンに到着した

### カーチン病狀惡化

(リスボン二日發) キャンベラ來電 〓 濠洲首相ジョン・カーチンは四月中旬から肺病のため病床についてゐるが、最近に至つて病狀甚しく惡化して來たといはれる

### 濠六萬五千を動員解除

(リスボン二日發) 濠洲政府はさきに五萬の兵員を今年末までに動員解除する旨發表したが、メルボルン來電によれば當局はさらに一萬名の兵員を七月から十二月までの間に除隊せしめるに決定したといはれ、今年中の復員總數は、六萬四千名に上ることとなつた、今回の決定に就いて濠洲首相代理ジョゼフ・チーフリーは二十九日左の通り述べたといはれる

動員解除は濠洲が遂行しつつある軍事的義務の違背にはならない、濠洲軍の勢力を維持するため今後とも徵集が行はれよう、動員解除は陸軍三分の二、空軍三分の一の割合で行はれる、なほ當局が動員解除を決定したのは國內の人的資源が缺乏したためである



民主々義の問題に寄せて

A・ソコロフ

「戦争と労働階級」誌

四月十五日號

△曖昧な理解の仕方

最近聯合國および中立國の二三の新聞は民主々義とは何ぞやといふ問題について盛んに研究を始めてゐるが、この研究は決して抽象的な性質のものではない、それどころか一聯の歐洲解放國における民衆の意思が表明してゐる具體的な形式に明かに不満を感じてゐるためだ、その際評論家は佛頂面で民主々義といふ語句を検討した結果、大抵の場合判を押したやうに同じ結論に到達してゐるつまりソヴェト聯邦とアングロサクソン國家による民主々義の二様の「理解の仕方」には根本的な相違がみられるといふのだ

たとへば英國の自由主義的な新聞「マンチエスター・ガーディアン」紙は「若干の慣用語の意義について或る種の國際的取極めを行ふ必要がある」と主張してゐる、同紙はどんな慣用語のことを明かにしてゐるがつまり「民主々義者、ヒトラー主義者およびファシストとは一體どんなものか、また反ファシストはなにを指すかを定義することも同じやうに重要だ」と論じてゐる、更に保守主義的な他の新聞「オブザーヴァ」紙は「歐洲通」といふ思はせ振りの匿名の評論家の論説を掲載して、一段とはつきりいひ放つてゐる、即ちソヴェト聯邦は「民主々義の概念について、アングロサクソン世界が諒解したものを二、三の點で全く逆な、何かしら特殊なものを考へてゐる」やうだと論じてゐる、同紙によれば「民主々義といふ用語の定義がこのやうに齟齬してゐることは、極めて大きな政治的意義を有してゐる」といふことだ

△ソ聯の民主々義

ソヴェト聯邦において實現されてゐる民主々義

と他の一聯の國で適用されてゐる民主々義との間には、甚だ明瞭な相違がみられるのは疑問の餘地がない、ソヴェト聯邦における社會體制およびイデオロギーとアングロサクソン國家のそれとが異なることは不易の事實だ、だからといつてこの相違が聯合國間の鞏固な恒久的協力關係を妨げぬこともまたいふに及ばない、勿論人間による人間の搾取のない國、市民間に政治上ばかりでなく經濟上の平等が存在する國、民主々義的自由が形式的または法律的 (de jure) に宣言されてゐるばかりでなく、社會生活の物質的諸條件によつても事實上 (de facto) 保障されてゐる國、各民族間に眞の同權が存在し、毀ち得ぬ友好關係が樹立されてゐる國、かかる國が民主々義の道を遠く進んでゐることは疑問の餘地がない、同じやうにソヴェト聯邦の民主々義と、たとへば英國の民主々義とを同一視することが不可能なことはいふまでもない

ソヴェト聯邦と英國における社會の經濟的基礎が異なることは周知の事實だが、このことは民主々義の問題に直接結びつく、なぜならばソヴェト聯邦の經濟體制は民主々義の權利、たとへば労働および教育の權利、搾取から解放される權利、民族及び種族の平等の權利等の根本的な生活權を含む民主々義的權利を市民に保障してゐる、しかるに英國においては民主々義的權利は本國の住民のみが享受し、本國の人口の十倍を超える英國植民地の壓倒的多數の住民は現在まだそれぞれの國の民主々義化と自由と獨立を渴望してゐることを忘れてはならない、かかる事態において、ソヴェト聯邦の民主々義とたとへば英國の民主々義との間の相違が單なる「用語の定義上の相違」だと考へることは不可能だ、併しながらそれだからと言つてソヴェト聯邦の國民と他の國の民主々義の擁護者達との間に共通の言葉を見出すことが出來ず、民主々義とは何か、反民主々義とは何かといふ問題に關し最少限共通な二、三の點について取極めを行ふことが出來ぬといふことにはならない

## △民主々義とは

民主々義に關する疑問はヒトラー主義に對する戦争が終つてをらず、しかも新たなファシスト的侵略行爲を阻止するため將來の平和機構の基石をおくことが必要とされる現在、簡單に一掃するこゝとが出来、なぜならば、現代における民主々義とはファシズムに對する鬭争を意味するからだ、従つて民主々義者とはファシズムと終始一貫容赦なく鬭ふ者をいひ、言葉の上だけでなく、實踐において一切のファシスト分子と一切のファシスト的影響を根こそぎにするまで鬭ひ抜く氣構への者をいふ、なぜならばファシズムの破壊的力、民衆の自由と生命そのものに對するファシズムの恐るべき危険は、あらゆる誠實な人間にとつて明瞭だからである、民衆の自由とはファシズムの死滅を意味するにほかならない

以上の根本原則を認める點でソヴェト民衆と他の國における民主々義の眞の味方は共通の言葉を發見出来るのだが、クリミヤ會談の決定もまたこの根本原則の認識を基礎としてゐるのである、即ち三大聯合國は歐洲解放諸國民が「政治經濟上の緊急の問題を民主々義的方法によつて解決する場合」援助する義務を負ひ、「解放された諸國民をしてナチズム及びファシズムの最後の殘滓を破壊し、自らの選ぶ民主々義體制を樹立せしめる」やうな政策を考慮してゐる、また三大聯合國は必要の場合「諸國民があらゆる民主々義要素を廣く代表し、自由な選舉によつて出来るだけ早く民意に應へる政府を樹立する義務を負ふ臨時政權を設置する」のを援助することも取極めてゐる

かくの如くクリミヤ協定は歐洲解放の結果生起した緊要の問題を民主々義的に解決する必要を認めてゐるが歐洲諸國民の民主々義的權利を尊重する精神に貫かれてゐるクリミヤ協定の明確な性格は歪曲された解釋の餘地を残してゐない筈だ、然るに九々表ですら誰かの利益と抵觸する場合は、いろんな解釋が加へられる

## △歐洲諸小國の政體

多くの新米の民主々義の味方は民主々義が完全に勝利を収めるためには、今次大戦前夜に歐洲諸國に存在した政治形態をその儘復興しなければならぬといふ風に考へてゐる、しかしながらファシスト・ドイツ及びイタリヤは別として、一聯の歐洲國家において戦前支配してゐた政治體制が民主々義と共通のものを殆ど持つてゐないことは明白な事實だ

戦前のポーランドに存在した政治體制を例にとらう、戦前におけるポーランドの政治體制は一九二六年ピルズズキとその一味によつて行はれた反民衆的クーデターの結果である、一九三五年のファシスト的憲法、ウクライナ、白ロシア、リトワニア民族に對する非人間的な迫害、勞働者農民進歩的インテリ層に對する野蠻行爲、殆ど全縣に亘る土地を占めるラジヴィロフ及びサベグ封建的大土地私有、反動的政治家の墮落した一味の支配に敢へて反對の聲を擧げる者を残らず叩き込むベレズリカルトウズカの有名な強制收容所とブレストの中央監獄、内政全般に亘る暗黒の反動主義ヒトラー・ドイツとのいかがはしい火遊び、外交政策における絶え間ない反ソ謀略——これがポーランドの政治體制の顯著な特質であり、この政治體制を破産したラチケヴィツチ——アルチシエフスキとその一派、及び聯合國における反動分子からなる庇護者共が復興を夢みてゐるのである

周知のやうにハンガリー、ルーマニア、ブルガリアのやうな國でも、民主々義は香しくない状態にあつた、兩大戦間の二十年間に亘つて以上の諸國が支配した反動は民衆の生命力を押し潰してきた、共產黨は地下に迫り込まれたばかりでなく、進歩的な政治思想が頭を擡げた場合には容赦なく迫害された、また民族憎悪感や野蠻な排外主義が計畫的に育くまれ、帝國主義的傾向と大國の猿眞似をした侵略計畫が組織的に奨励された、さればこそドイツ帝國主義の外交員達が都合の良い時に以上の小國の反動的支配層と直ちに共通の言葉を

# 同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

見出し得たのであり、小國の支配層は一瞬も躊躇することなくドイツの着手した侵略行動の深淵に民衆を放り込んだのである。

ユーゴスラヴィア並びにギリシヤにおける戦前の政體もまた、どうみても民主主義的と言ふことは出来ない、たとへばユーゴスラヴィアでは一九三八年十二月にストヤヂノヴィツチ政府の行つた議會(スコープチナ)選舉の際、多くの場合、「當選者」は僅かに十票から二十票程度の票數を掻き集めた政府の公認候補であり、反對派の候補者は數萬の票數を獲得したにも拘らず、例外なく落選の憂目をみてゐる、ギリシヤにおいては今次戰爭に先立つ數年間メタクサスのフアシスト獨裁が荒れ狂つた、一九四一年聯合遠征軍と共にクレタ島に上陸した濠洲の作家オルドリツチは「海の鷲」と題する小説で、ドイツ占領軍と闘ふギリシヤ遊撃隊にとつて、「鐵頭」(と彼らはドイツ兵を渾名してゐる)との戦が、以前のギリシヤ・フアシズムと野蠻なメタクサス政權との勇敢な闘争と直接結びつき、その繼續である事實を鮮かに指摘してゐる。

## △非民主主義的な民主主義國

更に評判仆れのフィンランド民主主義を想起するならば、事態は一段とはつきりする、フィンランド民主主義がこの戰爭挑發者の群に二度も國をソヴェト聯邦に對する破滅的な戰爭にひき入れる完全な自由を許したとすれば、フィンランド民主主義の價値は一體どこにあるといふのであらう、思慮健全な人ならば以上の事實がフィンランドを支配した政體を評價するに當つて決定的意義を有することを否定出来まい、亦フィンランドの政體を評價する場合、最初の自由な選舉において選舉運動を行ふ餘裕も自由もなかつたにも拘らず全投票數の四分の一を獲得した政黨が非合法的存在を餘儀なくされてゐた事實を想起するだけで十分だ。東歐洲の一聯の國家における事態は上述の如きものであつた、しかしながら古い民主主義的傳統を有する西歐諸國においても、戦前の政治構造はフアシストの手代達をして何の妨げもなく反民衆的奸策に耽り、裏切と賣國の網をあむ自由を許す

ほどの危険極まる潰瘍に蝕まれてゐたのである、かかる事態はフランスばかりでなく、デンマーク、ノルウェー、ベルギー、オランダ等でもみられる。さらにピレネー半島の國(譯註「スペイン」)についていへば、同國の反民衆的政體は獨伊兩國のフアシズムとまるで雙生兒のやうなものだ。

民主主義といふ點からみても歐洲大陸諸國の事態が明確に不満足なものであることは、なによりもまづドイツが戰爭の第一段階即ちソヴェト聯邦に對する攻撃開始までに手易く勝利を収めたことによつて十分に説明され得る、もしも民主主義がかくも弱力でなかつたならば、もしも民主主義が戦前の歐洲を支配してゐたならば、世界はダンケルクの悲劇を、コンピエーヌの森の屈辱的な喜劇を、歐洲諸國におけるドイツ軍の支配を、自由を愛する民衆がドイツとの戦ひの祭壇に捧げねばならなかつた老大な犠牲の大部分を避けることが出来たであらう、今日においてはドイツの緒戦當時の勝利が決してドイツ軍の「不敗」のためでもなければ、ヒトラーの伍長的戰略の「天才的直観」によるものでもない事に疑問を抱く者はない筈だ併しながらドイツ軍の勝利は偶然の所産ではなかつた、かかる偶然は決してあり得ない、各種各様の政派に屬する思慮あり公平無私な觀察を行ひ得る者なら誰しも認めるやうに、その根本原因はドイツの犠牲となつた諸國においては、民主主義が衰頹してをり、ドイツの盟邦となつた國では民主主義が窒息せしめられてゐるといふ事實にある、同時に西歐洲の民主主義大國、英國とフランスは悪名高きミュンヘン政策の結果、ドイツに抵抗する力がなかつたのだ。

## △歐洲小國の民主主義的復興

歐洲の解放された諸國の民衆が戦前の宿命的罪惡を一掃し、甦つた若々しい活氣に満ちた民主主義の實現を希望してゐるのは決して不思議ではないなせかなれば民主主義者とは將來への洞察力を有し、過去をおぼおぼと回顧しない者をいふから

將にかくの如きものを文明世界の誇り得る偉大な民主主義的活動家であり民衆の指導者である、恐るべき戦争の惨禍を経験してきた民衆は、彼らの意思が尊重され、確たる平和と國際的安全を保障する進歩的政策に對する彼らの憧憬が尊重されることを望んでゐるのだ

各國における民衆の意思は各様の表れ方をするしかしながら今次戦争の經驗から出發して、歐洲各國——否、歐洲のみではない——の民衆は完全に一致した結論に到達してゐる、彼らはフアシズムにとつて如何なる抜け穴をも許さぬやうな國家及び社會生活を樹立することを望む、問題は單に今日のフアシズムの痕跡と影響を一掃するだけにあるのではない、否、寧ろ新たなフアシズムの誕生の可能性を許さぬやうな條件を創造するにある民衆は外交政策上の血腥い陰謀、特にソヴェト聯邦を對象とする陰謀の復活を黙過し得ない、最後に歐洲の民衆、特に東歐洲諸國の民衆は農業機構における封建的若くは半封建的諸關係の一掃、民族壓迫や民族間の不和といつた焦眉の問題の解決を希望してゐるのである

封建的私有大土地を貧農の間に分配することが民主主義的措置であり、農業改革に對する闘ひが民主主義に對する闘ひを意味することは疑問の餘地があるだらうか、また、たとへば現在ユーゴスラヴィアとルーマニアが辿つてゐる民族間の平和と友好の道が民主主義の道であり、セルビアやクロアチアの排外主義者、あるひは、ルーマニアの「歴史黨」の如き諸勢力が民族問題の解決を妨げるために闘ひ、民主主義の公然たる敵としてのみづからを曝露してゐることは疑問の餘地があるだらうか

### △民主主義の敵

ポーランドに關する場合、偽善的な民主主義の擁護者は自らの本體を曝露せざるを得ない、民主主義の立場からみれば所謂ポーランド問題なるものは明瞭の上もない、ドイツ・フアシズムの軸から解放されたポーランド民衆は民主主義の基礎に立つて新たなる生活を建設してゐる、ポーラン

ド國家の復興を直接指導してゐるのは、ドイツ軍に對するポーランド愛國者達の獻身的闘争において前面に押し出されたポーランド民主主義四政黨の領袖を首班として現在活動を展開してゐるポーランド假政府である

ポーランド假政府はポーランド全域の行政の任に當り、民衆の支持を得て、民衆の意思を遂行してゐる、しかるに偽善的な民主主義の擁護者共は手段を選ばずポーランド假政府に對して狂暴な策動を展開すると同時に、ラチケヴィツチ及びアルチエフスキー等の亡命派の破産した政治屋共を庇護し、ポーランドの反動的な亡命陣營が親フアシストと稱せられると、不満の聲を擧げる、だが親フアシストと稱ぶ以外に、一體ほかに稱びやうがあるだらうか？ この一派が戦前のポーランドにおいて破滅的役割を演じ、一九三九年九月の破局に對して最大の責任を負つてゐることは周知の事實だ、彼等は戦争の間ドイツ・フアシストの仲間であり、幫助者の役割を演じ、あらゆる機會にソヴェト聯邦に對する盲目的な憎悪と敵意の念を表面に現はし、聯合國の間における意見對立の發生に一切の希望をおいてゐたのである、最後にこれらの反動的政治屋共が祖國との接觸を失つて、民主主義の恐るべき敵と化してゐる事實を示す證據が更に必要ならば、彼らがクリミア決定の正面攻撃を受けて自ら以上の證據を提出してゐるのである、即ち何故に彼らはクリミア協定をかくも狂暴に攻撃してゐるかといふことだ、理由は明瞭である、クリミア協定が民主主義を基礎としてゐるのに對し、ポーランドの反動共は、ポーランド本國における反民衆的秩序の復興と一九三五年のフアシスト憲法への復歸、封建的土地領有の維持なしにはお陀佛だといふことを明瞭に理解してゐるのだ

### △戦線の統一は反民主的か

かくの如く誰が民主主義の友であり、誰が民主主義の敵であるかを規定するためには、特別に穿鑿する必要はない、民主主義の見地からすれば（従つてこの場合ソヴェトの民主主義を基礎とするか、あるひは米英流の民主主義を固守するかは

どうでもよいことだ) ルーマニアのラデスコ、フィンランドのリンコミエス、タンネル、リュチ、ポーランド亡命派のラチケヴィツチとアルチシエフスキー其他の國の同様の政治家諸君が民主主義の敵であり、フアシストの味方であり、彼等を支持する一派が反民衆工作に没頭してゐる事は疑問の餘地がない、従つてソヴェト聯邦にとつてかかる「民主主義者達」が用のないことはいふまでもないが、他の國における民主主義の全ての眞の擁護者にとつても用がない筈だ

民主主義の偽善的な擁護者達が屢々主張する論據を、「オヴザヴァ」紙の「歐洲通」はつぎの通り代辯してゐる

西歐の慣習によれば、一政黨が野にあつて政府に反對する自由、民衆選挙(上流、中流兩階級を含む全國民の参加する選挙)において數政黨が競争する自由は、民主主義の基礎をなすものである

以上の論據からすれば、親フアシスト政派及び親フアシスト的傾向に對抗して單一の戦線を形成する國民諸力の結集は民主主義に背馳し全體主義に至るものだといふ結論が生ずる、しかしながらこの論據の偽善的性格を曝露することは決して困難ではない、實際何故に極めて困難な戦争の諸条件下において、ナチの迫害から解放されたばかりの國の國民諸力が、撃破されたがまだ完全に撃滅されてゐない敵との戦で單一戦線に結集されてはならぬのであらうか、何故に歐洲のいかがはしい「通」であり、更にいかがはしい歐洲の友の満足ゆくやうに、國民諸力が「自由競争」に耽り、力を分散して、敵が策動を續け、喪はれた地位を回復しようとするときに、殊更に力を弱めねばならぬのであらうか、「歐洲通」氏の祖國では、各政黨は敵にたいする共同闘争のため、國民の全力を結集するために、戦時においては選挙における「自由競争」を避けることに決してゐる、英國の如き大國においてなほ然りとすれば、新たな道を辿り始めたばかりの歐洲の解放された諸國では、全民主主義諸派を單一の戦線に結集する必要は比

較にならぬほど大きい筈だ

## △國民の統一

歐洲の解放された諸國民は將に民主主義陣營の分裂と民主主義諸力の離反こそが一聯の國にフアシスト體制を樹立する最重要條件をなした事實を忘れる事が出来ない、フアシスト共は戦前の歐洲の多くの國において民主主義各派が共通の言葉を見出し得なかつた事態を、自己の目的達成に利用することが出来た、特に多くの民主主義の味方である反共產主義的偏見に毒されて、共產黨との協力を拒絶することが反フアシスト戦線を分裂せしめ、フアシズムの事業遂行を容易にする事實を無視して、共產黨との協力を頭から一蹴した、しかるに過去數年間の血腥い教訓は分裂の害悪と國民諸力の結集の利益を學ばしめた、共產主義者達は他のあらゆる愛國的、あらゆる反フアシスト的政黨派の代表と共にヒトラー占領軍と闘つた、最良の自由の闘士の血で結びつけられた行動の協力一致が生じたのである、今日歐洲の解放された諸國民は戦前の政策の破局的誤謬を繰返すことを望まない、民主主義諸力の分裂の道を進むことを欲しない、クリミア決定が歐洲の解放された諸國における國民統一の確保を語つてゐるのは決して徒事ではないのだ、併しながら國民統一は國民諸力の分裂ではなく結集により、一の民主主義派を他の民主主義派に押しかけることではなくてあらゆる眞の民主主義者を大同團結せしめることによつてのみ確立され得るのである

民主主義は歴史的現象である、あらゆる時代を通じあらゆる國民にとつて同一不變の民主主義といふが如きものはあり得ない、社會生活のあらゆる現象と同じやうに、民主主義は發展し前進する現代の民主主義はたとへば、古代アテネの民主主義と類似する點をあまり持たない、また英國における現在の政體は Cromwell 時代の政體と甚しく相違する、同一の社會經濟機構を基礎としてすら、極度に多種多様の民主主義國家形態が発生

してゐる、従つて歐洲のあらゆる國において民主主義は英國または米國型に則つて必ず樹立されるべきだと要求することは徒勞にほかならない、このことは他國の内政に干渉し、外部から一定の政治規範を押し付けることを辯解しようといふ試みではない、かかる試みが全然成功の機會を持ち得ないことはいふに及ばない、何故なればそれは民主主義の精神に背馳し、「自らの選ぶ民主主義體制を樹立する」各國民の争ふべからざる權利と對立するからである

### △フアシズムか赤化か

ドイツ・フアシズムの運命が既に極まつてゐる今日、民主主義の眞の擁護者は自國の國境外の事態についてもはや配慮する必要があるといふことが言へるだらうか、かかる結論は多少先走つてゐるやうだ、歐洲諸國たとへばギリシヤにおける民主主義の完全な背馳は周知の事實だから言はないが、植民地世界の事態を想起するだけで十分だ、世界總人口の相當の部分をおさめる植民地諸國では、今日までのところ民主主義は匂だにしない實狀だ、民主主義の擁護者をもつて任ずる人々の熱意を向けるべきところは、この植民地世界であるべき筈である

彼等が國家復興の道程に入つた歐洲の解放された諸國にハムレット風の疑問を抱いて對立するとき、彼等の不安は牽強附會な場違ひ染みだものだなぜなればドイツ・フアシスト挑發者の謀略を忘れ得まい、周知の如く彼等は歐洲大陸のどの國でも政界の民主主義化に關するなんらかの事件が發生する毎に、きまつて「ケレンスキー政體」だとか「ポリシエヴィキ化」といつた叫び聲を擧げるのだ、ヒトラー一派は誰我構はず手當り次第に政治指導者に「ケレンスキー」のレッテルを貼り、どんな進歩的措置でも、どんな民主主義的改革でも、戦争犯罪人や賣國奴に對するどんな處罰措置でも選ぶことなく一切「ポリシエヴィキ化」だと騒ぎ立てる、ヒトラー一派の謀略の意義を理解するのはさして困難ではない、彼等は歐洲のフアシ

スト支配にかはる唯一のものは歐洲の「ポリシエヴィキ化」であり、フアシズムは考へられる唯一の「ポリシエヴィズムに對する防壁」だといふ古臭い、もうすつかり倦きられた唄を相變らず歌つてゐる、かかる稚拙なヒトラー一派の挑發は、ドイツが最も強大であつた時ですら、アングロサクソン兩國を釣る事が出来なかつた、従つてフアシスト・ドイツの崩壊が不可避であるばかりでなく既に目睫の間に迫つてゐるときに、かかる挑發行爲がどんな意義を持つかは言ふに及ぶまい、札附きのヒトラー一味以外に、歐洲大陸にはフアシズムかソヴェト體制の一途あるのみだといふことを米英兩國に説きつけるのを利益とする者があるだらうか

### △むすび

ドイツの帝國主義者達は世界支配を三度試みようとして目下準備を進めてゐる、彼等の計畫を粉碎するためには、敵を不斷に監視することが必要であり、歐洲の解放された諸國に統一された強力な民主主義國家を實現することが必要である、自らの貪欲な黨派的利益を國家的利益の上におく人々のみが、ソヴェト聯邦とその盟邦諸國とのイデオロギー及び社會構造上の相違のため、反フアシズム提携の三大指導國が戦後再建問題の解決に協力するのを妨げられることに興味を抱き得るであらう、兩大戦間における苛酷な經驗は自由を愛する諸國間に統一の排除する場合如何に大きな危険が伏在するかを教へてゐる、以上の經驗から判斷すれば、歐洲の解放された諸國における民主主義政體に對する根據のない偏見が各國間の恒久的平和と全體の安全保障を確保する上に重大な障礙となり得ることは明瞭だ

今次戦争はフアシズムに復活を許す如何なる抜け道も残さぬやうにして終るべきである、ヒトラー・ドイツとの共同の鬭争に参加してゐるあらゆる國の民衆が關心を寄せてゐるのは、將にこのことだ

獨逸首腦の行方(下)

國防軍

- 一、ウイルヘルム・カイテル元帥  
前總統幕僚長兼參謀總長、ゲツベルス前宣傳相らと共に五月初旬總統官邸で戦死を遂ぐ
  - 一、フエドール・フォン・ボツク元帥  
一九四一年六月まで中部地區ドイツ軍司令官  
英第二軍によりハンブルグ北方で死體を發見さる
  - 一、ジグムンド・リスト元帥  
一九四二年八月までバルカン方面ドイツ軍司令官  
米第七軍により五月下旬バワリア南端バルデンキルヘンの自宅で逮捕さる
  - 一、ウイルヘルム・リツター・フォン・レープ元帥  
一九四二年夏までレニングラード方面ドイツ軍司令官  
ヒュツセル附近の自宅で米第七軍により逮捕さる
  - 一、フォン・ルントシュテット元帥  
前西部戰線ドイツ軍總司令官  
ミュンヘン南方四十料のバード・テルツの病院で五月二日米第七軍に捕へらる
  - 一、フォン・ワイクス元帥  
前バルカン方面ドイツ軍總司令官  
五月三日米第七軍に逮捕さる
  - 一、フェルゼイナンド・シエルナー元帥  
ドイツ中央部における最高司令官として最後まで戰鬪を繼續、ドイツの無條件降伏後もチエコスロヴァキアで赤軍に抵抗、同地のドイツ軍崩壞の後既に米軍に降伏せるドイツ第一軍に逃げ込み米軍に引渡さる、ソヴェト聯邦の戰爭責任者表では第一級犯罪人に加へられてゐる
  - 一、シユルツ大將  
前ドイツG集團軍司令  
麾下第一、第七、第十九軍を率ゐ、五月五日チエコ、オーストリアバワリア方面聯合軍第六集團軍に降伏す
  - 一、フォン・フリードブルグ元帥  
前西北部ドイツ軍代表、デーニッツ元帥の總統就任に伴ひ、海軍總司令官に就任、陸軍大將に進級  
デンマーク、オランダ、ドイツ西
- 北部の全ドイツ軍を率ゐ五月四日第二十一集團軍に投降同七日無條件降伏條件に調印す
- 一、エルンスト・フォン・ブツシユ元帥  
前ドイツ西北部ドイツ軍司令官  
六月九日聯合軍によつて逮捕さる
  - 一、グスタフ・ヨードル上級大將  
前ドイツ軍參謀總長  
五月七日アイゼンハワー司令部で無條件降伏條件に調印
  - 一、ハインツ・グーデリアン上級大將  
元參謀總長  
五月上旬ベルヒテスガーデンの鷲巢館附近のホテルで米第七軍に逮捕さる
  - 一、フーゴ・シユベル元帥  
前西部戰線ドイツ空軍司令官  
五月二日米第七軍によつて逮捕さる
  - 一、グライム元帥  
前ドイツ空軍總司令官  
ドイツ敗戦の直前ゲーリングの後を受けドイツ空軍統帥に就任、ベルリン攻防戦の末期胸部に戦傷を負ひ一旦オーストリアに逃れたが、五月二十二日オーストリア南方キツツビュールのドイツ空軍病院で逮捕され、同二十四日ザルツブルグの病院内で青酸カリ自殺を遂ぐ
  - 一、フォン・マツケンゼン元帥  
第一次世界大戰に活躍した獨軍の長老で、元駐伊大使マツケンゼンの父  
四月中旬聯合軍によつて逮捕さる
  - 一、フォン・クライスト元帥  
前ドイツ機甲集團軍司令  
四月二十五日米第三軍に投降す
  - 一、ミヒヤエル海軍中將  
前海軍兵站庫監督官  
五月上旬英第二軍によつて逮捕さる
  - 一、クローゼ中將  
前砲兵隊司令官  
五月上旬英第二軍により逮捕さる
  - 一、デオルグ・リンデマン大將  
前デンマーク駐屯ドイツ軍司令官  
オランダデンマーク、ドイツ西北部の全ドイツ軍降伏に伴ひ、五月七日聯合軍捕虜となる

△五月三十日現在行方不明のもの

一、モーデル元帥

前西部戦線北部地區集團軍司令官

一、フオン・マンシュユタイン元帥

前東部戦線軍司令官

一、フオン・ブラウヒツチ上級大將

元總統本營幕僚長

一、フオン・キューヒラー上級大將

元東部戦線北部地區司令官

一、フローム大將

元ドイツ本國軍司令官

### 在外代表及びナチ協力外人

一、ルドルフ・ラーン博士

前イタリアファシスト共和政府に對する大使

五月二日スイス國境附近で聯合軍に投降す

一、フオン・マツケンゼン

元駐伊大使、マツケンゼン元帥の息子 フラ

ンス第一軍によつて逮捕さる

一、エルンスト・フオン・ヴァイツゼツカー男

ヴァアチカン駐劄大使 ドイツの無條件降伏と

共に職務消滅のわけだがヴァアチカン當局の意

嚮により新ドイツ政府成立までドイツ代表と

して留任する

一、ハンス・トムゼン

前ストツクホルム駐劄公使 ドイツ降伏と同

時に他の公使館員らと共にスエーデン政府に

よつて抑留さる

一、ペスト

前コペンハーゲン駐劄公使 ドイツの無條件

降伏後デンマーク解放軍に逮捕監禁されてゐ

たが、五月二十一日聯合軍に正式に引渡さる

一、フオン・パーペン

前トルコ駐劄大使 ドイツ降伏の直前米軍に

逮捕され、六月二十日チエコスロヴァキア國

境地帯の收容所内で自殺を遂ぐ

一、コントラツド・ヘンライン

前ズデーテンランド統監兼同地方ナチ黨支部

長 五月九日米軍によつて逮捕さる

一、ハーハ博士

前ペーメン・メーレン保護領大統領 閣員全

部及びチエコスロヴァキアのファシスト黨首

ルドルフ・ガイダ將軍と共に十四日逮捕拘禁

されてゐたが六月三十日死去す

一、ウイルヘルム・フリツク

前ペーメン・メーレン保護領總監 聯合軍に

逮捕さる

一、カール・フランク

前ペーメン・メーレン保護領軍政官、元チエ

コスロヴァキア領民政長官 五月九日米軍に

よつて逮捕さる

一、ヨゼフ・トルボーフェン

前ノルウエー民政長官 五月十日自決す

一、ウイルヘルム・レデイエス

前メルウエー警察長官 五月十日自決す

一、アルツール・サイス・インクワルト博士

前オランダ民政長官 聯合軍によつて逮捕さ

れる

一、カンブ大佐

前デンマーク領ボルンホルム島ドイツ軍守備

隊司令官 赤軍によつて射殺さる

一、ヴァイドクン・キスリンク

ノルウエー首相 六月中旬聯合軍に逮捕さる

### 在外ナチ黨機關

一、スエーデン・ナチ黨

スエーデン警察は六月初旬ナチ黨本部の大規

模な手入れを行ひ、ナチ黨書記、ヘルマン・

ヨハンソン(元議員)アルビツド・オルリン

その他を検査した

一、オーストリア・ナチ黨

オーストリアのレンナー政府は六月十二日ナ

チ黨斷壓法を公布、オーストリアのナチ黨に

屬するもの乃至ナチ黨に協力するものには悉

く死刑を宣告、ナチ黨の財産はオーストリア

民衆のものとし更に一九三三年一月一日から

本年四月二十七日までナチ黨に所屬してゐた

ものはすべて登録することとなつた

一、ハンガリー・ナチ黨

ハンガリー首相フェレンツ・サラシー、元首

相ミクロス・カライ、ナチ黨指導者バツシユ

らは聯合軍によつて逮捕さる

△追記

一、パウル・シュミツト

前新聞長官 五月七日ザルツブルグで米軍に

逮捕さる



昭和二十年七月六日(金)  
第三四七四號

# 同盟通信 海外電報

(154)

ドイツ占領に當つてゐる米英軍當局にとつて當面緊急の仕事と目されるものは多數あるが、就中ドイツの非ナチ化工作は聯合軍當局が最も力を入れてゐる問題だ、ソ聯がナチ黨員の肅清と平行して早くも反ナチ的政黨の復活を許容してゐるのに反し、米英軍はいまだにナチ黨員並びに危険分子の搜索逮捕に汲々たる有様だが、一體聯合軍の非ナチ化工作はどうして遅れてゐるのか、亦聯合軍はどうして彼らのいふ危険分子を搜索してゐるのであらうか、桑港放送の傳へる彼らの辯解をきかう「逮捕しなければならぬドイツ人に發見することは巨大な仕事であり徐々にしか進捗してをらず、現在迄に之を完了したのはケルン、アーヘンの二都市のみに過ぎない、一體この仕事はどういふ内容を持つものであるかといふ正しい考へはライランド北部並びにルール地區、即ち米英軍が



これまで最も長期間占領してゐた地方におけるこの仕事の進行過程から得ることが出来る、即ち現在同方面の占領には米第二十二兵團が當つてゐるが同兵團の兵力が約六萬であるのに反しこの地方は面積五千平方哩人口六百萬を擁してゐる、従つて占領軍兵士と住民の割合は一平方哩毎に十二人、ドイツ人百人につき兵士一人の割合となつてゐる、勿論危険分子を發見調査しこれを逮捕するといふ特別の任務に振り向け得る兵力は以上のうちの一部に過ぎず、聯合軍司令部ではナチ黨において或る程度以上の地位にあつた者は悉く自動的に逮捕するといふ方法に依つてこの問題の解決を容易ならしめてゐる、黨のほかにドイツの全國的乃至は地域的警察組織が八つ、また準軍事組織として親衛隊ヒトラー青年隊等があるがこれらの指導者及び隊員もまた逮捕の対象となる、實際、黨、軍、準軍事組織の全部についてみるならば八十一に上る階級があり調査専任の將校は先づこれを熟知しなければならぬ譯で、第二十二兵團ではドイツ人の分類といふ基礎的な仕事のために砲兵隊の將校六百名を當ててゐる」

## 【目次】

豫測を許さぬ英總選舉	一九三四
チャーチル渡佛か	〃
バーンズ三頭會談へ	〃
大島大使空路米國へ	〃
中部太平洋にも兵站部	〃
ギリシヤに王政復古陰謀	一九三五
大量裁判方式を検討	〃
ボナールに死刑宣告	〃
印度各派の指名簿提出を要求	〃
【戦後處理】	
米軍先遣隊、ベルリンへ	一九三六
赤軍の移動完了	〃
ポツダム會談の議題	〃
三頭會談とイタリヤ問題	〃
幽靈官公史の俸給支拂停止	〃
歐洲はパンが食へるか	一九三七
テツシエン歸屬問題紛糾	〃
【英 國】	
期待し得ぬ英の工業力	〃
總選舉大詰近し	一九三八
復員兵士の操業訓練	一九三九
【米 國】	
食糧危機を警告	〃
黑人虐待防止委員會廢止	〃
陸軍航空部隊參謀次長更迭	〃
本國歸還兵三十一萬	〃
【太平洋戦線】	
米軍必死の燃料補給	一九四〇
米二空母進水	〃
B 25沖繩基地使用	〃
【特 輯】	
レヴァント事件後聞	一九四一
【資 料】	
トルーマン演説全文	一九四五
民主主義の解釋	一九四七

## 豫測を許さぬ英總選舉

(リスボン四日發)英國總選舉戦は五日の投票を控へて大詰に近く特に保守、勞働兩黨の對戦激甚を極めたが既に論題出し盡しの形で四日は何ら新味ある論戰の展開もなかつた、ロイター電によれば、五日の投票が後三週間はその整理審査手續期間で、七月二十六日に至り結果が一齊に發表されるが選舉戦線に異常あつたところも少くなく、保守黨が多分優勝しようが、戰爭の結果投票權者の色分けに變化を來した事情もあり、所謂政界の豫言者も愈々蓋を開けるまでは全く豫測を許さぬとしてゐる

## チャーチル渡佛か

(リスボン四日發)ロンドンからのロイター電が佛西國境に近いアンデーから四日報するところによれば英國首相チャーチルが同地に到着したとの噂が専らである、尤も他方ではチャーチルは家族を同伴して十日ロンドンよりボルドーに乗り込む筈だとも報ぜられ、スペインの放送局も同様不確認情報としてこれを報じてゐる、ロンドン政界では一切言明を避けてゐるがベルリン三頭會談を前にして英國首相の先づフランス旅行説と思はれる一方パリからのロイター電によれば同地英國大使館當局はチャーチルが最近時々フランスに休暇旅行にでかける計畫だつたことは事實だとしたが上述の報道については確認を與へてゐない

## バーンズ、三頭會談へ

(リスボン四日發)四日のロイター電によれば、新米國々務長官バーンズは近く大統領トルーマンと共にワシントンを出發ベルリン三頭會談に臨む旨言明したといはれる、またトルーマンに随伴する筈だつたホプキンスは既に隱退を聲明したためトルーマンのロンドン特派使節ジョゼフ・デーヴイスがこれに代る筈である

## 大島大使空路米國へ

(リスボン三日發)ザルツブルク來電にベルリン

駐劄大使大島浩氏以下日本外交官一行は、オーストリア南部のバツドガスタインで米軍に逮捕されて以來ザルツブルクで抑留されてゐたが、大島大使以下ベルリン大使館員三十三名は二日、空路米國へ出發した、一行の護衛には米第三軍の將兵が當り、米國行きの目的は捕虜交換に備へるためといはれる

## 中部太平洋にも兵站司令部

(リスボン三日發)マニラ來電によればマツカーサー司令部は二日中將ロバート・C・リチャードソンを中部太平洋陸軍司令官に任命した旨發表した、リチャードソンの新司令部は、中將スタイヤーの下に最近新設された西部太平洋陸軍司令部と共に太平洋における陸軍の二大補給司令部を形成するもので、ホノルル來電によれば、その任務に關し司令官リチャードソンは次の通り語つたといはれる

兩司令部は太平洋に於る陸軍全部隊の補給、訓練並びに人事の任に當る、中部太平洋陸軍司令部の管轄地域は現在の太平洋方面管區と同一だ、自分は同時に太平洋方面陸軍司令官とハワイ軍管區司令官の職を兼ねるが、これは法律上の理由によるにすぎない、特にハワイにおける多くの法令舊職名に於て行ふ、マツカーサーとニミツツは統合司令部を形成し統合司令部の名で作戰目標が決定されるとマツカーサーが陸軍作戰を擔當し、ニミツツが海上作戰を擔當する自分とスタイヤーとはマツカーサーの下に將來の作戰に必要な地上部隊を用意しその補給に當るわけだが、自分は太平洋方面陸軍司令官としては太平洋方面司令長官ニミツツの麾下にあり従つて現在二人の長官を頂いてゐることになるリチャードソンは昨年八月五日以來太平洋方面陸軍司令官の職にあり、最近沖繩戰場に太平洋方面養成部隊たる第十軍の戰鬪ぶりを視察してハワイに歸任したばかりである

### ギリシヤに王政復古陰謀

(ストックホルム四日發)ギリシヤの左翼内亂は英國政府の血腥い武力彈壓によつて鎮壓されたが英國政府の反動的なギリシヤ政策に乗じて、ギリシヤ國內の王黨派分子は蠢動し始め、クーデターによつて現政府は轉覆、國王ゲオルギオス二世を歸國させて、王制政治の復活を計畫してゐる様子だ、「ニューヨーク・タイムズ」紙のアテネ電報によれば、右王黨派の計畫は國內の有力分子を味方に牽き入れて相當根強く工作を擴げてゐる模様で、ギリシヤ國內の左右兩派の抗争が將來何らかの契機を擱んで爆發する必然的見透しを與へる點で注目し價する、同紙の四日附アテネ電報の要旨はつぎの通り

「確聞するにギリシヤの現攝政制を轉覆して武力によつて國王ゲオルギオス二世の歸國を實現しようとする計畫が、武装組織を形成した極右翼王黨派によつて進められてゐるといはれ、この右翼革命の計畫には、右翼テロリスト組織のみならず、裕福な商人や工場主の相當數が參割してゐる様子だ、商人や工場主がこのクーデター計畫に關心を持つてゐるのは、補給相ヴァルヴアレソスの實施する關取引撲滅措置並びに社會保障計畫に反對してゐるためである、以上の計畫をひそかに察知した一部は事態を憂慮してゐるが、ギリシヤ駐屯英國軍が、會てエラス内亂を鎮壓したやうに、右翼の叛亂をも鎮壓するものと期待して、あまり騒ぎ立ててゐない、もつとも王政復古を計畫する團體は、最近積極的に活動を開始し、ギリシヤ護國軍の兵器庫から武器を持ち出して武装してをり、主として傳統的に王黨的傾向を有するペロポネッス半島住民の支持を得てゐると傳へられる

また最近の左翼内亂でエラス兵團から痛めつけられた國民の一部も復讐するためか、あるひは依然として隠然たる勢力を持つエラス兵團の脅威に對して自衛手段を採るため王黨派の計畫を支持してゐる

いづれにしても現状において再びギリシヤが騒亂の巻に投げ入れられることは、アンラの救済計畫を中斷せしめると同時に左翼をして對抗措置を

採らしめるに至るは必然で、さなきだに飢餓に苦しむ國民を再起不能に陥らしめるものだ、更に歎くべきことは、國民をして左右兩陣營のいづれかを採らざるを得ぬ破目となり、その結果ギリシヤに眞の民主主義を實施することは不可能となる、また英國總選舉の結果もギリシヤの政情に大きな影響を及ぼす、一般に英國の保守黨が勝利したならば、右翼の運動に對する措置は極めて微溫的なものになるとみられてゐるが、その場合は寧ろギリシヤの政情不安を激化するに役立つばかりだ、英國軍がギリシヤに駐屯してゐる唯一の目的は、左右兩派のいづれをも問はず、不穩な行動を鎮壓して平和を維持するにあるべきで、右翼の行動は默認して左翼のみ彈壓するやうな片手落の措置は絶対に禁物だ、また國王の歸國に賛成するギリシヤ政界の大部分もまた、如何なる暴力的行動にたいしても斷然反對を唱へてゐることを銘記すべきだ

### 大量裁判方式を檢討

(リスボン三日發)米英ソ佛四國の戰爭犯罪者會議は目下ロンドンで開催されてゐるがロンドン來電によれば現在同會議では米國代表ロバート・ジャックソンの提出した主要戰爭犯罪者の大量裁判案について検討を加へてゐるといはれる

### ボナールに死刑宣告

(リスボン四日發)パリ來電「元ヴァイシー政府文相ボナールは四日パリ高等法院で缺席裁判により國籍を剝奪され死刑の宣告を受けた、ボナールはラヴァル前首相とともにドイツからスペインに逃れ、目下バルセロナの某地に收容されてゐる

### 印度各派の指名簿提出を要求

(リスボン四日發)シムラ來電「印度總督ウェーヴェルは目下英國の提案を檢討中の各派に對し、六日までに新行政參議會に参加すべき各派代表の指名簿を提出するやう要求した

## 【戦後処理】

### 米軍先遣隊、ベルリンへ

(リスボン三日發) パリ來電「米英佛加四國のベルリン占領軍は二日夜ベルリン進駐の一切の手筈を整へ、現位置から出發する合圖を待つばかりの状態にあるが、既に米軍の先遣隊は三日、ベルリンへ入城、豫定の米軍主力のための宿舍並びに交通施設を設立するためベルリン市内へ進駐した、更に歐洲侵攻軍最高司令部の發表によれば、右先遣隊に先立ち、移動無電發信機もベルリンへ送られたといふが、これによつて四國占領軍と共にベルリン入りをする聯合國記者約二百人の電報が處理されるはずである

### 赤軍の移動完了

(ストックホルム三日發) モスクワ來電「ドイツ占領地帯の境界線制定に伴ふ兵力の移動は七月一日以來行はれてゐたが三日迄に赤軍はシュヴェーリン、ハルレ、ライプツヒ、ワイマール、エルフルト、プラウエンの各都市を占領した、以上の諸都市のうちエルフルト、ワイマールはチューリンゲン、プラウエンはザクセンにあり、これによつて赤軍の占領地帯がザクセンの全部並びにチューリンゲンの大半を含んでゐることが判明するに至つた

### ポツダム會談の議題

(チューリッヒ三日發)「ブント」紙ロンドン特派員がポツダム三頭會談の議題とならうとして報じてゐる所によれば、ソ土交渉により表面化されたダグネルス問題、これと關聯してスエズ運河の地位に關する再檢討の外、ベルンヤ灣の國際的利用の問題も同様の意味に於て上程されるかも知れない、更に英國政府は全聯合軍がイランより撤退するやう提議したが、ソ聯政府はそれに對し満足な回答を與へてをらず、場合により本問題も組上に上らう、次に聯合國のドイツに對する政策はややともすれば齟齬を來しつつあり、因つてドイツ管理と事會がその計畫を實施するに先立ち三國の歩調再調整が試みられよう、また對獨賠償問題は目

下モスクワの委員會において討議されてゐるが、同委員會最初の檢討報告がポツダム會談に提出されよう、更にドイツ内赤軍駐兵地區では工場機械の取外しが行はれてゐる旨米英報道で傳へられてゐるがこれはドイツ工業の處理問題と併せて討議するための準備宣傳と見られる

以上の外ズデーテン・ドイツの地位、その他少數民族問題、國外亡命ドイツ人の本國歸還問題も討議されよう

### 三頭會談とイタリア問題

(チューリッヒ三日發)「ガゼット・ローザンヌ」紙ローマ特電「駐英イタリア大使ニコロ・カランデーニはチャーチル英首相と會談した後、三頭會談において付議さるべき英國の對伊政策に關する報告を齎してローマに歸還し、パトリ首相に提出した、イタリア問題として提起されるのは次の諸項と豫想される

- 一、一九四三年九月の休戰協定廢棄
- 一、イタリア駐屯米英軍の大部分引揚げ
- 一、現在の聯合國軍政機關に代へて聯合國經濟通商委員會を設置すること
- 一、イタリア、ユーゴスラヴィヤの直接交渉によるトリエスト問題の解決
- 一、イタリア植民地の檢討

### 幽靈官公吏の俸給支拂停止

(チューリッヒ三日發) パリ來電「舊ドイツ政府の官公吏でドイツの降伏以來實際に執務してゐないにも拘らず、俸給を得てゐた者が一部あつたが今後生きるためには働かねばならぬこととなり、歐洲侵攻軍司令部は以上の幽靈官公吏の俸給支拂を停止する旨三日發表した、この措置はドイツ占領地域における遊離人口を一掃し、「働かざる者は食ふべからず」の原則を確立することを目的とするものだが、中央、地方の官公吏で再雇備され本年末まで従來の職務に従事する者はいままで通り俸給の支給を受ける

### 歐洲はパンが食へるか

(ストックホルム三日發) 過般ロンドンにおいて開催された歐洲食糧會議において英國食糧相ジョン・リユーリンは来る二ヶ年間の空前の食糧不足を豫言したが、輸送難のため歐洲大陸の外からの援助も殆ど期待し難い實状にある様子で、ロンドンからのロイター電報も多少控へ目だが三日次の通り見透してゐる

歐洲の小麥收穫は既に南部で開始されてゐるが他の食糧物資の不足により麵麩の需要が急激に増大してゐる事實に鑑み小麥收穫實績は異常に重視されてゐる、併しながら事態が破局的であることは疑問の餘地がなく「マンチエスター・ガーディアン」紙も望み得る最善のものは大規模の災害だけをどうにか回避することだと悲觀的な見透しを下してゐる位だ、歐洲小麥産地は昨秋の悪天候に加ふるに戰禍のため、平年作を二〇%方下廻るものとみられ、特に東部の上作地域が赤軍の占領下にあるため、米英兩軍占領下の小麥不足を一段と激化せしめてゐる、来る一ヶ年間に歐洲大陸はすくなくとも五億ブツシエルの小麥を必要とする計算だが、小麥粉の輸入は單に麵麩餓饉の重大化を若干緩和するに役立つだけだ、ワシントンの米英合同食糧委員會は一九四五年に米國から二億八千五百萬ブツシエル、カナダから三億五千八百萬ブツシエル、南米主としてアルゼンチンから一億二千五百萬ブツシエルを輸出する計畫だが、深刻な船腹不足のためそのうちどれだけが歐洲に届くかは大いに疑問とされてゐる

### テツシエン歸屬問題紛糾

(リスボン三日發) テツシエン地方の歸屬問題はポーランド、チエコスロヴァキア兩當事國間の意見が全く喰ひ違ふため交渉は頓坐状態に陥つてゐるが、チエコスロヴァキア首相フイエリリングはカルパート・ウクライナ地方をソ聯に移讓する協定に調印してモスクワから歸還した後、二日夜ブラীগ放送を通じて次の通り聲明した

ソヴェト政府はチエコスロヴァキアにミュンヘン協定以前の國境完全回復を確約したが、テツシエン地方の歸屬に関してはチエコ、ポーラン

ド兩當事國間の相互取極によつて解決すべきであると主張した、テツシエン紛争はポーランドが同地方の居住民はポーランド人が多數を占めてゐると強硬に主張してゐるためまだ解決に近付いてゐない

テツシエン地方は一九三八年九月ポーランドに割讓されたもので、ミュンヘン協定前のチエコ國境といへば當然テツシエン地方が含まれる譯だがソ聯はポーランドの意を迎へるため干渉を嫌つてゐるものとみられてゐる、但し一説にはソ聯はカルパート・ウクライナ地方を手に入れた代償として、祕密にテツシエン地方の回復をチエコに約束したともいはれる

### 【英國】

#### 期待し得ぬ英の工業力

(リスボン三日發) ワシントン來電 印度工業界において著名のタタ會社投資部長であるシユロフは目下非公式の印度通商使節の一人として先週英國からワシントンへ到着、近く米國各地視察の途に上る豫定だが三日ワシントンにおいて英國の工業界の實情について左の通り言明した

「英國工業界の近い將來に對する見透しについては樂觀的見解を持ち得ないがただ一つ強く印象づけられたのは英本國の主要工業會社によつて調査研究事業が進められてゐることだ、この點英國の工業力を戦前の高い地位にまで高めるだらうとの新しい希望を抱かせるものがある、然しながら英國の工場は大半舊式で或る場合には時代遅れの施設さへ使用されてゐる有様で、英國が再び世界市場において米國と競争するやうな地位を獲得する前に、英國の工業が大規模な復興を必要とする」とはいふまでもない

特に印度が當面必要としてゐる生産資材に關しては、我々が關心を向けてゐる特定の工業が、印度の需要の一部だけでも充たし得るやうになるには今後十八ヶ月乃至二ヶ年を必要としよう、英國の織物特に紡績業も印度に關する限りむしろ失望すべき状態にあり、余は印度がランカシャーから紡績機械を入手し得るのは一九四六年末乃至は四七年の始めになるだらうと考へてゐる」

## 總選舉大詰近し

(リスボン三日發)英總選舉を五日に控へて各派の政戦愈々激甚を極め、殊に保守、労働の兩黨は第一黨を目指して最後の宣傳戦を展開してゐるが兩者の勢力伯仲するものの如く、三日のロイター電も正確な見透しはつかぬと報じてゐる、兩派とも表面樂觀を装ふてはゐるものの、内心一抹の不安を藏することは蔽ふべくもない、ただ諸情報を経合するに保守黨に幾分の勝目があることは一般に認められてゐるやうだ、特にチャーチル首相自らの各地遊説行脚は、投票集めに相當効果がありさうだ、國民は保守黨政府に危氣がないとの信頼感があり、この點同黨に有利だが、ただ缺點は青年層の支持が薄いことで、ロイター政治記者フレザー・ワイトンが傳へてゐる所によれば、保守黨の數々の集會に青年の聴衆が少なく、政界消息通はこれをもつて青年が左派に向ひつつある證左か否かの問題として取り上げてゐる

事態必ずしも保守黨に樂觀を許さぬことは、同黨機關「ヨークシャー・ポスト」紙が二日の論説に於て、保守黨支持者は五日の投票を怠るなと警告し、チャーチル首相が國政を指導するためには投票場に總出動が必要だと勸告したのによつても窺はれる

### △チャーチル、アトレーを詰問

更に労働黨全國執行委員長ハロルド・ラスキー教授の失言問題に端を發した保守、労働兩黨の應酬は依然として續き、チャーチルは二日夜アトレー労働黨々首に書面を送つて執拗に詰問した、先にチャーチルは三頭會談にアトレーの参加を求めたのであるが、ラスキー教授が會談の成果に對しては、黨首領の参加といふ事實だけで、労働黨は拘束されぬとし、それより論争は黨の院内労働黨全國執行委員會の權限問題に發展した、蓋し黨領袖はこれら機關の同意がない限り、内閣の委嘱を受けて公務につくことは出来ぬとの黨大會決議があるからである、チャーチルはそれを追求して、アトレーに對して黨内の權限問題を明確にしてほしいと詰めよつたのである、チャーチルは右書翰申最近ラスキーが行つた五次に亙る演説を援用し

特にチャーチルやイーデンの参加したベルリン三頭會談で何が決定されようと、保守黨政府、労働黨政府は何等拘束されるものではないとした部分を指摘して、アトレーの言明と矛盾があるとしラスキー教授に對する貴下の立場を判つきりせよと咬みついたのである、チャーチルは最後に「労働黨政府は全國執行委員會の頭使に服さねばならぬやうだし、惹いて外交問題、恐く軍事問題まで一々これに懸けねばならぬやうだが、かくては機密はどうして保たれるか」と反問し、「二十七名から成る同委員會が國家に對して責任を持つと言ふことは頗る穩かでなく、全國民に對しても説明されねばならぬ」と結論した

チャーチル首相の右追究に對して、アトレー黨首は即日返翰をしたため院内黨大會と全國執行委員會の權限關係に及んだ後、執行委員長が黨首に訓令を發する權限はないと述べた、然しチャーチルは右答辨に満足せず、折返し三日再度の詰問狀をアトレーに出して、労働黨々規によれば全國執行委員會は、労働黨出身首相を委員會に招致する權限があるやうだといつて、前回に述べた趣旨を繰返した、要するにチャーチル・アトレー論争はラスキー教授の失言が保守黨の選舉戦に利用されたもので、單純な理論の應酬によつて結末が附けられる筋のものではあるまい

### △新味のない遊説題目

以上のほか選舉戦において、各派の遊説題目として取上げられてゐるところは、既に出し盡した形でここ數日來何等の新味もない、チャーチルも三日夕、ロンドン郊外ウオールサムで恐らく最後の演説をやつたが、對日戰の徹底遂行、爆破家屋の再興、保險制度、保健制度、教育制度、等人民厚生部面における四ヶ年計畫、貿易の推進、將來の戰爭防止に關する國際組織の確立等、演説の重點は飽くまで戦後處理にあつた、チャーチルに代つて次の政權を狙ふ労働黨のアトレーも、二日の演説で對日戰の遂行、集團安全保障、全世界における自由主義、民主主義の昂揚を強調したが、チャーチルの題目に比べて特に取り立てるほどのものでもない

アトレーは英帝國自治領その他平和愛好國の政治的經濟的協力を主張し、かつ世界の平和及び繁榮には世界大衆の生活水準を引上げることが肝要であると論じたが、以上は特に労働黨の獨占題目だとみることが出来る。

他方協力内閣時代の内相で、労働黨領袖のハート・モリソンは「前回の總選舉で保守黨に投票した農民や労働者は、同黨の社會、産業、經濟諸政策が軌道を外れた爲、保守黨政治に失望し、特に中産階級の不滿を買つた」と痛評したが、別段労働黨のため生彩ある政策を掲げなかつたのは聽衆に物足りなさを與へたやうである。

### 復員兵士の操業訓練

(リスボン三日發) ロンドン來電 近く動員を解除される英國陸海軍將兵及び既に本國に送還された捕虜は、はやくも一般市民生活への復歸の準備を開始してをり、ロンドン地區ではこれらの兵士が既に客員として工場で働いてゐる、労働省は廣範な工場復舊計畫を樹ててをり復員兵士の工場への採用もこの計畫の一部だが、この計畫が實際に施行されるのは十日すぎになる筈だ、不馴れな兵士を工場で働かせる爲にはまづその訓練が必要だが、訓練施設は二つに分れ、一つは労働省直轄の訓練所であり、今一つは一般工場ここでは工場主が直接訓練を施すことになつてゐる、工場に入る兵士は客員としてまづ一般従業員の仕事を學し、漸次自ら機械の操作を行ふといふことになつてゐる。

### 【米 國】

### 食糧危機を警告

(リスボン三日發) ソールトレイク・シテイ(ユタ州)來電 米國の食糧饑饉はその後更に深刻の度を加へんとする形勢にあり、政府當局は前大戰にあたり歐洲の食糧饑饉救済の衝にあつた元大統領フーヴァに對し食糧危機打開の助言を求めることとなつた、フーヴァは政府の求めに應じワシントンへの途上、三日ソールトレイク・シテイで左の警告を發した

米國の食糧事情は今や急速に危機的段階に突入

せんとしてゐる、この危機を回避する爲には是非健全にして單一の食糧統制機關が必要である、大統領トルーマンが今回食糧統制の權限を農務省に集中したのは眞に積極的な第一歩である、しかしながら、米國の食糧機構にはいまだ大いに不備の點あり、たとへば食肉、脂肪類は通常の供給額の七十パーセントがあるにも拘らず、ニューヨークその他大都市の肉類小賣店に配給されるのは三十パーセントに過ぎない、余は政府の要請に應じ食糧問題解決のため助言を與へるが、しかし自ら官吏としてその衝にあたる意向はない

### 黑人虐待防止委員會廢止

(リスボン三日發) ワシントン來電 上院はさきに二十五萬弗の「公正雇傭委員會」豫算案を可決下院に廻附したが、下院議事委員會は二日これを否決した、公正雇傭委員會は故大統領ルーズヴェルトが主として設置したものだ、六月三十日をもつてその運用基金が満期となり今回その繼續のために新豫算案が提出された、しかし下院委員會の右豫算案否決によりこの委員會は自動的に廢止されることとなつた

### 陸軍航空部隊參謀次長更迭

(リスボン三日發) ワシントン來電 米國陸軍省は、陸軍航空部隊參謀次長少將ロナルド・ウィルソンを他の要職に轉出せしめ、後任に陸軍第九航空隊司令官中將ホイット・ヴァンデンバーグを任命した旨三日發表した、ヴァンデンバーグは代將當時一度陸軍航空部隊の參謀次長をしてゐたことがある

### 本國歸還兵三十一萬

(リスボン二日發) パリ來電 歐洲侵攻軍輸送司令部は一日つぎの通り發表した

歐洲戰終了後から現在までに本國に歸還した米國將兵は三十一萬以上に上つてゐるが、七月中には更に二十六萬三千名が本國に歸還する豫定である

## 米軍必死の燃料補給

(リスボン三日發) ニューヨーク來電によれば六月十九日の「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙はリス・トマンの署名記事をもつて太平洋戦にたいする燃料補給に大童の米國太平洋岸の模様をつぎの通り報道してゐる

太平洋前線向けの石油は目下南カリフォルニア州の諸港から殆ど信することの出来ないやうな速度をもつて積み出されてゐる、油槽船の橋によつて太平洋に注ぎ出される石油の量は過去數ヶ月間激増に次ぐ激増である、今やこの量は月平均一千四百萬バレルの巨額に達するに至つたがこの額は前年及び前々年の二倍以上である、石油關係當局者の推定によれば現在太平洋で費消されてゐる石油の量は歐洲戦終了前歐洲及び太平洋兩戦域で費消された石油の額よりも多いといはれる

これは一つに太平洋戦が専ら海軍の戦ひでありしかも最大の補給線を有し、この補給線自體が巨額の燃料とディーゼル油とを費消するからだ歐洲戦においては最大の燃料需要は航空機用ガソリンだつた、しかるに太平洋戦においても對日爆撃戦が熾烈化すると共にこの航空機用ガソリンの需要も目を追つて激増してゐる

太平洋戦で費消される石油の大體半分を補給してゐるのはカリフォルニアであり、その積出しは今や最高頂に達してゐるがこれは對日戦が終るまで減するやうなことは先づあるまい、この老大な需要に應ずるため同州の油田は最大限に近い採油を強要されてゐる、かくて太平洋戦に對する米國の石油補給は全く新しい方式の下に技術機械並びに熟練労働者が大童の協力を行つてゐる

即ち、最大の目標は船舶の回轉率、具體的に云へば油槽船が入港して石油を積みこみついで出港するまでの期間を出来るだけ少くするにあるしかしてこの期間は現在では普通の型の油槽船の場合に三十時間から四十時間に切下げられた例へば油槽船が入港してから一月半の間に十三萬バレルの石油類を積みこんだ上、更にその船

が前線との間を往復するに必要とする燃料一萬五千バレルをも積込まなくてはならない、最近ロサンジエルの港では何時でも一隻以上の油槽船が石油の積込みを行つてゐるが時には多數の油槽船が自分の順番を待つために列をなして並んでゐることさへある、南部カリフォルニアが驚くべく多くの燃料補給を行ひ得てゐる主な理由としてはロサンジエルス近傍のエル・セグンダにある海底送油管の機能である、即ちかかる海底送油管は世界にも殆んど類例をみないところだ、これは二つの巨大な送油管が海岸から海底を潜つて約一哩沖合にある浮埠頭に接續されてをり、油槽船はここで石油の積込みを行ふ仕組みである、この海底送油管のため船は入港の必要なく従つてエル・セグンダでは油槽船の回轉時間は平均二十四時間に過ぎず六時間から十六時間の時を稼いでゐる、補給能力をあげてゐる今一つの理由は送油管の大きなことである即ち普通の送油管は直徑八吋なのに對して十二吋であり一時間の送油量は普通のものより一千八百バレル多く六千バレルに達する、この二つの送油管はあらゆる種類の石油を送つてゐる、白色の管はガソリンやディーゼル油を送り黑色の管は原油及びあらゆる種類の燃料油を補給してゐる

## 米二空母進水

(リスボン三日發) フィラデルフィア來電「海軍省は豫て建造中の米國海軍新航空母艦ブリンストン(二萬七千トン)及びサイパン(二萬四千トン)の進水式が来る八日フィラデルフィア海軍工廠で舉行される旨二日發表した

## B 25 沖繩基地使用

(リスボン二日發) 米軍は目下沖繩空軍基地の設備擴充を急いでゐるが、一部飛行場は既に完成をみた模様である、即ち一日のグアム島電は、B 25(ミツチエル)中型爆撃機が新設された沖繩基地から一日初めて出撃し、九州南部を攻撃した旨報じてゐる





レヴァント事件後聞

附 佛西關係の緊張

井上勇

△袋小路に出會ふ英佛

レヴァント問題をサンフランシスコの新平和保障機構會議へ持出さうといふフランスの方針は、どうやら無残な最期を遂げたらしい、「らしい」といふのは、遂に表面には何ら現はれずして桑港會議は終末を告げたからである、その最後の日、六月二十六日ロイターのサンフランシスコ電によれば、フランスの首席代表ポール・ボンクールが會議の運行委員會に對して、總會が調査團をレヴァントに派遣して實狀を調査することを要請した覺書を提出し、議長ステチニウスは、口頭でもつて、ポール・ボンクールに、桑港會議はかかる特殊の問題を取扱ふために召集されたものでなく、會議の目的は世界平和保障機構の規約の制定にありレヴァント問題の如き紛争解決方式の討議は、新世界機構が正式に成立した後で、普通の外交手續を経て行はれるべきものだと、フランス側がこの覺書を提出した日取りも明白でなく、ただ外相ビドリの六月十五日演説の後だつたと解されるだけだし、しかしこれで、桑港會議を利用しようとしたフランスの窮餘の一策も破れ去つたことは疑ふ餘地なく、當事國の英佛は、ここ當分脱合ひのほかなきに至つたわけである。「バーズラー・ナハリヒテン」紙のロンドン電は二十七日、英佛關係のこの緊張状態を形容して「袋小路」と稱してゐるが、必ずしもさうでないことは「フランスの心理」の中で説明した、ともかく同紙の所説を紹介する。

フランスは英提案の三國會議を拒否し、英國は佛提案の五國會議を拒絶した結果、レヴァント紛争を繞る英佛交渉は袋小路に入ることになつた、ソ聯、重慶はフランス提案に回答だにしてゐない、かれ等はおそらく回答しないで握潰しの態度に出るのであらうが、假令回答しても、英國の態度の線に沿ふものであることは明かだ、英佛國交の緊張はこれを要するにチャーチル、

ド・ゴールといふ二個の強力な意志の人間關係の緊張であると云ひ得る、「サンデー・タイムズ」紙はド・ゴールの言葉として、國家のために最大の要求をするのは政治家の任務であり、この最大の要求をなすに當つて生ずる龜裂を修理するのは外交官の義務であるといふ文句を利用し、イーデンとビドリの兩國外相が會見することを提案してゐるが、當のイーデンが病氣では、この會見も不可能である、ロンドンでは目下の英佛關係は相互に不愉快なばかりでなく、放任すれば危険でさへ有り得ると考へてゐる。

イーデンの病氣はこの文の執筆當時はすでに癒え始めたのか、彼は選舉演説に夢中のやうで「サンデー・タイムズ」紙の好意ある勸告には當分耳を藉さうとしてゐるやうにも思はれない、その間にも二十七日にはアレツポでまたもや「事件」が起きて英兵二名が負傷してゐる、フランス配下の「土民軍」が地方辨務官の邸に向けて發砲した結果、騒ぎが大きくなり、三千の民衆の示威運動が起つたといふ事件と、それとは別に、今度はシリア人がフランスの補給倉庫に發砲し、之に英佛の歩哨が應戦したといふ事件である、英兵がその何れで負傷したか詳かでないが、それはどうでもよい、問題はシリアの不安が今なほ繼續してゐる事實であり、かかる事件は英國の煽動の有無に拘らず、フランスの支配が何等かの形で續くかぎり續發するだらうといふことである、英國がフランスに對して過去二十年のフランスのレヴァント支配の歴史を反省せよといふのはあながち不公平ではない、然し、フランスは已れの罪を反省することが同時に、北歐全域のフランス植民地のアラブ族をして、フランスの罪とその無力を想起せしめることだと考へる、既にレヴァントでの後退はアルジェリーに豫期した動搖を與へつつあるので

△裏の裏の打算

フランスがレヴァントの問題を全アラブ世界の問題に關聯させて考へつつある理由はそこにある一方英國はレヴァントの問題をパレスチナの問題

に結び付けて考へてゐる疑ひがある、パレスチナの猶太人問題が英國の中東政策の癆であることは周知の通りである、英國はレヴァントを支配することによつてパレスチナの猶太人をこの地に移しパレスチナを完全なアラブ人の居住地とするか、

若しくはその逆を行ふことによつて、パレスチナ問題を解決したいと考へてゐるかも知れない、英國はソ聯と共に回教徒の歡心を買ふことを重大視すると共に、チオニストの勢力をも無視出来ない立場にある、それは根本的に彼等の政治、經濟が猶太人の支配下にある當然の成行きである、かう考へるとレヴァントの袋路の壁は益々厚くなるばかりで、双方ともおいそれとは譲れないといふ結論になる、然し、このまま放任することは「不愉快」であり、大きな危険を包蔵することを知らぬでは英佛ともに同じである、そして不愉快と危険との度がより大であるのはフランスであり、フランスが正に折れようとする瀬戸際にまで追詰められようとしてゐることも既に説いた、フランス人の腰崩れの具體的現れは六月二十日發布のアルジェリーに對する新國籍法によつてもうかがはれる從來フランスはアルジェリーのアラブ人に對してフランス國籍を獲得する爲には回教徒たる信仰を放棄する制限その他を付してゐたが、今回この制限の一部を撤廢した、これによつてアルジェリーで新たにフランス國籍を取得し得る回教徒は七千乃至八千に達するといはれるが、敷こそとるに足りないとはいへその影響と意義は重大である、フランスはレヴァントにおけるフランスの地位擁護の口實の一として、基督教少數派擁護の看板をあげてゐるが、アルジェリーではこの看板を下して回教徒と非回教徒の一視同仁の原則を承認したわけであり、問題はアルジェリーの地方的問題に止つてゐさうにもない、基督教少數派はこれによつて從來の特權を失ひ、同時に、回教徒はここにフランスの弱腰に乗すべきさらに新たな契機を掴んだわけであるからだ、フランスの措置が人道上當然なものであつたといふことは、決してこれによつて生ずる新たな紛糾をば防止することにはならない、レヴァントその他における基督教徒のフランスに對する信頼の基礎は、今回の新法令によ

つて根こそぎ失はれる惧れがあり、アラブ世界に對するフランスの勢威は、フランスが豫期したであらうが如く加はるどころか、却つて減退する公算の方が多い

### △身が立たぬフランス

六月二十九日のベイルート發ロイター電は在レヴァント、フランス全權代表部次長オストロログがフランスのレヴァントに對する新提案を携行してパリからベイルートに歸任したことを報じてゐる、これによつてみればフランスは、英佛の脱み合ひが何時までも續くの業を煮やして、今一度直接交渉による問題解決を試みようとするものゝ如くである、フランスの新提案の内容は全く不明であるが、それがフランスの提案である限り、レヴァント兩國はこれを受諾するものとは考へ得ずフランスの新しい努力は、更に新しい失敗に終るほかはないであらう、事態がここまで進展した背後事情が清算されない限り、レヴァント側でフランスの息のかかつた提案を受け入れるはずがないからだ、レヴァント側では逆にフランスに對する要求を突付ける準備を着々と進めてをり、シリア外相ジヤメル・マルダム・ベイとレバノン外相アンリ・ファラオンは二十九日ダマスカスとベイルートの中間の小都シタウラで會見してゐる、彼等が何を要求せんとしてゐるかについては既に述べたが、これを要するにフランスの全面的なレヴァント撤收であることに間違ひはなからう、フランスのレヴァントにおける類勢日に日に濃きことはアンチオツクの僧正アントアン・ピールが、二十九日米英記者團との會見で

レヴァントの基督教徒の利益はフランス國の保護よりも、聯合國の保護を希望する、レバノンの獨立が米英ソ三國を含む大國によつて達成されることを衷心より希望する

と語つてゐるのでも判らう、フランスは既にレヴァントにおける唯一の希望であつた基督教徒からの信頼すら失ひ始めてゐるのである、レヴァント基督教徒の背反がアルジェリーでのフランスの新措置と關係があることはいふまでもない、双方立て

て身の立たぬフランスかなだ

### △シヤンベリー事件

レヴァントの問題はそれとして、スペインとフランスとの関係も最近とみに悪化の一路を辿りつつあるやうだ、五月二十五日の諮問會議外交委員会でフランス政府との斷交決議があつて以來、兩國關係には一層割切れぬものが出来てしまつた、そこへ發生したのが六月十五日のシヤンベリー事件だつた、在獨スペイン外交官、領事館員約五百名を乗せた列車が、安全通行保障をフランス政府から得て、スイスからフランスに入國した際、この國境近いアルプスの小驛でフランス人の群衆に襲撃されて重軽傷者を出したといふ事件である、襲撃したのはフランス左翼のモツプで、列車にはスペインの反ボルシェヴィキ義勇軍としてドイツ軍と共に東部戦線で戦つた「青色師團」の連中が乗つてゐるとの誤解に出たものだつたが、その後の調査では、青色師團の殘黨は一人もゐなかつたことが判明した、シヤンベリーといへば共産マキの本場でド・ゴール政權の威信のまだ及ばぬ地域には相違ないが、それは何等の云ひ譯にはならない、マドリード政府は大いに憤慨して六月二十二日、佛西國境を閉鎖するの擧に出た、何もシヤンベリー事件のみが原因といふのではなく、佛西關係の最近にはフランスが必ずしも快しとないあまたの懸案があり、その一、二を拾つて見ても次のやうなものがある

一、フランス左翼——と云へばフランスの言論を殆ど獨占してゐるが、そのフランス輿論の反フランス宣言である

二、フランス政府のスペイン共和主義亡命政客の保護——とまでは行かないまでも、その活動にたいする不干渉政策、スペイン人マキ團のピレネー方面での蠢動に何の取締りもしてゐない  
三、タンジール國際地帯のフランス領モロッコへの併合要求、六月十四日モロッコのサルタン、モハメッド・ユセフはパリ入をして、パリ政府と打合せを始めてゐる

四、ヴィシー政府元首相ラヴァルの引渡交渉におけるフランスの強引政策

これ等の係争の根本には、勿論ド・ゴール政府とフランス政權の相互の實力に對する評價があり、いままで國際的なまみ子扱ひをされてゐると見縊つて、フランス政府に對し、よい加減にかさにかかつた態度を取つて來たフランスに、スペインが勘忍袋の緒を切つてド・ゴール政府何するものぞと反撥したといふ次第である、フランスは目下スペインと

一、通商協定を結んで、スペインの物資のフランス輸入をはかり  
二、同時に北阿にある本國亡命フランス人約三萬人を陸路(海路は船がない)スペイン經由で歸還せしめるために

スペイン政府と交渉中であるが、この交渉は國境閉鎖で凡て御破算になる形勢である、交渉が成立しても國境が閉つてはゐて何ともならぬではないかそれならばフランスの方から先手を打つて國交を斷絶しろといふのが差當りのフランス輿論の反響だつたがこの交渉があるかぎり、輕々に國交斷絶は考へものだとの論もあり、フランスの態度はなほ決しない、少くともド・ゴール自身はフランスはともあれスペインとの關係悪化は決して望むところではなく、出来れば、そこに妥協の道を發見したいと考へてゐることは度々説明したが、左翼でみればスペイン戦争以來の宿恨を、どうかして晴したいと機會ある毎に喚いてゐるので、ド・ゴールを押切らないとは斷言し得ない、しかし、いまのところではそれだけの踏切りはド・ゴールには決心がつかねてゐるやうだ

### △佛西合同劇「京の喧嘩」

スペイン政府は、いままで勝手な熟をフランスに吐かせて癩の蟲を押へて來たので、國境閉鎖につづいて矢次ぎ早やに今度はラヴァルの引渡しを拒絶する通牒をフランスに送りつけたといふ、この報道はロンドンの「デーリー・メール」紙バルセロナ特電なので少々眉に唾液が必要であるが、この電報によるとスペイン政府は米、英兩國からの引渡し要求があればともかくフランスとは政治犯人の相互保護協定があり、ラヴァルがフランスで政治犯人と認められてゐる限り、引渡しする必要

はないと認定するといふのである、ラヴァル事件については既に引渡し済んだとの説もあつた位で真相の捕捉に困難であるが、「デーリー・メール」紙によれば今なほラヴァルはベルセロナにゐるといふ事になる、何もフランコがラヴァル一人に力瘤を入れる理由はないが、もし引渡しを拒絶したことが事實ならば、スペイン共和主義者をフランスが保護してゐる反對給付と、最近のフランスの反フランコ態度への犬糞政策と考へるほかはない、それによつてスペインが何を待つかといへば一時の快のみで腹の足しにはならぬが、佛西關係を更に悪化せしめるには役立つだらう、パリ・ラジオは六月三十日、タンジール問題を取上げてスペインが歐洲戦争のどさくさまざれに、不法に國際地域を侵した罪をせめ、今度はスペインを除外して、米英佛の三國を實施國としてタンジールの國際管理をすることならうと報じてゐるが、これまたスペインの神經に觸ることはいふまでもない、スペイン、フランスの喧嘩は、お互ひに撲るぞ撲るぞ、の京の喧嘩程度がいまの状態、新聞電報の尻馬にのつて眼の色をかへるほどのこともなからうと考へる、弱いもの同志が、相手の弱さを勘定に入れていきまいてゐるにすぎないのだからここに挿入するのは場外れだが、パリ政府はラヴァルがもし法廷に現はれないならば缺席のままラヴァル裁判を開くと稱してをり、また一説にはラヴァル自身はフランスに引渡されて、公判をうけたい希望があるといふ、ラヴァルの協力者だつた元「ウーヴル」の主筆、元労働相のマルセル・デアは六月十九日パリで缺席のまま死刑を宣告された、當人の行衛はジグマリンドン陥落後香として判明しない、見付かり次第勝手に處分してよいといふ布告が出てゐるといはれるが、一時はフランス右翼のホープだつた彼も時と世とが變れば致方もない、フランス義勇軍二萬を率ゐてパリ進撃を呼號してゐたジョゼフ・ダラン將軍も二十八日イタリアのベルガモ州エドラで捕へられた、ラヴァルの陣營は日に日に淋しい

### △フランコ強腰の裏

話を戻してフランスとスペインであるが、フラ

ンコ政府が最近何が故に強腰になつてゐるのかのからくりをこの際一寸のぞいて見るとしよう、ロンドンの「オブザーヴァ」紙は六月二十四日からいつてゐる

フランコ將軍はサンフランシスコ會議で特に目立つに至つたスペインの政治的孤立を救ふべく絶望的努力を傾けてゐる、世間にはフランコの月日はすでに數へられ終つたと考へてゐる單純なものもあるが、仲々どうしてといふところだ外國から經濟的な援助があるかぎり、政治的孤立などは全く苦にするに足りない、外國からの援助の實例の一つは昨冬十二月締結された米西航空協定だ、米國の一航空會社はこれによつてマドリッド近郊に空港を獲得した、多くのスペイン人は、この空港を稱して「新ジブラルター」だと稱してゐる、他の米國航空會社はスペインの他の場所に同じく飛行場を獲得すべく交渉中である、テキサス・ヴァキューム石油會社はカナリア島に巨大な精油工場と貯油場を設ける許可をスペインから得てゐる、スペインは以上のほかにアメリカに對して最近、重要な經濟的讓歩と獨占權を與へようとしてゐるとの噂が専らである、かかる米國とスペインとの經濟的接近が、フランコの獨裁制の支持に多大の力を與へるものであるとはいふまでもない、スペインはこれを利用して以夷制夷の政策をとり、外交關係においては「スポイルス・システム」給嘴ませ政策で人を釣らうと試み、ある程度成功してゐる

スペインが米國の氣嫌をとつてゐるのは、英國の不快とするところであり、「オブザーヴァ」紙の記事にはその氣分が露骨に現れてゐるわけだが、これがまたフランスへの強腰の裏のからくりでもあらう、佛西兩國の現在の國交緊張をば、直ちに斷交にまで持つて行くことの想像が少々行きすぎであることは上記の通りだが、冗談から駒が出る世の中のこと、絶対にさることなしと斷定するわけにはゆかぬが、先づ當分はこの緊張状態がつづくものとみてよい



トルーマン演説(全文)

(桑港會議閉會式)

六月二十六日

諸君は全世界の平和を愛好する人々の高邁な希望と確信を抱いて九週間前このサンフランシスコに集合した、全世界の人々が諸君に對して抱いた確信は今や現實となつて現はれた、諸君の本會議における成功に對する人々の希望は充たされた諸君が只今署名された聯合國憲章は強固な機構であり、この上に我々はより良い世界を建設することが出来るのである、これは歴史的事件である、歐洲における勝利と日本に對する最後の勝利の間段階において、我々は戦争そのものに對して勝利を獲得したのである、この憲章あればこそ今次大戦の暗黒時代を通じ悲惨な生活を體驗して來た人々の勇氣がくちける事なく維持されたのであつた、憲章は全世界國家の一大信念の宣言である、即ち戦争は回避し得るものであり、平和は維持し得るものであるとの信念の宣言なのだ、我々にして、この憲章を數年前に持つてゐて、この憲章を行使する意志を持つてゐたとしたなら、今日までに燈れた數百萬の人々はその生命を完うする事が出來たであらう、しかし我々にしてこの憲章を將來行使する事を躊躇するならば、現在生きてゐる數百萬の人々の生命は確かに失はれるであらう

### △憲章は平和確立への第一歩

多數の人々は、憲章は永續性のある平和確立への第一歩にすぎぬと言ふ、眞にその通りである、憲章が平和確立への第一歩であると言ふ事實を悟り、我々はこれを基礎として思索し行動することこそ最も重要なことなのだ、我々は幸先のよい旅に本日乗り出した、我々は最後の目標から眼を離さず、前進しようではないか、米國の憲法はこの會議のやうに相異つた意見を抱いてゐる代表者の會合から生れたのであつた、憲章と同様に米國の憲法は相反する意見を自由に、しかし時としては激しく交換することに依つて生れたのであつた、しかし、憲法が採擇された時これを完全なもの

であると見た人は唯一人もなかつたのだ、しかし憲法はその後育成發展を遂げ、これを基礎として一段と高邁な、完全な結果が生れたのである、憲章はこの憲法と同様に時の経過と共に擴張され、改善されるであらう、憲章が現在最終的な完全な平和確立の手段であるとは誰もいはない、憲章はまだ一定の型に出來上つてしまつた譯ではなく、世界情勢の變化に伴ひ調整を必要とするだらう、しかしながら、この調整は平和のための調整であり戦争のための調整であつてはならない

### △民主主義の本質

今日憲章が生れたことは眞に感慨無量のものがある、人種、宗教、言語、文化等において相異つた五十ヶ國が憲章の制定に當つて果して一致和合出来るかを疑つてゐた人々は少なしとしない、かかるに、人種、宗教、言語、文化の相異は戦争を終結せしめる途を發見するといふ一致した決意の内に完全に忘れられてしまつたのだ、議論と抗争と意見の相異の内から、協調の途が發見された、意見は公然と自由に開陳され、すべてのもものは、平和を愛好する人々の傳統の下にさらけ出されたのであつた、平和を愛好する五十ヶ國國民の信念と希望とは世界の論壇上におかれ、意見の相異は克服された、この憲章は單一國家或ひは大小國家群によつて制定されたものではなく、參加各國相互の寛容によつて成立をみたものである、國家も人間と同様に自國の抱懷する意見を開陳して共通の立場を發見出来るものであることを立證した、これこそ民主主義の本質である、然して、將來の平和はかくして確保されるのだ、諸君の今回の協力により將來の協力の途が拓かれたといへよう、今回の會議を成功に導いたものは諸君が常に單一の目的即ち平和の憲章起草するといふことに全精神を打ち込んだためであつた、新國境劃定問題戦争犯罪人問題、歐洲の政府の構成、等の問題形式に關して種々の議論が行はれ、幾多の障礙があつたにも拘らず、諸君は憲章作成の事業を繼續した、このやうな困難、複雑且つ危険な問題は將來も起るであらう、然し我々は一體となつてこの種の問題を解決した、我々にして我々の主義を守り

我々の目標を放棄せず協力するならば現在及び將來の問題を解決する事が出来るのである、我々はこの原則が役に立つことを學んだわけである、資源をプールし、軍の指揮を統合し、參謀部の會議を不斷に開催することによつて我々は結合力というものがある、如何に重要な役割を果すかといふことを明示した、この結合力はドイツを降伏せしめた、この結合力は日本の降伏を餘儀なくさせるだらう、聯合國は又戰爭繼續中も經濟關係の協定に到達した、ホット・スプリングスの食糧會議、ブレトン・ウツツの財政會議、シカゴの航空會議等は協力生活を決定してゐる國家が如何に大きい事業を完成し得るかを明示したものと云へよう、而して諸君はこれ等會議から協合力といふ教訓を學びこれを基礎として桑港會議を成功に導いた

### △方策を即時實行に

諸君は世界の平和と安全保障と人類の發展の大方策を樹立した、世界はこの方策を即時實行に移さねばならぬ、我々にしてこの大方策を實行に移さぬならば自由と安全を創造せんとして我々をこの會議に集めようと努力して死んだあらゆる人々を裏切ることになるのだ、一國乃至國家の少群の利益に捉はれて、この憲章を我儘に行使するならば我々は矢張り裏切り行爲を行ふことになるのだ、この方策を成功裡に行使するためにはこれを創造した自由な國民の結合した意志と斷乎たる決意が必要であり、この事業には我々全體の道義力と全精力を傾注しなければならぬ、我々には我儘な行動は許されない、一國は他の國を害するやうな特權を行使することは許されないのだ、一國が自國の安全保障を希望する場合その國には他のあらゆる國の安全保障を守る用意と意志がなくてはならぬ、各國が世界平和を希望するならばこれだけの代償を行はねばならぬのだ、しかして、我々にしてこの代償を支拂ふ意志がなければ世界平和機構はその目的を達成することが出来ないのだこの代償は決して無理でないことがわかるだらう

今次大戰の中から強力な軍國が生れた、而して之等の國家は戰爭に對して十分の訓練を行ひ、裝

備を行つてゐる

### △憲章の中核は協力

しかし、かかる國家に世界を支配する權利はない、むしろ世界平和への指導の責任を取るべき義務は我々のやうな強力な國家群にあるのだ、我々が強權と實力を戰爭のために行使せず世界の平和を維持し、世界を戰爭の恐怖から解放せんと法意した理由もここにある譯だ、世界の強國は自ら實例を示して、國際道義への途を開拓しなければならぬのだ、計畫を樹立する時があればこの計畫を實行に移す時がある、そして、今は實行の時だ我々は各々その独自の方法でこの憲章を即時承認し、これを實在のものにしようではないか、余はこの憲章を即時上院に送付する、米國民とその代表である上院議員は必ずやこの憲章の即時批准に賛同するに相違ないことを確信するものである、正鵠な永續性のある平和は外交協定乃至軍事的協力に依つてのみ達成せられるものではない、今日までの經驗から我々は戰爭の原因が經濟上の對立と社會上の不道義にある事を學んだ、本憲章においてもこの事實が確認されてをり、従つてその條項中には經濟上、社會上の協力が規定されてゐる譯だ、憲章の中核をなすものは實にこの種の協力であるのだ、人爲的、非經濟的な通商障壁は撤去されなければならぬ、かくする事に依つて、人々の生活水準は改善されようし、思想の交換も可能となる譯だ、而して結局においては國家と國家、國民と國民の寛容な相互理解が向上、改善されるのだ

### △自由世界の創造

ムツソリーニの死と共に全ファシズムが絶滅した譯ではない、ヒトラーは死んだ、しかし、彼の時いた種は狂信的な頭腦を持つた多數の人々の中に未だ深い根を持つてゐる、暴政者や捕虜收容所を絶滅する事は容易だが、その根柢を流れる思想を絶滅することは難い、世界の善良な人々は、過去十數年に亘り全世界を蔽つてゐた悪靈を完全に打ち拂ふ決意を固めてゐなければならぬのだ、全世界の反動勢力と暴政國とは聯合國の結合の邪魔をするだらう、樞軸の軍力が歐洲で破摧されてゐる

時でさへ、彼等は聯合國の離間を計つたのであつた、彼等は失敗した、しかし、ふたたびこの離間策をとるだらう、分割征服は過去においても、現在においても彼等の計畫なのだ、彼等は夷をもつて夷を制する方策に出てゐる、余は諸君を代表して言明する、聯合國の結合は決して破れることはない、聯合國は宣傳によつて離間するものではない、この憲章の制定によつて諸君は故ウヰドロー・ウイルソンの理想を具現した、この憲章の制定により諸君はまた第二次世界闘争の爲に働き、戦ひ、遂にその生命を捧げた勇敢な指導者フランクリン・ルーズヴェルトがうち樹てた目標に近づいて來たのである、しかし、本憲章により諸君は世界平和機構確立のために生命を捧げた諸君の國の具眼の士の目的を實現したのである、諸君が書いた言葉を實行に移す義務は諸君の國の全部の人々にあるのだ、既に殫れた人々の希望、現存の人々の希望をして將來の人々の希望は、すべてわれわれの決定的行動の上にかかつてゐる、これ等の人々の希望とは妥當な生活水準をもち友好的な雰圍氣の中で共に働き協力することが出来るやうな自由世界の創造なのだ

この新しい平和機構は強固な基礎の上に育成されんとしてゐる、われわれはこの絶好の機會を把握して理性に依り世界を支配し、神の導きの下に永久的平和を創造しなければならぬ

## 民主々義の解釋

ヴェア・マイクルス・デイーン

米英兩國は民主々義擁護のためと稱してソヴェト聯邦と協力してドイツと戦つた、ソ聯もまた最近では自ら民主々義國群の一員であると呼んでゐる、しからばこの民主々義とは果して如何なるものであらうか

米英兩國がいきりに宣傳する民主々義の解釋に従へばソ聯現在の國家機構なり政治體制なりは斷じて民主々義的ではない、しかるにも拘らずソ聯は敢て自らを民主々義國家と呼ぶ、民主々義にたいする米英的解釋とソヴェト的解釋との間には重大な相違があるわけであり、或ひは同じ「民主々

義」なる表現が用ひられてゐようとも米英兩國の民主々義とソ聯のそれとは正に氷炭相容れぬ内容を持つといつてもいいかも知れない、ソ聯と米英兩國との關係を規定する重大な因子の一つがこの點に在する、左は米國外交政策協會の「フォレン・ポリシイ・ビュレティン」の編輯者ヴェラ・デイーンが六月廿二日の同誌上に發表した評論である

(木下)

## △米英ソ三國の協力

米英ソ三國はその民主々義的理想にたいする理解を一致せしめなければならない、大統領トルーマンは六月十三日の聲明において、チャーチル、スターリン兩者とベルリンで會議する旨發表したが、これは故ルーズヴェルトが戦争の大方針を樹立したごとく、トルーマンは平和の大方針を樹立すべく固い決意をかためてゐることを示すものである、而して桑港會議において中小諸國が意見一致した一點があるとするならば、それは大國、なかんづく米英ソ三國の間に協力が行はれないとするならば歐洲における政治的安定ないしは經濟的再建工作を前進せしめることは殆んど不可能であるとの點であらう、中小諸國がかれ等自身の犠牲を忍んで安全保障理事會における大國の拒否權を認めたのも世界の安全を維持するために五大國に適當な權限を與へる用意あることを示したものだ、大國に與へられたこの權限は、大國自身がかれ等の目的に對して明確な認識を持ち、さらに大國がその目的を達成するために行使する具體的手段について責任感を持たぬ限り、有効に發動することはできまい

## △民主々義の意味

大國は再三再四、歐洲において「民主々義」を樹立すべき固い決意を持つてゐることを發表したしかるにこの民主々義なるものが如何なる内容を持つものであるかについては、これを明確に規定

せんとする何等の努力も行はれなかつた、米英兩國にとつては、この民主主義なる言葉は一般民衆が自由にその政治的指導者を選ぶ機会を持ち得ること、並びにこれに随伴して言論、集會、討議、批判等の自由を確保することを意味する、しかるにソ聯が民主主義を云々するとき、これは政治的自由を對象とせず、むしろ大衆に與へらるべき經濟的、社會的機会を對象としてゐるのである。歐洲に與へらるべき最大の希望は、米英兩國とソ聯とが終局において社會的、經濟的満足のない政治的自由は全くからつぽの殻に過ぎないこと、しかしながら同時に社會的、經濟的幸福は單に生活の最低水準を維持するだけでは達成不可能であり、一般大衆がその達成のために政治的行動を通じて自由に參畫しなければならぬことにつき見解を等しくするにある。

### 米軍の新型輸送機

「サイエンティフィック」

「アメリカン」誌 五月號

#### △フエアチャイルドC82

米國陸軍省はフエアチャイルド軍用輸送機に就いての記事を解禁したが、同機は既に米陸軍航空隊の試験飛行で好成績を収め目下生産に移されてゐる、この新型機の正式の呼稱はフエアチャイルドC82で、胴體断面は殆ど正方形をなし、胴體内部には全然障礙物がなく、同機の尾翼面が主翼から出てゐる二本の圓材の末端で支へられる構造となつてゐるため胴體後部は完全に開放出來、戦車が内部に進入するだけの餘地が充分にある、キューズ式三輪降着装置は荷物室の床を地面と平行に保ち、トラックから機内へ荷物を移すに便利なやう胴體の床は標準型トラックの床と同じ高さになつてゐる。

C82輸送機は元來戦車、彈藥、補給物資、軍隊乃至落下傘部隊等を戰場へ運ぶやう設計されたが同機に「客船」(Packet)といふ名が附いてゐる。

やうに旅客機としても使用出來よう、旅客機となつた場合晝間飛行では旅客七十六名を收容し夜間飛行では客室の通路兩側に設けた上下の寢臺に三十名の旅客を收容する、翼並に胴體は最新式の張殻構造で強度の高いアルミニウム合金を使用してゐる、胴體下部には縦に七本の桁が走つてゐて床を支へ、また荷物を縛り留めるやうになつてゐる荷物は主としてベニヤ板張りの床の下に置かれる。

#### △新マグネシウム合金

ダウ化學工業會社は「ダウメタル25X」といふ名稱のアルミニウム5%、錫1%を含む新マグネシウム合金を發表した、新合金は從來のアルミニウム6・5%、錫1%を含むマグネシウム合金が持つてゐた強度並に鍛接性を保有してゐるほか展性並に靱性は舊合金よりも大となつてゐる、また會社の興味ある業績はアルミニウム8%、錫0・5%を含むマグネシウム合金の押し物體に加へる熱處理で、その結果特に壓縮時における合金の降伏點が從來よりも高くなつた、右は元來飛行機の第一次構造に使用すべき試験的マグネシウム合金として出來上つたものであるが、この合金にたいする最少屈撓力は伸張並びに壓縮の場合一平方呎につき三萬封度で、商品としても有用である。

#### ブレアトン第三航空隊司令に

(リスボン一日發)ワシントン來電 米國陸軍省は三十日最近歐洲より歸還せる中將ルイス・ブレアトンがフロリダ州タムパの第三航空隊司令官に任命された旨發表した、前司令官少將ウエストサイド・T・ライソンは某要職に轉出した。

ブレアトンは前大戰當時から陸軍航空隊にゐる古手で、印度基地第十航空隊、西亞第九航空隊等の司令を歴任、北佛上陸以後は第九航空隊を率ゐて歐洲戰場に進出し、例のサン・ロー突破作戦で自軍を爆撃して機甲部隊の至寶中將レスリー・マクネアを殺したのは有名な話だ、その後聯合軍第一空挺軍團を編成、その司令官として歐洲における空挺作戦全般を指揮してゐた。



昭和二十年七月七日(土)  
第三 四 七 五 號

# 同盟通信 海外電報

(155)

英國政府は五日ポーランド新政府を承認、米國も五日中に承認するといふからロンドンの亡命ポーランド政府の死刑はここに全く完了した、あとは屍體をどう片付けるかといふことが問題となるが、米英兩國はどこかをこいらに卒塔婆でもたてて、安物の線香を二三本燻らすのが落であらう、もつともこの屍體は往生際が悪く、亡命政権大統領ラチエヴィツの如きは去る六月二十九日米英兩國が承認を取消しても、亡命政権が唯一の合法政府であることには變りないと敦固いたが、ちよつと捨捨白の感がないでもない

さて問題の新ポーランド統合政府だが、トウグロトが参加を拒絶したため、ポーランド本國及びロンドンから参加した者は僅か四名に過ぎず、實質的にはワルシャワ政権の延長にほかならない、しかるにクリミヤ宣言には違背してゐないから、米英兩國は文句をいへない



今回の新ポーランド政府の樹立についてはソ聯は形式的には讓歩したことになつてゐるが、實質的にはソ聯の要求がすべて通つた譯であり、弾力性に富むスターリン外交の全面的勝利だ

ところがスターリン外交の勝利はこれだけではない、ロイター記者ジョン・キムチによれば、米英兩國政府は近くオーストリアのレンナー政権を承認する意向といはれるが、レンナー政権はモスクワのお手盛りで出来た「傀儡政権」だから、歐洲におけるソ聯の「防衛前哨要塞線」はほぼ完了したとみてよからう、もつとも米英兩國の言論界はレンナーが會てアンシュルツスを支持した事實を引出して、さう簡単にソ聯の勝手に鼻面を引廻されはしないだらうと樂觀してゐるが、たとへレンナーがどうでもあれ、彼の政権がソ聯の肝入りで出来たことは嚴たる事實で、鼻面どころか襟頸を掴んでこすきまはされるのが必然の運命だ、ソ聯はドイツの東に傀儡ポーランドを、ドイツの西に傀儡オーストリアを持つに至つた、つぎの番は傀儡ドイツだ、ソ聯は既にドイツの占領地域に共產黨と社會民主黨を復活させた、橋は出来た、後は渡るばかりだ

## 【目次】

- 英、波新政府を承認……………一九五〇
- 波基督民主黨首ワルシャワへ……………
- 米英近く奧太利を承認……………
- チャーチル佛で休養……………
- 濠首相死去……………
- 新首相はフオードか……………
- 米財務長官辭職……………一九五一
- 佛・レヴァント會談開く……………
- 英國總選舉の模様……………
- 【歐洲】
- 米軍ベルリンへ入城……………一九五二
- 總統官邸の地下壕を見る……………
- パットン再び歐洲へ……………
- タンジール問題でソ聯聲明……………一九五三
- 波新政府の承認一兩日中……………
- 米軍の西領滞在を承認……………
- 【三頭會談】
- イーデンも参加可能か……………
- 會談はデーヴィスの歸英後……………
- 【西亞】
- 土・イラク通商協定成立……………
- イラクの鐵道工事……………
- 【米國】
- 新國務長官就任聲明……………一九五四
- 對ソ政策は不變……………
- 戰費一千億弗……………
- スタインハート巴里に……………
- バーンズとはどんな男か……………一九五五
- 【資料】
- 在外獨經濟力拂拭政策の成果……………一九五六
- スチルウエルの横顔……………一九六二

## 英、波新政府を承認

(ストックホルム五日發) ロンドン來電 英國政府は五日夜次の通り發表した

英國政府は新ポーランド國民統合政府を承認した、近くワルシャワ駐劄英國大使を任命する、英國政府は新ポーランド政府の樹立をクリミヤ會談におけるポーランドに關する決定の實現への重要な一步として歓迎する

英國は新ポーランド統合政府の樹立に伴ひロンドンの亡命ポーランド政府の處理方に苦慮、承認を遅らせてゐたが、漸く成案を得て今回新政府を承認するに至つたもので、米國政府も五日中に承認する豫定であるから、亡命ポーランド政府はいまや全く米英兩國に見離され、言葉の眞の意味における「亡命政權」と化してしまつた譯である、クリミヤ宣言においては、新ポーランド統合政府は普通選舉と無記名投票とに基く自由な拘束されぬ選舉を行ふべき旨が規定されてゐるが以上の自由選舉の實施により新政府は搖ぎない存在とならう因みに英國政府は正式に大使を任命するまで臨時に代理大使をワルシャワに派遣する豫定である

## 波基督民主黨首ワルシャワへ

(ストックホルム五日發) ロンドンからのロイター電報によれば、ポーランド基督民主主義労働黨の黨首カロール・ポピエル及び同黨執行委員モデルスキーは五日ロンドンを出發ワルシャワに赴いたといはれるが、兩者は新ポーランド統合政府に参加する筈で、以上の結果ポーランドの四大政黨たる基督民主主義労働、農民、社會、人民(共產)の諸黨は新政府を積極的に支持することになつた譯である

## 米英、近く澳大利を承認

(ストックホルム五日發) ロイター記者ジョン・キムチが五日消息筋の情報として報ずる所によれば、米英兩國政府は近くオーストリア社會黨のカール・レンナーを首班とするウィーン假政府を承認することとなり、最近時にロンドン及びワシントンで公表される筈である、あるひはポツダム三頭會談の開始以前に行はれるかも知れず、時期は

赤軍がグラーツ及びブルツク・アン・デル・ムールを含むシエチリア地方より撤退する時と一致するものとみられる、赤軍の撤退後右地帯は英國の軍政に歸すべく、同時にオーストリア監理理事會はウィーンで仕事を開始し、米英佛三國軍隊がそれぞれ首都の所定地域に進駐することとならう

## チャーチル佛で休養

(リスボン五日發) ロンドン・ロイター電 英首相チャーチルは五日の總選舉一段落の機に南佛へ休養旅行に出かけることとなつた、休養の期間はベルリン或ひはポツダムでの米英ソ三頭會談まで、十日以上を出ない模様である、休養先はまだ明かにされず、南佛カピレネー附近かわからない多分チャーチル夫人が同行することとならう、イデン外相も略々健康を恢復し、來週からは事務を取り得るものと見られるが、チャーチル首相の休暇旅行には隨行せず、唯三頭會談に先立ち打合せのためどこかで落合ふこととならう、尙ほ首相官邸はチャーチルの休暇旅行につき五日深更次の通り發表した

チャーチル首相は先般來短期間の休養を取る豫定のところ、總選舉で延期になつてゐたが、近く外國に行くこととなつた、休養先とはクリーエ及び電報により常時接觸を保つ筈である、首相の不在中はイデン外相が閣議を主宰する

## 濠首相死去

(リスボン四日發) キヤンペラ來電によれば濠洲首相ジョン・カーチンは四月中旬以來肺疾患のため病臥中であつたが四日夜死去した、享年五十九

## 新首相はフォードか

(リスボン五日發) シドニー來電 ジョン・カーチン死去に伴ふ後任首相の正式任命は目下ニューギニア方面視察旅行中の濠洲總督グロスター公が六日シドニーに歸還した後に發表される豫定であるが、候補者としては現首相代理兼陸相フランシス・フォード、藏相J・チーフリー及び外相ハーバート・エヴァアットの名が挙げられてゐるが約二ヶ月間に亘るカーチンの病氣中首相代理を兼任した陸相フォードが最も有力だ

### 米財務長官辭職

(リスボン五日發)ワシントン來電ニ大統領トル  
ーマンは五日財務長官モーゲンソーが辭任した旨  
發表した、後任は三頭會談後發表される豫定

モーゲンソーは本年五十四歳、コーネル大學卒  
業後官界に入つたが米國農業政策に貢献し、ルー  
ズヴェルトの農業諮問委員その他の農業關係政府  
機關に關係したが一九三三年財務次官となり翌一  
九三四年財務長官に就任現在に至つた

### 佛・レヴァント會談開く

(リスボン五日發)ベイルイト來電ニレヴァント  
駐在フランス代表エチエンヌ・ベイネは次席オス  
トログ伯帶同、四日レバノン外相アシク・フア  
ラオンを自邸に訪問したが、フランス代表とレヴ  
アント側代表との會見は今回の紛争勃發以來これ  
が初めてである、オストログ伯は最近パリを訪  
問して歸任したばかりで、本國政府の訓令を携行  
したと考へられるので今回の會見で改めてフラン  
ス側の解決案が提示されたものと考へられてゐる

### 英國總選舉の模様

(リスボン五日發)英國の第三十八議會を構成す  
べき總選舉は五日全國一齊に投票が行はれた、以  
下ロイター電に基き投票の模様を綜合しよう

今次の總選舉は前回の一九三五年から十年來最  
初のものであり、しかも歐洲戰終了直後のものだ  
けに、投票權者は特別の昂奮裡に五日早朝より投  
票場に押しかけた、千六百七十二に達する立候補  
者は六百三十六の議席を目指して最後の五分間を稼  
ごうと投票民に呼びかけ、特に保守黨宣傳隊は數  
數のパンフレットをばら撒いたり、擴声器によつ  
て通行人に訴へた、勞働黨々首クレメント・アト  
レーも、この日午前零時から一九二二年以來の選  
舉區であるライムハウスに詰めかけ、現場巡視の  
態である、黨部の連中にはせれば、アトレーは  
今度敵手保守黨のウツダード中尉に對して、壓倒  
的多數を得ること必定である、また南ロンドンの  
セントラル・ワンツワースでは勞働組合の總帥ア  
ーネスト・ベヴィンが軍人の最高榮譽ヴィクトリ

ヤ章の保持者オンスラフト將軍を相手に出たが投  
票數の十中六はベヴィン側だといはれてゐる、尤  
もこれは勞働黨側の皮算用ではあるが、同じく勞  
働黨候補で南ロンドンの保守黨の牙城に喰ひ入つ  
た元内相のハーバート・モリソンも投票成績は我  
黨のため順調と言つてゐる

ノリスパジントンは過日チャーチル首相の遊説  
行脚に反對デモをやつた反保守黨的空氣のあると  
ころだけに現海相ブレンダン・ブラツケンが勞働  
黨候補サー・フランク・ノエル・メーソンを相手  
に苦戰の態である、先づ面白い勝負であらう、北  
イングランドの工業地區ダーラムでは、協力内閣  
時代の商相、勞働黨領袖ダルトン以下で全十八名  
の勞働黨候補が打つて出たが、ダルトン自身は勞  
働黨は壓倒的優勢だといつてゐる、この地方でも  
選舉民はなかなかの熱意を見せ、グラスゴーでは  
ある女は午前二時に投票したくらゐだ

何れにしても各派それぞれの皮算用で、共產黨  
ではスパークブルツクの選舉區でダットが印度相  
のアメリーを相手に素晴らしい得票だと宣傳して  
ゐる

全投票者數三千三百萬を數へ前回の二千九百萬  
人に比べると相當の増加であるが、登記漏れもあ  
るやうで、各地から文句簇出、ロンドン郊外トツ  
テンハムだけでも、勞働黨は自黨の支持者二百名  
が登記漏れだとこぼしてゐる、全投票者數三千三  
百萬中、軍人や女達が三百萬人で、本國外にある  
軍人の投票は現地で行はれ、快速便で本國へ送り  
届けられる筈である、この國外投票や投票のため  
に歸還した兵士の投票を受入れるため特別の投票  
箱が用意されてゐる、投票歸還兵も七千人に達し  
てゐる模様だ、いづれも飛行機歸りである

上述の通り勞働黨は相當景氣の好いことを放送  
してゐるが、實際はまだ何らの記録もわからず、  
今のところ成績の見當はつかない、又五日の投票  
も二十三の選舉區では或ひは休暇だつたり、或ひ  
は候補者の死去等で投票が延期されて居る、投票  
結果の終局的發表は七月二十六日で、同日朝より  
開票され晝頃までには判明しようが、それまでは  
即ち二十五日までは投票は嚴重に封鎖したままで  
ある

## 米軍ベルリンへ入城

(チューリッヒ四日發) ベルリン來電によればベルリン郊外で待機中の米第二機甲師團は三日ベルリン市内へ進駐更に第八十二空挺師團も引続き入城する豫定といはれる

第二機甲師團の入城は三日晝から夜にかけて行はれ將兵一萬六千名、車輛四千臺は隊伍を揃へて進駐四日午後には米軍最高指揮官代理オマール・ブラドレー並びにジューコフ元帥の視閲の下に記念分列式を舉行のはずで又英軍の主力は四日中に次いでカナダ、フランスの各軍がそれぞれ入城の豫定である

ベルリン市内各所にはチャーチル、スターリン、トルーマンの巨大な肖像が立てられ、その下には「ドイツ軍國主義を破摧し再びドイツが世界の平和を攪亂し得ないやうにすることがわれわれの不動の目的である」とのヤルタ會談の公報の一節が書かれてあり、この日ベルリン市民は悲惨な敗戦の事實を身に秘みて體驗した様子だ、聯合軍のベルリン入城に同行した新聞記者は米英佛白丁の各國をはじめ重慶、ポーランド、ブラジルの代表約百四十名に上つたが米國の參戰前ベルリン特派員として活躍してゐた一米記者の報道によれば「記者がベルリン市内の地理に精通してゐなかつたらどう行つていいか判らなかつたに違ひない、といふのは大抵の道標は破壊されてをり、市街或ひは地區さへも識別出来なくなつてゐるから」といはれ又米軍の大半は割當てられたホテルその他の建物に宿泊する豫定だが爆撃に依つて破損した家屋が多いため一部は幕舎に宿營する様子だ

## 總統官邸の地下壕を見る

(ストックホルム四日發) ヒトラー總統の最後の模様については未だ正確な報道はなくソ聯側では總統の死にすら相當の疑問を抱いてゐ、而して總統の戦死が傳へられた總統官邸地下壕内部の様子も今日まで秘められてゐたがロイター通信記者デニス・マーチンは赤軍の一將校の案内で三日同地下壕を委細に見學し次の様に報じてゐる

「總統官邸の庭には噴火口の様な爆彈の孔が無數にあり、官邸地下壕の入口には「親衛隊」と書かれた石油罐五つがころがつてゐる、赤軍がベルリン市進入後官邸に入つて黒焦げになつた一つの死體を検べたが、これがヒトラー總統の屍でない事は確實である、記者を案内してくれたジューコフ元帥の幕僚一將校は「問題の死體はヒトラーのものではなく替玉だ、話にあるエヴァ・ブラウンといふ婦人の死體も發見されない」と斷言した

愈々官邸地下壕に入る、コンクリートの階段を四段踏んで下に入るとつき當りに小さい部屋がある、入つて見ると内部は狼籍を極め親衛隊が地下壕から逃げ出す前に猛烈な抵抗をしたことを物語つてゐる、無數の手榴彈、鐵帽子、軍用毛布や色々のものが床の上に散亂してゐる、この部屋の奥に扉があつて、これを開くとヒトラー總統とエヴァ・ブラウンの部屋だ、婦人帽を入れる箱、ミンヤ婦人の手持物があちこちに置いてある、部屋の奥には綺麗な浴室がある、ブラウンの部屋に間違ひはない、次の部屋はヒトラーの居間だ、低い寢臺の横に小さいテーブルがあつて電氣スタンドと電話がある、贅澤なクツションやカーテンの破れた布が床の上に四散してゐる、壁にかけた立派な油繪の額は曲つてをり、床の上にはドイツの百科字典が散亂してゐる

總統が愛用したらしい小さいブリキ箱を開くとそのうちから米第三軍に従軍したロイター通信記者の打電した西部戦線の戦況に關する破れた電報が出てきた、日付けは四月十四日だ、電報には「次の二十四時間内に重大な戦況ニュースが出るだらう、ドイツ都市は相次いで崩壊してゐる」とある、電文のところどころに青鉛筆で線が引いてある、ヒトラーが線を引いたのだらう」

## ハットン再び歐洲へ

(リスボン四日發) ワシントン來電「米第三軍司令官ジョージ・ハットンは本國における休暇を終へ再びドイツに駐屯する第三軍の指揮をとるため三日歐洲へ向けて出發した

### タンジール問題でソ聯聲明

(ストツクホルム四日發) モスクワ來電によればソ聯政府は四日タンジール問題に關して聲明を發し、一九一四年以前における同地の地位に言及してソ聯としての利害關係があつた事實を指摘した後、タンジール問題會議にはソ聯政府も参加する權利がある旨を主張した、タンジールの國際共同管理はフランコ政權の一方的軍隊進駐により變更を來したのに對し、今次米英佛三國代表がパリに會同してその地位を再検討しようとするもので、會議は三日開會豫定のところ二日に至りパリ駐劄ソ聯大使ボゴモロフのソ聯参加要求により一波紋を捲起したものである、ソ聯政府は以上ソ聯の態度を改めて闡明したものである

### 波新政府の承認一兩日中

(ストツクホルム四日發) 米英兩國政府は既に新ポーランド國民統合政府から同政府の構成並びに將來恒常的な政府を樹立するため民意を問ふ自由選舉の方式につき正式に通告を受けてをり、新政府を承認するに意見の一致をみてゐるが、ロイター外交記者の報道によれば、ロンドンの亡命ポーランド政府に對する承認取消によつて生ずる諸問題の對策に苦慮してゐると傳へられ、以上に關し「應明確な見透しがつかぬ限り新政府を正式に承認出來ぬ窮境にあるが、漸く成案を得た様子で一兩日中に承認するものとみられる

### 米軍の西領滞在を承認

(リスボン四日發) マドリード來電によればスペイン政府は歐洲より本國に歸還する米軍隊のスペイン領内滞在を承認するに決し、四日その旨發表した、これによれば米軍隊は制服のままスペイン國內に入り、乗船出發までの期間滞在し得る

### 【三頭會談】

#### イーデンも参加可能か

(ストツクホルム四日發) ロンドン來電「英國外

相イーデンは病氣のため三頭會談への参加は可能とみられてゐたが、英國外務省はイーデンが全快して三頭會談にも参加出来るやうになつたと四日發表した

### 會談はデヴィスの歸英後

(リスボン四日發) ワシントン來電によれば大統領秘書チャールズ・ロスは來るべき三頭會談の日取りは白聖館からは恐らく發表されないだらう、會談終了後公報が發表される豫定だが新聞記者は會談に出席を許されない、特使ジョセフ・デヴィスは最近ロンドンから歸還したが、大統領と一緒に會談に出席する前にもう一度ロンドンに戻る筈だと言明した、それ故會談開始はデヴィスがロンドンへ歸還した後であり、會談が今後二三日中に開催される筈はない譯だ

### 【西 亞】

#### 土・イラク通商協定成立

(リスボン四日發) バグダード來電「トルコ、イラク兩國は過般來通商・物資交換協定について交渉を進めてゐたが、四日バグダードにおいて正式に調印を了した、トルコ經濟使節團はバグダード、バスラ、モスールの三都市においてトルコ商品を獨占的に販賣するための事務所を設置した

#### イラクの鐵道工事

(リスボン三日發) バグダード來電「イラク國有鐵道當局は英國から二百萬磅に上る鐵道修築用器材を購入するため係官を英國に派遣した、器材はイラクの鐵道保修並びに本會計年度内に完成する豫定の新線工事に使用されるが、豫定の新線は石油中心地のキルクークとモスル東方九十軒のエルビルとを結ぶ鐵道で、七月三日起工、バグダード、アル・ムサイイブ及びアルトウン・クブリの三鐵橋工事は八月一日開始する豫定である、尙バグダード停車場に設置されるイラク鐵道省の本廳は九月一日起工される

## 新國務長官就任聲明

(リスボン五日發)ワシントン來電〓新國務長官ハインズは三日白聖館で國務長官就任の宣誓を行つたが、右宣誓式にあたり左の聲明を發表した  
 「余は國務長官就任にあたり、その職の持つ責任が如何に重大であるかを深く認識してゐる、國務省の職務は外交政策決定にあたり大統領の諮問に應じ、また大統領並びに議會によつて決定された外交政策を實行するにある、しかしてこの時期に際し、たとへ國務長官が變つても故大統領ルーズヴェルトにより樹立され、ついで現大統領トルーマンによつて踏襲された米國外交政策の根本原則戰爭の遂行及び永續性ある平和建設の方針には何等の變化も起らないであらう、余は大統領トルーマンを外交政策の上において輔佐するにあたり、上下兩院外交委員會の絶えざる助力と指導とを仰ぐ積りである」

余はコーデル・ハルとは議會時代からの知人であり、また政府部内においても一緒に働いたことがあるが、今次大戰の重大な時期にあつて米國の外交政策決定に多大の貢獻をなしたこのハルは余に對してかれのよき助言を與へるべく約束してくれた、さらにまた余は余の前任者たるステチニウスと相協力、なかんづく平和維持の恒久的機關たる聯合國機構に關する實に重大な任務について協力し得ることを欣快とする

余は近く大統領に従つてスターリン、チャーチル兩者との會談に出發するが、されば余は國の内外を問はず國務省の仕事に従事してゐる者はその職務にとどまつて、通常どほり仕事を續けることを要請する、余は既に豫算局長官に對して國務省機構の調査を依頼したが、その報告を接受して研究し、また余自身も慎重な調査を行つた上でなければ、國務省の人事異動は行はないであらう

恒久的平和を樹立するといふ重大な事業を成就するためには熟練した外交技術、紙片に書かれた條約、或ひは最も賢明な政治家が作成し得る最善の憲章以上のものが必要である、勿論外交、平和

處理並びに世界平和維持の基本的憲章の重要なこととはいふまでもないが、しかし世界各國民が平和を希望し、よき隣人として生活せんとする意思をもたぬ限り、以上のものだけでは決して成功を望むことは出来ない

數世紀前には人々は相互に異なる宗教的信仰を維持するためにお互ひが國はなければならぬと考へた、しかるに今やわれわれは長くかつ犠牲多き經驗を経て自分自身の宗教的信仰を維持擁護するためには同時に他の人々に對しても宗教的信仰をもちうる權利を認めかつこれを尊重してやらなければならぬといふことを悟つた、今次大戰によつて荒された世界各國民が自由にして平和な世界に住むことを希望してゐることについては疑問の餘地がない、しかしながら全世界を通じて政治家の最大の任務は世界各國民をして他國民の思想、感情或ひは生活様式の自由を認めない限り、平和と自由とは到底實現し得ないといふことを認識させることである

## 對ソ政策は不變

(リスボン四日發)ワシントン來電〓國務次官ダルーは米國外交政策協會の對ソ政策に關する質問に對し書翰の形式をもつて回答を發し

「米國の對ソ政策はルーズヴェルト大統領の死去によつて些かも影響される處はない」と述べた

## 戦費一千億弗

(リスボン四日發)ワシントン來電〓財務省は昨年七月一日から今年六月三十日に至る會計年度における米國政府の戰爭關係經費が一千億弗に上つた旨三日發表した、右内譯は陸軍五百億弗、海軍三百億弗、戰爭關係政府機關百億弗その他百億弗となつてゐる

## スタインハート巴里に

(リスボン三日發)パリ來電〓新任チエコスロヴァキア駐劄米國大使スタインハートは二日、米國からパリに到着したが、近くブラーグに赴き同地の米國大使館を再開する筈

バーンズとはどんな男か

米國の新國務長官バーンズとは如何なる經歷を持ちまた如何なる人物であるか

バーンズは一八七四年の生れだから、今年六十六歳である、一八七四年五月二日南カロライナ州に生れ、家庭の事情が許さなかつたため十四歳で早くも學校の教育から離れなければならなかつた従つて、かれはいはゆるセルフ・メイドの人である、十四歳でかれはオフイス・ボーイとして實社會の第一歩を踏み出したが、その後獨學によつて二十一歳のときには裁判所の記録係りとなり、次で一九〇三年には辯護士に出世して法律事務所を開設した、一九一〇年かれの故郷たる南カロライナ州から下院議員選舉に打つて出て當選、かれの政治生活が始まつたが、爾後一九二四年に至るまで連續六期にわたり下院議員の席を維持した、第一次大戰中バーンズは當時の海軍次官だつたルーズヴェルトと親交を結び、政治的にも相協力したが、ルーズヴェルト、バーンズ兩者の緊密な關係が結ばれたのはこの時である

一九二五年、バーンズは下院議員を辭して一旦辯護士稼業に引退したが、一九三一年には今度は南カロライナ州選出上院議員として、再びワシントン政界に返り咲いた、ルーズヴェルトが大統領に當選して以來、バーンズはかれとの古い因縁によつて大統領に最も近い上院議員の一人に數へられた、但しかれは議會において強大な勢力を有する南部議員團の一人であり南部の利益を代表してルーズヴェルトの國內政策に反對したこともある

一九四〇年、ルーズヴェルトはバーンズを抜擢して大審院判事に任命したが、これ以來かれは全くルーズヴェルト側近者の一人となつた、兩者の關係は一九四一年、かれがルーズヴェルトの要請に應じて、在任僅か十五ヶ月にして終身の地位たる大審院判事の地位を放擲、新たに設立された經濟安定局長官に就任するに及んで益々深まつた、かれは安定局長官として約二年の間、米國の國內經濟組織と戰時態勢との融合に努力した、が次で一九四三年五月、戰時機構の大改組によつて戰時動員局が設立されるや、大統領に次ぐ廣大な權限

を有するとされた同局の長官に就任して、國內體制の整備、戰時動員の強化に采配をふるつた、當時、米國の國內情勢は軍需生産には益々拍車が加へられる一方、人的資源の戰時動員は愈々強化されて來た關係上、極度の緊張状態にあり國內施策を一步でもあやまれば戰時態勢崩壊の可能性あり米國の國內態勢、なかんづく經濟機構を急速且つ能率的に再編成する必要に迫られてゐた、戰時動員局はかかる事情の下に設立されたのだが、その長官としてかれの示した業績は決して失敗ではなかつた、國內問題に對するかれの政治的才能が米國政界で十分に認識されたのはこの時である

一九四四年十月、米國の軍需生産再轉換問題が具體的問題として登場するに及び、戰時動員局は改組されて「戰時動員及び再轉換局」といふ長たらしい名前のものとなつた、バーンズが最初に辭意をもらしたのはこのときである、しかしこれは決してルーズヴェルトとの意見の衝突乃至職務上の失敗によつたものでなく、米國の軍需生産が再轉換時代に入つた以上、戰時動員を目標としたかれの仕事は事實上終了したとするかれ個人の意見によつた辭意表明であつた、しかし、このときにはルーズヴェルトの慰留に應じ、一應歐洲戰が終了するまでとの條件で留任した

かれが動員局長官を辭任したのは去る四月二日で、勿論この時にはまだドイツは屈服してはゐなかつたが、かれは辭職の理由として歐洲戰は事實上終了したとなし、ルーズヴェルトもこのときには敢て慰留しなかつた、政府部内におけるかれの役割は既にそれ以前から動員局長官以外の分野にその主力が注がれはじめてゐたのであり、これは本年初頭かれがルーズヴェルトの顧問役としてクリミヤ會談に出席したことが物語つてゐる

かれの親分格たるルーズヴェルトの死がかれの地位に大影響を與へることは當然考へられることである、しかしバーンズはルーズヴェルトと親しいと共に、トルーマンとも同じ南部出身の議員以來の親交があつた、これルーズヴェルトの急死後も、かれが依然として大統領の顧問役を續けてきた所以だ、かれはトルーマンによつて國務長官に任命された、ただ國內政治においては試験済みのかれも、外交畑ではまだ未知數の素人である



### 在外獨經濟力拂拭政策の成果

上院外國軍事委員會戰時  
動員小委員會における國務次  
官補クレイトンの報告

#### △根本目的

國務省はドイツ處理に關係ある總ゆるる問題の處理に當り一個の至上目的を抱いてゐる、それはドイツによる侵略の再開に對する安全の保障に外ならない、この安全の保障にはドイツ處理の根本原則に關する米國と他の聯合國との間の協定の存續が絶対に必要とされる

われわれはドイツ占領の根本目的に關する限りこの協定の締結に成功した、故ルーズヴェルト大統領、チャーチル首相、スターリン議長の三者はヤルタ會談の公報中でこの根本目的を次のやうに聲明してゐる

「われわれはナチス・ドイツに對し共同で課すべき無條件降伏の條項の實施に關する共同の政策と計畫につき協定に到達した、ドイツ軍國主義とナチ主義を破摧し、ドイツが再び世界平和を攪亂出來ないやうにすることが、われわれの不動の目標である、われわれは一切のドイツ兵力を解體し、ドイツ軍國主義の復興を再三企圖したドイツ參謀本部を永遠に分斷し、ドイツ軍事施設を悉く撤去乃至破壊し、軍需生産に資すべき一切のドイツ工業を抹殺乃至統制し、すべての戦争犯罪人を裁判に付して速かに處斷し、ドイツ軍の犯した破壊については現物による賠償を強要し、ナチ黨とナチ法制、組織並びに制度を一掃し、公職並びにドイツ國民の文化的經濟的生活からナチ並びに軍國主義の勢力を悉く掃蕩し、その他將來の平和と世界の安全に必要と考へられる諸政策をドイツ國內において實施する決心である」

#### △中南米への獨經濟力浸透

ドイツによる侵略の經濟的基礎の破壊には多數の分野に亘り強力な措置を一齊に進める必要がある、本日、本委員會の要求に應じ、この問題の三個の様相について、見解を披瀝し得るのは、余の頗る欣快とするところである、ここに三個の様相

といふのは

- 一、樞軸經濟勢力の中南米への浸透といふ重大問題
- 二、賭博的侵略再開のための賭金を海外に隱匿せんとするドイツの企圖を探求し挫折せしめる問題
- 三、ドイツ系カルテル、コンバイン及び獨人技術を如何に處理すべきかの問題

の三點を指す  
ドイツによる侵略再開の經濟的基礎の破壊に向けられたわれわれの努力は、その初期の段階に在つては、中南米に對する樞軸經濟勢力の浸透阻止に集中された、米國以外の汎米諸國におけるドイツの經濟力は、寒心すべき規模を有し、西半球の統一を阻害し米國の安全に直接の脅威を加ふるが如き反民主主義的政治及び宣傳活動の支援に屢々利用された

獨系コンバインは汎米諸國に對する樞軸經濟浸透の前衛であつた、藥品工業に於てはバイエル、メルク、シエリング等の會社が事實上獨占的地位を占め、一方E・G染料會社の子會社は染料及び化學製品の市場に確固たる地歩を築いてゐた  
建築、電氣、機械工業の分野にあつてもツボス・マンネスマン、フロスタール、A・E・G、シーメンズ、シュツカート等のドイツ會社が支配的勢力を振ひ、海運業及び或る地域では航空輸送においても獨系會社の地歩は搖ぎなきものであつた、加ふるに種々雑多な事業に従事する有力な親獨會社が存在し、そのうち或るものは祖國への忠誠を抛棄することなしに汎米諸國の市民権を獲得した獨系市民によつて完全に掌握されてゐた  
米國政府は西半球における樞軸勢力の中核を形成する獨系企業存続を許さざる決意を速かに固めた、この決意に従ひ獨系企業及び利權の拂拭を實行する手段として代替計畫が立案された

代替計畫の目的達成には無数の障礙があつた、或る國においてはドイツ資本が全投下資本の大部分を占め、又或る重要工業にあつてはその地域の經濟活動の基本的要求を充たすに足る非獨系會社が全然存在しなかつた、反獨措置を講じ、對獨宣戰の一步手前まで進んだ諸國においても獨系勢力



拂拭の計畫を實施するに當り、政府の憲法上の權限に重大な疑義を生じた、さらにまたある企業については所有者は獨人に非ずとの議論が行はれ、傀儡人物と持株會社からなる迷路を踏分け執拗に所有權を追求する必要があつた、加ふるに若干の中南米諸國に比較的多數の獨系市民の存在する事實は、時として完全なる代替計畫の採用に對する政治的障礙となつた

### △國務省の政策

國務省はこの期間中西半球における樞軸勢力の拂拭を困難且つ勞多き事業たらしめる多數の要素に十分な考慮を加へねばならなかつた、米國をば鞭を鳴らす「北方の巨人」の地位に陥れぬやう警戒する必要があつた、われわれの政策は中南米諸國の政府の協力を求め、彼等の當面する問題を誠意をもつて理解せんと試みるにあつたが結果は高壓政策よりも遙かに良好であつた、善隣關係保持たる米國政府百年の計は些かも損はれなかつた

更に樞軸企業に代替すべき工業を持たぬ諸國に對し、米國政府はこれら諸國の政府と協力して新企業を建設し、新企業がその國の國民の手中に確保されるやう努力した、又米國は經濟戰に必要な統制を利用し自國國民の利益増進を圖るとの非難を些かたりとも裏付けるが如き措置を極力回避するため細心の注意が拂はれた

西半球におけるドイツの經濟活動の規模と性格に關する情報の蒐集に際し、我々は同盟國のみならず汎米諸國からも貴重な協力を與へられた、一例を擧ぐればウルグアイ政府はバンコ・アレマン銀行の帳簿と記録を押收して呉れた、同行の文書から發覺した事實は附録第一の中の報告に要約されてゐる、同報告は樞軸前衛商社がどの程度ナチの計畫に參割してゐたか、どの程度の協力を行つてゐたか、又如何に陰險な活動を續けてゐたかを明瞭に示してゐる

われわれはまた英國官憲の協力によりアルゼンチンに在るバイエルの子會社からドイツ、レーフエルクレーゼンのE・G染料會社に宛てた大東の書信を入手した、同書信は一九四三年ジブラルタルで押收されたものである、その中特に興味を惹く

のはアルゼンチンの子會社の二通の書信で、バイエル系重要會社の一九四三年半ばにおける状態が要約記述されてゐた、その全文英譯は附録第二に記載されてゐる

### △協力の基礎

樞軸支配下の諸會社拂拭に關する協力の基礎は一九四二年一月のリオ・デ・ジャネイロ會議によつて築かれた、同會議の決議は、西半球と樞軸諸國との間のあらゆる商業的、財政的關係の斷絶を勸告し、その他汎米諸國の福祉と安全に害あるあらゆる商業、財政活動の拂拭をも考慮する旨を述べてゐる

一九四二年六、七兩月に亘り、ワシントンで開催された會議においても、汎米諸國の政治的、經濟的獨立、あるひは安全に反する活動に従事する人物の事業は、占據、干渉、強制移動、または解散の對象たり得る旨の決議が採擇されてゐる

前記諸決議は空疎な文章に止まることなく、殆どすべての汎米諸國において實行に移された、汎米諸國の制定した法律の中、或るものはこの問題に關する米國の法律を基礎とし、他のものは米人専門家の助力の下に起草された

汎米諸國の採用した法律の大半は極めて有效且つ徹底したものであつた、中南米に在る米國代表が全力を傾注し細心の注意を以て、法律の實施狀態を監視し、個々の事例の討議に參加し、樞軸前衛商社の拂拭に關する具體的方策の立案に參割したのは言ふまでもない、一般的に地域經濟を阻害せず消滅せしめ得る前衛商社は解散する政策が採られた、問題の企業が地域經濟に不可欠の場合には、外國資産管理局が、米國內における樞軸財産にたいして執つたと殆ど同様の措置に出で、企業に資産の保有を許したまま監視をするか、または好ましからぬ所有者をして満足すべき購入者に企業を強制的に賣却させるか、二途の中一が選ばれるのが普通であつた

### △目標と実績

われわれの目標と実績が如何なるものであつたかについて、汎米諸國において前衛商社と認定

された企業の表、並びにこれら商社の完全、且つ永久的拂拭の進捗の跡を見られたい、各國別に分類された前衛商社の表は、附録第七に掲載されてゐる。

同表を検討されれば、中南米諸國の前衛商社拂拭が優秀な成績を収めたとの結論に到達されると思ふ、勿論まだ目的の十分達成されてゐない諸國においては、われわれは前衛商社拂拭の要求を今後固執する考である。

國務省は勿論若干の樞軸前衛商社が前述の計畫に洩れて存続する可能性をも考慮した、さらにこれに關聯して以前の獨人所有者が喪失した企業に對する支配權を回復する方法を發見する可能性をも看過してゐない、以上の可能性に對する警戒措置として汎米各國は問題の資産の外國人への讓渡を禁止し、あるひはまた特にドイツ人への讓渡を禁止する旨の條項を自國法律の中に加へた、さらに汎米各國は米國政府に對しても、これらの資産の舊所有者への返還を許さず、代替計畫促進の努力を緩めぬ旨を保障した。

その上國務省は樞軸前衛商社並びに其他公表されたリストに記載された資産の移讓がごまかしなく實行されるやう個々の事例について移讓の狀況を追求した、さて何人と雖も將來を全部見透せるわけではないが、先づ西半球に對するドイツの經濟的政治的、浸透活動の大半は既に加へられた打撃から恐らく再起し得ぬと言つて差支へないやうに思ふ、更に現在なほ樞軸前衛商社の殘存してゐる地域からもこれを驅逐し得る見込みが立つてゐるといへるやうに思ふ。

### △資金逃避の對策

第二に取上げたいと思ふ點は、世界制覇の野望を棄てず資金の海外隱匿を企圖するドイツの計畫の破潰といふ喫緊の急務に關聯してゐる。

國務省はドイツが自己の軍事的敗北を豫想し、將來國力の再興を期して多種多様の活動を外國で繼續するため、周到な計畫を樹てた事實を立證するに足る材料を豊富に持つてゐる、國力再興の目的の下に、ドイツは聯合軍がまだドイツを占領してゐるうちから汎獨主義活動を開始せんとし、十分な資金及び特に訓練された人員を海外に送り出

す計畫を樹て、既に一部を實行に移してゐる。

外國で聯合國反對の活動を行はんとするドイツの計畫の成否は、實施に必要な資金を動員する能力によつて決定される、それ故ドイツ人は聯合國反對活動の資金に換へられるあらゆる種類の財産を攻々として海外に運び出したのである。

### △多種多様の隱匿手段

ドイツ資産の安全逃避所の破壊を企圖する我々の計畫に従ひ、國務省、財務省、外國經濟局の三者は正義と將來の安全保障の爲に、次の三個の源泉から生じた經濟上の力をドイツから奪ふべく、共同の努力を開始した。

#### (A) 他國の組織的掠奪

(B) 敗北を豫想して行はれたドイツ資本の逃避

#### (C) 開戦當時既に海外に在つた投下資本

われわれの行つた調査の結果可成り多數の情報が蒐集され、在外資産の擁護と自國資産の海外逃避に關するドイツの計畫は漸次明かにされてゐる多くの場合ドイツ人は持株會社及びカルテルを利用して外國資産中に自國の權益を隱匿してゐた、また他の場合には正式の投票による統制權は斷念する代りに、技術的生產過程を支配することによつて生產會社を確實に掌握してゐた、更に持株を無記名株式に變更し、この種株式の所有者の探求が極めて困難である點を利用せんとした、その上ドイツ人は若干の國々における政府の無能と腐敗をも利用した、如何なる中立國にせよ以上の如きことが行はれた場合、どこまでそれを單なる個人の責任に歸し得るかは疑問である。

ドイツ人は種類の如何を問はず貴重な財産をば組織的に掠奪した、それはゲーリングの如き有名な蒐集家の審美的感覺を満足させるためばかりではなく、海外に隱匿し得る資産を廉價で入手するためでもあつた、掠奪の目的で殺人瓦斯室の犠牲者の齒から金冠を抜き取るといふ世にも低劣なことすら敢へてなされたのである、もつと巧妙な手段としては、恐怖に戦く賣り手から占領地通貨であつさり「買上げる」方法もあつた。

### △若千の實例

樞軸資本の逃避は、安全避難所を建設せんとするドイツの試みの中でも、最も新しく且つ摘發し

難い方法である、従つて現在なほ極めて多數の事件について調査が進行中であるから、人名、地名を擧げるのは餘ほど慎重を要することを御諒承願ひたい

しかしながら、ドイツ經濟力の中立國逃避に用いられる方法の中、或るものについて實例を擧げて説明しても差支へないと思ふ

一、或る國々、例へばスイスにおいては、銀行の帳簿に氏名を記入せず、番號を記入するだけである、秘密主義の原則を破り、預金者の氏名を洩した銀行家は嚴重に罰される、番號による預金を一つの國から他の國に移すならば、事態は極めて紛糾して来る、特に番號による預金の所有者自身が眞の所有者の影武者に過ぎぬ可能性を考へると紛糾は一層甚しくなる

二、ドイツ人はまた逃避資本の安全避難所を求めるため、當然本國に送金さるべき海外所得を外國に留めて置く方法に出た、例へばドイツチェ・バンク、ドイツチェ・オリエント・バンク(ドレステナー・バンク)の兩銀行のイスタンブール支店は過去八年間といふもの、年々の利益をドイツ國內の本店に送金せず、トルコ内に積立ててゐた

三、同一の目的達成に用ゐられた今一つの方法は、ドイツからの輸出品の代金受取りを延期し、中立國內はドイツ人のクレジットを設定することであつた、われわれはドイツが中立國に極めて寛大な條件でクレジットを設定し商品を投資したといふ情報を手してゐる、しかもこれを餘り目立たぬやうにするため二重價格制度が採用され、輸入販賣に當つては爲替清算を通じて馬鹿氣て安い價格で支拂ひを受け、時價との差額はドイツ輸出業者の戦後クレジットとして保有する方法が行はれた

四、戦争中中立國のドイツ資本は特に中立國資本が相當部分を占めてゐる商社に喰込む方針を執つた、その理由は、ドイツが敗北した場合中立國政府は自國人に利害關係の少い商社よりも自國資本の相當投下されてゐる商社に對する方が色々の措置に出難いと豫想したからだといつて差支へない

五、中立國におけるドイツの流動資金は屢々所

得付の不動産に投下された、これもまたドイツの資本隠匿を示唆するものである

六、最後に最も簡単な隠匿手段があるが、それは人間は何時までも物事を覚えて居らず、ドイツやドイツ人の抑壓にも直き飽きるといふ前大戦で實證済みの事實を利用せんとするものである、すなはち表面文句の付けどころのない文書によつて資産を處分する一方、陰でこつそりと時期が來たら買戻す口約束をする方法である、われわれの持つてゐる報告によれば、この方法による目的達成には五年の経過で十分といはれる

### △設備と技術の賣込み

更にドイツが某中立國で試みた方法につき二、三の具體的實體を擧げよう、同國においてドイツの電氣會社テレフンケンが一九四三年に一つの工場を買収した、工場は直ちに近代化され今日では量も複雑な短波ラヂオ装置の試験に必要な施設が完備し、素晴らしい設備の超短波研究所と音周波實驗所を持つてゐる、つい最近本年四月迄同工場に勤務する獨人熟練技術家の招聘について交渉が進められてゐた

別の或る中立國では、政府が國家經濟中の製造工業の發展を熱心に奨励してゐるのをみて、ドイツ半官機關が同國政府に向つて技術専門學校制度の建設と設備に關する提案を行つた、某聯合國政府の代表がドイツの提案を記した五冊から成る文書をみたのだが、それによるとドイツは生産、研究、訓練のために極めて多量の機械と設備の提供を申出てゐたといはれる、ドイツの提案は更に工作機械生産のため十分な設備を有する工場の建設を申出てゐたことである

もし右の中立國政府がドイツの提案を受諾してゐたなら、多數の獨人教師と技術家の雇傭を必要としたであらう、かかる提案が單なる商業的企圖から生れた筈はない、何故ならばドイツは自國が生産戰で敗北しかけてゐる時期であつたにも拘らず、三箇月以内に資材の受渡しを完了する旨保證してゐるからである、ドイツの意圖が聯合國の手の届かぬところに獨人技術家と設備の中核を作るに在つたことは明白である

同じ中立國の航空機修繕會社が一九四一年に或る種の特種機械をドイツ輸出業者に注文した、品物は仲々來なかつたが、一九四三年末になると注分量の五倍もの機械が到着した、これらの機械は航空機の大規模な生産にも向け得るものだが、その大部分は今日尙荷造りを解かず同中立國に放置されてゐる

外國に在るドイツ人は今ではドイツ工業との關係を斷たれて了つてゐるから、恐らく自己の地位保有のため聯合國側に接近しようとするであらう前大戦後も彼等は同じことを試みたのであつて、今次大戦中もこの線に沿つて若干の經驗を積んでゐる

實際に其中立國ではドイツ人は米國映畫の人氣と觀客吸收力を利用して大きな利益を收めることに成功してゐた、この計畫は極めて手の込んだもので、ここに叙述するには餘りに長い、兎に角ドイツ人は一聯の傀儡を通じて米國映畫製作者と取引を行ひ、映畫の上演を統制する手段を發見してゐたのである、この取極めはある目ざとい米國外交機關によつて撃擯された、ドイツ人は米國映畫のコピーの上演權を握つてゐたので、右の外交機關は自己の權限を利用し米國の生フィルム輸入と配給に統制を加へたのである

### △中立國への壓迫

聯合國は戰爭繼續中終始一貫してドイツの資産逃避計畫に警戒を怠らなかつた、一九四三年一月既にわれわれは歐洲ドイツ占領地において獨側の戦利品掠奪に基いて行はれる資産の移動は合法と認めぬ旨を世界に向つて聲明した、同聲明はその後一九四四年二月に採擇された金問題に關する聲明によつて擴大され、ブレトン・ウッズ會議及びメキシコ・シテイ會議の決議にも繰返へされてゐる

ドイツの地位が崩壞するに従ひ、ドイツの資産逃避計畫妨害に關する中立國への壓迫の加重が可能となつた、ドイツ資産逃避計畫阻止に關するわれわれの活動は中立國との物資供給乃至購入交渉との關聯の上に進められた、中立國は前記の聲明と決議を支持し次の如き具體的措置を執るやう要

求された

- (一) すべてのドイツ資産を凍結すること
- (二) 當該國の法律の拘束を受けてゐる人物と樞軸國或ひは樞軸支配下の地域の人物との間に一九三九年以後行はれた取引につき調査を行ふこと
- (三) 同調査の結果を米國政府に報告すること
- (四) 當該中立國に存在する資産の中獨人所有がどれだけあるかを發見する爲一齊調査を行ふこと
- (五) 當該中立國に一九三九年以後入國した樞軸國籍所有者及び現在同國に居住する樞軸國籍所有者につき完全なる情報を米國に提供すること

これまでのところ中立國との折衝は次の如き成果を産んだ、スイス政府は獨人預金を封鎖し、獨人資産の一齊調査を規定した法律を制定した、スペインは自國內にある樞軸國人又は樞軸支配下の國家の市民の資産を全面的に凍結統制することを保證する法令を發布した、ポルトガルも亦スペインとほぼ同様の内容であるがドイツ人にだけ適用される法令を出した、更にストックホルムの米國公使館からの報告によれば、スエーデンとの交渉も満足すべき進捗振りを示してゐる

歐洲中立國における獨人資産は既に凍結され、又ドイツ側から發見される資産逃避の證據に關しては現在聯合國の調査團がドイツ國內を視察し蒐集に努めてゐるから、中立國における非合法行爲によつて保持せんとした經濟力をドイツ人から切離す事業は急速且つ實質的成果を産むものと期待してよい、しかしなほなすべき多くのことが残されてゐる

### △國際カルテル参加の問題

次にドイツの國際カルテル参加の問題に眼を轉じよう、本問題に關し有效な政策を樹立するにはドイツ國內のカルテルとコンバイン、獨人が資本を投下してゐる國際コンバイン、ドイツの技術的知識の取扱ひの三者について平行的に措置を進める必要がある

ドイツの國際カルテル参加の問題に對する我々の政策は二つの考慮によつて決定されてゐる、一は世界貿易調節の手段としてのカルテルに我々は一般に反對であること、他は我々はドイツが國際

カルテルを特別の目的に利用した事實を知つてゐることである。

それまで本委員會及び他の上下兩院委員會で行はれた證言は、戦前のカルテル制度がドイツによつて政治的、經濟的侵略の手段として利用された事を示した、われわれの見解によれば、ドイツを武装解除し、將來ドイツによる軍事的侵略の再發を防止する有効な措置を講ずるためには、ドイツの國際カルテル参加を速かに且つ有効に中止せしめ、將來再び關係を付けようとする試みを防止する必要がある。

以上の政策實行を期して、われわれは數條の線に沿つて即時行動に出ることを提唱する。

第一はわれわれは若干の大まかな區劃に屬するカルテル契約へのドイツの参加を中止せしめるやう提案する、第二にわれわれは一九三三年一月一日以後如何なる時期或ひは期間を問はず苟くもドイツ國內に效力を有してゐた總ゆる國際カルテルの登録を要求する考へである、第三にわれわれはドイツとのあらゆる國際商業取引を軍政局の監視下に置くが如き制度の設立を固執する方針である。以上の如き警戒措置の採用を怠るならば、われわれの安全保障政策の前途が危殆に瀕するのみならず、ドイツ商社は在外資産をカルテル内の協同者またはカルテルと關係ある商社に秘密裡に移讓し没收を免れることが出来るであらう。

### △國內經濟統一をも彈壓

周知の如く一國による國際カルテルの支配は、その國內部の製造業者が一致協力して行動する場合容易となる、通常かかる一致協力は、國內經濟が嚴格にカルテル化されるか、あるひは主要産業の生産施設の全部または大部分がコンバインの所となつてゐる場合可能となる。

従つてドイツ國內經濟を統一せしめれば、ドイツ經濟力が國際市場における強制力として發揮される恐れが常に生ずるのである、さらにドイツ國內經濟の統制力を一點に集中せしめて置くならばヒトラーが大博奕に失敗したことが明かになる瞬間迄、彼に財政的援助を與へたドイツ工業家の手中に大きな經濟的、政治的實力を残す結果とならう。

以上の考慮に基き、われわれはドイツ國內のカルテル或ひは經濟グループの如くカルテルに關係ある團體を、軍政々府の手で解散せしめねばならぬとの結論に到達した。

既述の如く國際カルテル内のドイツの地位、並びにカルテル及び類似の組織を通じて國內經濟を組織せんとする試みは、ドイツ國內にコンバイン、トラスト、其他利害を共通にする團體の存在する事實と密接に結付いてゐる、それ故、單に國際カルテルへのドイツの参加禁止とドイツ國內カルテルの解散を要求する政策を掲げるのみで、他の形式による經濟力の集中を問題にせぬならば、非現實的の譏を免れない、われわれはこの問題に慎重な考慮を加へてをり、ドイツの經濟協同團體の脅威除去に向つて斷乎たる措置が執られることを期待してゐる。

問題のこの様相については未だ十分世間に知れ渡つてゐないが、われわれは一般にドイツが外國經濟組織内への浸透に成功したのは、國際カルテルへの参加による外、國際コンバインの支配を通じてた場合も多いやうに感じてゐる、従つてわれわれの見解によれば、これらのコンバインへドイツの参加を許して置くのは、國際カルテルへの参加と同様の脅威を將來の安全に對して加へるものであり、従つて後者に對し等しく斷乎たる措置を講ずる必要があらう。

獨系國際コンバイン解體の第一歩は既に踏み出された、ドイツと交戦状態に在つた各國は自國の管轄下に在る財産におけるドイツの利權を拂拭乃至統制した、さらにドイツと交戦状態に入らなかつた國の財産中の獨人所有利權に對しては、聯合國管理委員會又は聯合國賠償委員會から引渡しを要求するものと信すべき理由がある、かくの如くにしてドイツ國外にドイツ國民が所有してゐる財政的又は團體的利權は既に没收されるか、又は沒收されんとしつゝある。

### △技術と科學に對する處置

最後に、獨人の技術的知識及び科學的研究に關聯のある若干の問題を論じよう、われわれは研究と科學の分野において、ドイツが擧げた過去の學

績の重要性を認めるに吝でないが、一方その故にこそ或る種の高度技術をドイツの獨占到委せて置くならば、われわれの將來の安全が危険に曝される惧れがあり、過去において他國が國際カルテル協定にドイツを引入れようとする原因となつた有力な武器をドイツに再び與へる結果に終るとの結論に到達せざるを得ない

研究及び科學の分野におけるドイツの知識に關するわれわれの意向は次のやうに要約し得る、

一、われわれはドイツの現在所有するすべての技術と發明を聯合國に報告せしめる意向である  
二、聯合國政府をしてドイツが戦前及び戦争中に行つた發明の特許權を押收せしめれば、過去において他國がドイツを國際カルテル協定に参加せしめんとした主要な原因であつた技術的武器をドイツから奪ふことが出来る

三、軍事占領の期間中はドイツに對し、將來ドイツの戰力を増加せぬことが十分確認された場合のみ、組織的研究と發明を許す意向である

以上述べ來つたところは、ドイツのカルテル、コンバイン、技術に關する問題に對するわれわれの見解を要約したものであり、過去及び將來におけるわれわれの政策の大綱を示してゐる、われわれは米國の國防に影響あるこれらの問題の重要性を十分承知して居る、われわれが採用を公約してゐる豫防措置はドイツの經濟力と軍事力の誕生を狙ふ努力の阻止を目的とした一層廣汎な計畫中の重要地位を占めるものである

## スチルウエルの横顔

|| 米國前線向け放送より ||

サイモン・バックナーの後を受けて米第十軍司令官となつたジョセフ・スチルウエル大將は「アングル・ジョー」又は「ヴァイネガー・ジョー」の通稱で呼ばれてゐるが、この二つの綽名は決して矛盾してはゐない、彼は常に部下の兵卒連に對し親身の叔父さんのやうな愛情を持つてゐる一方、彼らに酔つばい皮肉をいやといふ程ぶちまけるのが彼の長年の習性となつてゐたのだ、大將は度々外へ出て兵隊が上官に必要以上惱まされることにな

いやう心を配つた、更に彼は在職中に、カフェーの門口に「將校に限る」といふ看板を掲げることが禁じ、また指令を發して將校だけが婦人部隊所屬の女性と交際出来るといふ弊風を打破した結果一兵卒氏も婦人部隊の一兵卒嬢と楽しい一時を持つことが出来るやうになつた

## △勳章とスチルウエル

ところで大將はその勳章——最後の一つは昨年八月大將に進級すると同時に授與された——を平常は着けてゐない、恐らく、そんなに澤山の勳章は彼の普段着——泥だらけの戦闘衣、官給の半ズボン、ゲートル、長靴、それに、すつかり駄目になつた歩兵用野戰帽を改造した戦闘帽——といふいでたちには相應はしくないと考へたものだらう彼は自分やその他の幕僚連の授勳などには餘り關心を持たなかつたが、戦闘に功あつた兵卒に勳章を授與する時には出来るだけ大げさに授與式を舉げるやう考慮した、或る時は彼は腰に帶と布を巻きつけた半裸姿で現はれ、副官に賞狀を聲高に讀上げさせ、當惑してゐる兵卒に辯解しながら彼の胸許にまで布を引張り上げて勳章をピンで留めてやつた、一方彼は自分が殊勳十字章を授けられた時には何と批評したかといへば、先づ儀式の開始に當つては、「之は何事だ、死刑執行か？」終つてからは「一體誰がこんな馬鹿げた膳立てをしたんだ？」と例の皮肉を飛ばしたのだつた

## △「アングル・ジョー」

彼の部下はいろいろな理由から彼には好意を持つてゐた、些細なことでは、陸軍發行の「ヤンク」紙にある通り、彼はビルマ駐屯の兵卒が故郷へ出す手紙に日附を入れ度いといふ望みを叶へてやるため檢閲官をくびにしようとなつた、これは實現を見るには至らなかつたが、兵卒が特別の許可を求めにやつて來た時には「アングル・ジョー」はそれを許してやつた、しかし彼が兵卒の間に人氣を獲した所以の最たるは、何といつても一九四二年、スチルウエル並びに麾下の重慶軍がビルマ撤收を餘儀なくされた際、「我々は日本軍に打つて打つて打ちまくられた」といふ何等紛飾のない

率直な表現を用ひた事實だ、また或る時、勳章をつけずに泥にまみれてジープに乗つて行く途上一兵卒が彼を呼びとめ、騎銃を窓から突き出し、鬚面をつきつけて、「幕舎まではここからどの位だね？」と尋ねたことがあつた、「四哩程」と應へたところ、その兵卒は舌打ちして、「何故幕舎をもつと道傍へつくらなかつたんだ、役に立たない道路なんかはじめからつくらなければいいのに」と罵つた、スチルウエルはすつかり喜んでしまつて「奴らなかなか手剛いな」と副官に語つたといふ

### △頑張り屋スチルウエル

ところが手剛いのはスチルウエル自身だ、本年三月六十二歳を迎へたスチルウエルは、一九三九年現役を退き、陸軍武官として北京に赴き、當地で既に支那事變に於て日本軍との苦闘を續けてゐた重慶軍を観察する機會を得た、その後彼は米國へ歸り、カリフォルニア州駐屯旅團——後の第七師團——司令官に就任した、一九四一年の大演習にはこの第七師團は易々と「假裝」敵軍を打ち負かした、「アングル・ジョー」はまる四十八時間といふもの一睡もしないで訓練を續けたため、演習が終つて後は中學校の更衣室の床上——今まで使つたうちで最も寢心地のいい寢臺——に横になつて快い熟睡を貪つたといふ

北支の語學校の學生であつた當時、彼は一夏山西省の道路建設に従事してゐた一團に加はつて働いた、また一九二〇年から三年間に亘り彼はさらに邊鄙な地方へ出かけて各地の方言や慣習を學んだ、彼は語學の天才で前大戦當時には情報將校としてフランス語を自由に操つたし、今ではその他五ヶ國語をよくし、多少怪しげだが日本語も話せるといふ強者である

眞珠灣開戦直後、まだ彼の幕僚がスチルウエルの人柄を十分に理解してゐなかつた頃、彼が部屋へ入ると、部下はびつたりと雑談を止めて椅子から飛上り不動の姿勢をとつた、その時の大將の言葉は次の通りだつた

おい、みんな坐つてくれ、今我々は闘つてゐるんだぞ、立つたり坐つたり無駄なことは一切やめようじゃないか  
そこで或る部下はスチルウエルががみがみのス

バルタ教育家ではないとの結論を下した、續いて彼等はスチルウエルの容貌が一寸見は恐しいがその眼を見るに及んで、今までの概念を修正するに至つた、彼は常にかう語つてゐた

自分は戦争に勝つために出征したので、觀兵式をやるのが目的ではない、下らないことで勝利の邪魔をするな

彼の所謂「下らないこと」のうちでも最も下らないものが彼自身の生命であることは言をまたない、司令部署は必ず敵砲の射程距離内にあるべきこと、これが彼の信念だつた

### △ビルマでの敗戦

彼は常にビルマの泥濘を罵倒してゐたが、唯一度この泥濘のお蔭で彼が幕僚と共に生命拾ひをしたことがあつた、日本軍の砲弾が彼から數碼の地點へ落ちたが、砲弾は炸裂することなく泥に埋つたのである、スチルウエルは部下と共にある時は部下の國籍など問題にしなかつた、彼は支那兵と交はるにも米國兵に對すると同様打解けた、一九四二年二月蔣介石の米軍將星招聘の請に應じて東亞に赴任したスチルウエルが最初に委ねられたのが重慶軍だつた、蔣介石はスチルウエルを見込んで自分の參謀總長とし、ビルマ方面の重慶第五並びに第六軍司令に任命した

しかし「アングル・ジョー」の英才もまた麾下將兵の努力も初期の日本軍の優勢を抑へるには足りなかつた、重慶軍は當初、タオネギを落しトンギー附近に日本軍を敗り、英軍占領下のイエンヤンに進駐した、彼等を指揮した米人將軍は——殊勳十字章の賞状によれば——「前線で小銃、機關銃、臼砲の集中攻撃に曝されながら、特に顯著な勇猛果敢振りを發揮した」のだつた、しかし五月には遂に戦は終つた、スチルウエルはあはれにも残存した僅かばかりの米英重慶及びビルマ兵を率ゐる國境を越へて印度へ逃れた、彼は文字通り自ら殘存兵を率ゐ、小川や山、恐しいビルマ密林が輻輳する百四十哩に亘るチークの大森林を徒歩で突破したのである、僅かばかりの馬も負傷兵や看護婦にあて、漸くの思ひで印度に辿り着いた時、彼はいつた

我々は散々打負かされてビルマを逃げ出した、我々に與へられた屈辱は極めて大きい、我々はこの原因を究明、再びビルマへ戻つて奪回しなければならぬ

## △報復作戦

一九四三年の暮、スチルウエルは先に統率して来た將兵とは全く面目を一新した兵力を率ゐて北ビルマへ歸つた。ビルマから徹收するや彼は早速重慶軍訓練のため印度に學校を設置したのだ。ここでスチルウエルは重慶第廿二並びに第三十八師團に充分な給與と休息を與へ、訓練と裝備を施した。次いで蔣介石は第三十師團の設置に必要な兵員を派遣し更に砲兵隊、信號、工事、醫療並びに自動車輸送隊及び戰車隊を送つた。

先の二個師團と當時の代將——現在少將——フランク・メリルの率ゐる熱練した米軍密林戰團部隊を伴ひスチルウエルはフーコン峽谷に突入後には輕戰車並びに中型戰車隊も之に加はり、日本軍掃蕩に當つた。彼の背後には作戦通り重慶、印度、ビルマ軍が續き、大佐——現在代將——ルイス・A・ピツク指揮下の米軍が新レド公路と送油管を利用してスチルウエル軍への補給を擔當した。スチルウエルは更に軍を進め一九四四年五月重慶軍はサルウィン河から西方に上陸した。この重慶軍は米國式訓練と裝備を施され、スチルウエルの任命による米軍代將フランク・ドーンを團長とする米軍訓練將校の一團と共に戰團に参加した。その後スチルウエルは印緬支米軍最高司令官に就任した。彼はビルマ作戦では東南アジア聯合軍司令マウントバウテン將軍と緊密に協力した。マウントバウテン麾下の米英地上軍並びに空軍は幾多の地上戦及び空中戦でスチルウエルを掩護した。之らの掩護なくしてはスチルウエルの北ビルマ作戦の成功は覺つかなかつたに相違ない。しかし北ビルマを奪回し、印度から支那に至る道路及び送油管を確保した功は何といつてもスチルウエルをもつて第一とする。

## △新第十軍司令官

その後彼はレド公路をスチルウエル公路と改名する件につき蔣介石との間に意見の齟齬を來した結果昨年東亞派遣の職を解かれた。本國歸還の後彼は米地上部隊本部長に任命され米軍地上部隊に入隊した全兵卒に對する訓練、育成、裝備の全責任を負ふこととなつた。これは重要な地位ではあ

つたが、長年野戰軍司令をつとめたスチルウエルにとつては物足りないものだつた。サイモン・バウクナー中將が沖繩戰で戦死を遂げた後、マウクナー一將軍は六月二十一日スチルウエルをバウクナーの後任として米第十軍司令に任命した。この地位は今までのスチルウエルの經歷に比べれば低いものだが、スチルウエルの戰鬪慾を満足させ得るだらう。恐らく彼は上官を説得して無理やりに實戰復歸の承諾を得たものに相違ない。

## △その私生活

スチルウエルの家族は現在ニューヨーク市近郊のヨンカースに住んでゐる。彼は一八八三年三月十九日南部フロリダ州のパラトカに生れた。彼は現在西部カリフォルニア州のカイメルに家を持ち若々しいウイニフレッド夫人と、五名の子女——うち一名は殊勳十字章を光らせてゐる中佐だ——と共に住んでゐる。三人の娘のうち一人、男の子一人は支那で生れ、家族はみな北京官話を話し、中國の思想である。「長幼の序」を規範として統制されてゐる。スチルウエルは米國士官學校卒業後一九〇四年少尉として第十二歩兵隊に入り翌年比島駐屯軍に加つて東亞に赴き、一九四〇年には遂に少將に進級した。

前大戰當時は間諜としてサン・ミハイル攻勢の準備を進めた功により殊勳章を授けられた。彼の所謂、「机上の仕事の悪影響」を避ける爲、スチルウエルは執務時間が終はると長時間散歩したりボール投げに打ち興じたりした。一九二六年から二九年に亘る天津駐屯時代、一九三二年から三九年へかけての北京駐劄陸軍武官時代にも同様戶外運動を樂んだ。曾て彼は西部地方において、競技界の花形として活躍し蹴球の第一級前後衛手として鳴らしたものだつた。

現在のスチルウエルのスケッチ——二焦點眼鏡をかけ絶えず長い煙管をくはへてぶかぶか煙を吐いてゐる、はつきりした顔の輪廓、以前にもまして高くなつた鼻、寄る年波は争はず顎の筋肉は四十年前に比べて大分たるんで來た、が「ジョー」・スチルウエルは相變らず屈強そのもの疲れを知らぬ頑健さだ。



昭和二十年七月九日(月)  
第三四七七號

# 同盟通信 海外電報

米財務長官のヘンリー・モーゲンソーと大審院判事ロバートの辭職が六日ホワイト・ハウスから發表された、トルーマンの就任以來、米政府の樞要地位にある者がこれで十五名辭職したわけだ、その中で特に注目すべきが國務長官の更迭と財務長官の更迭であることは、この二つの地位が米國政府の樞軸をなすものである點からのみみても勿論であるが、更に、更迭された人物の人となりの上において更に重要性を認むべきである、ステチニアスの地位が、全く故ルーズヴェルトの看板にすぎなかつたことは屢々指摘された通りで、主人が代つた今日では全く無力の人物と化したことはいふまでもない、モーゲンソーは財務長官ではあつたが故ルーズヴェルトの外交政策に最も強力な影響を持つた人物であつたことは、ハルの晩年頃より特に注目された事實である、今、ある意味では從來のアメリカの外交を動かした二人の人物が政府から影を消し去つたことは、果して何を意味するか、第一に考へられるのは、餘りにも個人的色彩の濃厚だつたルーズヴェルト外交が、トルーマンによつて抹消されて、オースドックス外交の正常軌道への復歸が、策されてゐるといふことである、米國政府の新要路者は故ルーズヴェルトによつて置かれたアメリカ戦時外交の指針には何等の變更なしとの聲明を繰返してゐるが、一步譲つて理念に變化なしとするも、實行に重大な變化を生ずるだらうことは當然期待してよい、新米國政府からルーズヴェルト色が續々拂拭されることは、アメリカの國政が東部の機會主義からトルーマンの中西部色に、眞價のアメリカニズムに復原しつつあることを物語るものである、ステチニアスの浮草外交は暫く問はず、三國首腦會議を直前にして對獨徹底懲罰論のモーゲンソーが政府のそとに去つたことは、アメリカ外交の新出發點をベルリンに劃するであらうとの期待を生み、この會談を更に興味あるものとしたことは争へない



より特に注目された事實である、今、ある意味では從來のアメリカの外交を動かした二人の人物が政府から影を消し去つたことは、果して何を意味するか、第一に考へられるのは、餘りにも個人的色彩の濃厚だつたルーズヴェルト外交が、トルーマンによつて抹消されて、オースドックス外交の正常軌道への復歸が、策されてゐるといふことである、米國政府の新要路者は故ルーズヴェルトによつて置かれたアメリカ戦時外交の指針には何等の變更なしとの聲明を繰返してゐるが、一步譲つて理念に變化なしとするも、實行に重大な變化を生ずるだらうことは當然期待してよい、新米國政府からルーズヴェルト色が續々拂拭されることは、アメリカの國政が東部の機會主義からトルーマンの中西部色に、眞價のアメリカニズムに復原しつつあることを物語るものである、ステチニアスの浮草外交は暫く問はず、三國首腦會議を直前にして對獨徹底懲罰論のモーゲンソーが政府のそとに去つたことは、アメリカ外交の新出發點をベルリンに劃するであらうとの期待を生み、この會談を更に興味あるものとしたことは争へない

## 【目次】

ルーズヴェルト色一拭	一九六六
財務長官後任にヴァインソン	〃
ド・ゴール近く華府へ	〃
新法案發效	〃
米軍損害	〃
米四月中造船高	〃
亡命波政權の財産を接收	一九六七
重慶、波新政府を承認	〃
ノルウエーも承認	〃
フランコ政權の處分を要求	〃
米の對支苦悶	〃
【太平洋戰線】	〃
米海軍首腦の作戰會議	一九六八
新海兵隊兵團長任命	〃
戰略航空隊を擴充	〃
潛艦トリガー沈没	〃
【米國】	〃
ホランド・スミス本國勤務	〃
義務兵役法可決	〃
ライン先陣師團長歸還	〃
波新政府を承認	一九六九
國際通貨案可決	〃
スペイン向けレール輸出禁止	〃
上半期造船高	〃
合成ゴム増産計畫	〃
紐育の新聞配達停止	〃
バインズの陸海統合案	〃
新國際憲章と米國憲法	一九七〇
憲章をして試みしめよ	〃
五個兵團本國へ	一九七一
ロバーツ勇退	〃
建築會社々長を軍政官に	〃
ヌードセン實業界復歸	〃
外蒙首相モスタワ訪問	一九七二
【聯】	〃
ヴェネツエラ駐劄大使	〃
莫斯科、伯林直通列車	〃
【歐】	〃
英軍も入城	〃
第十五集團軍解散	〃
ゲツベルスの焼死體	〃
チエコで十新聞發行	〃
「紐育ポスト」のバリ版	〃
ウエーガンの財産沒收	〃
【特輯】	〃
チエコ問題の行方	一九七三
【資料】	〃
新國際司法裁判所規程(上)	一九七七

## ルーズヴェルト色一拭

(リスボン六日發)米國大統領トルーマンが就任二ヶ月の短期間に國務長官ステチニアス、財務長官モーゲンソー以下既に行政府の最高部十五名を更迭してルーズヴェルト前大統領時代の陣容を拂拭したことは對外對内關係に於て米國政策の變貌を豫示するものとして各方面の注意を喚起してゐるものの如く、ロイター記者ジョン・キムチはロンドン政界の觀測を綜合してトルーマン新政策の動向につき相當思ひ切つた豫測を下してゐる、大要次の通りである。

トルーマンは過去二ヶ月の間に行政部の樞要地位を更迭したが、就中、國務長官ステチニアス及び東亞問題に關して長官にたいする特別輔佐役であつたフィリップスを追つたこと、さらにルーズヴェルト時代に重要な役割を負擔した戰時情報局とか謀略局とかが、今では前程の權限も支持も認められないことは重要示唆を與へるものである。

トルーマン治下の新外務陣營が具體的に如何なる變貌を示すかは目下興味を中心だが、先づ對外政策の推進方法としては前大統領が稍ともすれば國務省において自己の直近顧問を動員する方法を取つたのに對して、トルーマンは飽くまで國務省を主體とする外交機關による正統派的方式に復歸することならう、故大統領の個人的顧問の更迭は右の一理由である、更に本質的な問題は對外政策自體の新發足が企圖されてゐること、ヤルタ會談の經驗は二度と繰返したくないと言ふことは明かだ、勿論ソ聯に對しても他の國に對する關係に於ても外見的な變化はあるまいが、全體として新政策は鋭敏とならう又政界では國務省の新陣容を東亞政策に關聯させて特に注意を要するとしてゐる。

以上キムチの觀測中、ヤルタの經驗を繰返したくないとは、ルーズヴェルト及びその個人的顧問の對外工作が結局ソ聯に引きずりまはされる結果になつたとする米國內での不滿を指したものと思はれる。

## 財務長官後任にヴァインソン

(リスボン六日發)ワシントン來電〓白聖館當局は六日次の通り發表した  
モーゲンソーの辭職に伴ふ新財務長官には、現戰時動員局長官ヴァインソンが選ばれ、トルーマンが三頭會談を終へてワシントンに歸還後正式任命が行はれる筈である

## ド・ゴール近く華府へ

(リスボン六日發)パリ來電〓ド・ゴールは米國大統領トルーマンの招請に應じ八月中にワシントンを訪問することに決定した旨六日發表された、訪問の時期は米英ソ三頭會談終了後だが、會見内容は米佛兩國の廣範に亘る政治、經濟問題である

## 新法案發效

(リスボン五日發)ワシントン來電〓大統領トルーマンはさきに上院で可決された互惠通商協定の三ヶ年間延長並びに關稅率の五割削減の權限を大統領に附與する法案に五日署名を了し、同法案は即日效力を發生した

## 米軍損害

(リスボン五日發)ワシントン來電〓米國陸軍省は開戰以來現在に至る損害を百三萬六千九百三十七名と發表した、右は先週より六千二百五十八名の増加である

## 米四月末造船高

(リスボン三日發)ワシントン來電〓米國海事委員會は四月中における米國造船高が百三隻總計百萬四千七十五噸であつた旨發表した、内譯左の通り

ヴィクトリー型船舶	三十四隻
リバティー型船舶	八隻
C型船舶	八隻
石炭船	二隻
冷凍船	一隻
沿岸用小船舶	二十隻
油槽船	十七隻
軍用型船舶	十三隻

# 同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

## 亡命波政權の財産を接收

(ストックホルム六日發) 新ポーランド統合政府は米英佛重慶四國その他の承認を得て愈々ポーランドの合法政權として發足することとなつたが、ワルシャワ來電によれば同政府はまづ手始めに英國にあるポーランドの國有財産を接收するに決定、ロンドンに四名からなる委員會を設置して右財産の接收に當らせる旨四日ポーランド通信社を通じて發表したといはれる、委員會は既にロンドンに滞在する三名のポーランド人とワルシャワから派遣される一名のポーランド人からなる筈だが、英國にあるポーランドの國有財産といへば、亡命ポーランド政府が現在管理してゐる財産を指すもので、亡命政府は自己をポーランドの唯一の合法政權と飽くまで主張してゐるから簡単に引渡す筈はなく、接收に當つては一波瀾は免れまい、他方聯合各國が新政府を承認した結果、ポーランドがカーゾン線以東をソ聯に割譲した代償として約束されてゐるドイツ東部の國境劃定が當然正式に問題とされることにならうが、ポーランドは既に東プロイセン、西部ポメラニア、シレジアに委員を派遣して赤軍と協力、行政の任に當つてをり、新政府側の各ポーランド民主々義政黨は以上の地域に居住するポーランド人七百萬の問題を解決するため政治工作の火蓋を切つたと傳へられる

## 重慶、波新政府を承認

(リスボン六日發) ロイター通信六日電によれば重慶政權も米英兩國政府に追隨し、五日ポーランド統合政府を承認した

## ノルウエーも承認

(ストックホルム六日發) オスロー來電ノルウエー政府は新ポーランド統合政府を承認する旨六日發表した

## フランコ政權の處分を要求

(ストックホルム六日發) ソ聯言論機關は過般來スペイン政府をヒトラー政權の縮刷版と評して執拗に攻撃を加へてきたが、六日附の「ブラウダ」紙はフランコ政權の清算を強硬に要求、次の通り論じてゐる

民衆はフランコ統領が戦前は勿論戦争中もヒトラー總統のドイツを援助したにも拘らず、依然スペインの政權を手中に握つてゐる事實を極めて奇怪に思つてゐる、もはやスペインにおける忌はしいフアランへ政權に終止符を打つべきときではなからうか、スペインの民衆は民主々義共和國を復活し、聯合國の國際機構に参加する機會を與へられて然るべきだ、歐洲の平和と人類の安全に関心を持つ民衆はピレネー半島に巢喰ふファシスト政權を即刻處分することを強硬に要求する

## 米の對支苦悶

【ストックホルム七日發】ロイター・ロンドン電ニ英國左翼系週刊「ニュー・ステーツマン・アンド・ネーション」誌は「支那における見透し」と題して滬延の確執に伴ふ舊資本主義、特に米國貿易界の苦悶につき大要次の通り報じてゐる

重慶及び延安の關係が暗礁に乗上げこの理論的對立がどう治まるか不明だ、米國の大産業は重慶政權の性格については十二分に承知してはゐるが、北方地區では益々ソ聯の中共援助に傾きつつある以上、これと對抗的に南支で反動勢力を支持する危険性が多分にある、經濟も政治と同じ事であり、歐洲でも東亞でも同じことだが大衆の味方である力が生長するのであり、結局に於て個人的政權力に對して勝利を得るので、西歐の舊套的な資本主義は未開發な支那の奥地でも、又戦争の燒跡から立上る歐洲でも何の支配力をも維持し得るものではない、何れの場合でも若しソ聯が節度を以て工作すれば大衆は益々以て共產主義に走らう

## 【太平洋戦線】

### 米海軍首脳の作戦會議

(リスボン五日發)ワシントン來電ニ米國海軍省は五日つぎの通り發表した

海軍長官フォレストル、海軍作戦部長兼合衆國艦隊司令長官キング、太平洋艦隊司令長官ニミッツ以下の海軍首脳部は六月三十日及び七月一日の兩日に互リサンフランシスコにおいて會議を開催對日戰の諸計畫について協議を遂げた  
なほ右會議には第五艦隊司令官スプルーアンス西方海域司令官インガソル、海軍人事局長ジェイコブその他が參加した

### 戰略航空隊を擴充

(リスボン五日發)ワシントン來電ニ米國陸軍次官ロバート・パターソンは太平洋戰略航空隊の發展の改組につて、五日つぎの通り發表した

大將カール・スパーツの下に太平洋戰略航空隊を新設、カール・スパーツは陸軍航空本部長へシリー・アーノルドに直屬する、新設の戰略航空隊は第二十航空隊及び第八航空隊をもつて組織される、右に伴ひ従來第二十一爆撃隊司令官であつた少將カーチス・ルメーは第二十航空隊司令官となり、第八航空隊司令官中將ジエームズ・ドーリットルと共にスパーツの指揮下に入る、またこれまで第二十航空隊副司令官兼太平洋戰略航空隊司令官であつた中將バーネイ・ジャイルスは新設の戰略航空隊司令官代理に任命された

### 新海兵隊兵團長

(リスボン五日發)グアム島來電ニミッツ司令官部は中將ロイ・ガイガーの後任として少將ケラー・ロツキーが海兵隊第三水陸兩用兵團長に三日就任した旨發表した

ロツキーは硫黃島作戦で第五海兵師團長を務めたことがある

### 潜水艦トリガー沈没

(リスボン五日發)ワシントン來電ニ米國海軍省

は五日「潜水艦トリガー(一、五二五噸)は哨戒作戦の期間を過ぎたるも未だ歸還せず喪失したと認められる」旨發表した

## 【米 國】

### ホランド・スミス本國勤務

(リスボン四日發)眞珠灣來電ニ前海兵隊第三水陸兩用兵團長中將ロイ・ガイガーが太平洋方面艦隊海兵隊司令官に就任した結果、前司令官中將ホランド・スミスが如何なる新任務に就くかが注目のもととなつてゐたが、三日スミスは全海兵隊員に宛てた挨拶状の中で、彼がカリフォルニア州サンディエゴの海兵隊訓練補充本部司令官に就任する豫定なる旨明かにした、かくて海兵隊第五水陸兩用兵團長、艦隊海兵隊司令官を歴任して太平洋上の島嶼戰に名を知られたスミスは一時第一線を退くことになつた、海兵隊將兵に宛てた彼のメッセージの内容つぎの通り

余は余自身の希望により米本國における新任務に就く、諸子は日本帝國の外廓陣地の攻撃において海兵隊武勇譚を作つた、明日よりの諸君は内廓要塞のものに突入することにならう

### 義務兵役法可決

(リスボン五日發)ワシントン來電ニ下院戰後軍事政策分科會はかねて審議中の平時義務兵役法案を五日可決した、同委員會は今議會中に右法案が成立する様要請してをり、下院軍事委員會は夏期休暇終了後同法案の審議を開始する豫定である、同法案は満十七歳から二十一歳の男子に對し一ヶ年間の訓練を施すことを規定してゐる

### ライン先陣師團長歸還

(リスボン五日發)レキシントン(ミズーリ州)來電ニ歐洲戰においてライン河のレマーゲン橋梁を占領した米軍師團長、陸軍中將ウイリアム・ホツジは三日レキシントンの自宅へ歸還した、レキシントン市會はホツジが最初のライン河渡河師團の師團長だといふので、大歓迎を提案したが、彼はそのやうなお祭り騒ぎは一切してくれぬやうにと辭退した

### 波新政府を承認

(リスボン五日發) ワシントン來電 大統領トルーマンは米國政府がワルシャワの新ポーランド統治政府を承認した旨五日發表した

### 國際通貨案可決

(リスボン四日發) ワシントン來電 上院銀行、通貨委員会は三日ブレトン・ウツツの聯合國通貨會議で決定された國際通貨案を十四票對四票をもつて可決した

同案は既に下院を通過してゐるが委員會では國際基金を軍需品の製造乃至購入に使用することを禁止した修正案が追加された、國際通貨案は愈々近く上院本會議の審議に附されるが、本會議には既に共和黨議員ユージン・ミリケン提案の「米弗を金と連繫せしめる條項の撤回案」をはじめ多數の修正案が提出されてゐる

### 西向けレール輸出を禁止

(リスボン五日發) スペイン政府は米國ベスレム製鋼會社に鐵道軌條十萬噸を注文してゐたが、ワシントン來電によれば、外國經濟院當局は、以上の軌條のスペイン向け輸出を許可しない旨四日言明したといはれる、以上の措置は、CIO議長フライリッブ・マレーの抗議によるものと解されてゐる

### 上半期造船高

(リスボン五日發) ワシントン來電 海事委員會は五日次の通り發表した

六月中に引渡しを終つた船舶は百七隻約百萬噸に上つた、而して本年の上半期に建造された船舶は、六月中の引渡し船舶を入れて合計六百九十三隻約七百萬噸となる、規格型リバティ船の造船計畫は六月をもつて終了した、六月中に引渡しを終了した百七隻の内、十四隻は陸軍へ引渡されたが、船舶の種類は石炭船、油槽船、その他色々の型の貨物船を含んでゐる

### 合成ゴム増産計畫

(リスボン四日發) ワシントン來電 米國ゴム貯藏會社は米國が明年度に百二十萬噸に上る合成ゴムの生産計畫を樹立中なる旨三日發表した、右數量は戰前全世界が一年間に消費した天然ゴムの數量を凌ぐものだ

### 紐育の新聞配達停止

(リスボン四日發) ニューヨーク來電 ニューヨーク市の新聞取扱業者及び配達業者組合は去る六月二十九日突如として總罷業を聲明した結果、發行部數五百萬に達するニューヨーク市の十二新聞の配達は完全に停止してゐる、このため或る新聞社は發行部數を削減してをり「ニューヨーク・ポスト」紙の如きは發行を一時中止してゐる有様だ戰時勞働局は組合に指令して三日代表者の出頭を求め罷業者側の言分を聞くことになつてゐる

### バーンズ陸海統合案

(リスボン五日發) 新國務長官ジエームス・バーンズはその就任前に「アメリカン・マガジン」誌に一文を寄せ、陸海軍兩省の統合その他政府部門の組織を主張したが、論文要旨は次の通り

今次大戰の戰訓によれば、軍事的成功を得る爲には迅速なる行動が必要であり、作戰の迅速は統帥の統一がある時のみ可能だ、余は陸海軍兩省を兵事省に統合せよと要求する、余の提案は先づ第一にお互ひに權限を争つてゐるところの百一を數へる政府の行政機關を再組織する壓倒的權限を大統領に賦與すること、第二に勞働力統制に當り互ひに肘を押し合つてゐる十數個の聯邦機關を統合して勞働省を設置すること、第三に法令をもつて永久的機關としての統合參謀本部を設置し、總司令官たる大統領の下に一人の參謀總長を置くこと、國務長官は大統領と參謀總長との會議に参加し、米國の外交政策と國防計畫を相關せしむべきである、議會は兵事省を設立するための特別立法を考慮すべきだ、兵事省には兵事長官一名、陸軍、海軍、空軍、補給の四次官を置くべきだと思ふ

## 新國際憲章と米國憲法

(リスボン五日發) ニューヨーク來電 米國の著述家ジエームズ・S・ハートは新國際憲章の成立に關聯して米國憲法の改正手續を論じ、次の通り述べた

「聯合國會議がサンフランシスコで開催されるといふ發表のあつた時から、米國憲法を起草したあの一七八七年のフィラデルフィア會議が回想されたのは當然だつた、二つの會議の目的は全く異つてゐたが、同時に共通點も決して少くはない

そのため多くの筆者が講演者がフィラデルフィア會議のことを屢々引張り出してゐるが、中でも大統領トルーマンは六月二十六日の桑港會議閉會式における演説で、巧みに兩會議を比較しかう述べてゐる

わが國の憲法も、ちやうどこの會議と同様に幾多異つた見解を有する代表を集めた會議から生まれ出た、新憲章と同じく米國憲法は相異なる見解の自由な、否、時には激烈な交換から生まれたのだ、憲法が採擇された時、それを定全だと思ふ者は一人もゐなかつた、しかし憲法は成長し發達し擴大した、そしてそれを基礎として更に大きく更に優れ更に完全な聯邦が樹立されたのである、新憲章も米國憲法と同じやうに時と共に擴大され改善されるだらう、これが現在すでに最後の且つ完全な文書だなどは誰も主張しない、固定した鑿型に注ぎ込まれたわけではないのだ、世界情勢の變化は再調整を必要とするのだらう、但しそれは平和の調整となるべきであつて、戰爭の再調整であつてはならない

### △米國憲法の特質は修正規定

米國の歴史家や政治家のよく言ふことだが、米國憲法は死人の手が過去の世界から支配するのではなく米國民の時代的要求に應ずる生きた力なのであるから、文書としての最も重要な部分は恐らく憲法修正に關する規定である、この諸規定は人民が適當なりとすれば憲法をいかやうに修正することを可能ならしめる、手續きは整つてゐて、兩院の三分の二の支持の下に議會で修正案が提出

されてもよし、州立法部の三分の二が要求してもよい、修正案は諸州の四分の三において立法部又は人民大會により批准された時に效力を生ずる、米國が二度まで心を變じたといふ例の一つは、酒類の製造販賣禁止に關する問題だつた、この禁止は第十八回目の憲法修正だつたが、數年後には禁止令は失敗だつたと考へられるやうになり、第二十一回目の修正によつて第十八回目の修正は廢棄されることになつた

### △民主主義は成長す

今日憲法の一部を成し、米國民民主主義政體の運営に極めて重要な役割を有すると思はれてゐる諸規定には原文書になく修正の結果加へられるやうになつたものが相當ある、憲法は明示的に

修正はあらゆる意圖目的において本憲章の一部として有效なるべし

と規定してゐる位で、修正と原文書との間にも何らの相違もない

民主主義はそれ自身成長し生活する構造であるから、その憲章とその法律とは成長と變化に即應し得るやうでなければならぬ、すなはち大統領トルーマンも指摘せるごとく、國際憲章こそは世界各國民がその平和及び民主主義の建設を進めると共に發展すべきものの初めなのである」

### 憲章をして試みしめよ

|| 米國代表上院に説く ||

(リスボン三日發) ワシントン來電 桑港會議米國代表上院議員アーサー・H・ヴァンデンバーグは去る二十九日上院において、世界的な「物質的精神的混沌」よりはましなものとして新國際憲章を批准することを要請、次の通り演説した

「余が憲章を支持するのは、我々が屢々誓約したごとく、人間力の及ぶ限り侵略行爲を法律的に防止するといふ目的において怠慢があつてはならないからであり、この新機構には幾多の不備が残つてゐるにしても、聯合國が戰爭の共通の名目に對して協力したのに劣らず、平和の爲にも協力の効果を擧げ得るといふ大きな希望が感じられるからである

集團的平和のこの唯一の機會を愚論に欺かれて奪ひ去られるやうなことがあつてはならない、新機構案が完全といへないかも知れないことは余も承知してゐるが、これによつて踏切らない限りその將來は望み得ないのだ、他に再び出發點が、しかもこれ以上の出發點があらうとは考へられぬ、試みるべき機會を失ひ度くはない、目標に及ばざることいかに遠くとも、その方向に進むべき機會を失ひたくないのだ

條約の批准は最後の平和條件の決定を待たなければならぬといふ説も行はれてゐるが、最後の平和を定むべき人々の上にかかる責任の重大を余は一瞬たりとも過少評價するものではなく、余がいहांとする所は、最後の平和がいかなるものであらうとも、サンフランシスコ憲章に内蔵される人權並びに基本的自由の保護が、憲章の人類に對する究極的接觸を必然的に賢明且つ安全ならしめるだらうといふことにある

また憲章が米英ソ三國の軍事同盟以上に出でないとの非難も聞いてゐるが、平和の強制に關する限り、この主張にも一理あることは確かだ、しかしここで主張したいのは、この機構を創立すると否とを問はず實力に關しては世界が三國に依存しなければならぬといふ事實だ、これは人生における現實である

だがサンフランシスコ憲章がない場合にはいよいよ三國の恩恵に俟たなければならぬのは明らかであらう、憲章が出来なかつたとしたら、三國間の競争をみるに非ざる限り三國の軍勢力を抑へる術がなく、軍事的な競争は決して平和を齎らす所以ではない、これに反し憲章さへあれば、とにかく少くとも平和の契約といふ制約があり、この契約を破る侵略者は世界の憤激の前に赤裸々な姿を曝け出すといふ恐るべき保證がある

世界諸國ことに大國により常に維持される平和的接觸並びに協議、紛争を悉く解決すべき平和的手段は、いかなる種類の制裁にも匹敵し、普通ならば又しても戦争を齎らすごとき紛争の全部ではなくとも大部分を解決し得るに違ひないと信ずる最後に余は新憲章こそ平和並びに正義の追求において國際協力を得るための唯一の計畫であると

の信念を繰返し表明する、これには約束と希望がある、これこそ眞摯な試みに値する憲章である」

### 五個兵團、本國へ

(リスボン五日發) パリ來電 歐洲侵攻軍司令部は五日次の通り發表した

米軍の五兵團は再展開計畫の一部として目下米國への途上にある、以上のうちには、第三兵團(少將ジェームズ・フリーツ)第七兵團(中將ジョゼフ・コリンズ)第十三兵團(中將A・C・ジレム)第十八空挺兵團(マシユー・リツジウエー)第五兵團(少將クレアレンス・ヒューブナーズ)が含まれてゐる、なほ第二兵團はドイツ占領に當り、他の六兵團は復員される豫定である

### ロバーツ勇退

(リスボン五日發) ワシントン來電 大審院判事オーウエン・ロバーツは五日勇退した、同人は今大戦緒戦における日本航空部隊の眞珠灣攻撃の眞相調査團長として所謂ロバーツ報告書を作成したことによつて知られてゐる

### 建築會社々長を軍政官に

(リスボン三日發) ワシントン來電 陸軍省は「マクグロー建築會社々長クリフォード・ストライクをドイツ管理々事會の米國側建築資材及び住宅部長に任命した」旨二日發表した、ストライクは近く米國を出發して米國軍ドイツ軍政長官代理ルンマス・クレー中將の下に加はり、主として米國軍占領地域の住宅その他の復興に當る

### ヌードセン實業界復歸

(リスボン四日發) ニューヨーク來電 一九四〇年官界入りのためジェネラル・モーターズ會社々長の地位を去つた陸軍中將ウィリアム・S・ヌードセンは二日再び同會社取締役選ばれた、この間彼は國防計畫の立案を授けたほか、陸軍々需局長の椅子にも着いてゐた

## 外蒙首相モスクワ訪問

(ストックホルム五日發) タス通信社の報道によれば蒙古人民共和国首相チヨイ・ボルサン氏はウラン・バートル駐劄ソ聯大使イワノフ氏と共に五日モスクワに到着、モロトフ外務人民委員の出迎へを受けたといはれる、宋子文のモスクワ訪問中にチヨイ・ボルサン氏がソ聯を訪れたことは兩者の使命に何らかの關係があることを示唆するものと解される

## 【ソ 聯】

### ヴェネツエラ駐劄大使

(モスクワ五日發) ソ聯邦最高會議幹部會はヴェネツエラ駐劄大使にトレビン氏を任命した

### 莫斯科伯林直通列車

(モスクワ五日發) ベルリンからのタス電報によれば去月二十五日モスクワを出發した最初のモスクワ—ベルリン直通旅客列車は一週間を経て二日ベルリンに到着した、この列車には観客五十名を容れる映寫室、浴室、理髮室、書庫などが備へつけてある

## 【歐 洲】

### 英 軍 も 入 城

(チューリッツ五日發) ベルリン來電ニ米軍のベルリン入城に引續き、英軍も四日午後ベルリンの西部郊外に入つた

英軍のベルリン占領軍は第七機甲師團で第十一輕騎兵中隊が先陣をつとめ、六日オリンピック競技場の國旗掲揚臺において國旗掲揚式を舉行する豫定である

### 第十五集團軍解散

(リスボン五日發) 第十五集團軍司令部からのロイター電によれば、大將マーク・クラークは五日「第八並びに第五軍から成る第十五集團軍は五日夜半をもつて解散する」旨發表したといはれる、第十五集團軍はイタリア戦線における聯合軍の全部で、この中には米英加三國軍をはじめ南阿、印

度、ブラジル、ポーランド、ユーゴスラヴィア、ギリシヤ、イタリアの各軍が含まれ、恰も國際軍の觀を呈してゐた

### ゲツベルスの焼死體

(ストックホルム五日發) モスクワ放送によれば赤軍報道部の寫眞部員は元ドイツ宣傳相ゲツベルスの焼死體を發見した、右死體はベルリンの總統官邸の地下壕から夜間運び出され焼かれたものだが黒焦げに焼けてはゐないのでゲツベルスであることはつきり判る、赤軍寫眞部員の撮つた焼死體の寫眞は近くベルリンの大通りに曝される筈

### チエコで十新聞發刊

(リスボン五日發) プラッグ來電ニチエコスロヴァキア政府は今回新聞の發行を許可、四日から十種の新聞が一齊に發行された、新聞の發行人は現在のところ政黨乃至は全國的規模の團體といふ事になつてゐるが、發行を許可された政黨は共產、社會民主、社會(大統領ベネシュの政黨)、カトリックの四政黨で、團體では青年團體、勞働組合組織、文化團體、軍事團體、農業團體、チエコ海外義勇軍組織がそれぞれ新聞の發行を許可されてゐる、因みに印刷資材の輸入が不可能なので、いづれも小型の二頁に制限されてゐる

### 「紐育ポスト」のバリ版

(チューリッツ五日發) パリ來電によれば「ニューヨーク・ポスト」紙の姉妹版でタブロイド型の「パリ・ポスト」紙が四日から發行されたといはれる、同紙はパリで發行された米國新聞としては四番目で、夕刊紙としては最初のものである、因みに現在まで發行された米國新聞は「ニューヨーク・タイムズ」「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」「シカゴ・トリビュン」のバリ版である

### ウエーガンの財産沒收

(チューリッツ五日發) パリ來電ニフランス高等法院は三日マキシム・ウエーガン元帥の財産沒收令を發した、ウエーガン元帥は一九四〇年春のフランス崩壞當時ガムラン元帥の後を襲つてフランス軍司令官兼聯合軍最高司令官であつた





チェコ問題の行方

入江啓四郎

△チエコ國に係る三問題

チエコスロヴァキアは各民族の寄合世帯であるイタリアの故ムツソリーニ首相は、嘗てトリエストでの演説で

この國はチエコスロヴァキアではなく、本當はチエツコ人・ドイツ人・ポーランド人・マジヤール人・ルテニア人・ルーマニア人・スロヴァキア人國 (Ceco-tedesco-golacco-magiaro-ruteno-romio-slovacchia) だ

と呼んだが、蓋しこの國の實態をついたものである、多數民族國家の脆弱性は、内部的にも外部的にも種々な危険因子を包藏する、従つて今日チエコスロヴァキア問題が出てきてゐるのは、決して今に始つた新しい素因によるのではない

最近の外電が報ずるところによると、チエコスロヴァキア問題として、少くとも三つの部面を擧げることが出来る、第一はズデーテン・ドイツ人の地位で、これは七月中旬頃からベルリンまたはその近郊ポツダムで開かれる、米英ソ三頭會議に上程されるらしい、第二はチエコスロヴァキアの東域を占めるカルバート・ウクライナ或ひはカルバート・ロシア又はルテニアと呼ばれる領域の問題で、これに關しては六月二十八日夜、タス通信社が

ソヴェト、チエコスロヴァキア兩國間にチエコ領カルバート・ウクライナ地方をソ聯に割譲する旨の協定が成立し、二十九日モスクワに於てモロトフ外務人民委員とチエコ首相ヅヂネク・フイエリシグととの間に調印を了した

旨發表した通り、ソ聯に割譲されたのである、第三はテツシエンの歸屬問題で、ポーランド政府は同地がポーランド民族の棲住地域であるとして、垂涎して目下兩國間の紛争を惹起してゐることである、しかしこの問題も事新しいものでないこと後述の通りである

△ウイルソンの十四原則

チエコスロヴァキアを構成する諸民族の合體も分裂も、時の遠心力が強いのか、或は求心力が強いのかの問題であり、それが少數民族問題として表現されてゐるのである、少數民族問題の歴史は随分古いことだが、之が近代的方式で提起されたのは先づ前世界大戰當時のウイルソン宣言と見てよい即ち時の米國大統領ウヅドロー・ウイルソンは、前世界大戰の終局に先立ち、一九一八年一月八日議會に提示した、所謂十四原則のうちで、民族自決主義を提唱した、これが契機となつてボヘミア(ベーメン)、モラヴィア(モーレン)、シレジア(シレジエン)、スロヴァキア、カルバート・ロシア(カルバート・ウクライナ)等の諸民族代表がブラーグに合同し、その運動が結實したものが前世界大戰の成果、チエコスロヴァキア共和國の誕生である

然しウイルソンの提唱した民族自決主義は、一度は複雑民族國家チエツコ共和國を形成したが、纏て同じ民族主義がこの共和國を壊す結果となつた、それは各民族とも夫々高度自治を標榜して、中央集權的國家權力の行使に反對して立つたためである、而も一聯のヴェルサイユ國際條約はこの少數民族運動に根據を與へてゐた、即ち一九一九年九月十日のサン・ゼルマン條約はチエコスロヴァキアにおける少數民族保護を規定し、同條第十四條は國際聯盟による保障を規定したのである

尤も最初少數民族問題解決の武器として期待されたウイルソン原則や少數民族保護條約は、實際にはさまで少數民族の夢を實現する用具とはならなかつた、そこへウイルソン原則に代つて現れたのが、ナチ式民族原理である

△ナチ式民族原理

如何に故ムツソリーニ首相のチエコスロヴァキア評が適中してゐるか、如何にチエコ共和國の民族構成が複雑であるかを具體的數字により示せば大凡チエコ人七百四十萬、ドイツ人三百二十萬、スロヴァキア人二百萬、ハンガリー人(マジヤール民族)七十萬、ロシア人五十五萬、爾餘の民族

二十萬であつた、而もドイツ民族三百二十萬人中ズデーテンに棲住するもの二百七十五萬である、かくてチエコスロヴァキアにおける民族自決運動は、ドイツ本土における國粹社會労働黨の大ドイツ結成工作に呼應して、先づズデーテン・ドイツ民族によつて開始された

ナチ版民族自決主義は、ウイルソン式の單純な理想主義ではなかつた、ウイルソンの理想主義は複雑な現實に當面すると忽ち瓦解する外なかつたのであるが、ナチ式民族原理は大ドイツ國家結成といふ現實的な發展的要請に動かされて推進された、その理論もナチ式「一國、一民族、一總統」の國家主義であり、法理論としては民族主權説まで行はれた、一時ナチの民族法學を構成したものである

ナチ版民族理論は會ては少數民族主義の武器であつたウイルソン原則を攻撃し「ヴェルサイユの虚偽」とまで痛罵した、ドイツの論者はチエコスロヴァキアにおいて、人口の一部に過ぎぬスロヴァキア民族が他民族を制壓する優位を占めてゐるのを指摘したのである

### △ズデーテン問題の今昔

ズデーテン・ドイツはヒトラー總統治下のドイツ國粹社會労働黨政府が、一九三八年三月十二日國防軍をオーストリアに進駐して其の無血合體を實現してより、俄然ドイツより次に指向された目標として世界の視聽を集めたものであるか、それが絶對的ドイツ民族棲住地域であるために、ヒトラー總統の提唱したドイツ民族糾合による大ドイツ結成政策上そのドイツ合流は己むを得ぬことと認められてゐた、唯英佛等民主主義國が問題としたのはドイツへ合體の方式如何であつて、一方的實力手段によることは極力反對した、その妥協方式が即ち一九三八年九月三十日のミュンヘン協定となつたのである

ズデーテン・ドイツ人二百七十六萬を主體とし他の少數分散地區を含むドイツ民族は、チエコスロヴァキアにおける少數民族問題解決の選手コンラード・ヘンラインの猛闘によると言ふよりか、ドイツ本土における不動の國策、大ドイツ結成の

齒車により、かく「祖國ドイツ」に復歸したのであるが、ミュンヘン協定の包藏する要素は、他の少數民族問題に發展する餘地を残した、それはチエコスロヴァキア國境の最後の劃定につき國際委員會を任命してその工作に當らせること、又チエコ國內におけるポーランド及びハンガリー少數民族問題の解決に當ることを規定したことで、一見技術的事項に屬するやうなことが、實はポーランド及びハンガリー兩國が獅子の割前に與らうとして積極的行動に出る契機を含んだのである

### △ポーランドの策動

チエコスロヴァキア共和國にポーランド民族が相當人口を擁してゐることは先に一寸觸れた通りであるが、ズデーテン・ドイツ問題最高潮の當時即ちミュンヘン會談の先驅となつた英國首相チェムバレンとヒトラー總統のゴードンバグ會談最中ポーランド政府が突如チエコ國境に軍隊の動員を行ひ、時のソ聯外務人民委員代理ヴァラヂミール・ポチョムキンが、九月二十三日午前四時（一九三八年）突如ポーランド代理大使を招致して通牒を手交し、ポーランドがチエコ領に軍隊を進める場合は、何等の豫告なく一九三二年七月二十五日のソ波不侵略條約を廢棄する旨の強硬な警告を發したことがある

ポーランドの領土要求がソ聯政府の横槍で潰つたのは、一瞬時に過ぎず而もミュンヘン協定により獅子の分前に與ることは約束されてゐたことではあり、一九三八年十月一日、最後通牒的要求によりチエコ政府を威壓して、その屈服により十月八日よりテツシエン、シレジア一帶の國境地帯に進駐を開始した、十月十一日にはテツシエン地區全部の接收を終り、その他の地區も十一月二十七日迄に進駐を了したのである

今次戰爭の結果、舊體制は崩れて一應舊チエコスロヴァキアの領土的規模はナチ・ドイツの處理以前に復したものの、ポーランドのテツシエンに對する欲望は同じことである、既にソ聯政府がカルパト・ロシア合體といふ手本を示した以上、更生ポーランドも亦同様の手法に出たいのであるチエコ首相フイエリリッゲルは、カルパト・ロ

シア割譲に關する協定に調印して、モスクワから歸還した後、七月二日夜ブラীগより放送して、テツシエン地方の歸屬に關してはポーランドとの間に争あり、未解決であると述べたのは、其の間の事情を語るものである

### △チエコスロヴァキアの解體

ルテニア或ひはカルパート・ウクライナ、またはカルパート・ロシアが、ソ聯とチエコスロヴァキア兩國政府の交渉により、ソ聯に割譲されたことについては先に述べた所であるが、この地もまた國粹社會主義ドイツに移つたり、赤色主義の國に合體されたり、少數民族の純粹な獨立どころでなく、國際的勢力消長の波にもまれて右往左往してゐる

ズデーテン・ドイツの歸屬が、ミュンヘン協定で確定されてより、これが刺戟となつて、スロヴァキアやカルパート・ウクライナにも高度の自治運動が起つた、當時中歐における國粹社會主義ドイツの勢力は壓倒的であり、之等の民族もまたドイツを背景に自治を確立しようとしたのである、それが實現したのが一九三八年十月六日、先づスロヴァキア、次に十月八日、カルパート・ロシアの自治確立である、然しこの自治は長続きがしなかつた、やがてチエコスロヴァキアは全的に瓦解の運命に達着し、高度自治は一轉して獨立まで進んだからである

ブラীগのチエコ中央政府がスロヴァキアやカルパート・ウクライナの高度自治を好む道理はなく、反對に事毎に干渉の態度に出た、これがまた他方を刺戟し、ドイツもまた兩民族を保護する立場に廻つたから、事態はブラীগ政府の不利に急轉直下することとなつたのである、先づスロヴァキア自治議會は一九三九年三月十四日、遂にスロヴァキアの獨立を決定し、カルパート・ウクライナ自治政府も亦之に呼應して、スロヴァキア獨立と同日閣議を開いて其の獨立を決定したのである

### △ベイメン・メーレン「保護領」

チエコスロヴァキア瓦解物語において、東域のカルパート・ウクライナ、中央のスロヴァキアが獨立した徑路を回顧した以上、残された其の西域について一言しなければならぬ、同地方は依然

チエコスロヴァキア共和國を稱してゐるもの、兩地域の獨立によつて、全く舊共和國の殘滓となつてしまつた、その首都は依然ブラীগではあつたが、國內は既に三分されてその威令は最早本來のチエコ地域にしか及ばない、しかもこれに對してすら最後の日がきた、ドイツの保護領化、これである

チエコスロヴァキア大統領エミル・ハーハ博士はドイツ政府の招請に應じて一九三九年三月十四日外相フランク・チヴァルコフスキーを帶同、ベルリンを訪問し、その夜半からヒトラー總統と會談した結果、いはゆるヒトラー・ハーハ協定に署名したのである、これによりチエコスロヴァキアはドイツの保護下に入り、ドイツ國防軍は三月十五日、同國に進駐した、即ちチエコ國は完全に解體し、僅かにその名を踏襲した共和國は、三月十六日のドイツ總統令により「ベイメン・メーレン保護領」となつたのである、保護領は保護國とは異り、國際法上の主體でも國際團體の一員でもない全くドイツの屬領となつたのである

チエコスロヴァキアの法統を繼ぐベイメン・メーレン地域がドイツの保護領となり、スロヴァキアやカルパート・ウクライナが獨立共和國となつたのは皮肉であるがそのスロヴァキアは自ら好んでドイツの保護を求め、一九三九年三月二十三日ドイツとの保護條約により、その保護國となつた保護國が國際法上の能力を有することは後に我國との防共協定に参加した事實によつても明かだ、然し最も激しい變動に採まれたのは、カルパート・ウクライナである

### △ルテニアの再轉三轉

高度自治より獨立共和國に至つたルテニア、即ちカルパート・ウクライナの地位變遷は上述の通りだが、この變遷史はこれで停止したものではない、茲ではが非でもハンガリーとの關係に入らねばならぬ

ハンガリーもドイツによるチエコスロヴァキア處理工作の當初より、同地域のマジヤール地帯を合體しようとの方針を持って、祕かにドイツ政府に働きかけてゐた、當時ベルリン駐劄英國大使であつたネヴィル・ヘンダーソンが、チエコ問題折

衝の経過を書いた「使命の失敗」に記す所によれば、一九三八年九月二十二日、ゴードスバーク會談第一日、早速の困難は、ヒトラー總統がハンガリー及びポーランド兩國の主張に基き、チエコスロヴァキアにおけるマジヤール及びポーランド兩民族問題を提起したことだつた、また事實ハンガリー首相イムレー・デー・ペラは、外相カーニヤ・カルマン等を伴ひ、その年の九月二十日、即ちゴードスバークのヒトラー・チエコスロヴァキアに先立つこと二日、オーバー・ザルツブルグの山莊にヒトラー總統を訪問して、チエコスロヴァキアにおけるマジヤール少数民族の自決につき主張したのであつた、かうした下交渉があつたればこそ、後にミュンヘン協定において、ハンガリーがポーランドとともに獅子の分前に與る素地を設けたこと既に指摘した通りである。

ミュンヘン協定調印後ハンガリー政府は一九三八年十月九日より、チエコスロヴァキア政府と交渉を開始し、同月サトラルジャ及びイポリサグ方面の引渡しにつき取極めが成立したが、その後事態紛糾したため、獨伊兩國政府は十月二十四日、仲裁を提議し、十一月二日、ウイーンにおける仲裁判決によつて右の紛糾を解決し、チエコ・ハンガリーの新國境を劃定した、しかしこれで問題は終つたのではない。

#### △ハンガリー軍の進駐

ミュンヘン協定及びその實施によつて、チエコスロヴァキアの事態が小康を得たのも束の間、スロヴァキア及びカルパト・ウクライナの高度自治實現より遂に獨立共和國の建設、ベーメン・メーレン保護領の出現等に至つた次第は先に述べたところであるが、最後になほカルパト・ウクライナの問題が残つてゐる、蓋しハンガリー政府はこの地域こそ、マジヤール民族の棲住地帯であるとし、ミュンヘン協定後の邊境地域獲得では満足してゐなかつたからである、即ち更に全カルパト・ウクライナの併合を狙つてゐたのであるが、その機はチエコ共和国の三分された時である。

ハンガリー首相テレキ伯は、一九三九年三月十六日の議會において

一、ハンガリー軍は短時日の間に全カルパト・ウクライナを占領すべきこと  
一、同地はハンガリーに死活的利害關係あり、過去千年の間ハンガリーの地に屬してゐたものでこれを「母國」に復歸すべきこと  
一、ルテニア同胞に對しては自治を許すべきこと

を聲明した、この日カルパト・ウクライナ首相アウグスチン・ヴォロシン以下閣員は、シゲトウル方面よりルーマニア領内に亡命し、ルーマニア政府に對して寧ろ全カルパト・ウクライナの併合を要求したのであるが時機既に遅く、ハンガリー軍先鋒部隊は三月十六日、早くもポーランド國境線まで進出したのである。

#### △少数民族の消長

今次ソ聯のウクライナ共和國に編入されたカルパト・ウクライナの民族が、今迄に幾度か主を變へたこと、その獨立は全く一瞬時に過ぎなかつたことは、以上述べた所で分明であらう、要するに西歐の民族自決主義は、民族本然の立場を考慮して忠實に守られてゐるのではなく、時の國際的勢力の消長により、或は右に或は左に振られるのである、カルパト・ウクライナの動きはその典型的な例で、その支配者の民族はチエツコ人、ドイツ人からマジヤール人となり、最後に今度はソ聯邦となつた、尤もカルパト・ウクライナといはれる通り、ウクライナに編入されれば一應同一民族の合體ともいへるのだが、かうしたソ聯の主張を容れるとすれば、先にハンガリー人がこの地域をもつてマジヤール棲住地域としたのは、全くの虚言となる、然しマジヤール地域ともいひ得ることは、地理誌的にも指摘出来るやうだ、一方を立てれば他方が立たぬといふのが少数民族問題の痛である、ルーマニアあたりも一言挟みたいであらう、筆者もまたカルパト・ロシアはよりロシア的ではないかとハンガリー新聞記者に水を向けたら、眞向ふから反對されて長々と講釋された經驗を有するが、果してロシア人の地がマジヤールの地か、或ひはルーマニア人の地かは客觀的には斷定しかねることである。



新國際司法裁判所規程(上)

まへがき

米英等聯合國は戦後の國際安全保障體制を確立する基本構成として、六月二十五日の桑港會議において國際憲章を採擇したが、この中にはハーグの常設國際司法裁判所に代る國際司法裁判所を設ける旨の規定がある、國際憲章は前世界大戰後の平和機構として採擇した國際聯盟規約に相當し、當時これと平行して國際紛争の司法的解決に當るため、常設國際司法裁判所設置に關する議あり、一九二〇年十二月十六日、常設國際司法裁判所規程並びに議定書が採擇された、今次聯合國は前大戰の場合と同様、新たに國際司法裁判所機構を確立するため、専門家に起草を委嘱してゐたが、新「國際司法裁判所規程」英文草案は六月二十二日調整委員會及び法律家諮問委員會で承認され、フランス文草案も同日法律家諮問委員會で承認された後、六月二十五日、憲章と一體をなす附屬書として採擇された、右草案の作成が新國際憲章第十四章第九十二條以下の規定に基くこと、恰も國際聯盟規約第十四條において、常設國際司法裁判所設置案につき規定し、これに基き上述の裁判所規定が作成されたのと同様である、これは現行裁判所規程第一條に「國際聯盟規約第十四條により常設國際司法裁判所を設く」と規定してゐるのと同様、新裁判所規程第一條に「聯合國憲章により國際司法裁判所を設置する」旨規定してゐるのにもみても明かである

△現行規程との比較

新規程は全五章七十條よりなり、第一章裁判所の構成、第二章裁判所の管轄、第三章手續、第四章勸告的意見は全く現行規程の構成と同様でありただ新規程に第五章修正が加へられた點が異なる、以上のほか規程の具體的内容に至つても、新規程が現行規程を踏襲したものであることは、國際憲

章第九十二條において「國際司法裁判所は附屬規程により運用さるべく、右規程は常設國際司法裁判所規程に基くものである」としてゐるのによつても分明である

ただ強いて現行規程と異るところを挙げれば、現行規程が國際聯盟規約を基礎としてゐるのに對して、新規程は國際憲章を基礎としたこと上述の通りであり、從つて第二に現行規程上聯盟總會及び聯盟理事會との關聯事項は新規程では安全保障理事會(The Security Council)及び總會(The General Assembly)に代つてゐることである、また新裁判所の恒常的所在地が、ハーグであることも現行常設國際司法裁判所と異らない、その他多少の相異はあるが、詳細な比較検討は省略することとする

なほ茲に附言を要するのは、前掲國際憲章第九十二條中に「國際司法裁判所が同憲章の附屬規程であり、これと不可分の一體をなす」と規定してゐるに鑑み、桑港會議で大憲章が議決せられたと同時に、本規程も一括採擇されたことになり、關係國が特に留保を附さぬ限り、大憲章の批准發効と共に本規程も效力を發生することである、以下の譯文は電文に幾分の遺漏あつたため、稍確實を缺く點もあるかと思はれるが、大體現行規程の當該條約を参照して補足し、且つかかる場合はその都度その旨を注記して置いた(入江)

△國際司法裁判所規程(試譯)

第一條 聯合國の基本的司法機關として聯合國憲章により設立せられたる國際司法裁判所は本規程の規定に從つて構成し且運用せらるへし

第一章 裁判所の構成

第二條 常設國際司法裁判所は德望高く且各其の國に於て最高の司法官に任せらるるに必要なる資格を有する者又は國際法に堪能の名ある法律家の中より其の國籍の如何を問はず選舉せられたる獨立の裁判官の一團を以て之を構成す

第三條 裁判所は裁判官十五名を以て之を構成す如何なる場合に於ても其の中同一國人二名を得

す

裁判所の裁判官たる目的上一國以上の國籍を有す  
す」と認めらるる者は其の通常民權政權を行使す  
る一國の國民と見做すへし

第四條 裁判所の裁判官は常設仲裁裁判所の國別  
裁判官團により指名せられたる者の名簿により  
次の規定に従ひ總會及安全保障理事會之を選舉  
す

常設仲裁裁判所に代表せられざる聯合國に付て  
は候補者は國際紛争平和的處理に關する一九〇  
七年の海牙條約第四十四條により常設仲裁裁判  
所裁判官に付規定する條件と同一の條件により  
その政府か之か爲指名したる國別團之を指名す  
へし

特別の取極なきときは總會に裁判所規程を受諾  
したるも聯合國の一員に非ざる國か裁判所の裁  
判官の選舉に参加することをを得る條件を安全保  
障理事會の提議に基き決定すへし

第五條 選舉の日より少くとも三月前聯合國事務  
總長は本規程に加はりたる諸國に屬する常設仲  
裁裁判所裁判官に及第四條第二項に依り指定せ  
られたる國別團に裁判所の裁判官の任務を諾ふ  
ことあるべき者の指名を一定の期間内に國別團  
毎に爲すべきことを書面を以て依囑す

國別團は如何なる場合においても四名より多く  
を指名することを得ず、其の中二名より多から  
ざる者が自國の國籍を有する者たるへし、如何  
なる場合に於ても指名する候補者の數は充すへ  
き席の數の二倍を越ゆることを得ず

第六條 國別團は右指名を爲すに先ち自國の最高  
司法裁判所、自國の法律大學及法律學校並に法  
律研究に従事する自國の學士院及國際學士院の  
自國人の意見を徵することを應憑せらる

第七條 事務總長は斯く指名せられたる一切の者  
の名簿を「アルファベット」順により作成すへ  
し第十二條第二項の場合を除くの外右の者に限  
り選舉せられ得るものとす

事務總長は右名簿を總會及安全保障理事會に交  
付すへし

第八條 總會及安全保障理事會は各別に裁判所の  
裁判官の選舉を行ふへし

第九條 各選舉に於て選舉人は裁判所の裁判官と

して選舉せらるる者か必要なる資格を各自具備  
すべきのみならず總體として主なる文明の形態  
及世界の主たる法律の系統を代表すべきことの  
保障せらるるやう留意すへし

第十條 總會及安全保障理事會に於て投票の絶對  
多數を得たる候補者は之を當選したるものとす  
安全保障理事會の投票は裁判官の選舉のために  
すると、第十二條に規定されたる協議會員の指  
定のためにするを問はず安全保障理事會の常任  
委員及非常任委員の間に區別なく行はるへし  
總會及安全保障理事會雙方の投票により同一國  
の國民二名以上當選したる場合に於ては最年長  
者のみ當選したるものとす

第十一條 選舉の爲開かれたる第一回の會の後尙  
充すべき一以上の席ある場合において第二回の  
若し必要あるときは第三回の會を開くへし

第十二條 第三回の會の後一以上の席尙充されざ  
るときは總會及安全保障理事會各別の採擇に付  
する爲尙空闕の各席に付一名を選出する目的を  
以て、三名は總會より、三名は安全保障理事會  
より指定せられたる計六名より成る連合協議會  
を總會又は安全保障理事會の何れかの請求によ  
り何時にても設くることを得

必要なる條件を充す者に付連合協議會か全會一  
致を以て合意したるときは右の者は第七條に掲  
ぐる指名名簿中に加へられざりしと雖も右名簿  
中に加へらるることを得

選舉を實行すること能はざるへしと連合協議會  
か認むるときは既に指定せられたる裁判所裁判  
官は總會又は安全保障理事會の何れかに於て投  
票を得たる候補者の中より選定して安全保障理  
事會の定むる期間内に空闕の席の補充を行ふへ  
し

裁判官の間に於て投票の同數なる場合に於いて  
は最年長の裁判官は決定投票權を有す

第十三條 裁判所の裁判官の任期は九年とし再選  
せらるることを得但し第一回選舉により選舉せ  
られたる裁判官中五人の裁判官の任期は滿三年  
により終了し他の五人の裁判官は滿六年により  
て終了す

(譯註、本項末段但書の一部は電文に遺漏あり、

正確を期し難し)

上掲の三年及六年の最初の期間により任期の終了すへき裁判官は第一回選挙の終了次第直ちに事務総長に於て行ふ抽籤により選定す

裁判官は其の更任に至るまで職務の執行を繼續すへし更任後と雖も着手したる事件は之を完了すへし

裁判所の裁判官の辞任の場合には辞表は事務総長に轉送せらるる爲裁判所長に送付せらるへし右轉送により空闕を生ず

第十四條 空闕を生したるときは第一回の選挙に付規定したると同一の方法により之を補充す但し事務総長は第五條に規定せらるる委嘱を爲すへく且選挙の期日は安全保障理事會に依り決定せらるへし

第十五條 任期の未だ滿了せざる裁判官に更ふる爲選挙せられたる裁判所の裁判官は前任者の殘任期間その任に在るものとす

第十六條 裁判所の裁判官は政治上又は行政上の一切の職務を行ふことを得ず、又職業的性質を有する他の一切の業務に従事することを得ず右に關する疑義は裁判所の裁判により之を決定す

第十七條 裁判所の裁判官は一切の事件に於て代理人、輔佐人又は辯護人として行動することを得ず

裁判所の裁判官は係争當事國の一方の代理人、輔佐人若は辯護人、國內若は國際の裁判所の裁判官又は審査委員として其の他一切の資格に於て嘗て干與したる一切の事件の裁判に參與することを不得す

右に關する疑義は裁判所の裁判に依り之を決定す

第十八條 裁判所の裁判官は他の裁判官の全員一致の意見に依り必要なる條件を充さざるに至りたる場合を除くの外解任せらるることなし右の正式の通告は裁判所書記より事務総長に之を爲すへし

右の通告は席を空闕ならしむるものとす

第十九條 裁判所の裁判官は裁判所の事務に従事

する間外交官の特權及免除を享有すへし

第二十條 裁判所の右裁判官は職務を執るに先ち公平且誠實に職權を行使すへきことを公開廷に於て嚴肅に宣言すへし

第二十一條 裁判所は任期を三年とする裁判所長及裁判所次長を選挙すへし、裁判所長及裁判所次長は再選せらるることを得

裁判所は裁判所書記を指定すへし、又その必要とすへき他の職員の指定につき規定することを得

第二十二條 裁判所の所在地は海牙に之を設定す但し右は裁判所が希望する如何なる他の地に於て開廷し又其の職權を行使することを妨ぐるることなし

裁判所長及裁判所書記は裁判所の所在地に居住すへし

第二十三條 裁判所は裁判所の休暇中を除き常時開廷せらるへく右休暇の時期及期間は裁判所之を決定す

裁判所の裁判官は定期的休暇を得るの權利を有すへく其の時期及期間は裁判所により海牙と各裁判官の家庭との間の距離を考慮して決定せらるへし

裁判所の裁判官は正規の休暇又は病氣若は裁判所長が正當なりと認むる他の重大なる原因に依る故障の場合を除くの外常に裁判所の命に應し得るの義務を負ふ

第二十四條 裁判所の裁判官は特別の理由に依り特定の事件の裁判に參與すへからすと自ら認めたるときは裁判所長に其の旨申出づへし

裁判所長は裁判所の裁判官が特別の理由に依り特定の事件に參與すへからすと認めたるときは其の者に其の旨通告すへし

右何れの場合に於ても裁判所の裁判官及裁判所長の意見一致せざるときは裁判所の裁判に依り之を決定すへし

第二十五條 別段の明文ある場合を除くの外裁判所は全員出席して之を開廷すへし

裁判所を構成する爲命に應し得る裁判官の數か十一名を下らざることを條件とし裁判所規則

は事態に應じ且順番を以て一名又は二名以上の裁判官が出席せざることを得る旨を規定することを得

尤も九名の裁判官の定足数は之を以て裁判所を成立せしむるに足るものとす

第二十六條 裁判所は特別の部類に屬する事件、例へば勞働事件及通過及交通に關する事件を審理する爲裁判所の決定するところに依り三名又はそれ以上の裁判官より成る一又は一以上の部を適時設くることを得

裁判所は何時にても特別の事件を審理する爲部を設くることを得、右の部を構成する裁判官の數は裁判所に依り當事者の同意を得て決定す事件は若し當事國か之を請求するに於ては本條に定むる部に於て裁判す

第二十七條 第二十六條及第二十九條に定むる何れかの部に於て與へられたる判決は裁判所により下されたるものと看做す

第二十八條 第二十六條及第二十九條に定むる部は當事國の合意を以て海牙以外の地に之を開廷することを得

第二十九條 事務の迅速處理の爲裁判所は當事國の請求に依り簡易手續を以て事件の裁判を爲すことを得る五名の裁判官より成る部を毎年設くへし、尙二名の裁判官は出席すること能はざる裁判官に更ふる爲選定せらるへし

第三十條 裁判所はその手續を定むる爲規則を制定す、殊に簡易手續の規則を定むへし

裁判所規則は投票の權利なく裁判所又は其の何れの部にも出席すへき輔佐員に關し規定すへし

第三十一條 各係爭當事國の國籍を有する裁判官は裁判所に繫屬する事件に付出席する權を有す裁判所か其の裁判官席に當事國の單に一方の國籍を有する裁判官を有する場合に於ては當事國の他方は裁判官として出席すへき者一名を自ら選定することを得、右の者は成るべく第四條及第五條に依り候補者として指名せられたる者の中より選定せらるることを要す

裁判官か裁判官席に當事國の國籍を有する裁判官を有せざる場合に於ては各當事國は前項に依り裁判官の選定を爲すことを得

本規定は第二十六條及第二十九條の場合に之を適用す、右の場合に於ては裁判所長は部を構成する一名又は必要あるときは二名の裁判官に對し關係當事國の國籍を有する裁判官の爲に及裁判官なき場合又は故障ある場合には當事國の特に選定する裁判官の爲に席を讓ることを求むへし

同一利害關係に數當事國ある場合に於ては其の當事國は右の規定の適用に關しては之を單なる一當事國と看做す、右に關する疑義は裁判所の裁判に依り之を決定す

本條第二項、第三項及第四項の定むる所により選定せられたる裁判官は本規程第二條、第十七條第二項、第二十條及第二十四條の條件を充すへし、右裁判官は其の同僚と平等の立場に於て裁判に參與す

(譯註、本條各項は電文に遺漏多く、其の推定し得る限り現常設國際司法裁判所規程第三十一條を參照譯出せり)

第三十二條 裁判所の裁判官は年俸を受く  
裁判所長は特別の年手當を受く

裁判所次長は裁判所長の職務を執る各日に付特別の手當を受く

第三十一條の適用に依り選定せられたる裁判官にして裁判所の裁判官たらざるものは其の職務を執る各日に付補償を受く

右俸給、手當及補償は總會に依り定めらるべく任期中減せらるることを得す

裁判所書記の俸給は裁判所の提議に基き總會に依り定めらる

裁判所の裁判官及書記に對し恩給の支給せらるる條件並に(裁判所の裁判官及)書記か其の旅費の償還を受くる條件は總會の採擇せる規則之を定む

右俸給補償及手當は一切の租税を免せらるへし(譯註、本條第七項の括弧内は電文には存せざりしも現行常設國際司法裁判所規程の當該條項に照らし電文の遺漏に非るなきやを疑はるるために挿入せるものなり)

第三十三條 裁判所の費用は總會の定むる方法に依り聯合國之を負擔す

(未完)



昭和二十年七月十日(火)  
第三四七八號

# 同盟通信

## 海外電報

(157)

敵の呼號する「爆撃の夏」は中國及び九州に對する連續暴爆並びに關東地方への頻々たる小型機の來襲に、日本海をも含む全沿岸航路に對する機雷作戰を加へて逐次激化の兆を示してゐる、爆撃の方法は焼夷彈と爆彈とを混用する徹底破壊戰法で集中的に一都市づつを癱瘓無力化させる戰術とみられる、然しながら戰術は情勢に應じて刻々變化するものであり、昨日の戰術をもつて明日の攻撃を豫想することは甚だ危險だといはなければならぬ、爆撃により日本の戰力を低下させるといふ戰略には變りはないわけだから防空施策も根本的には戰力の維持昂揚であるべきだが、それには豫想し得るすべての敵戰術に對して防衛計畫を立てることが必要だ、現段階における防空の主役が



國民自身であることを思へば國民の防空教育こそ最も肝要だといふべきであらう  
處が實際に國民は自ら體驗したことしか知つてゐない、焼失彈で焼け出されたものは火事が空襲だと思つてをり、山間に住むものは空襲と没交渉の生活をしてゐる然るに敵は米英共同で地下工場破壊用のロケット爆彈を製造したり英空軍爆撃隊參謀長の言明によれば十一噸爆彈を太平洋戰に使用する計畫も立ててゐる

十一噸爆彈を使用するための基地がないだらうとか、山嶽地帯の空襲は都會がすんでからだらうとか考へることも獨りよがりすぎる、自分勝手に敵基地の收容能力や實働機數を計算して、大規模都市爆撃は不可能だと決め込んでゐた人たちが三月十日の東京爆撃にいかにか慌てたかを考へてみるがよい、大型爆彈のことだけではない、現在小型機來襲といへば急降下爆撃や機銃掃射だけだと思つてゐるが、B30「パースファインダー」のごとくP38を改装して精密水平爆撃の出來るやうにしたのもある、戰闘爆撃機による編隊爆撃も可能なのだ、恐れる必要はない、備へがあれば空襲警報を子守歌だと思つてもよろしい、問題は敵を知り萬全の對策を立てることだ

### 目次

聯合軍司令部を解散	一九八二
英本國軍司令部解散	〃
ベルシヤ灣經由援ソ物資	〃
タンジール問題ソ聯の主張	〃
イーデンの息子行方不明	〃
米軍需生産年次報告	一九八三
國務長官三顧問任命	〃
「平和省」設置の迷案	〃
ニクワラグア批准一番乗り	〃
ソ聯、獨捕虜四百萬を要求	〃
伯林占領米軍司令	〃
大量裁判に意見一致	〃
佛遂にレヴァントに屈服	一九八四
加、瑞西、波政府を承認	〃
國民參政會開催	〃
顧維鈞歸任	〃
宋子文の訪ソ目的	〃
【特 輯】	〃
ドイツに恟える米英	一九八五

### ソ聯で大赦令

(ストツクホルム八日發) 八日のモスクワ放送によれば、ソ聯邦最高會議幹部會は對獨戰勝を記念して大赦令を發した

### スターリン、宋會見

(リスボン八日發) ロイターモスクワ電によれば重慶行政院長宋子文は七日夜スターリン元帥を訪問會談した

### 英首相アンダイへ

(ストツクホルム七日發) マドリッド來電によれば英國首相チャーチルは七日午後夫人を同伴してフランス、スペイン國境の小邑アンダイに到着した、右に關し英國政府は

チャーチル首相はベルリンの三頭會談に出席する前數日間休養を攝るため、アンダイに赴いた従つて今回の旅行は全く個人的な性質のものであると發表した

## 聯合軍司令部を解散

(リスボン八日發) パリ來電 歐洲侵攻聯合軍最高司令部は七日次の通り發表した  
「聯合軍最高司令部並びに同司令部所屬の聯合軍は七月三十日乃至三十日頃解散する豫定である」

## 英本國軍司令部解散

(リスボン八日發) ロンドン來電 英國陸軍省は七月十五日を以て本國軍司令部を解散する旨八日發表した、英國軍は一九四〇年夏ドイツ軍の英本土上陸に備へて組織され、その任務は海岸地區の防衛にあつた、初代の司令官は元帥アラン・ブルックで次いで大將バーテッド・パジエツトが指揮をとり、ドイツ軍の上陸の脅威が薄らぐと共に本國軍から多數の師團が北阿、シチリア、イタリアに派遣され最後にモンテゴメリーが指揮した第二十一集團軍もその主力を本國軍から提供された

## ベルシヤ灣經由援ソ物資

(リスボン八日發) ロンドン來電 英國政府は八日次の通り發表した  
去る四月末までに英國がベルシヤ灣を通じてソ

聯へ送つた援助物資は五百萬噸以上に達した、以上のうちには兵器、航空機、醫療品、食糧その他ソ聯自身の生産に資すべき工業施設並びに軍需品が含まれてゐる

## タンジール問題ソ聯の主張

(モスクワ六日發) 米英佛三國代表はタンジールの地位につきパリにおいて先づ非公式會議を開くが、ソ聯政府も出席を主張して居り、参加が認められることとならう、ソ聯側の同會議に對する態度に關しては七月四日の「イズヴスチヤ」紙が次の通り代辯してゐる

ロシア政府は一八八〇年、英、佛、米、西四國とともにタンジールについて條約を締結し、次で所謂タンジール會議に参加した、参加國はドイツ、オーストリア、ハンガリー、ベルギー、スペイン、米國、英國、イタリア、モロッコ、オランダ、ポルトガル及びスエーデンであつたかくてロシアはタンジールに關して二個の條約

當事國となつたのである、しかし一九二三年、英、佛、西三國がパリに於てタンジール條約に署名した際には、英佛兩國がまだソ聯を承認してゐなかつたために、ソ聯はこれに招請されなかつた、又一九二六年、スペイン政府が新會議の開催を提議した時にも、ソ聯政府は招請されなかつた、當時ソ聯政府はロンドン、ローマ及びパリで聲明を出してソ聯を除外した決定は認めぬ旨を明かにした、その後一九四〇年に至つて、スペインのフランコ政權はタンジールの國際地帯を占據した、且つ英國政府の抗議にも拘らず、西領モロッコ高等辨務官アルゼーニ・オルガスは、一九四二年十二月三十一日、タンジールはスペインの保護領であると宣言するに至つた、ところが一九四五年、ヒトラー政權の瓦解に伴ひフランコ政府はタンジールの事態を調整したいとの希望を表明し、且つパリでタンジール問題討議のため、米英佛三國とともに交渉を開きたい旨を申述べた、ソ聯政府は六月三十日、フランス及び英國政府より七月三日、パリで會議を開く旨の通報に接した、然しソ聯政府は右の事前商議及びパリ會議には招請されなかつたのである

米國の如き、常にタンジール問題に參與しない國家で、パリ會議に参加することになつたのであるから、ソ聯の参加せぬ以上、タンジール問題を討議する資格あるものと認めることは出来ない、因つてソ聯政府は七月三日の會議に關して通報を受けるとともに、即時ソ聯の参加問題を討議決定するまで、會議の開催を延期するやう提議した、要するにタンジール問題はソ聯が参加して討議されることを要する

## イーデンの息子行方不明

(ストックホルム七日發) ロンドン來電 英國外相イーデンの長男サイモン・イーデンはビルマ戦線で英國空軍に勤務してゐたが、數日前作戦飛行中行方不明となつた旨七日發表された

△ △ △

社告 都合により本日より暫らくの間八頁建に致しますから御諒承願ひ上げます

【米 洲】

米軍需生産年次報告

(リスボン七日發)ワシントン來電「戰時生産局長官クルーグは六日米國の軍需生産狀況に關する年次報告を發表したがその要點次の通り

一、一九四四年に米國の軍需生産額は全世界軍需生産額の約半分にも近い四十五パーセントに達した、しかも民需方面においても米國は國民に潤澤な補給をなし得た

一、一九四三年夏以來米國の軍需生産額は月平均五十億弗を割つたことはなかつた

一、一九四四年における主な軍需生産額次の通り  
△飛行機 九六、三五九機(うち重爆撃機一六、〇四八機)

△艦船 三〇、八八九隻

△戰車 一七、五六五臺

△陸軍用トラック 五九五、三三〇臺

△野戰重砲及び榴彈砲 三、二八四門

△小口徑砲 七、四五四門

△陸軍航空機用ロケット發射器 一五三、〇〇〇

△パゾーカ砲 二一五、一七七門

△砲彈 一、四一六、七七四噸

國務長官三顧問任命

(リスボン六日發)ワシントン來電「國務長官ジエームズ・バーンズはベンジャミン・コーエン、ドナルド・ラッセル及びウォルター・ブラウンの三名を國務長官顧問に任命した旨七月五日發表した、以上三名はバーンズが戰時動員局長官を務めた當時の同局内の部下である

「平和省」設置の迷案

(リスボン七日發)ワシントン來電「共和黨上院議員ワイレーは七日議會に對し「平和省」設置に關する法案を提出した

右案によれば同省の長官は内閣の一員としての地位を保有し、聯合國機構の米國代表の中から任命されることになつてをり同省は「世界平和の維持に専任する」といふのである

ニクアラグア批准一番乗り

(リスボン七日發)マナグア(ニクアラグア)來電「聯合國憲章は六日ニクアラグア國會において承認され、大統領によつて批准された、憲章を批准したのは桑港會議參加五十個國のうちでニクアラグアが最初である

【歐 洲】

ソ聯、獨捕虜四百萬を要求

(チューリッヒ七日發)エキステンジ通信社のロンドン電によれば英紙「ヨークシャー・ポスト」は最近の紙上においてドイツ人捕虜に對するソ聯の意圖について左の通り報じてゐる

「ソ聯は自國の再建のため約四百萬のドイツ人捕虜を使用する意圖を有してゐる、しかるにドイツ人の捕虜の大半は聯合軍の手中にあるのでソ聯は捕虜のうち親衛隊、祕密警察隊、並びにナチ黨員全部の引渡しを米英兩國に要求するものと思はれる、従つてこの問題は來るべき三頭會議における重要議題の一つとしてとりあげられることになるだらう」

伯林占領米軍司令

(リスボン六日發)ワシントン來電「米國陸軍省は歐洲侵攻軍第一空挺軍團參謀長代將フロイド・パークスを伯林の米國軍占領地域司令官に任命した旨五日發表した

大量裁判に意見一致

(リスボン七日發)ロンドン來電「米英ソ佛四國代表から成る戰爭犯罪者會議は過般來ロンドンにおいて主要戰爭犯罪者を大量に公判に附すべしとの米國案について討議を重ねてゐたが七日米國代表ロバート・ジャクソンは「右問題について四國間に意見の一致を見るに至つた」旨言明した

續いてジャクソンは「公判が夏の終りまでに行はれることを余は希望する、また戰爭犯罪者の起訴については單なる報復といふ考へからでなく將來の侵略を阻止するための具體的對策としてこれを行はねばならない」と述べた

(リスボン七日發)レヴァントとフランスの確執は既に長期に亘り、その決定的解決はフランス側の譲歩以外にないと見られ特に紛争の一主要點たるレヴァント土民軍指揮權のフランスからシリアレバノン政府への移讓問題の解決が期待されてゐたが、七日のロイター通信社ロンドン電に依ればレヴァント駐在佛主席代表エチエンヌ・ペイネは七日聲明を發し右指揮權のシリア、レバノン政府への移讓を發表した、聲明内容次の通り

「佛政府はシリア、レバノン地方にある土民軍二萬五千乃至三萬の指揮權をシリア、レバノン政府へ移讓することに決定した、歐洲戰が終了した現在シリア及びレバノンが自國の國民軍を創設せんとする正當な希望に反對をする理由はない、佛政府としては兩國が主權の行使を行つて聯合國に伍しその役目を十分に果すことが出来るやうになつたことを喜ぶものである、しかして指揮權の移讓は大體一ヶ月半の公式手續を経て完了をみる筈である」

## 加、瑞西、波政府を承認

(ストックホルム七日發)カナダ、スイス兩國は新ポーランド統合政府を承認した旨七日發表した

## 【重慶】

## 國民參政會開催

(リスボン七日發)重慶來電「國民參政會は七日重慶において開催され、蔣介石は開會式に臨み重慶政權の當面の事業が一、日本の急速な打倒、二、立憲政府の樹立にある旨述べると共に重慶軍の素質向上を謳歌して大要次の様に演説した

「過去半歳に亘る重慶軍の反攻作戦は豫定の計畫通りに進捗し陸軍部隊の大部は再編成されてその實力を發揮してゐる、兵士の待遇並びに裝備は改善され重慶、米國の軍事的協力は満足する程度に行はれてゐる、支那戦域で敵を破擯するといふ重大な事業はわれわれ自身が行はねばならず、われわれはこの責任を回避するやうなことがあつてはならない」

(ストックホルム七日發)ロンドン來電によれば桑港會議への重慶代表としての任務を終へたロンドン駐劄重慶大使顧維鈞は来る十日ロンドンに歸任する豫定といはれる

## 宋子文の訪ソ目的

(ストックホルム七日發)モスクワ來電によれば宋子文は去る六月三十日モスクワに到着して以來二回に亘つてソヴェト政府首腦と會見、長時間協議を遂げたといはれる、會談の内容は依然として判明せず、一部では蒙古人民共和國首相チヨイ・バルサン氏が踵を接してモスクワを訪れたところから兩者の使命に何等かの關聯を持たせて考へてゐるが、モスクワからのロイター電報は七日次の通り報じてゐる

ソ聯、重慶兩國間のモスクワ會談は現在一時的な低調を示し、宋子文は蔣介石と盛んに打合せを遂げてゐるが、會談の内容が逐一米英兩國政府に通告されてゐるところからみると、恐らく聯合國陣營の協力問題に關するものと解されるいづれにしても會談は近く終了し、何等かの種類の聲明が發表されると思はれるが、モスクワの外交界はチヨイ・バルサン首相のモスクワ訪問を宋子文の使命と全然無關係のものとして解釋してゐる

他方英國の日曜新聞「オブザーヴァ」紙の極東記者は八日附の同紙上で宋子文の訪ソと新疆省の工業開發問題を結び付けて次の通り觀測してゐる  
新疆省政府は過去において非常に親ソ的であつたが、一九四二年國境問題に絡んで新疆、ソ聯兩國間に紛争が勃發するや、新疆省政府は重慶と歡を通じた、他方ソ聯は報復措置として新疆に對する工業援助を中止、そのため過去十年間トルクシブ鐵道とソ聯の商品に依存してゐた新疆省は大打撃を蒙つた、重慶政權は新疆省の開發に乗り出し、二年前蔣介石は親しく新疆省に乗り込んで開發事業を奨励したが、ソ聯の援助がない限り不可能なため、今回宋子文がモスクワを訪問して、新疆省の工業開發につきスターリン議長の援助を乞ふに至つたものと解される



ドイツに恠える米英

奥畑 稔

### △ナチ黨解體工作

米國上院議員リチャード・ラッセルによれば米軍は二十年間に亘つてドイツの一部を占領する豫定といはれるが、この長期占領軍にとつて當面第一の問題は何であるかといへば、ナチ一掃工作乃至はドイツの非ナチ化がそれである、實際にはドイツ國民七千萬のうちナチ黨員は數百萬程度に過ぎない様子だが、米軍政機關の民政部長少將ジョン・ヒルドリングが七月二日夜「ミュンヘン市だけについて見ても警官消防夫を別として一般職員の数は一萬二千を數へ、米軍當局は彼らの全部を「顯微鏡」で調査しなければならぬのだ」と述べてゐる如く、米軍の場合一々首實驗をしてをりかくては「史上最も大規模な探偵事業の一つ」とならざるを得ない譯だ、米國情報によれば現在までにナチ黨員の掃蕩工作を完了したのは米軍占領地域内でアーヘン並びにケルンの二都市のみでの仕事は遅々として捗らないといふ、それでは何故にこの仕事がかくも遅々として捗らずまた米軍當局は之が對策として如何なる手段を講じてゐるであらうか、暫く米軍政當局の言明について這般の事情を窺はふ

逮捕しなければならぬドイツ人を發見することとは巨大な仕事であり徐々にしか進捗してゐないがこの仕事の内容がどういふものであるかについて正しい考へはライオンランド北部並びにルール地區、即ち米英軍がこれまで最も長期に亘つて占領してゐた地方におけるこの仕事の進捗状況から獲得出来るのである、同方面の占領には米第二十二兵團が當つてゐるが同兵團の兵力約六萬であるのに比しこの地方は面積五千平方哩、人口は六百萬と推定されて居り、従つて占領軍將兵と住民の割合は一平方哩に十二人、ドイツ人百人につき兵士一人となる、勿論危険分子を發見調査し之を逮捕するといふ特別の任務に振り向け得る兵力は以上のうちの極く一部

に過ぎず、聯合軍最高司令部ではナチ黨の組織において或る程度の地位以上にあつた者は悉く自動的に逮捕するといふ方法に依つてこの問題の解決を容易ならしめてゐる、更に以上の範疇に含まれないものでも安全に脅威を與へる惧れがあると思はれる者は逮捕し調査されることは附言するまでもない、このほかにドイツの全國的乃至は地域の警察組織が八つあるが之に關しても同様でありまた準軍事組織として親衛隊、ヒトラー青年隊等の組織が九つあるが之らの指導者及び隊員もまた逮捕の對象となる、黨、軍、準軍事組織の全部について見るならば、八十一に上る階級があるが調査専任の將校は先づこれを熟知しなければならぬわけで、第二十二兵團ではドイツ人の分類といふ基礎的な仕事のために砲兵隊の將兵六百名を當ててゐる、さらにドイツ西部の占領軍である第十五軍は普通の状態において人口千百萬といはれる一萬四千平方哩の地域を占領してゐるが、同軍は六月二十三日までに三千九百六十人の一般ドイツ人を逮捕してをり、その約六〇%はナチ黨役員一五%は準軍事組織の構成員五%は秘密警察隊員残りの二〇%は他の種類の危険分子である、而して以上のうち二百人以上は特別の者として高級將校の取調べに移され五十人は戰爭犯罪者として告發されてゐる

### △地方自治の狀況

既にチャーチルが言明してゐる如く聯合軍の目的は少くも表面上ドイツ管理にあり直接軍政を布く譯ではない、従つて赤軍と同様各地に地方廳を設置し聯合軍の選任した反ナチ分子に依る自治を許容することになつてをり、例へばバワリア州の如きはフリードリッヒ・シェーファアを統監とする州政府の組織も完了してゐる、今第十二集團軍行政部長ピーター大佐が六月二十八日に發表したところに基いて地方自治の状況をみれば次の通りヴァルテンベルグを除く米軍占領地帯の各州は現在既に民政廳が設置されまた地域の行政機關も組織されてゐる、一方ドイツ人による下級裁判所も二十五ヶ所に作られ、それより一段上級

の裁判所も四ヶ所に設置された、之に應じてドイツ人の辯護士二百三十人、判事五十人が選ばれドイツ人に依つて構成される法廷並びに軍政機關の設置した法廷において職務を遂行することを許されてゐる、現在米軍の占領地帯内で機能してゐる軍政機關の設置した裁判所は合計四百九十六に上り既に之らの裁判所において七千件以上が審理されてをり、間諜罪で死刑を宣告されたものは七名、また一旦死刑を宣告され乍ら終身懲役に減刑されたものは五十名に達する更に民政廳に關して述べるならば米軍占領地帯内の何處においても新しいドイツの民政機關の職員は反ナチ分子から選ばれたもので市町村自治機關で使用される職員の任命は既に完了してゐる、現在までのところ米軍占領地帯で警官隊にはいつてゐるものは一萬二千人に上つてゐるが將來この警官隊の勢力は二萬となり之に依つて推定人口二千萬といはれる米軍の占領地域を處理することとならう

ソ聯がベルリンで直ちに市會を復活したのに比すことの出来るのはブレーメン市における市參事會の復活であらう、ブレーメンは英軍の占領地帯内にあるがドイツ占領軍の補給港として米軍が之を管理してをり従つて市參事會の復活を許容したのは米軍當局である、周知の如くブレーメンは古來獨立自主の機運が強い街で市民もナチ色に染まつてゐないので特に米軍當局はこの措置をとつたものと思はれる、もつともブレーメン地區軍政長官であるC・ウエルカー中佐が六月六日「ブレーメン市統治に關しては可能な限り多くの自由をドイツ人に與へる」と言明してゐるにも拘らず再生した市參事會は米軍政當局の指導の下に制限された権限しか與へられてをらず必ずしも善政といふことは出来ない、今回新しく任命された八人の市參事會員の色分けは以前のプロレタリア黨派である社會民主黨から三名、共產黨から一名とブルジョア黨派即ち國家民主黨並びに人民黨から四名となつてゐる、勿論これら八名の者は何れもナチ黨員ではなく彼らの大半はナチが政權を把握してゐる間公職に就いてをらず、嘗て共產黨員であつた新參事會員（會員の名前はまだ發表されてゐない）

の如きは一九三三年から四〇年まで強制收容所に入れられ、釋放後は地下運動に専念してゐたといはれる

### △工業管理の問題

ドイツ工業力の破壊については既に外國經濟院總裁レオ・クロリーその他米國政府首腦部が機會ある毎に「軍需産業に轉換し得る惧れのある工業は一切抹殺しドイツ人の生活を維持するに足るだけの民需工業は之を復活せしめる」旨言明し、更に空襲に依つて破壊されたドイツの工業施設は意外に少く全工業の八割程度は「無疵」に近いとの警告をさへ發してゐるが、この問題に關する聯合軍の政策を敵側の表現を借りて約言するならば「常時、ドイツの工業力を戰爭を起し得る水準以下に止めておくことにある」といへよう、ドイツの降伏以來重工業は完全に機能を停止してゐるが以上の方針に基いて米軍政當局は目下數百に上る工場を一々検査し、例へば貨物自動車、大砲或は小型機關銃等を生産し得るやうに之らの工場が轉換され得るかどうかを調べてゐるのである、かくてドイツ西部の占領に當つてゐる第十五軍の工業管理組織は一つの工業の夫々の部門を之らの部門における生産品に精通してゐる専門の部課に委託してをり、ドイツ人の製造業者に對しては書附扱ひが實施され、業者が將來これを通貨に替へる場合にはドイツ民政機關が之を引受けるといふことになつてゐる

更にこの問題について注目すべきは六月二十二日米國政界の長老であり大統領顧問の地位にあるバーナード・バルーチが發表したドイツ處理に關する十四ヶ條の計畫案である、彼はその中において聯合國はドイツの重工業を破壊するか乃至は他國に移すことに依つてドイツの戰爭を起し得る潜在力を悉く破壊すべきであると述べてゐる、バルーチの意見によれば聯合國はドイツ處理等について早急に決定的解決をつけ歐洲におけるドイツの支配力を徹底的に粉砕することが必要だがそれにはドイツの工業を東歐或は西歐の友好國に移し、潜在的軍事力を抹殺しなければならず、同時にドイツの輸出入を嚴重に管理し、また全世界に亘るドイツの商業組織及び資産を一掃して了はねばならないといふ

それでは一體ドイツはどの程度の民需工業を許すかといふ問題になるが之は必然的にドイツ人の生活と密接に關聯して来る、先づ食糧問題と密接なつながりを持つ、即ち聯合國としては被解放諸國の需要が全部満たされるまでは假令歐洲大陸に食糧を輸送してもドイツには與へないといふ原則を固持してをり而もドイツの特にドイツ西部の食糧事情が極度に悪化してゐることは比較的樂觀的見解を以て書かれた、次の「デリー・テレグラフ」紙六月十八日附報道に依ても十分窺はれよう

ライン地方においては今冬食糧事情が危機的段階に這入ると豫想される、第十五軍司令部の管轄下にある第二十二兵團の占領地域では二十日乃至三十日間分の主食糧の貯蔵があり、第二十三兵團の地域では四十五日間は大丈夫と見込まれてをり、第十五軍當局では以上の貯蔵を以てすれば今度の收穫までは十分だとの見透しをつけてゐるが、同時にこの數字は冬が来る前にさへ食糧不足が生ずる可能性の多いことを示唆してゐる

かくて聯合軍占領下のドイツ人は全く自給によるほか食糧問題を解決する方法がない譯で、聯合軍としても「人道主義」食糧の自給を援助しない譯には行かず、捕虜のうち農夫を優先的に釋放すると共に農産物の種子だけはドイツ人に提供してゐる模様だ、之と共に食糧品工業は操業を許可し、農夫に次いでこの種工業に従事する勞働者も捕虜の中から釋放されてをり、「一之ら勞働者の釋放數の加速度的増加は農業と工業を援助してゐる」といはれてゐる、現在のところ米軍の占領地域全般については統計が出てゐないがラインランド北部ルール地區において操業再開を許可された小工場は二百五十に上るが、その大半は食糧品工場でありまた他の工場七十の操業再開申請は目下軍政當局に依て検討されてゐるといふがこの中には製薬工場、肥料工場等が含まれ更に或る程度の織物工場乃至製靴工場も操業を開始してゐる状態だ

### △農業國に顛落か

かくの如く工業力を制限され國內の自給にせい一杯の有様では近い將來ドイツに經濟的繁榮を求めめることは至難であらう、しかも輸出入もまた嚴

重な監視下におかれる以上ドイツの進路は極度に制限されざるを得ず、文化的に進歩した農業國の地位に顛落するほかないであらう、ライン州のドイツ人行政官ハンス・フックス博士は六月廿一日記者團との會見において「ドイツ工業の大半は破壊されてをりドイツは今後主として農業國の地位にたたねばならないだらう、同時にドイツ人は自衛の方法を學び、自分の家を再建し自己の食糧を生産し、都市の住民は野菜を作らなければならぬであらう、若しさうしなければ飢餓を免れることは出来ない」と悲壯な言を吐いてドイツの行くべき道を示唆してゐる、フックス博士は當年七十二歳の年齢で一九三三年ナチ黨に依てその地位を追はれるまで前後十一年間に亘つてライン州知事の職にあり、カイザー時代から通算すれば官吏生活實に三十年といふ熟練した行政官であるが、去る五月二十三日再び舊地位に復し聯合軍の統制下にライン州の行政運営に當り乍らこの言葉を吐かざるを得なかつた彼の心中や蓋し想像以上のものがあらう、扱てドイツ工業に對する極度の制限に伴つて他に幾つもの問題が発生するがその一つは重工業の抹殺による老大な失業者をどうするか、更にドイツ工業の管理といふが如き任務に果して軍政當局が堪へ得るかといふ問題も無視出来ない六月十七日附英紙「オブザーヴァ」の報道に依て之らの點を見るならば次の通りである

若し大工業地帯における夥しい失業者の發生が近いうちに阻止されないならば現在ドイツにおいて聯合軍がとつてゐる工業政策を思ひ切つて修正する必要がある、米英軍占領地帯において實施されてゐるただ一つの經濟政策は、之を分割し調整された地域的政策をとらねばならぬ、而して之を實施する前に現在の米軍占領地帯内における工業生産の全面的禁止令を撤廢し非軍事工業の操業再開を全般的に許容すべきであらう、以上の結論はルール、ライン、ザールの各地方における工業界の情勢に關する第十五軍司令部の報告から抽出されたものである、歐洲侵攻軍司令部の發した命令によれば聯合軍の軍事的必要のため乃至はドイツ人が最低限度の生活を維持し得るためにのみドイツの工場は操業出来ることになつてゐるが、第十五軍の占

領地域内においては多数の消耗品工業が許容されてゐるのに反し、それ以外の地域では軍事上の安全のためといふ理由だけで一切の經濟活動を制限してゐるのである、然るに第十五軍司令部の經驗によれば工業の管理といふ問題は窮極において軍政機關の能力を越えるものであるといはれ同司令部の報告はかくの如き巨大な任務はドイツ民政機關に依つてのみ遂行され得るといふことを暗に仄めかしてゐる、ここに經濟と政治とが結び付いて來る譯だ、かくて合理的な非軍事經濟といふものが考へられるとすれば原料燃料、勞力の配分も全國的規模において行はなければならぬことになる、ドイツ行政機關の能力と相異なる占領地帯間における協定が締結される可能性とはドイツの經濟並びに政治的將來の上に蔽ひかぶさる大問題といへよう

ついでにドイツ工業の管理が貧弱なスタッフしか持たない軍政當局にとつて容易ならぬ事業であることを證據だてる他の一例を挙げよう、即ち六月十八日附の「デーリー・テレグラフ」紙が第十五軍司令部からの報道として傳へてゐるところによれば

ドイツ工業の調査に當つてゐる將校連はクルツプ或はイー・ゲー染料の如き大工業トラストの場合管理に關する普通の基準に基いて之を處理することは餘りにも危険であるから特別の管理委員會の下におく可きである旨當局に報告したといはれる、そして現在イー・ゲー染料會社の幾つかの工場は肥料藥品等の生産を許可されてゐるが熟練工が著るしく不足してゐる様子だ

#### △敗北意識の不徹底

以上の聯合軍の諸政策或は交驩禁令の如き何れも少からぬ弊害を伴つてゐることが明かであるにも拘らず、依然として聯合軍當局がこれらの諸政策に思ひ切つて修正を加へようとならない理由は何であるかといへば、過般英占領軍司令官モンゴメリがフランクフルトで言明した如くドイツ人として敗戦の事實に徹せしめるためといひ得るのである、かくの如き勝者の心裡に報復の念が動いてゐることはいふまでもないが同時にドイツ人の優秀性に惧れドイツの再起に恟えてゐる點をも見

逃し得ない

「ニューヨーク・タイムズ」紙のドイツ特派員ドルー・ミドルトンは七月一日フランクフルト（アム・マイン）からドイツ人の間における敗北意識の不徹底と最近になつて漸くドイツ人が全般的に敗戦を意識し始めた事實を報じてゐるが、ミドルトンの次の記事の中に米英兩國の抱く微妙な「勝者の心理」を見出すことが出来る

ドイツ軍の降伏後殆ど二ヶ月を経た今日になつて漸くドイツ人は一九四五年の世界における彼らの眞の地位を認識しつつある、ドイツの大半特に米英兩軍の占領してゐる西部地帯は村落に至るまで一九三三年當時のドイツには似ても似つかぬほど破壊されてをり、一九三三年に初まると長い夢からいまだドイツ人は醒めつつあるのだ五月末までは「自分達は打ち敗かされたのではなくこれまで軍服を着てゐたものが平服を着た暴れ者になつただけだ」と考へてゐるドイツの空軍兵や歴戦の戦車擲弾兵が威張つて歩いてゐるのを見うけることが出来た、然し過去一ヶ月の間に事態は一變した、トラツクから降りた嘗ての兵士は新しい世界に這入つて行つた、同僚や多数の暴れ者から離れて彼は年寄りや女達に對して何が起つたかといふことを喋り始めたのだ、勿論ドイツが戦ひに敗れそれも一九一九年當時より一層ひどく打ち敗かされたといふことは一般ドイツ人にはかなり認識されてはゐるのだが、まだまだ彼らが世界において嘗て占めてゐた地位を喪失したといふ認識は徹底するに至つてゐない、ドイツ人が自國の物質的再建を開始するのをぐぐづしてゐるのも、彼らの世界における現在のドイツの地位と敗戦の結果を理解してゐないことに起因すると余は思ふ、ドイツ人は祖國再建について米英兩國からの援助を待つてをり、我々がドイツ人をして自力で再建させようとしてゐることを信じてゐないのだ、ドイツ人は敗れながらもなほ心中では自分達は偉大であり、他國の援助に値する立派な國民であると考へてゐる、ドイツ人は過去五十年に亘り自分達には神の掟も人間の規則も一切適用されないのだと考へて來たが彼らがこのやうな信念に囚はれてゐる限りドイツ問題は依然として續くであらう



昭和二十年 七月十一日(水)  
第三四七九號

# 同盟通信 海外電報

(158)

今日の歐洲において辛うじて樞軸國の殘影を留めてゐるフランコ將軍治下のスペインは、米英佛ソ四大國より種々な形で包圍攻撃を受け、その國際的孤立を脱却するために苦悶してゐる、而もこれら諸國の對西包圍攻撃は、口頭的外交攻勢だけではなく、フランスのやうに國境閉鎖に出たものもあり、米國のやうにフランコ政權の對米媚態に付け込んで、數々の利權獲得工作を進めてゐるものもある、スペイン人はマドリッド近郊の或る地點を「新ジブラルタル」と呼んで、眉を擧げてゐるといふ、ソヴェトの言論界は、フランコ政權抹殺論さへ出してゐる

かうした四面楚歌の國際環境に立つて、フランコ政權は先づ内部的にはフアシスト的性格の修正對外的には米英ソなど諸國との國交調整を試みてゐる、ロイター電によると、フランコ政權は過般來閣議を開いて(一)都市選



舉法案(二)權利法權(三)タンジール行政法案を審議採擇した後、今週の議會に提出して承認を求めた上、直ちに内閣の改造を斷行する筈と報じてゐる、内閣の改造はいふまでもなく、フアランへ黨出身閣僚の清算又は減員で、減員の場合は五人くらゐにするのではないかと見られてゐる、これは政府の陣營からしてフアシスト的性格を塗り變へようとするものだが、果して聯合國がかうした技術的な小手先で満足するかどうか、尤も聯合國の壓迫であつさり對日斷交をやつたフランコ政權であるから、強國の意向を迎へるためには、相當思ひ切つたことまでやるかも知れない

スペイン政府はタンジールの將來に關する行政法案を審議、議會に提出するといふが、これも列國がパリ會議を開いてタンジールの地位を再検討しようとしてゐる際であり、そこの空氣を看取つての施策であらう、然し米英佛などはスペインの意向を無視して、勝手にこれを料理しようとしてゐるのであり、フランコ政權嫌ひのソ聯もまた一枚加はりたいと申出てゐるのだから、今更タンジール行政をいぢり廻しても手遅れではあるまいか

## 敵空軍首腦作戰會議

(リスボン九日發) 沖繩來電によれば極東航空隊司令官大將ジョージ・ケネー及び太平洋戰略航空隊副司令官中將バーネイ・ジャイルスは沖繩島で第十軍司令官大將ジョセフ・スチルウェル及び同方面米海軍首腦と二日間に亘つて作戰會議を行つた、會談後ケネー、ジャイルスの兩名は同島の飛行場施設を視察したが、ケネーは空軍基地建设作業が計畫通り進捗してゐると述べた

## 【主要目次】

- スペイン内閣改造か……………一九九〇
  - サルタン陸軍總監に……………〃
  - 一週四十四時間制……………〃
  - ベルリン近況……………一九九一
  - 佛憲法改正閣議……………〃
  - 佛軍ライン進駐開始……………〃
  - ソ波民族交換協定……………〃
  - 希臘ユーゴ國境紛争……………一九九二
  - 濠首相決定……………〃
  - アメリカの引退を要望……………〃
  - トルーマンの人氣……………〃
  - 米改造内閣顔觸れ……………一九九三
  - 全國的に肉不足……………〃
  - 十五年振り皆既日蝕……………〃
- 【特 輯】
- ソ聯は重慶をどう観るか(上)……………一九九四

## トルーマン出發か

(リスボン九日發) ワシントン來電によれば大統領トルーマンはベルリンの三頭會談に出席のため先週末ワシントンを出發した模様で政界ニユースの素破抜きで有名な記者ドルー・ピアソンは九日夜の放送で「トルーマンは週末にワシントンを出發した」と述べてゐる、一方白雲館當局はトルーマンの動靜に關する報道には嚴重な檢閲を加へてゐる

## スペイン内閣改造か

(リスボン九日發) 樞軸國の崩壊により「歐洲の孤兒」となつたスペインのフランコ政權は聯合國陣營との關係調整のため對内對外兩面における政策の修正を試みつつあるが、マドリッド九日發ロイター電によれば、フランコ政權は近く内閣の改造を斷行、フアランへ黨出身閣僚を清算、若くは大巾減員を行ふものと見られる、右のためフランコは過日來頻繁に閣議を開催し、(一)都市選舉法案、(二)權利法案、(三)タンジール行政法案を審議したが右は數日中に議會に上程承認を求める筈で、内閣改造は議會が都市選舉法案可決の後直ちに行はれる筈である、新選舉規則に基く都市選舉は十月の豫定だが、これに先立ち政府の陣容を一新する方針といはれ、一説では藏相ホアキン・ベン・フメアは既に辭職し、商工相デメトリオ・カルセルが藏相を臨時代攝するものと見られてゐる、ロイター電は以上スペイン内閣改造問題に關聯して、フランコ將軍が来る十八日、スペイン内亂勃發記念日を期して、フアランへ黨評議會において重大聲明を行ふ筈と報じてゐる

## 三頭會談は十五日頃

(チューリッヒ八日發) 米英ソ三頭會談は十日前後ポツダムで開催の豫定と報ぜられたがロンドンワシントン及びモスクワの情報を綜合すれば、大體十五日前後と見られる、エキステンジ通信はイーデン外相の健康恢復状態と睨み合せて今週末頃だらうと報じてゐる

## 希臘アルバニア關係險惡

(チューリッヒ九日發) ギリシヤはさきにアルバニアに對し一部領土の割讓を要求、アルバニア政權から拒否されたが、右問題を中心に兩國關係は可成り險惡化した模様で、アテネからのエキステンジ通信によればアルバニア南部では國外追放その他の處罰を受けるギリシヤ人の數が日毎増加不穩な氣分が漲つて居り、アルバニア北部で多數のギリシヤ人が收容所に容れられ、或ひは財産を

沒收されて居るといはれ、恐らくギリシヤ政府は近く何等かの對抗措置に出るとみられる

## サルタン陸軍總監に

(リスボン九日發) ワシントン來電「印度・ビルマ方面米軍司令官中將ダニエル・サルタンは米國陸軍總監に任命された旨九日發表された

## 一週四十四時間制

(リスボン九日發) ワシントン來電「米國政府は開戦以來政府關係機關の官吏、従業員らに對して一週四十八時間勤務制を實施してきたが、大統領トルーマンは五日各官廳に要旨左の覺書を送り、その部分的廢止を指令した

政府各省、各機關は現在まで一週六日、四十八時間制を實施してきたが、今やこの勤務時間制を變更しうる時機に達したと考へる、されば、いまだ緊急事態の存續する陸軍省、海軍省、財務省、歸還將兵局、テネシー溪谷局、パナマ運河局を除き各機關は七月一日から一週四十四時間制を實施されたい

## ジャクソン巴里へ

(リスボン九日發) ロンドン來電「戰爭犯罪者會議の米國代表ロバート・ジャクソンはパリで戰爭犯罪者の證據蒐集並びに調査に當つてゐる關係當局と協議するため八日ウイリアム・ドノヴァンその他を帶同してパリへ向つた

## レーマン歐洲へ

(リスボン九日發) ワシントン來電「アンラ本部は五日次の通り發表した  
「事務總長ハーバート・レーマンは歐洲解放諸國におけるアンラの專業進捗状況を視察すると共に之ら關係諸國と協議するため歐洲に赴くはずである、レーマンは八月七日ロンドンでアンラの第三回理事會が開催される前にローマ、アテネ、ベルグラード等を訪問するはずで彼の不在中ロイ・ヘンドリックが事務總長の代行をする」

【歐 洲】

ベルリンの近況

(チューリッヒ八日發) 米英ソ佛四國間におけるベルリン共同占領の取極めに基いて、七月二日から四日にかけて米英軍は夫々ベルリン市内に進駐したが、八日ロイターベルリン特派員の報ずるところによれば米英兩軍のベルリン市内における軍政機關はいまだに機能するに至らず、依然赤軍當局がベルリン全市の管理に當つてゐるといはれる。米英兩軍は五日正午までに夫々劃定された自軍の占領地帯の接收を終へた様子だが、ジュニコフ元帥は當日改めて米英軍の占領地帯内における赤軍軍政機關支部に對し活動を續けるやう命令してをり、目下米英ソ三國代表間で續けられてゐる占領地帯相互間の物資交換協定が成立しない限り、ベルリンの共同管理問題は解決しないとみられる。ベルリン來電によれば八日ジュニコフ元帥、ルシナス・クレイ中將、ロバート・マーフイ並びに英軍代表の間で、ベルリン市民の給養問題について重要協議が行はれ、また同席上米英兩國代表から占領地帯相互間の物資交換制が提案された様子だが、いまだこの問題については各代表間に意見一致を見るに至らず、英ベルリン占領軍當局の言明によれば

以上の點はドイツ管理々事會乃至管理々事會代表より高い地位にある關係各國の表の協議に依つて解決されねばならない、しかして之が解決されるまでは我々の軍政機關が完全に機能することはないであらう

といはれる

ベルリンからのロイター電によれば赤軍當局はベルリン管理の重要項目として言論政策をとりあげ、既に五月十五日以來發行されてゐる「デーグリスチャー・レントシャウ」紙のほかに新しく社會民主黨の機關紙として朝刊紙を一つ、その他夕刊紙二つの發行を計畫してをり、又ドイツ通信社も設立されようとしてゐるといはれる、赤軍當局が目下計畫中のものとしては以上のほかに週刊寫眞雜誌、漫畫漫文を主とする娯樂雜誌があり、放送計畫についても更に改善しようと努めてゐる様

子だ、一方ベルリン市内における危険分子の肅清工作は赤軍の指導下に設置されてゐるドイツ人警官隊によつて續けられ、現在までに一萬人を逮捕し、人口十二萬(戰前四十二萬)といはれる英軍の占領地區間だけでも過去五週間に一千名に上るドイツ人が逮捕されたといはれ又米英軍がベルリン市内に進駐した今日でもドイツ人警官は兩軍占領地帯で檢索を續け逮捕したものは悉く赤軍當局に引渡してゐるといはれる

佛憲法改正閣議

(チューリッヒ八日發) パリ來電「フランス政府は七日に引續き九日も閣議を續開、憲法改正案を審議する豫定であるが、目下の各派の主張は次の通りである

一、ド・ゴール派及び急進黨は上下兩院制定を維持し兩院合同の國民會議で一八七五年の憲法修正をすべしと主張

一、左翼各派は上院を廢し一院制にする案で、新議會がそのまま憲法改正の權限を有するやうにしたい

七日の閣議後の政府公表で、今回の閣議決定により政府部内の結合には何等影響がないと特に附記したことは、この兩派の主張にある程度の妥協點が発見されたものと解される

佛軍ライン進駐開始

(リスボン八日發) ザールブリュッゲン來電「佛軍は七日ドイツ領ライン地區に進駐、米軍との交替を開始した、十五日までに交替完了の筈

伊、波政府承認

(リスボン八日發) ローマ來電「イタリア政府は六日の閣議でポーランド統合政府承認を決定、七日その旨發表した

ソ波民族交換協定

(ストックホルム八日發) モスクワ來電「ソ聯、ポーランド兩國政府は六日、相互に自國領内に在る相手國民族の國籍並びに住所を夫々相手國に復歸する協定に調印した

## 希臘ユーゴ國境紛争

(チユーリツヒ八日發)ベルグラード來電によればギリシヤ、ユーゴ兩國は一部國境地區の歸屬を繞つて交渉を重ねて來たが、最近國境にギリシヤ兵の發砲事件が頻發、チトー元帥は特に聲明を發してギリシヤ政府の注意を喚起した、ロンドン來電によれば英國消息筋では兩國國境において大規模な國境事件が勃發したのではないと觀測して居り、恐らくチトー元帥が來るべき平和會議に國境劃定問題を上程する積りでその前に自國の立場を有利にしようとして今回國境の小事件について特に聲明を發したものとみてゐる

## 【英 帝 國】

### 濠 首 相 決 定

(リスボン八日發)キャンベラ來電によれば濠首相ジョン・カーチンの死去に伴ふ後任は陸相フォードに決定したといはれる

### アメリーの引退を要望

(リスボン八日發)ロンドン來電〓過去五年間印度相の地位にあるレオポルド・アメリーに對しては印度は勿論英國内においても無爲無策の非難が集中してゐるが、在英印度國民會議派委員會委員長プリン・B・シールは七日アメリーが現地位にゐる限り印度問題の解決は不可能だとして次の通り述べた

「若し英國の内閣が變れば印度の獨立實現の過程において些細な意見の相違も起らないであらう、思ふに自由な見解と社會主義的政策を有する人物が印度相に就任すれば印度における一切の困難は直ちに解決され得る、一方またアメリーが總選舉後再び印度相として止まるならば印度政情の行詰りは依然として續くであらう」

## 世界商業會議所會議

(リスボン八日發)シアトル來電〓世界商業會議

所國際會議は八月六日からロンドンで開催され米國商業會議所會頭エリック・ジョンソンが代表として右會議に出席するが會議の中心議題は

- 一、國際商業取引の復活
- 一、戰災國民への物資供給案
- 一、通貨安定策
- 一、物資交流問題

である

## 【米 國】

### トルーマンの人氣

(リスボン八日發)ワシントン來電〓ギャラツプ輿論調査所は新大統領トルーマンの施政に對する民主、共和兩黨員の意見を調査、左の結果を發表した

トルーマンの施政に賛成 八七%  
同 反對 三%  
同 賛否不定 一〇%

故ルーズヴェルトが最高の賛成投票數を得たのは一九四一年一月に於ける調査の八四%であつた

### ホプキンス會社理事長に

(リスボン八日發)ニューヨーク來電〓米國政府顧問を辭任したハリイ・ホプキンスは今回ニューヨークの婦人衣服工業會社名譽理事長に就任、その旨同社社長から發表された、ホプキンスは數週間休養後實務に就く豫定

### 戰後軍事訓練案可決

(リスボン六日發)ワシントン來電〓下院戰後軍事政策委員會は五日戰後軍事訓練法案を可決して本會議に廻附した、法案の要旨次の通り

- 一、米國の青年はもれなく平和時において一年間の軍事訓練を受ける
- 一、一年の訓練を終へた者は豫備役に編入され、

戰爭乃至國家非常時に際して召集に應ず

一、但し議會の宣言した國家的非常時の場合以外現役に召集することを得ず

### 改造内閣顔觸れ

(リスボン八日發) ワシントン來電ニ大統領トルーマンは既にその内閣の閣僚十名のうち六名を更迭し、ルーズヴェルト時代からの閣僚は僅か四名に過ぎず、名實共にトルーマン内閣が形成されるに至つた、留任閣僚のうちにもなほ辭職を噂されてゐる者もあり、トルーマンの内閣改造が果してこの程度で終るか否かは不明だが、現在までの改造によるトルーマン改造新内閣の顔觸れ次の通り

#### △新閣僚

農務長官 クリントン・P・アンダーソン(南部)

部ニユー・メキシコ州出身)

検事總長 トム・C・クラーク(南部テキサス

州出身)

郵政長官 ロバート・E・ハネガン(中西部ミ

ズリー州出身)

勞働長官 レシス・B・シユウエレンバック(北

西部ワシントン出身)

國務長官 ジエームス・M・バーンズ(南部南

カロライナ州出身)

財務長官 フレッド・M・ヴァインソン(中南部

ケンタツキー州出身)

#### △留任閣僚

内務長官 ハロルド・L・イツキーズ(中西部

イリノイ州出身)

海軍長官 ジエームス・V・フォレストル(東

部ニユーヨーク州出身)

陸軍長官 ヘンリー・L・スチムソン(東部ニ

ユーヨーク州出身)

商務長官 ヘンリー・A・ウォレス(中西部ア

イオワ州出身)

新閣僚のうちヴァインソンのみは上院の承認を経ずまだ正式には就任してゐない

### 全國的に肉不足

(リスボン八日發) ニューヨーク來電ニ全國的な食料不足、なかんづく肉飢饉は政府當局大童の對策にも拘らず、その後あまり緩和の兆を見せてゐないが、「ニユーヨーク・タイムズ」紙は先週全米にわたつて調査した結果を八日の紙上に次の通

り報じてゐる

肉飢饉は今や全國的な現象となり、この結果米國民の食膳は肉から卵乃至魚肉への大轉換を餘儀なくされるに至つた、全米二十一の主要都市について調査したところによると、肉屋によつては肉類を持つてゐる店もないではないが、しかし色々な肉類を取揃へておくといふやうなことは既に望まれなくなつた、例へばある店に牛肉はあるにしてもヴァイルとかラムとかいつたものはない、一方ベーコンやハムも非常な不足で殆ど入手できない有様だ、ニユーヨークでは早くから一週二回の肉なし日が設定されてゐるが、その他各都市でもこれにならふところが増加して来た

肉類を一番たやすく食べるのできるのはホテル、料理店等である、これはこれ等の店が普通の人々より逸早く肉類を手に入れてしまふからである、木曜日は肉の販賣に何等の制限も附されてゐないのだが、この日の調査によると、ポストンの料理屋では開店暫くは肉があるが、またたく間になくなつてその後最大の御馳走は魚肉及び卵といふことになる、またワシントンのホテルではお客達は専ら海産物、鶏肉、野菜料理でがまんしてゐる

### 十五年振りで皆既日蝕

(リスボン八日發) ワシントン來電ニ一九三二年から五四年の二十三年間に唯一回出現する皆既日蝕の現象が愈々九日朝米加兩國で見られるといふので、全米の天文學者は諸般の準備を整へて待機中だ、政府主催の日蝕觀測航海は今回は太平洋戰爭のため行はれないが、天文學者或ひは素人研究團體の觀測は各地で計畫され、プリンストン大學附屬測候所はモンタナ州マルタ近郊の山嶽からハーバート大學天文學者はカナダ、ウォルズレイから觀測を行ふ豫定である、一方ニユーヨーク・ハイドン天文臺の素人天文學者協會はモンタナ州ビユツテを足場として天然色映畫の撮影を企畫してをり、更に同天文臺技師はニユーヨークで日蝕繼續期間中その状況を放送する豫定である



ソ聯は重慶を

どう観るか？(上)

原子林 二郎

### △宋子文モスクワに行く

重慶政權行政院長宋子文のモスクワ訪問を契機として、米國有識階級の見解を代表する言論機關は米國政府に支那政策の再検討を要望するに至つてゐる、たとへば「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙は六月二十九日附の社説に於て、米國政府の支那政策が内亂を齎す以外ならぬ役割をも果してゐないと極論してゐるが、このことは重慶駐劄米國大使パトリック・ハレーがワシントンに歸還した際、二月二日記者團との會見において、延安政權に單なる武装政治團體の烙印を押し無視する態度をとり、米國政府は重慶政權を唯一の合法的政府と見做して、専ら武器軍需品の援助を與へる旨聲明して、米國政府の方針を明かにした事實を指すはいふまでもない、即ち同紙によれば、米國政府が一方的に重慶政權を支持することは、重慶を延安にけしかけるに等しく、渝延關係の激化を齎らし、延いては内亂を誘發する危険を自ら招くものだと痛論してゐるのだ。

また米國外交評論界の長老ウォルター・リップマンは六月二十八日大陸政策に關する米ソ兩國の政策に全然統一乃至は協調がみられぬことは「日本を勇氣づけ、抗戰意力を倍加するに役立つばかりである」と論じてゐるが、これは重慶政權を支持する米國政府と中國共產黨に同情を寄せるソヴェト政府との間に終極において東亞においても激突が起る可能性を指摘したもので、事態を重視する米國輿論の一部を反映したものと見て注目に價する、來るべき三頭會談では歐洲戦後問題と並行して東亞問題が検討される公算は極めて大きいがかかるとき親米派とも重慶政權における米國の番犬とも目されてゐる宋子文がモスクワを訪問したことは、トルーマン大統領の特使としてハリー・ホプキンスが三頭會談の下交渉のためクレムリン

宮殿を訪れたと同じ役割を聯想させ、われわれを吉應なしに結論に引張つて行くものだが、結論を急ぐ前にソ聯の對支政策特に重慶觀を檢討し、ソ聯と米國との支那政策が果して協調し得る性質のものであるかどうかを調べてみる必要があらう、なぜならばソ聯の支那政策はそのままソ聯の東亞全體の政策を知る尺度となり得るからである

### △重慶軍は何故敗れるか

ソ聯言論界の支那に對する關心が最近急激に昂まつてゐることは否定出來ぬ事實である、ソ聯共產黨機關紙の「プラウダ」や政府機關紙の「イズヴェスチヤ」は勿論、モスクワ放送も屢々支那問題をとり上げてゐるが、特に注目すべきものは古くから極東問題の論客として知られてゐるヴェイ・アヴァーリンが最近の「戦争と勞働階級」誌に發表した二つの論文である、人も知るソ聯はドイツと同じやうに輿論統制の完成してゐる國で、公けの刊行物に發表された個人の論文は大體においてソヴェト政府の公式見解とみて差支へない、従つてアヴァーリンが「戦争と勞働階級」誌の昨年十二月一日號に發表した「戦争の現段階における支那」と題する論文と同誌の本年四月十五日號に發表した「支那はどこへ行く？」と題する論文は當然アヴァーリンの個人的見解としてではなく、クレムリンの見解と解釋すべきであり、以上の二論文からソ聯の重慶觀を結論し、その支那政策を推察しても大過ないと考へられる

アヴァーリンは第一の論文、即ち「戦争の現段階における支那」と題する論文において、一九四四年の大陸戦線における日本軍の戰術的成功と重慶軍の「見苦しい敗戦」振りを述べ、その理由をつぎの通り指摘してゐる

「重慶の敗戦原因は何に存するか？ 日本軍が何故に支那において重要な軍事的成功をかくも容易に收めることが出来たかといふ問題を検討するならば、それは重慶支配層の採る政策の組織的缺陷

にあるといふ結論に到達せざるを得ない、この政策は支那の戦争努力の擴大強化に役立たずして寧ろその弱化と歪曲にのみ役立つてゐるのである、事實重慶支配層の有力分子は自己の個人的乃至は狹隘な黨派的利益を追求して、年々歳々軍事政治上における建設的政策の遂行を妨害してきた、彼等は重慶政権の政策を支那の進歩と民主主義發展の方向にむけずに、反動的措置と反民主主義的イデオロギーの培養の方向にむけてきた、即ちこれら反動分子は重慶政権と民衆との間を越え難い深淵をもつて引き裂かうと努めたのである、一九四四年の敗戦は以上の政策の必然的歸結であり、かかる政策が維持される限り、益々大きな危険を孕むに至るは明白である、支那からの情報並びに最近發生した諸事件から判断すれば、國民黨部内では反動的地主及び戦争によつて私利を貪る投機師金融業者の勢力が著しく強まつてをり、軍事戦略の決定に當つては愛國者の假面を被つた反動的將軍連が決定的發言權を確保してゐる實狀である」

## △重慶政権に胡坐をかく地主

アヴァーリンが以上の文章で指摘してゐることは、重慶政権の中樞的地位を占めてゐるのが聯合國の叫ぶ民主主義の實踐とはおよそ縁の遠い存在であり、彼等は日本に對する戦争の目的を純粹な私利私欲の追求に置いてゐるといふことだ、この意味で米國の新聞「ワシントン・ポスト」紙が一九四四年五月十四日附の紙上で次の通り指摘してゐることを想起すべきであらう

米國民は重慶政権が益々全體主義體制に傾いてゐる事實を特に不滿としてゐる、支那の民衆が自由主義的、民主主義的改革を希望してゐるのに對し、國民黨の政策は愈々苛酷となるばかりである

重慶政権の反動的傾向の背景をなす經濟的事實は何か？ アヴァーリンは次の通り述べてゐる  
「重慶政権の支柱をなす地主は農村における前資本主義的關係に自己の利益を見出し、現存秩序に依存して莫大な利潤をあげてゐる投機師や成金共

は社會經濟的乃至は政治的改革には耳をも藉さず經濟の戰時統制に至つては全く無視する態度を採つてゐる、かかる政策の結果農村における勤勞大衆の生活條件は愈々悪化するばかりだ、地主は小作人から、高利貸は農民及び手工業者からその生産物の大部分を取り上げる、結局重慶政権の統計資料が示すやうに、播種面積は著しく縮少し、收穫量は低下するばかりである、既に一九四二年には重慶政権治下の地域における播種面積は一九三七年に比較して八百萬畝減少し、收穫量は二百担も激減し、有角家畜は三百萬頭、豚四百萬頭等といった減少振りを示してゐるのだ、今日では更に甚しく減少してゐることはいふに及ぶまい、農民は土地から追はれ、土地は大地主や高利貸の手中に集約され、かれ等は土地を耕作目的に當てずに投機に利用してゐる實狀だ、重慶新聞の報道によれば、戦争中に縣村全體の土地が一人の地主の手中に移るか、あるひは銀行及び商社によつて買ひ上げられた事實があるといはれる、しかも以上の新たな所有に移つた土地の大部分は耕作されてゐない、河南省、廣東省その他における大飢饉の責任の大半を負ふべきは、國民黨の反動層によつて採られた農業政策である、最近數年間、支那においては數百萬の民衆が餓死してゐる、重慶政権の農業政策を決定する地主連がこの數百萬民衆の斃死に對して責任を負ふ必要がないと誰が責任をもつて發言することが出来るであらうか」

## △買占と投機の横行

支那は農業國である、しかもその農業はアジアの生産様式に基礎を置いてゐる、従つて重慶政権がこのアジア的農業を背景とする限り地主によつてその政策を左右されるのは必然だといふのがアヴァーリンの見解だ、彼によれば「ワシントン・ポスト」紙のいふ重慶政権の「全體主義的傾向」もまた、その根據をここに置くといふことになる、それでは重慶政権の戦争努力の根幹をなす軍需工業の實狀はどうかといふ事が問題だ、勿論重慶政

權治下の地域を近代工業國とみることには出来ないそれは支那の歴史的條件を決定する重要契機だがたとへ工業が未開の、初歩的段階にあるとしても重慶政權がすくなくとも支那民衆の福祉を考へるならば、この立遅れた工業を出来るだけ發達させねばならぬ筈である、この點については全く疑問の餘地がない、しかるに現實の事態はどうか、アヴァーリンはつぎの通り觀てゐる

「重慶政權は聯合國の軍需品援助が不十分だと倦きもせず繰返してゐるが、事實重慶軍の裝備は極めて貧弱で、國內の輸送手段は乏しく、あらゆる工業製品の深刻な不足がみられてゐる、それにも拘らず機械製作工場、鐵道企業、鑛山及び鑛山その他の工業企業が續々閉鎖されるのは一體どうした譯なのか？ 他方都市ではあらゆる商品を買ひ占めて思ひ切つた投機をやることを唯一の仕事とする「企業會社」、「銀行」、「保險會社」、「商社」等が雨後の井のやうに設置されてゐる、その結果悪性インフレのため物價は鰻上りに昂騰し、一九四三年春から一九四四年一月までに重慶では米の價格が五倍に跳ね上つてゐる實狀だ」  
即ちアヴァーリンの見解では重慶軍の裝備が極めて劣悪なのは、聯合國の軍需品援助が不十分なためでなくて、實に重慶政權の腐敗し切つた經濟政策にある譯だ、すくなくとも經濟的にみるならば重慶は義理にも世界の大國に列する資格がある筈はない、しかるに滑稽なことは、一九四一年五月當時の重慶政權軍政部長何應欽はつぎの通り述べてゐる

重慶軍は軍需品なしに戦ふことは出来ない、残された道は唯だ一つ、國內の奥地に後退することである  
如何にも重慶軍の敗戦は聯合國の責任といふやうな口振りではないか

### △明日迄延ばせ

アヴァーリンは重慶軍と對比して八路軍の状態を詳細に述べ、裝備悪くかつ重慶軍によつて包圍壓迫されてゐるにも拘らず、依然抗戦を續けてゐる事實を指摘して、重慶政權の反延安政策を痛烈

に攻撃し、支那における眞の民主々義を代表するものは延安政權以外にないと斷言してゐる、更に渝延合作交渉が挫折に終つた理由は「國民黨の反民主々義分子が重慶政權の民主々義的改造を火のやうに恐れ、支那の國民統一の實現を妨害してあらゆる問題の解決を遷延してゐるためだ」と規定し、スチルウエルの召喚は重慶政權において樞要な地位を占めるフアシスト分子の一掃を要求して蔣介石の忌避するところになつたものと解釋してゐる

支那民衆の間における憤懣の聲が愈々昂まつてゐるにも拘らず、重慶政權は支那の敵にとつて有利な軍事的政治的戦略を依然として推し進めてをり、重慶、延安兩派間の相刺は愈々激化するばかりである

以上の事態に要求されて、蔣介石は何應欽以下一聯の關係を更迭する破目となつたが、アヴァーリンによれば

重慶政權の改造は支那の政治危機を解決し得るものではない、それは現在の軍事、政治上の政策を現實に變更することを目的としたものではなく、寧ろ同じ政治的色彩を持つた人形の首をすげ變へただけだ、新たに任命された重慶政權の閣員のなかには、反動的行動をもつて知られてゐるばかりでなく、敗北主義的な、フアシスト的傾向を持つ政治家の顔も二三みられるとのことだ、彼は結論として、つぎの通り論じてゐる

「支那の戦争努力を統一し、戦争の現段階において建設的な民主々義政策を實施することは、一刻の猶餘も許さぬ喫緊事である、民主々義政治を基礎とする支那民衆の總力を統一結集することが特に重要なことはいふまでもない、その意味で重慶政權部内の日和見主義分子といへども、「明日まで延ばせることは今日やるな」といふ古諺をこの際一擲すべきではなからうか、いづれにしても反動的政策から進歩的政策に轉じ、支那の國民的統一と更生を效果的に實現する事業は明日に延ばせるものではない」



昭和二十年七月十二日(木)  
第三四八〇號

# 同盟通信 海外電報

(159)

巨頭であるか否かは別として、米、英、ソ三國の首腦會議はおそらく十六日から、ベルリン郊外ポツダムが無憂宮で開かれることになつたらしい。米大統領トルーマンはすでに七日ノーフォークを船出し、佛西國境の小邑アンダインに選挙の疲れを醫しつつかある英首相チャーチルは十四日には腰をあけて北上するといふ、モスクワ、ベルリン間の

鐵道は、すでに戦前の豪華版急行列車の運轉を七月二日以来開始してゐる、この會議での議題が何であるかは想像のほかはないが、新聞の傳へる如くそれが大擱みにいつてドイツ崩壞後の歐洲處理案と、對日戰爭繼續についてのソ聯の役割決定にあるとみるのは間違ひない、かう風呂敷を擴げておけば、何でもつつみ込まれて外れつことはないかうだ、しかし、その内容に涉つて個々の問題をとり上げる段になると、あれもいへばこれもといふことになつて纏りはつかない、そこで戦後歐洲の處理と對日戰の遂行とこの二大問題をつらぬく一つの根本義として、ソ聯が果して、ドイツ崩壞後も引續



き米英兩國と共同戰線の上に立つ意思があるかどうか、有りとすれば、その意思を行動に移すに當つての限界如何を確めるのが、米英側の三巨頭會議の目的であると規定するのが妥當であらう、今回の會議はソ聯の意思よりも寧ろ、米英の意思によつて開かれるものであり、スターリン首相はいはば從來の行掛り、つきあひ上會同に賛成したと見られないこともないからだ、我々はこの會議が何等かの新しい思ひがけない結實を生むものとは豫想しない、憂ひ多き米英が、その憂ひの幾分かを解消して握手してポツダムを去ることは期待してよいであらうが、いきなり無憂世界に飛躍するやうな結果は到底生じないと考へる、モスクワのラジオは戰爭は米英ソ三國を協力せしめたが、平和はこれを分離せしめる危険を幾多包藏すると豫告してゐる、その解釋の仕方は各々の勝手であるが三國會議への一つの示唆ではあらう

## マツケーン機動部隊出動

(リスボン九日發) グラム島からのUP電報によればハルゼー麾下の第三艦隊に屬する有力な空母機動部隊が再び太平洋に出動、同機動部隊は中將ジョン・マツケーンの指揮下にあるといはれる

## 和蘭も波政府承認

(リスボン十日發) ハীগ來電「オランダ政府はポーランド統合政府を承認した旨九日發表した

## 【主要目次】

- 三頭會談開幕近し……………一九九八
- ドイツ聯邦を提案……………
- 佛憲法制定法案成る……………
- 伊を聯合國の一員に……………
- 伯林で米英ソ軍對立……………一九九九
- 外蒙首相モスクワ出發……………
- ソ波通商條約成立……………
- 歐洲飢饉の責をソ聯に轉嫁……………
- 伊、對日宣戰か……………二〇〇〇
- 諾威、對日宣戰……………
- 白國王四法官を招致……………
- グルー外交政策を闡明……………二〇〇一
- 印度總督シンナー會見……………
- 六月重要日誌……………
- 【特 輯】
- ソ聯は重慶をどう見るか(下)……………二〇〇二

## 南歐一帯に飢饉

(リスボン十日發) ローマ來電「アンラ事務總長レーマンは解放諸國視察の途次ローマに到着したが、十日南歐における食糧事悲が極度に悪化してゐる事實を認め要旨つぎの聲明を發表した  
「聯合國が食糧を供給しない限りバルカン及びイタリアの廣汎な地域に亘つて飢餓状態が見舞ふであらう、以上の諸地域では今秋末までに今年の收穫も費消つくされて了ふであらう」

### 三頭會談開幕近し

(リスボン九日發) ワシントン來電ニ大統領トルーマンは三頭會談出席のため國務長官バーンズ以下顧問を帶同七日ヴァージニア州ノーフォークから海路歐洲に向つた

(ストックホルム九日發) 大統領トルーマンの歐洲向け出發の報に米英ソ三頭會談は遅くも旬日のうちに開かれるものと豫想されるに至つた、パリの「フランス・ツァール」紙所報として九日ロイター電が傳へる所によれば、目下アンダイにおいて休養中の英首相チャーチルも十四日同地を出發、會談地ポツダムに向ふ筈である

ロイター電によればトルーマンは政治軍事顧問等を帶同目下軍艦により渡航中で、歐洲到着の日時及び場所に關しては極秘に附されてゐるが、英國訪問の節はバツキングガム宮の客となり又議會開會中の場合はこれに臨んで一場の演説を行ふものと見られる、一方英外相イーデンも略々健康を恢復し會談地に赴くに先立ち何れかでチャーチル首相と落合ひ打合せを行ふ筈と言はれる、リュクサンブルグ放送局は九日の放送で聯合國官員は既に續々ベルリンに到着し、ポツダム會談の右準備を進めてゐると報じてゐる

### ドイツ聯邦を提案

(ストックホルム九日發) ロンドンからのロイター電によれば聯合國の任命したケルン市長アデナウアーは最近聯合軍當局に對し書面をもつて次の要求をしたといはれる

- 一、ドイツの爲替相場を數年間安定させ、この間平價の切下げを行はないこと
- 一、ドイツ人に對し將來ドイツにどの程度の領土が残されるかを知らせること
- 一、占領軍當局と協力すべき或る種の中央政府を設置すること

一、通貨、法律を同じくし相互間に關稅障壁のない三つの國から成る聯邦國家を作ること

しかしてこの場合三國(地區)政府は聯邦中央政府に對して責任を負ひ、若しソ聯がこの案を受諾しない場合には二國(米英軍占領地帯)を

以て聯邦國家を作ること

- 一、聯合軍當局はドイツ人に對し出来るだけ希望を持たせ、可能な限り多數の新聞紙の發行を許可しラジオ放送をも行ふこと、之は單にドイツ人の再教育、ナチの痕跡の抹殺のためばかりではなく報道の不足から生じてゐる悪性デマを一掃するためにも必要だ

### 佛新憲法制定法案成る

(チューリッヒ十日發) パリ來電ニフランス臨時政府は九日も閣議を續開し、新憲法制定に關する政府案を審議したが、左右兩派の主張を綜合した妥協案として「憲法起草議會選舉に關する法案」を滿場一致採擇した、内容左の通り

- 一、十月十四日憲法議會選舉執行と同時に今回閣議で成立した法案を一般投票に付する
- 一、一般投票において法案が承認された場合には選舉の結果成立する憲法議會が、新憲法の起草に當る

一、新憲法は七ヶ月以内に起草を終り再び一般投票に付する、その結果國民の承認が得られない場合は再び憲法議會の選舉を行ふ

一、一般投票が法案を否決した時は、選舉された憲法議會はそのまま一八七五年の憲法による下院として成立し、上院議員選舉を改めて行ふ

右によつても明らかな通り、今回の政府案は一院制度を主張する左派の主張をそのまま一般投票に付して、それが否決された場合は右派の主張の如く一八七五年の第三共和制定憲法を存続せしめるといふ妥協案である

### 伊、アを聯合國の一員に

(リスボン十日發) ワシントン來電によれば米國下院外交委員會はイタリアを聯合國の陣營に参加せしめるやう大統領トルーマンに要請する旨の決議案を十日可決したといはれる、右決議案はニューヨーク選出下院民主黨委員でイタリア系のヴィトー・マルカントニオの提起したもので、一九四二年一月一日成立をみた聯合國協定の調印國に加へることを要求したものである

【歐 洲】

伯林で米英、ソ軍對立

(リスボン九日發) 米英とソ聯との間にベルリン占領問題に關し重大な意見の相違が生じ、ベルリン占領軍當局の間では問題の解決は不可能なため来るべき三頭會談において協議されることにならうといはれてゐる、目下米英ソ間で採めてゐるのはベルリンにおける食糧、燃料供給問題とベルリンの共同統治問題であるがロンドン情報によれば一切の原因は既にベルリンに入城した米英軍が、いまだに夫々の占領地域を接收するに至らず、現在なほ赤軍が全市の管理に當つてゐるためだ、エキステンジ通信社のベルリン電も以上の事實を裏書きしベルリン駐屯米軍政長官大佐フランク・ホーレイが次の通り言明した旨報じてゐる

「赤軍の將兵は米軍當局の貼り出した布告を破棄してつた、この布告はベルリン市民が聯合軍最高司令部の發布した占領規則に服従しない場合懲罰を加へる旨を明記したもので、余は以上の事實を知り赤軍司令官代理バラノフに會見し、米軍當局は布告を貼り出すに先立つて赤軍當局とは全然相談はしなかつたが、布告の内容は貴下も十分御承知のことで反對される筋合のものではないとの申入れをした、その結果バラノフ將軍は米軍占領地區内の赤軍司令官に電話で部下の將兵に對し以上の如き行爲を禁止するやう命令した」

ベルリン市民に對する食糧供給は最も焦眉の問題だがベルリン周辺の食糧生産地帯は悉く赤軍の占領下にある米英軍としては自軍の占領地區内に食糧を移入するには赤軍によるか乃至は西部占領地帯又は本國から輸送するかの二途しかなく、目下赤軍占領地帯からの食糧移入について赤軍當局と話し合ひを進めてゐる譯だが容易に意見の一致を見るに至らない様子だ、ベルリンの共同占領問題については占領参加各國軍の管理地區劃定、警察その他主要機關の共同管理、市首腦部の共同任命問題などがあり、ホーレイの言明によれば「赤軍當局は目下米英兩軍當局が協力しようと努めてゐるが双方の間に眞の諒解が出来るまでには暫く、時間を必要としよう」といはれる

外蒙首相モスクワ出發

(ストックホルム九日發) モスクワ來電によれば去る五日以來モスクワを訪問スターリン議長と會談を重ねてゐた蒙古人民共和國首相チヨイ・ボルスアン氏は九日モスクワを出發、歸國の途についたといはれる、AP電報の報道ではチヨイ・ボルスアン氏はモスクワ滞在中宋子文と一度も會見しなかつた様子である

ソ波通商條約成立

(ストックホルム九日發) モスクワ來電にソヴェト、ポーランド兩國政府は相互に最惠國待遇を與へた通商條約を締結した旨九日發表された、右條約によれば本年下半期における兩國の物資交換總額は六億留に上る豫定で、ポーランドは石炭、コークス、鋼鐵、鐵、亜鉛、セメントその他を供給する

食糧饑饉の責をソ聯に轉嫁

(リスボン九日發) 歐洲における未曾有の食糧難の見透しは過般ロンドンに開催された歐洲食糧會議を始め聯合國の各機關及び新聞が等しく警告してゐるところで、近く開催される三頭會談でも歐洲の食糧救済が主要議題の一として當然討議されるものとみられてゐるが、ウシントン來電によれば米國農務省食糧配給局はソ聯の駐屯軍が強制的に實施してゐる農業改革こそ食糧饑饉の大きな原因となつてゐると八日非公式にソ聯を非難する次の見解を表明した

歐洲における本年の穀物生産は第二次歐洲大戰勃發以來最悪の状態とみられてゐるが、特に小麥生産の見透しは思はしくない、以上の直接原因は地中海地域における極めて劣悪な天候條件戦火に荒された地域の大部分で播種面積が激減したこと、肥料と農具の不足、輸送手段の缺乏にあるが、ソ聯の影響下にあるポーランド、バルト三國、ハンガリー、チエコスロヴァキア、ドイツ東部における農業改革も穀物生産に破局的影響を與へてゐる

## 伊 對 日 宣 戰 か

(チユーリツヒ九日發)「トリビューン・ド・ジュネーヴ」紙のキヤツソ特派員の報道によればイタリア政府首相パリーは九日次のやうに言明したと言はれる

イタリアは多分對日宣戰を布告し太平洋戰に參加することにならう、現在イタリアは太平洋方面で戰鬪を行つてはゐないが、イタリアがその國際的地位を向上させるためには太平洋戰に參加して聯合國の仲間入りをするより方法がないレヴァントやトルコの如きも對獨宣戰によつてはじめて國際機構會議に參加し聯合國の仲間入りをするのが出來たのだ

## 諾 威、對 日 宣 戰

(リスボン八日發) ロンドン來電によればノルウエー政府は六日布告を以て、ノルウエーが一九四一年十二月七日以來日本と戰爭状態に在る旨を明かにした

## 白 國 王 四 法 官 を 招 致

(ストックホルム九日發)ロイターブリュツセル電ニベルギー法曹界の權威、最高法院辯護士會々長ルネ・マルク・モルヌル、控訴院辯護士會々長アンリ・ボクソン、最高法院辯護士ゲタン・ドラクロア、國王法律顧問ジャック・ピレンヌ教授の四名は、九日、空路ザルツブルグに向け出發した、ベルギー首相アキレ・ファン・アツケルは、七日以來ザルツブルグにあつて、國王レオポルドと協議中だが、國王の退位につき、最後の勸告を試みてゐるものと信ぜられる、もつとも四法曹の召喚は國王の希望によるもので、ベルギー社會黨自由黨及び共產黨は議會の會議席上、多數の證據書類を擬して國王糾弾を行ひ、ベルギー王制の倒壞にまで發展させようと工作してをり、國王が右四法曹を招いたのは、その内容を探知し、諸政黨より告訴ある場合斷乎抗辯するための準備と見られてゐる

## チエコ經濟復興にソ聯の横槍

(チユーリツヒ九日發)チエコスロヴァキア政府

は國內大工業の國營を決意、逐次接收を進めてゐるが、ドイツが戰爭中チエコスロヴァキアに疎開したドイツ工業並びに新設した工場の歸屬につきソ聯と意見が合はず、行惱み状態にある様子だ、エキステンシ通信社のプラーグ電報は以上の問題の経緯につき五日次の通り報じてゐる

「チエコスロヴァキア政府は國內大工業企業の國有化を決意、逐次實施してゐるが、ソヴェト政府がチエコスロヴァキア工業の一部を赤軍の戦利品と考へ、ソ聯領内に移轉しようとするためソ聯、チエコ兩國政府間に意見の喰ひ違ひが起りチエコの經濟再建計畫に大きな影響を與へてゐる確信するにスターリン議長はチエコ國內にある一切の工場及び倉庫をチエコ政府に引渡し、資材のみソ聯へ運ぶやう赤軍當局に命令、チエコ政府も承認したといはれるが、以上は主として戦前チエコが建設經營した工場のみに限られ、ソ聯は依然ドイツが先にルールからチエコスロヴァキア領に疎開した大工場を戦利品と見做してゐる、しかるにチエコの實業界はこれら工場を手離すことを好まず、ドイツのチエコに對する賠償の一部として經營することを希望してをり、これら大工場を保有することはチエコの經濟復興を大いに促進せしめる關係上、ソ聯の一方的な措置を不満視せしてゐるやうだ」

## 【米 國】

### 海軍豫備士官兵力

(リスボン九日發)ノートル・ダム(インディアナ州)來電ニ海軍次官ゲーツは九日ノートル・ダム大學内の海軍豫備士官候補生學校の卒業式に臨み次の通り演説した

海軍には現在三十五萬に上る將校がゐるがこのうち三十萬までが豫備役出の將校である、即ち豫備士官候補生學校出身の將校は今や開戦前の海軍における全將校數の四倍にも上り、この見地から米國海軍は一般市民の海軍といふことができよう、海軍が豫備將校を必要とするのは戦時だけでなく平和時においても正規の將校以外に毎年約三萬の豫備將校を必要としよう

グルー外交政策を闡明

(リスボン九日發)米國の外交政策に關しては一部にはソ聯問題を挿んで兎角の疑惑もあつたもの如く近着のロンドン「タイムズ」紙がワシントン特電として報じてゐる所によれば、國務次官グルーは下院議員五名の外交政策に關する質問に對し書面回答を以て國務省の方針を闡明した、要旨次の通り

「米國の外交政策は英ソ兩國との協力を目標とし且つ大西洋憲章の原則を基礎とするものである、米國政府はソ聯を對象とした米英或ひはその他の國との共同戦線結成を意圖とする暗黙の諒解又は實施取極等は有しないことを斷言する、又反對に或者は米國がソ聯の術策に陥つて英帝國、その他の國に迷惑を及ぼすことになるといつてゐるが右は事實ではない、米國が桑港會議に率先して世界安全保障機構の確立に主役を演じた事實こそ、自由愛好國に對する米國の態度を證明するものである、國家間に紛争が生じた場合、兎角の甲論乙駁がこれを根本的紛争にでつち上げ、遂には忍耐と相互諒解の雰圍氣によつても解決不能にして了ふことは遺憾である」

プリンストン代艦進水

(リスボン九日發)ファイラデルフィア來電「米國海軍新航空母艦「プリンストン」は八日デラウェア河の海軍工廠で進水した、同艦はさきに撃沈された同名の二萬七千噸(エセツクス級)空母の代艦である

【印 度】

總督ジンナーと會見

(リスボン九日發)英國の新提案に關する印度總督と印度各派領袖との協議は目下新行政參議會の組織を繞つて行詰り状態にあるが、シムラ來電によれば回教徒聯盟總裁ジンナーは八日總督と會見次いでジンナーはその結果を回教徒聯盟執行委員會に報告したといはれる、總督ウエーヴェルは過般各派に對し六日までに參議會に参加すべき代表の名簿を提出するやう要求したが、シムラからのAP電は未だ回教徒聯盟が名簿を提出した氣配はないと傳へてゐる

六月重要日誌

- 二 日 希對日宣戰
- 三 日 佛軍ダマスクス撤收を開始
- 四 日 聯合國戰爭犯罪會議終る  
アラブ聯盟會議開催  
英國艦隊レヴァントに派遣
- 五 日 獨管理々事會初會合(共同宣言發表)  
イラン内閣總辭職
- 六 日 ロシア共和國最高會議開催  
ブラジル對日宣戰  
ノルウエー國王歸國
- 十一日 英軍トリエスト占領、イストリア半島  
軍政協定成立  
アラブ聯盟會議閉會
- 十二日 加總選舉で政府黨勝つ  
米英ソ三國波問題に關する共同聲明發表
- 十三日 諾内閣總辭職
- 十四日 波要人の豫審終了
- 十六日 ベルギー内閣總辭職  
パナマ大統領更迭
- 十七日 モスクワ會議開催
- 十八日 波要人の公開裁判開廷
- 十九日 新エール大統領決定  
波要人に刑の宣告
- 二十日 伊新内閣組織
- 二十一日 桑港會議で信託統治案成立
- 二十二日 米十三州知事食糧會議
- 二十三日 和蘭新内閣成立
- 二十五日 シムラ會議開く
- 二十六日 アレツポで武力抗爭事件  
桑港會議終幕
- 二十七日 ステチニアス辭職
- 二十八日 ニミツツ、トルーマン會談
- 二十九日 歐洲の米軍三萬引揚に決定  
新波統合政府成立
- 三十日 カルバートとソ聯に割讓  
ス議長、宋子文會見  
パナマ、スペインと斷交

米新國務長官にバーンズ任命



ソ聯は重慶をどう観るか？(下)

原子林二郎

### △獨裁を蔽ふ衝立

アヴァーリンの第二の論文、即ち「支那は何處へ行く？」は「戦争の現段階における支那」の直接の繼續であり延長だ、彼はまづ形式尊重、既成主義、官僚主義、腐敗、獨裁が重慶軍のみにみられる現象でないことを指摘した後國民黨の重慶政權が「民主主義の匂だにしない」ものであることを左の通り述べてゐる

「國民黨の領袖で立法院委員長の孫科は昨年春の演説において、「國民黨が支那國民の極く一部分をなすに過ぎない」事實を認めたと、他の多くの領袖も黨が民衆から遊離してゐることを告白しなければならなかつた、しかるに重慶治下の支那における全権力は一に國民黨の手中にあるのだ、英國の新聞「マンチエスター・ガーディアン」紙は昨年未重慶政權並びに國民黨に大いに同情を寄せた反動的論説を掲載したが、それにも拘らず國民黨は愈々反動的となり、殆んどファシスト的存在を思はせるほどに立ち至つてゐる」と指摘せざるを得なかつたのである、また孫科はさきに引用した演説において「何故に米英兩國の輿論は支那の現状を批判するか」と自問した後、「支那はファシズムの道を進んでゐると考へてゐるからだ」と自ら答へてゐる、更に曾つて孫文の個人秘書をしてゐた國民黨の一長老の如きは昨年十一月重慶において開催された民主主義聯盟及び國民黨左派の會議において、「我々は民衆に對する迫害と殺人行為の横行した過去の絶對主義へと還つてゐる、もしもいまにして民主主義を實現しないならば、支那は破滅の淵に臨むであらう」と長大息した」

アヴァーリンによれば支那民衆全體の民意を代表してゐない國民黨が重慶政權を獨占してゐることと自體ファシスト政權の烙印を當然押されてゐるべきものだといふのだが、本年二月再び行はれた渝延交渉が失敗に終つたのも、延安側の提出した民主主義的要求を重慶政權が承認出来なかつた

ためだといふにある、即ち

「支那の反動的潮流の選手達は一九四四年と同様一九四五年も重慶政權の戦略と政策を決定し續けてゐる、このことは支那共產黨の提案を拒絶したことで明瞭だ、このことはまた國民統一實現に關する民主主義的綱領に對する回答の形式で國民黨首脳部が提出した對策といふよりは駆引にも明瞭に現れてゐる、彼等は統合民主主義政府の樹立民衆に對する政治的權利の賦與、國民黨の獨裁撤廢等の要求を拒絶した後、重慶政權の行政院に附屬する行政參議會に共產黨その他の政派代表を参加せしめることを提案してゐる、しかるに行政參議會は現實の権力を全然持つてゐない、権力は他の機關の手中にある、行政參議會は單なる衝立、裝飾に過ぎず、その後でそれとは關係なく國民黨は獨裁を行つてゐるのだ、支那の民主主義諸派は反民衆的獨裁を維持するため衝立の役割を果すのを斷乎拒絶してゐる

### △重慶は國民統一を希望せず

「民主主義諸派は本年十一月に國民會議を召集するといふ重慶政權の聲明を拙劣な術策だと看做してゐる、この國民會議は立憲政府を樹立し、同政府に對して國民黨が政權を引渡すべき性質のものだ、しかるに國民會議は國民大衆が政治權利と自由を剝奪され、民主主義諸政黨が合法的に存在し活動を行ふ權利を持たず、國民黨の獨裁が嚴存し廣大な地域が日本軍の占領下にあつて、代表の選出に参加出来ぬといふ諸條件下に招集されるのだから、その性質は推して知るべきであらう、かかる條件下に召集される國民會議は、支那民衆を代表し民意を反映する機關たり得ないはいふまでもない」

アヴァーリンの見解によれば蔣介石が民主主義の勝利を謳歌し、重慶政權の首脳部が國民統一の必要を力説しようとも、それは單なる空念佛に過ぎず、重慶政權があくまでも希望し執拗に維持しようとするものは地主、投機師、奸商らと背景とし支柱とする獨裁的支配であるといふのである、従つて重慶政權は獨裁的権力を失はぬために國民統一を希望しないし延安との合作も希望し

ない、希望するものは戦争による莫大な利潤をその反動的支柱に保障してやることだといふのが彼の意見だ、結論を聞かう

「支那の反動分子が自らの齎した政治的行詰りから支那が、脱出するのを妨害するため全力をつくしてゐることは疑問の餘地がない、支那の軍事政治情勢に關心を寄せる各國の輿論は、反動主義者共の努力と多くの思はしくない前兆にも拘らず、支那が民衆の支持を有する民主主義政府を樹立し國民統一を強化し、戦争努力を増大するといふ希望を失はぬであらう、この希望が叶へられるかどうかはまだ判らない、併しながら明瞭なことは、支那の政治を民主主義化し國民統一を実現するため喫緊の措置を斷行しない限り、支那は民主主義諸國の陣營に當然占めるべき地位に就くことが出来ぬであらうといふことだ」

### △重慶政權を抹殺せよ

以上に引用したアヴァーリンの二つの論文を綜合すれば、大體次のやうなことがいへるであらう即ち重慶政權は半封建的社會に經濟機構を支柱とし、政策としてはファシスト的獨裁に依存してゐる非民主主義的權力組織である、従つて現在の重慶政權を基礎に支那の民主主義化を実現することは不可能である、また現在の國共相割は現象的には單なる政黨派の權力争ひだが、實際には反動と舊秩序の維持に據る勢力と進歩と民主主義の實現を目指す勢力との間の闘争である、従つて支那の國民統一を実現するためには單なる國共兩勢力の和協合作では不十分であり、重慶政權の反動分子を一掃し、重慶政權の否定の上に新しい、肯定的な、民意を代表し反映する國民統合政府が樹立されねばならない、それ以外に支那をファシズム化から救済する道はない、これがアヴァーリンの見解であり、これがソヴェト政府の支那観でありこれがクレムリンの重慶観であるのだ

ソ聯の考へ方をもつてすれば支那において眞に民主主義を代表するものは「北支においては五千萬の住民を含む五つの特別遊撃區を持ち、中支及び南支に於ては三千万の住民を含む八つの特別遊撃區を持つ」(ニューヨーク・ヘラルド・トリビュ

ン紙)延安勢力であり「出征兵士の家族に對する免稅法令にも拘らず、犯罪者そのままの地方政權は出征兵士の家族の財産を沒收し、彼等の妻を汚し、子供を賣り飛ばしてゐる、かかる事態はしばしばみられることである、哀れな民衆はこの惡辣な政權と闘ふ力もなく、黙つて悲しみと苦難に堪へねばならぬのだ」と「貴州時報」(一九四三年四月二十四日附)をして叫ばしめるに至つた重慶政權は民衆の意思を代表し反映してゐる筈はなく、またその資格は全くないといふのだ、従つてソ聯をして言はしめるならば重慶政權は民主主義とは縁なき衆生であるから、聯合國は重慶政權を援助する必要があるしまた援助してはならず、援助すべきは延安政權であるといふことになる、即ち支那の民主主義化への道は延安を通らねばならぬといふのだ

### △「アジアのポーランド」

英國の「エコノミスト」誌はソ聯の支那政策を評して「アジアにおけるポーランド化」と稱してゐる、なるほど、支那に對するソ聯の政策の勘所はポーランドに對するソ聯の政策と多くの類似點を持つてゐる、丁度ワルシャワ政權の地位を占めるものが延安政權であり、さしづめ重慶政權はロンドンに對するソ聯の亡命政府だ、ソ聯はポーランドにおける統一新政府の樹立を要求して成功したが、支那においても國民統一を基礎とする民主主義政府の樹立を要求してゐる、ソ聯にとつては重慶政權は反ソ的、反動的なファシスト政權でありこのことはロンドンの亡命政權と同じだ、ソ聯の支那政策「アジアのポーランド化」とみる考へ方は、成程面白い、併し面白いことは面白いが、飽くまでも類似してゐるだけで、本質的には全く相違する

まづ第一に考慮すべきことは、ポーランドにおける亡命ポーランド政府及びワルシャワ政權の地位と、支那における重慶、延安兩政權の地位が全く相違してゐることだ、ポーランドにおいては本國において政治の實權を握つてゐるのはソ聯の支那に對するワルシャワ政權で、ロンドンの亡命政府は

單に遠吠えしてゐるに過ぎないが、支那においては、南京政府の勢力圏外にある地域の政治的實權を握つてゐるのは重慶政權であり、延安政權は自己の勢力圏内では事實上權力を掌握してゐるが、要するに「非合法」である、第二に考慮すべき點は、ポーランドに對する英ソ兩國の力關係並びに利害關係と、支那に對する米ソ兩國の力關係及び利害關係との間には雲泥の相違があることだ、ポーランドにおいては秤は壓倒的にソ聯の方に傾いてゐるが、支那においては秤は米國の側にて傾いてゐる、支那における米國の發言權は現實のものだが、ソ聯のそれはいはば潜勢的だ、ポーランドにおいては統合政府の樹立がウルシヤワ政權を中心として行はるべきことはヤルタ宣言も認めてゐるが、支那においては延安を中心とする新統合政府の樹立の問題は事實上不可能であり、統合政府を樹立せよといふソ聯の要求が通つたとしても、それはソ聯をして重慶政權を中心とする「バルカン様式」を採らしめるであらう、最後にポーランドにおいては問題の主導權を握つてゐるのはソ聯だが、支那においては米國だ、ソ聯はいまのところは第二義的地位に満足しなければならぬのだ

### △事 大 主義 の 弊

重慶政權に對するソ聯の言論攻勢は重慶政權を狼狽せしめ、米國をして不安を感じしめるほどの効果を持つてゐることは事實だが、決定的影響を持つてゐるとは斷じ難い、支那に對するソ聯の外交攻勢を説き、支那を繞る米ソ兩國の軋轢と相剋を論じることが極めて安易だが、かかる事大主義は眞實には遙かに遠く、歐洲におけるソ聯の勢力と發言權をそのまま東亞に引き寫して、支那における米國の勢力と發言權を意識的に過少評價する以外のなにもでもない、支那における米ソ兩國の發言權を決定する尺度は東亞における兩國の國力を比較することであり、對日戦における戦争努力である、ソ聯が太平洋戦に参加してゐない今日米國の比重が壓倒的に高いことは三歳の童兒といへども知るところだ、また東亞におけるソ聯の發言權の切札は對日戦参加だが、これは現在のところあくまでも手中の切り札であり、現實に示されたところで、それは米國のそれとは比較にならない

い、要するに支那を繞る米ソ關係の危機を説くことは確實に大向ふの喝采を博し得るが、ソ聯が國運を賭してまで支那において米國と張り合ふとは考へられないし、またそれほどクレムリンは非現實的ではないであらう

またソ聯は延安政權を利用して支那に對する勢力の伸張を圖ることは大いに考へられるし、それはソ聯にとつて尋常の手段だが、そこには自ら限界がある、共産黨を利用して支那を引掻き廻すといふソ聯の政策には、常にそれに對立し牽制する強力な契機があることを忘れてはなるまい、なるほど支那の共産黨はソ聯共産黨に次ぐ大きな兵力を持つてゐる、しかもそれは強大な武装兵力ですらある、併しながら延安政權をただちにソ聯勢力と考へることは出来ない、そこまで行くにはまた幾多の段階がある、さればといつて支那に對するソ聯の政策が消極的であり受身であるといふことにはならない、否、寧ろソ聯としては客觀的條件の許す限り精一杯に積極的でさへあるのだ

### △ソ 聯 の 狙 ひ

ソ聯の支那政策はソ聯の利益のみを考慮して強行され得るものではない、もしもソ聯が支那において自らの利益を實現しようとはかるならば、他の方面における利益を犠牲に供しなければならぬであらう、従つてソ聯の重慶觀が如何に苛烈であらうとも、現在の段階において實現を希望し得る最大のこととは、支那における米國の發言權の獨占を牽制し、重慶政權の反延安工作を中止せしめ、反ソ的策動を封ずるにある、併し以上のことを實現するためには更に一步進んだ要求を提起しなければならぬ

宋子文のモスクワ訪問の目的と意義は種々考へられるが、すくなくとも宋子文が米國の意を體してソ聯に對日戦への参加を促すために出掛けたとは考へられない、勿論簡單に結論を下すにはあまりにも多くの要因が介在するが、恐らく東亞におけるソ聯の「防衛前哨要塞線」の前提をなす新しい友好條約の締結が落ち着くところではなからうか、もしもそれが單なる友好條約でなく、相互援助の規定をも含む條約であるならば、現在の段階においてはソ聯外交の勝利といふべきであらう



昭和二十年七月十三日(金) 第三四八一號

# 同盟通信 海外電報

重慶行政院長兼外交部長宋子文がモスクワに乗り込んでから既に旬日餘、過日スターリン議長と第四次會談を遂げたといふ外には、會談の内容を窺知させるに足る報道はない、無論米英報道陣は太平洋戦局における聯合國の共同方針調整に關聯させて大々的に報道し、中には戦後處置の問題にまで喰ひ入つて論じてゐるものもあるが、肝腎の重慶もモスクワも申し合せたやうに深い沈黙を守つてゐる、然し宋子文のモスクワ訪問を必要とした客觀的事情より推せば、一般的な東亞戦局に關聯した問題の外に、必ず二個の問題を含んでゐることは容易に推測出来る、第一は渝延の關係調整であり、第二はこれと關聯してソ聯、重慶の關係調整である



第一の渝延關係であるが、蒋介石が中共方面の強硬態度を緩和し、國民參政會への参加を説得するために特派した中間派、黃炎培、左舜生等七人は、何等目的を果すことなく空しく重慶に引き返した、國民參政會は結局中共代表の参加なく開かれてゐる、この事實は渝延關係は最早國內問題としては殆んど處理の方法がないといふことである、米紙に至つては支那で内亂不可避説まで出してゐる、かうした行過ぎの觀測はわれわれとして控へなければならぬが、少くとも目下のところ渝延關係決裂と見て間違ひなく、ここにモスクワが調停に乗出す意義が出て來るのである、然しモスクワが渝延紛争を調停し得るためにはその前提として或ひはこれと併行して、モスクワと重慶自體の關係を調整しなければならぬ、蓋し重慶と米國、延安とソ聯が對立的になつて來てゐるからである、かうした事態は東亞戦局、就中米軍の大陸接岸作戰の見透しと關聯して、聯合國全體の關心事となつてゐるのである、最近外電が宋子文の訪ソを機として、ソ支友好條約の締結説を傳へてゐるのは、以上の意味合ひを含めたものと解すべきである

ソ聯の經濟進出に英焦躁  
トルコ外相着英  
スターリン、宋第四次會談  
波の國民投票遅れる  
重慶の戦後外交方針  
米の棉花記録の大不作  
【歐 洲】  
伯林合同管理司令部  
食糧供給問題解決  
波亡命政權流浪の旅  
希臘の政情不穩  
【英 國】  
努力飢饉現出か  
英、重慶軍事犯罪協定  
【米 國】  
産業界の前途不安  
トルーマン巡洋艦で歐洲へ  
C九七生産開始  
【特 輯】  
再びレヴァント紛争  
英空軍の「マトン」  
來月四日新議會召集  
(リスボン十一日發) ロンドン來電 英國總選舉の結果は二十六日判明するが、新議會は八月四日に召集と決定した  
獨兒童に新教科書  
(リスボン十日發) CBC放送の報道によれば、ドイツ領内の米軍政當局はミュンヘンの二印刷會社に對しドイツ兒童のための新教科書四百萬冊の印刷を發注したといはれる

## フランコ、チャーチルと會見か

(リスボン十一日發) サン・ジヤン・ド・リュエズからのAP電報によればスペイン政府首班フランコは十日チャーチルの滞在するアンダイに到着したといはれる、右報道はフランコが米英ソ三國の重壓下に、ファシスト色拂拭に腐心してゐる折柄注目を集めてゐるが、英國領事ブルース・ネーンはチャーチルがフランコとの會見を全然考慮してゐないと言明して、會談説を否定した、またスペイン國境司令官フリオ・オルテガ大佐も十日チャーチル夫人を訪問、スペインへの來訪を要請したと傳へられる

## 【目 次】

ソ聯の經濟進出に英焦躁	二〇〇六
トルコ外相着英	〃
スターリン、宋第四次會談	〃
波の國民投票遅れる	〃
重慶の戦後外交方針	〃
米の棉花記録の大不作	〃
【歐 洲】	
伯林合同管理司令部	二〇〇七
食糧供給問題解決	〃
波亡命政權流浪の旅	〃
希臘の政情不穩	〃
【英 國】	
努力飢饉現出か	二〇〇八
英、重慶軍事犯罪協定	〃
【米 國】	
産業界の前途不安	〃
トルーマン巡洋艦で歐洲へ	〃
C九七生産開始	〃
【特 輯】	
再びレヴァント紛争	二〇〇九
英空軍の「マトン」	二〇一〇
來月四日新議會召集	二〇一一
(リスボン十一日發) ロンドン來電 英國總選舉の結果は二十六日判明するが、新議會は八月四日に召集と決定した	
獨兒童に新教科書	
(リスボン十日發) CBC放送の報道によれば、ドイツ領内の米軍政當局はミュンヘンの二印刷會社に對しドイツ兒童のための新教科書四百萬冊の印刷を發注したといはれる	

## ソ聯の經濟進出に英焦燥

(リスボン十一日發) ソ聯に對する米國の長期巨額クレヂット供與問題は再燃しては立ち消えになつてゐるが、最近ソ聯がポーランドその他の衛星諸國と通商條約を締結してソ聯の獨占市場の設定に努めてゐるところから、以上のクレヂット問題と獨占市場設定とを結び付けて、ソ聯が米國から手に入れる弗を利用してソ聯に有利な國際銀行の役割を果さうと狙つてゐるといふ噂が主としてロンドンで流布されるに至つてゐる。「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特電が十一日傳へるところによれば、以上の噂の内容は次の様なものである

ソ聯はポーランド、チェコスロヴァキア、ルーマニア、ハンガリー、ブルガリア、ユーゴスラヴィア等の隣接諸國にたいして弗クレヂットの提供を申し入れ、これら諸國が弗クレヂットをもつて、米國、南米その他から購入した原料によつて生産した既製品を獲得しようとしてゐるといふ噂がロンドンで廣く流布され事實として受け入れられてゐる、以上の噂にたいしてロンドンのソ聯大使館は否定も肯定もしなかつたが、ポーランドもチェコも國際通貨安定協定が成立した場合は別問題とするも「現金」でクレヂットを入手し、既成品の支拂をルーブルのやうな「統制通貨」で受けることは好ましくないと考へて、ソ聯の申し入れを歓迎してゐない様子だ

以上の噂の眞偽は別とするも、英國はソ聯と東歐バルカン諸國との間の排他的通商關係の成立に狼狽して、米國を牽制してソ聯に對する米國のクレヂット供與を妨害しようとしてゐることは諸般の徴候でも明かだ

## トルコ外相着英

(リスボン十一日發) 「ニューヨーク・タイムズ」紙十日ロンドン特電によればトルコ外相ハサン・サカは桑港會議からの歸途ロンドンに到着した、ハサン・サカ外相は、數週間に亘る病氣快癒し十日外務省に初登應したイーデン外相と會見、米英

ソ三頭會談の前にトルコに直接關係ある地中海諸問題、就中ダーダネルス問題に關するソ聯政府の要求等につき協議を行ひ、英政府の見解を打診するものと見られる

## スターリン、宋第四次會談

(モスクワ十一日發) 重慶行政院長宋子文は九日夜スターリン議長と第四次會談を行ひ、兩國關係につき重要協議を遂げた

## 波の國民投票遅れる

(リスボン十一日發) ワルシャワ來電「ポーランド統合假政府首相オスプカ」モラフスキは九日夜記者團に對して次の通り言明した

一、明白なファシスト及びナチ分子を除いて現在本國の外にあるポーランド人五百萬が本國に歸還するまでは國民投票を實施出来ない、また政府は穀物の收穫、住民送還と再定住問題に全力を傾注しなければならぬから選挙は豫定よりも多少遅れよう

一、ドイツ人は全部ポーランドから放逐されるが今後二ヶ月間に赤軍は極く一部分を除いて全部撤收する、赤軍の殘存部隊はドイツ占領地帯の赤軍に對する郵便物の處理に當る

## 重慶の戦後外交方針

(リスボン十一日發) 重慶來電「重慶政府外交部次長吳棫國は九日の參政會席上重慶政府戦後の外交政策として次の四點を挙げた演説をした

- 一、日本の完全武装解除
- 二、失地回復
- 三、五大國間の協調維持
- 四、桑港憲章の擁護

## 米の棉花記録的不作

(リスボン十日發) ワシントン來電「米國農務省は九日左の通り發表した

本年度の棉花收穫は一八八五年以來の記録的な大不作となる見込である、七月一日現在の棉花耕作面積は千八百三十五萬五千エーカーで、これは昨年より二百萬エーカー、即ち九・八%の減少だが、收穫面積は更に減少して僅か千八百三萬四千エーカーとならう

【歐 洲】

柏林合同管理司令部

(リスボン十日發) ベルリン來電「ベルリン市の共同管理に當る米英ソ三國合同司令部は今回組織され十一日第一回會合を開くことになつた、右司令部は米英ソ三國占領司令官即ち米軍少將パークス、英軍少將ライン、赤軍大將ゴルバトフから成るが十日米國代表パークスは次の通り言明した「第一回會合では食糧、燃料、輸送、保健、政治活動等の諸問題について協議されるが以上いづれの問題に關しても意見の一致を見ることと確信する、合同司令部の最高司令官は輪番制とし會議の贊否は全員一致に基いて決定する、なほ各國占領軍將兵は絶對平等の立場にある」

食糧供給問題解決

(チューリッツ十日發) ベルリンの共同占領に伴ひ市民に對する食糧供給問題が米英ソ軍當局間で採めてゐたが、ベルリンからのロイター電によれば十日夜ジュエーコフ元帥司令の下に開催された米英ソ占領軍司令部代表會議において右問題は解決されるに至り、會議終了後次の通り發表されたとはいはれる

ベルリン市民に對する食糧供給といふ焦眉の問題について聯合國の主要各國は十日夜満足すべき取り極めに到達した、右の取り極めは各國の占領下にあるすべての地帯から食糧を移入することを原則とする

以上の發表に徴するに米英兩國はドイツ西部の自軍占領地帯からベルリンの米英軍占領地區内に食糧を移入する方針らしく、當初米英兩軍當局が抱いてゐた、ベルリン周邊の食糧生産地から赤軍の同意を得て食糧を獲得しようといふ計畫はかくして全然失敗した譯だ

波亡命政權流浪の旅

(ストツクホルム九日發) ロンドン情報によればラチキエヴィチを首班とする亡命ポーランド政權は英國政府のワルシャワ新政權承認により自己に對する承認取消となり、近く政權所在地をロンド

ンより他へ移轉することとなつた模様である、行先はエール共和國またはカナダといはれ、目下法王廳を通じて右の國と亡命政權に對する治外法權賦與方を折衝中といはれるが、政權當局者は既に公文書等の荷造に當つてゐると報ぜられる

希臘の政情不穩

(リスボン九日發) 「ニューヨーク・タイムズ」紙のアテネ特電は去る四日ギリシヤにおける王黨派のクーデター計畫を素破抜いて大きな波紋を捲き起したが、英國の新聞「ニューズ・クロニクル」紙のアテネ電報も去る五日以上の事實を確認してエラス兵團による左翼内亂の痕癒えぬギリシヤが再び右翼の計畫する動亂の巷に投げ込まれる危険を次の通り警告してゐる

政權奪取を狙ふ王黨派のクーデターは目前に迫つてゐる、ギリシヤ國防軍の軍事團體及び王黨派組織等の活動は最近公然たる形を採るに至り確固するに去る四月七日アテネにおいて左翼分子の大量逮捕が行はれたに引續き、王黨派の巢窟たるアテネ警察當局は目下有力な左翼分子を悉く黒表に記載して、新たな大量逮捕を準備してゐると傳へられるが、このことは反革命の勃發が目睫の間迫つてゐることを示唆するものだ

以上の報道は王黨派のクーデター計畫の黒幕がギリシヤ政府であることを仄かすもので、プラスチック政府は狼狽して八方陳辯に努めてをり、エキステンヂ通信社のアテネ電報によれば六日次の通り聲明したといはれる

右翼がクーデターを計畫してゐる徴候は全然みられぬばかりでなく、アテネ警察が左翼政治指導者の逮捕準備を進めてゐる事實は全然ない、恐らく「ニューズ・クロニクル」紙のアテネ特派員は英國の選舉を牽制しようとして共産分子がばら撤いた噂を早呑込みしたものであらう因みに、ギリシヤの人民戦線は英國の總選舉で保守黨が勝利を獲た場合、英國政府のギリシヤ政策が露骨な左翼彈壓に移ることを危惧して労働黨の勝利を希望してゐると傳へられる

## 勞力飢饉現出か

(リスボン九日發) 近着の「ロンドン・タイムズ」紙によれば英國では歐洲戦終了に伴ふ強制労働の解除により急激に勞力不足を來し、政府並びに勞働組合會議當局は民間産業に對する勞力供給確保につき苦慮してゐる模様である、現在至急に對策を講じなければ事態は勞力飢饉にまで發展する可能性あり特に今冬の不足が憂慮されてゐる、恩給年齢内の男女動員が最高潮に達した當時は百萬人を數へたのであるが、徵用解除により大多數は工場より身を引くことになり、無論政府は既婚女子も出来るだけ工場に残るやう希望はしてゐるものの、成るべく早い機会に家庭生活に復歸しようとする者は相當數に上らう、もつとも一方では今年中に兵員七十五萬人が復員されるが、他方では新規徵兵による青年勞働力の産業界離脱があるから差引勞働力の増加とはならない、政府も目下の兵力を弱化することなしに復員出来るか否かの問題と、産業勞力の飢饉對策に頭を悩ましてゐる模様である

## 英、重慶軍事犯罪協定

(ストツクホルム九日發) ロンドン來電 英國政府は「重慶政權との間に在支英軍將兵の犯罪行為はこれを英軍自體の處理に委ねると共にビルマ、印度駐屯の重慶軍の犯罪行為も同様重慶軍の政權處理下に置くとの取極めを行ひ七日重慶においてこれに署名した」旨九日ロンドンで發表した

## 【米 國】

## 産業界の前途不安

(リスボン九日發) 米國では歐洲戦の終局とともに軍需生産低減の傾向にあり併せて未曾有に膨脹した軍需産業の民需轉換見透難より産業界に前途不安の氣が擡頭しつつあるものの如く近着の「ロンドン・タイムズ」紙によればニューヨーク株式市價も低落歩調を示してゐる、同紙ニューヨーク

特電は更に米國産業界の前途につき次の通り報じてゐる

「米國産業界は戦後軍需産業の民需切換へについては他の國のやうに政府を信頼してをらず、政府が五十億弗を投じて戦後も軍需工場及び同工場勞務者の維持に當る計畫との報道に對しては歓迎どころか不信をもつて見てゐる、軍需生産の低落に對して民需生産の増加が伴はぬから全體として生産は低下の一方で、この傾向は早秋まで續くだらう、一方對日戦の繼續に拘らずこの夏は大巾の失業増加を來たさう、戦時人的資源委員會によれば三月十五日から六月一日の間に彈藥工場の就業者數は九百萬から八百四十萬に減じた、さらに減産計畫の實施情況によつては、十二月までには百三十萬の遊休労働者と百萬の臨時失業者を出すことにならう、したがつて勞働爭議の發生も憂慮されてゐる」

## トルーマン巡洋艦で歐洲へ

(リスボン十日發) 大統領トルーマンは三頭會議出席のため六日ワシントンを出發、翌七日ヴァージニア州ニューポート・ニューズから巡洋艦に乗つて海路歐洲に向つた、トルーマン一行に同行を許されたAP特派員は次の様に傳へてゐる

トルーマン一行の乗つた巡洋艦はこれに隨行する別の巡洋艦一隻と目下大西洋を航行中である 大統領一行には國務長官バーンズ、大統領附參謀總長ウイリアム・リーイを始め多數の政治、軍事顧問が含まれてゐる、ベルリン郊外で行はれる三頭會議では、おそらく國境劃定問題、賠償問題、占領地復興問題等が協議されよう、なほ大統領一行は上陸後、空路ベルリンに向ふ筈である

## C 97 生産開始

(リスボン九日發) シアトル來電 ボーイング航空機會社は近くシアトル工場において新輸送機C 97の生産を開始する旨發表した、C 97は輸送機中の「B 29」といはれてゐるが、B 29の改造であるか否かは明かでない

特輯



再びレヴァント紛争

井上 勇

△渦心をなすカイロ

六月三十日の「トリビューン・ド・ジュネーヴ」紙バリ電はレヴァント問題についてエジプト政府が六月四日附で國內新聞に與へたといはれる記事指導要領といふものを傳へてゐる

一、ソ聯大使のエジプト首相訪問、及びレヴァント紛争に對するソ聯側の見解は禁止

二、モロッコ防衛團代表のアラブ聯盟書記長訪問モロッコの要求に關して、その際提出された覺書に關聯する記事は禁止

三、レヴァント問題は英國に責任があるとなしたバリ新聞「レボック」紙の記事は轉載禁止

四、英中東軍司令官パゼットが英國側の解決案を示唆した聲明に言及すること差止め

五、シリア下院議長は六月三日、英國はシリアに對して五千挺の銃と三萬五千噸の小麥を供與したと新聞記者に語つたが、右報道は差止め

以上が事實として、その解釋はいかやうにも取れるが、エジプト政府が特にレヴァント問題について慎重態度を採つてゐることは争へない、それは英國の示唆を受けてといふよりも寧ろ、レヴァントにつながる地理的條件と、人種的な繋りに基くもので、レヴァントの獨立には衷心の賛意を表しつつ尙、紛争が南漸することに極度の警戒をして、問題の圓滿解決を希望するといふのが、エジプトの公式な立場である。然し、エジプトがその地理的な條件から、中東問題、アラブ民族問題の渦心にあることは止むを得ず、特に英國は此處を要として、中東政策の扇の面を動かしてゐる、七月三日、カイロにある「アラブ回教徒代表者會議」を名乗る團體はフランス國民諮問會議々長宛に長電を發して、フランスの北阿における「民族根絶

政策」を即時廢棄することを要求した、右によれば、フランスの北阿における政策は「窮乏と牢獄と死刑と殺人」の政策であるといふのである、代表會議は同時にアラブ聯盟に對して、アルジェリアにおけるアラブ政治犯の釋放、死刑有免をフランス政府に要求すべきことを決議してゐる、この會議の正體が何であるか不明であり、その背後に何ものが有るが無いか判らないが、直接の動機はレヴァントの紛争であり、アルジェリアの五月八日暴動事件であることは明かだ

最近のダマスカス騷擾事件では五百九十三名が死に千九百七十二名が負傷したとシリア政府が發表してゐるし、五月八日事件では百名のフランス人と千名以上のアラブ人が死んだとはフランス側の報道である、豫期された通り、レヴァント紛争が全アラブ世界に波及する形勢となつたことは、フランスの主張であるレヴァント問題を切離して獨立的に考へることは不可能だとの見解を裏書しつつあるやうであるが、それがフランスの幸か不幸かはまた別問題である、英國のアラブ政策が着々として成功してゐるのに反して、フランスのそれは常に後手にまはつて、その見透しの確かさに似合はぬ不體裁を演じてゐるやうである

△回教徒の懷柔策

フランスは最近、アルジェリアのアラブ回教徒の「同化」政策として、その待遇改善に關する一聯の法律を發表したが内相のアドリアン・テイキシエは七月三日、右法案を國民諮問會議の審議に付するに當り、五月八日の事件をクライマックスとしたコンスタンチヌ地方の不穩は今や完全に平穩に歸したと發表した、コンスタンチヌの暴發は平穩に歸したかも知れないが、その根本に横はつてゐるフランスのアラブ支配に原因する不穩の禍因はならん平穩に歸してはゐない、フランス

は今回の新法令によつて回教徒と基督教徒との平等取扱ひを原則的に承認し、國民諮問會議へのアルジェリア代表數も更改し、住民の福祉増進策を講じ、新たに約八千名の回教徒に選舉權を與へるといふのであるが、これはアルジェリア回教徒の關心を得るところか、反つて彼等のフランス侮蔑感情を煽るのが落ちであらう

そして、中東から北河に亘るアラブ世界の眼覺めに對して深甚の關心を寄せてゐるのが英國であり、その策動の中心地がカイロである、エジプト政府の新聞言論取締りの裏には、その含みが十分に汲取られるのだ

### △英國政府の聲明

六月二十三日の「ロンドン・タイムズ」紙は「レヴァントへの干渉」といふ論文を掲げてゐるが、その中に海外電報版六月二十九日號の拙稿「フランスの心理」の中で言及した六月二十二日の英國政府のステートメントの内容が紹介されてゐるので、ここに取次ぐことにする

「英國政府は昨夜次の如きステートメントを發表した、かういふのである

「各方面に發生しつつある出來事及び誤解に鑑み英國政府がレヴァント國家に干渉した理由を明かにして、英國政府の意圖につき何人にも何らの疑ひなからしめることが望ましいと考へるに至つた

本件の基本的問題は英佛兩國關係のそれと稱するよりも寧ろフランスとレヴァント諸國の將來の關係が如何にあるべきかに係つてゐる、首相及び國務相が説明した如く、英國政府はド・ゴール將軍のシリア、レバノン獨立の公約を支持したのであるが、シリア地方の出來事が全中東地域を擾亂に導き聯合國の戰爭努力を阻害するかに解される事態に立至つたについては、英國軍隊の干渉は至上命令的となるに至つた、英國政府によつて中東軍總司令官に與へられた訓令は、外交行動によつてレヴァント國家の情勢が解決に達するまで、同地方の治安を回復し、維持する目的をもつて干渉せよといふにあつた、この命令を實施した英國軍隊は戰國が行はれつつあり、又は勃發する恐れのある主なる中心地を占領した、ある程度秩序が回

復するに至つて、現實に戰國に参加したフランス軍部隊を、現實に衝突が發生した或る種の都市より撤退せしめることが必然であることが判明した將來新たな衝突が起り得る原因を除去するためには、この措置は不可欠なものであつた、又、これ等の都市に残留するフランス一般民も、その生命が危険に曝されるに至つた結果、これまた撤退せしめた、暴動が勃發したこれ等の都市における主要な擾亂が鎮壓され終つた現在、可及的速かに、これ等の都市を主として、また一般地方においても法律と秩序維持の責任と、能ふ限り廣範圍に地方官憲の手に回復せしめないと意圖されてゐる、シリア、レバノン政府は各々、その領域内において秩序維持の第一の責任を負ふべきものであり、世界は、彼等がこの責任を如何に實施するかによつて兩國政府を審判するであらう、地方政府が有する武力をもつてしては處理し得ないが如き擾亂發生の場合は、英軍司令官は、地方官憲を通じて秩序と正常支配の回復に必要と思惟する公平な行動を取る權限が與へられてゐる、英國軍隊の干渉は、英國が、シリア、レバノンにおいてフランスの地位に取つて替はるが如き意圖のもとに爲されたものでないことはこの際明白にしておかななくてはならない、英國官憲はレヴァントの情勢の最後の解決について如何なる意味においても、何等の豫斷的な意圖を有してゐない、英國の軍事兵力は公平無私以外には使用されないのであらうし、又、聯合國の戰爭努力のための利益が攪亂されることを防止する爲に、更に改めての干渉か必要な場合は、英軍司令官はかかる攪亂を發生せしめるに至つた如何なる責任者に對しても適當な行動を取るであらう」

以上の英國政府の聲明は、ロイターのマンジョット君が「なほ解答の與へられない幾多の點を含んでゐる」と批評したものであるが、想像以上に消極的なもので、事態の解決には一歩も前進してゐない、從來何度も云つたことを、更に不手際に繰りかへしたにすぎぬ

# 同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

## △直接交渉への皮切り

ところで七月三日のエキステンジ通信は、ダウニング街十番地もいよいよ腰をあげて、英佛兩國間の緊張した零圍氣の明朗化に乗り出す時期が近付いたといつてゐる、同時にパリとダマスカスの間にも友情の橋が再びかけられるやうに手が打たれるだらうといつてゐるが、いままでも英國は何しろ選舉でいそがしかつた、レヴァントどころではなかつたともいへる、その選舉騒ぎも七月五日終つたのでチャーチルは、大陸のどこかで暫時の休養するといふことになつてゐる、大陸のどこかは多分フランスだらうともいはれてゐるので、この休暇を機会にレヴァント問題解決の緒がつくかも知れないとはフランス側の期待である、一方現地では四日、ベイルートでフランスの全權エチエンヌ・ベイネが、次席のオストログ伯を帯同して、レバノン外相アンリ・フアラオンとその自邸で會見した、何しろ五月十八日ベイネがフランスの「要求」を持込んで蹴られて以來、久方振りのレヴァント側責任者とフランス側責任者の會見である、オストログがパリからの訓令を持ちかへつたのは六月九日のことで、この會見で、その内容がフアラオンに通達されたものと見るべきだらう、フランスは始めから出来れば單獨で、つまり直接取引で問題を解決したいと考へてをり、幸か不幸か英國の肚はいまだに判らぬし、急いで直接交渉を始めたものと解される

## △フランスの大譲歩

ここまで書いて七月七日に至り、チャーチルはフランスのスペイン國境町アングダイに着いた、同時に、四日のベイネフアラオン會見について始めて實のある報道としてロイター電が入電した

レヴァントの情勢についての凡ゆる兆候は、その最悪の危機を通りすぎたやうだ、いまのところでは、交渉は國際的な分野から、フランス代表とシリア、レバノン官憲との直接會談開催の方に移つた、今回の會談は、フランスが豫て保障を求めてゐる諸問題の内、經濟、文化に關する案件のみに討議の範圍が限られてゐると見るべき十分の理由がある、オストログ伯がパリからベイルートに持歸つたと傳へられるフラン

スの新提案が、レヴァント側に討議の基礎として受諾可能なものである場合は、レヴァントの情勢改善に對して眞個の希望が持たれるわけでの結果として一層恒久的解決のため、相互の信頼を新たにした零圍氣の下で國際的會談を開き得る可能性も生れるだらう、然し英佛兩國とも問題がひと晩で解決するなどとは考へてをらず、またベルリンでの三國會談の前に、レヴァント問題で國際會議が開かれるやうなこともないだらう

これと前後してフランス外務省スポークスマンが七日午後フランス政府はレヴァントにおける特別軍(土民軍)をレヴァント政府に移管するに決した旨を發表したとの情報はいつた、レヴァント紛争の最大の争點の一だつた土民軍の移管をフランスが承認したことはフランス側としては最大の譲歩であり、フランス外務省スポークスマンがこの決定を評して「融和の手段」といつてゐるのももつともである、彼は言葉をつづけて「今回の決定はフランス政府がシリア、レバノンとの友交關係を新たにしたい熱意を有すると共に、全アラブ世界に對する融和精神の現はれとして解釋されるべきだ」とのべてゐる、言葉をかへていへば、フランスは閉口した、ここで我を折るから過去は水に流して勘辨してくれといふ告白である、フランス代表ベイネも同じ日ベイルートで聲明を發し、「歐洲において戦争が終つた今日、シリア、レバノンが自國の國軍を創りたいといふ正當な希望に反對する何らの理由もない」といつてゐるが、それならそれでもつと早くさういへば、今回のやうな紛争は起らないで済んだかも知れないのだ

フランスはシリア、レバノン兩國が主權に基く凡ゆる特權を享受し聯合國に参加して、その役割を演ずるのをみることを幸福とする、フランスの今回の決定は現在約五千に達するシリア、レバノン駐屯フランス軍のステータスには何等の影響を有しない、特別軍の移管は所要の形式の完了次第直ちに實施さるべく、それは四十五日間を出ないであらう

とはベイネの説明である

## △解決の第一歩

フランスがこの英斷をなすに至つたことは、英國にも意外だつたらしく、ロイターはこれを評して「フランスは一舉にして、レヴァント紛争の最

大重點の一を解決し去つた」といつてゐるが、レヴァント問題はかくて急轉直下、解決への第一歩を踏出したものと解釋される、ロイターはフランスのこの讓歩の結果

第一にフランスとシリア、レバノン兩國は、外部からの調停なく、その紛争を解決し得る可能性が生じた

第二に、土民軍問題以前の他の懸案が急速に解決するかしないかは別として、レヴァント現地の情勢は著しく改善されるだらう

と豫測してゐるが、從來の「出來事」の多くが、土民軍の脱走と、これを防止せんとするフランス側の企圖に基いて發生したことを考へれば、このロイターの見方はある程度まで正しい、このフランス側の改心がレヴァント諸國に、またはアラブ世界に與へた影響については明白でないが、フランスが本案をレヴァント側に提示して四日を経て事實を發表したことは、レヴァント側でも一應フランス側の「誠意」を認めたとの見解が成立したためと解してよからう

しかし、二萬五千乃至三萬人の土民軍の問題は重大ではあるが決して懸案の全部ではない、フランスが眞にレヴァント兩國の「主權に基く凡ゆる特權」を承認する原則を認めるならば、目下フランスが交渉しつつある要求はすべて、その原則とは背馳するものであるとの議論が成り立つ、レヴァント側がいままでの強硬方針を一擲して、土民軍の接收と引換へに、主權の事實上の一部侵害をば輕々に承認するかどうかは極めて疑はしいが、フランスとの急速な國交改善を希望してゐる英國がレヴァント兩國を説いて、この際多少の不満は我慢してフランスと妥協することを勧告してゐるかも知れぬことは有りさうなことであり、英國から勧告されてそれを蹴る實力をレヴァント側では有してゐない現在の見透しからいへば、シリア、レバノンの問題が解決へ第一歩を進めたことは否めない、フランスを壓迫してここに至らしめたことは、レヴァント側の勝利といふよりも、英國外交の勝利だつたことはいふまでもないが、この勝利の限界をどの邊で畫するつもりか、まだ英國の肚の中は判らない



### 英空軍の「マトン」

「デーリー・メール」紙

六月二十八日附

英軍は一九四〇年、ロンドン上空に殺到して來るドイツ軍爆撃機隊の行動を阻害するため夜間その進入路前面にヘルス・ロビンソンが考案した爆撃物の幕を敷設してゐた

この幕は長いピアノ線で落下傘に吊された空中機雷から成り、敷設機に改装された英空軍の舊式双發爆撃機「ハロイズ」から幾列も短い間隔をもつて投下された、ドイツ軍の爆撃機はこの空中機雷原に突入して爆砕されるだらうといふのが考案の狙ひだ、公式の呼稱はLAM (Long Airia Mines) であるが「ラム」が仔山羊に通ずるところから作戦上では「マトン」(羊肉)と呼ばれてゐた、空中機雷の敷設には四臺の「ハロイズ」敷設機が使用され、各機は百八十個の空中機雷を積載、操縦士は各機一名であつた、ドイツ機來襲の情報が入ると敷設機隊は直ちに飛び上り、敷設個所については地上からラジオで刻々指令を受けたしかし空中機雷が地上に落下しては危険であるから英國沿海の上空に敷設するのが常であつた

### 英空軍の「ゴ布林」

「デーリー・テレグラフ」紙

六月二十七日附

英空軍が採用した新單座戦闘機デ・ハヴィランド「ヴァンパイア」の噴射推進式發動機は「ゴブリン」と呼ばれてゐる、「ヴァンパイア」はかなりの高度に於る行動にも耐へ、且つ相當の航続距離を有する快速邀撃戦闘機で、機構は簡單を極め、震動や騒音は少く、操縦士の視界は滿點である

### フェアチャイルド C 82 續報

米陸軍のフェアチャイルド C 82 輸送機は軍需物資九噸の積載能力があり、對日戦に使用するため大量生産をされる豫定であるが、同機は小島嶼における未完成の飛行場から發着することも可能で航続距離は四千哩に及び、巡航速度は一時間二百哩以上、搭乗員は五名である



昭和二十年七月十四日(土)  
第三四八二號

# 同盟通信 海外電報

(161)

ポツダム之三頭會談で何が討議されるかといふ問題は既に論議されてをり、主として歐洲戰後問題だといふことに大體意見の一致をみてゐるやうだ、事實ドイツ管理問題を始めとして、タンジール、ダーダネルス、レヴァントの諸問題にトリエスト紛争などの領土問題等山積してゐる實狀で、以上の問題に關して米英ソ三大國間に一應の諒解が成立しない限り、媾和會談といふが如きものの開催は不可能であらう

しかしながらポツダム會談は歐洲問題だけに局限されるものであらうか、米國の報道によるとトルーマンは會談地でマインシャル、キング、アーノルドの米陸海空三軍首脳と落ち合ふといはれる、もしもこの報道が事實とするならば、ポツダム會談では當然太平洋戰爭の問題も俎上にのせられるものと解しなければならぬ、また米陸海空三軍首腦のポツダム行きが虚報としても、會談で對日戰問題が採り上げられないとは断定出來ない、われわれはソ聯が中立的地位を維持してゐることにあまりにも偏執してゐるきらひがなからうか



二、三日前の中央通信社は宋子文のモスクワ訪問の結果、ソ聯と重慶政權との間を一段と緊密にする條約が成立するかも知れないと報じてゐたがそれが單なる友好條約か或ひは一步進んだ相互援助條約であるかは論外とするも、ソ聯言論界の重慶攻撃をもつてその儘ソ聯と重慶との間の關係を律する尺度とし、兩國の對立激化を唱へていまにもなにか起るやうに騒ぎ立てるのもどうかと思はれる、外交關係を簡單に割り切れるものと考へるならば外交官は残らず辭職しなければならぬ、同様にソ聯の對日關係を検討する際、米國はソ聯の參戰を好まぬとか、ソ聯の對日中立はトランプだとかいふ興味本位の觀測で悦に入るのもどうかと思はれる、スターリンが昨年十一月の革命記念演説で日本に侵略者の烙印を押ししたことを思ひ出すがよい、スターリンがポツダム會談で對日戰問題の討議を嫌ふ理由は現在ではなにもないのだ

元伊首相ニツチ歸國  
(リスボン十二日發) スイス放送局が十一日報するところによれば、元イタリア首相フランチェスコ・ニツチはローマへ歸還の途次ミラノに到着した、ニツチは一九一九―二〇年首相兼内相であつたが、故ムソリーニ首相のファシスト政權確立とともに國外に亡命し終始ファシズムに反對、今日に至つたものである

## 【目次】

オーガスタ艦上で協議	二〇一四
ブレメン上陸説	〃
ソ聯、重慶友好條約か	〃
濠首相正式決定か	〃
埃、新行政體制	〃
ペタン元帥公判	〃
カトルー巴里歸還	〃
陸軍航空隊をマツカーサー麾下へ	〃
トルーマンはドイツに上陸	二〇一五
デーヴィス倫敦着	〃
ド・ゴールとは會見せず	〃
伯林合同司令部、初會合	〃
英軍の撤收地域は五千平方哩	〃
タンジール非公式會談	〃
大スラヴ・プロツク結成	二〇一六
赤軍占領下の民政機關	〃
ソ聯、重慶を非難	二〇一七
米石炭輸出を禁止	〃
上院國際憲章で激論	〃
メキシコ外相辭職	〃
B17生産停止	〃
【特輯】	〃
暗雲低迷の白政界	二〇一八
ソヴェト聯邦短信	二〇二〇

## 米スイス軍隊通過協定

(リスボン十三日發) 「ロンドン・タイムズ」紙ジュネーヴ特電の報するところによれば、スイス及び米國代表は、モントルーにおいて米軍のスイス領土通過に關する協定に調印した、米軍以外の聯合軍に關しても同様の要求がある模様だが、スイス政府は軍隊武装解除、スイスの中立尊重、並びに右軍隊を後に對日戰に使用せぬとの三條件によりこれを承認するものとみられる

## オーガスタ艦上で協議

(リスボン十二日發) 巡洋艦オーガスタからのAP電報によれば、米國大統領トルーマンは十一日オーガスタ艦上において大統領最高軍事顧問ウィリアム・リーイその他歐洲問題の専門家達と會同ボツダムの三頭會談に先き立ち米國側の方策につき慎重に協議したと傳へられる、またトルーマンはオーガスタが歐洲大陸の港に着くとそのまま空路ベルリンに直行し事前にチャーチルとは會見しない模様だ

## ブレイメン上陸説

(リスボン十二日發) トルーマンを乗せた巡洋艦オーガスタは英本土に寄港せず一路ドイツにむかふことになつてゐるが、當地に達した時報によれば上陸地はブレイメンであり、同地でマインシャルキング、アーノルドなどの作戦首脳と會見、會談に上程される軍事問題に關する最後の打合せを行ふ豫定といはれてゐる、但し、他にこれを確認すべき特報はない

## ソ聯重慶友好條約か

(チューリッヒ六日發延着) フランス通信社ワシントン電報にソ聯大使館側近筋の言明によれば目下モスクワにおいてソ聯重慶兩國間に友好協力に關する協定の交渉が進められてゐるといはれる

## 濠首相正式決定

(リスボン十二日發) キャンベラ來電に濠洲首相ジョン・カーチンの死後首相代理フランシス・フォードが臨時首相を勤めてゐたが、十二日藏相ジョセフ・チーフレーが首相に任命された

チーフレーは本年五十四歳、一九四二年以來藏相兼戦後再建相であつた

## 澳新行政體制決定か

(チューリッヒ十一日發) エキスチエンジ・テレグラフ通信ロンドン電の報するところによれば、オーストリアの新行政方式に關する英米ソ三國關係者の折衝は、ソ聯當局の妥協的態度により漸くま

た妥結點に到達したものの如く聯合國監理委員會は近くウィーンにおいて機能を開始するものと豫想される、監理委員會による統治の基本方針は第一にオーストリアに對する四國共同行政、第二にオーストリアを獨立國として承認すること、第三にオーストリア政府の民主主義化並びに出来るだけ最近時に於ける人民投票の實施とされる、もつとも米英兩國はソ聯と異り、現レンナー政府はオーストリア大衆の意思を反映せずとして、承認を躊躇してゐるので、同政府に對する承認は人民投票の後、並びに聯合國の要求により政府の改組を行つた後といはれてゐる、右のほかソ聯側はダニューブ航運設備並びにウィーン郊外飛行場の使用を米英軍に認めることとした結果、爾餘の問題に對する聯合軍間の交渉を促進したものと報ぜられてゐる

## ペタン元帥公判

(リスボン十一日發) パリ來電によればペタン元帥の公判は十九日開廷と決定したといはれる

## カトルー、巴里歸還

(リスボン十二日發) パリ來電にモスクワ駐劄フランス大使ジョルジュ・カトルーは十一日パリへ歸還した

## 陸軍航空隊をマツカーサー麾下へ

(リスボン十二日發) グラム島來電にニミッツ司令部は十一日次の通り發表した

米第七航空隊を含む沖繩基地の全陸軍機は今回マツカーサーの麾下に移されることになつた、今回の措置は日本に對する決定的攻撃を加へるため西部太平洋方面の米空軍力を再編成せんとするものである、これによつてニミッツの指揮下に依然として屬するものは沖繩と共に硫黃島基地の海軍並びに海兵隊航空部隊である、マツカーサー空軍司令官兼米極東航空隊司令官ジョージ・ケネーは今回の措置によつて現在指揮をとつてゐる第五、第十三航空隊に加へ第七航空隊の指揮をもつることになつた

【三頭會談】

トルーマンはドイツに上陸

(リスボン十一日發) 大統領トルーマンは三頭會談出席のため顧問多數を帶同、巡洋艦で歐洲への途上にあるが、AP通信社特派員は十一日次のやうに傳へてゐる

トルーマン一行を乗せた巡洋艦は「オーガスタ」であることが判明した、トルーマンは十一日艦上で顧問一同を集めて種々協議した、トルーマンは一路ドイツの某地に向ひ、上陸後空路ポツダムに赴くが、同地で遣英特使デーヴィスを始め參謀總長マーシャル、海軍作戰部長キング、陸軍航空本部長アーノルド以下の國務省、陸海軍省首脳部と會談することになつてゐる

デーヴィス倫敦着

(リスボン十一日發) ロンドン來電にトルーマンの遣英特使ジョセフ・デーヴィスは十一日ロンドンに到着した、同人は近く開催される三頭會談に出席する筈である

ド・ゴールとは會見せず

(リスボン十一日發) トルーマンの本國出發、デーヴィスのロンドン着などの報道からみてポツダム會談の開催は旬日内とみられてゐるが、BBC放送局が英國外務省筋の非公式に漏らした情報として傳へるところによればトルーマンは歐洲滞在中フランスを訪問せず、従つてド・ゴールと會見することもなからうといはれる、また三頭會談の議題は

(一) ドイツ管理に關する米英ソ三國の共同政策決定

(二) 平和會議に先立ち中歐の新國境劃定に關する豫備交渉を行ふ件

(三) 歐洲食糧問題

などを中心とし或ひはダーダネルス海峡問題、スペイン問題も俎上に上るかも知れず、またトルーマンが極東問題専門家を帶同してゐるところから極東問題も討議されるものとみられてゐる

【歐洲】

伯林合同司令部、初會合

(リスボン十一日發) ベルリン來電にベルリン管理合同司令部の構成員である米英ソ佛四國占領軍司令は十一日赤軍の占領地帯間にあるウイルヘルム・シュトラッセ北方の獸醫學校で初會合を開催した、合同司令部の最高司令官は十五日間交替の輪番制となつてゐるが、第一回目の司令官にはソ聯代表ゴルバトフ軍大將が選ばれ、十一日の會合は同大將の司令の下に行はれた、出席者左の通り

- ソ聯 ゴルバトフ軍大將
- 英國 ライン少將
- 米國 パークス少將
- フランス ボーシユサン少將

英軍の撤收地域は五千餘方哩

(リスボン十一日發) ドイツ占領地帯の境界線問題は既に解決を見るに至り、七月五日までに赤軍は新境界線への西進を完了したが、當地へ達した七月三日附「タイムズ」紙によつて英軍と赤軍との接觸線の詳細が明かとなつた、即ち、同紙のマグデブルク電が傳へるところによれば英軍の後退地域は五千平方哩に上り從來ヴェスマールからメクレンブルク西南部のデーミツツでエルベ河を越え、更にエルベ河左岸に沿つてデツサウに至る線で赤軍と接觸してゐた英軍は新協定に基きリューベック東北方のトラヴェエミュンデから南下して、ハルツ山塊に至る線で赤軍と境を接してゐるといはれる

タンジール非公式會談

(リスボン十一日發) 「デーリー・テレグラフ」紙及び「オブザーヴァ」紙のバリ特電を綜合するに、タンジールの地位再檢討に關しては、目下米英佛三國代表の間に非公式折衝が行はれてゐる模様である、タンジールの新地位については、これを聯合國のための國際港、國際空港として開放し舊制度同様非軍事的國際共同管理下に運営しようとする案もあるが、いづれソ聯の會談參加問題が正式決定の上、本格的討議に入るものと見られてゐる

## 大スラヴ・プロツク結成

(ストツクホルム十一日發) スラヴ系諸國代表はソ聯の司會の下に目下チエコスロヴァキアのブラチスラヴァにおいて會議を開催してゐるが、ロイター記者ジョン・キムチはソ聯が以上の會議でスラヴ國家全體を包含する地域的安全保障體制の樹立を企圖してゐると觀測、歐洲における非スラヴ國家の將來を危惧して十日次の通り述べてゐる

「ロンドン外交界の觀測ではブラチスラヴァ會議はスラヴ諸國間の相互援助及び友好條約の成立となつて結實する模様だ、この地域的條約の參加國はチエコスロヴァキア、ポーランドの兩西スラヴ國家で、總人口は三千八百萬、ユーゴスラヴィア及びブルガリアの南スラヴ國家、總人口は二千二百萬、ソ聯の歐洲部分、白ロシア、ウクライナ等の東スラヴ國家、總人口一億四千六百萬で、かかるスラヴ・プロツクは人口二億五百萬、即ち歐洲總人口の三分の一、面積にして歐洲の約三分の二を含む譯だ、またかかる政治圏は必然的に非スラヴ國家たるオーストリア、ハンガリー、ルーマニア等の諸國の廻廊を形成し、この廻廊は一方はユーゴ、ブルガリア、他方はチエコ、ポーランド、ソ聯に挾撃されることになるため、スラヴ國家群と非スラヴ國家群との間の關係こそソ聯の意圖する東歐洲協定の試金石とならう」

## 赤軍占領下の民政機關

(モスクワ十一日發) 「イズヴェスチヤ」紙は十日ドイツにおける赤軍占領地域内の民政機關の構成並びに目的に關して報するベルリンからのタス電報を掲載してゐるが、それによればソ聯によつて復活を許された社會民主黨員を中心に共產黨員を配したもので、豫想に反して微温的なものである、タス電報の内容次の通り

赤軍の管理下に發行されてゐる「ベルリナー・ツァイツング」紙は數日前ブランデンブルク、メクレンブルク、ザクセン三地方に設置された

地方民政機關を發表したが、同紙によれば以上三地方の社會民主黨は地方行政機關の組織を申し出で、その統監並びに統監代理の候補者名簿を提出、ジュニコフ元帥の承認を得た結果次の通り決定したといはれる

### △ブランデンブルク

統監 シュタインゴフ博士(社會民主黨員、一九二八年から一九三二年まで東プロイセン大統領代理)

統監代理(首席) ベーラー(無所屬)

同(次席) ゲルンレ(共產黨員、元ドイツ

### 國會議員)

同 リツカート(社會民主黨員)

同 ライマク博士(社會民主黨員)

統監事務所所在地はポツダム

### △メクレンブルク

統監 ゲツカー(社會民主黨員、一九二〇年から一九三三年までメクレンブルク議會議長)

統監代理(首席) ヴァインケ(共產黨員、元

### メクレンブルク議會議員)

同(次席) メラー(無所屬)

同 グルンベルク(共產黨員)

統監事務所所在地はシュヴェーリン

### △ザクセン

統監 フリードリツクス(社會民主黨員、現下

### レスデン市長)

統監代理(首席) フイツシャー(共產黨員)

同(次席) ヴオート博士(社會民主黨員)

同 レングラード博士(無所屬、ドレスデン市

### 農業局長)

同 ウーライ博士(社會民主黨員)

同 ローナー(社會民主黨員)

統監事務所所在地はドレスデン

以上の三地方統監事務所は既に活動を開始してをり、その目的は政治的にはファシズム並びに社會不安と闘ひ、經濟的には工業並びに商業を復活し、都市に對する食糧供給を確保するにある

【米 洲】

石炭輸出を禁止

(リスボン十一日發)ワシントン來電 米國戰時燃料局長官イツキースは漸次顯著となつて行く國內の石炭不足に鑑み十日次の通り發表した

米國陸海軍への補給を除き米國産石炭の海外向輸送を七月二十日以降禁止する、ただし戰時燃料局の特別許可を受けたものは禁止令から除外される、新石炭輸出禁止令は軍需生産に對する石炭の供給を確保維持するためである

ソ聯、重慶を非難

(リスボン十日發)ワシントン來電 共和黨下院議員R・ウイelsonは最近歐洲を視察して歸米したが十日次の通り述べた

「ドイツ軍の俘虜となりその後赤軍に救出された米軍の將兵は救出されたと思つたとたんに萬年筆時計等の所持品はおろか外套やその他の衣類まで赤軍にとりあげられてしまつた、これ等の米軍將兵は盟邦の赤軍將兵が彼等に與へたかかる待遇に對して如何なる考へを抱くであらうか、政府は議會の視察團が海外に出かける事を極力やめさせようとしてゐるが、これは海外において如何なる事態が現實に起つてゐるかを知らせたくないからだまた重慶に對してはしきりに武器貸與品が送られてゐるが、これ等は對日戰には使用されてゐない重慶政權當局はこれ等の軍需物資を蓄積して、對日戰終了後は中國共產軍との戰ひに使用せんとしてゐるのだ、議會特に下院外交委員會はこれ等の真相調査に乗出すべきである」

米上院國際憲章で激論

(リスボン十一日發)ワシントン來電 桑港會議で決定された國際安全機構の國際憲章は既に上院に提出され、外交委員會の審議に附されてゐるが委員會は十日國務省のレオ・パスヴォルスキーを招いて公聽會を開催、この際國際憲章支持派と孤

立派議員との間に最初の激論が戦はされた、即ち共和黨議員ブルツクスは

桑港會議がことさらに侵略の正確な定義を與へることを「回避」した

と非難し、更に他の共和黨議員は

武力行使のために米國の軍隊が使用される場合は議會の承認を必要とすべきである

と主張した、これに對しパスヴォルスキーは

もし安全保障理事會が豫め米國の兵力に依存できるか否か知り得ないとするならば國際憲章の生命は失はれてしまふだらう

と反駁、更に米國代表として桑港會議に出席した共和黨のヴァンデンバーグも孤立派議員の主張を攻撃、次の通り述べた

「安全保障理事會の決定する武力行使につき米國議會は何等の發言權をも有すべきでない、もし米國軍隊の使用に關し議會の同意を必要とするならば、これは單に國際憲章の精神を蹂躪するばかりでなく、米國の憲法に對する違反である、軍隊を動かし得る權限は大統領にあつて議會には與へられてゐないのだ」

十日の委員會ではさらに太平洋島嶼と信託統治制との關係についても論議が交はされ、共和黨のハイラム・ジョンソンが

國際憲章に従へば米國民は百萬の米國兵の血を流して獲得した島嶼を國際信託統治に委ねなければならなくなるではないか

と質問したのに對し外交委員長コナリーは米國はあくまでこれら島嶼を確保するであらうと述べた

メキシコ外相辭職

(リスボン十一日發)メキシコ・シテイ來電 メキシコ外相エセキエル・バデアイラは十日辭表を提出大統領カマチョはこれを受理した

B 17 生産停止

(リスボン十一日發)ワシントン來電によれば米國戰時生産局は今後B 17の生産を停止する旨十一日發表した



## 暗雲低迷の白政界

紛糾を重ねて来たレオポルド三世歸國問題も愈々大詰に近づいたやうだ、去る七日アツケル首相自らザルツブルクに飛び國王の信任最も厚いジャック・ピレンニを含む四人の法律家も首相の後を追つてザルツブルクに赴き問題解決に最後の努力を試みることになつた、アツケル首相の國王訪問に關しては、ベルギー政界有力筋は大體において首相自ら國王に退位の勸告をなすためだと觀てゐる様子だ、これに關し、八月の「ニユーヨーク・タイムズ」紙ブリュッセル特電は次の通り報じてゐる

### △退位か總選舉か

「アツケル首相今回のザルツブルク訪問は國王に自ら退位要求をなすためのものであるが、若し國王側において首相によつてなされるこの正式退位要求を受諾せぬ場合は、首相は歸國後直ちに問題を國會に附議し投票により問題の一瀉千里的解決を計ることになるであらう、抑も突然のアツケル首相のザルツブルク行きも、實を云へばレオポルド三世側が曖昧な現状維持によつて問題の遷延を策しつゝあることが明瞭となつたためだ、つまり國王側は早くても茲六ヶ月は諸種の國內事情により施行不可能となつてゐる總選舉まで、問題を現状のまま持越さうと計つたのである、去る二月ザルツブルクから検事總長コルニルが歸還し、アツケル首相にレオポルド三世からの親書を手交した當時は、消息筋でさへも國王は退位を決意し、其の條件の交渉を政府と始めるものと期待したのであるが、之に反し國王が留位を固執してゐることが明かになるに及び、政府は問題の急速な解決に向つて最後の手を打つことに決した譯である」

前記の特電によつて窺知し得る如く、今迄のところ問題の最後の解決に向つては國王側と政府側

に何等の歩み寄りも行はれなかつた譯であるが、この間國內一般大勢も前者に有利に發展しつゝあつたとは云へない、最右翼のカトリック黨も七日夜上下兩院議員の緊急總會を召集し、席上、出來れば總選舉、若しそれが不可能の場合は人民投票による問題の解決もまたやむを得ずとの決定をなしたと報ぜられてゐる

### △強硬派の動向

一方社會黨、自由黨、共產黨の國王歸國反對派はアツケル首相のブリュッセル歸還直後召集を豫定される議會において、一丸となつて眞向からレオポルド三世退位の強硬要求を提出するものと信ぜられるが、これら各黨は既に退位要求を最も合法化するため國王彈劾書類を用意してゐると報ぜられてゐる

國王歸國問題をめぐる一般の關心は最近やや冷却の傾向を示してゐたが、八日「ラ・リーブル・ベルヂック」紙が、レオポルド三世歸國の場合は直ちに逮捕すべしとの米軍當局の布告なるものを掲載して以來、またまた國王問題は街の話題を浚ふに至つた、これに驚いた米軍當局は早速第十二軍に事の真相調査を命ずると共に、右報道は全く事實無根なるのみならず、最高司令部の方針にも反するものなる旨の聲明をなすなど思はぬ方面に問題は波及して行つた

以上の如くレオポルド三世歸國問題をめぐるベルギー政情は依然として紛糾を重ねる許りであり國王支持派側の態度に多少軟化の兆はみられるが反對派との對立は何等解決の兆をみせてをらず、問題の最後の解決には相當の迂餘曲折が豫想されるのみならず、國內分裂の危機をさへ伴ふことなしとせぬのが現状である

果してレオポルド三世の歸國なるか、將また退位か問題の複雑性は輕々しい豫斷を許さないが、

アツケル内閣は問題解決のため、極めて近い將來において最後の手段に出るであらうことは豫想される。

### △痛し痒しの英國

なほ瑞西紙「バーズラー・ナハリヒテン」紙は最近の紙上でこの問題に對する英國政府の態度につき次の通り傳へてゐる。

「英國政府も國王歸國に絡むベルギー政局の危機に關しては深甚な關心を拂つてゐるが、今の處ベルギーの内政問題として傍觀の態度を執つてゐる殊に最近のギリシヤ問題の苦い經驗にも鑑み、且つは總選舉を控へての今日、外國の「反動勢力」を支持するとの非難を避けるため、チャーチル内閣は極力ベルギーの内政干渉に涉る如き舉に出まいとするのが現状である、事實かかる口實を政敵に與へることなしにベルギー問題には容嘴出來ないのが現状であつてみれば、國王問題をめぐるチャーチル内閣の立場もまた全く痛し痒しの態であるといはねばならない」

### △再び他國內亂の渦中に

然し若しレオポルド三世が國內の大勢を無視しアツケル内閣の反對を押し切つてまで歸國を強行することになれば、ベルギー政界は文字通り累卵の危機に立至るのは必至である、既に去月中旬のアツケル内閣の辭意表明理由にあるやうに「國王の歸國に伴ひ國內に必然的に發生すべき政治情勢については責任を負ふことは出來ない」との理由のもとに現内閣は下野し、レオポルド三世はカトリック黨其他を主體とする内閣の組織を試みるものとなるであらうが、かかる新内閣をもつては議會を乗切ることとは不可能であり、結局議會の解散につぐに四十日後の總選舉といふ段取になるのは必至である、選舉の結果は恐らく少數の差で左翼分子の勝利となり、國王派の敗北は不可避のやうだが、茲に見逃してならないのは之等を契機としてベルギー國內に大分裂を來し、内亂の危機を招來する可能性が多分にあるといふ事實である、國王派は、裝備優秀な約二千の在英ベルギー兵を主體とし、フレンシッシュ派の援助を恃んで左翼派に抗爭せんとするであらうし、茲に國內は蜂の巢

をつついたやうな混亂に陥ることは必至である、かかる情勢の下においては、ドイツ占領地區内の聯合軍將兵に對する補給地としてのアントワープブリュッセル其他のベルギー都市の位置からみて英國政府によるベルギーの内政干渉、延いては増兵等も當然考慮さるべき問題となる事は言を俟たない

### △エリザベス女王の訪英

前記の如き英國のベルギー内政干渉方針にも拘らずここに疑問視されるのは最近のレオポルド三世母王エリザベスのロンドン訪問であつた、表面女王の訪英は飽くまで個人の資格であり、英都滞在中も専らベルギー大使館に逗留して政治的會談は一切避けたといふことにはなつてゐるが、情報によれば女王は訪英中英國の「要人」と會談したといはれてゐる、勿論その要人の何人なるかは知る由もないが、この噂に關聯してイーデン外相病氣引籠中はチャーチル首相自ら外相の事務を兼任してゐた事實が可成り重大な「含み」をもつてゐるのではないかと取沙汰されてゐることは何物かを示唆するものであらう、さらにこの要人との會談後エリザベス女王は眞直ぐにオーストリアに歸つたがこのロンドン歸りの母王との會見後レオポルド三世がベルギー歸國を聲明するに至つたのだ、この事實によりエリザベス女王の訪英とレオポルド三世の歸國問題に一脈の關聯があつたとみるのもあながち根據なき事でもあるまい、以上の経緯から推論して會てギリシヤ國王を支持した英國が再びレオポルド三世歸國支持の確約を與へたとの結論も生れる譯である

### 米國大西洋橫斷空路

(リスボン十日發)ワシントン來電 民間航空局は次の通り發表した

政府は汎米航空會社、アメリカン・エクスポート航空會社、及びトランスコンチネンタル・アンド・ウエスタン航空會社の三社に對して大西洋橫斷歐洲空路開設の許可を與へた、またアメリカン航空會社によるアメリカン・エクスポート社の合併の件をも承認した

## ソヴェト聯邦短信

モスクワ十一日發

### △ミハイ一世に勝利勳章

聯邦最高會議幹部會はルーマニア國王ミハイ一世に勝利勳章を贈つた、外國人でこの勳章を貰つたのは同人が三番目である、ソ聯ではミハイ一世がドイツが敗れるかどうか未だはつきりしない時に對獨斷交を決行、聯合國側に就いたのを賞讃してゐる

### △ポーランドと住民交換

七日附のソ聯紙によればヴァインスキ外務人民委員部次長は六日モスクワで駐ソ波蘭大使モゼレフスキーとの間にソ波兩國住民交換協定に調印した、同協定によれば西部ウクライナ及び西部白ロシア居住のポーランド人及びユダヤ人で一九三九年九月十七日までポーランドの國籍を有しその後ソ聯の國籍に編入された者は若し欲するならばソ聯國籍を脱し、ポーランド領に戻ることが出来るやうになつた、同様に目下ポーランド領にゐるロシア人、ウクライナ人、白ロシア人及びリトワニア人などはポーランドの國籍を脱し、ソ聯領に戻ることが出来るやうになつた、そして本國歸還を欲するものは本年の十一月一日までに今回モスクワに設立された住民交換委員會に届出ねばならない

### △ワルシャワ政府承認國

ポーランド假政府を承認した國は七月七日現在までで七ヶ國になつた、即ち、ソ聯、チェコは本年一月、フランスは六月二十九日、米英重慶は七月五日、ノルウエーは七月六日にそれぞれ承認してゐる

### △民間航空機の活躍

民間航空中央局長代理セミヨフ空軍中將は七日附の「イズヴェスチヤ」紙上に民間航空機の戰爭寄與について一文を發表してゐるが、これによ

ると嘗てレニングラードがドイツ軍に封鎖されてゐた當時民間航空機は同市民に毎日少くとも百噸の物資を供給してゐた、總計三千百一十回レニングラードへ飛行し、四千三百二十五噸の食糧と千六百六十噸の民需品を輸送し、レニングラード市内から五萬の市民を搬び出した、また民間航空機は戦線背後で百二十萬時間飛行し、十四萬五千噸の戰略物資を輸送した、かかる功績によつて民間航空従事者一萬四千名が勳章を貰つた、歐洲戦終了後民間航空は新しい任務に服することになつた現在モスクワと十六加盟共和國の首都を結ぶ定期航空路が開かれてをり、モスクワから各共和國の首都まではその日のうちにつける、但し、アルマアタとスタンリナバドへだけは一日餘計にかかるモスクワからシンフェロポリ、アドラー、クラスノダールその他の産業中心地に至る航空路も開かれた、最も長い航空路はモスクワ——ハバロフスク線だがモスクワを今日立てば明後日にはハバロフスクに着く、民間航空の發展により今日ソ聯の定期航空路の数は三十以上に達してゐる、勿論このうちには若干の外地球線も含まれてをり、ペルリン、プラーグ、ワルシャワ、ブカレスト、ソフイア、ウイーン、ブダペスト、ベルグラード、テヘランの各市とモスクワとの間に定期航空が續けられてゐる、またストックホルム、ヘルシンキ、インスターブルグ、グレイヴィツの各都市間に不定期航空が行はれてをり、毎月モスクワ飛行場に離着陸する旅客の數は一千名に達してゐる、なほ地方では地方航空路が開かれてをり、農作物の害蟲驅除、マラリア撲滅などのためにも民間飛行機が使用されてゐる、一九四一年の夏にソ聯の民間航空路の延長は十四萬三千軒であつたが現在ではこれよりも擴充されてゐることは勿論である

### △白ロシアの戦災

ドイツ軍は白ロシア共和國で百十二萬五千二百の家屋を破壊したが、家屋を喪つた二百五十四萬七千三百六十名の人民はスターリン議長に對し救濟方を請願した、この請願は目下モスクワで行はれてゐる賠償問題討議において重要な議題の一つになるとみられる



# 同盟通信 海外電報

バルカンといへば小國間の國境争ひが附き物で、そのため歐洲の火藥庫とまでいはれてゐたが、ドイツの崩壊を契機として、再び火藥庫に火がついた、目下問題となつてゐるのはギリシヤ對ユーゴスラヴィア、ブルガリア、アルバニアの三國で、ギリシヤとユーゴスラヴィア間はマケドニア地方、ブルガリアとの間はトラキア地方、アルバニアとの間はエピルス地方だといへば、紛争の内容は大體見當がつくであらう。



以上の三地方はそれぞれの當事國同志にとつては宿怨の地で、米英兩國の宣傳機關が騒ぎ立てるところだけを聞けば、いかにもギリシヤが三國からいぢめられて米英兩國に泣きついてゐるといふ印象を與へるが、嘗てギリシヤ右翼の曲者パパンドレオが政權を握つてゐた當時には、ギリシヤの北部國境はブルガリアの中央を横斷するマリーツア河の線にありと稱し、アルバニアに對するギリシヤの主權を主張して大いに氣勢を擧げたことを忘れることが出来ない、由來バルカンには言葉の眞の意味における獨立國といふものは存在しない、バルカン諸小國はいづれも歐洲の大國を後楯にしてゐる、従つてバルカン諸小國間の紛争といへば、結局は黒幕大國間の争ひだ、英國を支柱とするギリシヤのダマスキノス政權は國內の左翼勢力EAMを弾壓した餘勢をかつて、漸次右翼的傾向を示し再び視線を國境に向け始めた、これに對しユーゴスラヴィアのチトー政權は勿論ブルガリアのゲオルギエフ政權、アルバニアのホクスハス政權もまた明瞭な左翼的傾向を帯びその後楯にソ聯を持つてゐる、このヘラス衛星國とスラヴ衛星國(嚴密に言へばアルバニアはスラヴ系ではない)との間の紛争は、とりも直さず英國對ソ聯の勢力争ひだ最近「ニューヨーク・タイムズ」紙が殆ど連日ギリシヤを繞る紛争を大事件扱ひにして、公然とソ聯の「野望」を非難してゐるのは英國の尻押しをすると同時にソ聯に對する恰好の攻撃材料を認めただからであらう、いづれにしても米英對ソ聯の勢力争ひは材料に不足することがない様だ。

一億弗の美術品發見  
(リスボン十三日發) BBC放送によればナチ・ドイツが堂々とイタリアの國有美術コレクシヨンから「盗み出した」價額約一億弗の美術品が最近ブレンネル峠近くの二ヶ所に隠匿されてゐたのが發見された、これらの美術品は世界的に著名なものばかりで、むかしフイレンツエ美術館にあつたものが大部分を占めてゐる

## 【目次】

バルカン國境紛争重大化	二〇二二
スペイン人權法成立	〃
西南太平洋の補給	〃
伯林の合同管理正式に開始	二〇二三
歐洲侵攻軍十四日正午に解體	〃
モントゴメリー伯林着	〃
希・ユ紛争に英干渉を決意	〃
ス伯、諮問會議々長に就任	〃
ジャクソン歸任	〃
シムラ會議決裂か	二〇二四
北アイルランド總選舉	〃
マウントバツテン印度艦隊訪問	〃
在支米空軍司令官任命	〃
ミツチャーイ轉出	〃
大島大使紐育へ	〃
スターリン、宋第五次會談	二〇二五
三頭會談は十六日開催か	〃
噴射推進式戦闘機「流星」	〃
米新型重戦車M26	〃
【特 輯】	〃
米國と太平洋戦争(上)	二〇二六

## 世界最大の人造湖水

(モスクワ十三日發)ソ聯政府はアゼルバイジャン共和國のクラ河畔に世界最大の人造湖水をつくる工事を再開することになつた、この人造湖水はコロラドのブルダー・ダム湖の約二倍に當り高さ二百四十八呎、長さ約一哩で面積は約六千四百萬エーカーである、この人造湖水は戦前に計畫され、戦争のため準備作業が中止されてゐたものである

## バルカン國境紛争重大化

### ソ聯勢力の阻止に必死

(リスボン十三日發)ギリシヤを中心とするユーゴスラヴィア、ブルガリア、アルバニア三國との間の國境紛争は最近頓に激化し、バルカン情勢を著しく緊迫せしめてゐるが、米英兩國報道機關は以上の三國のギリシヤに對する領土要求の背後にソ聯が黒幕として控へてゐると稱し、バルカン國境紛争の一切の責をソ聯に歸して宣傳攻勢を展開してゐる、たとへば「ニューヨーク・タイムズ」紙のアテネ特派員は十二日に引續いて十三日も國境紛争問題を採り上げ、恰もギリシヤを犠牲者扱ひにして次の通り報じてゐる

ギリシヤ北部國境全域におけるこ數週間來の事態は愈々不安な状態にあり、ユーゴスラヴィア、ブルガリア、アルバニア三國の正規軍は頻々とギリシヤ國境を不法侵犯して挑發的行動をとつてゐるが、以上の事實はソ聯と理念上緊密に結びつく三國政府がある種の共同目的を追求してをり、その背後に第三國の大きな影がひそんでゐるといふ結論に必然的に到達せざるを得ない、以上の國境紛争と並行してスラヴ諸國の言論機關はギリシヤとその政府を猛烈に攻撃、スラヴ系のマケドニア人はギリシヤのため不當の待遇を受けてゐると騒ぎ立ててゐるが、その意圖するところがギリシヤ領マケドニアの奪取にあるは明瞭で、ギリシヤに對する非難には何等の根據もない、他方ギリシヤはアルバニア南部及びエピルス北部のギリシヤ民衆がアルバニアのホクスハス政府によつて虐待されてゐる事實を指摘、ギリシヤ攝政ダマスキノスはギリシヤが戦争に大いに寄與したことを理由に、アルバニア南部にたいする領土要求を強硬に主張してゐる

以上の「ニューヨーク・タイムズ」紙の報道によつてみる限り、國境紛争の責任はユーゴ、ブルガリア、アルバニア、そしてその黒幕たるソ聯にあるかの如き印象を抱かせられるが、ギリシヤが以上の三國に對して領土要求工作を展開する口實

として殊更に問題を擴大せんと努め米英兩國も亦この事件を利用してソ聯勢力の擴大を喰ひ止めようと圖つてゐるとも解され、モスクワ來電によれば、「プラウダ」紙は去る六日次の通りギリシヤ政府を非難してゐると傳へられる

ギリシヤ政府がブルガリア及びアルバニアに對して領土要求を取つてゐることはそのフアシスト的性格を臆面もなく曝け出したことを意味する、ギリシヤは同國內に居住するスラヴ少數民族を迫害してゐるが、全スラヴ國家はかかる反動的行爲を斷じて黙視出来ない

### スペイン人權法成立

(リスボン十三日發)ロイター電報によればスペイン議會は十三日滿場一致をもつて「人權法案」を可決したといはれる、同法の骨子は國家の基本方針として國民の自由不可侵を尊重するにあり何れ施行法の制定を俟つて實施の筈である、諸情報綜合するにフランコ政權は過般來米英諸國の反撃によりフアシスト體制の修正に乘出しつつあり新人權法も民主主義策に塗換へる一端と見られる

### 西南太平洋の補給

(リスボン十二日發)五月十六日の「ニューヨーク・タイムズ」紙マニラ電は、次のやうに報じてゐる

キンケード麾下の第七艦隊並びにマツカーサー麾下の軍隊が一ヶ月間に消費するダイゼル機關油その他の油類は二十五萬から四十萬噸に上つてをり、これは數千哩を越えて米本國から輸送されねばならない、西南太平洋の海路を食糧、燃料、郵便物、建設資材等を常時輸送してゐる船舶は二百隻から三百隻で、米軍の比島作戦が最高潮に達した當時には、米軍は一ヶ月に三萬三百噸の食糧と百五十萬から二百萬バレルの石油を消費してゐる、西南太平洋方面の米國船舶の輸送量は昨年七月の五倍に達してゐる

# 同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

## 【歐洲】

### 伯林の合同管理正式に開始

(チューリッヒ十二日發) ベルリン來電。ベルリン占領赤軍司令官アレクサンドル・ゴルバートフ大將、同米軍司令官フロイド・パーク少將、同英軍司令官ルイズ・ライン少將、同フランス軍司令官ジエオフレ・ド・ポーシユサン少將の四者は十二日ゴルバートフ大將の司會の下に第二次會議を開催、從來赤軍が占領してゐたベルリン全市二十區中十二區の管理を米英兩占領軍に移讓し、フランス軍占領地帯は一時赤軍が管理することに決定、米國軍に對しては午前九時、英國軍には正午それぞれ引渡しを完了した、以上に伴ひベルリン合同管理司令部は十二日午前九時をもつてベルリンの合同管理が正式に開始された旨發表した、會合終了後英國占領軍司令官ラインは次の通り言明した。

各占領地帯は占領軍隊及び市民の補給について個別に責任を負ふが、各地帯の補給並びに配給を統一するため物資の交換乃至出來れば物資のプールが實施される筈で、赤軍は米英兩國軍の占領地帯で補給物資が不足しないやう配慮することに決定した、またベルリン全市には統一食糧割當制が實施される豫定である、合同管理司令部は毎週一回會合することになる筈だが、あらゆる決定は満場一致を必要とする。

### 歐洲侵攻軍十四日正午に解體

(チューリッヒ十二日發) パリ來電。米國に歸つてゐたアイゼンハワーは十一日夜空路パリの司令部に歸還、十二日から直ちに歐洲侵攻軍の解體に必要な最後の手續を採るに至つた、その結果解體の日取も漸く確定、歐洲侵攻軍司令部は来る十四日正午をもつて正式に解體する旨十二日發表した。

### モントゴメリー伯林着

(ストックホルム十二日發) ベルリン來電。ドイツ占領英軍總司令元帥モントゴメリーは十二日ベルリンに到着、凱旋門まで出迎へたジューコフ元帥と會見の後、赤軍のロコソフスキー元帥、ソコ

ロフスキー軍大將、マリーニン大將に英國の最高級勳章を授與した、モントゴメリーのベルリン滞在は短期間の豫定

### 希・ユ紛争に英干渉を決意

(リスボン十二日發) ギリシヤとユーゴスラヴィア、ブルガリア兩國との國境紛争が傳へられてゐる折柄「ニューヨーク・タイムズ」紙のアテネ電報は以上の國境紛争の背景にソ聯が控へてゐる事實を示唆して十二日次の通り報じてゐる。

ユーゴスラヴィア、ブルガリア、アルバニアの小部隊が最近頻々と國境を侵犯してギリシヤ政府を悩ましてゐるが、赤軍がブルガリア南部國境に配置されてゐる事實が判明して以來、ギリシヤの不安は一段と濃化するに至つてゐる、トラキア、マケドニア兩地方に駐屯する英國軍當局は國境侵犯事件の擴大を極力阻止して、秩序の維持に努めてゐるが、赤軍將校のギリシヤ領潜入は頓に露骨となつてをり、以上の事實はバルカン情勢を緊迫せしめると同時に英ソ兩國關係を著しく悪化せしめてゐる。

以上の事態に鑑み英國も國境紛争の干渉に乗り出す決意を固めた様子で、ロンドンからのUP電報によれば英國外務省はギリシヤから正式の要請があり次第同國とユーゴとの間の國境紛争に干渉する意向ある旨十二日言明したといはれる。

### ス伯、諮問會議々長に就任

(リスボン十一日發) ローマ來電によれば、イタリア政府は政界の領袖スフォルツァ伯を諮問會議議長に任命する豫定といはれる。

### ジャクソン歸任

(ストックホルム十三日發) ロンドン來電。四ヶ國戰爭犯罪者會議の米國代表ロバート・ジャクソンは、パリで戰爭犯罪關係當局と協議中であつたが、十一日ロンドンに歸還した、同人の留守中戰爭犯罪者會議の小委員會は戰爭犯罪者を處斷する國際裁判所の設置に關する草案を練つてゐるが、裁判が何時開始されるかはまだ全然分らない。

## 【英 帝 國】

### シムラ會議決裂か

(リスボン十二日發)シムラ會議は各派の主張捕はす、先月二十九日の會議で最後に十五日間の休會に入り、来る十四日再開の豫定であるが、十一日のUPシムラ電は會談決裂を豫想し次の通り報じてゐる。

消息筋の言によればシムラ會議は失敗しウエーヴエル總督も十四日、放送をもつて會議の決裂を認める旨の聲明を行ふものと信ぜられる、ウエーヴエルは國民會議派議長アヅアドの建設的な態度は英國政府も可とするが回教徒聯盟の頑強な態度は解しかねると述べたといはれる。

會議決裂の場合英國政府が、印度各派の内争を強調して責任轉嫁に出ることは舊來の常套手段であるが、右UP電が事實とすれば、早くも英國側はその準備工作に出てゐるやうに思はれる、但し會議派自身は至つて慎重でありUP電も領袖ネールの態度について次の通り報じてゐる。

ネールは印度協力内閣の形成に關する會議派及び回教徒聯盟の交渉決裂の見透しに對して殆んど動じてゐないやうだ、ネールは記者に對する言明において、「會議の失敗は考へられないから豫め失敗の場合に處すべき會議派の計畫を發表することは出来ぬ」と述べた。

### 北アイルランドの總選舉

(リスボン十二日發)北アイルランドで先月十四日行はれた總選舉の結果が十一日大體判明し、サー・ベージル・ブルックを首相とする現在の統一黨内閣が政權を維持し得ることが明かとなつた、議席五十二のうち現在判明したところは四十八だ、が統一黨はこのうち三十一を占めてゐる。

### マウントバツテン印度艦隊訪問

(リスボン十二日發)ニューデリー來電「東南アジア聯合軍司令官元帥マウントバツテンは十一日から二日間に亘り海軍大將の資格をもつて英國東印度艦隊を訪問した。

## 【米 國】

### 砂糖病患者は米國の敵

(リスボン十二日發)米國の食糧不足は最近特に深刻化してゐる模様だがニューヨーク來電によれば農務長官アンダーソンは十二日ニューヨークの一會合で米國の食糧事情を次の通り説明したといはれる。

「米國は勿論全世界各國は現在食糧の需要が供給を遙かに上まはつてゐることを知つてゐる筈で、米國は一國で全世界の食糧を賄ふ譯には行かない米國が全世界の食糧を賄ふのだと言ふやうな考へ方は甚だしい誤りだ、米國自體も今日のやうな食糧供給振りでは到底需要を充すことが出来ず食肉卵、砂糖、ラード等のストックを喰ひ込んでゐる有様だ、農家は食糧の増産に大童で、政府としても最大の生産確保を要請してゐるが、これに對しては農家の經濟生活を考慮してやらねばならぬ、今日砂糖をほしがる者は米國民の敵だ、外國からの輸入が極めて少ない現在として砂糖不足の問題を解決する途は國內の増産以外にはない」

### 在支米空軍司令官任命

(リスボン十二日發)重慶來電「在支米軍司令官ウエデマイヤーが十二日言明したところによれば前在印緬米空軍司令官ジョージ・ストラトメイヤーは在支米陸軍航空部隊司令官として近く重慶に着任することとなつた、但し米陸軍第十四航空隊司令シエンノートの地位には變りない」

### ミツチャイ轉出

(リスボン十二日發)ワシントン來電によれば、米第五十八機動部隊司令官中將マーク・ミツチャイはこのほど本國に歸還、本國の某要職に就くことになつたといはれる。

### 大島大使紐育へ

(リスボン十三日發)駐獨大使大島浩氏以下日本外交官三十三名はオーストリア南部で米軍に逮捕され、米國に移送されたが、ニューヨーク來電によれば一行を乗せた「ウエスト・ポインツ」號は十二日ニューヨークに到着、翌十三日一行は同船から小舟艇に移され、いづれかへ護送されたといはれる。

### スターリン、宋第五次會談

(ストックホルム十二日發) モスクワ來電によれば重慶行政院長宋子文は十一日夜スターリン議長と第五次會談を行ひ翌十二日米大使ハリマンと會見した、同人は近く英大使クラークカーとも會見の豫定である、モスクワからのロイター電によればハリマンは三頭會談前に若干の歐洲諸國を訪問の豫定であつたが、宋子文との會談のため右旅行を断念したものと信ぜられてゐる、右ロイター電によれば重慶代表團はスターリン、宋子文會談の内容に關し嚴重極まる沈黙を守つてゐるが、モスクワの外交團筋では會談が非常に進捗した段階に入り、近く兩者の意見一致がみられるものとみてゐる、これに關聯して注目されるのは「イズヴェスチヤ」紙がその國際記事欄において「永續的平和はソ聯、米、英、フランス、重慶五大國間の完全な團結を維持することによつて鼓舞されよう」と論じてゐることで、同紙が重慶の役割をかける重要なものとみとめてゐるのは會談の成果に對する有利な徴候だとみられてゐる

### 三頭會談は十六日開催か

(リスボン十二日發) 大統領トルーマンが歐洲のどの地點に上陸するかについてはいまだ確報なく諸説紛々としてゐるが、BBC放送はトルーマン一行が十五日アントワープ到着の豫定で、ポツダム會談は十六日乃至十七日に開催されようとしてゐる、又ニューヨークからロンドンに達した一情報是一行が先づ英國北部の某港に到着し、同地から空路ベルリンに赴く豫定と報じてゐる、BBC放送はアイゼンハワーが會談に出席する旨を傳へ、かつ右會談でトルーマンが來るべき平和會議に關する米國政府の具體案を提出するだらうと述べてゐる、さらにフランス通信社のパリ電報はローマ法王ピオ十二世が三頭會談の終了まで避暑地への出發を延期したと傳へ、この點から見て會談後法王がトルーマンと會見するのではないかと推測してゐる

### 噴射推進式戦闘機「流星」

(リスボン十一日發) ロンドン來電「昨年ドイツのV一號、二號の英國本土に對する攻撃に對處するため英國空軍省は噴射推進式戦闘機を製作したが、空軍省は十一日初めてその性能を明かにした即ち同戦闘機は「メテオア」(流星)と呼稱される全金屬低翼單座機で噴射推進式發動器二基を有し、二十ミリ銃四挺を裝備し行動性は優秀でこの種の飛行機としては世界で最初のものといはれる

### 米新型重戦車M26

(リスボン十二日發) ニューヨーク來電「ニューヨーク・タイムズ」紙デトロイト電は米國新型重戦車M26について次のやうに傳へてゐる  
ジェネラル・モーター會社のフィツシャー車體工場では陸軍兵器技師監督の下に重装甲を有する四十五噸重戦車M26を大量製作してゐるが、陸軍次官バターの言明によればこれは今までにない強力なものだ、同戦車はジェネラル・パーシングと呼稱されてゐるが通稱「虎馴らし」といはれ、時速二十五哩で九十ミリ機關砲を砲塔に裝備してゐる他に三十ミリ機關砲二門、五十ミリ高射砲一門を有してゐる、このほかに發信、受信の可能な無電器二基をもつてをり、無限軌道の幅は二呎である

### ペニシリンの動脈注射

(リスボン十二日發) シカゴ來電「負傷兵の病毒感染を豫防し、四肢切斷などの犠牲を少くするためにペニシリンを直接動脈に注射する方法が試みられ成功した、即ち十一日付の「米國醫學界雜誌」は次の通り發表してゐる  
「ニューヨークの外科醫トマス・グラツサー、ジョン・ハリソン、ボリス・ポロツクの三名はペニシリンの動脈注射に關する第一回實驗報告において戦傷者の七〇%までが四肢の負傷を伴つてゐる點を指摘、新注射法の採用を慫慂してゐる、報告によれば動脈注射の長所は藥劑が血管を通じて直接四肢並びに患部組織に送られしかも稀釋されることもない上苦痛の緩和も極めて急速だといふ」



△米國の兩面作戰

今次大戦で二正面作戰を敢てしたのはドイツばかりではない、米國もまた二つの異つた戦線、即ち、太平洋と歐洲との兩戦線で二正面作戰を戦つた、このうち歐洲作戰はドイツの屈服で終るし、米國はその全力を殘された太平洋戦域に傾注し得るに至つたかの如くである、然るに事實は必ずしもさうでない、何故ならば、ドイツ戦線の終焉とともに、これに代つて米國の前には新しい戦線が現はれて來たからだ、國內戦線これである、換言すれば、米國內態勢の戦時から平和時への移行問題である

軍需再轉換問題が米國の重大な問題として取りあげられたのは決して今にはじまつたことではない、戦争の初期、即ち米國の平和産業が一應軍需産業への轉換を了して、國內戦時態勢が漸く整備したと見えたとき、この問題は早くも米國民の關心の對象となつた、米國民は何故斯の如く戦争の眞最中から戦後の問題に不必要とも思はれる程の關心を寄せ、全くの取越し苦勞と見られる問題にかくも頭を悩ましたのであらうか、それは米國民が、政治家も實業家も労働者も或ひは一般市民もひとしく戦争終了と共に必ず米國を訪れるであらう數々の難問題にわれわれの想像する以上の大きな恐怖を抱いてゐたからに他ならない

戦後問題は正に米國の悪夢である、日本の大東亞主義或ひはドイツのナチズムと殆ど同じ程度といつてもいい位な強さをもつて、米國民の前に立ちだかつた「悪魔」であつた、ドイツのナチズムは崩壊した、然るにそれに代つて愈々現實の問題として登場して來たのがこの戦後問題である、戦後問題の核心をなす軍需再轉換問題が米國でやがてかましく論議されはじめたのは、ドイツの崩壊に先だつこと一年も前からのことであるが、しかし歐洲戦終了以前にはこの問題はむしろ將來の問題として扱はれ、多分に潜在的なものであつた、と

ところが歐洲戦終了と共に、米國は愈々この問題を現實に處理しなければならなくなつた、しかもこの問題の解決は、米國にとつては戦争に勝利を収めると同様に重大な事柄なのであり、戦争遂行と同様にもしその處理を一步でもあやまるならば、取り返しのつかぬ恐るべき事態が招來されるのだかくて米國には歐洲戦線に代つて國內に新しい戦線が生れて來た、太平洋戦線と國內におけるこの第二戦線と、米國は依然として二正面作戰を戦ふを餘儀なくされてゐる

△米國民と對日戰

ドイツの崩壊によつて米國の撃破すべき敵國は日本のみとなつた、歐洲戦の終了が米國民の心理に大きな影響を與へたことは否むべくもない、米國民はたしかに大きな安堵感を得たに違ひない、ルーズヴェルトのよく口にした「金輪際間違ひのない勝利」Inevitable Victory はここに確保された米國民は思ひこみ一部の間には今次大戦は聯合國の歴史的勝利をもつて事實上終了し、米國はただその餘力をもつて對日戦にあたればいいとの樂觀論を生じた、このことは歐洲戦終了の前後を通じて、米國當局が聲をからして太平洋戦の困難を強調し、國民の樂觀引縮めに躍起となつたことによつて十分に窺はれるが、實際に歐洲戦終了後における米國全體としての對日戦観は果して如何、戦局樂觀は果して米國民の全體を支配する見解であらうか、或ひはかかる樂觀論はあくまでも米國民の一部にとどまり、米國民の大部分は依然として對日戦局の重大性を認識し、戦意弛緩の如き兆候は現はれてゐないだらうか、左にスエーデン新聞「ダーゲンスニヘター」紙のニューヨーク特派員が六月六日「日本との戦に對する米國民の綜合的戰意」として報告するところを紹介しよう

△瑞典 紙の 觀 測

「太平洋の戰場から歸還する陸海軍の將校連はいづれも申合せたやうに對日戦の困難を強調し、戦争が終るのは多分一九五〇年頃にならうとさへ云

# 同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

つてゐる、しかるにこれに反し、實業家達、特に東部地方諸都市の財界人は對日戦は、今日日にも終了するかも知れないと觀測し、米國が日本に對して、苛酷な條件を持出さないとのかつかうを示さへすれば、日本は米國との和平に應ずるだらうと見てゐる、一方消息筋の見解は「日本崩壞の可能性はなきにしもあらずだが、しかしかかることはあまり期待できない」といふにある、對日戦の困難を最も強く認識してゐるのは結局軍部であり、軍事専門家は米國が日本に對する最後の攻撃の準備を整へ得るのは少くとも一年以上を必要とすべく、日本々土に對して米國軍が本格的攻撃を敢行するに先だち、相當長期にわたる爆撃並びに封鎖作戦を繰返さなければなるまいとの意見を抱いてゐる

ソヴェト聯邦の太平洋戦参加問題に關しては日本に對する安易な勝利を確信してゐる人々は對日戦における最終的勝利は米國一國のみものとしなければならぬからソ聯の参加の如きは不必要だと考へてゐるが、これに反し對日戦今後の大きな困難を豫想する向きはソ聯の參戦を大いに歓迎し「米ソ兩國間に戦争は不可避だと主張する人々は強敵日本に對する戦ひにおいてソ聯の援助が如何に重要であるかを知るべきであり、これを十分認識するならば、かれ等のいだけ政治的見解は大いに變化しよう」と述べてゐる

さらに他の面から米國民の對日戦意をさぐつて見よう、これは四月六日の「タイム」誌の傳へるところだが、同誌は「フォーチュン」誌の行つた輿論調査の結果につき次の通り述べてゐる

「米國民の壓倒的多数は太平洋戦においては米國はいかなる妥協をもなすべきでないとの態度をとつてゐることが判明した、即ち「フォーチュン」誌が最近行つた輿論調査の結果によると、米國民の八〇%までが「たとへ日本が支那、マライ、東印度諸島等の占領地から撤收するとしても、これをもつて日本々土を占領しない條件とすべきでない」との態度をとつてゐる、米國民は政府と同様日本の無條件降伏を固く支持してゐるのだ」

## △軍需産業再轉換問題

米國の老大な物力をもつてすれば「米國は日本など片手をもつて片附けることができる」といふのは、無責任な米國市民の放言だとしても、少くとも歐洲戦の終了によつて米國の軍需産業には相當の餘裕が生じ、一部を民需向平和産業に再轉換し得るやうになつたことは事實である、米國の軍需生産當局者の推定によれば、米國はその軍需生産額の大體四〇%を再轉換し、残りの六〇%をもつて對日戦にあたり得るだらうといはれる、勿論これはごく大ざつばな數字であり、特殊な軍需生産部門乃至は工場のうちには全的にその活動を停止するものがある一方では、一部の軍需生産は更に一層増産が要求されるであらうことはいふまでもあるまい

歐洲戦終了後における米國の軍需再轉換がどの程度の規模をもつて行はれるか、またこれに對する政府の方針は如何、これについては戦時生産局長官クルーグが六月はじめ総合的な發表を行つてゐるから左にそれを紹介しよう(六月四日「タイム」誌による)

## △クルーグ報告

「五月以後年末に至る八ヶ月間の米國の武器彈藥生産額は年にして五百四十億弗に上らう、これは一九四四年米國の軍需生産が最高頂に達した時の九〇%であり、一九四三年と殆んど同額である、米國は前大戦終了當時に比較して遙かに平和時移行への準備が整備してはゐるが、しかし軍需生産の削減が相次いで行はれるに伴ひ、地域的失業並びに産業の混亂が発生することは避け難いだらう再轉換準備のため、戦時生産局は既に業者に對して工作機械の發注を行つてゐるが、産業部門によつては、たとへ軍需生産から平和生産に移行するにしても、改めて再轉換を行ふ必要のないものが多い、たとへば軍需生産に従事してゐた鋼鐵ベアリング、ボルト、釘、手道具等の製造業者たちはその生産品に若干細かい變更を加へさへすればい

いだらう、またトラクター製造業者の七七%までは依然としてトラクターの製造に従事してゐたのであり、また繊維製品の六五%までが戦前と同様の製品である、最大の軍需轉換を行つた自動車工業でさへ、その製品の三六%は依然車輛並びに部品品だつた。また労働者の方面からみるも軍需生産の削減によつて直接影響を受けるのは、航空機艦船、兵器生産に従事してゐる者だが、その數は六百六十萬で全労働人口に比較すれば十三%以下に過ぎない。

戦時生産局は再轉換工作の順調な進捗をはかるため物資に對して加へて來た各種の制限をできるだけ早く撤廃しつつある、本年四月一日現在實施されてゐた諸統制措置は全部で六百五十に上るがうち百五十六は現在までに既に廢止され、更に八十三措置も今後六週間以内に廢止されよう。

現在民需用耐久物資の生産額は年七十億弗だがこれは今から一年後には百六十七億弗に増加させる豫定であり、この時には民需生産額は一九三九年の約三〇%とならう、推定によれば、昨年消費物資並びに勞務に對する民需は一千二百億弗に上つたが、實際にこの需要の満たされた額は九百八十億弗にとどまつた、しかし勞働力の餘剰が生ずると共にこの消費物資及び勞務も増加してゆくだらう。

再轉換工作の前途はかくの如く決して恐るべきものではないが、ただわれわれの直面してゐる危険は、われわれがともすれば經濟の本質的性格たる動的な力を見逃し勝ちなことだ、ワシントンにおいて、あまりにも正確と公平とを期して、あらゆる製造業者、卸賣業者或ひは小賣業者に軍需生産から解放される勞働力や物資を確實に分け與へようとするならば、これは再轉換を進めるどころか却つてこれを妨害することとならう、戦時經濟から平時經濟への移行において、一時的な混亂は不可避である、かかる混亂を恐れるのみならず、これを避けんとして嚴重な統制を加ふべきでない、米國の經濟は賣手と買手と、生産者と消費者とが一緒になつた豎鋸のやうなものだ、若干の餘裕を

與へてこそこの豎鋸は最もその機能を發揮しようしかし忘れてはならぬことは、米國の直面する第一の仕事は依然として軍需生産であるといふことである。

### △飛行機生産の變更

太平洋戦は海の戦ひであると共に空の戦ひでもある、今次大戦において航空機が如何に重大な役割を演じてきたかはここに敢て強調するまでもないが、殊に太平洋戦域の長大な距離、諸戦場の地理的特性は航空機の役割を愈々重大なものとしてゐる、歐洲戦終了後も航空機工業は依然として米國軍需産業の中心である。

されば歐洲戦の終了を契機とする再轉換は航空機工業においては若干他の産業部門とその趣を異にする、即ち、航空機工業においては一部では他産業におけると同様生産削減乃至停止による平和産業への再轉換も行はれてゐるが、他方では生産の削減どころか思ひきつた生産の大擴充が實施されつつあるのだ。

航空機工業の如き發達の著しい産業では、時々刻々にその生産に改良が加へられ、従つてこれに伴ふ生産計畫の變更は他に何等の要因がなくとも極めて屢々行はれるのを常とするが、米國の航空機工業が歐洲戦終了後の現在經驗しつつある生産計畫の變更は生産の改良がその原因でなく歐洲戦から、太平洋戦一本槍となつた米國の戦争事情の變化をその原因とする、太平洋戦と歐洲戦とはその性格に多くの相違點を持つが、その最も大きな相違點は距離である、即ち、廣大な太平洋戦域に比較すれば、歐洲戦域の如きは箱庭にも比すべく、この廣い太平洋戦域で用ひられる飛行機が歐洲戦で用ひられた飛行機と本質的にその性能を異にするのは當然であらう、かくて、米國の航空機工業はいまや太平洋戦に適應した性能を有する飛行機の生産に全力を傾注し、歐洲戦で盛んに活躍した機種は急速にその生産に削減が加へられつつある。



ベルリン郊外ポツダムにおける三國首腦會議はいよいよ今、明日の内に開かれる、トルーマン、チャーチル既に現地であり、スターリン亦、宋子文との交渉を途中で打切つてベルリンへの途上にある、今回の會談は從來のカサブランカ、モスクワ、ヤルタ等々の三國首腦會議と全く面目を異にするであらう、第一に外部的條件が變化し第二に構成人物を異にするからだ、外部的條件の變化とは、從來の諸會議が共同の敵ドイツ打倒に重點がおかれたに對して、いまやドイツ亡く、會議の主要議題は將來の三國協力の方式發見にあることである、構成人物を異にするとはルーズヴェルトと共にアメリカの無軌道外交を清算せんとするトルーマンが新たに登場したことである、スターリンがいみじくもいひ得た如く、ドイツの力にたいして共に手をとつて戦ふ場合の協力は容易だつた



が、その緊張が去つた今の協力は必ずしも容易ではないのである、われわれはいま、三國首腦會議の組上りのぼるべき諸案件を一々かぞへるの煩はしないでよい、その何れもが米英對ソ聯の深刻なる利害關係の對立をば豫約するもののみだといへば足りる、ドイツの障壁を取除いてこの兩陣營は始めてポツダムに、面と向つて對坐するに至つたのである、三國は新しいスタート・ラインに立つて、ここに過去の總決算をなし、將來の提携の能否をば判断せんとしてゐる、從來の何れの三國首腦會議よりも、より重大なる意義がこの會議に付せられてゐるのも當り前だ、敵陣營は、ポツダム會談に對する日本の關心を取上げて抑捺しつつあるが、いづくぞ知らん、日本より以上に内心の疑惧を曝露してゐるのは彼等の陣營である彼等はいままで觸れることを欲しなかつたソ聯の胸奥の秘圖に、いまこそ意を決して觸れなくてはならぬ

タゴール協會の支部を設置

(リスボン十四日發) ロンドン來電ハバートランド・ラツセルを會長とするケンブリッヅ大學タゴール協會の書記ロイ・チャウドリは最近ダブリンから歸還したばかりだが十四日次の通り言明したダブリンにタゴール協會の支部を開設するために取り極めを結んで來た、ダブリンではタゴール翁についてまた一般に印度文化についてもつ

【目次】

- チャーチル伯林到着……………二〇三〇
- トルーマンも到着……………
- 英國代表の顔觸……………
- 會談は十六日から開始……………
- ス・安會談中止事情……………
- 白國王退位を肯せず……………
- シムラ會議遂に決裂……………二〇三一
- 印度省も發表……………
- 英國政界、總督に同情……………
- 宋子文一旦歸國……………二〇三二
- ソ聯、重慶共同聲明……………
- イタリア對日宣戰……………
- 米、對英ソ信用供與を決定か……………
- 獨に「自由民主黨」誕生……………
- 米軍政治活動を許可……………
- 米英軍、交驩禁令を撤廢……………

【特輯】

桑港會議始末記(三・上)……………二〇三三

と知識を獲得したいといふ熱望が學生の間に漲つてゐるのを見ることが出來た、ヘンリー・オバイルン教授及びJ・マンニング女史が目下ダブリンで協會の支部設置に當つてゐる、又有有名な小説家オルダス・ハックスリーも本協會の後援者となつてをり、カリフォルニアから「思想藝術宗教にたいして印度並びに西歐が寄與したところのものを交流するといふ趣旨の下に協會が活動されんことを望む」との書簡を送つて來てゐる

## チャーチル伯林到着

(チューリッヒ十五日發)ベルリン來電〓チャーチルは三頭會談出席のためベルリンに到着した

## トルーマンも到着

(リスボン十五日發)ニューヨーク情報によれば大統領トルーマンはベルリンへ到着したといはれる

(リスボン十五日發)ブリュッセル來電〓トルーマンの搭乗する米巡洋艦オーガスタは他の米巡洋艦一隻英驅逐艦三隻の護衛をうけて十五日朝アントワープ港に入港した、トルーマンは彼より數分先にアントワープに到着したアイゼンハワーと共にブリュッセル近郊のメルスブレイク飛行場に赴き直ちに空路ベルリンへ向つた

## 英國代表の顔觸

(リスボン十五日發)ベルリン來電〓三頭會談に出席するチャーチルその他英國代表一行のベルリン到着に關し十五日公式に次の通り發表された

「首相チャーチル並びに英國代表は三頭會談出席のためポツダムに到着した、チャーチルは外相イーデン、労働黨首アトレイ、戦時運輸相レザース、國庫支出長官チャーウエルを帯同してをり、三軍司令官陸軍元帥アラン・ブルック、空軍元帥チャールス・ポーター、海軍元帥アンドリュウ・カニンガム並びに陸相エドワード・グリッグ、外務次官カドガン、國防相附參謀長イズメーは夫々幕僚と共に會談に出席する、同時に地中海戰域聯合軍最高司令官ホルド・アレキサンダー、ドイツ占領英軍司令官モントゴメリー、ワシントンの統合參謀本部における英國首席代表メイトランド・ウイルソン及びモスクワ駐劄英國大使クラークも會談に出席する」

## 會談は十六日から開始

(ストツクホルム十五日發)ベルリン來電〓チャーチル、トルーマンのベルリン到着によつて三頭會談は愈々開幕の運びとなつたが十五日「會談は十六日から開始される」旨公式に發表された

## ス・宋會談中止事情

(ストツクホルム十五日發)スターリン・宋子文會談は二週間にも亘つたに拘らず、完全妥結の模様なく、スターリン議長が三頭會談に出席する關係上一先づ打切られたが、十五日ロイター電によれば、自曜新聞「オブザーヴァー」紙は筆名リベーター氏による大要次の觀測を載せてゐる

「スターリン・宋子文會談は正式協定妥結の段階に到達せず、ソ聯による東亞政策の展開も暫くおあづけとならう、ロンドンでの觀測によれば會談の進捗を拒んだ事情はモスクワよりも重慶側にあり、本來宋子文は東亞各地域將來の事態については妥協取極に到るつもりでモスクワに乗込んだのだが、重慶軍部の宋に對する風當りは相當強い、宋は暫定取極を承認させるやう重慶の説得に當るだらうが、これは蒋介石政權下各派の力試しとならう」

## 白國王、退位を肯せず

(リスボン十五日發)ブリュッセル來電〓ベルギー首相ヴァン・アツケルは過去九週間に亘る國王レオポルド三世との會談の結果につき十五日國王は退位しないとの決意を固めるに至つた、然し現在のところベルギーには歸還しない

旨發表、過般來行はれてゐた首相らの退位勸告が失敗に終つた事實を認めたとはいはれる、アツケル首相は以上の結果に鑑み攝政シャルルに對して總辭職を申出たが、シャルルがこれを却下したためアツケル内閣は依然機能を續けることになり、十六日閣議を開いて先づ議會召集問題を決定する運びとなつた、勿論議會においては國王の退位問題が主要議題となるはずで、目下の情勢では二十五日には召集される見込みといはれるが社會黨、共產黨は議會に對しレオポルド三世がドイツ人とゴルフヤテニスをしてゐる寫眞その他の證據書類を提出しあくまで國王に退位を強要する方針と傳へられる

# 同盟通信

(第三編 海外電報)

## 【シムラ會議】

### 會議は遂に決裂

—ウエーヴエル聲明要旨—

(リスボン十四日發)シムラ來電 印度總督ウエーヴエルは十四日再開されたシムラ會議において次の通り發表した

「行政參議會の印度化」計畫を討議すべく總督の招集した印度各派領袖からなるシムラ會議は失敗に歸した、余は會議に参加してゐる各派に對し行政參議會に参加すべき代表の名簿の提出方を要請し、回教徒聯盟を除くすべての黨派からの名簿を受理した、従つて余は回教徒聯盟の代表を含む各派の代表を暫定的に選擇したが、この余の選擇が各派に受け容れられるならば之は英國政府にとつても受諾可能のものと十分信ぜられたのである、然るに余がジンナーに對して余の解決案を説明した際、ジンナーは以上の選擇を回教徒聯盟は受け容れることが出来ない旨言明した、ジンナーの決意がかくの如くである以上余は今後會議を繼續することは無益だと考へるに至つたのである

會議の失敗については他の誰よりも余はこれを遺憾とする、然しながら余は失敗の責任が余にあることを明かにしておきたい、といふのは今回の會議の主流をなすものは余の考へであるから、若し會議が成功したならば成功の因は各派に歸せらるべきであつたであらう、余は今回の失敗の責任を何れの黨派にも歸することは出来ぬ、余は會議失敗の後、印度を援助し得る何らかの方法について近く考へてみたいと思ふ

現在余は次の手段について考慮してゐるが今後これがどういふ形で現はれるにせよ、さきに余の擧げた三つの任務、即ち對日戰の遂行、行政の實施、戰後開發の準備のうち最初の二つは當分の間印度政廳によつて遂行されなければならぬ、貴下らは互に他を非難するのを慎しむ事によつて以上の任務遂行を援助することが出来よう、然し現在以上にはつきりした見透しを持ち得るまでは何らかの新しい對策を示唆することは困難であらう、貴下らが余に與へたあらゆる援助を貴下らの示した忍耐とについて余は感謝の意を表する、今回

の蹉跌に依り誰一人として意氣沮喪することがあつてはならない、必らずや我々は終局において我々の當面する困難を克服し得るであらう

### 印度省も發表

(リスボン十四日發) ロンドン來電 印度省の挫折に伴ひ十四日印度省は次の通り發表した 英國政府は、總督行政參議會の再組織を目的として印度總督によりシムラに招集された政界有力者の會議が意見の一致に到達するに至らず、かくて忍耐強く而も熱心に各派間に協力を齎さうとした總督が會議をうち切るに至つた旨發表するのを洵に遺憾とする

### 英國政界總督に同情

(リスボン十四日發) ロンドン來電 印度省の挫折の報が英國政界並びに在英印度人筋に非常な失望を與へた事實は否定出来ないが、消息筋ではウエーヴエルが會談の失敗を發表するに際し、印度各派の領袖に對して士氣を沮喪させないやうにと訴へると共に、今回の會議で克服し得なかつた困難はやがて克服されるだらうとの信念を披瀝した點を殊更に重視し、次の通りの見解を洩らしてゐる

「印度政界現在の行詰りはさう長く續くとは思へない、シムラ會議は目的を達成するには至らなかつたが而も今回の會議には十分の意義があつたといふのが英國国民一般の見解だ、シムラ會議は幾多の政治的要素の代表が種々異つた政策と見解とを一堂に會して述べた問題の所在を明かにし且つ英國の意圖に對する疑惑を、たとへ全部ではなくても除去したといふ意味においてこれまでは見られぬ成功だつたといへよう、更に見方を換へれば今回の會議は問題を後退させるものではなく有利な點に導いたものでありこれによつて英印兩國は何處に困難が横はつてゐるかを従来より明確に見出し、偉大な決意をもつてこれらの困難にうち勝つやうな計畫に着手出来るのであるといふことも出来よう」

更にシムラ會議失敗に關する反響の重點は、一「失敗の責任は余にあり」といつたウエーヴエルの言、一、回教徒聯盟が最後まで頑張つて會議を挫折させるに至つたの二點にあり、前者についてはウエーヴエルへの同情、後者は回教徒聯盟に對する非難となつて現はれてゐる

## 宋子文一旦歸國

(ストツクホルム十四日發) モスクワ來電によればスターリン議長と六回に亘つて會談を遂げた宋子文は十四日モスクワを出發、一旦重慶に歸還したといはれ、蔣介石に會談の経緯を報告かたがた打合せを行つた後近くモスクワを再度訪れて會談を再開する豫定と傳へられる、以上に關しモスクワ放送は「會談は友好的零圍氣のうちに進められ幾多の點で相互諒解の存在することが明かとなつた」事實を強調した

## ソ聯、重慶、共同聲明

(ストツクホルム十四日發) モスクワ來電「ソヴェト政府及び重慶政權はスターリン、宋子文會談につき十四日次の共同聲明を發表した  
ソ聯及び重慶は過去二週間に亘る數次の會談において兩國關係に關する重要な諸問題につき明白な相互諒解に到達した、スターリン議長がベルリンにおいて大統領トルーマン及び首相チャーチルと會見する必要上會談は一時中止され、行政院長宋子文は重慶に向つて出發した、會談は近い將來再開される

## イタリヤ對日宣戰

(リスボン十四日發) ローマ來電「イタリヤ政府は日本に對して宣戰を布告するに決定した旨十四日正式に發表した

## 米對英ソ信用供與を決定か

(リスボン十三日發) ワシントン來電「米國上院銀行委員會は戰後建設に伴ふ歐洲諸國の要求に應ずるため、輸出入銀行の對外貸出權の限度を七億弗から三十五億弗に引き上げる法案を十三日可決した、外國經濟院總長クローリーは銀行委員會において同法案を説明して

この措置は今後一ヶ年間に米國に對して行はれる外國の無理のない要求に應ずるためであると言明したが、恐らく目下ワシントンにおいて交渉の進められてゐる英ソ兩國に對する巨額クレヂットの供與を意味するものとみられてゐる

## 【ドイツ管理】

### 新「自由民主黨」誕生

(チューリッヒ十三日發) 赤軍はドイツ占領地域において共產黨、社會民主黨の復活を許可、以上の兩黨に占領地域の民政部門を委託してをり米英兩國のドイツ占領軍當局も兩黨の活動を默認してゐるが、ベルリン來電によれば、米英兩國の軍政當局は新たに「自由民主黨」の設立を許可したといはれる、同黨は専ら米英兩國の支持を受け、ソ聯の尻押しする左翼の社會民主、共產兩黨に比較すれば右翼の穩健に當り、黨首には一九一八年ドイツの經濟相であつた六十五歳のワルデマール・コツホが選ばれた、同黨は十三日次の政綱を發表した

- 一、ドイツ内外よりのヒトラー主義の一掃
- 一、個人の權利を尊重
- 一、ドイツ國民の最低生活の維持
- 一、外國との協力關係樹立

### 米軍、政治活動を許可

(チューリッヒ十四日發) ベルリン來電「ベルリン占領米軍當局は米軍の占領地帯内における政治活動を許容するに決定すると同時に共產黨が十五日示威運動を行ひたい旨要求したのに對し千人以上の民衆が參加しないとの條件で之を許可した

### 米英軍、交驛禁令を撤廢

(リスボン十四日發) フランクフルト來電によれば米軍政當局は七月十四日をもつてドイツとの交驛禁令を撤廢する旨發表したといはれる、交驛禁令の撤廢は英軍占領地域でも同時に行はれアイゼンハワーの名前をもつて發表された布告によれば聯合軍の非ナチ化政策ならびに責任ある地位にある有力ナチ黨員の發見が急速に進捗してゐるのに鑑み、麾下の將兵が街路及び公開の場所において成年ドイツ人と交際するのを適當な時期に許可するのが望ましいと信ぜられる

といはれてをり、米軍當局は交驛禁令がこれまで殆ど何らの成果をもあげず、むしろドイツ人の當局に對する信頼感が促進を阻止すると共に、ドイツ人から隔離された聯合軍將兵が風紀問題を起してゐる實情に徴して今回の措置に出たとみられる



桑港會議始末記(三・上)

武井 武夫

始末記を書いてゐる間に、桑港會議は六月二十六日の調印式をもつて無事閉幕となつた、順序からいへば最後の重要議題だつた國際信託統治制から論じなければならぬ筈だが、例によつて本題に入る前に少々脱線として頂きたい、本回は桑港會議の横顔をざつと描いてから國際信託統治問題論を論じ、憲章全體に對する各方面の論評は桑港會議閉會式の模様と共に次回に譲ることにする

△數字から見た桑港會議

米國人は數の誇示が好きだ、B29の空襲までコストを出さなければ納まらない國民だから桑港會議を算盤に載せるぐらゐは當り前以上の話だらう會議が一段落ついた二十三日、會議書記局は會議の數字的總報告を發表した

憲章の作成に直接間接協力した人數は千七百二十六人、内二百八十二名が正式代表で、千四百四十四人は顧問とか技術顧問とかその他いろいろな隨員たちだ、この連中が五十ヶ國十數億國民の「平和並びに安全に對する熱烈なる希望」を憲章條文に具現するために努力したのでさうだ

會議當局を代表する國際書記局は事務總長並びに執行書記及び運用書記を含み千五十八名の書記局員から成る、うち五十一名は合衆國以外の十六ヶ國(アルゼンチン、ベルギー、カナダ、重慶、チエコ、エクアドル、フランス、グアテマラ、アイルランド自由國、メキシコ、スイス、ソヴェト聯邦、英本國、チリ、サルヴァドル、パラグアイ)から募集された

サンフランシスコから會議の模様を全世界に向つて報道したのは新聞、ラジオ、ニュース映畫等の正式特派員だけで二千六百三十六人、電信技手百五十名が毎日打電する發信語數は平均十五萬語だつたといふ

會議に驅り出された米國陸海軍の兵員は將校百三十五名を含んで二千二百六十二名に上る、米國

の三義勇隊組織(女子義勇隊、赤十字、少年團)の地方支部からも千二百人が應援に繰り出した會議の電話交換臺には三十八名の交換手が働いてゐたが、そのうちで二十名は佛露支西葡各國語のいづれか二ヶ國語を話すことが出来る

憲章作成に要した時間を計算してみると、六月十七日までに分科委員會及び専門委員會の會議合計三百三十五回、開催回數の最も多かつたのは第一分科委員會第二専門委員會(加盟國修正並びに書記局に關する委員會)で二十九回だ、次に多いのが總會の機能を扱ふ第二分科委員會第二専門委員會と安全保障理事會の機構手續を扱ふ第三分科委員會第一専門委員會とで、各二十四回を數へてゐる、會議第一週の會議數は一日平均六回だつたが、以後は十回にはね上つた

五月十九日以後は殆んど毎晩のやうに夜間會議が開かれ、開會まで一夜に二つや三つの會議が必ず行はれてゐた

會議開催前の四月十八日から二十四日まで一週間に鐵路サンフランシスコに輸送された代表團、書記局員、新聞記者等は二千三百人、空路を取つた千二百人は別だ、寢臺車百輛から成る九本の特別列車も用意され、海外のお客様を運んだ米國陸軍空輸部隊所屬旅客機の數は六十三機だつた

サンフランシスコ附近の交通は陸海軍共同で引受け、箱型自動車二百十五輛、バス五十臺、家用リムーブメントが四十八臺、救急車三臺、トラック十七臺といふ數字になつてゐる、この交通勤務は二十四時間制で、陸海軍人六百十三人の他に土地の女運轉手百九十八名が必要だつた

特設通信線のうちには幹線六十本、交換局十個所、會議本部とホテルや各種事務所との連絡線五十九本、延長電話線四百六十五本が含まれ、ワシントンの米國々務省と會議本部との間には三本の直通電話が敷かれた、一日の平均會話數は一萬二千回で、ベルの鳴つたこと二萬回と稱せられる

六月の第一週に書記局が作成した文書が三萬八千五十通、紙數が二千萬枚でその重量實に七十八噸だといふ、この文書の約三分の二が騰寫版で残りが印刷だつた

會議で通譯したり英佛露西支五ヶ國語の文書を作るのに要した通譯者並びに翻譯者の數は百二十人だつた

書記局の算定によると、主人國として米國政府が使つた費用は百五十萬弗から二百萬弗の間とみられる、各國代表團の個人的出費や正式費用は全部自辨としての計算である

#### △出來上つた信託統治制

國際信託統治制がどんなものかは國際憲章の條文を読んで頂けば判る、信託統治案が出來上るまでのイザゴザや各國の主張については何度も本通信において論じた、従つて殆ど書くこともないはずだが、國際信託統治といふ最も重要な問題については幾ら論じても問題が解決することはないといはなければなるまい

まづ順序として、出來上つた信託統治制度がどんなものか、かいつまんで説明する

國際憲章の第十二章は信託統治制を規定し、第十三章が信託統治理事會の構成並びに機能を説明してゐる、それによると信託統治制の下におかれる地域（信託統治領）とは

一、現在舊國際聯盟の委任統治領となつてをり、

今次大戰の敵國から奪取した大地域

一、現に統治する國家により自發的に信託統治制の下におかれた非獨立地域

の二種類で、統治の具體的な問題や統治國の指定などは個別的に關係諸國の間で信託統治協定といふのを締結することになる、この協定は統治に關する各種條件を定めると同時に聯合國中の一國乃至數國を統治國として指名する

次に例の戰略的地域だが、これも第十二章に明記されてゐて、協定により或る信託統治領の全部または一部を戰略的地域に指定することが認められるわけだ、世界機構の機能は戰略的地域に對しては安全保障理事會、非戰略的地域に對しては總會を通じて遂行されることになつてゐる

ところで國際信託統治制の目的として第十二章に掲げられてゐるのは、信託統治領住民の福祉を増進し、各地方の事情とか人民の意思とか特定信託統治協定の條項に應じて人民の自治乃至獨立に

向つて援助を與へるといふことだ、その他人權並びに基本的自由に對する尊敬を促進し差別待遇を廢止するといふ目的も擧げられてゐる、目的についてはその用語の一字一句について大いに論争が展開された、それは後に説かう

信託統治理事會の構成は統治國と非統治國とが同數になるといふ點及び安全保障理事會常任理事國が五個國とも含まれるといふ點に異色が認められる、理事會の仕事は統治當局から報告を受け、それを統治當局とともに検討し、統治當局と協定した日時に信託統治領を視察するにあるが、何をするにも統治當局の意思を一々考慮しなければならぬのは、實際的だといへば實際的だし、權威がないといへば權威がない

#### △「基地と信託統治」

前に屢々述べたやうに國際信託統治案はダンバトン・オークス案には全然なかつたことで、ヤルタ會談でも原則の決定を見たにすぎず、従つてサンフランシスコでは各國が勝手な提案を出して殆んど大勢の趨くところを知らない有様だつた、たとへばソヴェト聯邦は信託統治の目的として獨立を主張し、民族自決を第一條件として要求したのに反し、米國は太平洋基地の獲得を眼目として一切の計畫を立て、フランスや英國は舊來の植民地の確保に汲々たる状態だから、一時はどうなるものか皆目見當もつかなかつた、五月十六日米國代表ハロルド・スタツセンを委員長とする小委員會が所謂「スタツセン案」なる基準文書を作成し幾多の波瀾を経て結局これが若干の修正の後承認されたのだが、その間の事情は既に當時本通信において論じたこととて、ここではスタツセン案完成前の米國輿論の動向を大衆雜誌「タイム」誌の論調によつて傳へ當時の空氣を紹介しよう

「タイム」誌五月十四日號「太平洋における平和維持の責任は主として米國にかかつてゐる、この廣漠たる大洋の奥深く伸びる基地がある限り、米國陸海軍は平和維持を引受けるわけにはゆかない同時に世界の大部分は植民地の「信託統治」原理を樹立する上においても米國の指導的役割を大いに期待してゐる

數週間前までこの問題に關する米國の考へ方は矛盾に充ち且つ混亂し切つてゐた、だが大統領トルーマンの力によつて、米國の考へ方も最近では漸くまとまり、その政策も明瞭にされて來た、トルーマンは一通り各方面の意見を聴取してから、至極簡明にかつ斷定を下したので

戰略的地域は戰略的地域で、他の植民地とか屬領とかは全く別個の代物だ、國際信託統治は眞の軍事的基地には適用出來ないが、他の地域には好いだらう、實際に基地として要求される地域にはあまり住民はゐないからだ

この區別は簡單な覺書で發表され、面倒な問題もトルーマン一流の「これが命令だ」主義で片づけられた、かうしてトルーマン方式が桑港會議に持ち出されることになり、米國案は國際的義務の原則を承認したが、決して自國の權益とか必要條件とかを犠牲にはしなかつたのである

この「タイム」誌の解説に明かなやうに新信託統治案は採んでゐる間に自然に出來た案だ「タイム」誌は續いて米國案と英國案の相異點など論じてゐるが、本質的には大差ない、桑港會議で採用されたのは米國案である

### △ソ聯は何故妥協したか

ソヴェト聯邦は結局自國の主張を引込めて、スタウゼン案に妥協した、非獨立人民の「自決」權を主張したグロムイコ大使は「關係人民の自由に表示せる希望に基く獨立乃至自治」といふ條文に同意し、現存委任統治權を保護する規定に對する反對をも撤回した、これは舊國際聯盟の事業を繼承するので「保守條項」とさへ呼ばれてゐる代物だ、何故ソヴェト聯邦は急に態度を變へて妥協したのか

一口にいへばソヴェト聯邦は信託統治制、否國際機構そのものに期待を抱いてゐないからだ、拒否權問題で明かになつたやうに、國際機構が機能を果し得るか否かは五大國の氣持一つによつて決定される、そんな程度のものであるなら目に角立てて争ふだけ馬鹿げてゐるし「民族自決」とか全植民地の「獨立」といつた原則論に米國や英國をして正面から反對せしめただけでも、ソヴェト聯

邦は全世界の被壓迫民族に對する暴露宣傳の大局的を果したことになる、妥協したのは損でも何でもないのだ

そもそも妥協によつて問題が解決されるといふことはあり得ない、妥協はあくまで妥協であり、妥協により成立した計畫のうちには、妥協以前の矛盾が一層成立した形で包藏されてゐるのであるこのことは最後の全體會議においてグロムイコ大使が脱退問題に關して一本痛釘を刺した事實によつて明かにされた、グロムイコ大使はソヴェト聯邦が新國際憲章に決して満足してゐないことを言明して満場の代表をして愕然色を失はしめた、かかるソヴェト聯邦の見解が今後到るところで機會あるごとに表面化するであらうことは想像に難くないのである

### △信託統治は米の申し子

要するに國際信託統治制は米國が自分に都合よく作り上げ、他の四大國の承認を得て全世界に強制した方式にすぎない、従つて今後この制度がいかなる役割を果すか、少くともいかなる役割を果す筈になつてゐるかは、米國自身をして語らしめるのが一番確かであらう、そこで次に御紹介申し上げるのは米國の短波ラジオ評論家ウオレス・ヘリックだ、少し長いが全斑を盡してゐるからよく味つてみるとなかなか興味があると思ふ

「獨立及び自治といふ二つの字句の使用は桑港會議における信託統治制の討議に際して大いに注視を集めた、この一方を目的として選ぶ者と他の一方を目的として選ぶ者との間には何か對立があるやうに取られるに至つたが、兩者の間に若干の相違はあるにしても、自治が獨立ほど有難くないものだとする考へ方は決して正しいとはいへない、この問題に關する米國首席代表ステチニアスの見解は二十日發表されたが、これは國際信託統治問題に關心を有するすべての人々にとつて一應玩味すべきものを含んでゐる、即ちステチニアスは、米國代表が信託統治領及びその住民の政治的經濟的社會的進歩並びに各領土の各種事情に應じた形態における自治に向つての漸進的發達を公約するといふ事實を明かにした、しかも米國案は獨立が

環境により正當と認められ當該地方の希望である場合には獨立を認めることにしてゐるのだ

ステチニアスの言明は率直にして揣摩臆測の餘地を残さない、「この條文には信託統治領の人民が獨立の責任を取ることを欲し、その用意と資格がある場合には獨立が達成されるといふ意味が含まれてゐる」さう彼はいふのだ

信託統治領の人民が欲する場合にはといふ一句は極めて大切で、これについては最近ニュージールランド代表も、同國が完全な自治を有しながら母國との紐帶を切斷することを肯じないでゐる事實を指摘してゐる

### △比島獨立の問題

「フィリピンの場合がすぐ頭に浮んでくるが、米國は一九四六年七月四日をもつて獨立實行の日と定める法律を制定することにより比島住民に對する十分なる誠實を示してをり、米國議會はその後いつでも日本軍が撤退し、法と秩序さへ回復されれば獨立を宣言し得る權限を大統領に對して與へる法律さへ通過せしめて、獨立の時期を早める可能性を残したのである、しかしながらフィリピン人中の重要人物をも含めて心から比島を愛する多くの人々は、米國が比島に完全獨立を許すことはかへつて比島に對して罪惡を犯すことになるのではないかと論じてゐる

獨立後に起るかもしれない經濟的な絶縁状態並びに軍事的安全保障の缺除か米國との間に何らかの紐帶を保つべき理由として擧げられてゐる、勿論これは完全自治の時期を遅らせないといふ前提に立つてのことだ、實際問題としてフィリピンは一九三五年にフィリピン聯邦の宣言を行った時に自治國の地位を獲得してゐる、聯邦政府は外交問題を除きフィリピンの一切の問題に對して直接實行權をもつてゐた、軍事的にも米國の援助を受けてゐるとはいへ一應防衛上の任務を持たされてゐたのだ

濠洲、カナダその他英國の自治領や今述べたフィリピンと同じやうに、現在植民地、委任統治

領乃至保護領となつてゐる他の諸地域も自治國としての地位を獲得するに違ひない、希望によつては獨立以外の地位を選び得る權利といふのは人民にとつて重要な權利だとステチニアスはいつてゐる、彼の言葉を藉りれば、米國はすべての國民が現代の世界においては相互依存し、個人的な自由並びに人民の生活水準の向上が國際信託統治制の基本目的に含まれなければならないことを十分認識してゐるのである、特に強調すべきは、獨立がすべての國民にとつて極めて望ましい状態とされてゐるにも拘らず、新世界機構の加盟國は相互依存により將來獨立に對し新しい評價が生れるかもしれないといふことを知つてゐるのだ、相互依存を認識しそれによつて生ずる責務を認知することは、現在獨立してゐない世界の國民にとつて當該國民の福祉乃至希望を無視した單なる獨立以上の何ものかを齎すかもしれないのである

米國代表は自己の見解を明かにした、決して理想としての獨立に反對な譯ではない、それは記録に示されてゐる通りだ、だが米國は他にも單なる政治的獨立形式と同等もしくはそれ以上に大切な考慮条件があるといふこと、特に個人的な自由と生活水準の向上こそ考慮されなければならないといふことを知つてゐるのである

### 再び大統領任期制限案

(リスボン十三日發)ワシントン來電 下院共和黨總務ジョゼフ・マーチンは八日下院に對して左の通り大統領任期制限案を提案した

余は大統領の任期を一期四年の二期に制限することを提案する、この憲法修正案は遅くも本年末までに各州の承認を経て成立せしむべきである、余が現在かかる憲法修正案を提案するのはこの成立によつていかなる政黨の政策にも直接影響を與へないからである、余は更に大統領の晩年を保護するために大統領に就任した人物には年二萬五千弗の恩給を支給することを提案する



昭和二十年七月十八日(水)  
第三四八六號

# 同盟通信

## 海外電報

### 競技場地下の大工場

(リスボン十六日發)ベルリン來電「ベルリン占領英軍當局は十五日「一九三六年のオリンピックク競技場の地下にナチは建設、施設費合計五百萬弗に上る電波暗視器工場を作つてゐた」旨發表したナチはこの電波暗視器によつて英本土から歐洲大陸へ出發する飛行機の大きさ、速度等を計測しようとして計畫してゐたらしい、今回英軍が同地區に進駐するに先立ち同工場の機械類は一切赤軍が運んで了つたといはれる

### 【主要目次】

米英首腦初協議	二〇三八
正式會談開始は十七日か	〃
米代表ボツダムへ	〃
スターリン議長も出發	〃
議題は戦後處理案	〃
モスクワ會談と重慶	〃
英、ギリシヤに居坐り策	二〇三九
ソ聯の對希態度強硬	〃
獨四政黨初會合	二〇四〇
ドイツ財産引渡令	〃
フランコ近く屈從政策を聲明	〃
南歐諸國、ソ聯へ便宜貸與か	〃
タシーニ罷免説	〃
パレスチナでソ聯人虐待	二〇四一
埃及、英軍の撤収を要求	〃
米海軍大異動	二〇四二
眞珠灣司令官更迭	〃
シエンノート退陣	〃
ハイラム・ジョンソン反對投票	二〇四三
「憲章」審議は二十三日から	〃
輸出入銀行融資擴張法案	〃
英國人口の危機	二〇四四
國際憲章訂正	〃

### 米洲社會保障會議

(リスボン十六日發)メキシコ・シテイ來電「米洲諸國は来る二十六日からメキシコ市で米洲社會保障會議を開催することとなつた、現在までに右會議に参加の意向を表明した國はアルゼンチン、ボリビヤ、ブラジル、コスタリカ、チリ、サルヴァドル、エクアドル、米國、グワテマラ、メキシコ、パナマ、パラグワイ、ペルー、ドミニカ、ヴェネズエラの十五ヶ國である



うか、嚴密にいつて今回の失敗は決して回印兩教徒の均勢ではない、少くも宗派としての均勢には會議派も回教徒聯盟も同意してゐるのであつて問題は會議派と回教徒聯盟の勢力均衡にある、ジンナーが總督屢次の説得にも拘らず回教徒聯盟外部から回教徒の代表が行政參議會に入るのを肯じなかつたのも、一に參議會内における會議派の優勢を惧れたためにほかならない、而も會議派は同派から回教徒代表二名を出したいといふのだから「二週間の延期」くらゐで意見の一致が齎される譯はない、英國の印度聯盟書記長クリシナ・メーンは十六日「シムラ會議の失敗によつて、對立は回印兩教徒の間ではなく回教徒聯盟と他の黨派との間にあることが判明した」と述べ、労働黨のレジナルド・ソレンセンも世界の輿論が印度問題の痛の所在について明白な認識を持ち得たことは收穫だと語つてゐるが、今次會議の意義は正しくこの點にあつたといへよう

鳴物入りで開始されたシムラ會議は豫想に反して失敗に終つたが、この會議自體印度の獨立への過程から見ると大した重要性を持つものではないウエーヴェルが印度各派の代表二十二名をシムラに招集した目的は英國の「新提案」の中核をなす行政參議會の再組織について印度側代表の意見を聴取することにあつた、従つて會談は提案を中に挟んで英國と印度とが折衝を續けるといふ性質のものではなく、行政參議會(定員十五名)の椅子十三の割り振りについて印度各派で協議し、意見の一致を見るに至れば、總督が各派から選出された代表の顔觸れに検討を加へ、而る後最後の決定を下さうといふのが今次會議の趣旨なのである、ウエーヴェルの聲明によれば「シムラ會議の基調をなす考へ方(回印兩教徒の均勢か)は彼自身の發意に基くものであるから會談失敗の責任はウエーヴェル自身にある」といひ、更にウエーヴェルは構想を新たにしていへるかの措置に出ると稱してゐるが果して彼は椅子の割當を變へようといふのであら

## 米英首腦初協議

(リスボン十六日發) ロイター・ベルリン電によれば米大統領トルーマン、英首相チャーチルは十六日非公式會見を行ひ、また別に米英參謀本部首腦も第一次準備會を開いたといはれる、正式會談に關しては未だ何等公表されない

### 正式會談開始は十七日か

(ストツクホルム十六日發) ベルリンからの諸情報を経綜合するに、十六日午前中はスターリン議長未着のため正式會談開催の運びに至らず、ただ午前中チャーチル首相がベルリンのトルーマン大統領の宿舎を訪問、四十分間に亘り會見し、正式會談に備へて全般的問題につき打合はせを遂げたにすぎないやうである、一方スターリン議長の所在は不明で、午後に至りベルリンに到着したとの報道もあるが、確認されてゐない、何れにしても正式會談は十七日には開始されるらしい

### 米代表ボツダムへ

(リスボン十六日發) ベルリン來電「米大統領トルーマンは隨員リーイ提督とともに十五日朝空路會議地ボツダムに到着した、トルーマン一行とは別に國務長官バーンズも前後して同地に到着した

### スターリン議長も出發

(リスボン十六日發) ワシントンからのAP電によればスターリン議長も既にモスクワを出發ボツダムへ向つたといはれる

### 議題は戦後處理案

(リスボン十六日發) 三頭會談の開幕により歐洲戦後處理案その他目前の懸案が如何に決定されるか種々臆測されてゐるが、米英諸情報を経綜合すると討議の中心は大體次の諸點にあるやうだ

一、ドイツ處理案「ロンドン・タイムズ」紙ワシントン特電によれば米大統領トルーマンはドイツ處理に關しては、最初米英ソ三國協定、次にフランスをも加へた四國協定を締結し、暫定並びに恒久兩種の處理方法を確立しようとの腹案を有すと見られるが第一の暫定案は現に來年進駐地帯において實施されてゐるもので、これは一年乃至五年をもつて打切り、第二の恒久平和體制に移行しようとするものである、第二案の

内容は不明だが、思ひ切つてドイツの再起を不能とする構想であることは略々見當がつかう

二、歐洲新秩序案「デリー・メール」紙ニューヨーク特電は米大統領の主要目的は第一に大西洋憲章の原則に基く歐洲新秩序の確立、第二に新歐洲國境線の劃定、第三にボツダム會議をもつて豫備平和會議としてその基礎工作を固めることになると見てゐる、ロイター通信ワシントン電は同じく歐洲戦後處理並びに新秩序案として、新解放地域並びに舊樞軸衛星國に關する政治經濟問題、就中その民主々義體制化問題を擧げてゐる

三、地中海及びバルカン問題「ソ土交渉の目標となつてゐるダーダネルス海峡制度の再檢討並びにバルカン諸國の國境紛争は、英ソ兩國の利害に關する現實問題として、何らか政治的處理の方法が協議されるものとみられる、

四、東亞問題「デリー・メール」紙ロイター電によれば、その他三頭會談では太平洋戰局に關する問題、スターリン・宋子文のモスクワ會談經過も議題に上らうと見られる、三國代表が軍最高首腦を帶同してゐる事實が右觀測の根據となつてゐるがソ聯の立場は全世界の注視的となつてゐる

### モスクワ會談と重慶

(リスボン十六日發) 米英兩國新聞はスターリン宋子文のモスクワ會談をもつて「支那版ヤルタ會談」とが「極東ヤルタ方式」とか宣傳したために二週間の交渉も妥結に至らず打切との發表に拍子抜けの態である、もつとも重慶十六日發ロイター電は會談打切後も胡世澤がモスクワに居残り、既に原則上合意に達した特定の問題につき折衝を續ける筈だし、また宋子文も重慶歸着の上蔣介石に報告の後再交渉の基礎となる新訓令を携行、モスクワに引還す豫定であるとして、飽くまでモスクワ會談に期待を繋いでゐる、渝延問題がモスクワで如何に討議されたかも不明だが、蔣介石が十六日、民主々義體制の確立による政局の安定を希望する旨言明したと傳へる重慶電に徴すれば蔣は依然として延安籠絡の誘ひの手を伸ばしてゐること

が窺はれる

佐藤大使、モロトフ會見

(モスクワ十四日發延着) 佐藤大使は十日、ロツオフスキー外務人民委員部次長と、次いで十一日モロトフ外務人民委員と夫々會見した

【ギリシヤ問題】

英、ギリシヤに居坐り策

(リスボン十五日發) ギリシヤ、アルバニア、ユーゴスラヴィア等の國境情勢を繞つて、バルカンにおける英ソ兩勢力關係は微妙となりつつあり、あるひは英國は事態不安定を口實に本年冬に豫定されたギリシヤよりの撤去を來春まで延期するのではないかとみられる、右につき「ニューヨーク・タイムズ」紙アテネ特電は十日の紙上次の通り報じてゐる

「ギリシヤ、トルコにおける英軍地帯、アルバニア及びブルガリアのソ聯地帯を劃する境界線一帶の事態不安に鑑み、目下ギリシヤにある英軍は來春まであるひはそれ以上保障占領を延期するだらうことは益々明かになつた、元來英軍はこの冬までに訓練の届いた完全裝備のギリシヤ三個師團及び相當數の豫備軍に治安維持を讓つて撤收する計畫だつたが、バルカンの不安が續けば駐屯も延期し現在の小兵力を逆に増強することになるかも知れない、英軍が初めてギリシヤに遠征した當時ギリシヤの兵力は十個師以上に達してゐたが、現在では一個師に過ぎず、而も裝備を有するものは半數を出ぬ有様である、この兵力では北方國境方向の共產遊撃地區の安全を維持することは思ひも及ばぬことだ、而もギリシヤ紛糾の様相はこれに止まらない

傳へられるところによれば最近ユーゴ軍隊が南方へ移動したこと、ブルガリアが今もつて十六個師團の兵力を擁すること、アルバニアのホクスハス左派政府が小兵力ながら軍隊を編成中であること、ソヴェト兵約十個師がダニユーブ水域にあり更に小部隊はギリシヤ北境に出現しつつあること等々の情報に加へて、恐らく噂に過ぎぬと思はれるがユーゴのチトー政府がアルバニアを経てギリシヤのエピルス境域内に部隊を侵入させてゐると

の報道と相俟つて、事態を混亂させてゐる、冷靜にものをみる人は現實にこの方面で衝突が起るとは考へてゐないが、ただ英軍の現有兵力をもつてしてはブルガリア又はユーゴ何れか一方の兵力に當ることも不十分なことは明かだ、然し英國は國際紛争を防止するだけの必要な兵力は何軍團でも置き得る建前になつてゐる、そもその禍根はチャーチル・モロトフ協定で、ルーマニアをソ聯にギリシヤを英國に勢力圏の取極めを行つたのだが今や英國は國際義務からいつても利己的なる英帝國の立場からしても自己の持場について約したことを十分認識してゐるに違ひない、蓋しギリシヤは東地中海及びスエズ地帯を支配する要地だからである」

ソ聯の對希臘態度強硬

(ストックホルム十三日發) ギリシヤ政府は國境紛争の黒幕をソ聯と稱して最近盛んにソ聯に對して惡聲をはなつてゐるが、モスクワからのロイター電報によればモスクワの各主要新聞は一齊にアテネに開催されたギリシヤの反ソ大會の記事を大きく掲載して輿論の注意を喚起してゐるといはれクレムリンのギリシヤに對する態度は頓に硬化してゐる様子だ、以上の事態に鑑みモスクワ外交界はスターリン議長が三頭會談においてギリシヤ問題を持ち出し、現ギリシヤ政府を反民主主義的なりとしてその清算を強硬に要求すると觀測し、ギリシヤを繞る英ソ兩國關係の惡化を憂慮してゐると傳へられる

希、ユ國境で反英氣勢

(リスボン十五日發) ロイターベルグランド電ユーゴスラヴィア諸新聞は、ギリシヤ北境においてはギリシヤ遊撃軍に對する英國側の壓迫頻りであるとして非難の論調を愈々公然と行つてゐるがベルグランド新聞「ポリチカ」によれば、ギリシヤより亡命して來たものはヴォイヴォチナに集合宿舎を供給されてゐるが、「若し英夷がギリシヤでテロをやるといふなら二十四時間内に止めて見せる」と壁に大書してゐることである

獨、四政黨會合

(ストックホルム十五日發) ベルリン來電ニ赤軍の占領地帯で活動を許可されてゐる社會民主黨、共產黨、キリスト教民主黨、自由民主黨の四政黨は十五日、合同會議を開催、ドイツ再建について協議を遂げたが、會議終了後次の共同聲明を發表した

全國民の生活と思想に根本的變化を與へることによつてのみ、ドイツ國民の救済は可能であるかくて四政黨は力を統合し反ファシスト並びに民主主義的組織としての強固な戦線を形成して幾多の大問題を解決する決意をした、以上の動きと同時にドイツ史の新しい段階は始まつたのである

更に右共同聲明とは別に四政黨は内治外交に關し次の綱領を發表した

- 一、反ファシスト並びに民主主義の原則に基き、ドイツからナチの殘黨を一掃するにあたり各派は協力する
- 一、ドイツ人に對しパン、衣服、仕事、家屋を確保するため可及的速かに國家經濟を再建するやう努力する
- 一、民主主義國家の原則に基き人權の完全な尊重を確立すること
- 一、信教、思想の自由を保障すること
- 一、外國との關係については相互尊敬の原則に基き再び信頼を獲得すること

ドイツ財産引渡令

(リスボン十五日發) ロイター・マドリッド電ニスペイン外務省は十五日の公文をもつて「スペイン人及び國內在留外國人にしてドイツの公有財産及び貴重品を保持するものはこれを政府に引渡すべし、違反者は嚴罰する」旨命令した

フランコ近く屈從政策を聲明

(リスボン十五日發) マドリッド來電ニフランコ將軍はスペイン内亂九周年記念日である十七日、

フアランへ黨全國評議會年次大會に於てスペインの新政策を闡明するものとみられる、もつとも右に關しては何ら公式言明はないが、フランコ將軍は恐らくスペイン内亂、次いで世界戦により必要とされた緊急期間を漸次解消し、常態化するに至る政策の轉換につき説明するものといはれてゐるフランコ將軍がかねて米英軍の壓迫によりその政治體制を聯合國側の線に調整する意思あることは一般に噂されてゐるところであるが、ロイター電はフランコ將軍が何等か重大決定をなすとすれば英國總選舉の結果を見極めた後であらうと報じてゐる、何れにしてもスペインの政情が外部的要素のため左右されがちである事は免れず、既にフアランへ黨書記長で閣員のホセ・ルイス・アレージェは十四日午後の議會後辭表を提出したともいはれてゐる

南歐諸國、ソへ便宣貸與か

(チューリッヒ十四日發) 「ラ・スイス」紙のローマ特派員はイタリア紙の米國筋報道として次の通り報じてゐると傳へてゐる

「ユーゴスラヴィアはフィウメ、スバラト(スプリウト)を、ルーマニアはコンスタンツアを、ブルガリアはヴァルナを、チェコスロヴァキアはドナウの河港その他空港をソ聯に貸與し、ソ聯は以上の代償としてこれら各國に兵訓練の爲の軍事使節及び武器を提供することになつてゐる」

タシーニ罷免説

(チューリッヒ十三日發) 消息筋の情報によればドイツ進駐佛軍司令官ドラトル・タシーニはド・ゴール政權打倒の陰謀計畫に連累し本官を罷免の上逮捕されたといはれる、タシーニは現在フランスではジロー將軍に次ぐ陸軍の長老で最近陸軍教育總監に轉補されるだらうとの噂があつたものであるが、フランスにおける金權寡頭政治團體「二百家族」の支持を得て權力把握に乘出し、ド・ゴールの排斥を策動したといはれてゐる

【西 亞】

パレスチナでソ聯人虐待

(ストックホルム十五日發) モスクワ放送局は十五日、カイロ電としてパレスチナにおいてソ聯人が虐待された旨を報じ、ソ聯全紙も一齊に右事件を掲載した、報道要旨次の通り

「パレスチナにおける反動的な猶太人團體は同地亡命ソ聯人に對して數々の殘虐行爲に出てゐる、現在數百に上る之等ソ聯人は一九四三年ベツサラビアやブコヴィナから逃れたもので、二ヶ月前エヂプト駐在ソ聯軍事代表がパレスチナに乗込んだ際、或る團體による事實隠蔽の企圖にも拘らず、ソ聯兒童二百人餘その他成人相當數を數へた、右代表團の出發後猶太人團體は反ソ工作を開始し、ソ聯へ歸還すれば處刑されると威嚇して、引揚を妨害した、ソ聯人は職場から追はれたり、理由なく家を追拂はれたり、甚しきに至つては公然殴打された、然しソ聯人は出来るだけ早く歸國を要望してゐる」

埃及、英軍の撤収を要求

(ストックホルム十三日發) 近東諸國における獨立要求氣運に刺戟されてエヂプトの對英態度は微妙な動きを示してゐるが「デーリー・メール」紙のカイロ電報が報ずるところによれば、エヂプト藏相マクラム・エベイドは去る十日下院において次の通り發表したといはれる

エヂプト政府は英國政府に對してエヂプト駐屯英國軍の撤収を要求した、その結果政府は英埃條約の規定に基くスエズ運河に沿ふ兵舎の建設費を豫算に計上しないこととした

トルコ問題で米英、ソ聯に抗議

(チューリッヒ十三日發) ソ聯はトルコに對してカフカーズ國境附近の領土を要求してゐるが、フランス通信社のアンカラ電によれば米英兩國政府はソヴェト政府に共同の覺書を送付し、トルコの獨立を維持し現國境内におけるトルコの領土主權

を尊重するやう強硬に申入れたといはれる

米、レバノンと石油協定

(リスボン十五日發) ベイルート來電「ソコニ社系地中海精油會社並びにスタンダード社系地中海スタンダード・オイルの兩社とレバノン政府との間の精油業開發に關する交渉は既に原則的妥結に至り、トリポリ附近に精油工場二ヶ所を建設することとなつた、協定は近く調印を見る筈

【英 帝 國】

二重夏季時間終了

(ストックホルム十四日發) ロンドン來電「英國政府は七月十五日午前二時(グリニツチ標準時)をもつて二重夏季時間(ダブル・サンマー・タイム)を打切る旨十四日發表した

英帝國軍損害

(ストックホルム十三日發) ロンドン來電「英國情報省は開戦以來の英帝國の損害總數を十二日次の通り發表した

△損害總數 百四十二萬七千六百三十四名

内戦死 五十三萬二千二百三十三名

負傷 三十三萬六千二十九名

行方不明 五十五萬九千三百七十二名

△各國別損害内譯

一、英國 七十五萬三千三十八名

一、カナダ 十萬千八百八十八名

一、濠洲 九萬二千二百一十一名

一、ニュージーランド 三萬九千七百八十三名

一、南阿聯邦 三萬六千七百八十三名

一、印度 十七萬七千三百五十五名

一、各植民地 三萬六千三百七十六名

△海員損害(各國別損害中に含まれず)

總數 四萬五千二百十五名

内戦死 三萬八千八百六十七名

△英護國軍損害(同)

千七百六十三名

【米 洲】

海軍大異動

(リスボン十四日發) ワシントン來電 海軍長官  
フォレストは、十四日の新聞記者會見において  
眞珠灣以來最大の米國海軍首脳部異動を發表、今  
回の異動が大量減首でなく、歐洲戰終了とともに  
多數の優秀な海軍將官が供給されたことを意味す  
るものと強調した、異動は大たい三十日以内に  
實施されるが、これ以上海軍首脳部の異動が行は  
れることはまづない筈で、太平洋艦隊司令長官ニ  
ミッツ、第三艦隊司令官ハルゼーその他最高司令  
官たちの地位にも變化はないといはれる、異動の  
主なるもの次の通り

第三艦隊所屬第二空母機動部隊司令官

中將ジョン・S・マツケイン

海軍長官に報告、待命

海軍將官會議參議官

大將ヘンリー・ヒュウイツト

任歐洲方面海軍總司令官

歐洲方面海軍總司令官

大將ハロルド・スターク

命退役(停年のため閑職へ)

太平洋空母機動部隊司令官

少將フレデリック・C・シャーマン

任快速空母機動部隊司令官

快速空母機動部隊司令官

中將マーク・A・ミツチャイ

任海軍作戰部航空專任次長海軍作戰部次長

中將オーブレイ・W・フィッチ

任アナポリス海軍兵學校長兼セヴァン河海軍部

隊司令官

アナポリス海軍兵學校長

少將ジョン・R・ベアドール

任第十五海軍區司令官兼バナマ水域並東南太平

洋司令官

第十五海軍區司令官

少將ハワード・F・キングマン

命太平洋艦隊勤務

アラメダ駐屯艦隊航空隊司令官

少將ヴァン・H・ラグスデール

任西海岸艦隊航空隊司令官

西海岸艦隊航空隊司令官

少將アルフレッド・モンゴメリ

任太平洋方面航空隊司令官

太平洋方面航空隊司令官

中將ジョージ・D・マレー

任マリアナ諸島司令官

マリアナ諸島司令官

中將ジョン・H・フーバー

任太平洋艦隊副司令官兼太平洋方面軍副司令官

太平洋艦隊副司令官

中將ジョン・H・タワーズ

任空母機動部隊司令官(マツケインの後任)

南大西洋司令官

中將R・マンロー

任カリブ水域司令官兼第十海軍區司令官

カリブ水域司令官

中將ロバート・ギツフエン

任大西洋補給司令官

大西洋補給司令官

中將シャイワッド・A・タフィンダー

任第十四海軍區司令官兼ハワイ水域司令官

第十四海軍區司令官

中將デヴィッド・W・バグレイ

任メキシコ防衛委員兼米加共同防衛委員

少將エドワード・W・バンソン

任眞珠灣海軍工廠長

少將ジエームズ・ホロウエー

任太平洋艦隊練習部隊司令官

眞珠灣司令官更迭

(リスボン十四日發) ホノルル來電 眞珠灣司令  
官海軍少將ウィリアム・ファイロンは停年に達  
したため今回退職することになり後任には前太平  
洋艦隊戰艦隊司令官少將エドワード・ハンソン  
が任命された

シエンノート退陣

(リスボン十四日發) 重慶來電 米第十四航空隊  
司令官少將クレア・シエンノートは今回勇退する  
ことになり、その旨十四日重慶、カルカッタ、昆  
明で同時に發表された

### ハイラム・ジョンソン反対投票

(リスボン十五日發)ワシントン來電 孤立派をもつて知られるカリフォルニア州選出共和黨上院議員ハイラム・ジョンソンは十四日上院外交委員として國際憲章に反対の投票を行った、憲章が米國議會に上程されたからかれの投票が最初にして唯一の反対投票である、上院外交委員會は十三日二十票對零をもつて國際憲章を可決したが、この際缺席したジョンソン及び民主黨議員ジェームス・マレーが改めて投票、ジョンソンの反対に對しマレーが賛成投票をなしたため、結局外交委員會の表決結果は二十一票對一票となつた、ジョンソンは二十六年前故ウイルソンによつて國際聯盟案が米國議會に提案された時もこれに猛烈に反対して、遂に米國の聯盟不参加を實現した人物だがかれは近く聲明を發表して、國際憲章に反対するかれの立場を明らかにする筈である

### 「憲章」審議は二十三日から

(リスボン十四日發)ワシントン來電 上院外交委員會は十三日「國際憲章」を可決、上院の批准を勸告したが、「憲章」は十六日、上院に上程され、二十三日から上院の討議が行はれることに決定した

### 第二の憲章批准國

(リスボン十一日發)サンフランシスコ來電 サン・サルヴァドル國會はさきに桑港會議で調印を了した國際憲章を十日批准した、かくて同國はニクラグアに次ぐ第二の憲章批准國となつたわけである

### 重慶駐劄メキシコ大使

(リスボン十一日發)重慶來電 重慶駐劄初代メキシコ大使エスカランテ・ラミレスは十日蔣介石に信任狀を捧呈した

### 亞、重慶に大使館設置

(リスボン十四日發)ブエノスアイレス來電 아르ゼンチン政府は今回重慶に大使館を新設した旨

十四日發表した、大使には臨時にアピノ・アメントが任命される筈である

### 大統領顧問バーンズ辭任

(リスボン十二日發)ワシントン來電 白聖館當局は大統領行政顧問ジェームス・バーンズが辭表を提出、トルーマンがこれを受理した旨十二日發表した

### 米國民への補給が眞先

(リスボン十日發)ワシントン來電 米國の食料不足は政府當局大童の對策にも拘らず改善の兆が見られないが、農務長官に就任したアンダーソンの後をうけて下院食料委員長となつた民主黨議員ベイスは十日食料不足對策として次の通り述べた 米國の食料を先づ第一に補給さるべきは米國軍隊に次ぎ一般米國民でなければならぬ、人道の要求に基く最少限度の食料の對外補給はやむを得ないとしても、食料の對外輸出は差控へるべきだ

一方農務長官アンダーソンも肉饑饉緩和のため食肉の増産、その配給機構の改善に乗出してゐる

### 輸出入銀行融資擴張法案

(リスボン十五日發)ワシントン來電 下院銀行通貨委員會は目下輸出入銀行の融資限度擴張法案を審議中だが、外國經濟院長レオ・クローリーは十一日委員會の公聽會に臨み同法案を支持して次の通り述べた

米國は現在まで幸ひにも對外貿易を高水準に維持し、一方國內的には産業再轉換を促進し、更に諸外國における經濟的發展並びに再建工作を支持することが出来た、諸外國に於る再建工作がそれ等諸國政府の責任であり、それ等諸國の資源によつて遂行されなければならぬことは勿論だが、米國としてもこれ等諸國の再建事業を支持する義務を免れるわけにはいかない

因みに目下下院に上程されてゐる輸出入銀行融資擴張法案の骨子次の通り

一、現在の融資限度七億弗を三十五億弗に擴張する

一、一九三四年四月三十日現在において米國に對し債務不履行國に對する輸出入銀行による融資禁止法を撤廢する

## 英國人口の危機

「ニューヨーク・タイムズ」紙ロンドン特電

過去半世紀に亘る英國の人口漸減傾向が今後五十年以内に是正されなければ英國は遂には軍事的にも經濟的にも第一等國としての地位を保持出来なくなると同時に、今後自治領或ひはその他の外地へ移民を送つて英國の文化水準及び諸價値を普及することも不可能となるだらうと一般に豫想されてをり、更にこれは理論的必然であるとかさへ考へられてゐる、最近七十五年間英國の出生率は次第に減少しつつあり、一九二三年當時の人口にすら復歸し得ない状態だ、最近の統計により計算すればこの人口減少傾向がそのまま續くならば現在四千六百萬人を算する英國の人口は一九七五年には三千百萬に、百年後には四百五十萬足らずに減少するといふ驚くべき結果となつてゐる、かかる事情に鑑み昨年特別に人口調査委員會が任命され、英國現在の人口減少傾向に關する事實の調査一、右減少の原因調査

一、人口減少に伴つて生ずる諸種の結果に關する考察

一、今後の人口趨勢を國家に有利ならしめるやう導くために採るべき必要な措置の考案

一、政府に對する建言  
の諸任務を委嘱された

同委員會は既に人口問題に關する一般の資料蒐集の大半を終へ、目下人口對策に關する討議を進めてゐるが、ここに解釋に苦しむのは最近四年間に亘つて出生率が上昇してゐるといふ矛盾した事實だ、一九三九年には出生率は最低で、千名につき一四・九の割合であつたが、一九四二年後半以降突如出生率の急激な上昇傾向が現はれ、一九二三年以來みられぬ人口代替率に大體達してゐる、

### 聯合國機構憲章全文訂正

第二章第四條(一)中二行目

「機構の判斷においてこれら諸責務を容認し」を除く

第三章第八條中一行目

「使用機關」を「主要機關」に

第四章第九條(二)中二行目

「出席せしむるを得」を「出席せしむるを得ず」に

同第十一條(一)中四行目及び五行目を

「安全保障理事會または加盟國或ひはその双方に對して勸告を行ふを得」に

同(二)中四行目を

「第三十五條第二項に従ひ審議するを得(但し第十二條に規定せられたる場合を除く)同時に」に

同第十三條(一)A、中二行目

「進歩的發達」を「斬進的發達」に

同第十四條中五行目

「平和的調制」を「平和的調整」に

同第十五條(一)中二行目

「臨時報道」を「臨時報告」に

第五章第二十八條(一)中一行目

「安全保障理事會」を「安全保障理事會」に

同第三十一條中

「安全保障理事會ならざる聯合國加盟國は安全保障理事會の」とある部分の最後を「安全保障理事會が」に、同條最終部分「但し表決權は與へられず」を「但し投票權を與へず」に

第六章第三十三條(一)中四行目

「司法的決定等にある解決を求め地域機關乃至」を「司法的決定等による解決を求め、地域的機關乃至」に

第七章第四十二條左の通り挿入

安全保障理事會は前條の措置もなほ不十分なりと認めたる場合には、空軍、海軍乃至陸軍兵力を動員して、國際平和並びに安全の維持乃至回復に必要な行動をとる權限を有す、この行動のうちには加盟國の空軍、海軍乃至陸軍兵力による示威封鎖その他の軍事行動を含む

同第四十四條中二行目

「派遣しられざる」を「派遣しをらざる」に

同第五十條

第四十九條の後段を第五十條に訂正

第九章第六十條中三行目

「第十二章中」を「第十章中」に

第十二章第七十六條B中一行目

「信託領住民」を「信託統治領住民」に

同五行目

「躍進的發達」を「漸進的發達」に

第十六章「雜規」を「雜則」に

第十七章第六十條中五行目

「四ヶ國宣言の調印」を「四ヶ國宣言の調印國」に



ニミッツ提督の豪語するところによれば、今回の機動部隊の出撃で、太平洋作戦は「上陸直前の段階」(Prénvasion Stage)に入ったのだといふが、更に米軍の第七兩用作戦部隊司令中將ダニエル・パーレーは十八日の放送演説で「小規模の上陸作戦については、三十日以内で計畫を完了出来るし比較的大きな上陸作戦は六十日以内、本當に大規模な作戦でも九十日で用意が出来る、米軍が十萬の兵力を揚陸することに決定しても、二百萬を揚陸するに決めても、必要な地點に必ず上陸させて見せよう、日本々士には上陸に適した濱邊が何百とあるから」と氣焰を上げてゐるところから見れば、米軍は案外早く本土決戦を挑む方針と解される、ロイター電報は以上の演説に割註を付け「日本軍が拱手何事も出来ぬのだから、聯合軍としては軍機保持の警戒を完全に棄てて、端的に作戦方針を示すに至つたのだらう、かかる新しい態度の結果として、米國內には太平洋戦線では何時何事が起るかわらないとの觀測が有力化してゐる」と述べてゐる、B29の跳梁に對しても艦載機の横行に對しても、一時のやうな熾烈な邀撃作戦を展開しないために日本軍與し易しと見たのであらうか、尤も東南アジア軍司令部筋では簡單に日本軍の航空戦力が涸渇したなどは見てをらず、陸海軍の對立激化で航空部隊が出撃しなかつたのだらうと牽強附會の臆測を加へてゐる、孫子に言はずや、「兵は詐を以て立つ、其の徐なること林の如く、動かざること山の如く、知り難きこと陰の如し」利して之を誘ひ卑くして之を驕らしめ伏すれば之を勞するは作戦用兵の妙諦、長くとも今後九十日といへば決戦報復の日は遠からずして到來しよう機銃掃射も中小都市暴爆も「此の一戦」までの過程に過ぎない、粥をすすり壕舎に寝起きして、一切の國力を「此の一戦」に凝集しようではないか神機一度動くとき「其の疾きこと風の如く、侵掠すること火の如く、動くこと雷霆の如く」破邪の利劍は驕兵の頭に下るであらう



梁に對しても艦載機の横行に對しても、一時のやうな熾烈な邀撃作戦を展開しないために日本軍與し易しと見たのであらうか、尤も東南アジア軍司令部筋では簡單に日本軍の航空戦力が涸渇したなどは見てをらず、陸海軍の對立激化で航空部隊が出撃しなかつたのだらうと牽強附會の臆測を加へてゐる、孫子に言はずや、「兵は詐を以て立つ、其の徐なること林の如く、動かざること山の如く、知り難きこと陰の如し」利して之を誘ひ卑くして之を驕らしめ伏すれば之を勞するは作戦用兵の妙諦、長くとも今後九十日といへば決戦報復の日は遠からずして到來しよう機銃掃射も中小都市暴爆も「此の一戦」までの過程に過ぎない、粥をすすり壕舎に寝起きして、一切の國力を「此の一戦」に凝集しようではないか神機一度動くとき「其の疾きこと風の如く、侵掠すること火の如く、動くこと雷霆の如く」破邪の利劍は驕兵の頭に下るであらう

マクナット比島へ  
(リスボン十七日發) ホノルル來電 米國戰時人的資源委員長ポール・マクナットは比島訪問のため十七日サンフランシスコからホノルルに到着した、同人は嘗て比島高等辨務官を務めたことがあり、今回の旅行は比島の經濟情勢の調査にあるといはれる

【目次】

白國王の權能行使を停止……………二〇四六  
加特力黨閣員連袂辭職……………〃  
宋子文歸國……………〃  
スターリン、トルーマン初會談……………〃  
退位問題で緊急閣議……………二〇四七  
白政府集會を禁止……………〃  
フランコ黨首を辭せん……………〃  
フアランへ黨解散說……………〃  
元伊内相死刑……………〃  
獨管理米代表部の陣容……………〃  
ソ聯紙イラン議員を攻撃……………二〇四八  
パレスチナにユダヤ國……………〃  
颱風圖を作成……………〃  
沖繩戰術航空隊解散……………〃  
クリツプス新解決案を提唱……………二〇四九  
會議派領袖シムラ出發……………〃  
補助艦艇追加建造案……………〃  
民間飛行機製作……………〃  
勞働政策を闡明……………〃  
【特 輯】  
米國と太平洋戦争(下)……………二〇五〇

獨潜艦乗組員を捜索

(リスボン十六日發) ブエノスアイレス來電 ीलゼンチン紙「ラ・クリテイカ」の報道によれば六日前マル・デラ・プラタ(ブエノスアイレス南方)沖合で聯合軍に降伏したドイツ潜水艦からドイツ人五百三十名がアルゼンチンの沿岸地帯に上陸した形跡があり、目下アルゼンチンの警官隊はこれらドイツ人を嚴探中といはれる

## 白國王の權能行使を停止

(リスボン十七日發)ブリュッセル來電「ベルギー下院は十七日九十八票對七票の壓倒的多數をもつて、上下兩院が國王レオポルドの退位問題を討議決定する迄國王が憲法上の權能を行使することを停止せしめる旨議決した、以上の措置はレオポルドが國會解散の舉に出て國會が退位問題を審議するを不可能とするのを阻止する爲とみられる、票決に際し三十二票の棄權を出したが、下院の大勢が既にレオポルドの退位に傾いてゐることは明瞭であり、國會が公然たる反レオポルド的態度を剥き出して國王に闘ひを挑んだことはベルギー憲法危機の將來を卜するものとして注目に價する

## 加特力黨閣員連袂辭職

(リスボン十七日發)ブリュッセル來電「公然たる國王支持の態度を明にしたベルギーのカトリック民主黨は十六日朝大會を開催、レオポルド歸國に反對するヴァン・アツケル内閣から同黨閣員の脱退を要求する旨決議した結果、カトリック黨員六名は同日連袂辭職、更に情報相であつた同黨の領袖エドアル・ロンセは辭職したカトリック民主黨閣員を代表して首相ヴァン・アツケルの辭職を要求する強硬聲明を發表した、以上の結果アツケル内閣は共産、社會、自由の三黨のみとなつたが、ヴァン・アツケルは十六日夜と十七日朝の二回に亘つて緊急閣議を召集、カトリック民主黨脱退に伴ふ内閣の危機を乗り切る對策を協議するとともに、國王レオポルトに對する鬭争方式を検討したと傳へられる

## 宋子文歸國

(リスボン十七日發)重慶來電「重慶政權行政院長宋子文はスターリン議長との會談を中斷して歸國の途にあつたが、十七日重慶駐劄ソ聯大使アポロン・ペトロフ氏と共に重慶へ歸還した、宋子文は直ちに蔣介石に會談の経緯について報告し更に三頭會談終了後再開されるスターリン議長との會談について蔣介石の指示をうける豫定といはれる

## スターリン、トルーマン初會談

— 平和再建の三國案を討議 —

(ストックホルム十七日發)米英ソ三國會談は十七日、スターリン議長以下ソ聯代表の會議地到着により愈々本筋に入るものと見られるに至つた、即ちベルリンからのロイター電によれば、この日午前スターリン議長はモロトフ外務人民委員を帶同、ベルリン到着とともに自動車を驅つて郊外ポツダムに近く設けられた「臨時白聖館」に米大統領トルーマンを訪問、國務長官バーンズを加へて第一回の會談を遂げた、正味の會談は一時間であつたがその間午餐を共にしたから結局驩談時間約二時間といはれる、かくて十六日のトルーマン・チャーチル會談、十七日のスターリン・トルーマン會談により地ならしも出來たので、何れ三首腦の正式會談に入るものと見られてゐる

(チューリッヒ十七日發)ポツダム三頭會談に關しては三國首腦間に個別的意見交換が行はれてゐること、協議内容が正式會談に先立ち全般的問題に關する豫備的打合せであることが報ぜられてゐるだけで具體的には何等窺知すべくもない、唯十六、十七兩日間の折衝が米大統領トルーマンを中心に行はれた事實も示す通り、一應米國が主役に廻つてゐることが知れるが、「チューリッヒ・ツァイツング」紙ワシントン電も今次會談はトルーマンの國際的活動分野における最初の腕試しであるとした後、會談の性質について大要次の通り報じてゐる

「今までの三頭會談は重點を戰略の確定に置いたが、ポツダム會談の目的は平和の再建に關する三國共同案につき討議し桑港會議の決定事項を實現するにある、更に目前の問題として至急解決を要するものは、この二ヶ月三國がドイツ占領以來、同盟國の歩調統一に關して或る種の危険を齎したのでその調整策を立てることである、結局トルーマンがドイツに對する新監理案を出すものと思はれる、ソ聯側はその占領地域内でドイツ人に政治工作を許してゐるが、米英占領地域では軍當局は政治工作を認めず、結局ソ聯の勢力が西部占領地域にも進出して來ることになる、ここに占領方式の再調整案を持ち出す必要があるのだ」

# 同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

## 【歐 洲】

### 退位問題で緊急閣議

(リスボン十六日發)ブリュッセル來電ニベルギー内閣は十六日朝四時間餘に亘る緊急閣議を開催レオポルド國王の退位を繞る諸問題を慎重協議した、閣議終了後政府は十七日國會を招集し國王問題と討議する旨發表したが、閣議は十六日夜も開かれる筈

### 白政府集會を禁止

(チューリッヒ十六日發)國王レオポルドの退位問題を繞つてベルギーの政情は依然緊迫した零圍氣を呈してゐるが、ブリュッセル來電によればベルギー國防相レオ・ムンデレルは非常事態に備へるため十三日四名以上の集會を禁止する旨の緊急布告を發したといはれる

### フランコ、黨首を辭せん

(リスボン十六日發)スペインの民主々義化に苦慮するフランコ統領は、過般來内外施策の修正を企圖すると同時に近く内閣の改造をも斷行する決意と傳へられるが、マドリッド來電によればフランコ統領は内閣の改造を機會にフアランへ黨々首を辭任し、専ら國家主席並びに閣議々長(首相)の地位に留まることにならうといはれ、またフランコ統領は餘りにも「指導者」の色彩の強い「統領」の稱號も廢止する意向ではないかと觀測されてゐる

### フアランへ黨解散説

(リスボン十六日發)最近フランコ將軍のスペイン・ファシスト體制修正工作に關する情報紛々として亂れ飛び眞相把握に困難だが、十六日のUPバリ電はスペイン大使館筋の情報としてフランコ將軍が十八日のフアランへ黨全國評議會を機會に同黨の解散を宣言し、併せて國外亡命中の全政治犯に對し大赦令を布告するだらうと報じてゐる

### 元伊内相死罪

(リスボン十六日發)イタリア新聞の報道に依れば元イタリア内相ギドゥ・ブツファリーニはフア

ンストであつた罪を問はれ、ミラノのイタリア臨時裁判所で死刑を宣告され、十日未明同市に於て銃殺に處せられたと言はれる

### 獨管理米代表部の陣容

(リスボン十五日發)ワシントン來電ニ米國陸軍省は十四日ドイツ管理米國代表部に關する次の人事を發表した  
「少將レイ・バーカーを陸軍部長に代將フランク・マックシヤーリを人的資源部長にまた大佐レスリー・ジェフアーツンを賠償部長に夫々任命した、バーカーは從來聯合軍最高司令部參謀長補佐の地位にあつたが今後彼は米軍の占領地帯内における完全な非軍事化工作を指導する、マックシヤーリはこれまで聯合軍最高司令部民政部幕僚長代理であつたが今後勞働力の割當、雇傭、勞働條件、住宅社會保險の一切を掌る、ジェフアーツンは以前歐洲諮問委員會の米國代表顧問の地位にあつたがこれからは賠償に關する國際協定の實施に伴ふ諸問題を掌る」

以上三部長の任命によつて、ドイツ管理々事會米國代表部を構成する十二部長のうち財政部長を除き既に十一人が任命されたことになる、更に十四日附で任命されたドイツ管理關係首腦部は次の通り

海軍部長 代將ハーバート・レイ

經濟部民間顧問 スタンダード石油會社理事

ジョン・スチュアート・ハリソン

賠償部民間顧問、聯邦經濟部員 D・チャイルド

なほこれまで任命済みの八部長は左の通り

海軍部長 中將ロバート・ゴームリー

空軍部長 少將ロバート・ハーバー

政治部長 大使ロバート・マーフィー

内政並に通信部長 少將オリヴァー・エコルス

經濟部長 代將ウィリアム・ドレイパー

運輸部長 代將ジョン・アツペルトン

法律部長 チャールス・ファアイ

捕虜流民部長 代將スタンレー・ミツチルセン

## ソ聯紙イラン議員を攻撃

(ストックホルム十六日發)ソ聯政府は頻りに言論機關を動員して隣接諸國の反動分子を攻撃してゐるが、モスクワ來電によれば黨機關紙「プラウダ」は十六日の紙上でイランに於る有力な反ソ分子の一人と見られる下院議員セイド・シア・エド・デインを漫畫化し彼はイランを毒するものだとして之を攻撃してゐるといはれる、右の漫畫は「逆巾旗で胴體を蔽はれ、しかも傷ついた蛇が木に巻きついた儘、下にゐるイラン人の耳の中に毒を落してゐる」ところを畫いたものだ、セイド・エド・シア・デインは元イラン首相の肩書を有し昨年下院議員に選ばれたが、過般ソ聯イラン兩國間で行はれた石油利權の讓渡交渉に際し最も強硬な反ソ態度をとり、イラン政府のソ聯に對する利權讓渡に反對した中心人物である、さらに「プラウダ」紙は報道欄でもイランの反動分子攻撃を行つてをり同紙はタス通信のテヘラン電報として最近イラン國內で反動勢力が擡頭してゐる旨報じてゐるといはれる、以上イランに對するソ聯の態度に關聯して十六日カイロで發行されてゐるエヂプト紙に「イラン北部にアゼルバイジャンの解放を標榜すると同時にイラン領アゼルバイジャンとソ聯領アゼルバイジャンとをもつて聯邦を結成すべし」と主張する國民委員會が結成されてゐる」との報道が掲載されたことは注目に價する、カイロ來電によればカイロ駐劄イラン大使館は十六日特に公報をもつて右の報道を否定し「ソ聯と友好關係を維持してゐるイラン國內にかかる委員會は存在しない」旨發表したといはれるが、右國民委員會の存在は別として、ソ聯がイラン北部の既得勢力圏を足場としてイランの「對ソ友好化」工作に乗り出してゐることは最早疑問の餘地がない

## パレスチナにユダヤ國

— ユダヤ人代表英に要求 —

(リスボン十六日發)前米國財務長官モーゲンソウがパレスチナにユダヤ人國を建設せよと言明したことは周知の事實だが、ロンドンからのロイタ

「電報によれば、最近パレスチナからロンドンに到着したユダヤ民族運動の代表ルイス・アルトマン並びにイスレル・ロソフは十六日、記者團との會見で「英國政府はパレスチナをユダヤ人の自治國家として承認すべきである」旨言明したといはれる

## 【太平洋戦線】

## 颱風圖を作成

(リスボン十四日發)米第三艦隊は去る六月五日西太平洋で颱風に遭遇し損傷艦艇二十一隻以上を出したが米國海軍省は將來かかる惨害の發生を防止する爲現在西南太平洋方面の颱風に關する資料を集めてゐると言はれる、ワシントン來電によればこれに關し海軍當局は十三日次の通り言明した海軍は現在日本支那海岸、臺灣近くの區域に發生する颱風の資料を集めてゐるが、それが完備すれば日本に對する陸海作戦が容易になるだらう、ニミッツ司令部の氣象専門家は最近マニラで「天候會議」を開催して西南太平洋方面の颱風圖を作成した、この方面の颱風は三月以來九回に上つてゐる

## 沖繩戰術航空隊解體

(リスボン十六日發)沖繩來電に沖繩基地海兵隊第二航空隊司令官少將ルイス・ウツツは十六日新聞記者團會見において次の通り言明した

沖繩方面戰術航空隊司令官としての余の任務は終了した、沖繩の再整備と共に琉球基地の陸軍全航空兵力は大將ジョージ・ケネーの極東航空隊に收められ、第十軍の沖繩作戦を支持した陸海軍並びに海兵隊の共同航空隊はここに解體した、沖繩基地の再編成において、海兵隊第二航空隊は大將ジョゼフ・スチルウエルの直接指揮下に入り、同島の防衛に當る、艦隊第一航空隊は海軍の指揮に入る、他の沖繩航空兵力はすべて極東航空隊に屬することになる、但し第八航空隊が沖繩基地に設置されれば、カール・スパーツの太平洋戰略航空司令部に直屬し、獨自の作戦を行ふわけでケネーの部隊は殆ど戰術航空隊のみに限られてゐる

【印度】

クリップス、新解決案を提唱

(リスボン十五日發) ロンドン來電ニシムラ會議が失敗に終つた旨發表された直後の十四日夜、サー・スタフォード・クリップスは印度問題解決について次の通り提案した

立憲自治政府を印度に賦與するため即時何らかの措置をとらねばならない、このためには先づ新印度憲法制定會議の選舉を行ふ必要があり又われわれは今度の會議で失敗した印度中央政府の暫定的再調整を飛び越えて印度問題の永久的解決に向つて直進しなければならぬと余は信ずる、自治政府の下においては隔離された回教徒國の建設即ち所謂バキスタンが重要問題となるに違ひないが、この問題については憲法制定會議において妥協的解決が圖られることを希望する

會議派領袖シムラ出發

(リスボン十六日發) ニューデリー來電ニガンジ、アヅアド、ネールその他國民會議派の運用委員はシムラ會議の決裂に伴ひ十六日シムラを出發した、一方回教徒聯盟總裁ジンナーは未だシムラに滞在してゐるが同聯盟運用委員の一部はそれぞれ歸途についた

【米 國】

補助艦艇追加建造案

(リスボン十五日發) ワシントン來電ニ上院海軍委員長ウォルシュは太平洋戦用に使用さるべき補助艦船二十萬噸の追加建造の權限を海軍省に附與すべき法案を十四日提出した、右艦船の建造費は一噸につき十三萬弗で修理船、油槽船、彈藥船、貨物船、運送船、病院船が含まれてゐる

民間飛行機製作

(リスボン十五日發) ニアライアンス(オハイオ州)來電ニアライアンスのテイラークラフト飛行機會社は十二日次の通り發表した  
一般米國民民は來る十月或ひは十一月頃までに

は二人乗りの私用飛行機を購入することが出来るやうにならうがこれは一臺二千二百九十五弗だ、家族飛行機も目下生産中だが會社は現在までに既に六千五百臺の私用飛行機の注文をうけてゐる

勞働政策を闡明

(リスボン十五日發) ワシントン來電ニ新勞働長官シユウエレンバックは十三日夜就任以來最初のラジオ放送を行ひ、かれの勞働政策を闡明して次の通り述べた

「日本に對して急速に勝利を收め、且つ戦後の健全な經濟を確保するためには勞資双方の完全な協力が必要である、政府は勞働爭議を平和的に解決するための適當な機關を設置してをり、勞働階級は戰爭中「無罷業の誓約」を遵守されたい、勞働者が爭議の平和的解決に十分利用し得る機關を用ひずして、生産を停止するやうな要求をなすならば、かかる行爲は國家の利益に反するばかりでなく、國民一般の支持をも失ふだらう、一方資本家も勞働者達が理性を棄てて行動に出ることを刺戟するやうな行爲は意識的にせよ、無意識的にせよ慎んで貰ひたい、將來に對する經濟政策の目標は「消費經濟」を發達せしめて大衆の購買力を増加するにあり、かかる政策をとつてこそ米國はその生産するあらゆる物資に對して排け口を發見することが出来る

今後數年間に米國內では數千にも上る勞働爭議解決の協定が、勞資双方の代表者の間に締結されよう、これらの協定は永續性を持つたものでなくてはならず、勞資双方共に自由且つ積極的に團體契約の原則を承認しなければならぬ、更に兩者はかかる協定を締結する場合には國家に對する責任をも引受けなければならぬ、余は全國民の代表であるが、特に勞働者の福利を増進するために特別の關心を持つてゐる、我々はあらゆる個人、團體の利益よりも、國家の利益を第一としなければならぬのであり、かくしてこそ始めて今次戰爭を最も短期に終結し、且つ全國民の利益を最もよく増進することが出来るよう」



次に「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙によつて米國の飛行機生産計畫の變更を検討しよう

歐洲戰の終了に伴ひ、米國の飛行機生産額は全體で約十五%方減少することとならう、就中、大幅の生産削減の行はれるのは對獨爆撃戰で大きな戦果をあげたB-24リベリター機、B-17空の要塞機等であり、又有名なP-38ライトニング戦闘機の生産にも思ひきつた削減が加へられることとならう、これは歐洲戰場におけるが如き空中戦が今やあらゆる點において完全に終了したことを意味するものであり、今後の飛行機生産は對日戰に適應した機種の増産に力が注がれるだらう

かかる機種の代表的なものはB-29超空の要塞機、B-32ドミネーター機、噴射推進式戦闘機P-80シュナイティング・スター機等である、更に從來の生産が繼續されるばかりかその生産が一層擴充されんとしてゐるものにはC-28フライイング・ボクスカー、目下大西洋横斷飛行に盛んに使用されてゐる四發輪送機C-54等である、一方小型機のうちでも増産されてゐるものが相當あるが、そのうちで特にあぐべきは快速の戦闘爆撃機A-26インヴェエーダー機であらう

生産削減の行はれる機種の製造工場では既に減産計畫が相次いで發表されてゐるが、フォード自動車會社のデトロイト、ウイロー・ラン工場ではB-24十五%減産を發表し、同様にカリフォルニア州サン・ディエゴのコンソリデーテッド・ヴァルティ工場もB-24の減産を發表した、又カリフォルニア州ロング・ビーチのダグラス工場、バンクのロッキード工場ではB-17の減産を豫定してをり、ロッキード工場ではこの他P-38の減産も行ふ事となつてゐる

歐洲の空中戦が終つた今日、同方面の空軍は勿論太平洋戦域にまはされよう、現に陸軍航空本部長アーノルドも「歐洲にある飛行機は出来るだけ太平洋に送るであらう」と述べてゐる、しかしな

がら太平洋戦に餘り向かない空の要塞機、リベリター機等の大部分は結局太平洋に送られずに終るのであるまいか、米國の計畫はむしろ超空の要塞機、ドミネーター機、インヴェエーダー機、シュナイティング・スター機等太平洋戦に適應した新鋭機をできるだけ多く生産するにあるやうだ

△勞働界の不安

軍需産業の再轉換は資本家にとつて極めて重大であると同様、労働者にとつても容易ならぬ深刻な問題である、かれ等にとつては軍需生産の停止は失業と同意語であるからだ、六月二十八日に戰時人的資源委員會が發表したところによると、今後一ヶ年間に軍需産業の停止乃至削減あるひは軍隊からの除隊によつて労働市場に解放される男子労働人口は七百七十萬、このうち民需産業に吸収される人口を六百三十萬としても、明年七月一日の失業者数は百八十萬に達するだらうとされてゐる、勿論これは政府機關の統計數字であり、失業者の數を極めて内輪に見積つてゐるだらうことは斷るまでもあるまい、現に労働組合その他の民間機關によつて作成された統計は、いづれも人的資源委員會の發表より遙かに大きな失業數字を出してゐるが、いづれにせよ失業問題が米國の戰後問題における最も重大且つ困難な問題となるだらうことは確實だ、既に軍需生産の削減によつて地域的には早くも失業者を出してゐるところさへある戰後に於る失業の不安が軍需労働者の間に深刻な不安を醸成するのは當然だらう、そしてこの不安による労働階級の動搖は、軍需再轉換が現實の問題となり、彼等の目前に失業がぶら下るに至り頗る顯著となつた、軍需労働者の離業がその顯著な現象の一つであり、この爲米國では一方では軍需生産の削減で失業者の發生を見てゐるかと思ふと、他方では離業者の激増で人手不足に悩むといふ奇妙な現象を示してゐる、左は六月四日の「タイム」誌による太平洋岸造船工の離業振りである「西海岸の造船工達は大量に職場を去りつつある從來からも造船所における労働者の移動は激しかったが、今までは離業者がいくら多くてもとにかくその補充を付けることができた、しかるに最近離業者の數が遙かにこの補充を突破してをり例へばピュージェット・サウンドの造船所は毎月平均二千五百名の造船工を失つてゐる、離業造船

工のある者は仕事に飽きたのであり、農村に歸つたり或ひは魚釣りにでかけたりするために職場を離れる者もあるが、然しその大部分は戦時造船の停止を恐れ、今のうちから安全な平和産業に鞍替へしようとしてゐるのだ」

#### △破損艦艇と造船工

造船工のかかる離業に依つて、最も痛手を受けてゐるのは海軍當局である、之は太平洋前線で米海軍が出しつつかある夥しい破損艦艇を、海軍當局はできる丈早く修理せんとしてゐるのに、造船工不足で思ふ様にその修理が捗らないからだ、この間の事情を再び六月四日の「タイム」誌によつて見よう

「海軍にとつては、造船工が選りに選つてこの時期に離業するといふことは一番痛いところだ、何故ならば、太平洋の作戦が急速に進むにつれ最大の急務は破損艦艇を急速に修理することであるからだ、米國艦隊の艦船は今や死物狂ひの日本爆撃機や「神風」によつて大きな損害を蒙りつつあるが、海軍當局も今では敢てその事實を發表し、例へば先週のごときも太平洋艦隊司令長官ニミッツは、僅か十八時間の間にかれの麾下の輕艦艇が十一隻も損害を受けたことを認めた

先週末二千二百噸の驅逐艦ラフエイ號が沖繩沖で損傷を受けてシアトルのエリオット・ベイに入港した、同號は日本軍特攻機六機の體當り攻撃を受けたのである、これに修理を加へて再び戦線に送り返すためには數千時間の労働時間が必要である、エリオット・ベイにはこの他にも修理ドックが收容しきれない多くの破損艦艇が順番の來るのを待つてゐる、かくて修理事業に最大の優先権が與へられるに至つた、造船所の一係員はかかる状況の下にも拘らず、造船工が相次いで離業してゆくのを眺め「これでは修理だけで手一杯で、新規の驅逐艦建造のごときは中止する他あるまい」と長嘆息してゐる」

#### △労働者の攻勢

米國労働界を支配する不安は一方では労働組合の積極的な活動となつて現はれてゐる、既に産業別組織會議のフィリップ・マレーは大統領に對して労働者の基本賃銀一率二〇%の引上げ要求を行

つてゐるが、マレーがこのとき賃銀引上げ要求の理由として掲げたところは、産業再轉換の過渡期における米國労働階級の主張を代辯してゐると思はれるから、いまその要旨を左に紹介しよう

「軍需生産の削減が愈々開始されるに及んで、時間外労働に對する割増賃金の支拂ひのごときは多くの工場では既に過去のものとなつてしまつた、さらに労働者の多くは軍需生産の削減によつて民需産業に復歸してゆくが、民需産業の賃銀は軍需産業に比較すればはるかに低く、労働者の受取る俸給袋は一層輕くなつてゆくだらう、労働者の實収入が恐るべく減少するのを防ぐ唯一の方法は賃銀の率を全面的に引上げるにある、以上の事實をたとへ考慮しなくても労働階級は賃銀の引上げを要求する當然の權利を持つてゐる、生計費の昂騰と生産力の増加とがこれである、賃銀率二〇%引上げ要求の根據をなすのがこれであり、即ち生計費の昂騰を相殺するために一〇%生産力の向上を理由として一〇%の引上げを要求する」

#### △物價の昂騰

マレーは賃銀引上げの理由として生計費の昂騰をあげてゐるが、物價の騰勢が最近相當急激な上昇線を描き出してゐることは争はれぬ事實である、労働省の統計局が發表する生計費指數並びに物價は、政府の労働政策を辯護する立場から算出されるので相當眉唾ものであり、特に労働階級からは全くの欺瞞的數字として常に攻撃の對象となつてゐるものだが、この労働省の發表さへ最近は物價の騰勢が特に顯著となつた事を認めるに至つてゐる、物價に關する労働省からの最近の發表は去る六月二十四日に行はれたがその要點は次の通り

- 一、本年五月十五日現在に於ける生計費指數は一九三三・三九年平均に對して百二十五を示したが、之は本年に入つてからの最高記録であり、またルーズヴェルトが物價停止令を發した一九四三年五月の水準に比較すれば二・三%の上昇である

- 一、五月五日をもつて終つた一ヶ月間に生活必需品は〇・七%上昇したが、これは食糧なかんづく青果物、野菜類の値上りの結果である、即ち食糧小賣値は先月に比し平均一・六%昂騰した

一、衣類の値上りは〇・三%だったが、これは一ヶ月の値上りとしては一九四三年五月以來の最高記録である

### △食糧不足

労働者の報告は物價高の最大原因を食糧の値上りにおいてゐるが、この食糧價格の騰貴を招來した食糧不足は歐洲戰終了後の米國に現はれた現象のうち特に興味深いものだ、右労働者の報告も食糧不足の一例として

食肉類の不足は全國的である、全國の肉類小賣商のうち大體七〇%までが賣るべき牛肉なく、また豚肉のない店は八〇%以上上つてゐる、その他肉類の供給も不足勝ちである

と報告してゐるが、最近米國を襲つた食糧不足はその深刻の度において開戦以來最大のものらしい米國の食糧不足に關し最近傳へられた主な報道を拾ひあげただけでも

一、戰時食糧局長官ジョーンズは民需方面における食糧の緊急事態緩和のため六月二十三日、突如軍隊に對する食糧割當額の大巾削減を發表

一、食糧不足の最も深刻な東部十三州の知事は六月二十一日からニューヨークで食糧對策を練るため緊急會議を開催したが、主催者のニューヨーク州知事デュウイは「食糧問題こそ米國の直面する刻下の重大問題である」と言明

一、デトロイト市ブリツグス車輛工場従業員は重労働者に對する食肉割當額の不足に抗議して六月二十三日から罷業開始

一、下院は六月二十三日食肉不足緩和の非常手段として物價管理法延長法案に、聯邦機關による検査を經ない肉類をも州際的に販賣を許可するといふ緊急修正案を附加

一、陸軍長官スチムソンは六月二十五日、食糧輸送のために陸軍の小型貨物自動車一萬臺、中型自動車二萬臺を臨時動員する旨發表

一、七月一日農務長官に就任したクリントン・アングダーソンは、かれの最初の仕事は食糧問題の解決にありと言明して、緊急食糧對策を發表

等々に上るが、更に六月二十四日の「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙によつて深刻な食糧不足の状態を知らる

### △蛋白質から澱粉へ

「本紙が全米にわたつて調査したところによると最近の食糧不足の結果、一般米國民の攝取する栄養分の内容が急激に變化しつつあり、蛋白質（肉類）の不足を償ふために澱粉類が多量にとられるに至つた、たとへば人口百萬の中西部の都市クリヴランドでは、卵が手に入らないためパンケーキの粉が大量に使用されてゐる、また東部の海港ボストンでは豚の肉附骨さへ入手困難な結果、市民はその代價を魚肉に求め、魚類の消費高は實に五倍にも増加した、フライデルフイア市では市民は肉類の代りに米を食つてゐる、人口二百萬に近い鐵鋼都市ピッツバーグでは肉類は勿論魚肉でさへ殆ど手に入らぬので市民は肉や魚の代りに豆類と一緒にチリー産のコン・カルネを食べてゐる

調査の結論は、たとへ今直ちに食糧割當制を廢止したところで、米國民の食膳には何等の變化をも與へないだらうといふことであつた、何故なら刻下の問題は食糧の割當額ではなくて、食糧販賣店が果して十分な食糧を賣ることができるか否かにあるからだ」

かかる食糧不足の原因は何であるか、戰時動員局長官ヴァインソンは六月三十日大統領並びに議會に送つた報告のうちで、食糧不足の原因として

一、開戦以來毎年新記録を示してゐた食糧の生産高が今年に入つて初めて減産に轉じたこと  
二、軍の食糧需要が依然として増加してゐること  
三、歐洲に對する救濟食糧供給額が急速に増加してゐること

の三點をあげたが、前述のニューヨークで開かれた東部十三州知事會議の結論は、食糧不足の原因を専ら輸送、配給の不圓滑に歸してゐる、以上は勿論、今回の食糧不足の重要な原因であらう、然しながらこの食糧不足といひ或ひは最近の物價騰貴といひ、これらの現象が歐洲戰の終了と踵を接して現れて來たところに重大な意味を認むべきだ  
第一次大戰の教訓に待つまでもなく、國內戰線の崩壞は戰爭中よりも寧ろ戰後に於て起り易い國內的に戰後問題を抱へつつ太平洋戰を續行しなければならぬ米國の苦惱がここにある、米國は國內と太平洋とで依然兩面作戰を餘儀なくされてゐる



昭和二十年 七月二十日(金)  
第三 四 八 八 號

# 同盟通信 海外電報

(166)

フランコ將軍のスペイン王政復歸論は、海外のスペイン反ファシスト分子に甚だ不評である、就中ロンドンには共和派と亡命政客をもつて組織した自由スペイン委員会(フンタ・エス・パニョーラ・デ・リベラ)があるが、フランコ聲明の入電とともに俄然反對の言論戦を展開した、この連中にはせると、フランコ政府が先に「スペイン人権法」(フェエロ・デ・ロス・エスパニョーレス)を議會に提出し、その議決をみた時から、その眞意に對して疑惑の眼を向けてゐたが、今やその正體が暴露されたとしてゐる、そのいふところによれば、所謂人権法は今まで散々に制壓を加へてゐたものを、戦局の終焉を理由に解除して、民主主義的制度に移行するといふのであるが、これは米英兩國を睨んでのマヌーヴァに過ぎぬとする、フランコ統領の王政復歸論も同一轍で、意中の候補者を王位に据ゑて、自己の政權を恒久化しようとするもので、手の中は見えずいてゐるとする、反フランコ派の一人、ホセ・イグナス・デ・リサソの言



明として、ロンドン電が報じてゐるところによれば、「フランコ將軍が引き際見苦しく今なほ更生の小策を弄するとは人道に對する侮辱だ」とさへ極言してゐる

フランコ聲明の不評なのは、唯に共和派亡命政客群の間だけではない、凡そそれとは對蹠的な存在である王統派の亡命政客もあるが、この一群の意向として、ロンドンUP電が報ずる所によると第一に彼等は王政の復活は希望するが、それはあくまでフランコ將軍とは關係のない別個のものであることを要し、第二にフランコ將軍の演説振りに徴すると、王政復歸は今直ぐのことではなく、相當遠い將來のことらしいから、これを當にしてはをれぬといふ點でフランコ聲明に反對らしい

ここにスペイン王政賛成といひ、反對といひ、亡命政客の横議もさること乍ら、問題は實は聯合國、就中英やソ聯がどう動くかである、フランコ統領もまた之等の國の反響如何を見るためにバロン・デッセを揚げたと見られよう

## ヴァインソン正式任命

(リスボン十八日發)ワシントン來電 大統領ルーマンは十七日戰時動員局長官フレッド・ヴィンソンをヘンリー・モーゲンソウの後任として財務長官に正式任命した、正式任命はルーマンの三頭會談から本國歸還後に行はれる筈であつたがモーゲンソウの要請により任命の時期が繰り上げられたものである

## 【目次】

スペイン王政復歸を闡明	二〇五四
フランコ聲明不評	〃
白上院も可決	〃
ド・ゴールの訪米確定	〃
個別的折衝續く	〃
タンジール會談延期	〃
英、居坐りを決意	二〇五五
ベルギーの政治危機遂に爆發	〃
占領地言論對策を發表	〃
ナチ黨員七萬五千を逮捕	〃
第一次三頭會談	二〇五六
米英首腦協議繼續	〃
國民黨獨裁不評	〃
蔣、物資援助を哀訴	〃
「解放國」への食糧供給停止	〃
對ソ借款を發表	二〇五七
ローリス・フリストツド轉出	〃
第四軍司令官にバツチ	〃
失業激増	〃
罷業防止三政策を提唱	〃
太平洋の米國艦艇	二〇五八
米國戰時動員局長官報告	二〇五九

## スナイダー戰時動員局長官へ

(リスボン十八日發)ワシントン來電 財務長官に任命されたフレッド・ヴィンソンの後任としてジョン・スナイダーが戰時動員局長官に任命された旨十七日發表された、スナイダーは本年四十九歳、政府に關係する以前は銀行家として活躍したルーマンとは二十五年に亘つて交友の間柄にある

## スペイン王政復歸を闡明

(リスボン十八日發) マドリド來電によれば、内外政策の重大修正を企圖してゐたフランコ統領は、十七日遂に王政の復歸を闡明したといはれる。同日朝フランコ統領は國民會議々長ビルバオ並びに官房長代理ルイス・カレ・フランコ大佐の訪問をうけ、午前中鳩首協議を遂げたが、更に同日夜開催されたフアランへ黨全國評議會に臨み

スペインは近く王政復興を見ることにならう、スペインにとつて王政が唯一の政體であることは歴史の示すところであり、従つて余は適當な時期に國民會議が王政復興法を審議し、スペイン國民がこれを承認することを望む、我々スペイン人は、強力にして且つ柔軟性に富まなければならず、またフアランへ運動の精神および進歩の精神を保證しなくてはならない

旨言明したといはれる、フランコ統領は以上のほか、一般に豫想されてゐた内閣の改造並びに政治機構の改變については全然觸れなかつた

## フランコ聲明不評

(リスボン十八日發) スペインのフランコ統領が十七日、フアランへ黨全國評議會年次大會において、同國の王政復歸に關し述べたことは、國外反フランコ分子に相當の衝動を與へたもののやうで十八日ロンドンUP電は、同地亡命スペイン共和派より成る自由スペイン委員會幹部が、フランコ將軍の王政復歸論は單に保身の術に過ぎぬとして次の通り述べたと報じてゐる

フランコ將軍は共和派分子を全く無視し、王政復歸にしても國民投票を用ひずり意向らしいが、フアランへ黨の體制を修正して聯合國の仲間入りしようとする希望とともに自己の地位を固めようとの術策であるから斷乎反對せざるを得ない

## 白上院も可決

(リスボン十八日發) ブリュツセル來電ニベルギー下院は十七日上下兩院が國王レオポルドの退位問題を討議決定するまで國王の權能行使を停止すべきことを決議したが、上院も八日右決議を七十七票對五十八票で可決した

## ド・ゴールの訪米確定

(リスボン十八日發) ワシントン來電ニ米國務省當局は十七日三頭會談の終る直後ド・ゴールが米國を訪問する件につき米佛兩國間に意見の一致を見るに至つたとの報道を確認した

## 個別折衝續く

(ストツクホルム十八日發) ベルリン諸情報を綜合するに米英ソ三頭會談は十七日の第一次三國首相會談を皮切りに各國代表間に頻繁な折衝が行はれてゐる模様である、但し第一次會談に關する公表も示す通り、先づ三國外相會談において三頭會談の準備工作を進めることになつてゐるから、英イデン、米バインズ、ソ聯モロトフ三外相間の打合せ如何に會談の進展がかかつてゐるやうである他方外相間の準備工作と併行して、三國首腦の個別會談も行はれ、先づ米大統領トルーマンは陸海軍隨員代將ハリー・ヴォーガン、海軍大佐ゼームス・ヴァーグマン等を帶同して十八日正午英首相チャーチルを訪問し、午餐を共にしつつ協議した終つてトルーマンも國務長官バインズを伴ひスタリリン議長を訪ね、米ソ第二次會談を行ふはずである

## タンジール會談延期

(リスボン十八日發) タンジールの國際管理に關する米英佛三國會談は、七月上旬開催を豫定されてゐたにも拘らず、突然ソ聯が参加要求を出したためいまだに開かれるに至つてゐないが、ロンドン來電によれば右會談は八月まで延期されることになつたといはれる、ソ聯の参加問題は三頭會談において協議される豫定だといはれるが、ロイタ外交記者の報道によれば英國政府は未だこの問題については決定を下してをらず、目下關係當局で頻りにソ聯の要求に検討を加へてゐる程度だと傳へられる、但し米英佛三國ではソ聯の参加問題とは別個にタンジール問題について着々準備を進めてゐる様子で、タンジール駐在英國代表ビークは過般來専門家數名と共にパリを訪問してゐたが既にロンドンに歸還し、十八日タンジールに乘込んだといはれ、またタンジール駐在米國代表ヴィラードもビークと同道してゐる様子だ

【歐洲】

英、居坐りを決意

—チャーチル武力防衛を保證—

(チュートリツヒ十四日發)延着)ギリシヤを繞る國境紛争は漸次深刻化し、ギリシヤ、アルバニア、ユーゴスラヴィア、ブルガリアの各國は夫々軍隊を國境地區に集結するといふ情勢にあり、これがため今冬引揚げ豫定の英軍はそのまま居坐るのではないかと傳へられてゐるが、フランス通信社の「アテネ電が報ずるところによれば、ギリシヤ紙「エンボス」は左の通り報じてゐるといはれる

「チャーチル首相はギリシヤの攝政府に對しギリシヤの權利が侵されるやうなことはないから心配しなくてもよい旨保證し、既に裝備優秀な英軍はギリシヤの北部國境に沿つて配置につき、ギリシヤ領土の完整擁護に當つてゐる」

ベルギーの政治危機遂に爆發

(リスボン十七日發)ヴァン・アツケル内閣におけるカトリック民主黨閣員の連袂辭職に續く下院の反レオポルド的票決により、長い間内政したまま燻つてゐたベルギーの政情不安はつひに爆發、政府及び議會と國王の抗争は重大かつ公然たる形をとるに至つた、十七日下院が可決した政府提出の法案は要するに國會が同意するまでは國王の復位を禁止することであり、結局は國王に對する復位要求と直結するもので、國會のレオポルド反對態度は明瞭な事實となつた、これに對しカトリック民主黨を支柱とするレオポルド派も最後の反撃を企圖し、ブリュッセル來電によれば國王レオポルドは攝政シヤルルに親書を送り國民投票による復位問題の決定を要求したといはれる、親書の内容次の通り

余が歸國の意思を表明した際、余は國會の一部よりする復位要求に直面するに至つた、勿論余は國民の反對を押し切つてまで歸國を強行する意思はないが、余の入手した情報で判斷する限り、國民が余の復位を希望してゐることは明瞭である、余を復位せしめるも、また復位せしめるも國民の意の儘である、余は茲に國民投票に

よつて余の地位を決定することを要求する以上、對しアツケル政府は國王の親書を公開すると同時に、國民投票の實施要求を一蹴して

政府は國王の地位を國民投票乃至は總選舉によつて決定することを立憲議會制に明白に違背するものと考へる、國王が退位するかしないかを自己の單獨の意思によつて決定する權利もまた全くない

と聲明、國會の決定によつて一氣に國王を抹殺する態度を明かにしたと傳へられ、國王對議會の最後の正面切つた決闘はもはや不可避の局面に突入するに至つた

【ドイツ管理】

占領地言論對策を發表

(リスボン十七日發)ワシントン來電)米國陸軍次官バターソンは十二日の記者團會見でドイツ占領地における米國側の言論對策について次の通り言明した

「ドイツ國民の思想の立て直しを行ふため米國側は占領地で米國の理想に叶ふやうな新聞の發行を計畫中で、フランクフルト、ハイデルベルグ、ハンブルグ、ミュンヘン、アウグスブルグ、インスブルック、ザルツブルグ、ランス等の都市では既にドイツ並びにオーストリア人のための週刊紙が發行され部數も四百萬以上に達してゐる、これらの新聞は今後ドイツ人の手に移讓され、占領軍當局がこれを監督することになる筈だ、既にドイツ人に移讓された新聞はアーヘンで發行されてゐる「アーヘナー・ナハリヒテン」紙だ、占領軍當局は新聞紙以外の印刷物、ラジオ、音樂會、歌劇、映畫等をも管理、監督することになつてゐる」

ナチ黨員七萬五千を逮捕

(チュートリツヒ十六日發)エキスチェンジ通信社のミュンヘン電によれば、米軍は既にその占領地域内においてバウリアの有力實業家、銀行家百名を含むナチ黨員七萬五千名を逮捕したといはれる特に一九三三年ナチが政權を把握する以前にナチ黨に参加したミュンヘンの官吏は悉く逮捕され、既に數千名のナチ黨員はカールスルーエ、ニュルンベルグの強制労働部隊に入れられてゐる

## 【三頭會談】

### 第一次三頭會談

(ストツクホルム十七日發) ポツダム來電によれば、米英ソ三頭會談は十七日トルーマン・スターリン會談後、午後三時(中欧標準時)より一時間半に亘り行はれた、會談後の公表によれば、第一次會談は三國政府首脳により決定を要する事項につき豫備的な意見の交換が行はれたもので、更に三首腦の検討に附する材料を準備するため三國外相會談を行ふことに決定した、なほスターリン議長及びチャーチル首相の發議に基き、三頭會談はすべてトルーマン大統領が議長を務めることとなつた

### 米英首腦協議繼續

(ストツクホルム十七日發) モスクワ放送局は十七日、三頭會談の開始につき放送した後、三國首腦の決定を要する問題については、豫備的な意見の交換が行はれたし、また會談の準備工作としては三國外相の會見を行ふに決したと報じた

(リスボン十七日發) ベルリン來電によれば、米英首腦協議は十六日のトルーマン・チャーチル會談に引續き、同夜はチャーチル首相と米參謀總長ジョージ・マーシャルとの間に行はれ、さらに十七日はチャーチル首相が米陸軍長官スチムソンと午餐をともしつつ協議した

## 【重慶】

### 國民黨獨裁不評

(リスボン十七日發) 英國の「オブザーヴァ」紙は十五日の紙上、重慶國民黨政權の獨裁的色彩について相當辛辣な批判を加へ、大要次の通り述べてゐる

「世間では國共問題が評判だがそれより深刻なのは國民參政會を繞る憲法問題だ、進歩的な政治家知識分子は固り實業層までが國民參政會にホイコツトしてゐる、問題は國民黨の一黨專政を續けさせるか否かである、全國代表大會に出席すべき代

表は國民黨から七年前に指名されたもので、かかる機關に憲法草案の議決を任せることは出来ぬとするのが民主主義派の主張である、従つて全國代表大會の召集は平和確立まで延期し、改めて大會代表の選舉をやつたらうで開催すべきだとする、延安以下民主主義派が國民參政會に寄りつかぬのは、名目上各派一致の議決で國民の意思に反してその將來を縛るやうな結果を避けるためである、然し重慶政權背後の反動勢力は根強いやうだ」

### 蔣、物資援助を哀訴

(リスボン十七日發) バルチモア來電によれば十三日の「バルチモア・サン」紙は重慶特派員ワトソンの蔣介石との會見談を載せてゐるが、蔣は抗日戰遂行の名において聯合國の物資援助を至急積極化するやう繰返し要求し、言外に重慶の戰時物資調達難を暴露してゐる、ワトソンの特電内容つぎの通り

「蔣介石は「聯合國の重慶に對する軍事的外交的援助を多としつつも、經濟的援助こそ焦眉緊要の問題であり、しかも、來年といはず今年中に必要だ」と述べ、さらに「民力こそ兵力徵募の源泉であるから物資供給は唯に軍隊に對してばかりでなく一般人民に對しても必要である」と語つた、蔣が武器援助として數へたうちには、資材運搬用トラック、豫備部分品並びに修理用材、各種軍需品製造用機械も含まれてゐた」

## 【米國】

### 「解放國」への食糧供給停止

(リスボン十七日發) ワシントン來電に陸軍省は十二日次の通り發表した

米國陸軍は來る九月一日以降イタリア並びに歐洲解放國民衆に對する食糧の供給を停止する、現在陸軍が食糧を供給してゐる國はベルギー、オランダ、ノルウエー、デンマークであるが、バルカンとフランスへの陸軍の食糧輸送はそれぞれ五月と四月に既に停止してゐる、陸軍は過去二ヶ年間に歐洲諸國に對して七十萬に上る食糧を供給した

### 對ソ借款を發表

(リスボン十七日發)ワシントン來電「外國經濟院長クローリーは十七日輸出銀行融資限度擴張案を審議中の上院銀行委員會に臨み次の通り證言した」

米國は今後一年以内にソ聯に對し輸出入銀行を通じて七億弗から十億弗の借款を行ふこととなり、またフランスとの武器貸與協定は對日戦が終了次第全く終了すべく、従つて米國は本年十二月三十一日以後の對佛物資供給については何等の約束をも與へてゐない

因みに米國の對ソ借款については久しい以前から各種の噂が傳へられその額も五、六十億弗の巨額な借款にならうといはれてゐたが、クローリーの言明した借款がその一部をなすものであるか否かは明らかでない

### ロリス・ノースタツド轉出

(リスボン十七日發)ワシントン來電「第二十航空隊參謀長少將ロリス・ノースタツドは今回陸軍航空本部參謀長輔佐を兼務することとなつた

### 第四軍司令官にパツチ

(リスボン十七日發)ワシントン來電「陸軍省は十七日米第七軍司令官中將アレクサングダー・パツチが第四軍司令官に任命され、本國において太平洋戦のための將兵訓練に當る旨發表した

### 失業著激増

(モスクワ十七日發)ソ聯の著名經濟學者ルビンシュテインは最近の「戦争と勞働階級誌上で米國における勞働問題を次の通り論じてゐる」

今次大戦勃發以前の一九四〇年米國における失業業者数は九百萬に達してゐたが戦後における失業業者の数は尨大なものにならう、米國の失業問題は戦争繼續中の現在既に深刻なものがあつて失業者の数は加速度的に増加してゐる、即ち各種

軍需工場を始め造船所、自動車工場は既に無数の従業員を解雇してゐる、又復員する兵士は本國で職を見出せないといふ有様だ、實際問題としては歸還兵士は以前の職業に戻ることになつてゐるが、出征中に國內に居残つた人にその職を奪はれて復職が非常に困難になつてゐる、失業者が急激に増加してゐることは米國經濟の一つの大きな矛盾だ、ソ聯の民衆は異常な興味をもつて米國の失業問題を見守つてゐる、といふのはソ聯では失業といふ問題は既に遠い昔に解消されてをり、歸還兵士なども歸還後一ヶ月間には一定の職業を與へられることになつてゐるからだ

### 罷業防止三政策を提唱

(リスボン十七日發)ワシントン來電「勞働同盟會長ウイリアム・グリーンは十六日ラジオ放送を行ひ、罷業防止のため總同盟の要求する三政策を發表した、要旨次の通り

昨年中に米國で發生した勞働争議によつて失はれた時間の僅かに二十八パーセントが總同盟系勞働者の罷業によるものであつた、この事實こそ總同盟が戦争中は罷業を慎むといふ誓約を忠實に實行してゐる證據である、しかしながら、最近頻發し始めた勞働罷業は勞働階級の間における不安から發生したものであるとの事實をも無視し得ないのであつて、この不安は具體的にして悲しむべき原因に基づいてゐる、されば現状を是正し、勞働罷業を防止するために余は次の三政策の實施を提唱する

- 一、自由な團體契約制度を復活し、勞働者の賃金を引上げて昂騰した生計費を支辨し得るやうにする
- 一、最低賃金水準を一時間七十二仙に決定、税金支拂前の最低週給二十七弗を確保する
- 一、大統領トルーマンの提唱した失業保障制度を直ちに立法化する、これにより政府は各州に補償金を交附し、家族ある失業勞働者に對して二十六週間毎週二十五弗を下らない失業保険金を支拂ふ



## 太平洋の米國艦艇

最近東京を襲撃した米國の機動部隊はハルゼー麾下第三艦隊に屬する中將ジョン・マツケインの第二空母機動部隊だつた、今日日本の攻撃に参加してゐる戦艦や航空母艦がどんなものであるかは、今まで個別的に發表されてゐたが、關東地方に對する攻撃を機會として米國戰時情報局のサンフランシスコ放送はそれを總括して戦艦及び空母の主なものについて説明を加へてゐるので、次にそれを全文譯出してみよう

### △大型戦艦の數々

今度の本土攻撃に参加した機動部隊の中には、一九四二年十一月の北阿上陸作戦における参加艦艇と南太平洋における對日島傳ひ作戦の精銳とが數へられる、これら艦艇の戰闘記録の一部は昨年十月二十七日海軍省から發表された、そのうちには一九四四年六月十九日のマリアナ諸島における作戦の初期のものも含まれてゐる

東京攻撃における援護艦艇中最大とされてゐるのは、一九四二年に完成した四萬五千噸級戦艦「アイオワ」である、その他ニミッツ提督の發表した三艦、即ち「サウス・ダコタ」、「インディアナ」並びに「マサチューセツツ」はすべて三萬五千噸「インディアナ」級である、この三艦は一九四一年に建造された

「アイオワ」は故ルーズヴェルト大統領が一昨年テヘラン會談に際して乗つた艦だが、日本はこれを四回も沈めたことになつてゐた、昨年の初め頃同艦はパナマ運河を通過して太平洋に出で、エリス諸島のフナフチに到着してマーシャル諸島のクエゼリン環礁に對する水陸兩用作戦に参加することが出来た、その後「アイオワ」はニューギニヤ島のホランディア、マリアナ諸島、パラオ島、比島沖等の諸作戦に加はつた、昨年十月のレイテ島作戦においてはハルゼー艦隊の遊撃部隊に屬してゐた

「サウス・ダコタ」はマツケイン機動部隊の戦艦として有名である、この艦は一九四二年十月二十六日ガダルカナル島北方のサンタ・イサベル島沖の海戦において空母「エンタープライズ」を援護し日本軍の爆撃機並びに雷撃機〇〇機を撃墜した戦艦として知られてゐる、この作戦中「サウス・ダコタ」の砲塔には爆弾が命中して若干の破損を生じた上、艦長トマス・レイ・ガツチに負傷を與へ、それから三週間も経たない十一月十四日のガダルカナル島沖海戦では「サウス・ダコタ」は日本艦隊のサボ島沖に張りめぐらした良にとび込んで行つた、艦長ガツチの言葉によれば

我々は良にひつかかりたかつたのだ、日本軍はまさか我々がひつかからうとは思つてゐなかつた、せいぜい狐ぐらゐを掴まへるつもりだつたのだらうが、我々としては最初から良が軍艦を立派に掴まへるとは考へてゐなかつたから平氣だつた

のださうである、「サウス・ダコタ」は日本の巡洋艦が射程内に入る前に十六吋砲をぶつ放した、驅逐艦をも發見してこれを撃沈した、三日間の戰闘に「サウス・ダコタ」はその他の艦艇に損害を與へ、他の米軍艦に協力して日本の戦艦もしくは重巡を撃沈したやうなこともある、その後しばらく大西洋の任務についた後「サウス・ダコタ」は一九四三年末太平洋に歸り、ギルバート諸島の攻略に協力し、マーシャル諸島におけるクエゼリン島侵攻準備作戦にも参加してゐる

「インディアナ」及び「マサチューセツツ」は「サウス・ダコタ」の姉妹艦であり、同じく一九四四年の一月から二月にかけてのマーシャル諸島作戦に参加してゐる、この作戦に先立ち兩戦艦は一九四三年夏頃ニューギニヤ作戦の援護に當つたこともある、「インディアナ」が経験した最初の大作戦はギルバート攻略戦の援護だつた、この作戦は一九四三年十一月二十日のマキン、タラワ兩島の上陸に始まり、日本軍の強固な防衛陣地にたいする水陸兩用作戦としては最初のものである、「インディアナ」の砲手は最初の作戦で日本機〇機を撃墜した、「マサチューセツツ」は「ピツグ・マミ」<sup>1</sup>として知られ、太平洋戦に参加する前に北阿

上陸作戦の援護で戦火の洗禮を受けた、この時はカサブランカに基地を有するフランス艦隊が上陸妨害に出るのを防止する部隊の旗艦になつてゐるフランスの未完成艦「ジャン・パール」の長距離砲は陸上砲臺と協力して砲火を浴びせたが「マサチュセッツ」は「ジャン・パール」を大破し陸上砲臺を沈黙させた

### △新鋭正式空母

四隻の航空母艦はニミッツ提督自ら命名したもので、うち二隻が「エセツクス」級(「エセツクス」  
「レキシントン」)に屬し、各々航空機約百機を搭載する、他の二隻は一萬噸「インディペンデンス」級九隻のうちの「インディペンデンス」並びに、「サン・ジエイシント」の二隻である

「エセツクス」は今次大戦中米國海軍が建造した「エセツクス」級空母十四艦中の第一艦だ、一九四二年十二月に進水式を行ひ、その後太平洋に出撃して幾多の武功をたてた、功績のうちには日本機〇〇機以上撃破、艦船〇〇噸以上撃沈が數へられる、その戦闘記録はさながら太平洋戦史を形造るもので、アーカス、ウエーキ、トラツク、ラバウル、サイバン、小笠原諸島、比島、臺灣、カビエング等の作戦に悉く参加してゐる、特にギルバート諸島、マーシャル諸島、マリアナ諸島、パラオ諸島並びに比島の上陸作戦を援護してゐることが注目される

その姉妹艦「レキシントン」は二代目で、初代「レキシントン」は珊瑚海々戦に奮闘して撃沈された、同海戦後十六ヶ月を経た一九四三年秋に至つて二代目「レキシントン」が姿を現し、同年九月ギルバート諸島で最初の偉力を發揮した、その後ウエーキ島やマーシャル諸島の作戦に参加してゐる

「インディペンデンス」は同級八隻の空母と同じく、本來快速輕巡洋艦として設計された船體を改造したものだ、一九四三年八月十四日の就役で同年九月一日のマーカス島に對する空母攻撃において初めて作戦に参加した、その後ウエーキ、ラバウル並びにギルバート諸島の作戦に参加した  
姉妹艦「サン・ジエイシント」は一九四三年九

月に進水した、この艦は太平洋で喪失した巡洋艦「フーストン」を補充するために三千萬弗を募集するつもりで、テキサス州フーストンの住民が八千萬弗を集めた餘りの金で造られた、つまりこの時の基金で巡洋艦と空母の兩方が造られたわけである

### 米國戰時動員局長官報告

米國戰時動員並びに再轉換局長官フレッド・ヴインソンは去る六月三十日大統領トルーマン並びに次官に對し報告を提出したが、左はその要旨である

### △太平洋消耗戰

歐洲戰の終了により戰爭は一つの戦線に局限されるに至つたが、米國の直面する經濟問題は決して簡單になつたといふことは出来ない、即ち米國は日本撃破のための計畫を樹て生産を進めてゐる一方、歐洲再建を計畫し、これに要する生産を行はねばならず、さらにまた國內的には平和の賓客として不景氣が米國を訪れることを防ぐために、戰爭から平和に至る過渡期の對策も樹てなければならぬのである

太平洋にある米國軍は驚くべき消耗を餘議なくされてゐる、米國は彼らに對して歐洲戰以上に多くの彈藥や爆彈を供給しなければならぬ、米國軍は日本に對しやがて一日に一萬噸の爆彈の雨を降らすやうになるだらう、對獨空爆戰が最も熾烈化したときに聯合國空軍がドイツに降下した爆彈量の二倍にも及ぶ量を日本に對して降下するやうにならう、太平洋における戦ひは實に熾烈を極め例へば大砲の彈藥だけでも歐洲戰よりははるかに多くの量が費消され、沖繩作戦では實に三百萬發の砲彈が發射された

軍需生産の削減は今日までのところではあまり大きなものでなかつた、しかしながら一度歐洲にある軍需品の貯藏分が太平洋の前線に大量に動き

始め、軍需品輸送の「パイプライン」が満たされ  
た曉には、民需生産は急速に増加する事とならう

### △再轉換準備

再轉換の準備を十分整へるためには議會は是非  
ともこれに必要な法律を作成しなければならぬ  
特に適當な失業保障法は再轉換のための最も重要  
な法律といふべきだらう

一九四〇年以來陸海軍を始め海事委員會その他  
戰爭關係の政府機關が軍需品購入のために支拂つ  
た額は、既に二千億弗を突破するに至つた、かか  
る巨額の購入が行はれた當然の結果として、武器  
原料物資、船舶、工場その他多くの物資の大量な  
餘剰が生ずるのは當然である、これらの餘剰物資  
を如何に且つ何時處分するかといふことは、米國  
の再轉換工作の遲速及び秩序に直接の影響を與へ  
るのであり、さらに國內經濟の重要な部門に永續  
的な影響を與へよう、餘剰物資處分のためには既  
に餘剰資産局が設けられてあるが、同局活動の指  
導方針のうち特に留意してゐる點は、海外にある  
餘剰物資の秩序ある處分によつて米國と諸外國と  
の經濟關係を相互に有利ならしめることである

余の前任者ジェームス・バインズは數ヶ月前、  
「歐洲戰終了後といへども物價、賃金統制並びに  
割當制は依然續行されよう」と言明したことがあ  
るが、この言明は今日において一層よく當てはま  
る言葉である、インフレ防止の最善の薬は民需品  
の供給を増加することであり、當局は民需不足品  
を軍需生産が許す範圍内において出来るだけ多く  
生産せんと努力してゐる

### △食糧不足

米國は目下由々しい食糧不足に直面してゐるが  
その主な原因としてはつぎの三つがあげられよう  
一、戰爭開始以來米國本年の食糧生産は始めて減  
少することとならう

二、食糧に對する軍の需要は依然増加してゐる、  
特に太平洋戦線における米國の補給戦が長大な  
結果、その長い「パイプライン」を満たすため  
に一層多くの食糧を必要とする

三、歐洲救済に要する食糧が急速に増加してゐる

歐洲に食糧を供給してゐる國は米國だけではな  
かつた、しかしながら米國は最大の食糧生産國で  
あり、従つて今後も歐洲に對する最大の補給國で  
なければならぬ、しかも米國陸軍當局は從來歐  
洲の民衆に行つてゐた食糧供給の責任を打切ら  
んとしをり、一方アンラの資金並びにその活動範  
圍も限られてをり、更にまた目下議會で審議され  
てゐる武器貸與豫算も戰爭關係の支出を認めるに  
すぎないので、聯合國占領諸國に對する米國の補  
給を賄ふに必要な資金の支出を認める法律が必要  
である

### △「今日から明日への橋」

米國の對外經濟政策の基調をなすものをあげれ  
ば次の通りとなる

一、米國は米國の消費者並びに商人が何らの差別  
待遇をまうけず、世界市場において自由に賣買  
する權利をもつことを欲する、これが實現され  
てこそ初めて世界各國の最も能率的な労働の分  
配が確保出来るのであり、ひいては米國民の生  
活水準の向上にも最大の利益を與へよう

二、米國は世界各國と協力して世界の平和並びに  
經濟的、財政的安定を促進せんと欲する、米國  
は不安定の海の中で獨り安定の島となり得ない  
のであり、同時に、世界も亦米國の繁榮と協力  
とがなくてはその安定を實現することは出来  
ない

三、米國は資本の國際的移動の自由を促進し、も  
つて米國の資本が米國にとつて最も生産的な方  
面に投資されることを欲する、之は決して「事  
前」政策でもなければ「物乞ひ」政策でもない  
これこそ相互に利益ある交易並びに協力を促進  
する最もよい政策なのである

### ジュノー代艦進水

(リスボン十六日發) サンフランシスコ來電に  
か  
ねて建造中の巡洋艦ジュノー(六千噸)は十五日  
ニュージャーシー州カーネーの造船所で進水した  
同艦は一九四二年十一月十三日ガダルカナル沖海  
戦で撃沈された同名の巡洋艦の代艦である



昭和二十年七月廿一日(土)  
第三四八九號

# 同人盟通信 海外電報

重慶と延安の對立は、愈々出でて愈々妙境に入りつつある、しかも延安は常に攻勢に出てゐる、民主的統合政權を樹立せよとの要求が第一彈、重慶これに否と應へれば、されば國民參政會には不出席と第二彈、重慶が今年十一月十二日、全國代表大會を召集して憲政時期に移行の手續をするといへば、延安はこの同じ日に別に中國解放區人民代表會議を開催するといつて第三彈、しかも第四彈、第五彈が用意されてゐるのではないか

渝延確執の核心は以黨治國の獨斷政治を改めて民主的立憲政治を布くか、その機關として國民黨政權を廢して民主的な各派統合政府を樹立するか、この民主的立憲政體を決定する憲法會議であるとする、重慶電によると目下國民參政會は委員三十名より成る特別委員會を任命して、國民大會の代表資格、大會の權限、議長の選任方法、議決手續等を審議させてゐる、國民參政會でこれを討議決定の上、愈々秋の全國代表大會に臨まうといふのである、然し中共の方からいへば、いくら國民參政會で



全國代表大會の權限とか、構成とかをいじくりまはして見たとて、瓢箪から駒が出て來るわけもなし、結局國民黨政權の御用議會になること必定だとしてゐる、然し重慶もなかなかのしたたか者、延安の嵐を柳の糸であしらつてゐる、延安は業を煮やして別個の統合協力政權を樹立する計畫だとの報もあるが、果して延安の第四彈か否か、中國の言葉に「老鴉天下一樣黒」といふのがある、老鴉とは鳥のこと、鳥の黒いのは北京も南京も變らぬ、天下到る所鳥は黒いといふのだ、重慶政權は國民參政會とか全國代表大會とか手を變へ品を變へて民主的粉飾工作をやつてゐるが、重慶鳥の本色は蔽ひ切れぬといふのが延安諸公の言分である、獨り延安派に限らず、重慶にある進歩派も同じ意見のやうだ、學生層等も多分に延安に同情的なやうである

### ストラトメヤー着任

(リスボン十九日發)重慶來電に在支米軍司令部は十八日中將ストラトメヤーが十六日重慶に到着して既に在支米軍航空隊司令官の職を執行してゐる旨發表した

ストラトメヤーは印度基地の聯合軍東方空軍司令官だつたが、東方空軍解體後在支米軍航空隊司令官に就任したもので、新航空隊には第十四航空隊と今度新たに印度から轉進した第十航空隊が含まれてゐる

### 【目次】

- ソ聯紙、米英の怠慢を攻撃……………二〇六二
- 主題はドイツ處理……………〃
- 勃、ポーランドを承認……………〃
- 魏道明警告……………〃
- フランコ聲明を一蹴……………〃
- 第二次三頭會談開く……………二〇六三
- 獨國民、會談を注視……………〃
- 獨國民參政會決議……………二〇六四
- 延安の協力政權案……………〃
- 重慶のインフレ益々深刻……………〃
- ソ聯モスール油田に觸手……………二〇六五
- 猶太人、ソ聯報道に反駁……………〃
- 人的資源七人委員會を提案……………〃
- シエンノートの辭任に疑惑……………〃

### 【資料】

- 米國海軍異動提督素描……………二〇六六
- ユダヤ教信奉者總數……………〃

(リスボン十九日發) ニューヨーク來電に「ニューヨーク・タイムズ」紙は十八日左の通り報じてゐる

米國ユダヤ委員會の算定によれば一九三九年歐洲でユダヤ教を信奉する者は總數八百九十三萬九千六百八名に上つてゐたといはれるが、以上の内現在歐洲(ソ聯を除く)に留まつてゐるのは約百二十五萬であり、これら無辜の民このうちには歐洲における最高度の文化人もゐるが、この運命については考慮を拂はなければならぬ

## ソ聯紙、米英の怠慢を攻撃

(モスクワ十九日發) 十八日附ソ聯の各新聞は三頭會談に關し「會談は十七日午後五時から開催された」といふ公式發表を簡單に掲載しただけで一切の論評を控へてゐるが、「プラウダ」紙は特に「三國會談とドイツ問題」と題する社説を掲げて米英占領地域におけるドイツ管理の怠慢振りを指摘、次の通り痛烈に非難してゐる

「ドイツの共同管理は極めて重要な問題であり、米英ソ三國間に統一政策を確立する必要は今日縷言を要しない、しかるに米英兩軍占領地域からの報道によれば、フアシズムを徹底的に拂拭するための措置はまだ全然實施されてゐないやうだ、米英兩國の新聞は最近盛んに統一管理の必要を力説してゐるが、一番重要な問題を忘れてゐる、それはドイツ帝國主義の軍事力を破壊し、フアシズムを一掃するための共同政策こそ早急に樹立されねばならぬといふことである、外國新聞の報道によれば米英兩軍の占領地域ではフアシストは依然武装を解除されずに、假面を被つて活動を續けてゐるといはれるが、米英兩軍政當局のかかる怠慢は斷じて許されない犯罪行爲だ」

## 主題はドイツ處理

(ストックホルム十九日發) 米英ソ三頭會談は十九日も引續き行はれ、外電の所謂「重要問題」の焦點が目下のところドイツ處理にある事が略々推測されるに至つた、即ち十八日のベルリン・UP電は「新聞檢閲最も嚴重」と悲鳴をあげつつも、「非公式情報によれば討議内容はドイツの十年乃至二十年占領方式である」と報じ、ロイター電も十九日「問題は特にドイツ將來の地位に係り、依然合同占領を續ける方式か或ひは事實上これを解體するか、乃至ドイツ國民の政治的統一體制を認めるか、等につき討議されてゐるやうだ」と報じてゐる、これらの問題は必然的にドイツ國民生活及び國力の基本であるドイツの産業を如何にするか、これを保持するか或ひは破壊するか等の基本問題にも觸れ、ソ聯の主張と米英の主張に相當の開きあり、解決必ずしも簡單ではないやうである

以上の外會談はまだ序幕に過ぎず、目下英イーデン、米バーンズ、ソ聯モロトフの三相折衝により議題の調整、討議の準備に當つてゐるから、三頭會談の進展も右推進體の工作と併行しよう、ロイター電は十九日の重要事實として、「トルーマン米大統領が同夜ベルリンの「臨時白聖館」においてチャーチル首相及びスターリン議長を晚餐に招くことになつてをり席上主要な決定が行はれるかも知れぬ」と報じてゐる

## 勃、ポーランドを承認

(リスボン十九日發) ロンドンからのロイター電がブルガリア通信社の報道として傳へるところによればブルガリア政府はポーランド統合政府を承認したといはれる

## 魏道明警告

(リスボン十九日發) ワシントン來電によれば重慶大使魏道明は十九日米國務長官代理グルーと會見した後、新聞記者團に對日戰の前途に對する世人の見透しにつき警告、軍事徹底遂行の要を強調した、最近米英宣傳網が日本々々土爆撃及び艦砲射撃を捉へて對日戰の有利を放送しつつあるため、一般に過當の前途樂觀氣分を誘致してゐるのに鑑み魏道明は日本の抗戰意力に對してはあくまで武力によるほかないことを指摘して、宣傳行き過ぎを修正したものともみられる

## フランコ聲明を一蹴

(リスボン十九日發) 王政復歸に關するフランコ統領の聲明は國外の王黨派、民主派からも不評を買つてゐるが、ローザンヌ來電によればアルフォンゾ十三世の第三子でスペインの王位繼承者と稱せられるドン・ホアンは十八日記者團に對し次の通り言明したといはれる

フランコ統領の手から余は王政を受理する意圖はない、若しさうすれば王位と共に現在スペインに困難な事態を惹起してゐるフランコ制度の遺産を引繼ぐことにならう

### 【三頭會談】

#### 第二次會談開く

(チューリッヒ十八日發) ポツダムからのUP電報によれば、十八日午後三國首腦の第二次會談が開催されたといはれる

#### 獨國民、會談を注視

(チューリッヒ十八日發) 十七日以来ポツダムで開催されてゐる三頭會談の最重要課題はドイツ管理方式の明確化とみられてゐるが、この問題が曖昧なため一番苦しんでゐるのは、ほかならぬドイツ國民だ、三頭會談の開催に伴ひベルリンに出張したロイター外交記者のシルヴェン・マンジョツトはドイツ國民の宙乗りした腰のすわらぬ状態を十八日次の通り傳へてゐる

「荒涼たる生活條件から暫しものを考へる餘裕を見出すことが出来たドイツ國民は、三頭會談においてドイツ管理方式について明確な發表が行はれ現在の模糊とした状態に終止符が打たれることを熱望してゐるやうだ、たとへばベルリンの一日刊新聞の編輯次長はかうした事態を次のやうな言葉で明かにしてゐる

ドイツ管理に關する米英ソ三國の決定は、政治經濟兩面のものでなければならぬ、我々は決してよいことと悪いことをはつきりと知りたいほどの程度までドイツ國民の政治經濟構造が許されるかを知つておきたい、このことがはつきりするまでは、我々は冬眠状態を続けねばなるまい、なぜならば何か事を始めても非合法の烙印を押されて、没收されるならば、積極的に事業を始めることが出来ぬからだ、ドイツ工業のどの部門が禁止されるかといふことについて規定した唯一のものは去る五月六日發布されたドイツ敗北に關する聯合國の宣言だが、それとても極めて漠然たるものでドイツ工業のどの部門にも適用されるやうな印象を與へてゐる

一般のベルリン市民はこれほどはつきりとは考へてゐないが、如何に局限された規模にせよドイツ再建に乗り出すべき基礎を明白にして貰ひたいと等しく希望してゐることは明かだ、他の地方は

どうであらうとも、ベルリンの政治的鼓動は再び緩かに響き始めてゐる、ソ聯軍政當局の許可を得て最近發表された四民主義政黨の共同聲明は單なるジェスチュアとして葬り去ることは出来ない以上の四政黨の領袖はベルリンにとつて、そしてドイツにとつて最も困難な時が將來に控へてゐることをよく知つてをり、この冬には國民大衆の苦惱と政治不安が激化することを覺悟してゐる、最も安易な道は拱手傍觀し、ただ聯合軍々政當局を非難することだ、併しながら彼らは聯合國の許す範圍で責任を負ふことこそ眞に國を愛する道だといふことに意を決したので、従つてポツダムにおける決定を一番熱心に待つてゐるのはドイツ國民だといふことがいへる」

### 【ドイツ管理】

#### 教育更新委員會を組織

(ストツクホルム十八日發) 「ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン」紙のベルリン特派員の報道によれば、ドイツ著名の科學者二十九名から成る「ドイツ高等教育更新委員會」が組織されたといはれる、委員長は一九二五年から三五年までカイザー・ウイルヘルム協會理事長の地位にあつたフリードリッヒ・グルム博士で「ヘラルド・トリビュン」紙特派員に對し同博士は右委員會の目的について次の通り言明したといはれる

國家社會主義はドイツの教育に恐るべき悪影響を及ぼしこれがためドイツ人と他の國民との平和的協力も不可能となり、ドイツ青年教育のよつて立つべき精神的基礎は打ち碎かれてしまつたのである、かくてドイツの教育を指導しドイツ人を健康な新態に復歸させると共にドイツの學問にたいする世界の尊敬を再び獲得し人類が直面する偉大な事業について各國民との協力を可能ならしめるためには、ドイツにおける高等教育制度を再建する必要がある、勿論生徒の選擇に當つては積極的に國家社會主義を奉じてゐたものは悉く除外しなければならず、また教官の任務は生徒の精神を變へ眞理愛に徹せしめることにある

## 國民參政會決議

(リスボン十八日發)重慶AP電によれば、國民參政會は十七日、(一)國際憲章即時批准案、(二)重慶、英、ソ聯、フランス四國軍事同盟締結案を可決した、右同盟案は期限二十年をもつて英ソ、佛ソ相互援助條約に倣ひ四國間に同盟條約を締結するやう重慶政權において交渉の火蓋を切るべきだとするもので、AP電の説明するところによれば、同盟案中に米國を除外したのは、かかる條約が米國の傳統政策に反することを考慮したものといはれる、國民參政會が突如豫想外の決議を行つた事情については、先般來延安代表以下進歩派分子の會議ポイコットにより一般の關心も冷却しつある事實に關して再度國民の注意を吸収し、また對日總反攻の呼號、その實なしとの非難に對して、重慶政權の發議による聯合國共同戰線を同盟關係にまで發展させようとの對内的瞞着手段に過ぎぬものと思はれる

## 延安の協力政權案

(リスボン十八日發)延安政權が重慶側の國民大會に對抗し、十一月十二日中國解放區人民代表會議を召集するため準備を進めつつあるとの報道は相當重慶當局を刺戟してゐる様子だが、十八日發UP重慶電によれば、延安政權は各派を糾合した協力政權樹立の計畫を有すると報ぜられ重慶に相當の反響を與へてゐる模様である、民主的な統一協力政權の結成はかねてからの延安側の主張で、國共關係破綻の因となつたものであるが、右報道が事實とすれば中共は最早重慶政權に見切りをつけて獨立協力政權を設立しようとするもので、渝決裂の状態を更に深刻とするものである唯延安よりの報道がないため真相不明であるが、UP電は重慶當局の態度を次の通り報じてゐる

延安が重慶とは別個に獨立協力政權樹立の計畫を準備してゐることだが、重慶政權としては精確な情報に接してをらず、従つて今日の新聞記者團會見でもスポークスマンは「公式態度は言明出來ぬし、共產黨が果して黨外分子を入

れてともに同席する意思があるか疑問だ」と述べた

## 重慶インフレ益々深刻

(リスボン十八日發)重慶政權治下地域の悪性インフレは抗戰八年に亘る經濟情勢の悪化に刺戟されて深刻化の一途を辿つてをり、さきに重慶政權スポークスマンは

重慶政權治下地域の物價は戰前の二千五百倍となつた

と述べたが、デトロイト來電によれば「デトロイト・フリー・プレス」紙は十四日の紙上にエドウィン・ラーイーなる者の重慶經濟觀察記を掲載してゐる、内容次の通り

## △紙幣毎月二十噸

「現在ヒマラヤ山脈を越えて空路重慶に送り込まれる紙幣は毎月二十噸と言ふ驚く數に達してゐる重慶のインフレを最初に體驗するのは印度のチャブアだ、このチャブアからヒマラヤ山脈を越えて毎月重慶に二十噸にのぼる支那通貨と通貨資材が空輸されて行くのだ、この紙幣は米國紙幣會社(アメリカン・バンクノート・コンパニー)が印刷してゐる、昆明に入る、それが最初の支那での余の着陸地だ、この陸軍基地の重慶財政部出張所は店を閉ぢてゐる、仕方がないので出迎への米國戰時情報局出張員から一萬五千弗を借用する、これだけあれば翌朝までは困るまいといふのである、昆明の店ではホワイト・レベル・ウイスキー一本が法幣十二萬弗、米國製齒揚子一本が二千五百弗人絹靴下が九千弗、米國製煉齒磨きが二千五百弗、一モリヅ化粧石鹼が千三百弗、髻剃り後に用ひる香粉が一個一千五百弗といふ譯だ、懷中時計は十七萬弗、萬年筆、シャープ鉛筆一揃ひ十一萬弗で余を迎へた友人が余に飲ませてくれた罐入りビール二杯(ジョッキ二杯弱)で二千弗だつた、昆明での米貨と法幣の換算率は米貨一弗に對し法幣千五百弗だ

それから二、三日後重慶に行くとき今日の相場は米貨一弗に對し法幣千八百弗だつた、とにかく換算率といふやうなものはいくらも統制外にありこの調

子だと近いうちに金銭といふものは意味がなくな  
るだらう

### △密輸入も「必要品」

金銭で労働者を働かすやうな時代は既にすぎ去り、米だとかその他の食糧品が賃金の代りになつてゐる、重慶の物價は昆明以上だ、余は米貨三十弗を法幣に替へたがこれがなんと五萬七千弗となつて返つてきた、安物の腕輪が一萬五千弗、ビール二罐三千五百弗といふ有様だ、重慶のインフレは理解出来ぬでもない、重慶は八年間に亘つて日本と戦つてをり、日本軍は支那の重要生産地域を握つてゐるのだ、しかもヒマラヤ山脈やビルマ公路を經由して輸送されて来る物資は戦争物資だけでも未だ不足してゐる状態なのだ、八年に亘る物資の缺乏の結果物價は必然的に昂騰し、物價統制などといふ手緩い方法では到底間に合はぬのだ、物價昂騰の壓力によつて政府は止むを得ず通貨を發行する、といふ譯だから事態は今や收拾出来ない混亂に陥つてゐるのだ、店に出てゐるやうな輸入品は米國人や支那人が戦前に重慶に貯へてあつた品物を盗み出して店に賣りつけたものや、日本軍の戦線を通つて密輸入されたもので、密輸入といふことは品物と同様に「必要品」なのだ

### 【西 亞】

#### ソ聯、モスール油田に觸手

(チュウリツヒ十八日發) フランス通信社のアンカラ電報によれば、トルコ外交界ではソ聯がイランの地方政治組織を使喚してアゼルバイジャン自治州を樹立せしめ、それをソヴェト聯邦アゼルバイジャン共和國に編入、モスール油田地帯に觸手を伸さうと意圖してゐるとの噂で持ち切りといはれるが、アンカラ駐在イラン公使館は十四日特に聲明を發表し、以上の噂を正式に否定したと傳へられる

#### 猶太人、ソ聯報道に反駁

(リスボン十八日發) ロンドン來電 十六日のモスクワ放送がパレスチナにおいて反動的ユダヤ人團體によりソ聯人が迫害乃至は歸國を阻止されて

ゐると報じたのに對し、十八日ロンドンにあるパレスチナ・ユダヤ人代表部は次の反駁聲明を發表した

ソ聯人送還の問題について協議するためパレスチナに到着したソ聯使節團は歸國を希望する者だけを送還すると語つてをり、又實際には約二百名の成年者と比較的少數の未成年者が歸國を望んでゐるだけでその他の者はパレスチナに居残ることを希望してゐる有様である

但し右聲明はソ聯人に對する迫害事件については一言も觸れてゐない

### 【米 國】

#### 人的資源七人委員會を提案

(リスボン十八日發) ワシントン來電 二カリフォルニア州選出下院議員ホリフィールドは對日戰に投入すべき米軍の人的資源問題調査に當る七人委員會の急速な設置を要請した、而して同人は右調査委員會が次の諸點を検討すべきことを提案してゐる

一、ドイツ人捕虜を太平洋戦域で労働に従事せしめる  
一、「解放國」の人的資源を太平洋方面の戦闘並びに補給部隊に編成する  
一、三十五歳以上の男子、三人以上の子供をもつ男子並に連續四ヶ年間勤務した男子の召集解除

#### シエンノート辭任に疑問

(リスボン十八日發) ワシントン來電 二米第十四航空隊司令官シエンノートはさきにその職を辭したが、ルイジアナ州選出上院議員エレンダーは十七日、上院軍事委員會に對しシエンノート辭任の経緯の調査を要求した、エレンダーはシエンノートの辭任が陸軍省側の不正行爲にあると次のやうに非難してゐる

シエンノートの辭任経緯は全く秘密にされてゐるが、かかる有能の士を失ふことは寔に残念だ陸軍省當局者は陸軍士官學校卒業者のみを登用する傾向にあるが、シエンノートは士官學校出身者でなく、この點に何か不正があるのではな  
いか、軍事委員會は直ちに同人の辭任の真相を發表すべきだ



米國海軍異動提督素描

十四日海軍長官フォレストルの發表した海軍首腦部の大異動は太平洋の作戰陣營に米國海軍の俊銳を悉く集めた感がある、しかしその中でも目立つのは第五十八機動部隊並びに第二空母機動部隊の司令官の更迭で、前司令官はいづれも中央の要職につき、新司令官また定評ある米海軍中の航空作戰専門家だ、合計二十九名といふ大異動のうち、左にその主なものを擧げて略歴を紹介する、姓名の直ぐつぎに書かれてゐるのが新任務である

一、少將ウォオルデン・リー・エインスワース Warden Lee Ainsworth 第五海軍區司令官兼ヴァージニア州ノーフォーク海軍作戰基地司令官一、九一〇年以來砲術専門士官となり、今次大戦においては艦隊司令官、機動部隊司令官を歴任ソロモン諸島クラ灣の諸作戰並びにグアム島奪回作戰に参加、その後太平洋方面巡洋艦驅逐艦司令官として今日に至る

一、少將ジョン・R・ペアドール John R Beardall 第十五海軍區司令官兼パナマ水域並に東南太平洋水域司令官一海軍武官として一九二六年より二八年までロンドンに駐在、パリ、ローマ、ハーグ、ベルリン等に在勤せることあり一九三六年より三九年まで海軍長官副官、一九四一年大統領海軍副官、一九四二年海軍兵學校長に就任

一、少將ウィリアム・ヘンリー・B・ブランディ William Henry Burnell Blandy 太平洋方面巡洋艦驅逐艦司令官一、九四一年海軍兵器局長となり特別殊勳章を授けらる、一九四五年二月バラオ諸島作戰における水陸兩用機動支隊司令官としての功績に對し二等殊勳章に代へ金星章を受く、硫黄島作戰でも機動支隊を指導

一、少將フランシス・C・デイーンブリック Francis Compton Denebrink 太平洋艦隊勤務一航海術並びに海軍兵器の専門家、比島總督ドワイ・デーヴィスの副官として極東に勤務、一

九四二年佛領モロッコの上陸作戰に参加、最近まで太平洋練習艦隊司令官たり

一、少將ルイス・E・デンスフィールド Louis E Densfield 海軍長官に報告、待命一開戦當時大西洋艦隊機動部隊參謀長兼副官たり、同部隊の編成に顯著なる功ありたるにより功勞章を授けらる、一九四二年海軍人事局次長としての勤務に對し二等功勞章に代り金星章を受く、最近まで艦支隊司令官たり

一、中將オーブレイ・W・フィッチ Aubrey W Fitch メアリランド州アナポリス海軍兵學校長兼セヴァン河海軍部隊司令官一、九〇六年海軍兵學校卒業後、アジア艦隊に三ヶ年勤務、前大戦當時砲術士官たり、一九二九年フロリダ州ペンサコーラにおいて、航空教育を受け、その後ヴァージニア州ゴーフオリの海軍航空隊に指揮將校として勤務、三六、三七兩年「レキシントン」副長、一九四二年南太平洋艦隊航空司令官となり、四四年ワシントンの海軍省に復歸してジョン・マツケーンに代り海軍作戰部航空專任次長となる

一、中將ロバート・C・ギツフヘン Robert Carlisle Giffen 大西洋補給司令官一、第一次大戦當時大西洋における艦隊護送に功あり海軍十字章を授けらる、二七年より二九年までアジア艦隊に勤務、一九四二年佛領モロッコの占領に機動部隊を指揮し特別殊勳章を授けらる、一九四三年マキン、タラワ作戰に援護射撃部隊を指揮して二等殊勳章を受く、一九四四年カリブ水域司令官當時中將に昇進

一、大將ヘンリー・ヒュウイット Henry Kent Hewitt 歐洲方面海軍總司令官一、一九四二年大西洋艦隊水陸兩用部隊司令官となり、ジョージ・S・パットン麾下陸軍部隊を北阿に上陸せしむ、ついで西北阿水域米國海軍部隊司令官に任ぜられ、シシリー島及びイタリアの上陸作戰に協力、サレルノ沖に聯合軍全艦艇を指揮す、南佛上陸に際しては上陸援護の衝に當り、歐洲戰終了と共に海軍における特殊任務のためワシントンに歸る

一、中將ジョン・H・フーズヴァー John Howard Hoover 太平洋艦隊副司令官兼太平洋方面軍副司令官一、第一次大戦におつては大西洋の戦鬪に参加して海軍十字章を授けらる、二八年に航空訓練を受け翌年海軍航空士となる、三十一年ま

で「レキシントン」の副長として勤務、三十二年カリフォルニア洲サンディエゴの海軍航空隊司令官となる、四一年少將に昇進、第十海軍區司令官としてサンフラン、プエルトリコの本部に職を執り、四二年には中將の階級をもつてカリブ海水域司令官に就任す、四三年以來は太平洋に轉戦して空母支隊司令官、中部太平洋航空司令官、中部太平洋前線司令官を歴任、勳章多數を有す

1、少將ハワード・F・キングマン Howard Fithian Kingman 太平洋艦隊勤務 三十四年白聖館海軍副官となる、三九年アジア艦隊驅逐艦隊を指揮、四一年海軍作戦部出任、四二年「ネヴァダ」艦長となり、四三年戦艦支隊司令官に任ぜらる

1、中將ジョン・S・マッケン John Sidney McCain 海軍長官に報告、待命(内閣に列する豫定) 第一次大戦以來の海軍將校、十年前五十一歳の老齡をもつて航空界に入り、パナマ運河地域艦隊航空基地司令官となる、米國の參戰と共に南太平洋艦隊並びに南太平洋方面軍航空司令官となり、四二年五月ソロモン諸島作戦に聯合軍全空軍を指揮せる勳功により特別殊勳章を授けらる、同年十月海軍航空局長に就任、四三年八月海軍作戦部航空専任次長に榮轉し、四四年夏新編第三艦隊に轉出するまで勤続す、その間一九四三年度に海軍航空兵力は三倍に増大せり、現在第二空母機動部隊司令官として本土東海岸一帯に連續強襲を加へつつあり

1、中將マーク・A・ミッチャー Marc Andrew Mitscher 海軍作戦部航空専任次長 海軍飛行將校として二十五年の經歷を有し、開戦當時は一九四二年四月の東京空襲に出動せる空母「ホーネット」の艦長たり、その後海軍哨戒航空隊司令官、南太平洋航空司令官等を歴任し、空母機動部隊司令官としてはギルバート諸島、マーシャル諸島、カロリン諸島、マリアナ諸島、比島等の諸作戦に活躍、第五十八機動部隊の名をもつて知られ、四四年六月の第一次比島沖海戦にも参加す、四四年十一月本國に歸還したるも間もなく再び補充増強せる第五十八機動部隊を

率ゐて太平洋に出動し、沖繩作戦に加はる、同作戦中坐乗旗艦は二回に亘り特攻隊攻撃のため大破す、特別殊勳章三個と金星章を有す

1、少將アルフレッド・E・モントゴメリー Alfred E. Montgomery 太平洋航空司令官 一九二二年海軍飛行將校となり、戰闘艦隊所屬航空隊に入る、二四年哨戒艦隊附屬航空隊雷撃隊長となり、二八年空母「ラングレー」の飛行長に轉任、翌年「サラトガ」の雷撃隊長になる、三〇年より三二年までワシントン州シアトルの海軍航空隊司令官を勤め、再び「ラングレー」に歸り、三四年コロンビア州アナコスシア地區海軍航空隊司令官に就任、その後航空局飛行部長として四〇年に至り「レインジャー」艦長となる、四一年六月大西洋艦隊參謀長兼副官となり、ついで大西洋空母艦隊參謀長兼副官に變る

四二年六月テキサス州コープス・クリスチの海軍航空隊に司令官となり、四三年六月以來は太平洋の任務について特別殊勳章を受け、中部太平洋地域の作戦における功により海軍十字章を授けらる、タラワ島航空攻撃では空母機動群を指揮し、四四年二月には日本軍の熾烈なる空中攻勢に耐へぬきたる勇氣に對し再び海軍十字章

四四年三月より六月までの作戦には空母機動群司令官としての功績により二等殊勳章に代り金星章を授けらる、最近まで西海岸艦隊航空隊司令官

1、中將ウィリアム・R・マンロー William Robert Munroe 第十海軍區司令官兼カリブ水域司令官 一九二二年より三〇年まで潜水艦勤務、三四年海軍次官副官となる、三七年海軍謀報部に入り、三九年次長に進む、四一年戦艦支隊指揮官に轉出、四四年第三海軍區司令官となり、四四年十一月中將に昇進して第四艦隊司令官に就任

1、少將ヴァン・H・ラグズデール Van Hubert Ragsdale カリフォルニア州アラメダ艦隊航空司令官兼西海岸艦隊航空隊司令官 一九二〇年以來海軍航空隊勤務、少將ハリイ・E・ヤーネルの副官、空母「サラトガ」戰闘隊指揮官「レインジャー」飛行長、カリフォルニア州オークランド海軍豫備航空基地勤務等を歴任、今次大戦に於ては、ギルバート、マーシャル兩諸島の

海空陸三面作戦に空母機動群を指揮す、その後アラメダ艦隊航空隊司令官として今日に至る

1、少将フランシス・W・ロックスウェル Francis Warren Rockswell 西海岸監督調査委員會首席委員 第一次大戦當時對潜艦作戦における功により海軍十字章を授けらる、四一年第十六海軍區司令官兼比島カビテ海軍工廠長となる、今次大戦においてはマニラ灣並びにバタイン半島防衛の功により陸海軍双方の表彰を受け、特に陸軍に關しては大統領より部隊感状を授けらる大西洋方面水陸兩用作戦練習部隊司令官たりしも、今回大西洋練習艦隊に吸收せられることとなり新任務につく

1、少将フレデリック・C・シャーマン Frederick Carl Sherman 快速空母機動部隊司令官 第一次大戦中潜水艦任務につき、一九三五年航空訓練を受けて空母「サラトガ」に勤務、當時の艦長ウイリアム・ハルゼーの下に副長となる四〇年「レキシントン」艦長となり、珊瑚海々戦にも参加、その後同海戦後半に「レキシントン」が撃沈せらるるやワシントンに歸り、聯合艦隊司令長官アーネスト・キング參謀副長になる、四二年機動部隊司令官として太平洋に歸り四三年末より四四年初期にかけてのほとんどすべての空母作戦に参加、今回ミッツチャーの本國歸還により第五十八機動部隊の指揮權を繼承す

1、中將シャール・A・タフィンダー Sherwood Ayerst Taffinder 第十四海軍區司令官 兼ハワイ水域司令官 海軍兵學校卒業後アジア艦隊に二年間勤務、一九二四年より二六年までペルー派遣海軍使節團に隨ひ、その間ペルー海軍を指揮す、四一年十二月には海軍作戦部に勤務しをりたるも、四二年ワシントン州ブレマートのピュジェット・サウンド海軍工廠の長官となる、四四年中將に昇進し、同十二月大西洋艦隊補給司令官に就任

1、中將ジョン・H・タムズ John Henry Towers 第二空母機動部隊司令官 一九一一年ニューヨーク州ハモット・スポーツにおいてグリーン・H・カーチスより航空教育を受け、最初の海軍飛行將校に任命されたる三名の中に數へら

る、海軍陸上機及び水上機の航空訓練並びに改良における先驅者たり、一九一二年アナポリス海軍航空隊の隊長となり同年十月六時間十分の水上機滞空新記録を樹立す、一九二七年米國最初の空母「ラングレー」の副長となり後同艦の艦長に昇進す、三一年「サラトガ」を旗艦とする航空戦闘部隊の參謀長、三九年には太平洋艦隊所屬航空隊司令官となりその後太平洋艦隊副司令官兼太平洋方面軍副司令官に就任して今日に至る、現第二空母機動部隊司令官ジョン・マツケーンは本土東海岸を南北に遊弋して連續猛襲を繰返してゐるが、この作戦が終了すれば直ちに更迭をみる筈である

### 農家助成実績報告

(リスボン十五日發) ワシントン來電 聯邦社會保險局は十一日、一九四三—四四會計年度における年報を發表したが、そのうちで農家に對する助成実績につき次の通り報告してゐる

1、保險局は一千二百八十名の歸還兵士に對し歸農助成金を支給したが、うち三六%に對しては自作農融資が行はれた、その他に對する助成金は種子、家畜、農具等購入費用としての融資であつた

1、保險局は中小農家に對してもその仕事を改善擴大し、收穫を増加し、家畜を増産せしむるための融資と指導とを與へた、特に力を注いだのは自作農の創設で、小作人、シェアクロツパイ農業労働者等で、保險局の援助により自作農となつたものは三萬六千四百二十六名に上つた

1、保險局は西部において灌漑設備及びその他の技術的援助の融資を行つた、この融資を受けた農家は一萬戸以上である

1、保險局はその指導下に農家再移住計畫を進めてゐるが、保險局所有の資産を農家に譲渡することにより従來政府所有の農場で低収入の生活を續けてゐた農家が漸次自作農となつてゐる



昭和二十年 七月廿三日(月)  
第三四九一號

# 同盟通信

## 海外電報

敵陣營では、殊に米國では、日本から媾和提議があつても斷つてしまへ、徹底的に叩いておかねば前大戰後のドイツの二の舞を演ずる、たとへ日本から和平提議があつても、それはアメリカの國論二分の日本側の謀略である、うつかりその手に乗つてべそをかくな、と國務省以下、新聞雜誌が和平の枯尾花に戦いて、怖氣を振つてゐるさまは一寸ない、何も日本はアメリカに和を乞はうなどと考へたことはない、このアメリカの周章ぶりは、己れの影に瘡せ細る蟹の嘆きでしかないがこれで見ると、重なる出血にアメリカが相當以上に苦慮してゐることがわかる、だから無條件降伏方式は修正しなくてはならぬといふ議論が飛出したり、怪しげなトルーマン方式なるものを、日本の空から降らしてゐるわけだ



とんだ愛嬌を世界の前にぶちまけてゐる有様である、國務省は躍氣になつて、繰返しくりかへし日本から和平提議などはない、アメリカの方針はどこまでも日本の無条件降伏だと聲明してゐるが、その足許から無条件降伏の條件を日本に提示しろ、それが戦争短期終結、出血節約の要諦だなどといふ議論が生れて、このところ米國の國內作戦指導は甚しい混乱ぶりである

然し、狡猾なアメリカのことで、案外に、國內のからした議論をそのまま更に逆を利用して、その「寛大」な無条件降伏條件を日本の空からばらまかないものでもない、アメリカ側のいひ分ではないが、日本の國論を二分するのがその目的である、今回の艦上機による日本々土連襲もその地均らしであるかも知れないのだ、われわれは敵アメリカの實體を掴んで、更にひと踏ん張り、最後の五分間を悔いなき戦ひを戦ふべき戦意をかかせる敵の謀略の中に汲み取らねばならぬ

### 【目次】

- ソ聯、ドイツ政策で米英と對立……………二〇七〇
- 會談には依然管制……………〃
- スペイン内閣改造近し……………二〇七一
- 西外相、米英大使と會談……………〃
- 宋子文報告に失望……………〃
- 【三頭會談】
- 英紙、秘密主義を攻撃……………二〇七二
- フランコ政權問題も主要議題……………〃
- 賠償問題も討議か……………〃
- 【歐 洲】
- ドイツ捕虜を酷便……………〃
- 佛諮問會議一般投票案否決……………二〇七三
- フランコ統領愈々孤立……………〃
- 【米 國】
- 米共産黨政策轉換……………二〇七四
- 下院二十八日から休會……………〃
- 國內戦線の危機……………〃
- 【重 慶】
- 國民大會延期か……………二〇七六
- 【西 亞】
- レバノン接收委員會設置……………〃
- 【特 輯】
- 桑港會議始末記(三・下)……………二〇七七
- ヴァレリー逝く
- (チューリツヒ二十日發)パリ來電「フランス文壇の長老として今世紀の詩壇評壇の最高峯に位したポール・ヴァレリーは二十日パリで長逝した、享年七十四、一九二五年以後佛翰林院會員でありマラルメ以後のフラン詩壇に純粹詩論を掲げて新紀元を劃した、著書の中「テスト氏」「ヴァリエテ」等特に著名である

## ソ聯、ドイツ政策で米英と對立

■ポツダム會談の難航を豫想

(ストツクホルム二十日發) 十八日の「ブラウダ」紙が明確に指摘してゐるやうに、ドイツ管理方式に關しソ聯と米英兩國との間には正面切つた對立が存在し、ポツダム會談における最大の課題は以上の對立を調整しドイツ管理方式に統一を齎すにあると解されるが、恐らく歐洲戰終了後米英ソ三國間に横はる最大難關とみられる以上の問題に關し、ロイター記者ジョン・キムチは十九日、會談の難航を豫想して次の見解を表明してゐる。「ソ聯はいまや假面を脱いでドイツ政策を明瞭に露呈した、それはライン河からオーデル河に至るドイツ國家の政治的統一をあくまでも維持することとあり、ポツダム會談における三國首腦間の最初の圍ひは主としてこの問題を中心に勃發するものとみられてゐる、以上のソ聯の政策を明瞭に反映するものは、ドイツ國家の本質的統一を政綱とするドイツ共產黨の新政策だが、これと同時にモスクワ放送は「新時代」誌(舊名「戰爭と勞働階級」)の社説を放送し、同誌の主張するドイツ政策の三命題なるものを紹介し、ポツダム會談における米英兩國首腦の承認を要求した、ソ聯の主張する三命題とは

一、組織的な賠償政策、即ちドイツ工業施設をソ聯その他の要求國に移轉することにより、ドイツの工業力を徹底的に破壊すること

一、ドイツ國家及びドイツ國民を政治的統一體として維持すること

一、ヒトラー主義を社會的地盤としないドイツ國民の階層と協力すること

である、以上のソ聯の對獨三基本政策は實踐においては自由な解釋を許されてゐるやうで、ベルリンに既に存在する各政黨はいづれもドイツ全國民の代表とならうと努めてをり、特に基督教民主黨の如きはカトリック教徒を主體とする極めて保守的な傾向を帯びてゐるが、同政黨はパウリア、ライン地方のカトリック教地域において統一的ドイツ國家の實現を期して猛烈な政治活動を展開してゐると傳へられてゐる、以上のソ聯のドイツ政策

に對して米英兩國のドイツ政策は銳角的な對照を示してゐる、即ち米國は、ドイツに國家的統一を實現することは新たな侵略行動の基礎を與へるものだとして反對してをり、ソ聯案と結び付くモーゲンソーのドイツ工業力完全破壊案も撤回され、現在では軍需工業力は剝奪すべきだが、非軍需工業は破壊すべきでなく、監督を加へて維持すべきだといふ説を探るに至つてゐる、英國の見解はソ聯の政策よりも寧ろ米國案に傾いてゐるやうでドイツ社會の維持に必要な工業力の強制破壊に對しては強硬に反對すると同時に、ドイツに新たな侵略行動を許さぬやうにドイツ國家の分割説を支持してゐると解される

孰れにしてもポツダム會談は以上の明確に對立する兩政策に統一を齎す爲に開催されたものが問題の重要性を語るならば、三國首腦の前に如何に巨大な難關が横はつてゐるかが判然としよう

### 會談には依然管制

(ストツクホルム二十日發) 米英ソ三頭會談に關するベルリン電報は十九日も會談が開催された模様と報するだけで内容不明、殆んど窺知出來ぬため、米國新聞筋は特に甚だ不滿なる旨を表明してゐる、UP電によれば「フライデルフイア・インクアイアラー」紙の如き「三頭情報に最嚴重の燈火管制布かる」と酷評し、「會談は何れ多岐に亘らうが歐洲饑餓對策についてまで公式沈黙を守られねばならぬとは諒解に苦しむ、滑稽の極みだ」とまで皮肉つてゐる、UP電も桑港會議式公開主義とポツダム式嚴秘主義の對蹠的相異を如何に説明すべきかに努め、結局桑港會議は世界平和確立の理念問題、ポツダム會議は總て現實的な特定問題の具體的處理で、利害關係も微妙である故極秘ものだと結論してゐる、三頭會談に關する十九日の行事にしても、唯一つ明確なのは同夜來代表宿舎「臨時白雲館」で米大統領トルーマン主催の晩餐會が開かれ、米國側國務長官バーンズ、リーイ提督、駐ソ大使ハリマン、デーヴィス特使、ソ聯側スターリン議長、モロトフ外務人民委員、英國側首相チャーチル、勞働黨首アトリー、外務次官カドガン等が出席、英外相イーデンは身體の具合が悪くて缺席したといふ事實だけである

### スペイン内閣改造近し

(リスボン二十日發) マドリードからのUP電報によれば、スペイン統領フランコはフアランへ黨からの絶縁の第一手段として内閣の改造を決意したが、漸く成案を得た様子で、二十日夜か遅くも二十三日午後までに發表する段取りとみられてゐる、スペイン政府筋の情報によれば、労働、大藏文部、内務の四フアランへ黨閣員が留任するだけで、他のフアランへ黨閣員は残らず更迭される筈であり特にフアランへ黨書記長で無任所相のホセ・ルイス・アレセの更迭は必至とみられてゐる。また外相ホセ・レクエリカの更迭も決定的だが、彼は昨年八月就任して以來フアランへ黨勢力の切崩しに努め、日獨兩國との斷交も彼の進言によるものと解されてゐるため意外とみられてゐるが、恐らくアレセの更迭をフアランへ黨に承認させるためフランコにより犠牲を強要されたものとみられ、外相の後任には保守派のカトリック行動黨首マルチン・アルターホが決定をみてゐる様子だ尤も以上の内閣改造はフアランへ黨の全面的後退といふよりも寧ろ黒幕的存在へ押しやる策略と解して、米英兩國は依然警戒の眼をゆるめてゐないが、もしもフアランへ黨を支柱とするフランコが眞實同黨との絶縁を企圖してゐるならば、それは自殺行爲に等しく、パリからのAP電報によればスペイン共和派はフランコの失脚を最大限今後三ヶ月以内と豫想してゐるといはれる

### 西外相、米英大使と會談

(リスボン二十日發) マドリード來電にスペインの内閣改造にさきだち外相レクエリカは二十日夜マドリード駐劄米國大使ノーマン・アーマー及び英國代理大使ジームス・ポーカーと會見、何事か縷々説明したが、更に新任英國大使ザイクター・マレットも急遽ロンドンからマドリードへ赴く豫定と傳へられる

### 琉球基地司令官はホワイトヘッド

(リスボン十八日發) マニラ來電にマツカーサー司令官は十八日第五航空隊司令官中將デニス・C・

ホワイトヘッドが現在琉球基地極東航空隊の作戰にあつてゐる旨發表した、ホワイトヘッドは一九四二年ニューギニア島ポート・モレスビーにおいて現極東航空隊司令官ジョージ・ケネーを司令官とする第五航空隊の前進梯團指揮官となつたのを振り出しに、太平洋戦域を轉戦、その後第五航空隊司令官として比島作戰の空の侵攻を擔當してゐた

### 宋子文報告に失望

(リスボン二十日發) 重慶來電によれば二十日の國民參政會は行政院長宋子文よりモスクワに於るスターリン議長との會談經過報告があるものと期待され多大の關心を呼んだが、宋子文は多くを語らず、主として戦局の見透しに對する自己の見解を披瀝したに止まる、右につき重慶發ロイター電は主要次の通り報じてゐる

宋子文は二十日の國民參政會において戦争は本年末、或ひは遅くも來年の初めに終了するであらうとし、戦後の復興に備へて政府の即時改組が行はれる旨を述べ、又支那の産業及び經濟的發展を推進するため米國と取極めを行つたと報告した、又モスクワ會談に關しては何等確定的なものはないと述べたに止まる

宋子文のいはゆる政府の即時改組が左派の要望に應へた民主的統合政權の樹立か、或ひは單に重慶部内の陣營再調整かは重慶でも臆測の標となつてゐるやうだが、國民黨政權獨裁の非難に對して一應鎮靜劑を投じたものとみられるやうである、これは同じくロイター電の「黨宣傳部長王世杰が同日の國民參政會において、つぎの通り演説しこれに相應する決議を採擇した」と報道してゐると表裏を爲すものと思はれる

王世杰は國民參政會が豫定より早期に憲法制度を實施し、かつ全國大會が眞に國民の代表機關であるやう工作するものであると主張し、參政會はこの要請に應へる決議を採擇した

(訂正) 二十一日附焦點中「全國代表大會」とあるのは「國民大會」の誤につき訂正致します

## 【三頭會談】

### 英紙、秘密主義を攻撃

(ストツクホルム十九日發) ポツダム三頭會談は第三日目を迎へたが、會談の議題については依然いはゆる「消息筋」の想像以外に確實な報道がなく、報道機關が傳へることはスターリン首相、チャーチル、トルーマンの私的交渉だけだ、このことは眞摯な英國輿論をとくに刺戟してゐる模様で、十八日の「デーリー・メール」紙はポツダム會談の進行振りに次のやうな不満を浴せてゐる

「我々の知りたいのは三頭會談が何を議せんとしてゐるかといふことであつて、誰と誰が會つてその會食にどんな料理が出たかを知りたいのではない、會談の議題を公表もせず徒らに秘密主義を守ることが新しい外交なら、これは古い外交と同じやうに平和を毒するものだ、われわれはポツダムで何を喰つて何を飲んでゐるかはすこしも知りたいたとは思はない、われわれの關心事はギリシャ、オランダ、ベルギー、フランス等の國民の飢餓に關する問題であり、三巨頭がこれ等の解放國の食糧、燃料不足問題を如何に解決せんとしてゐるかに興味を持つてゐるのだ、近頃は米英兩國の關係が餘りうまく行つてゐないとよくいはれる、このやうなことは如何でもよい、われわれの知りたいたのは、兩國が歐洲の困窮状態を一日も早く改善するの如何なる有效的手段を講ずるかだ、會談は「秘密の衣」を脱ぎすてて議題を公表すべきだ、ポツダムの宴會の話は早くやめて貰ひたい」

### フランコ政權問題も主要議題

(ストツクホルム十九日發) モスクワ來電「ソヴエト政府機關紙「イズヴェスチヤ」は三頭會談でフランコ問題が主な議題の一つとして討議されようとして十九日次の通り報じてゐる

外國の新聞は三頭會談の議題をあれこれと臆測してゐるが、いづれも根據のないものばかりだ併しながらフランコのスペイン問題が最近盛んに論議されてをり、三頭會談ではフランコ問題も検討されるだらうと觀測されてゐるが、將來この觀測が謬つてゐないことが實證されよう

## 賠償問題も討議か

(チューリツヒ十九日發) 米英ソ三頭會談はドイツ處理案の外、歐洲政治體制再確立案、地中海制度の再檢討、平和會議準備對策案等重要問題山積の形で、十八日附「チューリツヒアー・ツァイツング」紙ロンドン特電は、右のため會談期間も豫定より延長される可能性ありまた賠償問題の討議も三頭會談に移されようとして次の通り報じてゐる

「ポツダム會談は豫定より延びて八月に入るかも知れとの印象が深まりつつある、その確かな理由は不明だが交渉題目は少くなく、賠償委員會も三頭會談中はモスクワからポツダムに移されよう、ドイツ占領地域の決定に關する原則が賠償問題にも適用されるとすれば、賠償の半分は、ソ聯に残り半分を米英兩國で折半するとの提案が行はれるのではないか、爾餘の諸國に對する賠償は、右三國から分與することにならう、もつとも賠償問題の重點はこの分割方式ではなく、賠償の額如何にあり世界の經濟復興、特に歐洲再建の問題と睨合せて、賠償額が審議されるのである」

## 【歐洲】

### ドイツ捕虜を酷使

(リスボン十九日發) 賠償問題に關聯してドイツ捕虜の使用問題が頻りに論議されてゐるが、西歐各國とも出来るだけ多數の捕虜を獲得しようとしてゐる様子で、ニューヨークからの報道によれば現在英國ではドイツの捕虜十萬を收穫に使用してをり、ノルウエーでは四十萬の捕虜が勞働に従事してゐるが、ノルウエー政府は當分この捕虜を使用出来るやう目下關係各國と接衝を續けてゐるといはれる、さらにフランスは現在農耕に使用してゐるもののほかに百七十五萬の捕虜を工業勞働力として獲得する計畫を有し、イタリアも二十萬を要求してゐる有様で、これに米國內で勞働してゐる捕虜十萬とソ聯が米英兩國に對して引渡を要求してゐると傳へられる四百萬を加へるならば、實に八百萬以上のドイツ捕虜が聯合各國で酷使されることになるわけである

佛諮問會議一般投票案否決

(チューリッヒ十九日發)パリ來電ニフランス國民諮問會議委員會は憲法制定會議代表選舉のために一般投票を行はうとする政府案を十九日十四票對八票で否決した

理由は一般投票が現在の非立憲的政府を繼續せしめ或る特定個人の權力を増大せしめる路を開く惧れがあるといふにあり、明かにド・ゴール個人を目標としたものである、反對したのは主として急進黨を含む左翼の各派であるが一部右翼分子も含んでゐる、政府は委員會の否決は問題とせず、本會議で本問題につき全面的な討議を行ふ決意を持つてゐるが、ド・ゴールは先づ二十一日プレスト訪問の際ラジオを通じて政府の所信を明白にする豫定である

瑞西、日本語電報受付

(チューリッヒ十八日發)スイス遞信省は歐洲戰爭開始以來引受けを中止してゐた日本語新聞電報並びに普通電報を十六日以後再び受け付ける旨發表した

フランコ統領愈々孤立

(リスボン十九日發)フランコ統領の王政復歸聲明はスペイン亡命政客筋だけでなく英佛兩國においても不評を買ひ、特にフランコ統領が王政復歸を漠然と聲明するに止め、内閣の改造乃至政治機構の再組織について一言も觸れなかつた事實から今回の措置も結局保身策に過ぎないとする觀測が支配的だ、例へばフランス紙「ル・モンド」は十九日の社説においてフランコ統領を非難して左の通り論じてゐる

「フランコ統領の演説はスペインの王黨主義者達をすら満足させるに至らなかつた、右演説の一部はスペインの王位繼承を要求してゐるドン・ホアンがフランコ統領の意圖に甘んじない場合には、更に他の王位繼承者を拉して來ようといふ姿勢を見せることによつてドン・ホアン擁護者達を脅してゐると見られる、一般に今回の聲明において、フランコ統領は公式にはないが然し明白に自己の政權を存續させてゆく旨を闡明したものだ」と解

されてゐる、しかも彼はこれまで屢々いはれてゐた内閣の改造についても全然言及しなかつたのである、恐らく彼は今後更に何らかの新しい措置に出る前にポツダム會議の成果並びに英國總選舉の結果を見ようとしてゐるものと思はれる、イペリア半島において特に保守派の間に王政の再建を要望する空氣が非常に強くなつてゐることは周知の事實で、今回フランコ統領が王政復歸を闡明したことは明かに自己の權力を維持せんとする彼の手段であり、恐らく主要な手段なのである」

更に同日の「タイムズ」紙も社説にこの問題をとらあげ、フランコ統領は單なる王政復歸の擬制によつてスペインを救ふことは出来ないとしてフランコ統領は新舊何れの型の王黨派も更にまた之らのものよりもつと自由主義的な一派に對しても、彼らがフランコ制度の永續化のためにまたフランコ統領が自らの内外政策によつてスペイン國民を引き込んで了つた袋小路から脱出するため彼を援助してくれると期待することは出来ない、スペインを孤立から救ひ得るのはただ自由主義に則る憲法を平和裡に制定することだけであり、これによつてスペインは友好的國際社會内に自己にふさはしい地位を獲得することが出来る

と述べてゐる、一方スペイン亡命政客中の共和派は更に辛辣な批判を加へ、フランコ統領没落の時期は迫つてゐると頻りに氣焰をあげてゐる有様でパリ情報によればパリ在住のスペイン共和派政客筋では十九日次の如き見解を洩らしたといはれる

フランコ統領の統治期は残すところいくらもなく我々は今回の演説には些かも驚いてはゐないドン・ホアンは共和並びに社會黨をも包含する王政を構想してゐるから、彼がフランコ統領の王政に關する考へに同意するはずはなく、以上のやうなドン・ホアンの考へはフランコにとつてうけ入れられはしない、従つてフランコはドン・ホアン以外の王位繼承者を求めてゐると見られる、何れにせよフランコ統領が今後百日以上その政權を維持することは出来ないだらうし、一度時期いたればスペイン人は蹶起して共和國を建設するであらう

## 米共産黨政策轉換

(リスボン十九日發) ニューヨーク來電によれば、米國共産主義政治聯盟は最近全國委員會を開催、三日間に亘る激論のち總裁アール・ブラウダーを辞任せしめ、かはつて三名の書記の合議制によつて統制をとることに決定したといはれる、米國共産黨機關紙「デリー・ワーカー」が過般ブラウダーの日和見主義的政策を痛烈に攻撃するフランス共産黨の論客デュロの論説を掲載して以來、米國左翼におけるブラウダーの威信は急激に低下し、公然とグラ幹扱ひする聲すら擧げられてゐるが、全國委員會が聲明を發表して、ブラウダーの「日和見主義的見解と修正主義的傾向」を非難してゐるところからみても、彼の失脚の直接原因が共産黨を解體して共産主義政治聯盟といふ微温的な組織を作り、米國政府の提唱する「戦後自由企業制」を支持する方針を採つたことにあるとみられてゐる、共産主義政治聯盟は七月末全國大會を開催するが、その際ウイリアム・フォスターが返り咲いて總裁の地位を占めるは確實とみられ、歐洲戦終了後米國共産黨が再び左翼の性格に復歸して積極的な政策を確立するに至つた事實は注目に値する

## 下院二十八日から休會

(リスボン十九日發) ワシントン來電 下院は七月二十八日から十一週間に亘り休會する旨可決した、一方上院は「國際憲章」批准後休會に入る豫定であるが、上下兩院内共和黨および民主黨領袖の要請により兩院は休會期間中といへども開會することが出来る

## 臨時國際民間航空機關

(リスボン十九日發) ワシントン來電 國務省は十八日次の通り發表した

一九四四年シカゴで開催された航空會議で決定した國際民間航空に關する中間協定は去る六月六日をもつて發效したが、この協定による「臨時國際民間航空機關」PICAO はカナダのモン

トリオールに設置されることとなつた、しかしカナダ政府は右機關の評議會の第一回會合を來る八月十五日に開催することとなり、既に關係各國政府に對して正式の招請を發した

## 燈火管制解除

(リスボン十七日發) サンフランシスコ來電 西部防衛司令部は來る八月一日をもつて西部八州の燈火管制を解除する旨十七日發表した、なほ現在燈火管制は事實上行はれてゐない

## 米軍損害

(リスボン十九日發) ワシントン來電 陸海軍省は開戦以來の米陸海軍兵員損害を十九日百五萬三千百一名と發表した

## 國內戦線の危機

— 政府當局、悲鳴を擧ぐ —

「その後に來るもの」が米國民にとつて決して薔薇色の世界ではないだらうとは既に歐洲戦の最中から米國の各方面で叫ばれてゐたが、苛烈な現實は容赦なく當然の軌道を押し進み、事態は今や警告の時機を過ぎて恐慌状態へと移りつつある、經濟界は悪性インフレの兆候を露呈し、衣食住の生活全般に亘る深刻な不安は米國民にとつて焦眉の問題となるに至つた、左に掲げた「米國の聲」は何れも國內戦線における危機の到來を告げる焦躁の叫びである

## △食糧遣り繰り算段

農務長官クリントン・アンダーソン

米國における食糧不足は今年中緩和されず、國民は昨年に比べて五%食糧を切詰めることとならう、更に其後も數ヶ月に亘つて肉を初め主要食糧の困難な不足が続くものと見ねばなるまい、肉の不足に加ふるに油脂、砂糖、煉乳、粉乳、罐詰、果實及び野菜等も引續き不足な筈である、余は食糧の増産と配給方法の改善のために積極的施策を講じてゐるが、輸送上の困難のために

生産された果實や生鮮野菜等をすべて消費者の手に渡すことが出来ない實狀にある、また増産といつても食糧の生産には時間を要するから現實の食糧不足の救済のためには本年中は多くを期待出来ない、農務省はまた軍需及び外國からの食糧の要請にたいしては「嚴密かつ不斷の検査」を行ふ嚴格な方針を採り、その最初の成果として政府買上げのバターおよび肉類の量を削減したが、更に民需用家禽の供給を改善する措置に着手した、また砂糖備蓄量の増加方に關しても話を進めてゐるが本年度の甘蔗の作柄が確められるまでは交渉は終るまい、ハワイ甘蔗栽培業者は製糖用機械の入手に關して優先權が與へられ、米國陸軍も要求品について多大の削減を行ひ、砂糖にあつてはその要求を六萬八千噸削減したため新鮮果實の貯藏用に充てることが出来るやうになつた

われわれはまた歐洲の國民を苦しめてゐる食糧不足を忘れてはならず、永續的平和を樹立するために食糧が演ずる役割は無視出来ない、故に我々は解放地域の困窮を救ふために出来るだけのことほしたいと思ふ、しかし同時に我々はこの問題に關しては歐洲國民に對し實狀を正直に知らせるべきで米國が供給出来る以上の期待を彼等に抱かせてはならない、われわれの前途にはなほ勝たねばならない大戦争が控へてゐる

### △衣料不足と物價昂騰

物價管理局次長ジェームス・ブラウンリーは衣料不足は現在でも相當深刻な段階にあるが、この状態は戦争が續く限り今後更に悪化しよう衣料品の生産原價は過去二十二ヶ月間に一二%以上昂騰し、殊に低廉な衣料品が品切れとなつたため衣料品の價格は生計費指數によつて示された以上に昂騰してゐる、衣料不足を緩和するためには是非生産原價の騰貴を阻止するばかりか、逆にこれを低落せしめなければならぬ

### △燃料節約を慫慂

燃料長官ハロルド・イツキーズは四月一日をもつて初つた本燃料年度において、

米國の有煙炭の生産不足は二千五百萬噸に達する見込みである、この冬國民は眞珠灣以來初めて工業用の貯藏石炭をもつてしては生産不足の一部を賄ふに過ぎないやうな事態に當面するであらう、以上の困難な石炭需給事情は鐵道及び公共事業關係以外の工業用消費の統制によつて解決し得るが、石炭の使用は從來の八〇%を超えない程度に制限されよう、政府はかかる燃料事情に對處するため目下最善の施策を考慮中である

### △深刻化する足不足

大統領トルーマンはわれわれの前途には危機的な輸送不足がひかへてをり、自動車所有者達は依然として出来るだけ所有車の保存、維持に努めなければならぬ新自動車は近く十分手に入るなどといふ見透しは行き過ぎた樂觀であり、米國は現在まではともかくも運輸不足を克服してきたが、今後にはかへる交通難は從來に比しはるかに深刻であることを覺悟すべきである

### △インフレには増産

物價管理局長官チエスター・ポールス

米國は建國以來最大のインフレの重壓をとまかくも制御することができた、しかしながら、米國が果して完全にインフレを抑制し得るか否かは今後の十二ヶ月にかかつてゐる、現在米國內には三千億弗以上の流動資産が經濟の安定を脅かしつつあり、この重壓を切り抜けるためにはあらゆる努力と正鵠な判断が必要である、物價管理局の事業は、そもその最初から困難且つ報いの少いものであつた、一部の人は物價管理局の仕事は理論的にも不可能なことであり戦争にはインフレはつきものでこれを阻止する具體的な方法は先づないとした、しかるにわれわれは戦争開始以來三年半の期間を通じ、比較的安定した物價を維持し、健全な經濟を保つことができた、インフレに對する最終的の回答は生産を増加することである、平和産業が回復するに伴ひ、民需品の需給は次第に均衡がとれるに至るだらう

## 【重慶】

### 國民大會延期か

(リスボン十九日發)重慶UP電によれば國民參政會は閉會を目前に控へて十八日重要決議を行ひ國民大會の召集期日決定を政府に一任する案、渝延關係調整案、政黨各派の地位保障案、言論集會の自由保障案等を壓倒的多數をもつて可決した、國民大會召集期日は既に國民黨の方針としては十一月十二日と暫定されてゐるが、その終局的決定を政府一任としたことは召集を延期する可能性を開いたものだとの觀測が行はれてゐるやうである。過般來重慶政權は延安派及び重慶地區進歩派よりその獨裁的態度につき挾撃を受けてをり、それが國民參政會に微妙な作用を有してゐるものの如くUP電はこの間の事情につき十九日次の通り報じてゐる。

「國民參政會は二週間の討議終幕に近づいた十八日、出席要員百九十名中百七十名の壓倒的多數をもつて、政府に對し國民大會の召集までに次の諸方策を講ずるやう要求した

- (一) 渝延兩者の統一を形成すること
- (二) 國民黨以外の諸政黨に對しても法律的地位を與へること
- (三) 言論、新聞の自由、集會結社の自由を與へること
- (四) 地方省區において選舉機構を組織すること

以上の討議に當り、國民大會の召集を十一月十二日とすることに猛烈な反對があつたが、國民黨六全大會の決定した暫定的期日そのものを直接否認することはなく、唯政府に對して召集期日の終局的決定を一任することとした、これは大會召集を延期する道を設けたものである、この外政府に對して國民大會が出来るだけ國民の代表機關たるやうその法律的地位を考慮するやう要求し且つ大會において一度新憲法を採擇した上は直ちにその機能を發揮さすべきであるとの勸告を行つた」

## 【西亞】

### レバノン、接收委員會設置

(リスボン十九日發)ベイルート來電。フランス軍指揮下の土民軍二萬は、フランスからレヴァン

ト兩國に委讓されることになり、目下兩國の任命した軍事委員會は土民軍の接收手續、その他について検討を加へてゐるが、十七日レバノン外相アンリ・アラオンはシリア外相マルダム・ベイと會見した後次の通り發表した

シリア並びにレバノンは港灣、鐵道の管理、戰爭經濟事務所等の如き現在なほフランスの手中にある權益の接收に當るため特別委員會を任命するに同意した、なほ土民軍の引渡しについては未だ日時は決つてゐないが、土民軍の第一陣が、委讓されるのは極めて近い將來と見られてゐる

## 【英帝國】

### 駐波大使を任命

(リスボン十九日發)ロンドン來電。英國政府はポーランド統合政府の承認に引續き、十七日ワルシャワ駐劄大使として外務次官補フレデリック・ウイリアム・カヴェンディッシュ・ベンティックを任命した

### 加首相地方選舉に出馬

(リスボン十八日發)オッタワ來電。カナダ首相マッケンジー・キングは去る六月十一日の國會總選舉で落選の憂き目をみたが、十七日グレンガリー郡の選舉に自由黨候補に指名されたといはれる因みに自由黨のマクデアミッドが下院の議席をキングに譲つたので辛じて面子を維持してゐる

### PTボートの燃料槽

(リスボン十八日發)七月八日附「ニューヨーク・タイムズ」紙によればオハイオ州アクロンのB Fグッドリッチ會社は七日海軍省許可の下に次の通り發表したといはれる

數千機の飛行機に使用し火災防止に好成绩を収めた防彈燃料槽が、現在米國海軍のPTボート(快速魚雷艇)の制式裝備になつてゐる、米國海軍は一九四二年ソロモン諸島ツラギ灣海戦で日本軍砲火のために多數のPTボートを失つた結果この燃料槽に着眼した、一隻に對して燃料槽四個を必要としてゐる、尙燃料槽は殆んど全部合成物資で作られ、○・五吋彈の孔を自然に閉ぢる性質をもつてゐる





桑港會議始末記(三・下)

武井武夫

△自治領代表自己の立場を語る

以上の論評にみられる通り米國の言分はすむ分勝手なもので、特に注目されるのは獨立と自治の區別である、彼らは獨立すれば多くの思恵を失ふといつた意味のことを述べてゐるが、世界の平和並びに安全を維持するといふお題目は一體何のためたてたのか、獨立すれば經濟的に縁を絶たれ安全保障の手段を失ふといふが、個々の獨立國にそれを與へることこそ新國際機構の任務ではないのか、米國や英國の身勝手な言分は最初からわかつてゐること乍ら、ここまではつきり言はれると一寸顔負けだ

そこで英聯邦で自治領の地位を占めてゐる諸國はこの問題をどう考へてゐるか、英聯邦内各自治領の桑港會議における態度は、意外な位に強硬であり、英本國と對立した場面も一再ではなくみられた、しかしながら濠洲にせよ、カナダやニュージールランドにせよ、現在の地位に甘んじて獨立を要求しないのは何故か、その一斑を示すものとして國際信託統治制に關するニュージールランド首席代表首相ビーター・フレージャーの言明をつぎに引用したい、斷つておくが彼はニュージールランドの人民の代表者ではない、政府の代表者だ、同時に彼は第二分科委員會第四專門委員會(信託統治制委員會)の委員長であるといふことも忘れてはなるまい、以下の言明は既に國際信託統治案が專門委員會を通過した六月十九日の新聞記者會見で行はれたものである

「専門委員會は報告委員の報告並びに信託統治理事會に關する諸規定の最後の草案の承認を除き任務の一切を完了した、信託統治制度の主眼は植民地においても委任統治領においても、住民の利益が最高の位置を占めるといふ點である、信託統治に關する章の一般的宣言(憲章第十一章)の原文には獨立といふ字句が目的の中に掲げられてゐないといはゞ、自治といふ言葉を含んでより自由な政體の漸進的發達といふ字句を使用してゐる、信

託統治制度は英本國、フランス、ニュージールランド、濠洲、南阿聯邦等の委任統治領を含み現存する舊國際聯盟委任統治領を悉く包含することになる、また米國は太平洋戰における主役國であるから、同國が戰略的用途のために若干の地域を獲得すべきことも當然だ

米國代表は故大統領ルーズヴェルト並びに前國務長官コーデル・ハルが定めた政策に従ひ、さうした戰略的地域をも悉く信託統治領とすることを要求してゐる、米國代表團は米國が新たな植民帝國にならうとしてゐると解釋されるやうな言葉を少しも洩してはゐない、世界の一部では非獨立人民を無遠慮な貿易業者の搾取から守るために輸出入の統制を實施する必要もあらう、今一つ信託統治理事會の管理下に入らざる植民地を有する國に關聯して人民保護問題が起る可能性がある、もし一國がこれら植民地人民に對し何か不當なることをすれば、それはも早國內的な管理權の問題ではなくなり、總會で論ぜられなければならない

報告委員の報告書の中には信託統治領を有する國が聯合國から脱退した場合に生じ得る事態に關する聲明が含まれることになるだらう、さうした場合、問題は脱退した國から信託統治領をとり上げるかどうかといふことだ」

△信託統治案採擇さる

かくて波瀾重疊を極めた國際信託統治制問題も二十一日朝の第二分科委員會において専門委員會からの報告書が満場一致採擇され、信託統治制度は曲りなりにもここに成立をみるに至つた

専門委員會の正式報告書には四つの附屬文書があつた、即ち憲章草案、オランダ代表の質問に關する米國代表の聲明並びにエヂプト代表の質問に關する米英兩國代表の共同聲明だ、オランダ代表の特別質問とは

一、憲章の目的の中には、關係諸國がその統治に自國の責任を有するとき非自治國の十分なる保護を法制化するといふ意味が含まれてゐるか  
二、目的の中には、現在並びに將來の勞務協定により勞働契約上の懲罪條件を廢棄するといふ意味が含まれてゐるか

三、統治諸國は非獨立地域において、民族的優越

感から生ずるすべての差別待遇を除去し、教育その他すべての適當なる手段によりかかる感情を克服すべき責務（少くとも道德的責務）を有するのではないか

との三項目で、これにたいする米國代表スタッセンの聲明は

A款（第七十三條）の規定により、貫下の指摘せる非行はこれにたいし關係人民を保護すべき非行の中に含まれ、貫下の指摘せる責務はこの事態を克服するに足ると信ず

と述べてゐる、また米英兩國の共同聲明は分科委員會席上でエヂプト代表が發した質問にたいするもので、つぎの諸點を説明してゐる

一、信託統治領を統治する國家が侵略行爲に出た場合安全保障理事會は國際平和並に安全を維持するといふ一般的目的の下にそれを處理し得る

二、一統治國が聯合國から脱退しながら依然信託統治領を保有する場合には、その脱退が同國の不信を反映するに非ざる限り同國をして引續き信託統治協定の條項を遵奉せしむるべき取極めを行ふことが出来る

三、一統治國が他の理由のために脱退し若しくは除名せられながら信託統治領の委譲に同意せざりし場合、總會並びに安全保障理事會はその判斷に基き事件を處理する權能を有すべきも、かかる事態に關し豫め規定を設くるは不可能なり

### △各國代表演説

話が極まれば一應お目出度うをいひ合ふのは國際會議の作法だ、まづ分科委員會議長たる南阿聯邦首相ジャン・クリスチヤン・スマツツ元帥が起ち上つて一言述べる、序でにいつておくがスマツツは前大戰後國際聯盟で委任統治領を作つた時の發起人の一人だ

憲章により定められたる諸責務、特にすべての非獨立人民に關する宣言の中に含まれる諸責務は極めて重大であり、これを全般的に適用することにより全世界の植民政策の公平化が實現しよう、新託統治制はすべての非獨立人民に適用されるといふ點で、委任統治制より遙かに範圍

が廣い、國際聯盟の計畫は敵國から奪取した土地に適用されたにすぎなかつた

スマツツその他各國代表が國際信任統治制創設の功勞者として頌徳表を奉つたのは専門委員會委員長ニュージールランド首相フレージャーと基準文書起草委員長米國代表スタッセンの二名だ、最初の頃の反對氣勢を棚にあげて茶番の幕切れに適しい御挨拶を述べた各國代表の言葉を次に簡単に御紹介しよう

アレクサンダー・ロウドン（オランダ代表駐米大使） 〓 國際憲章の採擇は人類發達の歴史における偉大なる一步前進だ、かくのごとく非獨立人民全體に關する原則の方式化並びに承認において五十ヶ國の代表が一致したといふことは史上空前だといはなければならぬ、かくも微妙な問題においてこのやうに大きな成果を擧げたことを、會議は誇りとすべきであらう、もしすべての關係諸國が會議におけると同じ忍耐をもつて憲章を護持して行くなれば、世界の非獨立人民は自己の文化的資産をもつて世界に寄與し得る段階まで急速に發達を遂げるにちがひない、またスタッセン氏が信託統治問題において演じた役割は、同氏が米國民の長所たる理想と現實の綜合を體する不屈の忍耐の人たることを立派に實證した

ポール・エミール・ナギアール（フランス全權大使） 〓 信託統治制委員會の任務の困難は全く筆舌には盡せない位だつた、これは一般原則の方式化で特定地域に關する討議ではなかつたために、抽象的に仕事を進めなければならなかつたからである

フランス・マイケル・フォード（濠洲代表副首相） 〓 一般宣言を含む章のA款（成立文書の第十章第七十三條）は植民政策に關する宣言として史上に類をみない重要かつ廣汎なものといへよう、これを成文化せる功績はいかに賞讃するも足りないくらいだ、願はくは、A款の力によつて非獨立人民の状態を改善するといふ健全な競争が植民地保有國の間で演ぜられるやうにしたい

フランボーン子（英國代表） 〓 ダンバートン・

オックス案に信託統治に關する章がなかつた結果専門委員會は一切基準とすべき文書をもたずに仕事に着手したといふ事實を考へる時、それだけでもこれは桑港會議の大きな成果だつたといはなければなるまい、植民地を有する英國政府の代表として卒直にいふが、すべての植民地人民の目標として獨立の字句を挿入することは平和及び安全を害ふ惧れがある、しかも自治の理念には獨立も含まれてゐるのだ、とはいへ、これら非獨立地域の究極の運命としての獨立を全く排除してはならない、またA款の文言によつてそれが排除されるわけでもない、これら植民地の人民が求めてゐるのは何か、彼らは自由を求めてゐる、そしてわれわれは彼らに自由を與へることが出来る、彼らは正義を求めてゐる、われわれはそれを與へることが出来る、彼らはわれわれが條文中に述べたものを悉く求めてゐる、われわれはそれを與へることが出来るのだ、彼らも訓育養成し、われわれの有する資産と經驗の恩恵を彼らに與へよう、彼らが自治の梯子を登るのを助けよう、それがこの一章の目的であり、これにより彼らが獨立すると否とを問はず、窮極において平和な繁榮せる相互依存の世界に自己の役割を十分に果し得るやうにするのだ

モハメッド・アワド(エジプト代表)「この文書は國際信託統治制に關する章に含まれる特別宣言の多くが一般宣言の方に含まれてゐないといふ意味でわが國の理想と遠いが、それにも拘らずこの文書は「生きた文書」だ、これが何か一層よきものに成長するとき制度を設定するといふ點では余もスタツセン氏の意見に同意する、全體からみてこの一章は一步前進であり正しい方向を持してゐると思ふ

### △比島傀儡代表辛い辯明

比島傀儡代表代將カテロス・P・ロムロは十五日の専門委員會において一般宣言の中に獨立の字句か使用されてゐないことを指摘し、これは信託統治領にのみ獨立を與へ他の非獨立地域には獨立を與へない意味になると強硬に主張したが、結局辛の主張は通らなかつた、ロムロにしてみれば辛

いところで、米國の庇護の下に樹立された政權の代表としては勿論米國の主張に従はなければならぬ立場だが、獨立を願ふ比島の民衆に對してはあくまで自分も民衆の一人なる擬態を示さなければならぬ、ことに日本が一度フィリピンに獨立を與へてゐるのに米國は一九四六年七月四日まで獨立宣言を許さないのだから、何とかその邊の關係について自國民衆を納得せしめる必要がある、桑港會議における彼ロムロの大奮闘もその意味からみれば憐れむべきものを感じさせる、しかもまた國際信託統治制が成立したとなれば、これを今度は禮讚し、同時に世界に對する自己の面目を保ちながら自國民衆を説得しなければならぬ、彼の演説はかうした事情を背景にして聞く時大いに味ふべきものを持つてゐる

「非自治領に關する宣言の章の條文には、本章に入る人民が長い間祈り永めてゐた一切に對する回答が含まれてゐる、ここにすべての植民地人民、すべての人民のための憲章がある、即ちこれこそ人類の自由に關する憲章であり、遂にわれわれが長い間の戦ひに勝ち、自由のための戦ひに勝つことによつて今次大戰の勝利に到達したといふことの動かし難い證據である、ここに完成した方式の眞の精神は獨立だ、獨立なる字句は使用されずとも、眞の獨立は保證されてゐる、この誓約の對象となつてゐる數百萬の自由の憧れる民衆にとつて自由はもはや空しい夢ではなく、到達し得る目標即ち到達するために努力を必要とするがやれば必ず手の届く目標となるであらう

根本的には、これは植民地人民に對し、委任統治領に對し、極東に對し、全人類に對し、目標として自由を約束する人間憲章である、同時に、これは地上から自由が消滅しないやうに多くの國々で戦つて來た人々にとつての勝利だ、これは全世界の勝利だ、一族とか一國民、あるひは一指導者の勝利ではなく、全人類にとつての勝利なのである

本憲章は決して黄金期の到來を約束するものではない、これは多くの國々から集つて子孫たちが將來相戦ふことのないやうに相互に理解すべく全力を盡した細心謙虚なる人々によつて書かれた

前途には國家的、國際的、民族的、經濟的、政治的、精神的な幾多の問題があらう、だがここに生れた信託統治方式は完全なる平和（權威の鐵の蹄の下に得られた屈辱の平和ではなく人類大家族の各成員により各自のために設計された相互的尊敬に基く平和）の青寫眞なのである」

### △功勞者はかくいふ

かくて拍手喝采の中にいよいよ登壇したのが信託統治問題の立役者ハロルド・スタツセンだ、彼は最後の文書を作成するのに協力した人々に對する讚辭に演説の大部分の時間を費し、特にソヴェト聯邦代表の名を一人々々擧げてソヴェト聯邦の「顯著にして極めて協力的なる寄與」に感謝の言葉を贈つた、これは皮肉とも取れるし、外交的辭禮とも解釋出来る、一時はヒヤヒヤしたが大ごとにもならず信託統治案を成立させて貰つたことに對する心からの感謝かもしれない、彼は言ふ

この文書が眞に偉大なる文書となるためには諸國民並びに諸國政府は、自己の支持と遵守のみがそれに與へ得る生命をその中に吹き込まなければならぬ、桑港會議の専門委員會において非獨立人民に關する諸問題が解決されたと信じてゐる一般社會の考へ方は正しくないが、それにも拘らずこの文書は人類の尊嚴を基礎としてをり、桑港會議に代表を出席せしめたる諸國の協力的支持が與へられれば數億民衆の生活に影響を齎すにちがひないのである

同じく得意満面のニュージランド代表専門委員會委員長ビクター・フレージャーは殿りを承つて國際信託統治制に關する章に加へられた批判並びに條文の妥當性に對する數ヶ國代表の懷疑的態度についてつぎの通り説明を加へた

文字を殺して精神を生かすといふことがあるが本章の起草に參與した各國の精神は全く中分のないものだつた、従つて本章の意圖については「特に自由かつ樂觀的な」見解をとつて頂きたいわれわれは世の中に獨立以上の何ものかがあることを學んだ、われわれは獨立してゐると同時に相互に依存してゐる、將來における世界の福祉はすべての國民の相互依存に懸つて存するの

ではなからうか、この文書は本會議の炬火である、我々はそれが今まで暗黒だつた世界の各部分に光を齎すことを希はる

以上で桑港會議の重要議題は全部片づいた、經濟社會協力委員會（第二分科委員會第三分科委員會）の仕事は人道的なお題目を並べ理想實現の構想を描くだけのものだつたから特別な問題も起らず、あるものは各自の理想もしくは欺瞞的言辭の羅列にすぎなかつた、それがどこまで實行されるかは別問題として條文に關する限り心中ではどう思はうとも異議を申し立てる代表があらう筈はない、これは取り立てて書くこともなささうだから憲章の正文を讀んで頂く事にしよう、次回は桑港會議全體の経過並びにこれに對する論評と閉會式の模様を述べて完全に「始末」をつけて了ふつもりである（未完）

### 隷屬民族の將來を注視

— 桑港會議印度代表語る —

（リスボン十七日發）ロンドン來電ニ桑港會議における印度首席代表サー・ラマスワミ・ムダリアは歸國の途次ロンドンに滞在してゐるが、十七日會議に關聯して左の通り言明した

サンフランシスコで樹立された機構が桑港會議に際し參加各國の代表が示したやうな精神に基いて運営されるならば、印度は勿論他の各國も桑港會議によつて齎される好結果を分ち持つことが出来る

ただ然し印度は來るべき五十年間平和を保證されない限り他の諸國と共に利益を享受出来ないであらう、而も桑港會議の經濟社會理事會で制定された憲章の中に含まれてゐる幾多の提案が實行に移されて始めて印度は經濟面において利益を得ることにならう、更に印度代表は全世界の隷屬民族の將來に非常な關心を拂ひ特にわれわれは信託統治理事會の設置及び今後における同理事會の運営に關心を持つてゐる



### グロムイコ氏演説全文

以下は桑港會議ソヴェト首席代表グロムイコ氏が同會議の最終日に於て試みた演説の全文である。本日は、平和安全維持機構の憲章作定のために召集せる聯合國のこの歴史的會議の成果を總決算すべき日である、この國際機構の基礎は、歐洲の戰雲未だ全くおさまらず、敵が重大なる敗北を喫しつつもなほ熾烈な抵抗を繼續してゐた當時既に樹立せられてゐた

知らるる如く、これ等の基礎は、米英ソ三國外相のモスクワ會談、ダンバートン・オークス會談並びに歴史的なクリミア會談において樹立せられたのであつた

戰爭において無數の犠牲を蒙つた平和愛好國民が、人類に對するかかる悲劇を再び繰返すことを阻止し得る國際的手段を集團の努力により確立することに希望を囑するは當然である

#### △恒久的平和の必須條件

ダンバートン・オークス會談で採擇された決議に從つて、スターリン元帥はつぎの通り述べた對獨戰に勝つことは歴史的な一大事業の遂行を意味するものだが、この勝利は未だ後繼國民に對する恒久的平和安全の保障を意味しない、我等に課せられたる仕事は、單に戰爭に勝つのみでなく、新たな侵略、新たな戰爭の發生を、たとへ永久にとはゆかぬまでも、少くも將來長期に亘つて不可能ならしめることである

ドイツの侵略を防止し、戰爭が勃發すればこれを雷の裡に剪切り、大戰爭にまで進展することを抑へるべき何等かの方途ありやといふ質問に接してスターリン元帥は次の如く回答したのである

それを成し遂げる爲には、侵略國の完全武装解除の外に、ただ一つの手段がある、即ち平和愛好諸國の代表者をもつて、平和擁護安全保障の特殊機構を設立し、右機構の運營團體には、侵略鎮定に十分な最大量の武力を提供し、一旦緩

急ある場合には右機構を納得せしめて遲滞なくその武力を侵略の防止、一蹴と、侵略責任者の膺懲のために派遣することである

同時にスターリン元帥は、もしヒトラー・ドイツに對する戰爭を主として負擔する強國が一致協和の精神をもつて引續き行動するならば、右機構の活動は十二分に効果的であらうと指摘したのであつた、もしこの必須條件が侵犯されたならば、折角の機構の活動も効果はあがらぬだらう

ソヴェト政府は國際安全機構確立に積極的に參加するに當り、またソヴェト代表は本會議の進行を通じ、實に以上の如き方針によつて導かれたのである

#### △能率的な新國際機構

本會議の最終日に當り會議の收めた成果と、果して會議がその任を全うしたか否かに關し質問の生ずるのは蓋し當然である、會議參加國代表の不斷の努力の結晶たる機構憲章は、本會議の成績を成功と考ふべき確乎たる根據を與へてゐる

聯合國憲章は、侵略の防止並びに鎮定に必要な實力と手段とを有する安全保障理事會の設置を規定してゐる、平和維持のために機能と實力とを發揮する安全保障理事會は、加盟聯合國全體の利益のために存する、憲章の規定する如く、加盟聯合國は右安全保障理事會の決議事項の遂行に同意する、憲章の以上の規定のみをみても、われわれが樹立しつつある平和維持の國際機構が如何に能率的な性格を有するかは判然とするだらう

憲章の規定によれば、安全保障理事會はソ米英佛支の五大國を常任理事國として含めるはずである、以上五大國に常任理事國たるの地位を賦與すべく會議が決議した所以のものは、安全保障理事會はその義務を有效かつ成功裡に履行するために必要な人的物的資源を十分に備へたこれ等の諸國を永久に包含することにより、はじめて平和維持上必要な十分の手段並びに武力を備へ得るといふ明白な事實を認識したためである

第二次世界大戰に際し侵略に對する共同の戦ひにおけるこれ等諸國の役割並びに彼等が各個に演

じた役割は全世界の既に知るところである

### △ 國際協力の重要性を強調

將に終了した歐洲戰では、聯合諸國は有史以來最強且つ最も狡猾なる敵を撃滅する仕事を遂行し得る能力を實證した、相互の協力なくしては、ヒトラー・ドイツの打倒てふ仕事をかくも成功裡に遂行することは不可能であらう、またかくの如き協力なくしては將來平和維持の仕事を遂行することも不可能であらう

會議は、機構中第二の重要機關たる總會並びにその機能及び權力を明確ならしめる部分の憲章作成に、その時間の多くを費した、これ等の機能及び權力は、憲章が明確に示す如く、平和安全維持のために重大寄與をなすべき偉大なる機會を總會に與へてゐる

これに加ふるに、總會の機能及び權力の範圍内において、經濟社會政治文化の協力に關する幾多の問題、その他憲章の範圍内においてまた憲章により規定されたる機關の機能及び權力の範圍内において、經濟社會協力委員會、信託制度委員會その他の諸問題がある

かくして、國際機構の加盟各國には、大國たる小國たるを問はず、全人類の福祉繁榮のために聯合諸國相互間の共同の目的たる平和維持、協力強化に寄與すべき偉大なる機會があるのである勿論會議の途中には若干の困難とこれ等の或ひは他の問題に關し各個代表者間に見解の相違とがあつた、しかし人はこれ等困難の存在したことはまたこれ等及びその他の諸問題に關し各個代表者間に見解の相違の存在したことに驚くべきではなく、會議の當面した任務をわれわれが成功裡に履行し得た事實こそ、驚くべきことである

われわれは國際機構の活動の基本たるべき記録即ち國際機構の憲章を作成した、もとより、最上の最も完備せる憲章と雖も、それ自體のみではその規定が遂行され平和維持が確保される保證とはならない、この重要にして崇高なる仕事を達成するためには、現行の憲章の外には、國際機構加盟國間に行動の一致共同がなくてはならぬ、就

中世界の最強軍事國間に行動上の一致共同があらねばならぬ

また國際機構の全加盟國は一切の紛争を、協力並びに親善の精神に則り平和的手段によつて解決するやう努むべきである

### △ 共同目的の達成に邁進せん

ソヴェト代表は本會議を通じて機構の當面する任務の有效なる遂行を保證し得るが如き國際機構憲章の作成を念願とした

余がここに欣んで強調したいことは、ソヴェト代表が本會議に参加せる多數の代表各位から御理解並びに御支持を賜つたことである、これは、さうなくてはならぬところである、本會議に代表を派遣せる諸國民は新たな戦争の再發を阻止すべき共同目的を逐ふものであるから

作成されたる憲章の規定は、機構全體としてのまたその個々の機關の、將來の活動を明確ならしめる幾多の問題に行き互つてゐる、これに關聯し憲章中紛争軋轢の平和的解決に關係せる規定の重要性を特に指摘せねばならぬ

本會議の參加國はその任務のうち特にこの點に注意を拂つた、この憲章の下に、國際機構加盟國は、紛争の平和的解決を達成すべき義務を負ふものである、この目的が完全に實現さるべきことを希望しようではないか

終りに臨み余は、聯合國の本會議が人類の歴史において最も有意義な事件の一つとして記録されわれわれの努力がヒトラー・ドイツに依て放火されたる大火災の結果として幾多の困苦辛酸を耐へ忍んだ平和愛好國民全部のために利益を齎すべきことの確信を表明致したい

余はこの機會を借りてソヴェト代表團に代り、會議の參加者たるわれわれに示されたる歡待に對し合衆國政府に感謝し、特に聯合國會議のこの歴史的な最後日たる本日謁見の榮を得たる合衆國大統領トルーマン氏に感謝する

余はまた本會議の任務完遂のために向けられたる御努力に對し、ステチニアス氏に感謝の意を表したい

### 經濟社會理事會の使命

國際憲章における經濟的社會的協力に關する章並びに經濟社會理事會に關する章については桑港會議でも餘り派手な論争が行はれなかつたため、報道記事として紹介される所が少かつた、これについて米國のラジオ評論家ウオレス・ヘリックが五日ニューヨークから放送した解説は相當要領よくその大體を盡してゐると思はれるので、ここにその全文を翻譯紹介したいと思ふ(武井)

### △理想の雪だるま

大統領トルーマンは桑港會議の閉會式において聯合國憲章の安全保障諸規定を「戦争そのものに對する勝利」なりと述べたが、同時に彼は憲章がその「中核をなすもの」として經濟的社會的協力に關する規定を有することを指摘してそれが平和の構圖を成してゐることを明かにした、そして更に

憲章は善意ある人々並びに國民が紛争の經濟的社會的諸因を矯正するに利用し得るがごとき國際協力の機構を創造した

とまで斷言してゐるのである、國家間の經濟的社會的協力に關する憲章第九章は、諸國がその人民を常に窮乏と恐怖からの解放へ導くために相互的にも個別的にも努めなければならないといふ世界的な確信を章中到處に示してゐる、諸國代表はこの感情を會議に齎し、サンフランシスコに集つた一般人、特に米國代表團が招待した諮問團體は彼らの有する幾多の理想を憲章の中に織り込んでゐるのだ、その結果憲章は(濠洲代表エヴァツトの言を借りれば)ちよつと貧血的だつたダンバートン・オークス案から十分に血液のある立派なものとなつた

ダンバートン・オークス案で總會の從屬機關とされてゐた聯合國經濟社會理事會は、サンフランシスコでは聯合國機構の主要機關の一つに昇格した、經濟社會協力に關する専門委員會の委員長印度代表サー・ラマスワミ・ムダリアルにいはせれば「誠に民主々義的な方法」によつて構成されるこの理事會は、總會で任期三年をもつて選出される

る十八ヶ國十八名の理事から成る

サー・ラマスワミが桑港會議開始後間もなく指摘してゐるやうに、専門委員會はダンバートン・オークス案には勿論のこと、その後米英ソ重慶の四主催國から提出された修正案に對しても満足してゐなかつた、そこで他の諸國代表のいろいろな理想が最後の憲章に織り込まれて、分科委員會で拍手と共に採擇された、つまり憲章のこの部分に關する限り誰も削除しようといふ者がなく、何かしら追加しようとしてゐたので、條文はまるで雪だるまのやうに太つて行つたわけだ

### △實行すれば夢の世界實現

理事會は經濟的發達のみならず「生活水準の向上」(カナダ修正案)及び「失業なき状態」(濠洲修正案)をも「促進」(ダンバートン・オークス案では「容易化」となつてゐた)するといふ聯合國の誓約に基いて活動する、決して單に經濟、社會、衛生、文化、教育(ダンバートン・オークス案では經濟、社會その他人文的諸問題となつてゐた)の諸分野において助長的協力を示すだけではないのである、この教育といふ言葉を入れたのは米國の顧問から出た意見のためで、衛生といふ字句は重慶及びブラジルの提案だつた

ダンバートン・オークス案において宣言された「人格並びに基本的自由に對する尊敬の促進」といふ理事會の任務は、更に四主催國の提案により「民族、性、言語あるひは宗教における差別」を禁ずることに修正が加へられた

この目的を達成するために全加盟國が機構と協力して共同並びに個別的なる行動をとるといふ誓約(第五十六條)は濠洲代表と米國代表の見解を調和してソヴェト代表が起草したものだ、米國代表の一人ヴァージニア・ギルダースリーヴ女史は専門委員會の仕事に満足の意を表明して

この成果は桑港會議の事業のうちで最も建設的な部分だといへよう、もし經濟社會理事會が任務を完遂すれば、結局紛争を解決するなどいふ安全保障理事會の機能のごときは殆ど必要がなくなつて了ひさうだ

と述べ、各國代表の喝采を得た

## 桑港會議報告書

白聖館當局は十日國際機構米國主席代表エドワード・ステチニアスが大統領トルーマンに宛てた桑港會議の結果報告書を發表したが、内容つぎの通り

「國際機構聯合國會議は一九四五年四月二十四日サンフランシスコで開會された、當時歐洲における戦争は五年以上を經過し、太平洋戦は三年以上を支那における戦争また八年を經過してゐた、米國だけが蒙つた戦死傷者並びに捕虜、行方不明者の數は百萬を算した、しかして歐洲に参加した國家の軍事的損害の總計は戦死約一千四百萬、負傷捕虜四千五百萬となつてをり、この他に無數の非戦闘員が死亡し、傷つき行方不明となつた、非戦闘員の男女幼兒でこの惨害に遭遇した者は多數の人口を有する數國家の住民の數にも匹敵する程である、また住宅、家具類、工場、學校、商店、都市、教會、圖書館、美術品、記念碑等で破壊されたものは驚くべき價格に上る、しかし、價格に依つて考へられない無數のものが破壊されたのであつた、即ち戦争による家族の四散、精神の破壊、事業の停止等がそれだ、桑港會議開催の三十年前に右會議に出席した多數の國家は別の戦争即ち第一次世界大戦に参加したが、この戦争のもたらした破壊は今次大戦より輕少であつた、第一次世界大戦の軍事的損害は三千七百萬であつたが、これに非戦闘員の死傷者その他の物的破壊を加へれば全損害は尨大な數に達する

しかして桑港會議に参加した多數の國家は、第一次世界大戦で受けた傷から立ち直らない内に第二次世界大戦に参加したのである、聯合國會議がサンフランシスコで招集されたのはこの大慘事が三度發生することを防止するためであり、會議開催の計畫はコーデル・ハルが國務長官として立案しこれを實現せしめたのであつた、會議の目的はただ一つであつた、即ち國際機構憲章起草し、これを通じて平和確立に對する協同の希望を有す

る世界國家が協力するといふことであつた、歴史を通じて、戦争の惨害を體驗した人々は戦争を終熄せしめんと努めた、桑港會議開催の二十六年前にはパリにおいてウツドロー・ウイソンの指導の下に會議が開催され、平和を確保する事が出來ると確信された國際聯盟規約が起草されたのであつた、しかし、この努力はこれに必要な廣汎な支持を得なかつた、桑港會議は今までにどんな國際會議も取り上げたことのない様な重大な事業を協議するために開催されたが、參加國は大きな希望を抱いて會議に臨んだのである、桑港會議自體もまた出席代表團も會議が戦争と言ふ問題を最後の決定的に解決し得るとは信じてはゐなかつた、會議出席者は會議の第一日から過去三十年間に約四千萬に上る人類を殺害した有史以來屢々世界に惨害を齎した戦争が一つの憲章を起草することによつて艾除されるとは信じてゐなかつたのだ

しかしながら、桑港會議の裏には參加各國代表の協力と言ふものが存在してゐた、四大洲は勿論全海洋及び島嶼における戦争の遂行のみならず、戦争を終熄せしめ平和を維持出来る戦後機構の設立に對する準備工作においても主要聯合國は戦争の歴史に嘗て見られなかつたやうな協力を行つたのであつた」

### B 17 の高度新記録

(リスボン十七日發) シアトル來電「ボーイング航空機會社の發表によれば最近行はれた試験飛行で B 17 (空の要塞) が一萬四千四百九十餘米の高度に達し、四發機による高度新記録を樹立したといはれる

### コルセア改良型

(リスボン十七日發) ワシントン來電「米國海軍單座戰鬥機 F 4 U I (通稱コルセア) は今回改良され従來の時速四百二十五哩が四百五十哩に増加し上昇力並びに行動性が著しく増強された



昭和二十年七月廿四日(火)  
第三四九二號

# 同盟通信

## 海外電報

(169)

### 世界最大の飛行艇

(リスボン二十二日發)七月十八日付「デイリー・デレグラフ」紙ニューヨーク電「ハワード・ヒューズ會社は十七日世界最大の飛行艇「ハーキユリーズ」について次の通り發表した

新飛行艇は餘り大きいため展覧に際しても幾つかに分割しなければならなかつたほどで、重量百九十噸、翼幅は九十八米、二千萬弗以上の生

### 【目次】

レオポルドの歸國は國民投票で	二〇八六
伊、太平洋出動説を否定	〃
スエーデン治外法權を徹底	〃
ペルー大統領決定	〃
ド・ゴールは出席せず	〃
三頭會談本題に入る	〃
米英ソ行政方式でも對立	二〇八七
獨人三百萬の指紋をとる	〃
スペイン内閣改造	二〇八八
白國王の退位を要求	〃
レオポルド強硬	二〇八九
ソ土間の危機は英の責任	〃
印度總督、知事會議召集	〃
英國政戰日誌	〃
南洋艦隊計畫報告	二〇九〇
輸出入銀行案可決	〃
ブレトン・ウツツ協定可決	〃
陸海軍省統合問題再燃	〃
米下院休會に入る	〃
コ國大統領辭職	〃
【資料】	
ドイツ資産を拂拭せよ	二〇九一
ドイツ工業破壊の程度	二〇九二

靜なること林の如き本土要塞を前に、「慘として驕らざる」皇軍の布陣に臨んで米軍の戦略は要するに一面爆撃一面謀略である、しかも謀略攻勢は米人子弟の出血を節約するために所謂無條件降伏の方式を緩和するといふ、寔にだらしのない假面のもとに巧みに展開されてゐる、右方式に對して先づ第一に異議を唱へたのは共和黨の上院議員ホーマー・ケープハートだ、上院において無條件降伏を固執する結果は徒らに戰爭を長びかせるに過ぎないから、聯合國は日本政府に對する最小限の條件を決定して全世界に闡明することを主張した次いで米國の新聞王ヘンリー・ルースは米國內に數百萬の讀者を擁する週刊「タイム」誌と「ライフ」誌とを動員し、「玉碎(勿論原語には自殺といふ言葉を使つてゐる)に對する不可思議な獻身を持つ日本人を皆殺しするといふ政策を固執するならば、米國民は恐らく別に百萬の死傷を覺悟せねばなるまい」と前提し、「無條件降伏」方式の修正を提唱してゐる、「ヘラルド・トリビュン」紙の報道



する國務省の新方式試案並びに所謂「六十人の人道主義者」の動き等々も、出血を極度に懸念する米國民の心意の現れであらう、「人道主義」といつても誤解してはならない、謂ふ所は米人子弟の出血を節約しようとする意味に過ぎぬからである勿論以上の「人道主義」的主張に對し、米軍の主流乃至國論の大勢は依然として「無條件降伏」を固執してゐるが、米國民が冷靜に自國の戰爭目的を反省する場合且つ本土決戦の前途多難を惟ふ時國論が自ら分裂とまでは行かずとも、或る程度足並みが乱れることは想像に難くない、トルーマン大統領はポツダム會議から歸任した上で眞剣に新方式案を取上げるといふが、今後二、三ヶ月の間における米軍政戰兩略の動きに對しては嚴重な警戒と萬全の對策とが必要であらう

産費を要した、三千馬力發動機八基合計二萬四千馬力で、最高速度は三百五十軒時を超える、六十噸重戦車ならば一臺、輕戦車ならば三臺を搭載し、完全武装せる歩兵七百五十人を輸送する、病院機として使用した場合には必要な醫師看護婦を別にして擔荷三百五十臺の患者を乗せることが出来る、製作を開始したのは一九四三年のことだつたが、「ハーキユリーズ」の試験飛行が行はれたのはやつと本年一月になつてのことだつた

## レオホルドの歸國は國民投票で

(ストックホルム二十二日發) ベルギー國王レオホルドは過般復位問題を決定するため國民投票を實施するやう要請したが、ブリュッセル來電によればベルギー下院は國王の歸國と復位を決定するため國民投票を實施する法案を二十日可決し、上院に廻付したといはれる

## 伊、太平洋出動説を否定

(リスボン二十二日發) ローマ來電「イタリア政府首相フェルチオ・パリーリは二十一日次の通り言明した

イタリアは日本に對して宣戰を布告すると同時に聯合國に對して太平洋戰においても具體的な寄與を行ふ希望を表明したが、イタリア遠征軍が太平洋戰域に出動する準備を進めてゐるといふ噂は事實に反する

## スエーデン治外法権を撤廢

(リスボン二十二日發) 重慶來電「スエーデン政府は今回重慶との間に治外法権並びに他の特權の撤廢に關する協定を締結、二十一日兩國政府は夫々批准の完了を通告した

## ペルー大統領決定

(リスボン二十二日發) リマ來電「國民選舉當局は二十二日ホセ・ルイス・ピユスタメント・リヴェロが憲法の規定に基き大統領に就任せる旨發表した

## ド・ゴールは出席せず

(ストックホルム二十二日發) 三頭會談における主要議題の一つがドイツ管理問題であるためド・ゴールも参加するのではないかと見られてゐたがポツダム來電によればド・ゴールは三頭會談には出席しない旨公式に發表されたといはれる

## 三頭會談本題に入る

(チューリッヒ二十三日發) ポツダム來電によれば三頭會談の米國代表團は二十一日「會談は進捗し、既に多くの成果を収めてゐる」と中間發表を

行つたといはれるが、三國首腦が二、三日來連日三時間に亘つて協議を遂げてゐるところからみても、會談が愈々最重要局面に入つたことは疑問の餘地がない、以上に關しロイター通信社の特派員デニス・マーチンは會談は既に第一の重要議題たるドイツ問題の検討に入つたとして次の通り報じてゐる

「三頭會談が豫備交渉からドイツの將來に關する問題の検討に移つたことは疑問の餘地がなく、三國首腦は目下ドイツばかりでなく歐洲全體に關係する最大の難問と取つ組んでゐるやうだ、このことは賠償問題の専門家達が會談において、大きな役割を演じてゐること及びトルーマンが米國戰時海運局長官エモリー・ランドをポツダムに呼び寄せたことによつて裏書されるが、更にトルーマンが二十日夜米國軍政長官代理ルシアス・クレイが晚餐を共にして種々打合せを行つたことでも明らかだ、會談で討議されてゐるドイツ問題は次のやうなものだ

△占領問題「ドイツ占領政策につき統一ある共同の基礎を見出すことで、ベルリン消息筋の一致した觀測では三國首腦は米英ソ三國占領地域における統一政策の樹立を最大の急務と看做してゐるやうだ

△賠償問題「米英ソ三國の占領目的と賠償問題に關する共同政策の確立だ、三國首腦は現在鋭く對立する二つの見解に直面してゐる、一はドイツの工業力を徹底的に剝奪しない限り、ドイツは再び新たな戰爭の準備を進めるといふ説であり、他はドイツが將來戰爭行為に訴へることが出来ぬやう工業力を剝奪するならば、ドイツは金でも現物でも賠償を支拂ふことが出来ないといふ主張だ

△軍政府問題「現在米英占領地域内の軍政府は三頭會談によつて具體的な指標が示されるのを待つて事實上機能停止の状態にある、即ち軍政府はあくまでも行政機關であつて、燃料、輸送手段、食糧その他を外部から獲得する方策については、何らの決定權もない

△ドイツの將來の問題「戦後のドイツが如何なる國家形態乃至政治形態をもつて更生すべきかについて確たる取極めを行ふ必要がある

【ドイツ管理】

米英ソ、行政方式でも對立

(ストツクホルム二十日發) ドイツ管理方式についてソ聯と米英兩國との間に明瞭な對立が存在することは、ポツダム會談における最大の難關とみられてゐるがロイター記者ロバート・ロイドは米英ソ三國占領地域内の行政機構にも本質的な相違がある事實を指摘して二十日次の通り報じてゐる。「三國首腦がポツダム會談においてドイツ管理方式を細目に亘つて検討するならば、聯合國の管理下に反ナチ・ドイツ人をしてドイツを統治させる方式よりもドイツ人の個人並びに政治團體を選抜する方式について、米英ソ三國間に明白な差違があることを知るであらう、今日同種の権限を持つドイツ地方および州政府が米英ソ三國占領地域の全域に設置されてゐるが、米英兩國占領地域における地方權力とソ聯占領地域内のそれとの間の差違は、権限にあるのではなく、その構成および公式に組織された政黨から受ける支持の程度にあるドイツの西部では共產黨員は地區事務所以上に高い地位を占めてゐない、バワリア及びライン下流地方では、樞要な椅子は例外なく右翼のカトリック教徒によつて占められてをり、ハンブルグ及びハノーヴァアでは政黨に屬しない實業家や官吏が重要な役割を演じてゐる、またヘッセ及びライン中流地方では社會民主主義者が指導的役割を果し、ウエストフアリア及びオルデンブルグでもカトリック左派及び進歩的行政官の下に重要な地位を占めてをり、更にやや大きな都市では大部分市長の要職にある。

東部では地方政府は共產黨、社會民主黨および「ブルジョア」政黨の約同数の代表からなる四名乃至六名の一團によつて構成されてゐる、所謂「ブルジョア」政黨の代表とは概ね政黨に屬せぬ官吏だが、モスクワから歸つてきた「自由ドイツ委員會」の會員が主な地位を占めてをり、亡命地から歸つてきた共產黨の領袖はその豊富な政治的經驗によつて大いに珍重されてゐるやうだ。

東部ではドイツ官吏は政黨の代表と看做されてゐるが、西部では政黨は依然表立つては禁止さ

れてをり、役員は主として個人的な行狀を基礎として選抜されてゐる、もつとも行政上の便宜から米英占領地域の軍政官は「諮問會議」とかナチ壓迫犠牲者救済團體とか補助警察隊といった形で禁止した反ナチ委員會の存在を許してゐる、これらの委員會は公式には「政治的中立」といふことになつてゐるが、社會民主、共產、カトリックの三黨からなつてゐるお場合が多い、米英占領地域における他の政治團體は占領軍當局の鼻先で所謂「非公式」の存在を續けてゐるのだ。

他方ソ聯はドイツ政黨を許可する際獨得の方法を採つてゐる様子で、時には政黨に對する監督は指導といふ形を採つてゐる、たとへばベルリンの社會民主黨機關紙「ダス・フォルク」はソ聯評論家カルル・ゴフマンのベルリン社會民主黨の政綱を説明した論文を掲載してゐるが、このソ聯評論家の執筆した論文が彼等の政見を發表した唯一のものである、他の例は不可思議な「OSDA」團だが、この團體が何を目的としてゐるか一切判明しないにも拘らず、ドイツ共產黨は「共產黨の綱領と合致し、ソヴェト聯邦に對して友好的態度を持つ」といふ假面の下に、反ファシスト統一戦線の分裂を策してゐる」と攻撃して、その解散に成功してゐる、いづれにしても許可された政黨を嚴重に監督することは、ナチが民主主義を利用して己れの恐るべき目的を實現するのを妨げるため絶対に必要だが、以上に關する管理方針につき一致した基準が決定をみるならば、一地域ではカトリック民主黨が、他の地域では共產黨が特典に浴することはなくなるであらう。

獨人三百萬の指紋をとる

(リスボン二十日發) ベルリン來電「ドイツ管理々事會米國代表部の内務部保安部長オルランド・ウイルソン大佐は十七日次の通り言明した

我々は目下米軍占領地帯内において我々の目に犯罪者として映るすべてのドイツ人の指紋をとつてゐるが、之らドイツ人のうちには少しでもナチ黨と關係があつたものは勿論武裝軍の將校下士官及び治安上その他の理由で逮捕されてゐるものが含まれてをり、この總數は三百萬に上ると見られてゐる。

## スペイン内閣改造

(リスボン二十一日發) マドリード來電「スペイン政府主席フランコは遂に内閣改造を斷行、二十一日顔觸れを次の通り發表した

政府主席 フランシスコ・フランコ

外相 アルベルト・マルチン・アルターホ(新任、カトリック黨員)

陸相 ファイデル・ダヴィラ・アロンド(新任、王政派)

海相 フランシスコ・レガルド(新任、王政派)

空相 エドゥアルド・ゴンダレックス・ガラサ(新任、王政派)

法相 ライムンド・フェルナンデス・ゲスタ(新任、フアランへ黨)

蔵相 ホアキン・ベンフメア・ブリン(新任、王政派)

内相 プラス・ペレス・ゴンサレス(新任、フアランへ黨)

文相 ホセ・イバネス・マルチン(留任、フアランへ黨)

農相 レイン・ゼグーラ(新任、フアランへ黨)

工商相 フアン・アントニオ・スアンセス(新任、無所屬)

労働相 ホセ・アントニオ・ジロン(新任、フアランへ黨)

公共事業相 ホセ・マリア・フェルナンデス・ラドレダ(新任、王政派)

以上の内閣改造により噂通りフアランへ黨書記長兼無任所相のホセ・ルイス・アレーセと同時にフアランへ黨反對派の外相ホセ・レクエリカと法相エドゥアルド・アウノスが更迭された事は注目に値ひする、また新内閣に五名の王政派が新たに参加すると同時に五名のフアランへ黨員が加はつてゐるところからみても、フランコがスペインの王政とフアランへ黨の野合によつて保身に努めようと圖つてゐることは明瞭だ

## 白國王の退位を要求

(リスボン二十日發) ブリュッセル來電「國王レオポルドの退位問題は依然紛糾し上下兩院は既に國王不信任の表決を行つてゐる程だが、首相ヴァン・アツケルは十九日下院に於て國王糾彈演説を行ひ「國王は自己を抹殺して即時退位すべきであ

る」と痛烈な非難を浴びせた、演説大要次の通り「レオポルド國王はヒトラー總統と通牒してベルギーの將來を謬つた、故に余は國王が自己を抹殺して即時退位することを要求する、國王が一ヶ月前に退位してゐたならば彼は尊嚴を失はなかつたであらうが現在となつては既に遅い、國王は叛逆者ではなかつたが、ドイツの勝利を確信したために幾多の重大な誤りを犯した、この責任を負ふために國王は潔く自己を抹殺すべきである、ドイツによつて占領された國家のうちで最も急速に國力を回復したのはベルギーだが、この國力復興は唯一人の男の態度のために再び崩壊の危険に曝されてゐるのだ、國王の行動に余はむしろ同情を禁じ得ない、ベルギーの解放以來國王は種々の勢力のうちにあつて確定的な行動を取ることが出来ず、彼の考へは常に動搖し一日のうちに數回も意見が變る有様だつた、余は今日まで四回に亘つて國王を訪問してゐる、第一回目は余は國王をベルギーに連れ戻さうと考へ、第二回回にはこれに對する國王の決意を尋ねた、第三回回には余は國王がベルギーに歸國することが多分の危険を包藏してゐることを知つてゐたので國王の歸國を慫慂しなかつた、第四回目に余は國王に對して、國王が退位を決意しないなら國會は退位問題を討議に附す旨を通告し一週間の間國王の決定を待つた、しかし國王は何らの決定を下すことが出来なかつた、國王はラーケン宮殿においてオーストリアで最も悪名があつたナチ黨員カージ伯と共に生活したことがあり、更に國民の彼に對する信頼を裏切つたのは國王の結婚問題だ、國民は國王の結婚に絶對反對である、國王の行動はベルギーの青年に悪影響を及ぼすものだ、以上の理由で政府は國王の退位を要求する、一九四〇年十一月ベルヒテスガルテンで行はれたヒトラー・レオポルド會見はレオポルドが自ら進んで求めたものであつた、國王はジャック・ピレネ教授をして右會見が自己の意思によつて行はれたものでない旨を言明してゐるが事實は反對で、國王は當時のベルギー獨軍司令官フアルケン・ハウゼンの乗用車に乗つて「捕虜」と見せかけてラーケン宮殿を出發してベルヒテスガルテンを訪れたのである」

レオポルド強硬

(リスボン二十日發)ベルギー國會はさきにレオポルド國王の權限行使停止を決定し、首相アツケルは十九日下院において國王糾彈演説を行つてその退位を強硬要求したがオーストリアのセント・ウオルフガングからの電報によれば、レオポルド國王はAP特派員との會見で退位の意思なき旨を繰り返へし表明つぎのやうに語つたといはれる。余はベルギー國民が人民投票によつて國家の指導者を決定するまでは王位を去る意思はない、國會は余が一九四〇年にベルギーをドイツに賣つたと稱してゐるが、當時ベルギーはそれ以上對獨戰を續ける能力を喪失してゐたからだ、ベルギーの降伏は余の良心により決定されたもので、余がベルギーに國民と共に留まればドイツはベルギーを軍事的にでなく國民の生活を基礎として支配することになるから、國民の苦痛は軽減されるだらうと考へたのである

ソ聯

ソ土間の危機は英の責任

(ストックホルム二十一日發)モスクワ來電によれば、ソ聯各紙はトルコにたいするソ聯の要求は正當だとする米國紙「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙の説を報じたタス通信社の「ニューヨーク電報を二十一日の紙上に一齊に大きく掲載してゐるが、以上はソ土交渉に關するソ聯の態度を間接にはあるが初めて公式に表明した點で注目に價する、タス電報の報ずる「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙論説記者スチーヴンの論旨は次の通り

「米國がパナマ運河に重大な利害關係を有すると同様、ソ聯もまたダーダネルス海峡に極めて重大な利害關係を有するから、スターリン議長は三頭會談においてダーダネルスの將來の安全保障を強硬に主張するものと解される、ソ聯が一九二〇年にトルコへ割讓したカラス地方は主としてアルメニア人が居住してゐるのであるから、同地方はソヴェト聯邦アルメニア共和國に編入されるべきであり、ソ聯は當然同地方の返還を要求する權利が

ある、ソ土關係にみられる現在の危機はソ聯の要永に端を發するものではなく、寧ろ地中海の勢力均衡に敏感な英國の責任である」

【英帝國】

印度總督、知事會議召集

(リスボン二十日發)ニューデリー來電に印度總督ウエーヴェルは八月一日及び二日の兩日に亘り印度州知事の會議を開催する旨二十日發表した

英國政戰日誌

英國における總選舉の結果は前線の投票を入れて七月二十六日發表される豫定だが、消息筋でも一切豫斷を差控へてゐる「ダーゲンス・ニヘター」紙のロンドン特電によれば、シテイ筋では五對一の賭で保守黨の勝利といふ觀測が有力ださうだが保守黨筋でも際どいところでチャーチル首相が辛勝するだらうとみてゐる程度だ、従つて保守黨も勞働黨も絶對過半数を收めず、結局自由黨がキャスティング・ヴォートを握る公算が大きい

同紙の特派員は自由黨の進出を豫想し、現在の十八議席が二倍乃至三倍に増大するかも知れぬとみてゐる位だ、選舉戰の經過を願れば保守黨は滑り出し甚だ悪く、チャーチル首相が放送演説で味噌をつけた上、勞働黨が勝てば英國は全體主義化しようといふ、ビーヴァブルック卿の宣傳方式が英國人の政治常識を愚弄してゐるといふので不評判であつたが、途中所謂ラスキー教授事件で勞働黨内部の對立が明るみに曝け出され、保守黨は些か持ちなほした、しかし最後に勞働黨が政戰に最後の拍車をかけたため大ロンドン地區などでは可成り形勢を挽回した様子だ、問題はミッドランド、ランカシャー、ヨークシャー、クライド各地方で大體が工業地帯だけに現在勞働黨は二百のうち百の議席を占めてゐるが、残りのうち五十議席がどうなるかで、總選舉戰の歸趨がこの五十議席が決まることになるかも知れない、イングランド北部地區並びにスコットランド地方では選舉民の休暇の關係で先週投票が行はれたが、勞働黨本部は以上の「小型選舉」以來少からず確信を強め、假りに保守黨を破らずとも際どいところまで漕ぎつけたとの觀測を洩らしてゐる

南洋艦隊計畫報告

(リスボン二十日發) ワシントン來電「米海軍省は十八日夜「南洋艦隊創設第五周年記念日」に際し艦艇一千三百二十二隻の増強を誇示、つぎの聲明を發表した

一九四〇年七月一日は保有戰艦艦艇は三百八十三隻にすぎず、その後五年間に發表せる戰艦艦艇の喪失は百四十隻に上る、現在海軍の戰艦艦艇は一千五百六十五隻だ、武器貸與法により聯合諸國に讓渡された艦艇も若干あるわけだ、だが事業はまだ完了したわけではない、海軍經營並びに私營の造船所はなほ建造計畫を遂行中で合計二百二十三隻が建造豫定簿に残つてゐる、五年間の建造計畫の中には海軍工廠三百三十一隻、私營工場九百九十一隻が含まれてゐる、その内譯は

	海軍	私營
戰艦	七	三
空母	五 (制式) (一萬噸)	一三 (制式) (一萬噸)
護送空母	七	一〇五
巡洋艦	一 (大型) (重巡)	二 (大型) (重巡)
	五八 (輕巡)	三三 (輕巡)
驅逐艦	五八	三二
護送驅逐艦	一五一	三九三
潜水艦	九八	一一二

となつてゐる、未了計畫の大部分は今明年中に完成する豫定で、明後年に持越されるのは極めて少數の見込である、この中には戰艦二隻、四萬五千噸級空母三隻、二萬七千噸級空母九隻、一萬四千五百噸級空母二隻、護送空母二十六隻、大型巡洋艦一隻、重巡二十二隻、輕巡十九隻、驅逐艦八十七隻、護送驅逐艦十六隻(中十一隻は快速輸送艦に改造)潜水艦三十六隻が含まれてゐる

因に「兩洋艦隊計畫」が正式に承認されたのは一九四〇年七月十九日、當時故大統領ルーズヴェルトが署名した最初の計畫案は艦隊勢力七割増強案にすぎなかつた

輸出入銀行案可決

(リスボン二十日發) ワシントン來電「上院は下院を通過した輸出入銀行の融資限度を二十八億弗擴大する法案を二十日可決、大統領の署名を求めためホワイト・ハウスに廻附した

ブレトン・ウッツ協定可決

(リスボン二十日發) ワシントン來電「米國上院は十九日ブレトン・ウッツ協定を六十一票對十六票で可決した

國際食糧農業機構に参加

(リスボン二十一日發) ワシントン來電「上院は米國の國際食糧農業機構への参加案を二十一日可決した、右機構に参加決定した國は現在二十三ヶ國に上つてゐる、米國はこれにより初年度六十二萬五千弗を、その後毎年二十五萬弗をそれぞれ右國際機構に據金することになつてゐる

陸海軍省統合問題再燃

(リスボン二十日發) ワシントン來電「陸海軍兩省を整理統合して國防省を設置せんとする案は、米國議會方面並びに關係當局者のかねてから支持するところであるが、ワシントン來電によれば、太平洋戰の進展に伴つてこの問題が再燃してゐる即ち下院戰後軍事政策委員長ウツドラムは、二十日「十月の議會再會と共に國防省設置問題が粗上に上るだらう」と語つてをり、この案はアイゼンハワーを始め陸軍長官スチムソン、陸軍次官パターソン、國務長官バーンズが支持してゐるが、海軍側の一部に難色がある模様である

下院休會に入る

(リスボン二十一日發) ワシントン來電「下院は二十一日休會に入つた、再開期日は十月八日の豫定、一方上院は「國際憲章」批准後休會に入ることになつてゐる

コ國大統領辭職

(リスボン二十日發) ボゴタ來電「コロンビア大統領アルフォンソ・ロベツは十九日辭職した



ドイツ資産を拂拭せよ

—キルゴア委員會報告—

米國上院陸軍委員會戰時動員分科委員會(別名キルゴア委員會)は最近歐洲を訪問調査を行つた結果に基き第一次報告書を作成、七月九日日本委員會に提出した、要旨次の通り

△不死身の獨工業經濟

「ドイツは現在、第一次世界大戰の終了した一九一八年當時よりも大なる戰爭遂行力を有してゐる。今回の本委員會の調査は豫備的なものに過ぎず、ドイツが將來戰爭を始めるに必要な全資産を拂拭するため斷行すべき政策並びに統制について更に十分な調査が必要だ、ドイツは敗れたがなほ世界平和の一大脅威として殘存してゐる、一世紀の間に二回に亘つて慘禍を極めた戰爭を惹起したドイツ人は早くも三度世界征覇を企て始めた、かかる計畫の芽生えを拂拭し、ドイツが戰爭を始める可能性を根絶しなければ、如何なる平和對策も到底成功は覺束ない、これこそ歐洲の平和保持には不可避の條件である、今次大戰中にドイツの二名の陰謀者が發見した事實は米英ソ三國の結合がドイツの敗北を齎す決定的な武器であつたといふことだ、ドイツ人は最後まで、この鞏固な結合を破らうと必死の努力を傾けた

今回本委員會はドイツが將來更に戰爭を開始し得る莫大な資産を有してゐる事實に關し詳細な證據を突き止めた、かかる資産を拂拭するには戰場においてドイツを破つたと同様の固い決意と聯合國間の結合が必要である、次にドイツが現在、ほぼ所有する重要資産の主なものゝを擧げよう

- (一) 世界第三位の工業經濟
- (二) 巨大な工業復興力
- (三) 經濟的、政治的豫備力の全世界にわたる組織網

(四) 諸外國經濟に滲透する通商組織  
(五) 戰場における敗北を取返すため國內主要工業家、軍人及び政治家によつて完成された侵略技術

ドイツは實に半世紀の間にユンケルの工業家の一味によつてその經濟を戰爭遂行機關として發達せしめられた工業界の一巨人だ、例へばドイツの鐵鋼工業は世界第二を誇り、二千五百萬噸の生産能力を持つが、これは小規模な補修を加へるだけで活動を續けることが出来る、第一次大戰終了後今次大戰勃發までにドイツは全世界に亘る經濟上政治上並びに諜報上の出先機關を設置した、軍事的に勝利を得ると同時にドイツは占領地諸國の經濟に完全に滲透したため、ドイツ勢力圏の攪亂は至難の業となつたのである

△隠れたる戰爭挑發者

殘存したドイツ資産を總動員して第三次戰爭を企圖するドイツは、今聯合國をしてドイツが完全に打ちのめされたと思ひ込ませようと努力し、かつドイツが嘗て第二次世界大戰を準備中に侵略企圖遂行に役立つたかかる經濟戰技術を再び利用しようとしてゐる、ドイツのばら撒く偽瞞の主なものにはドイツ・カルテルと諸外國の獨占企業との間の關係網が國際貿易及び工業發達に不可缺少のものであること、ドイツの科學及び科學者が人類進歩の要具であること、及び聯合國はドイツ本國を恐れる以上に相互に警戒すべきであること等だ

ドイツ工業が主として基本工業關係の多數の多角複合企業及び國內獨占企業によつて支配されてをり、かかる多角複合企業の代表者がユンケル、ナチ黨員と共にドイツの主な戰爭挑發者である事は明かだ、或ひは計畫的破産、或ひは政府補助金關稅障壁などによつて準備を進め、國際カルテルを十分に利用してドイツ人は犠牲者と見込んだ國の武装解除を行ひ、かかる犠牲者の助力によつて自己の戰爭機能を完成させた、最後にこれらの準備工作に手を出したのがヒトラーとナチ黨だつたのである

このカルテルと獨占企業勢力こそ最初は秘密裡に後には公然とヒトラーを援助し、世界征覇の野望を達成せしめようとしたのだ、これ等ドイツ工業家の多くは平和産業を基本とする工場の再開を提案してゐるが、彼等こそ將來第三次戦争を始めようといふ計畫の主謀者である

本委員会は調査の結果ドイツ經濟が戦争經濟として發達し、その工業能力の大半が、戦争によつても破壊されずに残存してゐること、ドイツが第三次世界大戦のため動員し得る國際商業關係及び經濟上、政治上並びに謀報機構の世界網を有すること、ドイツの主要工業家が軍人、政治家、ナチ黨員と同様戦争犯罪者であるのみならず、世界征覇を目指して努力を續けて來たナチ黨を初期から積極的に支援したものの一員であつたこと等を發見した

右發見の結果到達した結論は、米英ソ三國がヤルタ協定において樹立した政策、即ち「ドイツ軍國主義並びにナチズムを破壊し、再びつぎの世界大戦を始めることが出來ないやうにすること」の實行が急を要するといふ點だ

かかる報告を今後十五年間に亘り毎年提出せしめるため諸般の準備が必要だ、更に最初の三年乃至五年間は年四回に亘る中間報告の要があり、第一回年次報告は一九四六年一月一日に行ふを可としよう

### ドイツ工業破壊の程度

「タイムズ」紙ワシントン特電

六月二十八日

外國經濟院長レオ・クローリーは聯邦經濟局の指導下に行はれたドイツの戦争再開能力に關する二十九の研究の結果を要約發表したが、研究報告は次のやうな結論を下してゐる

ドイツは今日なほ自己の經濟、工業力の大半を保有して居り、唯それを今直ちに第三次大戦開始のため使用出來ぬだけである、ドイツの現在有する經濟、工業力の精密な評價は未だ行はれてゐないが、現在知られてゐる材料だけでも、ドイツを爲すままに任せ、經濟的、工業的武装解除を行はぬならば、五年以内に一九三九年

當時よりも遙かに有力な軍備を有するに至るであらうことを示してゐる

クローリーの報告によれば、聯合國の對獨爆撃は確かに目的を達成したが、ドイツの工場の大半を破壊し、工業上の戦争再開力を永久に撃破乃至拂拭するには至らなかつた、従つてドイツは現在依然として龐大な規模の工業生産設備を保有してゐる、染料及び化學工業の生産施設は今日なほ完全操業の可能な状態に在り、大鐵鋼爐も殆ど全部直ちに使用し得るか、或ひは極く一部を修理すれば使用に堪へると思はれる、窒素工業の生産能力も大半は残存して居り、その再建は極めて容易であらう、コーク、アルミニウム、石炭の生産能力はむしろ増加してゐる、工作機械については、クローリーの報告は情勢を要約して、ドイツは米國に次ぐ世界第二の軍需生産用工作機械の製作工場だと述べてゐる、クローリーは更に、聯合國はドイツを長期占領し、嚴格な工業統制下に置く覺悟が必要でドイツ處理に關する他の措置はこの根本政策に從屬せしめねばならぬと主張する、しかし統制措置は個々の生産手段のみならず戦争再開力の經濟的基礎全體に向けられねばならぬが、これは懲罰乃至報復の意味ではなく、安全保障の手段に過ぎぬと述べてゐる、彼は又もしドイツが六箇月長く持ち堪えたならば、V何號かでニューヨークを攻撃することが出來たかも知れぬと附言してゐる

### ビツツバーク回航修理

(リスボン十八日發)米第三艦隊は去る六月五日太平洋で颶風に襲はれ艦艇二十一隻以上が被損し、巡洋艦ビツツバークは艦首百呎をもぎとられると言ふ大損傷を蒙り目下修理中と發表されたが、ワシントン來電によれば米海軍省は十四日次の通り發表した

ワシントン州ビュージェット・サウンドの海軍工廠は目下ビツツバークが取りつける新しい艦首を製作中で、同巡洋艦はグアム島から近くブレマートンの海軍工廠に回航される筈である



昭和二十年七月廿五日(水)  
第三四九三號

# 同盟通信 海外電報

(170)

今年八十九歳になる、今はなき「フランス國家」の元主席フイリツプ・ペタンの公判は二十三日からパリのバレ・ド・ジュスチスで開延された、延びのびになつてゐたこの公判が、いよいよ開延に決した事情は主として左翼抗戦派の強硬な主張に基くもので、政府としては出来るだけ、この公判を延期して、出来れば有耶無耶に葬り度い希望がなかつたともいへない、それはペタン個人によつて表象化されるフランス右翼の反撥を惧れると共に、それよりもなほ恐ろしいのはフランス民衆のペタンへの同情が、この公判を契機として如何なる反動を下・ゴール政府に及ぼさないものでもない心配があつたからである、公判に付きさないならば、同様な反抗が左翼から勃發する惧れがあり、政府としては進退兩難に陥つたわけだ



しかし、先の地方選挙で左翼の勝利が一應確立された以上は、この裁判はどうしても開かねばならぬ破目に政府は迫込まれたのである、左翼陣營ではペタンがフランスの右翼勢力を人格化した代表的人物として元帥に憎悪を集中してゐるのだ

右翼は右翼でペタンを利用することによつて、彼に集つてゐる國民的同情を自派の勢力伸張に利用しようとしてゐる、元帥としてはよい迷惑かも知れないが、これが彼に負はされた運命であつてみれば致し方もない

ペタン裁判の特質は個人の有罪無罪よりも國民の一半が、國民の他の半分を断罪しようとしてゐるところにある、人呼んで、これを第二の「ドレ」フュス事件だといふのはその故である、ド・ゴールとしては元帥を生かしても、殺しても、國民の一半からは恨みを買はざるを得ない破目になつてゐる、ド・ゴールの立場はそれでよいとして國民の半分が他の半分を裁判する不幸は革命以來のフランスの不幸がまだ終つてゐないことを意味しその方が一層重大なことである

## ソ聯學士院々長更迭

(モスクワ廿三日發) ソ聯邦學士院は十七日院長コメロフ博士の辭表を受理、後任に學士院會員ヴ・アヴィロフ・セルゲイ・イヴァノヴィツ博士を満場一致推薦した、イヴァノヴィツ博士は一八九一年モスクワで生れ、モスクワ大學で物理學を専攻、一九三〇年以來學士院會員で、特に光學界の權威として知られ、ソ聯の軍事光學を世界的水準にまで昂揚せしめたのは一に同博士の賜といはれてゐる

## 【目次】

- チャーチル歸國か……………二〇九四
- 米大統領も歸國を急ぐ……………〃
- ドウリツトル着任……………〃
- 波議會大赦令案可決……………〃
- ペタン公判始まる……………〃
- 東亞問題を第一議題に……………二〇九五
- ソ聯の立場を表明……………〃
- ペタン公判は延期せず……………〃
- バクー油田を更新……………〃
- ソ聯代表、歐洲食料難を説く……………〃
- 米戰時産業能率低下を危惧……………二〇九六
- 完全雇傭法案を支持……………〃
- 召集解除二十萬……………〃
- 對日戰に米兵再教育……………〃
- 重慶インフレ對策……………二〇九七
- マウンントバツテン、マツカーサー會談……………〃
- 再編補給部隊比島着……………〃
- 【特輯】
- フランス短信集……………二〇九八
- 【資料】
- 數字からみた米國戰時經濟……………二一〇〇

## ルールにおける炭田の現状

(リスボン二十三日發) 放送によれば目下米英佛蘭四國の炭坑關係技術者は、歐洲における未曾有の石炭不足を克服するため、ルール炭田の石炭を最大限度に開發すべく必死となつてゐるといはれる、現在ルールにおける石炭産額は一日約四萬噸でこれは以前に比し約十分の一程度といはれ、また現在操業してゐる炭坑は百二十六であるが、七月末までには十八ヶ所の炭坑を除くほか全部、復業する見込みである

## チャーチル歸國か

(ストツクホルム二十五日發) ロンドン・ロイター電によれば三頭會談は二十三日も續行されたとのことであるが、ベルリン電報は米英ソ三代表部とも一切緘黙してゐると報じてゐる、唯ベルリンからのロイター電は二十六日の英國總選舉投票結果の發表時期を劃して三頭會談に關して少くとも中間發表があるべく、チャーチル首相は一旦歸國するだらうとして次の通り報じてゐる

總選舉の結果發表の際にチャーチル首相が國を外にしてゐるといふことはあり得ぬから、二十日までに會談が完結しなければ、會談を中止してチャーチルは一旦歸國しよう、その場合三首相は中間的聲明を出すかも知れない

## 米大統領も歸國を急ぐ

(リスボン十九日發延着) 米國大統領トルーマンは三頭會談終了後ロンドンその他の歐洲各地を歴訪する豫定と報ぜられてゐたが、「ニューズ・クロニクル」紙ワシントン特電は太平洋戦局と關聯してトルーマンの急遽歸國説につき次の通り報じてゐる

「ワシントン・ポスト」紙によればトルーマンは歐洲各市訪問の豫定を取止め、急遽歸國することに決した模様で、右は對日戦に關係があるものと信ぜられる、太平洋戦局はここ六週間が重大で、大統領が歸國を急ぐのも背かれよう

## ドウリットル着任

(リスボン二十三日發) グラム島來電によれば米第八航空部隊司令官ドウリットルは二十三日太平洋某基地に着任したといはれる

## 波議會大赦令案可決

(ストツクホルム二十三日發) ワルシャワ放送によればポーランド國會は二十三日政治犯並びに行政犯に對する大赦令案を可決したといはれる

## ペタン公判始まる

(リスボン二十三日發) パリ來電ニ元フランス國  
家主席元帥フィリップ・ペタンに對する國內治安

陰謀、對敵通謀罪に關する公判は二十三日午後、パリ高等法院で開廷されたが起訴理由書の朗讀後、僅か四十五分で、法廷の大混亂のため閉廷された。ペタン元帥はこの日元帥の制服に、ヴェルダン戦で得た最高勳章一つのみを胸に着けて出廷、起訴理由書の朗讀が済んで後「本法廷はフランス國民を代表せず、従つて如何なる質問にも答辯の義務がない」と主張、一切の發言を拒絶した、辯護士側も「一八七五年の憲法は今なほ有効であり、従つて元帥を裁判する權能は舊憲法による上院以外にはない」として今回の裁判の合法性を否認したが、これに對して檢事側は、「一八七五年の憲法を組織的に無効ならしめたのは元帥である」と應酬、法廷は大混亂に陥り遂に午後六時開廷後四十五分にして休廷が宣せられた、ペタン元帥の抗辯内容要旨は左の通りである

余に權力を與へたのはフランス國民であり、余はフランス國民に對する以外には報告の義務を有しない、余はド・ゴールが外にあつて抗戦を續けてゐる間、傷ついたけれどなほ生存したフランスに居残つて解放の準備をととのへたものである、諸君が余を斷罪するのは無辜の人間を罪するものである、諸君の斷罪は神と後世によつて回答されるであらう、余は自らの良心と余がフランスに残した想ひ出とをもつて十分に満足する

法廷の内外には約一千名の護衛憲兵、巡查が配置され警戒嚴重を極めたが、公判廷は開廷早々より怒罵の聲が充満して、收拾つかず遂に休廷の止むなきに至つた、元帥が退廷に際して傍聽席にあつた一大尉が突如進み出で、恭々しく元帥の手に接吻したのは特に一般の感銘を深からしめた

(リスボン二十二日發) AP・パリ電ニ八十九歳のペタン元帥は二十二日パリ高等法院の特別室に引致された、愈々二十三日より裁判を受けるが、裁判所はレオン・ブルーム、エドワール・ダラジエ、エドワール・エリオ、ポール・レイノーの四元首相及びアルベール・ルブラン元大統領以下九十名に及ぶ證言を徴する筈で、フランスの元首が法の裁きを受けるのはルイ十六世に對する斷罪以來のことである

### 【三頭會談】

#### 東亞問題を第一議題に

(チエリツヒ二十二日發) ポツダム會談の内容は、所謂「ニューズ管制」のため殆ど外部に傳へられないが、米國大統領ハリイ・トルーマンの提唱で東亞問題が議題に上つてゐるらしくUPのポツダム特派員メリマン・スミスは次の通り報道してゐる。

大統領トルーマンは東亞問題を議事日程の劈頭に掲げることについてスターリン元帥、英國首相チャーチルの同意を得るに成功した、トルーマンは英ソ兩國の首班に對し條件を押し付けはしなかつたが、目下太平洋で費されてゐる人命の犠牲を出来るだけ早く打ち切らねばならぬことを兩人に諒解させた。

更に「デーリー・メール」紙のワシントン特電は次の通り報道してゐる。

大統領トルーマンは太平洋に近く第一級の事件を豫想してゐるが、ポツダム會談で即時東亞問題を検討することについて同意を得た、トルーマンは殆ど一時間毎に電話で國務省當局、特に東亞の専門當局と協議を重ねてゐる、國務省當局もトルーマンが出發に先立ち東亞政策について具體案を決定したことを否定しない。

#### ソ聯の立場を表明

(ストックホルム二十二日發) I・N・S通信社のポツダム特派員は十八日次の通り報道してゐる。ソヴェト代表團筋ではスターリン元帥は日本がドイツのやうに叩き潰されるのを望まぬと説明してゐる、代表團筋は「スターリン元帥は戦後も日本が十分な國力を蓄へ、東亞における米國の勢力が増大するのに對し、緩衝的役割を果すことを希望してゐるが、これ論理の當然だ」と洩らしてゐる。

### 【歐洲】

#### ペタンの公判は延期せず

(チエリツヒ二十二日發) パリ來電「ペタン元

帥の公判は八月四日まで延期されたといふ噂が傳へられてゐるが、フランス假政府は豫定通り来る二十四日パリ控訴院第一法廷で行はれる旨二十日發表した。

#### バクー油田を更新

(ストックホルム二十二日發) 二十日のモスクワ放送によれば、ソヴェト政府は龐大な資金を投じてバクー油田の更新に乗り出すに決定したといはれ、差し當つて古い油井を再開、新油井を掘鑿し最新式の裝備を施す豫定と傳へられる。

#### ソ聯代表、歐洲食糧難を説く

(リスボン二十一日發) ベルグラード來電「アンラのソ聯代表團長ミハイル・セルゲイチーク氏は歐洲諸小國に對するアンラの救濟事業が名目だけで實質的には殆ど行はれてゐない事實を指摘し、米國のアンラ本部の怠慢振りを痛烈に非難して、二十一日次の通り言明した。

「ワシントンにある合同配給委員會の諸氏が一日でもよいからユーゴスラヴィアで過すならば、現在の不十分な食糧供給を繼續することが出来なくならう、歐洲に對する食糧供給が如何に不十分であるかは、歐洲の死亡率が端的に裏書してゐる、ポーランド、チエコスロヴァキア、ギリシヤ、ユーゴスラヴィア及びアルバニアに對する食糧供給量はユーゴ一國分だけでも足らず、聯合軍連絡本部は本年上半期だけで四十五萬噸の食糧を供給すると公約したにも拘らず、實際には四分の一ちよつとしか供給されてゐない實狀だ、歸つて来る避難民の大部分がユーゴスラヴィアの道端でばたばた死んでゐるのは戦争のためではなく解放の齎した食糧難のためであることは、恐しい皮肉ではないか、ユーゴスラヴィアの民衆は麵麩と草を食つて生きてゐるが、ヴラセニツアでは、子供達は一におきに食べてゐる、もしも冬までに、救濟物資が到達しないならば、多くの者が餓死してしまふだらう。

戦時産業能率低下を危惧

(リスボン二十二日發) 近着の「タイムズ」紙所報ニューヨーク特電は、米國産業労働界が太平洋戦局に對する過度の樂觀から戦時産業推進の責任感薄らぎ、生産能率に影響を來す惧れはないかと大要次の通り報じてゐる

オハイオ州ゴム製造労働者の罷業のやうに一部罷業が軍事行動に直接影響したことも事實だが戦争遂行上罷業よりも遙かに有害なのは修理用船渠のやうに現實に必要な職場から従業員がどしどし他へ轉向しつつあることだ、問題は罷業参加人員数の幾何ではなく、罷業が増加傾向にあることである、この事實は二個の危険因子を孕む、第一は戦時産業より平時産業に切換へる正規の計畫を目茶苦茶にすることであり、第二は結局その對策として防遏立法に出なければならぬ結果勞働不安を増加することである

完全雇傭法案を支持

(リスボン二十二日發) ワシントン來電 上院銀行委員會は現在マレー、ワグナー兩議員提案の完全雇傭法案を審議中だが、戦時動員局長官ヴァインソンは同法案を支持して次の通り述べた

本法案は米國の自由競争的經濟を促進する全面的經濟政策の必要缺くべからざる第一歩である勿論米國の産業家は物資を生産し、労働者に職場を提供しよう、しかしながら労働によつて生産される物資を吸収すべき市場創設の機會を自由放任しておくわけにはいかない、即ち資本家労働者乃至農家に委せておいただけでは高水準の生産と雇傭とを確實に維持することは出来ない、この場合にはどうしても政府が全國民の利益を代表して乗り出さなければならぬ

因みに完全雇傭法案は就業状態が一定の限度以下に落ちる場合政府が公共事業に乗り出して就業の最低限度を維持することを規定してゐる

海軍損害 十三萬

(リスボン二十二日發) ワシントン來電 海軍省

は開戦以來の米海軍兵員損害を二十一日次の通り發表した

戦	死	五〇、五三四
負	傷	七一、〇五二
行	方不明	一一、五一八
捕	虜	三、七六一
合	計	一三六、八六五

召集解除 二十萬

(リスボン二十一日發) ニューヨーク來電 陸軍次官パターソンは二十一日次の通り言明した

米國陸軍は毎日四千名の割合で歐洲歸還陸軍兵士の召集解除を行つてをり現在までに解除された兵員は約二十萬に達する

對日戦に米兵再教育

(リスボン二十日發) ワシントン來電 米國地上部隊司令部は二十日次の通り發表した

歐洲戦域から新たに太平洋戦域に派遣される米軍將士に對して陸軍は廣汎な訓練を施すことになつた、訓練は一週四十四時間とし一般軍事教練、講義等を行ふがこのうちには日本軍の戦法日本軍の兵器、軍裝、標識の識別法を始め太平洋方面で一般に米軍が使用してゐる兵器の操作法及び熱帯病の豫防法等が含まれてゐる

空軍日創設

(リスボン二十二日發) ワシントン來電 陸軍省は、陸軍航空本部長アーノルドが八月一日を「空軍日」と定めた旨發表した

ペルー新大統領は左翼

(リスボン二十二日發) 二十一日ペルーの新大統領として國民選挙當局から發表されたホセ・ルイス・ピユスタマント・リヴェロは自由黨並びに左翼の候補者として去る六月十日の選挙において三十萬五千五百九十票對十五萬七百二十票の壓倒的得票をもつて保守派候補ギユネタを破り當選したもので、新大統領はボリヴァイア公使、ウルグアイ大使等の經歷を有する

【東 亞】

重慶インフレ対策

(リスボン二十二日發)重慶行政院長宋子文は二十日の國民参政會において、米國からの大量の金塊輸入につき取極めが成立した旨言明したが、二十一日のAP重慶電は「重慶政權は市中に氾濫する紙幣回収の目的をもつて賣出すために右金塊を用ひるのだらう」と報じてゐる、AP電は更に「重慶治下最近のインフレは未曾有の域に達し、同政權がこの程金賣を停止したため米弗に對する闇相場の奔騰となり一時は一對三〇〇〇とまでなつたが、今のところ一對二六〇〇とやや持直してゐる」と報じてゐる、米弗の公定相場一對一〇〇〇であり、もつて重慶のインフレが如何に深刻であるかが窺はれよう

マウントバツテン、マツカーサー會談

(リスボン十九日發)カルカツタ來電「東南アジア軍司令部は十九日次の通り發表した  
東南アジア軍司令官マウントバツテンは七月二日軍用機で印度からマニラに到着、同地でマツカーサーと三日間に亘る協議を行ひ先週印度に歸還した

再編補給部隊比島着

(リスボン二十一日發)マニラ來電によればイタリア作戦に参加した米第五軍の再編補給部隊がこの程イタリアから比島に到着したといはれる

【軍事情報】

噴射推進が齎す航空革命

(リスボン二十二日發)ヤングスタウン(オハイオ州)來電「米國ロケット協會書記エドワード・ペンレイは二十日次の通り言明した  
「噴射推進とロケット動力は航空に新高度と新速度を、航空機に新動力を、人類の生活には航空機そのものに劣らず重大且つ革命的な幾多の新装置を齎すだらう、海軍はロケットに一ヶ月一億弗を

支出し、陸軍もロケットを大規模に使用して噴射推進發動機並びに航空機の發達に數百萬弗を費してゐる現在、もはやロケット動力を將來の夢と見ることは許されない

戦後の新工業はロケット弾、ロケット發動機、噴射推進式航空機、ガス・タービン等の偉大なる戦争の産物から次々に生れ出るだらう、ロケット動力は遂には技術者をして時速千五百哩の航空機さへ製作せしめるかもしれない、そしてさうした航空機はガス・タービンと熱流推進と純粹のロケット發動機を綜合した動力で成層圏を飛ぶやうになるだらう」

P 38 高度新記録

(リスボン二十日發)ニューヨーク來電「ロッキード航空機會社は十九日夜同社製P 38「ライトニング」戦闘機が新型壓搾酸素マスクを使用して四萬四千九百四十呎の高空に達し米國の高度新記録を樹立した旨發表した

米國の安全燃料

(リスボン二十二日發)ニューヨーク來電「汎米航空會社技師長アンドレ・ブリースター並びにスタンダード石油中央技術研究所副所長E・V・マリーフリーは二十二日兩社發明の新安全燃料について次の通り發表した

百オクタン價ガソリンの全力を發揮せしめながらマツチの火を消すといふ航空機用安全燃料が出来てゐる、火のついた煙草を灰皿に入れ、そこへこの燃料を注ぐと火は消えてしまふ、運轉試験でも實用價值のあることが立證された  
新燃料の耐火性の祕密は高温揮發性だ、即ち華氏一〇〇〇〇度に達しなければ可燃性ガスを生じないのだ、通常高オクタン價ガソリンは遙かに低い温度で蒸發するのである、然し右新燃料は從來の氣化器では使用出来ず、氣管中に注入して壓縮操作中に生ずる熱をもつて氣化しなければならぬ、點火は從來通りの點火栓によつて行はれる



## ☆閣商人部隊極東へ

パリ版「ヘラルド・トリビューン」紙によると、嘗て閣市場で巾を利かした米國の補給部隊、別名「鐵道百萬長者」隊はアイゼンハワリーの摘發によつて重きは五十年の苦役まで宣告されてゐたが、太平洋戦域でひと働きするならば許してやらうといふアイゼンハワリーの粹(?)なはからひでいよいよ、その先發隊百十五名の「百萬長者」が六月始めマルセイユを東亞に向けて船出したさうである、彼らは軍用補給列車の抜き荷をして、しこたま掻込んでゐたものであるが、さて新戦場でどんな手際を發揮するか見ものだらう

## ☆一品料理の全盛

閣といへばフランスの閣もいよいよ、その濃さを増してきたらしく、食糧相のクリスチアン・ピノーは六月二十日、閣取引嚴罰の省令を出した、現在フランスの料理屋は一品料理で、肉か卵か魚の一皿切り、しかも肉は軍の酒保以外は、日曜か祭日の中食に限るといふことになつてゐる、かつてフランス料理の誇りだつた、牡蠣、鳥肉、兎肉は「贅澤品」で一般人の口に入らなくなつてしまつた、前なら五品の上に葡萄酒までもついた百二十五法が最高公定價で、たつた一皿といふのでは第一胃袋が承知せず、沁々贅澤の味は覺えるものでない嘆きをパリジャンは繰返してゐる

## ☆米新聞のバリ進出

フランス一帯、米國系の通信社の進出は「言論通信の自由」を看板に著しいものがある、「ニューヨーク・ポスト」紙も始めてパリに進出、七月四日からパリ版のタブロイドを出し始めた、珍しく夕刊紙で、いまままでに出てゐる「ニューヨーク・タイムズ」紙、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙、「シカゴ・トリビューン」紙のバリ版が各々朝刊であるのに對して一寸異色がある、編

輯責任者はポールスコット、營業責任者はロバート・パウルといふことである

## ☆レイノアの新提案

何か考へ、喋舌るか、書くかしてゐないと氣のすまない元首相ポール・レイノアは、ド・ゴールと極めて親密な關係にあり、入閣説まで行はれてゐるが、西歐洲經濟ブロック結成を提唱してゐる七月四日のロイター電によると、レイノアはこのブロックによつてアフリカの資源の共同開發を計りたいといふらしい、ロイターはこれに註釋を付けていつてゐる

フランスでは現在の悲運の原因は、ヒトラーが歐洲を掻き廻す前に、もつと開化的な植民政策を取つておかなかつたからだとの考へ方が有力になりつつある、レイノアの考へ方を支持するフランス人は、フランスがアルジェリア、その他の北アフリカ植民地の開發に當つて不在地主的搾取制をやめ、その工業化を計つてさへゐたならば、一九四〇年の悲運に遭ふ必要もなく、北アフリカに立籠つて十分戦ひ得たにちがひないと考へてゐる、解放以來フランスには植民地の開發發展を討議する協會——は譯名が變であるがソシエテ・プール・ラ・デイスキユツシオン・デュ・デヴロプマン・コロニアルと稱する協會——が生れて現在ではアメリカ商業會議所内に事務所を持ち、會員も次第に殖え積極的な活動をしてゐる、彼等の議論を約めると、フランスは英國に較べて僅か六分の一だけ狭いすぎない廣大な植民地を有してゐるが、二、三の本國在住フランス人に無限の暴富を積ましめてゐるだけで、一般人は英國人が、その植民地から如何なる富と利益とを引出してゐるか等には全然無智である、協會では目下佛領アフリカの農業の近代化、近代工業の開發、植民地在住民の生活水準の引上げ等の具體策を立案してゐる、英國と協力してアフリカ大陸を文明開化的に開發しようといふのも協會の計畫の一つである

實に結構なことだ、出来ればひと口乗つてもよいが、植民地を「人道的」にエキスポロイトする段取りがフランスに出来るまでに、英國やアメリカ

か「商業的」にフランスの植民地をエキスプロイトし盡してしまふかも知れぬ危険の方が大で、その故にこそフランスもあわててゐるわけだらうが全く改悛の時期が少々おそすぎたやうだ

### ☆政界茶碗あらし

レイノーで思ひ出したが、パリの夕刊紙「フランス・ソアル」は六月十八日、第三共和制の末期ド・ゴールとレイノーの関係についての素破抜き記事を掲げ、レイノーを抗戦陣營に驅り立てたのは、ド・ゴール自身であるかのごとき印象を與へようとしてゐるが、ド・ゴールもレイノーも共に兩者の關係は終始かはらず、一貫して同志的な結合を保つてゐたと釋明してゐる。「フランス・ソアル」紙によるとド・ゴールはレイノーを怒鳴り上げてフランス軍を北アフリカに撤退せしめる命令書をウエーガン將軍宛に書かせたといふのであるが、レイノーは「俺を怒鳴り上げたところで鏝一文出はしない、ウエーガン宛の命令書はド・ゴールが入閣する九日も前に、俺一人で勝手に出したものだ」といつてゐる、また「フランス・ソアル」紙は一九四〇年六月四日ツールの近傍のシツセーでフランスの首腦會議があつた際、ド・ゴールは上院議長ジャンヌネー、下院議長エリオ、内相マンデルに向つて、レイノーの尻を叩いて元氣を出させるやうに談じ込んだといつてゐるが、レイノーは「とんだ見當違ひ」だといつてゐる、「フランス・ソアル」紙の記事はド・ゴールにこまを擦るためにレイノーを曳きずり下したものがド・ゴールも周章して「この記事は自分の許可なく出たもので、不正確なものだ、自分のレイノーに對する尊敬は終始變つたことがない」とわざわざコミニエケを出した、ロイターはこの事件を稱してフランス政界「茶碗嵐」だと評してゐる

### ☆「不死」のボナール

ヴィシー政府の天文相アベル・ボナールは七月三日パリで缺席裁判のまま死刑を宣言されたが、當人はラヴァルと共にバルセロナにまだゐるらしい、甘い詩と、甘い小説と、甘い文藝批評をかいいて一九三二年アカデミー・フランセーズの會員にまで成上つた人間で、支那旅行記まで書いてゐる

ラヴァルとの腐れ縁で、色氣を出して政界に乗り出したのが身を破るもとであつた、アカデミーの會員は「不死」といふことになつてゐるが、これなどは死刑と共に、名前まで死んでしまふ組だらう、然し「スタンダールの戀愛生活」など相當調べの行き届いた名著だと稱せられてゐるので當人はどこまでも「不死」を信じてゐるかも知れない

### ☆一八七五年の幽霊

フランス政界はそろそろ秋の選挙の話に中心がうつりつつある、いまのフランスは第三共和制ともいへず、それでは何かといへば、誰も返事の仕やうのない鵝的な政體を有してゐるが、この秋の選挙で憲法會議々員を選挙し、正體を明白にしやうといふ論が行はれてゐる、スイスの「ブント」紙のバリ電は次の様に報じてゐる

急進黨及び右翼各派は總じて一八七五年の第三共和制憲法の維持論者で、先づ上下兩院議員を選挙し、それが合同で國民議會を構成し、そこで新憲法を審議したらよいといふ意見だが、大衆民主派デモクラツト・ポピュレルは上下兩院議員の選挙と同時に憲法制定代表を選んだがよいと主張し左翼の全部及び抗戰團體の大部分は勞働總同盟などでは立法議會即ち憲法制定議會といふ仕組みで單一化した選挙を行ひ政府はこれに對して責任を取るといふ風にしたいと主張してゐる、一般投票は全般的に不人氣である社會黨首レオン・ブルームは、その機關紙「ポピュレル」紙上で、政府はすでに秋の選挙に關しての法令案を秘密裡に用意してをり、それは左翼の主張とは對蹠的な内容を有するものらしいことを暗示してゐるが「ローブ」紙はこの政府案は一八七五年の憲法によつて國民議會(アサンブレ・ナシヨナル)を選挙し、この國民議會が憲法草案を作る、議會は十一月一日に召集する延期中の縣會議員選挙は九月に執行する、上院は舊法律通り間接選挙とし、下院は比例代表制で、共に十月選挙を行ふ

といふ風なものだと報じてゐるが、同時に註釋をつけて、この政府案は必ずしもド・ゴール政府の一八七五年の憲法を維持するといふ意圖を示すも

のではない、舊憲法を修正しようといふのであると稱してゐるが、「ボビュレール」紙は「ロープ」紙が報じた政府案には眞向から反対で、これは少數派が政府を利用することによつて、多數派の意志を屈服せしめんとするスキヤングルだと攻撃してゐる、果してド・ゴールが「ロープ」紙の報ずるやうな案を有してゐるかどうかは現在までのところ確める術もないが、ド・ゴールの取巻き連が一八七五年の憲法に多分の未練を残してゐることは事實である、半死にの幽霊がどこまでも祟つてゐるわけだ、左翼各黨のいふ立法議會アサンブレ、レジストラテールは、おそらくは上下兩院制度の廢止で單一議會の謂だらう、七月七日の閣議ではド・ゴールがこの左翼の要求に妥協する政府案を出したらしく、その後での政府公表でも特に「閣議決定事項は、政府部内の協力一致になんらの影響を有しない」旨謳はれてゐる位であるが、政府筋からの消息として「ド・ゴールの提案は極めて民主的で、舊套を脱したものだ」とつたへられてゐるからには、少くとも従來の兩院制度廢止位は決意したことであることが察せられる、して見れば左翼各派の宣傳戦も一應の効果はあつたわけだ、「ロープ」紙の特種は闇から闇へ葬られたわけだ、七日の閣議では、まだ問題の全部が解決されたわけではないので、引續き政府案の審議がつづけられるだらうが、何れにしても、一八七五年の憲法は生死の關頭に立つてゐるといつてよからう

### ☆ダルナンの告白

ヴァイシー義勇軍司令官として、ジャツク・ドリオと策動し、ドリオの不慮の死後、四十萬のフランス解放軍を率ゐてパリ進撃を夢見てゐたジョゼフ・ダルナンが北イタリアで捕へられたことは既に報ぜられた通りであるが、南ドイツからイタリアへとダルナンに従つたフランス義勇軍はたつた六百名だつたといはれる、この六百名の行衛は不明であるが、おそらくは山越えにフランス本國への潜入を企ててゐるものと解してよからう、内幾人が眞の「義勇兵」であるか判らぬが、アルプスに歸るフランスの地域が赤色マキの本據であると同時に白色マキの好箇の狩り場である事實から判断すれば、今後ともこの地方の治安の不安定はつ

づくものと見てよい、ダルナンはパリに護送されて「自分は北イタリアに七百萬マルクのドイツ紙幣、二千一百フランのフランス紙幣、一千個のフランス金貨をば軍資金としてかくしておいた」と告白してゐる、ダルナンの舊部下約三萬人はいま尙フランスに残存してゐるわけでダルナンの捕縛と共に、これ等のフランス右翼勢力の動搖は相當深刻なものがあらう

### 數字から見た米國戰時經濟

「ファイナンシャル・

ニューズ」紙

五月三十日

一九三九年における米國の生産高は八百八十億弗だつたが、一九四四年にはこれは一千九百八十億弗に増加した、弗貨の價值下落を考慮しても米國の生産力は八〇%方増加したわけである、一方戰爭關係支出は一九三九年には十億弗に過ぎなかつたものが、一九四四年には八百六十億弗に激増した、生産額と戦費との比率は三九年の二%に對し、四四年は四三%である、一九四四年の國民所得は一千六百十億弗これに對し國民の消費支出は九百八十億弗、貯蓄四百億弗だつた

七月一日をもつてはじまる一九四五―六年度豫算は歐洲戰の終了を顯著に反映してゐる、一九四一年の國庫歳入は稅收七十億弗、公債六十億弗、一九四五年は稅收四百五十億弗、公債四百九十億弗だつたのに對し、一九四六年は稅收四百十億弗公債四百億弗となり、開戰以來はじめて稅收が借入れ額を突破するに至つた

商業銀行における貯蓄額は一九三九年に比し倍増した、一九四四年末における預金並びに通貨流通額は一千五百十億弗だつた、而して要求拂ひ預金六百八十億弗、定期預金四百億弗、銀行外流通々貸二百四十億弗、政府資金二百十億弗であつた、一九四一年の聯邦準備銀行勘定の内容は準備二百億弗、預金百四十億弗、聯邦準備銀行券八十億弗、法定準備金八十億弗、準備率九〇%だつたのに對し一九四五年のそれは準備百七十億弗、預金百八十億弗、銀行券二百六十億弗、法定準備金百七十億弗、準備率は三九%となつた



昭和二十年七月廿六日(木)  
第三四九四號

# 同盟通信

(171)

ここ數週間ロンドン各紙の社會面を賑はしてゐるの「行列買ひ」問題だ、歐洲戦争が濟んでも民需物資は依然不足でどこかの店頭も行列で一杯だ當局は一體何をしてゐるのだといふのが各紙の主張だ、そこで青鞥派の流をくむイレイン・ロヴロツク女史が音頭取りで「主婦反行列聯盟」が出来今週末ロンドンのウエスト・エンドからシテイにかけて片つばしから通行人の署名を求め、ダウニング街十番地に乗り込んで行列廢止の陳情書をチャーチル首相に提出する段取りだといふ、こんな

實情だから東亞反攻作戦は職業軍人に任せ、一般の英國人は寧ろ風する馬牛も相及ばずといつた格好らしい、「ナチオナル・ツァイツング」紙のロンドン特電は七月二十日次の通り報道してゐる「東亞反攻作戦に對する英國の雰圍氣はブリア戦争當時に比べる事が出来よう、國內は出征兵士その家族ゴム會社のやうに直接戦争に關係ある事業家と、本格的な戦争が續いてゐることを早くも忘れて了つた大衆とはつきり分れてゐる、歐洲戦争が續いてゐる當時英國人があれ程苦難に堪えたのに今では戦前の安易快適な生活がなかなかかへつて來ないと不平たらたらなのは全くこのためだ、米人特派員諸君がロンドンへ來て見て以上述べたところと反對の印象を受けてゐるとすれば、米國人の戦意は更に一段低調であるに違ひない」



ボツダム會談の経緯も米英兩國民に或る程度幻滅の悲哀を與へてゐるのではなからうか、ロイター通信社のマイケル・フートは「ボツダムの鍵穴から覗き込むことさへ許されてゐないのだから、斷言は出来ないが疑念は免れない、もしボツダムで歐洲大陸の經濟的再生を中心に論議してゐるといふなら、會議の經緯を全世界に傳へて悪い理由はなからうではないか」と前提し、ケーンズ卿が「媾和條約の經濟的結果」や「媾和條約の改訂」等々の著書で述べてゐるところを引用し、「歐洲の時務は國境線の劃定でも勢力圏の決定でもなく各國民が家庭と食糧と衣類とを入手出来るやうにすることだ」とボツダム會談の頂門に一針を下してゐる

## 埃首相狙撃犯人死刑

(リスボン二十四日發)カイロ來電「エジプト軍法會議は今年二月エジプトの對樞軸國宣戰直後、エジプト首相アームッド・マヘル・パシヤを狙撃したマームッド・イサウイを取調べ中であつたが、二十四日同人に對し死刑を宣告した

## 【目次】

英總選舉で會談休會.....	二二〇二
米英紙對日問題を強調.....	〃
ペタン公判第二日目.....	〃
波亡命政權、統合政府を攻撃.....	〃
フランコ、「統領」を辭任か.....	二二〇三
西、改造後の初閣議.....	〃
希外相辭任.....	〃
佛、五公使館を昇格.....	〃
イランも波政府承認.....	〃
東亞問題で諸説紛々.....	〃
米燃料補給難を強調.....	二二〇四
上院「憲章」討論開始.....	〃
新重巡就役.....	〃
B 29搭乗員速成.....	〃
農作物二割減産か.....	〃
兵員輸送力不足に悲鳴.....	二二〇五
三十人乗り新旅客機.....	〃
閣絶滅に乘出す.....	〃
【資料】	
スターリン會見記.....	二二〇六

## 印緬方面米航空部隊司令官

(リスボン二十四日發)カルカッタ來電「東南アジア軍司令部は二十三日少將ハンドレーが今回中將ストラトメイヤーの後任として印緬方面米陸軍航空部隊司令官に就任した旨發表した、これに伴ひストラトメイヤーは兼職を解かれ在支米航空部隊司令官專任となつた譯である、なほハンドレーは印度、ビルマ方面空輸部隊司令官であつた

## 英總選舉で會談休會

(ストツクホルム二十四日發) ボツダム・ロイター電三頭會談は二十四日の會合をもつて休會に入り、英國首相チャーチル、外相イーデン、労働黨々首アトレーは共に二十五日ロンドンに向け出發することになつたが、一行は二十六日總選舉の結果を見た上で二十七日にはボツダムに引返すものと見られる、この間三國代表部の専門家は會談再開の場合の議題を整備し、更に會談の終局的報告書を準備することとならう、英國總選舉の結果が、保守黨労働黨何れの勝利に歸するにしても、チャーチル、アトレー兩人は揃つて再開後の會談に参加することとなるべく、アトレーは單に労働黨の代表といふより反對黨各派代表として常時會談に参加したのであつて、この事情は労働黨が破れた場合も變りない、また保守黨が破れたとしても、チャーチルは英國政界新發足の體制が整ふまで首相の地位に残り、その辭職は暫く後のことであらうから、これまた勝敗の如何に拘らず、會談の仕上げ工作のため引返すとみてよからう

## 米英紙對日問題を強調

(ストツクホルム二十四日發) 米英系報道陣は執拗に三頭會談において東亞問題、就中對日問題の議せられたことを報じてゐるが、二十四日もボツダムからのロイター電は「對日戰に關する米英三國間の決定は既に出來たやうだ」と報じ、またロイター別電は「米國では近く三頭會談において對日戰に關し何等かの發表が行はれるであらうとの印象が益々強められてゐる」と傳へてゐる、右に關聯して米英報道陣がソ聯の役割を強調する傾向のあるのは、ソ聯が對日反戰に参加するだらうとの謀略宣傳に出てゐるもので、目下のところ中立筋報道陣がこの種問題について沈黙してゐると對蹠的である

## ペタン公判第二日目

(リスボン二十四日發) パリ來電元ヴィシー政府主席ペタン元帥の公判は二十四日、第二日に入り元首相ポール・レイノー、エツアール・ダラディエの證言が行はれた、要旨左の通り

レイノー「余が一九四〇年ペタンの愛國心を信じたのは根本的な錯誤だつた、ペタンはジョツ

フル元帥の回想録を讀んでも判る通り始めからの敗戰主義者である、ペタンは一九三四年ツィメルグ内閣の陸相になつて以來權力に憧れてゐた、北部國境の要塞化に反對したのはペタンである、フランス敗戰の際北阿に亡命して抗戰をつづけることに反對したのはペタン、ウエイガン及びビシヨータンだつた、ボルドーで開かれたレイノー内閣最後の閣議で休戰賛成者十三名に對し北阿行き賛成は六名で自分の主張は破れたので辭職した

ダラディエ「國防を怠つたのはペタンの陸相時代であり、その結果ドイツがポーランド進撃を開始した際フランスには十分の武器がなかつた、リオンで自分が裁判された際國防怠慢は自分の責任であるかの如く非難されたが、その際、獨佛休戰の時フランスにはなほ二千機の新銳機があつたことが立證されてゐる、ペタンは一九四〇年五月二十七日、ベルギー軍がまだ戰つてゐるとき既に休戰することを考へてゐた

## 波亡命政權、統合政府を攻撃

(リスボン二十四日發) ポーランド統合政府の樹立と共にロンドンのポーランド亡命政權は自動的にその機能を停止するに至つたが、政權の一部の者は依然執拗に反統合政府活動を繼續してゐる模様で、以上の點を「ニユーヨーク・タイムズ」紙ロンドン特派員は次のやうに傳へてゐる

「在ロンドン、ポーランド亡命政權の一部官吏は依然として反統合政府運動を繼續してをり、ポーランド軍司令部も参加して、猛烈な反ワルシヤワ政權宣傳を行つてゐる、これを一番氣に病んでゐるのは英國政府だ、英國側では前ポーランド大使エドワード・ラシンスキーが反統合政府運動の首腦者であると睨んでをり、新大使の着任後に同大使と協議して斷乎たる處置をとるだらう、事實亡命政權は解體され關係官吏も三ヶ月の俸給の前拂ひをうけて解職となつたのであるが、彼等はあくまで亡命政權の存在を希望し、スイアトポールと呼ぶ通信社を彼等の情報省とし、これを通じて反統合政府運動を續けてゐる、一方ポーランド軍指導者は過去二週間に亘り英國政府の統合政府承認を猛烈に非難して亡命政權の擁護運動を行つてゐる有様だ」

【歐 洲】

フランコ「統領」を辭任か

(リスボン二十三日發) マドリード來電「フアラ  
ン」へ黨政治指導會議は二十三日フランコ統領出席  
の下に緊急會議を開催したが、フランコは席上同  
黨指導者としての地位を退き「統領」の職を放棄  
する旨の計畫を發表したと傳へられる、なほフラ  
ンコは統領辭任後も引續き事實上フアランへ黨の  
一般指導に當るとみられてゐる

西、改造後の初閣議

(リスボン二十二日發) マドリード來電「スベ  
イ」改造内閣は二十二日正式に成立、フランコ首相  
司會の下に初閣議を開催した

希 外 相 辭 任

(リスボン二十三日發) アテネ來電によればギリ  
シャ外相ジョン・ソフィアノブローは二十三日  
辭表を提出したといはれる

佛、五公使館を昇格

(チューリッヒ二十二日發) パリ來電「フランス  
政府は二十二日ポーランド、チェコスロヴァキア  
セルビア、ギリシャ、メキシコの五ヶ國に駐劄す  
る公使館をそれぞれ大使館に昇格する旨發表した

イランも波政府承認

(リスボン二十三日發) テヘラン來電「イラン政  
府は二十三日、ポーランド新政府を承認した旨發  
表した

【三頭會談】

東亞問題で諸説紛々

— 米英新聞界の論調 —

(リスボン二十三日發) 三頭會談の議題として、  
東亞問題が取り上げられてゐることは、米英電報  
の頻々として報ずるところであるが、報道内容は  
全く思ひ思ひで何れも臆測の域を出ないやうであ  
る、報道の主題はスターリン議長・宋子文會談に

より準備されたソ聯の對支政策及び太平洋戦局と  
脱み合せた米英の東亞政策であるが、結局支那内  
部の複雑な政情と米英ソ三國の相互利害關係を如  
何に調和するかについては未だ釋然とした結果に  
到達せぬ様子である

以下主要な論調を挙げれば、先づ米のウォルタ  
ー・リッブマンは「ヘラルド・トリビュン」紙  
上、重慶統治圏と滿洲國との間に儼として存する  
延安勢力を指摘し

支那問題の解決には、内争を解決することが先  
決課題だが、ソ聯と支那の間には明確な諒解が  
成立し、米國がこれを承認しない限り極めて緩  
漫な聯邦國家方式で支那を統合することすら覺  
束ない

と述べてゐる

或ひは赤色勢力圏が外蒙から黄河まで伸張する  
のではないかとの惧すらあり、米英當局は宋子文  
のモスクワ工作が赤色勢力南下の脅威を阻止する  
上に効果あることを期待してゐるやうだが、右に  
つき米誌「タイム」は

スターリン・宋子文會談で或る程度取引の基礎  
が成立した  
と報じてゐる

リッブマンはこの問題を取上げ、スターリン議  
長、宋子文兩者にとつて満足な取極めが可能であ  
ると想定しても、果して宋子文及び重慶政權が廣  
大な支那領土に對して何ほどの權力を有するか、  
又米國にしても一般的協定を實際に動かすだけの  
實力があるかは疑問だと述べてをり

「デーリー・テレグラフ」紙外交記者は  
三頭會談における東亞問題に關しては全くの沈  
黙が守られてゐるが、現局に對するソ聯の積極  
的參加が議せられたに相違ないとの印象愈々大  
である

と報じた、これに對し「ルウエー新聞」「ダグス・  
ポステン」紙の社説はソ聯の態度につきやや觀點  
を異にし次の通り述べてゐる  
スターリン議長は東亞において速かに平和を實  
現し、將來同方面における紛糾を日本と共に避  
けたいとの意向である

## 【米 國】

### 燃料補給難を強調

(リスボン二十二日發) ワシントン來電 石油工業戰時評議會は二十二日つぎの通りの報告を發表した

「太平洋戦は今や専ら燃料の戦ひとなつたが、この結果米國と太平洋前線とを隔てる距離の増大がこの戦ひを決定する重大な要素の一つとなつた、例へばサンフランシスコと沖繩との距離は六千九百哩、更にメキシコ灣岸の米國精油工業地帯からファイリピンまでの距離は實に一萬一千哩にも達する、これに對し對獨戦における米國と英本國との距離は僅か三千哩に過ぎなかつた、この長大な距離のためにメキシコ灣から太平洋戦域に至る油槽船一隻が復航を含め消費する燃料の量は二萬一千バレル、これにたいし歐洲戦の場合は僅か八千バレルに過ぎなかつた、今後太平洋戦はますます燃料戦の性格を深めてゆくであらう、たとへ今後ガソリンの消費額が若干減少するにせよ、これは一方におけるディーゼル油その他燃料油の消費激増によつて完全に相殺されてしまふであらう、かくて米國は今後原油並びにその製品にたいする未曾有の龐大な需要を賄はなければならぬ、對日戦の繼續に伴ひ米國の一般市民は今後いよいよ燃料油の不足を痛感しなければならぬだらう」

### 上院憲章討論開始

(リスボン二十三日發) ワシントン來電 上院は二十三日「國際憲章」の討論を開始した、同憲章は今週末までに批准を了する豫定といはれる

### 新重巡就役

(リスボン二十二日發) フィラデルフィア來電 新重巡ロスアンジェルス號(一萬三千噸)は二十二日、フィラデルフィア海軍造船所で就役した

### B 29 搭乗員速成

(リスボン二十二日發) タンバ(フロリダ州)來電 フロリダ州マクデイル飛行場司令官大佐シメソンはB 29搭乗員の訓練に關し二十一日つぎの

通り言明した

當飛行場では今回B 29搭乗員の訓練期間を三月から十週間に短縮、これにより從來一ヶ年間に戰闘搭乗員一組五十名のもの四組を出したのに對し今後は五組を養成し得ることになつた

### 農作物二割減産か

(リスボン二十三日發) ニューヨーク來電 米國の本年度農作は開戦以來始めての不作となり、目の食糧不足の重大な原因をなしてゐるが「ニューヨーク・タイムズ」紙記者J・ウォルツは二十二日の同紙上に農作不作の原因を天候の不順に歸し次の通り報じてゐる

「米國の農民は米國內ばかりでなく國外の食糧不足をも克服せんとして増産に大奮だが、しかしこの折角の努力も過去四ヶ月にわたつた氣まぐれな天候のために妨害を受け、本年度の農産物の收穫は豫想以上に減少することになりさうだ、今年の天候は記録の上に現はれたうちでも最も尋常でない天候と呼ぶべく、たとへば普通の年ならば五月末から六月初めにかけて訪れる暖氣が今年は早くも四月に訪れ、これがため果樹類の若芽が早期に過ぎ、あとで訪れた寒氣によつて甚大な霜害を受けた、この氣まぐれな天候は玉蜀黍の作柄にも影響を與へ、その成育は大體平年に比し十五日から三十日遅れてゐる

さらに大西洋岸地帯に降り續いた長雨および中西部玉蜀黍、小麦地帯が平年の乾季に濕潤がちだつたためこれまた農作物の生育と收穫とに悪條件となつた、氣象局の説明によるとかかる氣まぐれな天候、即ち異常な降雨量或ひは時期はづれの濕氣乃至乾燥または暖氣と寒氣とはすべて異常な大氣の運動の結果とされてゐる、玉蜀黍の作柄不良はその他の食糧生産に深刻な影響を齎すべく、特に家畜の成育期における飼料不足によつて豚肉及び牛乳の大減産とならう、結局今年の冬には牧畜業者は青乾し飼料に依存しなければならぬからう、かくて今後如何に好條件に恵まれようとも玉蜀黍の收穫は昨年度の三十三億七千五百萬ブツシエルに比較して五分の四の不作が豫想される、ただ農務省では小麦の豊作を豫想してをり天候不良にも拘らず小麦の作柄は十億ブツシエル以上の増産を期待することが可能であり、これによつて若干玉蜀黍の不作を補ふ事ができるかも知れない」

兵員輸送力不足に悲鳴

(リスボン二十一日發)ワシントン來電「鐵道協會長ジョン・ペレーは二十二日イリノイ州選出上院議員スコット・ルーカスに宛てた公開書翰において、米軍兵力の太平洋戦線への再展開に要する老大な鐵道輸送の困難を指摘して次のやうに述べてゐる

「我々は現在の兵力を歐洲に集結するのに四年かかつたのだが、今これを十ヶ月で再展開しなければならぬ、本年の米國內の鐵道旅客数は戦前の五倍近くに増加してゐるのに對し、寢臺車の數は事實上同數といふ状態だ、また今年の鐵道輸送事情を第一次大戦の當時に比較すれば、旅客及び貨物の量が略々二倍半になつてゐるのに反し、車輛の數は約三〇%減少してゐる、日本軍の眞珠灣攻撃當時客車四百輛が發注されてゐたが、戦争勃發によつて完成に至らず、以來新しい客車の製作は許可されなかつた、ドイツの敗北後、戦時生産局は軍の専用充てため千二百輛の特別兵員用寢臺車の製作を許可した、しかしこの車輛の引渡は九月に入らなければ實現されないだらう、戦時輸送局は更に兵員用寢臺車を浮かすために七百軒以内の短距離列車に寢臺車を連絡するのを一切禁止した、これによつて八百九十二輛の寢臺車を兵員用に廻し得ることとなり、これに二年前に製作した兵員用特別寢臺車を加へて現在軍用寢臺車として五千四百九十輛を保有することとなつた、今日米國內には事實上一般旅客列車は運轉されてゐないといつてよく、定時列車もその大半は軍の命令による旅行者と賜暇歸郷軍人によつて占められてゐる状態である」

三十人乗り新旅客機

(リスボン二十二日發)デンヴァー來電「コンソリデーツド・ヴァルテイー航空機會社販賣部長テイラーは十八日米國航空運輸部夏期總會において次の通り發表した

「コンソリデーツド・ヴァルテイー會社は三十人乗り旅客機の計畫を進めてゐるが、これは戦後の商業用空路のために設計したもので、旅客並びに郵便行囊合計八千封度の有料搭載物を輸送する二千百馬力發動機二基を有するが、戦前乃至現在

のいかなる營業用航空機よりもはるかに徴料荷重が大きい上に經濟的にも極めて有別だ、設計番號は一一〇型で、巡航速度二七五哩時、最高速度三〇〇哩時の單葉機である、全長七十一呎の胴體に入る口は尾翼の下方の引込式階段だ、窓は陽光の直射をさけるための偏光有機ガラスになつてをり爆音に妨げられるセラ纖維ガラス幕で防音装置が施してある、翼幅は九〇呎である」

【ドイツ管理】

關絶減に乘出す

(リスボン二十日發)ベルリン來電「ロイター通信記者はドイツの各都市特にベルリンの一般市民の經濟生活について二十日次のやうに傳へてゐる

「ベルリン占領聯合軍司令官は最近ベルリンに著しく増えた闇行爲を防止するために共同對策を講ずることに決した、今回の措置はベルリン占領米軍司令官フロイド・パークスの提案になるもので英ソ佛占領軍司令官も右提案に全面的賛意を表明し具體案が目下検討されてをり、その一部は既に十九日から實施されてゐるといはれる、この闇行爲絶滅運動には聯合軍當局指導下にドイツ人警官も參加する筈だ、闇行爲が如何なる行爲を意味するかは今のところ正式に定義されてゐないが、不正な取引を行つた場合には聯合軍將兵とドイツ人との差別なく處罰されよう、現在表面に現はれたところをみても聯合軍將兵とドイツ人は物々交換を行つてをり、物資交換所も五、六ヶ所に出來てゐてあらゆる物資が公然と交換されてゐる有様だ特に重要な交換物資は聯合軍將兵の持つてゐる煙草や食糧類で一時は一本二十マルクもした巻煙草は現在五マルクに低下してゐる、この闇行爲の低下は如何に大量の聯合軍將兵の配給煙草が闇に流れてゐるかを證明するものだ、聯合軍當局としては聯合軍將兵の給與物資が闇に流れることはドイツ人の配給計畫や國內物價の統制を亂すので、これが對策に腐心してゐる譯だ、事實ベルリン市では白晝公然と聯合軍將兵が街上でベルリン市民と物々交換を行つてゐるのがみつげられる、赤軍將兵は懐中時計を欲しがり、米英軍將兵は特に寫眞機を希望する、ドイツ人の欲しがるものは自然食糧品と煙草だ、金で物資を求める者はまづないといつてよい」



## スターリン會見記

ロイター通信社

七月十五日附報道

カンタベリー副監督ヒューレット・ジョンソンは最近ソヴェト聯邦を訪問、各地を遍歴して國民生活の實狀を視察する傍ら、クレムリン宮を訪れ親しくスターリン議長と會見したが、以下に譯載した記事はロイター記者に物語つたジョンソンのスターリン會見談である

### ☆ ☆ ☆ △小柄の男

余はモスクワに歸ると、スターリン議長に會見を求めておいたが、ある日午後六時頃、その日の午後八時にスターリン議長が余と會見するから、クレムリン宮まで御足勞を願ひたいと報せてきたそこで余は早い目に——ちよつと早過ぎたかも知れない——レーニン廟の近くのクレムリン宮殿の簡素な表玄関に到着して、待者に帽子を渡すと緩かに昇る昇降機に身を委ねて、階上に赴いた、昇降機を出ると赤い絨氈を敷いただけの何の變哲もない廊下だ、やがて案内されて待合室に入る、からんとした室、椅子が十三脚とテーブルが一脚、テーブルには炭酸水を入れたコップが一つ載せてある暫く待つとクレムリン宮の鐘が靜かに午後八時の時を告げた、余は廣い接見室に通された、なんの飾りもない素朴な室だが注意して眺めると思ひ掛けぬところに名工の鑿のあとを見出してはつとする、中央に縁色の羅紗の卓布をかけた長いテーブルが据ゑてあつた、ここで余はスターリン議長及びモトロフ氏と握手した

スターリン議長は軍服を着て、胸に星型の勳章を一つつけてゐた、思つたよりも小柄だが、軍人を思はせる端正な容姿で、顔は小さく、胡麻鹽がかつた頭髮を額に垂らしてゐる、余が最近スターリン議長の故郷を訪れたとき目撃したグルジア人そのまま、余はスターリン議長と向ひ合つて席を占めた、灰色の服を着たモトロフ氏は議長の傍に坐り、テーブルの端に通譯が坐つた、この通譯は若い男で、肩章のついた灰色の外交官の制服を

纏つてゐた、余は二日前宋子文の招待會でこの男をみかけたが、彼は宋子文の言葉をすばらしい速度で書いては、スターリン議長に通譯してゐた

余等は暫く雑談を交した、余はアルメニヤその他コーカサス地方の旅から歸つたばかりだつたので、旅行の印象や見聞をスターリン議長に物語つた、子供達は潑刺とした健康に恵まれ、教養も大いに進んでをり、新たな近代都市は繁榮し、エリヴァン等の都市の人口は二十五ヶ年間に二萬五千から百十五萬に躍進したことなどを述べて、讃辭を呈した

やがて余は

いま二つの質問を持つてゐるが、お訊ねしてもよいか？

と訊ねると、スターリン議長は頷いた、ついでだが議長はいつも伏眼のまま話すが、時折瞳をあげて、余の顔を凝つと見守るのであつた

### △英國はソ聯の實力を知らぬ

余は訊ねた「戦後英ソ兩國を協力させるために役立つ方策があつたら聞かして貰ひたい」

スターリンの答はつぎのやうなものであつた、「ドイツに對して肩を並べて戰つてゐるときは、英ソ兩國を結び付けるのは容易な業であつたが、ドイツが敗れ、紛争の發生を避けさせる緊張が弛んだ今日では、容易なことではない、しかし余は英ソ兩國の協力を要望する、言葉だけでなく實際に行爲で示された固い團結を維持することが肝要だ、われわれは英國の感情を傷つてたり英國を妨害する氣持は露さない、われわれは英國の友人でありたい、それも言葉だけでなく、行爲の上で、眞の友人でありたいものだ、もしも政治家達が行爲の上でも友好的關係を維持するならば、われわれもやらうではないか、いままでに英ソ兩國の友好關係を妨げた一つの要因は新聞だ、新聞はソヴェト聯邦の實相を傳へてゐない、たとへばソヴェト聯邦の軍事力の問題だが、英國はフランスから情報を手に入れた、フランスはポーランドから情報を手に入れてきた、チャーチル氏はガムラン將軍にソヴェト聯邦の軍事力を訊ねたとき、ガムラン將軍は「ロシアはからつぽだ、ロシアには力が全然ない」と答へたといふことだが、ガムランもフランス人もソヴェト聯邦に敵意を抱くポーランド人から情報を手に入れたのだ」

### △スターリンの教會觀

次は宗教に關する質問だ、余はいつたソヴェト政府が教會をどう扱つてゐるかといふことについて、余の個人的な考へでは大袈裟な偽りの報道が英國に傳へられてゐるので、過去において英國人はロシアを邪推し、敵意を抱いてきた、英國人は宗教的な國民だ

余の言葉に對してスターリン議長はかう答へた教會も自己の歴史を持つてゐるし、ソヴェト聯邦も亦独自の歴史を持つてゐる、ロシア正教會の總教主は新しいソヴェト政府の破門を宣告して、民衆に税金を拂ふなど命じた、我々の側では當然國家の行動を防禦しなければならなかつた、そこで事態は緊迫し、双方とも多少行き過ぎがあつたといふ譯だ

スターリン議長はここで獨得の微笑を浮べて續けた

併し戰爭の勃發とともに新たな異なつた事態が起つた、戰爭はソヴェト政府が如何に愛國的であるかを實證した、それと同時に教會の愛國的精神も明かにされたのだ、歴史的にみれば教會は常にロシア皇帝と帝政に緊密に結び付いてゐたといふことがいへる

余は言葉を挿んだ

恐らくロシアの教會は教會の眞の長たるイエスよりも皇帝と緊密に結び付いてゐたのだらう、余はソヴェト政府が一般民衆のために盡くした多くのことを個人的に目撃したが、それは基督教の倫理觀と全く合致するものがあるやうに思はれる、神の正義と愛を信ずると稱する者が屢屢信じてゐないやうな行動を採つてゐるのに對しかかる信仰を否定する多くの者が、實際には神を信じてゐるやうな行動を採つてゐるのではなからうか

### △宗教の生存は不可能

スターリン議長とモロトフ氏は余の言葉に微笑んだ、余は胸にかけた十字架を指して、余にこれを與へた總教主ヤレニングラード、アルメニア、グルジアの大主教その他教會の多くの首腦の言葉をスターリン議長に傳へて、誰一人不平をいはず

擧つてソヴェト政府の功績を讃へてゐる事實を説いた、このことは余の訪問した大主教や主教達が子供達の潑刺とした健康と高度の教養を喜んでゐることでも明かで、余は例としてエルサレム總教主の意見を傳へた、スターリン議長はいつた

宗教を止めさせることは出来ない、それは良心を黙らせることが出来ぬと同様だ、宗教は良心の問題であり、良心は自由だ、だから宗教も信仰も亦自由でなければならぬ譯である

次に英ソ兩國間に濫い關係を維持するため必要な實際的な問題に移つた、余は訊ねた

お國に對する醫療援助を續けるのは望ましいことか、お國はフアンズムを克服するために恐るべき苦みを嘗めた

スターリン議長は

有難う、さうして戴ければ幸甚である  
と答へた

遅くなつて甚だ濟まぬが、更に二つのことを申し上げることを許して戴けるだらうか

スターリン議長は頷いた、余は續けた

英ソ兩國民が會ふ機會を多くすることは非常に重要と思はれる、兩國民が互ひに相手の國を大いに訪問することだ、我々英國人は貴國を視察したがつてゐる、特に若い人達がお互ひの氣持を知ることが必要だと思ふ

スターリン議長は答へた

また聞きかそのまた聞きの情報に赤軍の威力を誤つて判断する基となるから危険だ、その意味で兩國民が會ふことは極めて望ましい

### △人間的な人物

余はまづ英國の労働者ばかりでなく知識人や技術家も亦ソヴェト聯邦に對して好感を示してゐる事實をスターリン議長に物語つて、余の最後の最も困難な質問の途を拓いた、スターリン議長は氣をよくしたやうだつた、モロトフ氏は「技術家は現實的だ」と言葉を挿んだ、そこで余は最後の質問に入つた

差出がましいやうだが、問題そのものは小さいにしても、兩國間の悪感情を拂拭するため大いに役立つと思はれるから敢て申上げる、ソ聯の娘さんと結婚した英國人が三十名ばかりゐる

彼らは歸國しなければならぬのだが、妻は同伴を許されてゐない、そのため非常に困つてゐるがなんとかならぬものだらうか

スターリン議長は素早くモロトフ氏の方を振向いて、表情で訊ねた、モロトフ氏は微笑みながら頷いた、余は續けた

問題そのものは極く少数に限られてゐるが、ソ聯嫌ひの連中に利用されて大きな摩擦の種とならぬでもない、小さな石でも靴の中にはいれば歩きにくいといふことがある

スターリンは「それはなんとかしなければならぬ」といつた後で、更に語勢を強めて、「是非どうかしよう、最高會議幹部會ですぐ解決しよう」と答へた

余は會見を許して呉れた厚意を感謝して、スターリン、モロトフ兩氏と握手した、會見は五十分間續いたが、恐らく余にとつて最初のクレムリン訪問と同時に最後の訪問でもあらう、クレムリンはもはや余にとつて縁遠い存在ではなくなつた、余は高い支那風の赤煉瓦の城壁と七つの塔のなかにある清楚な室をいままもありと想ひ浮べることが出来る、椅子の一つには小柄な男がゆつたりと腰を据ゑて、色鉛筆で便箋に樂書をしながら、熱心に相手の言葉に耳を澄まし、時々樂書の手をとめて、眞摯な慧智にみちた言葉を發する、これがスターリン議長から受けた印象だ

### ホーホー卿の裁判

ナチに協力して對英謀略放逐に躍身したホーホー卿こと英人ウイリアム・ジョイスは英軍に逮捕されたのち本國へ護送され、ポー街警察裁判所で取調べを受けた結果叛逆罪を以て起訴されるに決定したがこれに對する告訴理由は次の通りである

ジョイスは國王に對し忠誠を盡すべき英國臣民にして、國王領外において國王の敵に加擔し一三五年制定の國事犯法(第三條)に違反せり

ジョイスは二十八日までポー街警察裁判所に拘禁され、次いでオールドベリー中央刑事裁判所において公判に附せられることになつた

ジョイスがドイツにおいて發見逮捕された後に書いたといふ長文の手記が同法廷で讀上げられた

が、左記はその一節だ

余はヒトラーの完遂した建設事業にいたく感銘をうけた、そして英國においても國家社會主義の線に沿つた改革が行はるべき秋だと思つた、しかし國家社會主義のどの面もすべて英國國民に受け容れられるとは考へなかつた、余がナチ宣傳事業に従事した所以は、決して物質的その他の個人的利益に對する慾望からではなく、純粹に自己の政治的信念に基いたものである、余はドイツに永住するつもりだつた

かれはまたナチ・ドイツ突撃隊の一員だつたことを自白した、一警部がドイツからの放逐中にかれの聲を認めたと證言したほか、かれの犯罪に對する證據は枚擧に達しないほどだ、取調べにおいては、ジョイスの屬する國籍の詮議が大問題となつた、檢事ローレンス・A・ピルンは

ジョイスは國籍を明かにせねばならぬ際、常に自分は英國臣民であると言明してゐた、かれ自らの言明に眞向から矛盾するやうな言譯を弄したのは全部かれの逮捕後のことである、戰爭中にジョイスがドイツに歸化したとすればこれは叛逆罪である

と斷言して被告の英國人たることを主張した、これに對しジョイスの辯護人C・ヘツドは

ジョイスは英國の臣籍に屬さぬとの理由で無罪を主張してゐる、刑事部にもかれが英國臣民であるといふ證據は擧つてゐない、それを斷定するにはかれの出生當時の父又は祖父が英國臣民であつて、父がアメリカ歸化の申請をしてゐなかつたとの事實が證明されねばならぬと反駁した、これに對しピルンは

しかしジョイス自身國籍を問はれる度ごとに自分は英國臣民であると明言してゐることは一々證據がある、又かれの出生證明書には、かれがアイルランド人を父としてニューヨークで生れたことが明示してある

と強調した、また他の一辯護士は自分は事件に關係ある或る依頼人の爲に成行を注視してゐる、その依頼人の名を明すことは出来ない

と述べて法廷の注目を惹いた



昭和二十年七月廿七日(金)  
第三四九五號

# 同盟通信 海外電報

(172)

英國空軍省が豪語するところによれば、日本々土に對する戰略爆撃は三段階に分れ、第一段階は作戦地域上空における制空權の確保、第二段階は道路並びに輸送系統の無力化、第三段階は諸要衝に對する上陸作戦だが、既に第一段階は終りを告げ、聯合軍の爆撃は第二段階に入らうとしてゐるといふ、日本軍の戦闘機兵力を破摧し油田地帯と製油工場並びに航空基地を叩いたから、第一段階が終つたといふのだが、かかる言明はガソリンがなければ飛行機が飛ばないといふ西洋流の考へに過ぎず、艦載機の跳梁に對し日本軍が林のやうな静けさを保つてゐるのについても、米軍司令部は必ずしも英國空軍省のやうに甘い考へを持つてはゐないらしい



無條件降伏の修正を表看板とするグルー國務次官等の「心理戦争」案と、トルーマン大統領のポツダムにおける外交施策が生れる所以だ、無條件降伏の修正案は既に五月下旬米國の教育界言論界並に労働運動の代表六十名「ペラルド・トリビエー」紙は「六十名の人道主義者」と皮肉つてゐるがトルーマン大統領に書翰を寄せ「貴下は永久平和に關する米國の提案を明確に腦裏に把握してゐるか、果して然りとすならば、日本政府にたいする條件も腹案はあるだらうから全世界に闡明せよ」と詰め寄つた當時に端を發してゐるとみて差支へあるまい

無名の師に疑を懐くこれらの「人道主義者」はかかる心理戦争によつて、米國人の出血を節約しようとする意圖だ、クレムリン宮の獨裁執政を説得することによつて同様の目的を達成しようといふのが、ポツダムの莫哀宮裡におけるトルーマン大統領の皮算用であらう、ロイター電報の傳へるところによれば、スターリン元帥が米國政府の「保障」に満足すれば、米英ソ三國が帝國に對し共同動作に出ることとなるだらうといふが、蛙鳴蟬噪をよそにクレムリン宮は相變らずスフィンクススの如く黙して語らない

## エール、革命分子を再抑留

(リスボン二十五日發)ダブリン來電エール政府は歐洲戰終了とともに抑留中のアイルランド革命軍關係者約四百名を釋放したが、これ等革命分子は釋放と同時に地下運動を開始し、デ・ヴァレラ政府首腦の暗殺計畫をたてる等不穩の行動があつたため、エール政府は二十五日アイルランド革命分子を再抑留する權限を發動し次の聲明を發表した

政府はアイルランド革命軍關係者が釋放後再び不穩な活動を開始してゐる事實を探知し、これが一般治安の維持に有害であると信じ、今回革命分子抑留の權限を發動した

## 【目次】

總選舉の結果愈々判明	二二一〇
マウントバツテンも参加	二二一〇
ペタン裁判第三日目	二二一一
英代表部歸國を發表	二二一一
總選舉の影響如何	二二一二
戰爭犯罪法廷は獨に設置	二二一二
ベルリン佛軍管區決定か	二二一二
米産業陣罷業に悩む	二二一二
軍醫召集解除	二二一二
住宅難も深刻	二二一二
歐洲の米機八%太平洋へ	二二一二
アラスカ防衛副司令官任命	二二一三
【特 輯】	
フランス國家改造案(上)	二二一四

## バツクナーの遺産

(リスボン二十五日發)サンフランシスコ來電沖繩作戦で戦死を遂げた前米第十軍司令官サイモン・バツクナーの遺書が二十四日遺言檢認のため當局に提出された、一九三七年二月十八日附の故中將自筆のもので、「自分の生活に幸福のみを齎した最愛の妻に遺産の大半を譲る」とある、遺産については「價格一萬弗餘り」とあるだけで詳細は不明だ

## 總選舉の結果愈々判明

(ストツクホルム二十五日發) 英國總選舉における前線兵士の投票は、二十五日英國空軍輸送司令官部が本國に運び込んだのを最後に全部出揃ひ、愈々二十六日午前九時から、全國一齊に開票の段取りだ、午前十時半頃には最初の選舉區の開票結果がわかり、大體正午から午後二時頃までに、保守黨が労働黨が何れが勝利を収めたか判明しよう、もつとも兩政黨の票数が著く接近してゐる場合には結果が判明するのは午後五時頃とならうが、消息筋の觀測では保守黨が際どいところで多數を制するだらうとみられてゐる、今度の總選舉では投票日から開票まで三週間を経過したため、エドワード・キヤンベル、レスリー・ゼムの保守黨候補二名がその間に病死したが、投票は死亡前だといふので、開票の結果次第で一應死人が當選したことになるらしい

## マウントバツテンも参加

—ポツダム會談休會に入る—

(ストツクホルム二十五日發) 英國總選舉の開票の前に、ポツダム會談は休會に入つたが、ロンドン來電によれば先づ英國首相チャーチルは二十五日午後六時過ぎポツダムから空路ロンドンに到着一旦ダウニング街の官邸に入つた後バツキンガム宮に伺候し、ポツダム會談の経緯を英國王ジョージ六世に報告したと傳へられる、同時に東南アジア軍最高司令マウントバツテン卿も空路ロンドンに到着したが、ロイター電報によれば同人はポツダム會談に参加、東亞反攻作戦について協議したといはれる、以上の報道に徴しても明かな通り、ポツダム會談においては、ドイツ占領統治方式以外に、東亞問題が政治的にも戰略的にも相當突込んで検討されてゐる様子で、特にトルーマン大統領とスターリン元帥とが東亞政策に就て折衝してゐるとの觀測が極めて有力である、ポツダム來電によればトルーマン大統領は二十六日午前國務長官ジエームズ・バーンス等を帶同、空路フランクフルトに赴き、米軍第八十四歩兵師團並びに第十三航空師團を閲兵した上最高司令アイゼンハワ

一將軍と會見する豫定と傳へられるが、エキステン・テレグラフ通信社のベルリン電報によれば、トルーマン大統領は英國代表不在の間も會談續行を提案したといはれる位で、米ソ兩國代表間には重大な交渉が進められてゐるとみられる

## ペタン裁判第三日目

(リスボン二十五日發) パリ來電にペタン元帥の公判は二十五日第三日目に入り、前日に引續き元首相ダラダイエ、第三共和制最後の大統領アルベール・ルブランの證言があつたが、元帥は依然として沈黙を守り陪審員側からの要求にたいしても回答を拒絶しつづけてゐる、證言要旨左の通り

ダラダイエ人民戦線が戦争努力を怠つたといはれ、余はその故にペタンによつて捕へられ公判に付されたが、人民戦線内閣は參謀本部が要求したあらゆる努力を盡したものである、余は北阿に逃れ、ノゲス總督を説いて抗戦を繼續せしめようとしたが、ノゲスは海軍がなくては抗戦は不可能だと拒絶した、余はヴィシーにおいて、程近いムーランにドイツ兵が銃劍の尖先でもつて威嚇してゐる前で、ペタンに全權を委任せざるを得なくなつた、かくて共和國は冒険家と裏切者の手に落ちるに至つたのである

ルブランツールの閣議でペタン元帥はウエイガン將軍とともに休戦を主張したが、余はこれに反対した、ヴィシーの國民議會が余の辭職を議決したことに對しては何等不合法のこととは思ふが、ドイツの壓迫の下にかくも事態が急變したのにはわれながら驚くのはなかつた、ボルドーのレイノー内閣最後の閣議ではレイノーが休戦説を主張、閣員の大部分がこれに賛成しレイノーは辭職した、ペタンは後繼内閣のリストをその時までポケットの中に用意してゐて、これが自分の内閣だと稱して一同に披露した、ペタンのこの態度について自分は腑に落ちないものを感じたその節自分はラヴァルの名がリストの中にあるのに反対した

なほ二十五日の公判廷では、英國軍がデイエツプに上陸を試みた際ペタンがヒトラーに電報を打ちフランス軍とドイツ軍との協力を申込んだ事實があるかないかが問題になつたがペタンは回答を拒絶した

【三頭會談】

英代表部歸國を發表

(ストックホルム二十四日發) ポツダム來電によれば、三頭會談英代表部は二十四日公式に「チャーチル首相、イーデン外相及びアトレー労働黨々首が英總選舉の結果發表に備へ二十五日ロンドンに歸還するが會談は終了するものでない」旨發表した

總選舉の影響如何

(ストックホルム二十四日發) 三頭會談は英代表部の引揚げで中だるみの形だが、英總選舉の結果が會談の進行に如何に響くかについては米英兩報道陣の觀測に相當の開きあることが看取される、即ちロイター電は保守、労働兩派の首腦が轡を並べて會談に参加したのであるから英國代表部の主張には一貫性が確保されてをり、従つて總選舉戦における兩黨の勝敗は今後の會談に何等影響するところなく、チャーチル首相も選舉の結果如何に拘らずポツダムに引返すだらうとしてゐるのに對し、UP電はこれと異りつぎの通り報じてゐる  
保守黨勝利の場合はチャーチル、イーデン、アトレー打揃つてポツダムに引返すだらうが、チャーチルが敗ればイーデンが外相として引返すだけで、アトレーは首相としての新任務の爲ロンドンに居残るだらうといふのが英代表部専らの見解だ、今のところ三頭會談は來週まで持ち越す見込みだが、チャーチルが敗北すれば會談の期間はすつと短縮されるかも知れぬ

【歐 洲】

ジャクソン倫敦へ

(ストックホルム二十四日發) ロンドン來電に四ヶ國戰爭犯罪者會議の米國代表ロバート・ジャクソンは二十三日ドイツからロンドンに歸り、戰爭犯罪者の裁判に關する協議を再開した

ローマで暴動起る

(リスボン二十三日發) ローマ來電によればローマ監獄の刑事囚二千餘名は去る二十一日突如大暴

脱獄を企て、騷擾の結果囚人に二名の死傷者を生じたが、二十二日夜に至りさらに囚人の放火により監獄に火災が発生したといはれる、政府當局は同監獄から囚人を安全地帯に護送するため聯合軍當局にトラツクの出動を求めた模様で、不穩状態の鎮壓に血眼となり、法相バルミロ・トリアツチは二十三日自ら監獄に赴いて囚人の鎮撫に努める一方新聞を通じて不穩囚人の家族に對し囚人を慰撫するやう要請したといはれる

戰爭犯罪法廷は獨に設置

(リスボン二十四日發) 二十四日の「ニューヨーク・タイムズ」紙によれば、米英ソ佛四國當事者は、獨伊戰爭犯罪者審問のための特別國際裁判所をドイツのニュールンベルグに設置するに決定した模様である

ベルリン佛軍管區決定か

(ストックホルム二十四日發) ベルリン來電に在ベルリン佛軍政長官ジヨフロア・ド・ボッシュエーヌ將軍は二十三日空路パリに歸還した、右はポツダム會談でベルリンにおける佛軍管區の區劃が決定したといはれるから、その報告傍々本國政府と打合せを行ふためと見られる

【米 國】

産業陣罷業に悩む

(リスボン二十四日發) 太平洋戰の進展に伴ひ米國輿論は最近著しく樂觀的になり、對日戰が既に事實上の終結を見つつあるかのやうな錯誤に陥つてゐるが、これに伴ひ國內生産陣の活動は低下してゐる模様だ、以上の事實を「タイムズ」紙ニューヨーク特電は次のやうに報じてゐる

「太平洋戰が豫想外に進展して來た結果として、一般國民は對日戰が今後も相當長期に亘るといふことを餘り考へなくなつて來てゐる、この結果一般生産事業關係者は政府の戰時統制緩和を非常に期待するやうになる一方軍需産業従業者達も戰爭中に罷業を行つても大して生産力に影響しないだ

## オレゴン州に山火事

(リスボン二十四日發) ポートランド(オレゴン州) 來電によればオレゴン州西北部ウイルソン河流域地帯で十七日、一九三九年來の大火災が發生軍隊一千二百名が出動して消火に務めたが火勢強く、六日を経るも鎮火せず、火焰は現在までに二萬二千エーカーの森林をなめつくしたといはれる

## 住宅難も深刻

(リスボン二十四日發) ニューヨーク來電二十一日附の「ニューヨーク・タイムズ」紙はその社説において米國不動産協會から發表された報告を基礎としてつぎのやうに述べてゐる

「米國の國內戦線における最重要問題の一つは住宅問題である、二百八十六の代表的都市を選んで全國的に概観すれば、一戸建住宅の数が不足してゐるし、アパートも同様不十分なことが明かとなつた、廣汎な地理的分布に亘つて調査すると五都市のうち四都市がアパートに不足してゐると報告されてをり、適當な住宅を國民に與へることは重要な一戦後問題だ、米國民は略々五分の四の都市人口と五分の一の農村人口から成り、全國約三千七百萬戸の住宅中農家として分類されてゐるのはこのうち約六百萬である、一九四〇年には一千四百萬戸に上る住宅に水洗便所の設備がなく、一千二百萬戸が個人用浴槽を持たず、一千百萬戸に水道が、八百萬戸に電氣がなかつた

住宅問題の眼目が、特に低額所得階級に對し、その負擔し得る程度の價格で適當な住宅を賃借乃至所有させるといふ點にあることは勿論だ、都市は勿論農村にも貧民窟はある、しかし密集してゐるため都市におけるそれの方がより緊急な問題で爲政者並びに個人的關心も特にこの方面に置くべきである、これから先數年間のうちに數百萬の米國民に適當な住宅を與へることは良識と計畫と實行とを要する問題だ、しかし現在の如き劣悪な住宅の状態の下にあつては有害な結果を伴ふことは明かで、このことは結局犯罪と疾病と社會不安とを培ふ温床を取除くために米國の資源を賢明に使用するよりも國民にとつて高價なものとなるであらう

らうとの考へに傾いて來たことは注目に價する、トルーマンは就任以來戰時産業の平和産業への漸進的な轉換を繰り返し言明して、軍需生産關係者の好感を買つたが、未だこの約束は極めて小部分しか實施されてをらず依然としてトルーマンがルーズヴェルトの政策を踏襲してゐるといふ點に産業人はある程度の不滿を抱いてゐる有様だ、トルーマンの政策によつて一部の工場が軍需生産から平時産業に轉換するため失業問題が起り、これが一般の不安を増大してゐる、今後この事態は次第に悪化すると豫想されてをり既にこの問題は勞働總同盟と群小勞働組合の對立にまで進展し群小勞働組合は何等の正當の理由もなく罷業を行ひ、總同盟を始め政府の指導を無視する傾向あり、極端な場合には陸海軍當局の要請をも無視してゐる

歐洲戦の終了後從業員の罷業件数は目にみえて増加してをり、例へば六月末の一週間の如きは罷業從業員總数が十萬に達したこともあり、勞働省の統計をみても歐洲戦終了前の一日の平均罷業件數二十が歐洲戦終了後には四十件と二倍に増加してゐる、セントルイスの一彈藥工場では二千七百名デトロイトのフォード工場では二萬一千名が、更に同地の一航空機工場では三千五百名が罷業を行つてをり、アクロンのゴム工場では一萬六千名ピッツバーグでは一萬五千名といふ譯で罷業の續發である、しかも從業員側の罷業理由は極めて貧弱で、給料の支給が遅れたとか、晝食中にトランプをやることを禁止されたとか、神經が疲れたとか、天候が暑いとかいふ類だ、このやうな傾向を改善するため政府はあらゆる手を打つてゐるものの從業員の氣分を生産方面に轉換することは非常に困難だ

## 軍醫召集解除

(リスボン二十三日發) ワシントン來電 陸軍省は二十二日次の通り發表した

陸軍は本年初頭以來既に九百名の軍醫を召集解除したが、更に爾後九ヶ月間に七千名以上の召集解除を行ふ計畫である、これは軍醫を出来るだけ多く解除して民間の需要に應ぜんとする陸軍省の方針に一致するものである

【太平洋戦線】

歐洲の米機八%太平洋へ

(ストックホルム二十四日發) ロンドン來電ニ米軍歐洲空輸部隊本部は二十二日「歐洲にある米軍爆撃機並びに戦闘機の八%は既に太平洋に向ひつつある」旨發表した

アラスカ防衛副司令官任命

(リスボン二十四日發) アラスカ防衛司令部來電ニアラスカ防衛司令官陸軍中將デロス・C・エモンズは二十三日陸軍少將ジョナサン・W・アンダソンがアラスカ防衛副司令官に任命された旨發表を擔當せしめることにならうと言明した、アンダソンは一九四二年に歩兵第三師團長としてパットソンの西方機動部隊に屬しモロッコ上陸作戦に参加したが、その後本國に歸還してオクラホマ州フォート・シル野砲隊補充訓練本部長の地位にあつた

【科學情報】

ペニシリン精神病にも効く

(リスボン二十四日發) ロンドン來電ニバーミンガム精神病院長グレイヴズ博士は二十日ロンドンで開かれた精神病院協會の年次大會でジャム壺内に培養したペニシリンにより精神病の治療に成功したと發表した、博士の治療報告は左の通り

七人の精神病患者にペニシリン治療を試みたところ、うち五人が全快退院した、全快患者の一人は婦人で、この婦人は産褥敗血症に引續いて精神錯亂を起してゐたが、ペニシリンは立所にこの婦人を治癒してしまつた、ペニシリンが始めて世上に出たとき余はこれ入手しようと思つたが遂に果さず、結局友人を通じて内密に手に入れたのであるが、余はこれを精神錯亂症の治療に用ひて或る種の結果があることを發見したのである、馬鹿げた事だと笑ふ人もあるかも知れない、しかし精神錯亂症は悉く細菌の作用に由來するといふのが余の信念であり、余はこの信念に基いて患者にペニシリンを與へてゐるのである、古い諺に「ウイリー小僧は吹出物が

身體に籠つて出て來ないために死んだ」といふのがあるが、ウイリー小僧は吹出物の細菌が精神を冒した結果錯亂症を起して死んだのであるわれわれは齒や扁桃腺を冒す腐爛の原因を除去するためペニシリンの筋肉注射を行つてゐる

葉酸の合成

(リスボン二十四日發) ニューヨーク來電ニ米國シアン・アミド會社は二十日醫藥としての用途多かるべき葉酸 Folic Acid の合成法が發見された旨發表した、葉酸はビタミンB複合體の含有物で間もなく實驗醫學界にその純粹のものが供給される筈だが、さうなれば臨床方面の效用も正確に知られるやうになるにちがひない

會社當局として新ヴァイタミンが萬病を癒すといふやうな言明は避けてゐるが、葉酸に關する今までの實驗では満足すべき成果が得られてゐる、例へば全國衛生研究所(聯邦安全協會の一部門)における實驗では血液障害のあつた鼠が新ヴァイタミンによつて治癒されてゐる、アーカンソー大學では貧血症、發育不良、下痢、潰瘍等の疾患を有する猿が純葉酸數千グラムの注射によつて全快したと報告されてゐる

會社當局の發表によれば、葉酸により血漿中のプロテイン含有量が増大し、血漿中のアルブミンとグロブリンの比率も調整されるといふ、近く動物實驗だけでなく、人體にも新ヴァイタミンが効果を有することが實證されよう

葉酸といふ名は、このヴァイタミンの濃密なものが葉から得られる所に由來してゐる、但し葉酸は無味黄色の余り溶解し易くない粉末で、普通の酸類に見られるやうな特性をもたない、葉酸の合成製出は六年前から科學界の宿題だつたが、ニュージャージー州バウルド・ブルツクのシアン・アミド會社研究所において遂に解決されたのである



フランス國家改造案(上)

井上勇

△左右抱合せ案成る

フランスの「國家改造」問題は以後相當に揉めてゐる、七月七日に引續いて九日の閣議は萬場一致で次の如き決定をした

一、十月十四日、憲法議會代表選舉を行ふとともに憲法起草會議代表選舉に關する法案を一般投票に付する

一、一般投票で右法案が承認された場合は、選舉の結果成立する憲法議會が新憲法の起草に當る  
一、新憲法は七ヶ月以内に起草を終り、これを一般投票に付する、その結果國民の承認が得られない場合は再び憲法制定議會の選舉を行ふ

一、一般投票が右法案を否決した場合は、選舉された憲法議會は、そのまま一八七五年の第三共和國憲法による下院として成立せしめ、上院の選舉を追つて行ふ、この場合はいふまでもなく新憲法の制定は問題とならず、第三共和制が存續する

この閣議決定は左翼の主張である第三共和制憲法廢棄、一院制樹立の主張と、右翼の一八七五年憲法維持主張とを抱き合せたもので、解決を一般投票に求めたところに味噲がある、そこで一般投票に付せらるべき政府の諮問事項が問題になるわけであるが、政府はつぎの三項を國民に問はうといふのである——と一つの外電は傳へる、即ち  
一、諸君は一八七五年の舊憲法の維持を欲するや否や  
二、諸君は新憲を起草し、採擇する機能のみを有する憲法議會を欲するや否や  
三、諸君は主權々能を有する單一憲法議會を欲するや否や

この場合、第一が「イエス」であれば、第二、第三は回答の必要はないわけであるが「ノー」の場合は、第二、第三の質問に一應の説明を必要と

するだらう、質問の第二に「イエス」の場合は選舉される議會は單純に憲法制定議會であり、新憲法案採擇と同時に解消すべき運命におかれる、つまり長くて七ヶ月の生命しかないわけであり、新憲法の成立とともに新規定による民意代表機關が、別個に生れるわけだ、この場合も、第三は問題にならぬ、第一、第二が「ノー」の場合には第三の諮問事項が生きて來るわけであるが、これには用語の解釋に不明の點がある、主權に能を有する單一憲法會議の原語は Single Constituent Assembly with Sovereign Powers であるが思ふに、選舉された憲法制定議會に同時に國家主權代表の權能を有せしめ、新憲法に基く主權代表機關が生れるまで、この憲法會議がフランスの主權を行使するといふ意味であらう、この解釋が當つてゐるとすれば、この憲法議會によつて指名されない限り、ド・ゴールの地位は終末といふことになるわけだ、第一の場合は十月十四日の選舉で選ばれた代表は下院を構成し、上院の選舉の行はれるのを待つて、國民議會を構成し、これが大統領を選舉する段取りとなり、第二の場合は新憲法次第で主權の代行機關、元首、政府の構成に變化が生れるがそれまでは現在の政治機構は維持されるわけだ、第一、第二の何れの場合もド・ゴールの政治的生命は、中間的に存續するわけである、ド・ゴールの希望してゐるのは、この第二案であるらし

△一般投票諮問案

別電によると一般投票に付せられるのは次の二つの設問だといふ

一、諸君は憲法議會を欲するや否や  
二、諸君は憲法議會の權能を規定する政府法案を承認するや否や

この電報は前に紹介した三つの設問を更に單純化して表現したものである、更に他の電報は  
一、諸君は國民によつて選舉された憲法議會を欲するや否や  
二、諸君はこの議會に憲法上の權限を代行せしめ

新憲法が實施される迄、公權運用のための臨時政府法案を承認するや否や  
が質問事項だとしてゐる、この第二項は最初にの

べた案の第三項と内容を同じくするものであらうが表現が違ふので、内容までも別箇のもの感を抱かせる、つまりは十月十四日に憲法議會代表の選挙を行ふことはわかるが、その際、この選挙で選挙されるべき議會の性格を規定すべき筈の一般投票に付議すべき設問事項についての外電は報道が區々で、一體正確にはどのやうな表現が用ひられてゐるのか今のところ判然としない、そこで設問事項を勝手に要約して假りにつぎの如きものであると想定しよう

一、新憲法制定のための憲法議會を欲するや否や  
二、憲法議會を欲するとせば、これを單なる憲法起草議會とせず、主權行使權能を、附與するか否か

一八七五年憲法の存否の問題はこの第一問に包含されてゐる、ここで、イエス、ノーの各場合を再び考へてみると、第一の設問に「ノー」の場合には第二の設問は無意味になる、第一が肯定されて初めて第二の設問が生き憲法議會の權限に觸れるわけであるが、「ノー」の場合は、憲法議會は新憲法起草をもつてその機能の全部とし大體七ヶ月をもつてその生命を終り現在の臨時政府は新憲法實施まで、その獨裁權を維持することになる、第一、第二の質問に共に「イエス」の場合は、憲法議會は國家主權を選挙直後より掌握して、立法行政各部門における主權實施機關を任命しなくてはならず、ド・ゴール政府の運命は選挙直後、決定されることになるわけだ

△合ふて別れる二筋路

左翼が希望してゐるのはこの最後の解決方式である、然しこの解決方式が意味するところは僅々七ヶ月内外即ち新憲法が實施されるに至るまでの過渡期中間時代のレジームを如何に處理するかに関係があるのみで、假令、憲法議會に主權々能が附與されても、では何人を、この七ヶ月間内外の政治の責任者に任命するかといふ實際問題になると果して責任のとり手があるかどうかは多いに疑問とせざるを得ない、この七ヶ月こそフランスの國歩、最も困難なるべきを豫想されてゐるからだ、つまり、石炭と食糧とを確保し得る自信なくしては、石炭と食糧の空前の缺乏を國民に耐忍せ

しめる自信なくしては、政府の責任は輕々に取られるからだ、して見れば、どうせド・ゴールがいま、やつてゐるのだ、當分やらしておけ、といふことになる可能性が多い、さうみると憲法議會の權限の制限と否とはド・ゴールの個人の立場には大きな差異は來さないのではないかと考へられる、傳へられる憲法議會代表選挙に關する法案には以上のほか、新憲法實施までの中間制度期間においての——憲法議會が主權々能を持つた場合、憲法議會が選ぶべき政府代表——假りに首班と呼ぶとして、首班と議會との關係、豫算採擇方法その他についての規定も含まれてゐるといふが詳細は判らない、判つてゐる事は選挙される六百名の選良が「政府の首班」プレジダン・ド・グーヴェルヌマンを任命する、その首班が閣僚を選任する、政府首班は必ずしも、議會に席を有する人物でなくともよい、どこから引張つて來てもよい、といふことである、さういへば極めて安っぽい、この首班は新憲法による國家代表に選ばれるかも知れぬし、また新憲法の制定に當つて重要な影響力をも有するだらうし、單なる間に合せでは間に合はない、時と場合には新憲法の性格まで決定する役割も演じ得る地位にある、そこで、左翼は、誰を政府首班に推すかは後廻しとして、憲法議會に主權を有せしめることを躍氣になつて主張してゐるわけであるが、實は國民が果して新憲法を希望してゐるかどうかは極めて疑問なのである、ド・ゴール自身は一八七五年の第三共和制維持論者で、これを修正しさへすればよいといふ個人的主張を有してゐる、この主張には急進黨右翼も又賛成なのだ、是が非でも憲法は作りかへねばならぬ、一院制を確立すべしといふのは左翼の論者で九日の閣議はこれで政府分裂の危機さへ豫想されたくらゐだつたのが、案外まとまつたのは一般投票といふ手をド・ゴールが考へ出して左右の妥協を策した結果である、然し、一般投票といふことになる、四月の地方選挙の結果でも判る通り、左翼に必ずしも勝ち目がない、ド・ゴール及び右翼のつけ眼はそこにあり、左翼閣僚は一應もつともらしい一般投票方式に賛成してみたが、よく考へて見ると、これは危険だと感じ初めた、これが七月十九日の諮問會議の波瀾となつて現れたわけだ



## スタインハートの横顔

「タイム」誌七月二日號

過去三年間米國大使としてアンカラのリスニング・ポストで歐洲の騒音を聞いて來た、ローレンス・スタインハートは今週再び歐洲へ向けて出發した、彼の行先はブラーグであり、そこで彼はチエコスロヴァキア駐劄の初代米國大使となるはずである、彼と同行してゐるのは少將クレアレンス・ヒューブナーで同少將は米國第三軍に所屬するV兵團の指揮官で現在なほドイツ駐屯軍の指揮權を掌握してゐるのであるが、ブラーグ大使館の武官になるはずである、かくてトルーマンは歐洲において最も重要な新リスニング・ポストとも稱すべきところに最優秀のチームを派遣した譯である、スタインハートは法律家であり經濟専門家でありまた著述家でもある、ロシア大使としての彼は瞬時にしてモスクワ政府の心臓をつかみロシアとの第一次武器貸與協定に調印した、彼はロシア人を愛しロシア人もまた彼を愛してゐるので

ワシントンでは彼は第一級の外交官として評價されてゐた、一兵卒から身を起したヒューブナーはノルマンデー海岸では第一歩兵師團を指揮しドイツではロシア人の氣持をつかむ才能を發揮したロシア人達はスターリングラードから持つて來たづたづたの旗を彼に贈つた位だ、チエコスロヴァキアの大統領ベネシユもまた彼に勳章を贈つてゐる、そしてスタインハートとヒューブナーの主要な仕事はソ聯の傍に長い環をなしてゐるロシアの緩衝國と緊密な接觸を保つ事である、彼らが占める有利な地點からすれば、彼らは東歐洲で何が起りつつあるかをみる事が出来るだらう、更にまた戦後の最初の數年間にチエコスロヴァキアに起ることはそのまま歐洲における小さな民主主義國の大部分に起るだらうことの典型ともなるだらう

### リバテイ船建造打切り聲明

米國海事委員會は去る七月一日戰時緊急船リバテイ型船建造打切りを發表したが、この際に同委

員會が發した聲明つぎの通り

リバテイ型船スタンレー・フィツンヤ號は一日進水、引渡しを了した、リバテイ型船の建造が開始されてから同號は二千五百八十隻目にあたり、これをもつて戰時緊急船としての同型船舶の建造計畫は一應打切ることとなつた、リバテイ型船は舊型の英國不定期航路就航貨物船の型をとつたもので、これが米國戰時緊急造船計畫の標準型船に海事委員會によつて採用されたのは米國參戰以前のことであつた、この型が採用されたのは大量生産が可能なこと、準備組立の方法を採用し得ること並びにその動力機械が現存の施設によつて生産し得ること等の理由からであつた

リバテイ型船の公式名稱はE.C.2であるが、船體は大部分鑄接鋼鐵をもつて建造され、全長四百四十一呎、巡航距離九千哩である、噸數は一萬八百重量噸、機關はピストン式蒸氣機關で、その出力二千五百馬力である

一九四一年に建造されたリバテイ型船は僅か二隻にすぎなかつた、然るに翌四二年にはこの數は五百四十二隻となり、次いで四三年には實に一千二百三十二隻に増加した、これらの船はリバテイ型船建造のために特別に建設された十八の造船所において完成された、リバテイ型船建造の最高潮は一九四三年をもつて終り、四四年には七百二十隻に減少、さらに本年に入つて建造されたものは八十四隻にすぎない、リバテイ型船はその戰時海上輸送の大役を大西洋において開始したが、米國から歐洲戰域に對する物資輸送が一段落を告げた今日、その全力をあげて太平洋作戦に協力してゐる、開戦以來敵の空中魚雷、砲彈或ひは機雷によつて撃沈されたリバテイ型船は百九十五隻である、その他多數が敵の攻撃によつて損傷をうけたが、いづれも沈没を免れ、修理の後再び海上に出勤してゐる、またあるものは兵員輸送船、油槽船、病院船等に改造された、リバテイ型船の建造計畫は打ち切られたが、今後も従來と異つた軍用に供するために少數の同型船の建造は依然繼續されるであらう



米國政界では新大統領就任後の百ヶ日を「ホワイ トハウス・ハネームーン」と呼ぶ、新大統領に たいする政界の一種の「仁義」であり、この間政 黨各派は一時鳴を鎮めて新大統領が如何なる政治 施策にでるかを見守るのである、そしてトルーマ ン大統領の「蜜月時代」は大體この七月末をもつ て終る

トルーマンはその大統領就任聲明において、故 ルーズヴェルトの功績を讃へ、戦争施策は勿論の こと、内治外交政策もほぼルーズヴェルトの方針 を踏襲することを明かにした、だが、政府の最高 責任者が變れば政策もこれに伴つて變化するのは 當然である、このことはトルーマン就任以來三ヶ 月の期間において既にはつきりと米國政治の上に 具體的な形をとつて現れてゐる



ルーズヴェルト政治とトルーマン政治との相違を一言に していふならば、前者が天才 政治だつたのになつて後者 が凡人政治であるといふこと だ、ルーズヴェルト治世の十 二年餘を通じて一貫して流れ た最も顯著な特徴は、かれが自分の政治的手腕に たいする極度に強い自信をもつて、内治、外交の 殆どあらゆる部門にわたり米國の政治をおもひの ままに切りまはし、しかもこれが相當の成功を収 めた點にある、ルーズヴェルト治世の末期におい て、米國の政治が民主主義的體制をとりつつも、 ルーズヴェルトを中心とした獨裁政治に變質しつ つあつたことがこれを雄辯に物語るが、かれの後 を繼いだトルーマンにはそれだけの才能も自信も なく、勢ひかれの政治は凡人的な政治たらざるを 得ないのだ

トルーマンの凡人政治は現在までに行はれた政 府首腦部の更迭の上に早くもはつきりと現れてゐ る、そしてこれは二つの具體的な傾向を持つ、そ の一つは議會人の勢力増大であり(現在までに更 迭した六閣僚のうち四名までが上下兩院出身であ る)、他は強大な政治勢力を持つ大統領側近者の 消滅である、トルーマンの下では所謂ブレイン・ トラスト政治乃至例のホプキンスの如き人物は現 れないであらう

労働黨壓倒的に勝つ

(ストックホルム二十六日發至急報)英國總選舉 の開票結果は、二十六日午後四時三十分(日本時 間二十七日午前零時三十分)までに確定したとこ ろによれば

- 與黨 二百三名
  - 内保守黨 百八十八名
  - 野黨 四百一名
  - 内労働黨 三百七十五名
- 労働黨は下院に絶対過半数を確保した

【主要目次】

- 保守黨領袖々敗る……………二二一八
- 自由黨の領袖も落選……………〃
- アトレイ政策を闡明……………〃
- 労働黨絶對多數……………〃
- 得票總數でも壓倒的……………〃
- チャーチル、議員も辭職か……………〃
- 平和條約締結は五年後……………二二一九
- 東亞政策を決定か……………〃
- 米航空隊大異動……………〃
- 商船隊勢力發表……………二二二〇
- マツカーサー退陣か……………〃
- 本土侵攻には物量補給……………〃
- 解放諸國の窮乏愈々深刻……………〃
- 【資料】
- ステチニアス桑港會議報告(上)……………二二二二

チャーチル首相辭職

(ストックホルム二十六日發)英國首相チャーチ ルは總選舉の結果與黨の敗北が確定するとともに 二十六日午後七時バッキンガム宮に伺候し、國王 ジョージ六世に對し辭表を提出した

アトレイ後繼内閣を組織

(ストックホルム二十六日發)労働黨首領クレメ ント・アトレイは二十六日午後七時半召しに應じ てバッキンガム宮に伺候、國王ジョージ六世の委 囑を受諾して、後繼内閣の組織に着手した

## 保守黨の領袖續々敗る

(ストツクホルム二十六日發) 英國總選舉の結果は二十六日午前十時から相次いで開票されたが、先づ空相ハロルド・マクミランが、ストツクトン・オン・テーズの選挙區で労働黨候補に敗れたのを手初めに、前シリア、レバノン駐劄公使サー・エドワード・スピアスがカーライルで、海相ブレンダン・ブラツケン、印度相レオポルド・アメリー内相サー・ドナルド・ソマーヴェイル、保険相ホア・ベリーシヤ、情報相ジョフリ・ロイド、恩給相サー・ウォールター・ウーマースレー、陸相サー・ジエームズ・グリツグ、事業相ダンカン・サンデース、文相リチャード・ロー等保守黨の領袖乃至現内閣の領袖は枕を並べて落選し、僅かにチャーチル首相、イーデン外相、バトラー労働相、供給相サー・アンドルー・ダンカン、拓相オリヴァー・スタンレー並びに農相ハドソン等が當選したに過ぎない、一方労働黨の領袖はアトレイ、モリソン、サー・アーネスト・ベヴィン、グリーンウツド、サー・スタフォード・クリツプス、アレグザンダー、アヌーリン・ベヴァン等、いづれも危な氣なく當選し、開票が進むとともに保守黨従来の地盤が相次いで覆へり、敗色は蔽ひ難い有様となつた、既に二十六日午後一時四十五分、六百四十二選挙區のうち四百九十七區の開票を了した際、野黨は三百三十一名當選で、新下院に過半数を制したことが確定したが、午後二時過ぎには労働黨だけが下院の絶対過半数を確保、ロイター電報は全世界に對し「労働黨内閣至る」とのフラツシュを打電した、一九二四年一月故マクドナルドを首班として自由黨との聯立内閣を組織して以來労働黨が英國の政權を掌握するのは今回が三度目である

## 自由黨の領袖も落選

(ストツクホルム二十六日發) 自由黨首領サー・アーチボルド・シンクレア、同黨の選挙委員長サー・ウイリアム・ピヴァリツチ教授は、今回の總選挙で何れも保守黨候補のために敗れ落選した

## アトレイ政策を闡明

(ストツクホルム二十六日發) 労働黨首領アトレイ

は二十六日午後總選挙の大勢決るとともに、黨本部トランスポート・ハウスで次の通り言明した。寔に素晴らしい満足な結果だ、選挙民諸君が主義に基き、これ等の主義を現時の所要に適用することを基礎とした明確な政策に呼應して呉れることが今回の結果で明かだ、労働黨が下院に明確な過半数を制したのは、英國史上今回が最初だが、その結果社會主義政黨の政策を着々實踐出來よう

## 労働黨絶対多數

(ストツクホルム二十六日發) 英國總選挙の結果二十六日午後六時半現在までに判明したところで労働黨は三百八十一議席を占め下院に絶対多數を制するに至つた、一方保守黨は舊議席の百八十一を失つて新たに七選挙區を得たに過ぎず下院の勢力は百九十三名に激減した

## 得票總數でも歴倒的

(ストツクホルム二十六日發) 總選挙開票數においても、労働黨が歴倒的で、午後六時現在の票數は次の通り

與黨	九、五七三、三〇五票
内 保守黨	八、六五六、九六六票
野黨	一四、五三五、三五三票
内 労働黨	一一、五六七、九九六票

## 女性議員二十三名

(ストツクホルム二十六日發) 今回の總選挙に際し女性八十五名が立候補したが二十六日午後六時までにはうち二十三名が當選、現在の十四名に比し殆ど十名近くの増加を示してゐる、もつとも女性議員についても保守黨は惨敗を喫し、食糧次官フローレンス・ホルスブルグ女史、文部次官カトサレット・ケア女史ら悉く落選し、保守黨ではデヴィドソン子夫人が獨り當選しただけである

## チャーチル、議員も辭職

(ストツクホルム二十六日發) 今回の總選挙で保守黨が惨敗を喫した結果、チャーチルは八月一日新議會の成立直後、下院議員も辭職して政界を隱退し大戦史の起草に着手するのではないかと傳へられる

【三頭會談】

平和條約締結は五年後

(リスボン二十五日發) ロンドン來電「デーリー・テレグラフ」紙ニューヨーク電によればポツダムにおける三頭會談は歐洲平和再建方式に關する覺書を起草中といはれこの起草には米國側が當つてゐると傳へられる、右方式はドイツ政府の再樹立後五年を経過した一九五〇年に、新政府と正式平和條約を締結することを示唆してゐるといはれる

東亞政策を決定か

(ストツクホルム二十五日發) 英國首相チャーチルは二十五日ロンドンに引揚げたが、ポツダムからのロイター電報によれば、二十五日午前出發に先立ちスターリン元帥並びにトルーマン大統領と第九回の三頭會談を遂げたと傳へられる、英國首相等は總選舉の結果に基き二十七日再びポツダムに歸還會談を續行する豫定といはれるが、その間英國代表としては、外務次官サー・アレグザンダー・カドガンが首班となり、主として米英ソ三國の外交代表が技術的細目を検討する段取りとみられる、會談の内容についてはドイツ統治方式の他に、東亞政策が協議されてゐるとの見方が専らでエキステンジ・テレグラフ社のボツダム電報は會談終了とともに米英ソ三國が日本政府に對して共同働作をとることに、二十二日の會議で決定したと報道し、ロイター電報もまたトルーマン大統領が或る種の保障をスターリン元帥に與へたが、右保障に同元帥が満足すれば三國が共同措置に出るだらうと述べてゐる

【米 國】

航空隊大異動

ルメーは戰略航空隊參謀長

(リスボン二十五日發) ワシントン來電「陸軍航空本部次長兼參謀長中將アイラ・C・イーカー」は二十四日の新聞記者團會見において米軍航空隊の大々の再編成を發表した、今回の人事異動並びに改組は歐洲戰終了から太平洋戰一本建への移行を完了したもので、各重要部門へ四十四歳以下の少壯將官を登用してゐる點が注目される、發表され

た米軍航空隊の新陣容つぎの通り

一、航空參謀各部長

航空人事部長 (A—一)

少將 F・L・アンダーソン

航空諜報部長 (A—二)

少將 エルウッド・R・クエスタ

航空作戰部長 (A—三)

中將 ホイト・S・ヴァンデンバーグ

航空補給部長 (A—四)

代將 エドワード・M・パワーズ

航空計畫部長 (A—五)

少將 ルイス・ノーステツド

二、前線航空隊

前線各航空隊は統合參謀本部(參謀總長マージナル、聯合艦隊司令長官キング、航空本部長アーノルドの三元帥より成る)と次の如き關係にある

A、極東航空隊(マージナルの指揮に従ふ太平洋陸軍總司令官マツカーサーに直屬)

司令官 大將 ジョージ・C・ケネー

第五航空隊司令

中將 デニス・C・ホワイトヘッド

第七航空隊司令

少將 トマス・L・ホワイト

第十三航空隊司令

少將 ボール・ワーツミス

B、陸軍戰略航空隊(統合參謀本部直屬)

司令官 大將 カール・スパーツ

參謀長 少將 カーチス・ルメー

第八航空隊司令(沖繩)

中將 ジェームズ・ドワリツトル

第二十航空隊司令(マリアナ)

中將 ネーサン・トワイニング

C、北太平洋方面(ニミツツに直屬して海軍と共同作戰)

第十一航空隊司令

少將 ジョン・B・ブルツクス

D、支那戰域航空隊(在支米軍司令官中將ウェ

デマイヤーを通じてマージナル麾下に入る)

司令官 中將 ジョージ・ストラトメイヤー

第十航空隊司令

少將 ハワード・C・デヴィドソン

第十四航空隊司令

少將 クレア・シエンノート

(辭表提出中)

(リスボン二十四日發) ワシントン來電ハ、ハーバード大學商學部は海軍並びに海事委員會の委囑をうけ、米國の商船隊勢力に關する調査を進めてゐたが、この調査報告は二十三日海軍及び海事委員會から發表された、報告の要點つぎの通り

一、米國は戦後において最小限八百六十隻、六百十五萬五千總噸、最大限一千三百二十五隻、九百十八萬五千總噸の商船隊を必要としよう

一、本年末に於る商船隊の勢力は二千總噸以上の船舶五千五百隻と見積られる、これは一九三八年の一千四百隻に比し非常な増加だが世界商船隊勢力と米國のそれとの比率も總噸數において一九三八年の一六%から六二%に増加しよう

一、米國は戦後において尤大な商船勢力を有することとなるが、その多數は戰時輸送の他には用途なく、従つて平和時の特別な用途にあてる船舶には却つて不足しよう、この不足を充すためには戦後に二百四十五隻乃至六百二十隻の商船を建造する必要がある、現在の商船のうち平和時の用途にあて得るものは對外貿易用貨物船、油槽船等だが、旅客船、沿岸航路用貨物船に適するものは殆どない

【東 亞】

マツカーサー退陣か

(チューリツヒ二十五日發) ロンドン來電ニエキ スチエンジ・テレグラフ通信社ワシントン電は二十四日次の通り報じてゐる

「米太平洋司令部首腦者の更迭の時期が切迫してゐる、太平洋司令部を續ける問題は極めて複雑でこの裏面には政治問題が多分に潜んでゐることは既に周知の事實だ、この政治問題のために歐洲で多大の成果を擧げたやうな統合司令部の設置が實現しない譯だ、マツカーサーは性格的に參謀總長マーシャルと合はず、太平洋戦の初期においてすら太平洋の米軍への補給問題で唾み合ひ、またマーシャルのドイツ第一主義を猛烈に批判したことなどから、現在でもこの對立が解けてゐない、これ等の事實からマツカーサーが近く後退するとの説が専らだ」

本土侵攻には物量補給

(ストツクホルム二十一日發延着) 敵米の日本々土侵攻計畫は莫大の物量補給を如何に解決するかが依然として困難な課題となつてゐるが、スウェーデン新聞「ニダグ」紙ニューヨーク特電は米第七水陸兩用部隊司令官ダニエル・パービーの言明としてつぎの通り傳へてゐる

日本々土侵攻は作戦段階よりすれば近接、上陸、裝備及び補給の四部面より成るが、初段作戦として空中爆撃及び艦上砲撃により最少限度の人的損失をもつて特別侵攻隊及び特別裝備を揚陸する必要がある、侵攻部隊は上陸に當り一人平均約六噸の裝備を必要とするが、これは海上輸送により戦闘地區に送り届けなければならぬ、又如何に補給が大事業であるかは、硫黃島侵攻作戦の牽制として東京を空爆した際、航空機の費消した油量が一萬噸積載鐵道給油車にして長蛇三百六十軒、給油自動車にして一億八千萬軒に達したのにより想像が出來よう

米人記者の再入國を許さず

(リスボン二十五日發) 重慶政權の反動政策は新聞通信に對する嚴重な管制となり内外言論界に多大の不滿を惹起してゐるが、二十五日の「ニューヨーク來電」によれば「ニューヨーク・タイムズ」紙は二十四日の社説において、最近重慶政權が二米人記者に對し再入國を許可しなかつた事件を取上げ重慶政權が自己の弱點隱蔽のため言論抑壓に出でゐるのを非難してゐる、要旨次の通り

米人新聞記者の或る者は重慶政權の弱點及び腐敗振りを手ひどく剔抉したが、蔣介石が眞に民主的支那を建設する誠意があるなら、かかる非難に鑑み善處すべきだ、米人記者の蔣介石に關する書き振りは英人記者がチャーチルを評し、米人記者が曾てルーズヴェルトを難じたより更に辛辣だといふが、自由な討議こそ終局において眞理を引き出すものである、蔣介石が實際上の必要から抑壓を企圖するなら、事態は益々惡化するに相違ない

【歐 洲】

ドイツ人の軍事訓練禁止

(リスボン二十五日發) ベルリン來電「ドイツ占領米軍政當局は二十五日法令をもつてドイツ國民の軍事訓練を全面的に禁止する旨の布告を發した右措置は、ドイツの無條件降伏に順據するものである」

解放諸國の窮乏愈々深刻

(リスボン二十五日發) 歐洲「解放國」特にドイツにおける食糧燃料事情は深刻なものがあり、今冬におけるこれ等「解放國民」の生活は最悪の状態に入る事が豫想されるが、ワシントン來電によれば「ワシントン・ポスト」紙は以上の問題をとりあげてつぎの通り傳へてゐる

「歐洲の食糧燃料不足は現在すでに相當に深刻であり今年の冬には數百萬の歐洲國民の生活は想像に絶するものがあらう、戦争は二ヶ月半前に既に終了したが戦争による災害はまだそのままに残されてゐる、五ヶ年に亘る戦争の破壊、出血及び總ゆる機構の崩壊は歐洲國民に最大の苦痛を與へてゐるのだ、米國內務長官イツキーズは先頃「今冬には歐洲の國々では猛烈な石炭饑饉が起りその結果法律と秩序の維持さへ困難とならう」と言明してをり、即時有效適切な手段を講ぜぬ限り事態の悪化は必至と見られる、事實現在の石炭不足は極めて深刻で特にフランス、ベルギー、イタリアが酷い、フランスは戦前一年に六千萬噸の石炭を産出したが現在のはこれが二千萬噸に低下してゐる、この原因は種々あるが貨車、機關車の不足、炭坑地域の住宅の不足に加ふるに炭坑労働者の食糧不足だこのやうな状態だから外部から石炭を持ち込まぬ限り、フランス國民の今冬の生活は最悪の状態に入ることは必至だ、石炭不足は既に深刻な食糧不足に影響してゐる、農業地域から都市への輸送は輸送機關の不活動に災されてゐる上に石炭の不足から食糧の加工が不可能となつてゐる、例へばフランスは今年の砂糖を確保するためには加工用石炭五十萬噸を必要とするが、石炭不足の現在この半數量も生産出來ぬといふ有様だ

内務長官イツキーズはさきき今年末までに歐洲に對して六百萬噸の石炭を輸送すると言明したがこれで事態が改善されるとは考へられぬ、石炭不足を克服するためにはルール地方の炭坑にドイツ人を入れて増産を計らねばならぬのだが、現在は能力の一割しか動いてゐない、元來平時においては歐洲は食糧では自給自足をしてゐた、グニエーブ盆地とポーランドが全歐洲の不足食糧量を殆ど賄つて來たのである、しかし、戦禍によつてこれ等の地域の輸送力は失はれ、石炭、肥料、除蟲劑、農具等に不足を來した結果、食糧の増産は到底希望出來ぬのだ、特に不足してゐるのは食肉、脂肪類、砂糖である、現在歐洲の直面してゐるこれ等の事態を改善することは一國、一政府では到底出來ぬことだ、聯合國全體の重大問題なのだ」

ム首相の息拘禁

(リスボン二十五日發) エキスチエンジ・テレグラフ通信の報道によれば、故ムソリーニ統帥の息ヴィットリオ・ムソリーニはさききに聯合軍に發見され、米英軍監視下にイタリアとスイス國境の收容所に拘禁されてゐるといはれる

【英 帝 國】

加、肉割當制を復活

(リスボン二十五日發) オッタワ來電「米國の食肉饑饉は遂にカナダにも波及し、カナダ政府は二十四日一時中止してゐた食肉の割當制を復活する旨發表した、割當高は一週一人當り一封度三分の一となる豫定である」

新西蘭に佛公使館設置

(リスボン二十五日發) ウェリントン來電「ニュージーランド首相ピーター・フレージャーは二十五日次の通り發表した  
フランス政府は今回ウェリントンに公使館を設置することとなり、初代公使にフェリックス・ガゼルを任命した、但しニュージーランド政府は目下のところ實際上の問題としてパリに公使館を設置することは出來まい



ステチニアス

桑港會議報告(上)

米國前國務長官ステチニアスは桑港會議米國首席代表として七月九日大統領トルーマンに對して桑港會議の経過並びに同會議の採擇した國際憲章を説明した報告を送つた、左はこの報告の概要である

(木下)

### △戦争の損害

國際機構協議の聯合國會議は一九四五年四月二十五日、サンフランシスコで開催された、當時、歐洲における戦は既に五年以上を經過し、太平洋での戦は三年以上、更に支那における戦は實に八年の長きに及んでゐた、これらの戦で、米國一國の出した損害だけでも戦死、戦傷、俘虜、行方不明等を合して百萬に及び、また歐洲戦に参加した國々の兵員損害は戦死一千四百萬、戦傷並びに俘虜は四千五百萬にも達した、勿論以上の數字には戦争のため死亡、負傷乃至行方不明となつた一般市民の數は含まれてゐないが、この男女市民の損害は人口稠密な多數國家の全人口をも遙かに凌駕する有様であつた

人員以外の損害、即ち家屋、家具、工場、學校店舗、都市、教會、圖書館、藝術品、記念物等々の破壊されたものの價格は實に想像を絶するものがあらう、以上は眼に見える物的損害だが、具體的に數字では現はすことの出来ない無形の損害もまた莫大である、即ち、戦争によつて一家は離散し、精神、思想は破壊され、事業は中斷され、現代からは貴重な歲月が奪はれた

桑港會議が開催された三十年以前にも、この會議に出席した多くの國々は別の戦を戦つたが、この戦における損害も恐るべく莫大なものであり、僅かに今次大戰の損害がこれを凌ぐのみである、即ち、一九一四—一八年の第一次大戰における兵員の損害は三千七百萬と推定された、更に兵員及び市民の死亡者を合すれば一千三百萬に及び、この多くの人々が、かれ等の成就した事業及びかれ

等の所有物と共に滅び去つたのである

桑港會議に出席した多くの國々は第一次大戰の創痕未だ癒えざるに、更に今度の戦で一層疲弊したのである、多くの國々は次の時代を背負つて立つべき若き人々の最も優秀な分子を二回にもわたつて失つた

### △桑港會議

サンフランシスコに聯合國會議が招集されたのは、かかる大きな災厄が三度び起ることを防止せんとしたのであり、これはハルが國務長官時代に銳意その實現を期してゐたものであつた、桑港會議の目的はたつた一つであつた、それは世界各國が平和といふ共同の希望のために協力し得る如き國際機構の憲章を作成するにあつた、しかしながら、かかる企圖は決して新しいものではなく、また一度も試みられたことのないものでもなかつた過去の歴史を通じ、戦争に悩んだ人々は再三再四戦争を終結せしむべく努力した、たとへば、桑港會議の開かれた二十六年前、當時の米國大統領ウイルソンはパリ會議において國際聯盟規約を作成したが、多くの人々はこれによつて平和が維持されようと信じた、しかるに、ウイルソンのこの努力も必要な支持を得なかつたために遂に失敗に終つた

しかしながら、サンフランシスコにおいて開催された會議は、従来の國際會議乃至會談が一度も成功しなかつた事業を目的として開かれたにも拘らず、その任務を飽くまで達成すべく高き希望をもつて開かれたのである、勿論、戦争といふ問題に對する最終的にして具體的な解決が得られようなどとは、會議は期待しなかつた、特にかかる期待を抱いた者が米國代表のうちに一人もゐなかつたことはたしかである、更に會議に参加した各國代表も、會議の第一目から、過去三十年の間に戰鬪員、非戰鬪員の別なく約四千萬に及ぶ人間を殺戮し、それ以前にも人類の歴史のそもその始めから、何回となく世界を荒しまはつた戦争といふ罪惡が、たとへ如何に巧妙に仕組まれてゐようとも、憲章を作成することのみによつて、根絶されようなどは考へてゐなかつた

しかるにも拘らず、桑港會議はその背景に從來如何なる獨立國によつても殆ど示されたことのないやうな各國代表の明らかな協力精神を持つてゐた

### △聯合國の協力

四大陸にわたりまたあらゆる大洋の水域並びに島嶼において最も大きな危険と困難な状態における戦の遂行においても、或ひはまた戦争の終結に對する準備、更に具體的にいへば戦後の時代において世界平和を維持するための國際機構樹立の準備において、主要聯合諸國は過去の歴史中未だかつてみられなかつた程の具體的な協力關係を樹立した、即ち一九四三年モスクワにおいて米國、英國、ソヴェト聯邦、重慶四國は「平和並びに安全の樹立及び維持」のために共同動作に出る誓約を行つたが、この誓約はなほ依然として有効であるダンバートン・オークスでは右四ヶ國は世界安全機構案に關し協定に到達、更にその後ヤルタにおいては米英ソ三國は共同の諒解範圍を一層擴大し、重慶政權もこの了解に對して全幅的な支持を與へた、これらの提案は全聯合國々民の批判に供するために直ちに一般に發表されたが、今度の桑港會議の事業の基礎をなしたのは正にこれらの提案であつた

以上に加へ、桑港會議自體の性格の中には從來の會議に比しはるかに多くの成果を擧げ得ると期待し得る理由があつた、即ち今次桑港會議は國際協力の理論を討議し、或ひは條約締結のために召集された平和時の會議ではなく、正に戦時會議であつたのである、桑港會議に参加した諸國はいづれも會議開催當時交戦國であつた

多くの國々は會議の續行されてゐた間、困難にして犠牲多き戦國に従つてゐた、米國の國民ばかりでなく、六千萬以上に上る各國の動員男女兵員は當然の權利として、桑港會議が彼らに直接重大な影響を與へる事業を、彼らの代表によつて討議する會議だとみなしたのである、換言すれば今次會議は國民の會議並びに兵員の會議といふべく、しかもこの會議は今大戦を戦つた兵士及びこの戦をもちこたへた民衆の眼前において開催された戦争と平和との問題を協議するための國際會議で

從來かかる條件のもとに開かれた會議は一度もなかつた、今次桑港會議はさらにまた、もしも今後新しい戦争が起るやうなことがあれば、この戦は地球上のあらゆる地點を荒し廻らすにはゐないやうな兵器をもつて戦はれるであらうといふ事實を自らの経験によつて體得した世界において開かれた、實にこの種の恐るべき兵器は今大戦においてさへ將に實用に供されんとしたのである

### △國際憲章の性格

以上の諸事實は會議の事業に對してのみならず會議が作成した憲章自體にも強制的ともいふべき影響を與へた、會議の事業に參制したあらゆる人々は一致してまた劣らざる熱意をもつて會議は是が非でも協定に到達しなければならぬこと、是が非でも國際憲章を作成しなければならぬことを固く信じたのであつた、會議が失敗に終るかもしれないといふやうなことは斷じて認められなかつたさらに各國代表は會議が作成すべき憲章は戦争の災禍を蒙り、その激しさがいかに恐るべきものであるかを身をもつて體驗した世界各國民の要求に應じ、その憂慮を解決し得る如きものでなければならぬといふ固き決意をも持つてゐた、憲章は平和を維持するための共同の目的を明かにした宣言とともにこの目的に具體的な成果を與へる現實的かつ適當な機關でなければならなかつた

桑港會議が採擇した國際憲章はかかる性格をもつ憲章なのである、この憲章の最も顯著な特徴並びに要點はこれが宣言として及び機構としての二つの性格をもつ點にある、宣言としては調印國各國が平和のために協力した一定の國際道義の原則を遵守するといふ誓約協定である、機構としてはこの憲章は四つの機關を創設し、これによつて平和の目的が具體的に達成され、道義の原則が實際に維持されることを期してゐる、換言すれば憲章の第一の機能は道義的かつ理想的であり、第二の機能は現實的かつ實際的である、過去のある時代の人々と異つて今次大戦を耐へしのできた現代の男女は、平和の大義のための彼らの深い理想を何ら顧慮することなく、堂々と宣言し得るであらう

しかしながら一方においては現代の人々は戦争によつて具體的に示された力の現實を認識することを恥ぢてはならない

宣言としての國際憲章は、聯合諸國にたいして「國際平和及び安全」の維持、各國民の平等權並びに自決權の根本原則尊重に基礎をおく各國間の友好的關係の促進、「國際問題解決のための國際協力」の達成並びに「すべてのものに對する人權及び根本的自由の尊重」の促進といふ義務を負はせてゐる、これを更に具體的にいへば、聯合諸國は「高度の生活水準、完全雇傭、經濟的並びに社會的發展、國際的文化並びに教育的協力及び人種性、宗教等の別を問はず、あらゆる人々に對する人權並びに根本的自由の尊重並びに遵守」を促進するといふ義務を負ふことになつてゐる

#### △加盟各國の義務

宣言としての國際憲章は更に加盟各國に對しその義務として次の諸原則の受諾を要求してゐる

△加盟各國の主權の平等 △加盟各國は國際機構加入によつて生ずる權利並びに利益を全加盟國に洩れなく確保せしめる爲主權の平等を相互の關係を規定する根本として忠實に守るべく誓約してゐる  
△國際紛争の平和的處理 △加盟各國は國際紛争を平和的方法により、また國際平和並びに安全及び正義を脅さぬ如き方法によつて解決することとなつてゐる

△武力行使の禁止 △加盟各國は聯合國の目的に反する如き方法によつていかなる國家の領土的主權或ひは政治的獨立を脅威する如き武力行使を慎むこととなつてゐる

△支援義務 △加盟各國は聯合國が紛争防止或ひは制裁のため強權を發動する場合に國際機構に對してあらゆる支援を與へるべく誓約してゐる

△信託制度 △加盟各國のうち一定地域の未だ完全な自治政府を組織し得る段階に到達してゐない國民を統治する責任を持つ國は

一、これ等諸地域の住民の利益を第一に尊重する  
二、これ等住民の福祉を最高度にまで促進すると  
いふ神聖な信託義務を履行する

との原則を承認してゐる

これ等の目的並びに原則の宣言はそれ自體重大な意義を有する、これ等宣言は、何等の條件乃至留保もなく、第一、最大の目的が「國際平和並びに安全の維持」にあることを明言してゐる、國際平和と安全こそ、故大統領ルーズヴェルトが今次大戦における聯合國の最大目標、最終目的としたものであり、次第に世界を恐怖と缺乏から解放するための絶對下可缺な條件なのである、更にまたルーズヴェルト及びコーデル・ハルの兩人が世界歴史の最も決定的な過去十二年間を通じその實現に不斷の努力を續けてきた世界のための必要な條件でもある

#### 磅の平價切下げは時期尙早

ポール・アインツツヒ

「ファイナンシャル・ニューズ」紙

六月二十一日

戦時の爲替交換は早晚修正し、從來とはすつかり異つてゐる購買力平價に接近せしめねばならない、就中ポンドとフランは甚しく過大評價されてゐるやうであるから、これを調整しないかぎり各種の困難がここから發生することになるであらうしかしポンドの立場から言へば何もそんなに調整を急ぐことはない、ポンドの過大評價といふことが英國輸出を阻害するおそれは殆どないからである、世界の製造業者は極めて物資が不足してゐるから、輸出し得るものならどんな少量でも、價格が他國の商品よりも高いか安いかなどに關係なく輸出出来るのである、従つて近い將來において爲替率の全面的調整を行ふのは時期尙早であらう

現在利用し得るだけの資料では、ポンドが弗に對しどの位過大評價されてゐるか決定出来ない、もつと平常に近い状態においてこの爲替率が外國貿易にいかなる影響を與へるかを研究する外ないもしもわれわれが恒久的過大評價を避けようとして、餘り過激な平價切下げを行ふならば、もつと高く賣れるのに安い値段で商品輸出することにならう、一方又戦後の最も困難な時期においてポンドの過大評價をその儘放置して置くならば、われわれの經濟機構は半身不遂になる惧れがあらう



# 同盟通信

## 海外電報

無條件降伏の方式は——嘗てチャーチル首相が英國下院で説明したところによれば——敗者泣き寝入りの方式で、勿論勝つた場合を豫想して敗戦國に押し付ける條項を豫告することを妨げないといふ、以上の理論を背景に現實には「心理戦争」によつて本土決戦に際しての出血を避けようといふのが三國——事前に喧傳されたやうに、米英ソ三國ではなく、スターリン元帥の代りに蒋介石が並び大名に一枚加はつてゐる——共同宣言の狙ひであらう

フリーヴァ元大統領、哲人ジョン・デューイ、判事フエルデイナンド・ペコーラ、勞働總同盟のウイリアム・グリーン等四十四名が、トルーマン大統領に書翰を送つたが、前大戰後十數年に亘つて支那に在留し、極東通で通つてゐる外科醫、ミネソタ州選出下院議員ウォルター・シャツドが覺書で大統領に提出、右覺書が今度の宣言の基調となつてゐるらしい、もつともポツダム會談ではチャーチル首相自身が宣言案の起草に當つたと傳へられるが、英國の總選舉でロイター通信社が「勞働黨内閣に至る」とのフラツシユを全世界に打電して一時間ばかり後に、ポツダムで宣言案が發表されたところを見れば、チャーチル首相の桂冠を見越して、急遽發表を繰上げたのかも知れない



しかし謂ふところの「無條件降伏八ヶ條」が、「心理戦争」に役立つと考へてゐる「極東通」があるならば「ダーゲンス・ニヘター」紙のロンドン特派員ダニエル・ヴァイクランドの報道を読んで貰はう、「無條件降伏を緩和して日本人の面子を立て、聯合軍が今後大きな死傷を出すのを避けることが出来ないかどうか、今ロンドンで頻りに論議されてゐる、東亞の戦局については一般に樂觀してゐるが、日本人が人と物との破壊を顧慮せず抗戦を繼續する場合には、戦争は長期に亘るだらうとの懸念が濃厚だ、爆撃だけで日本の戦力を破壊することは出来ず、最後の抗戦によつて東亞の戦ひが長期化するのを過少評價してはならない」

### 【目次】

對日共同宣言發表……………	二二二六
勞働黨内閣の布陣……………	〃
チャーチル桂冠の辭……………	〃
ペタン公判第四日目……………	〃
【英國總選舉】……………	〃
社會主義政策を遂行せん……………	二二二七
佛政界新内閣に期待……………	〃
ポツダム會談の對策を協議……………	二二二八
總選舉とところどころ……………	〃
【歐洲】……………	〃
白政府、下院の信任を確保……………	〃
ベルリン市民政進捗……………	〃
獨共產黨人民戰線戰術を採用……………	二二二九
【米 國】……………	〃
小麥、裸麥増産計畫……………	二二三〇
陸海軍再展開狀況……………	〃
元陸軍參謀長死去……………	〃
歩兵、落下傘兵を増員……………	〃
財務省に権限集中を提案……………	二二三一
偽裝「不思議の國」……………	〃
【前線報道】……………	〃
濠洲派遣物資購入使節歸國……………	〃
米海軍前線新聞創刊……………	〃
俳優兵士の失業對策……………	〃
【特 輯】……………	〃
桑港會議始末記(四・完)……………	二二三二
【資 料】……………	〃
新國際司法裁判所規程(下)……………	二二三六
新憲章と米國議會……………	二二三九

## 對日共同宣言發表

—米英重慶、降伏條件を提示—

(チヤーチルツヒ二十七日發) 米國大統領トルーマン、英國首相チャーチルは重慶の蔣介石と連名で二十五日夜ボツダムで共同宣言を發表、日本に對する降伏の最後條件なるものを闡明したが要旨次の通り

我等は左の條件を固執し、他に選擇の餘地なく且つ猶豫を許さない

### △ 條 件

一、世界征服の企圖を誘致した權威と勢力とを永久に除去し、軍國主義を驅逐する

一、吾らの目標の實現を確保するため聯合國が指定する日本領土の諸地點を占領する

一、カイロ宣言の諸條項を實施し日本の主權を本州、北海道、九州、四國及び吾らの決定する諸島嶼に限定する

一、日本の武装兵力を完全に武装解除する

一、戦争犯罪人を嚴重に處罰する、日本政府は國內における民主主義的傾向復活に對する障礙を除去し、且つ基本的人權を尊重し言論、信教並びに思想の自由を確立する

一、日本に對してはその經濟を支持し且つ正常な現物賠償に應じ得るための産業を維持することを許すが、再軍備を可能にする如き産業を許さない

以上の目的のために原料資源の入手を許され、且つ將來國際貿易關係に參劃するを許される

一、聯合國の占領兵力は以上の目的が實現し且つ自由に表明された日本國民の意思に基き平和的責任政權が樹立されるとともに直ちに撤收する

一、日本政府が即時全武装兵力の無條件降伏を宣言することを要望する、然らざれば日本は速かに且つ全的に破壊されよう

### 勞働黨内閣の布陣

(ストックホルム二十七日發) ロンドン來電 英國の新首相アトレイは二十七日朝來、ホワイド・ホールの大藏省内に組閣本部を置き、勞働黨の領袖と新内閣の構成について協議を進めてゐるが、二十七日夜に入つて、次の布陣が決定した

首相兼國防相

クレメント・アトレイ

外相

サー・アーネスト・ベヴィン

藏相

ヒュー・ドールトン

商相 サー・スタフォード・クリツプス  
樞相兼下院領袖 ハーバート・モリソン  
大法官 サー・ウイリアム・シヨウウィット  
國璽尙書 アーサー・グリーンウッド

以上黨領袖の配置を先づ決定したから、二十八日に全閣僚の顔觸れが決まる豫定だが、新首相アトレイはサー・エドワード・ブリジス並びにサー・ヘスチングス・イスメー兩顧問を帶同、二十八日午後ロンドンを出發、空路ボツダムに飛込む段取りである、チャーチルは依然ダウニング街十番の官邸に踏止つてゐるが、ボツダム會談には最早出席しない方針だ、アトレイが新外相サー・アーネスト・ベヴィンを會談に帶同するかどうかとも判明しないが、現在の情報では外務次官サー・アレグザンダー・カドガンが外相代理として二十八日午前十一時からの米英ソ三國外相會議に出席する見込みだ

### チャーチル桂冠の辭

(リスボン二十七日發) ロンドン來電 チャーチルは辭職に當り次の特別聲明を發した

英國國民の決定は本日開票された選舉投票のうちに記載された、もつて余は英國が現在より暗黒だつた時代に課せられた任務を終了した、余のただ一つ遺憾とするのは日本に對する事業を完了するのを許されなかつたことである、しかしながら、すべての計畫と準備は既に完了し、この結果は我々が今まで期待してゐた以上に急速に現れるだらう、對外的にも國內的にも新政府は非常な責任を負ふこととなつたが、我々はすべて新政府がこの責任を成功裡に果すことを希望して止まない

### ペタン公判第四日目

(リスボン二十七日發) パリ來電 ペタン公判第四日目は元首相マラン、元上院議長ジャンマネー元マドリッド大使館員ガゼルの三名の證言があり特にマランは「ペタンは國民の信頼を裏切つた」として元帥を難詰、ガゼルは「スペイン大使時代ペタンは同國の内亂に参加して捕へられてゐた左翼フランス人の釋放方につき盡力することを拒絶したが、第三共和制轉覆のため陰謀を企ててゐたやうな印象はうけなかつた」と證言した

【英國總選舉】

社會主義政策を遂行せん

(ストックホルム二十六日發) ロンドン來電 〓 今回の總選舉で一敗地に塗れた首相チャーチルはバツキングラム宮殿で國王ジョージ六世に辭表を提出した後ダウニング街十番の首相官邸に歸つたが、かれの自動車を見守る群集に對しては流石に淋しい微笑を送り、自動車から降りて官邸の入口のところで立ち留り何かいはうとしたが、そのまま悄然と邸内に姿を消した

一方總選舉で勝者となり後繼内閣の組閣を委囑されたアトリーは熱狂した群集の娷集する勞働黨本部内で黨員を前にして勞働黨勝利の喜びを述べると共に新内閣の政策の大意に觸れてつぎの通り演説した

「社會政策を遂行する勞働黨政府が選舉人の支援と贊同を受けたことは英國史にあまり前例を見ぬところである、我々の前途には大事業が横つてゐる、國民は勞働黨に信頼を寄せてをり、我々はこの信頼を裏切らぬやう努力する覺悟だ

△對日戰と戦後經營

我々が英國の遂行すべき大事業を直視する時將來克服しなければならぬ種々の困難な問題を、過少評價することは許されない、我々は第一に對日戰を終熄させねばならぬ、我々はこの瞬間に前線にらあ祖國の青年に想ひを致すと共に彼等に對して凡ゆる援助を送らねばならぬのだ、勞働黨の政策は「大いなる國際主義」にあり我々は長年この政策を堅持して來た、黨の政策は明確であり人類同胞主義を基調とする、我々は戰爭を永久に驅逐することの出来る安全保障を必要とし、世界中の國家と國民の全面的繁榮と協力を必要とする、また國內的にも我々の行ふべき事業は極めて大きい我々は戰禍から回復し、荒廢に歸した住居の再建を圖らねばならぬが、これ自體非常に大きな事業である上に、更に我々は英國の生活水準の向上を計らねばならないのだ、我々は氣力と熱意ある青年男女並びに經驗と氣力に富む壯年を多數下院に送らねばならない、我々が今、乗り出さうとしてゐるのは民主主義の事業であり、文化の事業で

あり社會正義の事業である、今日まで英國の行つて來た事業は自由と民主主義と社會正義を遵奉する全世界の人々に勇氣を與へるに相違ない、我々は同僚とゐてこの高邁な主義の推進に努力しよう我々の活動は全英國國民の協力を必要とする、余はジョージ六世から組閣の命を受けた、余は諸君の支援を得て我々の前に開かれんとしてゐる新しい時代を勇敢に乗り切りたいと思つてゐる」

佛政界、新内閣に期待

—— 各國の反響 ——

(ストックホルム二十六日發) 英國總選舉では保守黨が結局勝利を収めるであらうと一般に豫想されてゐたところ、意外にも勞働黨が壓倒的多數をもつて勝を制したことは各方面に多大の衝動を與へてゐる様子で、現在まで入手した各地の反響を傳へればつぎの通りだ

△パリからのロイター電報 〓

フランス政界は英國總選舉の結果をすこぶる意外として、勞働黨内閣登場後における英國の對佛政策の動きを待機してゐるが、フランスにおけるチャーチル個人の聲望は別として、同國は最近急激に左傾してゐるため、一般に勞働黨の勝利を大いに歓迎してゐる様子だ、レヴァント紛争を契機としてフランスと英國との關係は最近險悪化してゐるので、フランス政界は英國の勞働黨政府が英佛協調の方向に積極的に乗り出すことを期待してをり、夕刊各紙が英國反佛派の急先鋒スピアスの落選を一齊に取扱つてゐることは以上の希望を反映したものと解される

△マドリードからのロイター電報 〓

スペイン政界も勞働黨の敗北を甚だ意外とし、勞働黨が壓倒的多數を確保したといふ第一報が傳へられた時には、大部分の者は何かの間違ひではないかと考へてゐたやうだ、いづれにしても保守黨の敗退は英國の歐洲政策、特にスペイン、フランス、イタリア、ギリシヤに對する政策に大きな變化を齎すは必至とみられてゐるがマドリード政界は保守黨内閣から勞働黨内閣に更つてもフランス政權に對する英國の強壓政策は緩和されぬどころか寧ろ強化されるものとみて、勞働黨の勝利を歓迎してゐない

## ポツダム會談の對策を協議

(ストツクホルム二十六日發) ロンドン來電 首相アトレーを初め労働黨の領袖は二十六日夜、黨本部トランスポート・ハウスにおいて、緊急幹部會を開催し、新内閣の組織について協議を遂げたが、右會議ではポツダム會談に臨む對策が、極めて眞剣に検討されたと解される、労働黨内閣の外相には元労働相サー・アーネスト・ベヴィン、元商相ヒュー・ドールトン並びに元内相モリソン等の呼び聲が高いが、UP電報によれば、新首相アトレーが単身でポツダムに赴くか、乃至前首相チャーチルと同道するに止まるのではないかと傳へられる

## 總選舉ところどころ

(ストツクホルム二十六日發) 今回の總選舉で、當初から全國の視聽を集めたのはバーミンガム市のスパーブルツク選舉區だ、印度相アメリカが保守黨の公認候補として出馬したのに對し、労働黨はバーミンガム市會に隠然たる勢力を擁するシャーマーを押し立てたが、そこへ印度人を母とするパーム・ダットと呼ぶ青年が共産黨からチャーチル、アメリカ樞軸による印度政策打倒を看板として立候補したために、果然政戦は三角戦の多彩な様相を呈するに至つた、共産黨はアメリカ打倒の共同目的を達成するために「進歩主義諸政黨」の共同戦線を主張、労働黨に對して候補の撤回を要求したが、労働黨はあくまでシャーマーを押し譲らず、結局開票の結果、一般の豫想を裏切り

シャーマー 一四、〇六五票

アメリカ 八、四三一票

ダット 一、八五三票

でシャーマーが悠々として當選した、ここに憐れを止めたのはアメリカ一家で、長男のジョンが叛逆罪に問はれてゐる上に、もう一人の息子ジュリアンは、プレストン選舉區で立候補したが、同じく落選の憂き目をみてゐる、聯邦黨の首領サー・リチャード・アクランドもパトネーの選舉區で落選したが、自由黨の首領サー・アーチボルド・シンクレアもスコットランドのケースネス選舉區で

極く少數の差で落選した、同區選舉戦は今度の總選舉を通じての白熱戦を化し、投票を數へ直すことと正に四回、結局次の結果で保守黨候補が當選してゐる

ガンダー・ドワー(保) 五、五六四票

マツキーンズ(勞) 五、五五八票

サー・アーチボルド・シンクレア(自) 五、五〇三票

共産黨は今度の總選舉に二十五名の候補を公認したが、ガラカーが西ファイフ地區から當選したほかフィル・ピラチンがロンドン地區から當選したに過ぎない、新聞人のために氣を吐いたのが、近頃賣り出しの「デーリー・ヘラルド」紙の評論家マイケル・フットで、デヴォンポートの選舉區で元陸相ホア・ベリーシャを相手に労働黨から立候補し見事に當選した

## 【歐 洲】

### 白政府、下院の信任を確保

(リスボン二十四日發) カトリック黨の脱退に伴ひ自由、社會、共産三黨のみの聯立によつて陣容を固めたヴァン・アツケル内閣はまづ國王レオポルドの退位を要求する政策につき下院に信任を問ふたが、ブリュッセル來電によれば下院は三日間に亘る討論の後、九十五票對六十八票の差をもつてアツケル聯立内閣に對する全幅的支持を明かにしたといはれる、またカトリック黨は王政を支持する旨の動議を提起したが、却下された

### ベルリン市民政計畫進捗

(リスボン二十五日發) ベルリン來電 米英ソ三國軍首脳部はベルリン市の民政問題に關して聯合國側の計畫を慎重検討してゐたが、最近漸く意見の一致を見るに至り二十五日右に關する共同聲明を發表した、右計畫は賃銀の畫一配給制度の確立食糧並びに燃料の確保等の廣汎に亘るものでありその第一歩として英國側管理のベルリン地區における食糧の配給は來る二十八日から開始され米國側がこれに續くことになつてゐる、なほソ聯側では既に以前から食糧配給を實施してゐる

### 獨共産黨、人民戦線戦術を採用

Ⅱ私有財産制を承認Ⅱ

(ストックホルム二十六日發)ドイツのソ聯占領地域に復活した共産黨の政綱と活動方式については従來神秘の衣に包まれ、單に臆測の對象となつてゐるに過なかつたが、最近ベルリンで大會を開催し、マニフェストを發表するに至つて漸くその一斑が明かにされた、ドイツ共産黨の首脳部がモスクワから歸國した「自由ドイツ委員會」に占められてゐることは既に傳へられたが、その政綱發表により再び人民戦線戦術に復歸して私有財産制度を公然と認め、曾ては仇敵の間柄にあつた社會民主黨と握手して、なによりもまづ人心の收攬に努めてゐることは注目に價する、以上につき「タイム」誌の七月九日號は「名優の演技」といふ皮肉な題で次の通り報じてゐる

モスクワの自由ドイツ委員會は本國に歸つて愈々活動を開始した、即ち新に誕生したドイツ共産黨はベルリンで會合、ドイツのソ聯占領地域における黨の政綱を規定したマニフェストを發表した共産黨の政綱を一見すればその穩健な方針に驚くが、それが主として共産主義そのものを理解せず、に共産黨の政策を理解しようとする人々を對象としたものであることは明瞭だ、「ドイツ共産黨宣言」は人民戦線の結成と議會政治の樹立、私的企業の拘束なき發達を骨子とするものだが、主な點を列挙すればつぎの通りだ

- 一、ソヴェト體制は現下のドイツの發展條件に相應しないため、ドイツにとつて不適當と見做される故に排撃する
- 二、飢餓と失業、住宅難と闘ふ必要上、私有財産制に基く私的企業の發展を要求する
- 三、ヒトラー體制並びにナチ黨の殘滓の掃を要求する
- 四、教育機關の慎重な肅清を行ひ、眞の民主主義的な自由を愛する進歩的精神の導入を要求する
- 五、勞働組合を合法的に承認せしめ、専横な過當な搾取より大衆を保護することを期す
- 六、ナチ黨員、大土地所有貴族及び帝國主義者の

土地を沒收し、土地を持たぬ農民に分配する  
七、主な重荷を富裕階級が負擔するといふ條件でヒトラーの侵略行動によつて荒された國々に對する賠償の必要を認める

以上のマニフェストは直ちにソ聯のドイツ軍政長官ジュエーコフ元帥の祝福を受けたが、モスクワの元自由ドイツ委員會の首班ウイルヘルム・ピークその他ソ聯か乃至はドイツの強制收容所から歸つてきた共産主義者によつて署名されてをり、共産黨はこのマニフェストが反ファシスト民主主義諸政黨のブロックを結成する基石の役割を果すことを希望してゐるのだが、この人民戦線戦術は既座に効果を發揮し始めた、即ち社會民主黨は共産黨との協力を決定し、共産黨の政綱を實現するため、に兩黨の代表二十名からなる合同實行委員會を形成したのである、ドイツ共産黨は過去においてナチと闘ふよりも激しく社會民主黨と闘つたが、その意味で兩黨の統一戦線結成は歴史的な握手といふべきだ、マニフェストは次の通り述べてゐる

一千萬のドイツ國民はナチズムの犯した罪の責を負ふべきだが、ドイツ共産黨はヒトラーを覆滅するため勞働者の反ファシスト統一戦線を結成し得なかつた點で一聯の誤謬を犯したことを認める

事實ドイツ共産黨は過去において勞働者の反ファシスト統一戦線結成を妨害する爲全力をつくした傾きがあつたが、この穩當な自己批判が政治的必要に基いてゐることはいふまでもない、舊共産黨の政策の主な犠牲者は曾てのドイツの第一黨たる社會民主黨であつた、一九三二年ドイツ共産黨はナチ黨を社會民主黨に比して「より少き害悪」だと宣言した、このスターリン主義多數派の政策はドイツ共産黨を分裂せしめたと同時に、ヒトラーの政權掌握の直接責任を負ふべきものであつた、しかるにいまや兩黨は過去を忘れ、ソ聯占領下のドイツの將來に關するドイツ國民及び西歐諸強の恐怖心をなだめるといふ二重の目的をもつ新共産黨の政綱實現のため、手に手をとつて動き始めた譯だ

【米 國】

小麥、裸麥増産計畫

(リスボン二十五日發) ワシントン來電 農務長官アンダーソンは刻下の食糧情勢に鑑み二十四日小麥、裸麥の増産計畫を次の通り發表した  
政府は一九四六年度における小麥及び裸麥の増産計畫として今年度の播種面積に比し前者において六萬七千エーカー、後者において四十七萬六千エーカー増加せしめる豫定である  
曩に農事關係諸機關代表から成る政府委員會は明年度の小麥及裸麥の播種總面積をそれぞれ六千八百八十七萬五千エーカー及び二百五十七萬二千エーカーと決定したが、今回の發表は右決定に基くものである

陸海軍再展開狀況

(リスボン二十五日發) ニューヨーク來電 歐洲からの米國軍の本國輸送及び太平洋戦域への再展開は今や最高頂に達し、大西洋岸諸港には連日歐洲からの歸還軍隊が續々到着しつつあり、一方太平洋戦域に向つても夥しい兵員が大陸を横断して急送されてゐる、陸軍當局二十四日の言明によれば八月中に地中海戦域から米國に歸還する將兵の數は七萬に上るべく、これ等は入院中の傷病兵、太平洋戦に緊急必要とする特科兵員その他赤十字隊員、復員兵員等だといはれる、一方パリの米國軍當局は第二、第五裝甲師團及び第五歩兵師團の一部が既に米國に到着、また第二十裝甲師團、第二十八、三十、三十五、四十五各歩兵師團將兵が目下ル・アーヴルその他諸港で乗船中だと發表した、二十五日ニューヨーク港にはリバティ船一隻輸送船六隻が陸軍兵員二千二百名、海軍兵員三百二十三名、オランダ海兵隊員二百七十四名を満載して入港したが、これら兵員の一部はそのまま太平洋戦域に轉送され、その他は復員とならう、さらに陸軍當局は第十三裝甲師團の全兵員が二十二、三の兩日にボストン及びニューヨークに到着したと發表してゐる  
兵員の再展開が急速化すると共に輸送設備の不足が顯著となり、關係當局は輸送力増大の應急策に大童だが、その一つとして陸軍省、戦時海運局

は二十四日共同聲明をもつて貨物輸送にあてられてゐたヴィクトリー型船の兵員輸送船への改造計畫を發表した、右によれば、この計畫で約百隻のヴィクトリー船が改造される豫定で、目下十八ヶ所の造船所が改造に大童だが、四十日以内で改造の終るものもあり、既に改造を了したヴィクトリー船は現在早くも兵員輸送に動員され、その第一船は歸還兵員一千九百五十八名を乗せて二十四日夜ボストンに入港した、鐵道輸送力の動員にもあらゆる手段が講ぜられ、一般市民の旅行制限、寢臺車の削減等の緊急措置が講ぜられてゐる

元陸軍參謀長死去

(リスボン二十五日發) ワシントン來電 陸軍次官ロバート・パターソンは一年間病床にあつた元陸軍參謀總長マリン・クライグが二十五日ワシントンのウォルター・リード病院で死去した旨發表した、彼は一九三五年陸軍參謀總長に就任、一九三九年辭任と共に退役したが、一九四一年九月現役に復歸し、陸軍省の人事を總轄してゐた

歩兵落下傘兵を増員

(リスボン二十五日發) ワシントン來電 陸軍地上部隊本部は二十五日左の通り發表した  
陸軍は六月三十日までに歩兵及び落下傘兵以外の兵科から二萬六千四百四名の兵員を歩兵に、七萬七千七百十九名を落下傘兵に轉科せしめた、轉科は太平洋戦域における新しい戦闘要件に應じ、基幹的戦闘部隊を擴大強化するといふ陸軍省の計畫に基いて行はれたが、轉科兵に對しては新兵科に適應するやう特別教育が施される、六月三十日までに各兵科から轉じた兵員數は左の通り

新兵科名	
一、航空隊 歩 兵	五、四二七名
一、補給部隊 歩 兵	二、三〇〇名
一、地上部隊 歩 兵	八、四六四名
一、地上部隊 歩 兵	二、〇八六名
一、地上部隊 歩 兵	一〇、六七九名
一、地上部隊 歩 兵	七〇、三五四名

殘餘の轉科兵はウェスト・ポイントの防衛基地部隊、アラスカ防衛部隊その他の防衛部隊から出てゐる

### 財務省に権限集中を提案

(リスボン二十六日發) ワシントン來電 財務長官を辭職したモーゲンソーは二十五日財務長官としての最後の報告を議會に提出、財政々策に關する権限の財務省への集中を提議した、その要點つぎの通り

- 一、財務長官には聯邦政府のあらゆる財政關係政策を統轄する権限が與へらるべきである、これがため現在政府の各機關によつて行はれてゐる支出、融資、融資保證等の仕事は全部財務省に集中さるべきである
- 一、大統領直轄の豫算局も昔に歸つて財務省の管轄下に移す
- 一、下院の歳入、歳出、上院の財政、歳出四委員會は各會期毎に財政々策合同委員會を組織し、歳出入の全貌にたいし檢討を加へる

### 偽裝「不思議の國」

(リスボン二十六日發) シアトル來電 ボーイング航空機會社は二十四日陸軍省許可の下に同社シアトル大工場の偽裝に關し次の通り發表した

面積二十六エーカーといふ偽裝の「不思議の國」は約三年前にB17及びB29の工場を日本軍の空襲から守るために陸軍工兵隊によつて築造された、工場の廣大な屋根は造り物の木やカンヴァスの家屋やカンヴァスの道路や麻布の泥によつて村落と田園に化せられ、住宅五十三軒、温室三棟、街道三本、自動車庫二十四棟その他多數の貨物自動車や乗用車の模型があつた、實際の建築物は高さ平均四呎にすぎず、内部施設といへば消火ポンプだけだ、この偽裝效果は満點で數ヶ月振りにシアトルに歸つて來た飛行士もすつかり間誤ついたらぬである

陸軍省はこの偽裝の維持費を節約するために現在では取り拂ひを考慮中だといふ

カリフォルニア州サンタ・モニカのダグラス航空機工場にも同様の偽裝が施されてゐた、同市からの電報によると、ダグラス工場は既に面積四百五十萬平方呎の偽裝網をとり外し始めてゐるといはれる、ダグラス工場の場合には「空の村」は高

さ四百九十呎木柱の上に懸つてゐる、この村にはハリウッドの大道具係が麻布や輕木材で作つた洗濯工場まで並んでゐるといふ、そして空襲があつても大丈夫なやうに附近には偽物の工場と飛行場が設けられてゐる、工場の通氣筒を隠すためには造りものの樹が植ゑられてをり、ボーイング工場の場合と同じく、米國の飛行士はダグラス工場が判らないために近くの飛行場に降りるやうな失敗を何度も繰返したといふことである

### 【前線報道】

#### 濠洲派遣物資購入使節歸國

(リスボン二十六日發) メルボルン來電 米軍の濠洲派遣物資購入使節團長將ポール・ジョンストンはこの程任務を果し、米國へ歸還軍籍を退いて元のエリー鐵道會社副社長の地位に返ることとなつた、同人が一九四二年以來濠洲において購入せる補給物資並に裝備品の總額は八億弗に上る

#### 米海軍前線新聞創刊

(リスボン二十六日發) グラム島來電 GRAM島の米國太平洋艦隊司令部は二十四日將兵向日刊新聞「ネーヴィ・ニューズ」の第一號を發行した、創刊號には「今後本紙は幾多の吉報をもつて賑はふだらう」とのニミツツの言葉が掲載されてゐる

#### 俳優兵士の失業対策

(リスボン二十六日發) ロンドン來電 元俳優の經歷を持つ英軍兵員約四百名は召集解除となつて歸國した際、長い間劇界を離れてゐたために顧られなくなつては困ると今回「リユニオン・シアター」と稱する協會を結成することとなつた、主唱者は先頃中東戦線から歸還した會でのローヤル・ウルスター步兵聯隊の伊達役者、陸軍中佐ウィリアム・ホックスと同僚のリチャード・マッシュューズ兩名だ、ホックス曰く

バグダードに駐屯してゐた頃この考へが浮び、早速航空郵便で中東、アフリカ、イタリア、印度、ビルマ、イラク方面駐屯の陸海空軍兵士と連絡、四百名の同志を驅り集めた、之ら前線にある俳優連はみな熱心な支援を惜しまないと述べてゐる、



いよいよ桑港會議始末記の始末をつけることになつたが、紙数の關係上些か龍頭蛇尾になることを勘辨して頂かなければならない、出来上つた國際憲章に關する各新聞紙各名士の論評も山のやうにたまつてゐるが、一々紹介する紙面がない、だが憲章に對する儀禮的な讃辭や、初めからわかり切つてゐた批判を並べてもあまり意味がないし、會議終了後の憲章の運命を追つてゐたのでは限りが無いから、會議だけに始末をつけて了はう

### △大詰の幕開く

幕切の勢揃ひに先き立つて、眞の意味で「桑港會議」が終つたのは二十五日夜の本會議だ、幕が上れば場所はサンフランシスコ市オペラ・ハウスの舞臺だ、特に莊重らしい顔をして正面にゐるのが、輪番議長の一入英國代表首席代理ハリファツクス卿である、ハリファツクスは新國際憲章並びに附屬文書の最後の表決に先立つて一寸見得を切り、それから徐ろに口を開いた

「今我々の行はんとするこの表決の重大性に鑑み自分は在り來りの「賛成」といふ方法や手を舉げる方法ではない方がよいと思ふ(採決は既に形式的な問題になつてゐるからだ)今投票せんとしてゐる問題は我々の生涯に二度とあるまいと考へられるほど重要な問題だ、自分は各國の首席代表に起立を求めてその數を數へることにしたい」

オーケストラ・ボツクスの中に席を占めてゐた各國代表の首席が點々と立ち上る、書記たちが丹念に數へ始めたが、ハリファツクスは勘定の終るのも待たずに

「憲章は満場一致をもつて可決されました」と宣言し、場内を埋めた四千の傍聴者(新聞記者や一般市民や代表の親戚知人)は一齊に立上つて拍手喝采する、喝采の中にハリファツクスは再び聲をふり上げていふ

「我々は自分が豫ての希望通りこの歴史的な事件に立會へたことを喜びと感じる次第である」

九週間に亘る長談議の結晶たる憲章は附屬文書と共にかうして採擇された、文書とは

一、人類の平和、安全並びに全般的向上のための新世界機構(聯合國と呼ばれる機構)に關する憲章

二、聯合國主要司法部門としての新國際司法裁判所の規程

三、新機構が活動を開始するまでその執行計畫を代行すべき準備委員會の設置に關する協定

の三通りだ、これで會議は調印式と閉會演説を残して全部終了したわけになるが、實はこの一幕の前に會議は豫定通り四分科委員會の報告を聴取し豫定通りそれを採擇した所、たつた一つ豫定通りでない事件が持ち上つた、ソヴェト聯邦首席代表代理グロムイコ駐米大使が専門委員會の報告書中にある機構脱退に關する聲明について、ソヴェト聯邦の見解を記録として挿入することを要求したので

### △急所に残る五寸釘

「しかしながら若し加盟國が例外的な事情のために、機構を脱退し國際平和並びに安全の維持に關する負擔を他の加盟國に委ねるを餘儀なしと感ずる場合には、當該加盟國に機構における協力繼續を強制するは本機構の目的に非ず、しかも機構が人類の希望を裏切り平和維持の能力なきを暴露し或ひは法並に正義を犠牲にせざる限り平和を維持し得ざることを暴露したる場合には、脱退乃至他の形式による機構解體が必至なるは明かなり」

右の一節は當然問題になる、脱退するしないのはその國の勝手だが、條文に明記されれば違法に爲になるから國民に對して具合が悪い、現に米國上院の憲章檢討委員會は七月十七日「憲章が加盟國の脱退權を保留した」ことに滿腔の満足を表明してゐる位だ、ここにおいて想起すべきは米國が舊國際聯盟に加盟しなかつたといふ事實であらう、グロムイコ大使はこの聲明について二つの不満を明かにした、彼のいふのは次の通りだ



「他の加盟國に負擔を委ねるを餘儀なしと感ずる場合云々は脱退の事情について事前から勝手な判断を下してゐるといへよう、事情を考へずに一國の脱退を最初から悪いと定めるのは間違つてゐるソヴェト聯邦の憲法は加盟共和國の脱退権を認められてゐるが、それ以上のことを規定するのは主權の侵害だといはれても仕方がない、またその權利を悪くいふのも民主主義の原則を犯すことにならう第二に機構が無能力を暴露した場合を假定してゐるのは機構に對する不信の表明であり、理由の如何を問はず、脱退の責任を機構に負はしたことになる」

以上のグロムイコ大使の言明は全く相反した二つの矛盾を指摘してをり、國際機構の根本的な弱點を暴露したともみられる、ソヴェト聯邦が散々他の大國を手古摺らした擧句平氣で護歩を重ねた眞意がここいらに窺はれる

満場は聲を失つて白け渡つた、ハリファツクスは慌ててこの言明を記録することに同意した續いてルクセンブルグ代表ガレイの提出せる出席國の調印權に關する信任狀保管委員會の報告、第一分科委員會報告委員比島代表デルガドの報告書、第二分科委員會報告委員パナマ代表アルファロの報告書、第三分科委員會報告委員パラグアイ代表ヴェラスケスの報告書、第四分科委員會報告委員ヴェネズエラ代表パラベレスの報告書、キューバ代表ラミエンスの提出せる準備委員會に關する執行委員會の報告等が採擇されたが、ラミエンスの正式報告書の末尾においては執行委員會議長ステチニアスに對する頌徳表が讀み上げられてステチニアスがこれに答辭を述べるといふおまけも附いて憲章採擇の場面に入つたわけだ

### △三時間に亘る署名

調印式は在郷軍人會館の講堂に特設された調印の間に行はれた、調印すべき文書——即ち聯合國憲章と國際裁判所法規を收めた黄金と青色の一帙、準備委員會設置に關する協定を收めた他の一帙——が聯合諸國の國旗を半圓形に立てた胡桃の机におかれてゐる

第一に署名する重慶代表顧維鈞が進んで象牙の

頭が附いた茶筆をインクに没して署名する、一足下がつて簡単な宣言文を讀むと續いて他の七人の重慶代表が進み出て署名する、中には婦人代表吳胎芳女史の姿もみえる、重慶代表が十二分かつて署名を終ると代つてグロムイコ大使を先頭にソヴェト聯邦代表團が進み出る、つぎは英國代表團終つてアルゼンチン代表團、これは五常任理事團の一たるフランスが遅刻したためだ、各國がABC順に署名しては簡単に演説する、最後に主人國米國の代表團が署名するまでは三時間かつてしまつた、それから愈々演説だが、きまり切つた挨拶演説は翻譯する方も退屈するし、讀む方は眠くなるにちがひない、トルーマンの演説は資料として既に全文が本通信に掲載されてゐる、ここでは演説者の名を發聲順に並べて、ステチニアスの分だけを譯出して御目にかける

- 一、米國首席代表ステチニアス
- 二、重慶首席代表顧維鈞
- 三、ソヴェト首席代表代理グロムイコ大使
- 四、英國首席代表代理ハリファツクス卿
- 五、フランス首席代表代理ポール・ボンクール
- 六、ブラジル首席代表ヴェロソ
- 七、チエコ首席代表マリク
- 八、メキシコ首席代表バディラ
- 九、サウヂ・アラビア首席代表イブン・アブドウル・アジーズ
- 十、南阿首席代表スマツツ
- 十一、トルーマン

### △ステチニアス御挨拶

余はいま聯合國々際機構會議の最終本會議に當り衷心から御挨拶申上げる、二ヶ月前にここに集まる代表諸氏は初めて會合した、我々は大陸を横切り大洋を越えて地球上各地から集つた、我々は五十個國々民の代表として會同した、だがここに來たのは何よりもまづ人類の代表としてであり萬國々民のために平和を維持し全人類の福祉を増進すべき世界機構憲章を起草するといふ共同任務の擔當者としてである

ここに參集せる各國はそれぞれ憲章の完成に一

役演じた、一項一項、一條一條は會議の卓上から打ち出されたものだ、われわれは率直に語り合ひ見解を異にした場合も屢々あつた、意見が喰ひ違へば二度試み三度努力し、結局は相互間にその相違を妥協諒解し得たのである

これが友好と平和の道である、これこそ自由人の國家が平和憲章を作成する唯一の道であり、相互に平和に生き行く唯一の道なのである

桑港會議はその使命を達成した、いまや恒久的平和の憲章が書き上げられたのだ

この會議で我々が一堂に會するのは今日が最後である、明日は相別れて各自母國への歸途につくだらう

過日余は前線から歸還したばかりの數名の米國青年と語つた、彼らは傷き苦痛に耐へつつ或る陸軍病院の寢臺に横はつてゐた、その傷兵らと語りながら思つたのは、世界にこの平和の機會を齎すために一切を賭け將來と生命までも犠牲に供した幾百萬の人々のことだつた、本日ここに代表を出席せしめてゐる諸國の男女子供、爆彈と銃劍と飢餓と劫火と苛責をもつてする暴虐も遂に亡ぼし得なかつた人々の上を思つた、そして余は廢墟と化した諸都市、荒廢に歸した諸地方のすべてを思つた、恐るべき悲劇の尾は未だ過ぎ去らない、戦は續いてゐる、復興は始つたばかりだ

本憲章は苦惱と戰爭の産物である、今やその上にわれわれの善と永續的平和にたいする希望は横つてゐるのである、羊皮紙に書かれたる言々句々は、困苦の中にある世界が復舊し平和が維持され人權と自由が促進さるべき道程を描き出してゐるそれは余をしていはしむれば將來の世界史のこの段階において諸國民の意思と能力の範圍内にある道程である、代表をしてこの地に會議せしめた五十個國の政府並びに人民に、いまやこの憲章は委ねられた

希はくは全能の神よ、今日以後、來るべき年月のうちに、不變の目的を追求する我らを助けてその協約を履行せしめ給はんことを

### △桑港會議日誌

一九四四年八月二十一日—十月七日—ダンバート

ン・オークス會議（國際機構草案成る）

一九四五年二月十二日—クリミア三頭會談の共同公報において、四月二十五日サンフランシスコに聯合國會議を召集、ダンバートン・オークス案に基き國際機構憲章を起草する旨發表す

三月五日—米英ソ重慶四國主催國として四十ヶ國に招請狀を發す

四月二十四日—米英ソ三國「國際紛争の解決の基準は正義並びに國際法なるべし」との重慶の提案を支持

四月二十五日—桑港會議開會式、トルーマンはワシントンより、ステチニアスは會場で演説

四月二十六日—會議第一日、招請國首席代表ステチニアス、宋、イーデン、モロトフ氏演説

四月二十七日—ウクライナ及び白ロシアの参加を承認、宋、モロトフ氏、ステチニアス、イーデン輪番議長となる、ダンバートン・オークス案を討議の基準とすることに同意

四月二十八日—十一ヶ國代表、第三日第四日において演説

四月三十日—アルゼンチン参加を認めらる

五月一日—第六次全員會議、四分科委員會十二專門委員會の構成を承認、夜間會議開かる

五月二日—第八次會議において追加代表演説

五月四日—專門委員會討議開始、ダンバートン・オークス案に對し四十ヶ國より七十二の修正案提出されたる旨書記局より發表

五月八日—VEデーに對し一分間默禱

五月十二日—專門委員會ダンバートン・オークス案の安全保障理事國十一ヶ國案を採擇

五月十五日—ステチニアス人權法案を起草することを提案、經濟社會理事會を主要機關に加へることを專門委員會で表決

五月十六日—國際信託統治制に關する書スタツツン案を基準文として專門委員會で承認

五月十九日—第四分科（司法）委員會第一次公開會議を開催、國際司法裁判所規程修正草案發表さる、ルーズヴェルトを偲びサンフランシスコ近郊ミニールの森に小牌を捧ぐ

五月二十日 四招請國地域の取極めの問題に關し  
意見の一致に到達

五月二十三日 専門委員會地域の取極めの方式を  
承認

五月二十八日 第二分科委員會(總會)第一専門  
委員會(機構手續き)任務を終る

五月三十日 分科委員會、國際機構總會の機構に  
關する諸規定を承認

六月一日 専門委員會、經濟社會理事會に人權委  
員會を設置することを承認

六月五日 デンマークを第五十番目の會議參加國  
として招請、専門委員會、憲章前文を承認

六月七日 四招請國並びにフランス安全保障理事  
會の表決手續きに關するヤルタ方式の解釋につ  
いて意見一致、専門委員會、新國際機構の名稱  
として「聯合國」を選擇

六月十一日 分科委員會、經濟聯合協力に關する  
専門委員會の報告を採擇

六月十二日 分科委員會、安全保障理事會のとり  
べき強制措置を含む章を採擇

六月十三日 専門委員會、安全保障理事會の表決  
手續きに關する五大國の解釋を承認

六月十四日 分科委員會、憲章前文を採擇

六月十五日 第四分科委員會新國際司法裁判所規  
程を承認、第一分科委員會、聯合國機構の目的  
及び原則に關する章を承認

六月十六日 第三分科第二専門委員會、平和的處  
理に關する討議を終了、第一分科第二専門委員  
會、修正手續きに關する章を採決

六月十九日 第一分科委員會、憲章前文と共に目  
的及び原則に關する章を承認、同時に樞軸國の  
協力により樹立されたる政權の聯合國加盟を禁  
ずるメキシコ代表の宣言を承認

六月二十日 第三分科委員會、安全保障理事會の  
表決手續きを承認、五大國總會の審議權につき  
意見の一致に到達

六月二十一日 執行委員會、聯合國機構の活動開  
始の道を拓くべき過渡執行機關をロンドンに會  
同すべき十四執行委員會により設置することを  
決定、第二分科委員會、總會の政治安全保障機  
能に關する諸條項を承認

六月二十三日 執行委員會、憲章草案を承認、同  
時に會議の完成文書の署名個所にポーランドの  
追加署名のため餘白を残す提案を承認

六月二十五日 開會式出席のため米國大統領トル  
ーマン空路サンフランシスコ到着、全員本會議  
憲章を滿場一致可決

六月二十六日 五十ヶ國代表憲章に調印、大統領  
トルーマン並びに十ヶ國代表演說、會議終了

△むすび

憲章は第十九章の規定に基き、調印國のそれぞ  
れの憲法に従ひ批准され、批准書は米國政府に寄  
托される、發効は五大國並びに他の諸國の三分の  
二以上が批准書を寄託した時からだ

憲章が効力を發生しても機構が活動を開始する  
まではどうするか、それについては前に述べたや  
うに中間的機構に關する協定が憲章と同時に署名  
されてゐる、その全文は本通信六月二十七日付第  
一八〇八頁に掲載されてゐるから参照して頂きた  
いが、各國一代表を出して準備委員會を設置し、  
桑港會議執行委員會の十四委員國をもつて準備委  
員會執行委員會を構成するといへば大體の構想が  
判るだらう、委員會の常設地はロンドンだ、その  
役割は總會、安全保障理事會、經濟社會理事會、  
信託統治理事會の第一次會議を開催し、書記局を  
構成し、國際司法裁判所を召集するための諸措置  
をとるにある、主要機關が成立すればその存在は  
停止されるわけだ

これで桑港會議だけは片づいた、新國際憲章が  
いつ發効し、新國際機構がいつ成立するか、また  
國際機構はどんな役割を果すか、それは現在彼ら  
と戦ふわが日本にとつて問題とすべきことではな  
い、成立の時から矛盾を包蔵してゐる憲章は、順  
調なる條件に恵まれれば一層その矛盾を成育せし  
め崩壊の危険を大ならしめるだらう、ソヴェト聯  
邦は依然國際憲章を無視するかのごとく世界を相  
手に独自の政治工作を續けてゐる、聯合國憲章よ  
何處へ行く、それを決定する鍵は太平洋にある

(完)



新國際司法裁判所規程(試譯)(下)

第二章 裁判所の管轄

第三十四條 國のみ裁判所に於ける事件の當事國たることを得

裁判所は規則に従ひ公の國際機關に對し其の事件に關係ある報告を要求し得べく又右機關か自己の發意により提供する右報告を受理すへし  
裁判所に於ける事件に於て公の國際機關の定款又之に基き採擇されたる國際條約の解釋か問題となりたる場合は裁判所書記は右國際機關に通告すべくまた一切の手續書類の謄本を通達すへし(譯註、電文遺漏あり、一部想定により譯出せり)

第三十五條 裁判所は本規程の當事者たる諸國に對し開かる

裁判所を他の國に對し開くの條件は現行諸條約に含まれたる特別の規定に従ひ安全保障理事會これを定む但し如何なる場合といへとも當事國を裁判所において不平等の地位に置くことなかるへし

聯合國の一員に非ざる國か係争當事國なる場合においては裁判所はその當事國か裁判所費用に付負擔すへき額を定む但し右規定は右當事國か裁判所の費用を分擔するときはこれを適用せざるへし

第三十六條 裁判所の管轄は當事國か裁判所に付託する一切の事件及び聯合國憲章に或は現行諸條約に特に規定する一切の事項に及ぶ

本規程の當事者たる諸國は左に關する法律的紛争の全種類に付裁判所の管轄を同一の義務を受諾する他の國に對する關係において當然にかつ特別の合意なくして義務的なりと認むることを何時にても宣言することを得

- (イ) 條約の解釋
- (ロ) 國際法上の問題
- (ハ) 國際義務の違反となるべき事實の存否
- (ニ) 國際義務の違反にたいする賠償の性質ま

たは範圍

前記宣言は無條件にてまたは多數若は或國との相互條件にてまたは一定の期間を附してこれを爲すことを得

(譯註、國際義務の違反云々以下は電文不明の點あり、現行規程第三十六條の當該條項により上記の通りとせり)

右宣言は聯合國事務總長に寄託すべく事務總長は其の謄本を規程の當事國並に裁判所書記に交付すへし

常設國際司法裁判所規程第三十六條による現在尙效力ある宣言は本規程の當事國間のものとして其の繼續期間其の條件に従ひ國際司法裁判所の義務的管轄の受諾と看做さるへし

裁判所か管轄を有するや否やに付争ある場合に於ては裁判所の裁判に依り之を決定す

第三十七條 現行條約に於て國際聯盟の設くる裁判所又は常設國際司法裁判所に事項を付託することを規定する場合に於ては本規程の當事國間に於ける事項として國際司法裁判所に付託す

第三十八條 裁判所は其の付託されたる係争を國際法に従ひ裁判するものにして左の適用を爲す

- (イ) 係争國に依り明に認められたる規則を確立する一般又は特別の國際條約
  - (ロ) 法として認められたる一般慣行の證としての國際慣習
  - (ハ) 文明國により認められたる法の一般原則
  - (ニ) 法則決定の補助手段としての裁判上の判決及諸國の最優秀の公法學者の學說但し第五十九條の規定はこれを留保す
- 本規定は當事國の合意あるときは裁判所か衡平と善とに基き裁判をなすの權限を害することなし

第三章 手續

第三十九條 裁判所の公用語は佛蘭西語及英吉利語とす事件か佛蘭西語を以て行はるることに當事國が同意したるときは判決は佛蘭西語を以て之を爲すへし事件か英吉利語を以て行はるることに當事國が同意したるときは判決は英吉利語を以て之を爲すへし

何れの言語を使用するかに付合意なきときは各當事國は其の選擇する言語を争訟に於て使用するを得、裁判所の裁判は佛蘭西語及英吉利語を以て之を爲すへし此の場合に於ては裁判所は同時に右兩正文中何れを以て有權のものとして爲すへきかを決定すへし

裁判所は何れかの當事國の請求に依り佛蘭西語又は英吉利語以外の言語の使用を許可することを得

第四十條 裁判所に對する事件の提起は場合に依り或は特別の合意の通告を以て或は書面にしたる請求に依り裁判所書記に宛て之を爲す何れの場合に於ても紛争の目的及係争當事國は之を表すすることを要す

裁判所書記は直ちに右請求を一切の利害關係者に通知すへし

裁判所書記は又事務總長を経て聯合國に及び裁判所に於て訴訟することを許されたる國に通告すへし

(譯註、本條各項は電文最も遺漏多く現行常設國際司法裁判所規程第四十條により補充せり)

第四十一條 裁判所は事情により必要と認むるときは各當事國の夫々の權利を保全する爲執るべき假措置を指示するの權能を有す

終結判決あるまで示されたる措置の通告は直に當事國及安全保障理事會に之を爲すへし

第四十二條 當事國は代理人に依り代表せらるへし

當事國は裁判所に於て輔佐人又は辯護人の幫助を受くることを得

裁判所に於ける當事國の代理人輔佐人及辯護人はその義務を履行するための獨立に必要な特權及免除を有す

第四十三條 手續は書面及口頭の二部分より成る書面手續は申述書答辯書及必要あるときは抗辯書並援用の一切の文書及書類を裁判官及當事國に送達することより成る

右の送達は裁判所の定むる順序及時期内において裁判書記を経てこれを爲す

當事國より提出したる一切の書類の認證したる謄本は地方當事國にこれを送達すべし

口頭手續は證人鑑定人代理人輔佐人及辯護人に付裁判所の爲す取取り成る

第四十四條 代理人、輔佐人及辯護人以外の者への一切の通告を爲すには裁判所は其の通告の爲さるべき地の國の政府に直接申出つへし

右の規定は實地に就き證據を蒐集する爲手續を行ふべき一切の場合に付之を適用す

第四十五條 辯論は裁判所長又は其の指揮すること能はさるときは裁判所次長の統制の下に在るべく其の何れも指揮すること能はさるときは出席せる古參の裁判官指揮すへし

第四十六條 裁判所に於ける辯論は之を公開す但し裁判所が別段の決定を爲したるとき又は公開せられざるべき旨を兩當事國が請求したるときは此の限に有らす

第四十七條 辯論毎に調書を作成し裁判所書記及裁判所長之に署名すへし

右調書を以て唯一の公正の記録とす

第四十八條 裁判所は事件の進行に付命令を爲し各當事國が辯述を完結すべき方式及時期を定め且證據調に關する一切の措置を執る

第四十九條 裁判所は辯論の開始前と雖一切の書類を提出し又は一切の説明を爲すべきことを代理人に要求することを得拒絶ありたるときは其の旨を記録に留むへし

第五十條 裁判所は取調を行ふこと又は鑑定を爲すことを何時にても一切の個人、團體、公廳、委員會又は其の他の機關に其の選擇する所に依り囑託することを得

第五十一條 辯論中には關係ある一切の質問は證人及鑑定人に對し第三十條に掲ぐる手續規則に於て裁判所定むる條件に依り爲さるへし

第五十二條 裁判所は證據及證言を之か爲定められたる時期内に受理したる後は一方當事國が提出せむと欲する新なる一切の人證又は書證を他方當事國の同意あるに非されば受理することを拒むことを得

第五十三條 當事國の一方が出延せず又は其の事件を防禦することを爲さざる場合に於ては當事國の他方は自己の請求に有利なる裁判を爲すべきことを裁判所に要求することを得

裁判所は右の裁判を爲すに先ち其の第三十六條及第三十七條に従ひ管轄を有するのみならず請求が事實上及法律上充分根據あることを認むることを要す

第五十四條 裁判所の指揮の下に代理人辯護人及輔佐人が事件の主張を完了したるときは裁判所長は辯論の終結を言渡すへし  
裁判所は判決を議する爲退くへし

第五十五條 一切の問題の決定は辯論に出席したる裁判官の多數決を以て之を爲す  
可否同數なるときは裁判所長又は之に代るべきものは決定投票權を有す

第五十六條 判決には其の基礎たる理由を掲ぐへし

判決には裁判に參與したる裁判官の氏名を掲ぐへし

第五十七條 判決が其の全部又は一部に付裁判官の全員一致の意見を表せざる時は意見を異にする裁判官は個別の意見を表示するの權利を有す

第五十八條 判決には裁判所長及裁判所書記これに署名す判決は代理人に對し正當の通告を爲し公開廷においてこれを朗讀す

第五十九條 裁判所の裁判は當事國間において及其の特定の事件についての外は拘束力を有せず

第六十條 判決は終結とし上訴せしめず判決の意義または範圍につき争ある場合には裁判所は當事國の要求に依りこれを解釋す

第六十一條 判決の再審の請求は決定的要素たるべき性質を有する事實にして判決ありたる際裁判所及再審請求當事國に知られざりしもの發見を理由にする場合に限りこれを爲すことを得但しこれを知らざりしことか過失に因らざりし場合に限る

再審の手續は新事實の存在を確認し右新事實か事件を再審に付すべき性質を有するものなることを認めかつその請求かこの理由に依り許すべきものなることを宣言する裁判所の判決を以てこれを開始す

裁判所は再審における手續を許すに先ち判決の條項に豫め準據すべきことを命ずることを得

再審の請求は新事實の發見の時より遅くとも六月以内にこれを爲すことを要す  
判決の日より十年を経過したる後においては再審の請求は一切これを爲すことを得ず

第六十二條 事件の裁判により影響せらるることあるべき法律的性質の利害關係を有すと認むる國は第三當事國として參加するを許可せらるることの請求を裁判所に對し爲すことを得  
裁判所は右請求に付決定を爲す

第六十三條 事件に關係する國以外の國か當事國たる條約の解釋か問題たる場合に於ては裁判書記は直に一切の此等の國に通告すへし  
斯く通告を受けたる一切の國は手續に参加するの權利を有す尤も右權利を行使したる場合には判決に依り與へられたる解釋は該國をも均しく拘束す

第六十四條 裁判所か別段の決定を爲すに非されは各當事國は各自の費用を負擔す

#### 第四章 勸告的意見

第六十五條 裁判所は聯合國憲章により又は聯合國憲章に従ひ當該請求を爲すべきことを認められたる團體の請求により一切の法律的問題に對して勸告的意見を下さることを得

裁判所の勸告的意見を求むる問題は裁判所の意見を求むる問題を明確に記述し且つ問題を明らかにしむることを得る一切の書類を添附せる請求書を以て裁判所に提出せらるへし

第六十六條 裁判所書記は勸告的意見の請求を裁判所に於て訴訟することを許さるる諸國に直に通告すへし  
裁判所書記は又裁判所に於て訴訟することを許さるる一切の國及び一切の國際機關にして問題に關する資料を提供し得へしと裁判所又は其の開廷中に非ざるときは裁判所長に認められたるものに對し特別且つ直接の通知を以て裁判所か裁判所長に依り定めらるる期間内に陳述書を受理し又は特に開かるる公開廷に於て口頭陳述を聴取すべき旨を通告すへし

前記裁判所に於て訴訟することを許さるる國か本條第二項に掲げられたる特別の通知を受領せざりし場合は斯る國か陳述書を提出し又は聴取せらるるの希望を表明するときは裁判所之に決定すへし

陳述書又は口頭陳述書又は双方を提出したる國及機關は裁判所又は裁判所開廷中に非ざるときは裁判所長か各個の事件に付決定すべき形式範圍及期間に於て他の國又は機關に依り爲されたる陳述に關し意見を述ふることを許さるへし之か爲裁判所書記は右陳述書を同様の陳述書を提出したる國及機關に適當なる時期に送付すへし(第六十七條 裁判所は聯合國事務總長並に直接關係ある國及國際機關の代表者に豫告したる後公開廷に於て勸告的意見を發表すへし)

(譯註、第六十七條は電文全然脱落し居り次條並に現行常設國際司法裁判所規程第六十七條に鑑み上記の如く補追せるも唯參考に供するのみ)第六十八條 勸告に關する職能の執行に付ては尙裁判所は本規程の規定にして係争事件に適用せらるるものを其の適用し得と認むる範圍内に於て準用すへし

### 第五章 修 正

第六十九條 本規程の修正は聯合國憲章により同憲章の修正につき規定されたと同一の手續により行はるへし但し總會か安全保障理事會の勸告に基き本規程の當事國なるも聯合國に非ざる國の參加に關して採擇すべき規定に従ふことを要す

第七十條 裁判所は第六十九條の規定に適合する考慮のため本規程に對して必要とせらるるか如き修正を事務總長に對する書面通達により提議する權限を有すへし

〔訂正〕七月九日の本通信に於て譯出せる新國際司法裁判所規程(上)中、第十三條は電文に遺漏あり正確を期し難きも前後の關係上次の如く修正す

第十三條 裁判所の裁判官の任期は九年とし再選せらるることを得但し第一回選舉により選舉せられたる裁判官中五人の裁判官の任期は第二回

選舉により終了し五人の裁判官の任期は滿三年にて終了し他の五人の裁判官は滿六年にて終了す

### 新憲章と米國議會

「ニューヨーク・タイムズ」紙  
ワシントン特派員七月十六日發

上院外交委員會は新國際安全保障機構案審議の結果を本日上院に報告し、上院の同案批准を勸告した

報告は新國際安全保障組織が叛逆國にたいし米軍を使用しようとする場合、その都度可否を決定する權限を米國議會に與へるのは、常に桑港憲章の精神に背馳するばかりでなく、米國憲法の違反でもある旨を率直に述べてゐる、つまり報告は、米國が新國際機構參加を有名無實にせぬため「あらゆる措置」を講ずる用意がない限り、單に形式的に新憲章を批准するだけでは大して意味がないといふ點を強調するのである

外交委員會が以上のやうな見解を報告中で發表したのは新國際機構が米國に割當てられた兵力を使用する際米國代表に勝手に投票させず、一々議會に伺ひを立てさせようとする議論が行はれてゐるので、これに答へたものであらう、更にこれらの見解には次のやうな意味が籠つてゐると考へられる、政府は新國際機構に提供する一定數の米軍の使用を一定地域、例へば西半球に限定することには反對であり、世界いかなるところにしろ米國權益擁護のために米軍を出動させる必要が生じた時には、安全保障理事會の米國代表が大統領と國務長官だけの權限に基いて投票を行へるやうにすることを、頑強に主張するであらう、報告は次のやうに述べてゐる

本委員會は、安全保障理事會に提供された米軍の使用に關して、議會が個々の場合につき決定を下した後でなければ承認を與へられぬといふが如き、新憲章に對する留保乃至議會による制限は、新憲章の最重要條項の一つの精神に明白に違反すると確信する

報告によれば新國際憲章の根本目的の一つは、將來侵略國となる可能性のある國による平和の攪亂を阻止するに足る兵力を、常時安全保障委員會

の手許に置くことである、従つて議會が個々の場合について裁斷を下すまで米軍の使用を差控へるなどといふ留保條件は「新憲章の性格そのもの」に變更を加へるに等しく、新憲章に調印した他の四十九箇國と今一度交渉し直す必要が起るといふのである

しかし、報告は二つの重要な問題に對して回答を與へてゐない、第一の問題はかうである、安全保障理事會米國代表の權限は單なる法案によつて規定し得るか、或ひは條約の形を採らねばならぬか、前者ならば上下兩院とも過半数の賛成があれば成立するが、後者となると上院において出席し且つ投票權を行使する議員の三分の二の賛成が必要である

第二の問題は新國際司法裁判所——その規程は新國際憲章の附屬をなしてゐる——の義務的管轄を容認するか否かである

六月二十三日上院に上程審議される豫定の條約案は、新國際司法裁判所の義務的管轄を容認或ひは拒否する選擇の自由を米國に與へてゐる、しかし義務的管轄條項容認の提案が政府の支持の下に來週中に上院に提出される豫定である

話はまた前へ戻るが、新憲章に關し上院で論議の中心となつた點、すなはち米國は米軍使用の時期については自國議會に決定權を與へる權利ありやの問題にたいし、報告は更につぎのやうに述べてゐる

「これら（各國割當）兵力が安全保障理事會の命令により執る豫防乃至決定執行の行爲は、戰爭行爲ではなく、平和維持乃至戰爭防止を目的とする國際行爲に過ぎない、従つて新憲章の條項は議會の獨占する宣戰の權利を侵害はしない、本委員會は前述の如き（米軍使用の時期の決定權を議會に獨占せしめるが如き）留保乃至議會によるその他の制限は米國憲法の精神にも違反すると考へる、何故ならば、米國憲法の下において、大統領は議會より特別の承認を受けることなく武力を行使する權利と義務を、多年にわたり享有して來たからである」

以上の見解は上院において極めて廣く支持されてゐるので、米軍出動の決定權を新機構の米國代

表に與へるのは戰爭行爲であり憲法違反だとしてゐた共和黨議員バツシフィールドも、遂にこの點に關する留保の提案を斷念したやうである、同議員は米國代表にかかる權限を與へるのは憲法に反するとの意見を變へたわけではないが、自己の見解が上院で殆ど支持者のないことを認め、提案を抛棄したのである

だが、これはこの問題に關する論争の終つたことを意味しない、論議の中心は新憲章批准の條約案を離れて、米國が安全保障理事會に提供する兵力と施設の内容を決定する條約案、或ひは安全保障理事會米國代表の權限を決定する法律案の審議に際し政府が果して主張を貫徹し得るかといふ問題に移らうとしてゐる

更に又大統領が議會の承認なしで軍隊を出動させる權限を行使した過去の前例に含まれてゐないやうな情勢が起つた場合、それでも尙米國代表は安全保障理事會において米軍使用承認の投票を行ふ自由があるかの問題についても、論争は解決されてゐない

政府派議員一般の傾向は、軍隊の出動は常に大統領の權限に基いて行はれて來たのであるから、大統領が安全保障理事會の米國代表を通じてこの權限を行使して一向差支ないとの見解が有力である、しかし、政府支持の議員の中でも一部の者は過去において大統領が軍隊を出動させたのは米國人の生命財産に直接脅威が加へられた場合に限られて居り桑港憲章が要求するやうに侵略行爲に出る可能性のある國家に對する豫防措置として軍隊を出動させた前例は殆どないことを指摘してゐる

### 米國の輕歩兵砲

（チニューリツヒ二十二日發）「トリビューン・ド・ジュネーヴ」紙ワシントン電によれば米國陸軍は歐洲戰で効果を收めた二種の新歩兵砲を使用してゐるといはれる、即ちその二種とは次の通りだ

- 一、歩兵一人の立射または三脚砲架の助けを借りて使用する五七耗加農砲、重量は二十五瓦で、射程三千二百米、砲彈は一・五瓦だ
- 二、重量五十五瓦、射程六千米、砲彈七瓦の歩兵砲

以上二種は普通の彈藥を使用する點でバズーカ砲（携帶ロケット砲）とは根本的に異り、特殊の砲尾により反動を緩和するやうになつてゐる



英國の勞働黨が今度の總選舉で壓倒的勝利を収めたのは、専ら新經濟政策を待望する英國輿論の反映に他ならない、チャーチル前首相の放送演説がひどく不出來だつたことも、保守黨の選舉委員長ビーヴァブルック卿の遣り口が拙かつたことも偶發的な事件に過ぎず、要するに保守黨が歐洲戰爭で疲弊した英國を救済する具體的政策を持つてゐなかつたといふ實體的な事實の現れである



しよう

ドイツ政策についてはサー・アーネスト・ベヴィンは保守黨以上に經濟復興の必要を痛感し「ドイツの廢墟を經濟的貧民窟化する結果、歐洲各國民の生活標準が悉く低下する」といふ意見だ、同時に英軍占領地帯におけるドイツ勞働組合の結成民主主義政黨の組織については、從來の彈壓政策を覆へしてむしろ支援を與へることとならう  
問題はソヴェト聯邦との關係だ、モスクワのロイター特派員によれば、クレムリンは勞働黨内閣のもとに英國が歐洲におけるニューディールを斷行することを期待してゐるといふが、公式的に考へて英ソ兩國の關係が一段と緊密化すると見るのが至當だらう

スイス、日本利益を代表  
(チューリッヒ二十七日發)ベルン來電に去る四月十二日スペインが對日斷交と同時に日本の利益代表國たるを拒絶したため、日本政府はスイス政府に對し、日本利益の代表方を要請してゐたが、スイス政府は二十六日、日本政府に對し、同國は今後米國、中南米八ヶ國及びスペインにおける日本の利益を代表することを承諾する旨正式に通告して來た

【目次】

ボツダム會談極秘裡に續行……………二一四二  
米上院、國際憲章可決……………〃  
グルー、ニミッツの政治顧問か……………〃  
「獨裁者」マツカーサーを糾弾……………〃  
希臘内閣總辭職……………二一四三  
守島公使歸任……………〃  
ソ聯、獨艦隊の山分けを要求……………〃  
ソ聯、抑留者の歸國交渉……………〃  
ペタン公判第五日目……………〃  
總選舉最終結果……………二一四四  
チャーチル憤慨……………〃  
外交政策に變化なし……………〃  
モスクワ語らず……………〃  
米政界失望……………二一四五  
印度、勞働黨内閣を歓迎……………〃  
印度省を廢止せん……………〃  
印度社會保險計畫……………〃  
【特輯】  
フランス國家改造案(下)……………二一四六  
コロンタイ女史引退

(モスクワ二十五日發)ソヴェト政府はストックホルム駐劄ソ聯公使コロンタイ女史が病氣のため辭職、後任にはイリヤ・セルゲーヴィッチ・チェルニシエフ氏が任命された旨發表した、コロンタイ女史は本年七十三歳、一九二三年にノルウェー公使、一九二六年にメキシコ公使、一九二七年に再びノルウェー公使となり一九三七年以來スエーデン公使であつた

## ポツダム會談極秘裡に續行

(ストツクホルム二十九日發)英國首相アトリーが外相サー・アーネスト・ベヴィンを同道ポツダムに乗込んだ結果、三頭會談は二十八日夜から續開され、二十九日午後には「會談は二十九日に繼續され満足な進捗を示した」旨の發表があつたが會談の経過は一切極秘に付され、ロイター特派員の如き

軍機の保護に關係のない事項についても、從來極秘に付されてゐたに對し、新首相と外相とが如何なる見解を持つてゐるかは分らないが、今日の經驗に徴すれば労働黨内閣が出来ても、英國代表間の秘密主義に變りなく英國筋からは如何なる情報も出ず首相等の動靜さへも分らないと嘆聲を洩してゐる、但し三頭會談が既に十二回に及んでゐる事は、ロイター特派員の確認するところで同時に同特派員は次の通り報道してゐる三頭會談が終りに近付いたことは確だ、公式の報道は全然ないが、ポツダムにおける各方面の意向によれば、會談は三十一日乃至八月一日に終りを告げよう、會談の終了に當り發表される重要な聲明の最終的起草も既に始つたらしい尤もロイター特派員も東亞問題が少くとも表面き三頭會談の主題となり得ないことを認め

ソヴェト聯邦が日本と戦争状態にない以上、米英兩國と重慶政權との共同宣言は三頭會談と先づ關係がない

と述べてゐる、従つて三頭會談の聲明ではドイツ占領方式、賠償額、歐洲の國境問題等々が取上げられるのではないかと見られるが、占領地區の統治方式について「ベルリナー・ツァイツング」紙の主筆ルドルフ・ヘルンシュタートは、二十九日の紙上で英軍の占領地帯において、反ファシヨ民主主義政黨を容認すべきことを要求してゐる、同紙は赤軍の息がかかつてゐると見られるだけにロイター特派員も頻りに氣に病み、「赤軍の指導下にあるドイツ新聞が初めて内政以外の問題について、所見を開陳することを許された」と厭味を並べてゐる

トルーマン大統領の動靜については共同宣言の

發表前には急遽ワシントンに歸任するだらうとの觀測が有力であつたが、現在ではトルーマンは歐洲の國境問題その他を處理し度い肚で今後二、三週間ポツダムに滞在する用意があるとか、ストツクホルム、モスクワ乃至ワルシャワに赴くだらうといふ觀測が流布されるに至つた、ただし確報はない

## 米上院、國際憲章可決

(リスボン二十九日發)ワシントン來電ニ米國下院本會議は過去六日間にわたり國際憲章案に對する討議を續けてゐたが、二十八日表決の結果八十九票對二票をもつてこれを可決した、反對投票を行つた兩議員はいづれも共和黨議員で、ノース・ダコタ州選出のウイリアム・ランガー及びミネソタ州選出のヘンリック・シツプステッドだつたがカリフォルニア州選出の共和黨議員ハイラム・ジョンソンは病氣のため表決に参加せずただ反對の通告のみを行つた

## グルー、ニミッツの政治顧問か

(リスボン二十七日發)ニューヨーク來電ニ米國週間誌「ニューズ・ウィーク」は「三頭會談終了後現國務次官がニミッツの政治顧問に轉出するであらう」と傳へてゐる

## 「獨裁者」マツカーサーを糾彈

(リスボン二十八日發)ニューヨーク來電ニ米國の左翼傾向誌「ネーション」の編輯長フレッド・カーチウエーは七月號の同誌に長論文を掲げその中で西南太平洋司令官マツカーサーを「比島の獨裁者」と斷じ、激越な文調で同人を糾彈してゐる要旨つぎの通り

「マツカーサーは比島の獨裁者で、左翼傾分子を投獄したり政治的運動の實相に就いては嚴重な檢閲を實施してゐる、今日程比島における情勢が外部に傳はらない時代は嘗てなかつた、比島はマツカーサー個人の勢力範圍だ、我々は比島人が米軍に協力してゐるといふ様な話は嫌といふ程聞かさしか、多數の比島人が無慘な目に遭つて「消滅」してゐるといふ話は一度も耳にしたことがない、マツカーサーは多數の左翼傾分子を投獄してをり比島における高壓的な軍政の繼續は比島人の間の憤激を昂めてゐる」

【歐洲】

希臘內閣總辭職

(リスボン二十八日發) アテネ來電ニギリシヤ首相ペトロス・ブルガリスは二十八日夜閣員の辭表を取り纏めて攝政ダマスキノス師に提出した、ブルガリスは總辭職の理由として「攝政に自由行動を採らしめるため」と言明したが、チャーチルの退陣にかはつて労働黨内閣が出現した結果、英國のギリシヤ政策が従來の右翼支持から左翼支持に移行するのに對應するためと解される

ブルガリスは本年四月八日プラスチラスの後に襲つて政權を掌握、ギリシヤ王政派を含む右翼の支持を受けてゐたが、E.A.M.その他の左翼はブルガリス政府を「王政的ファシスト政權樹立を目的とする反動政權」として攻撃してゐた、また今回の總辭職は去る二十三日の外相ジョン・ソフィアノプロスの辭職と一聯の關係があるものとみられ、爾來左翼は民主主義的聯立内閣の結成を目指して猛烈な運動の火蓋を切り、アテネ警察は二十五日に二十九日まで一切の政治的示威運動の禁止令を發して警戒に努めてゐたもので、ブルガリス内閣の瓦解は英國における労働黨の勝利と呼應するギリシヤ左傾化の第一歩と見做されてゐる

守島公使歸任

(モスクワ二十五日發延着) 守島モスクワ駐劄帝國公使は二十五日午後モスクワに歸着した

ソ聯獨艦隊の山分を要求

(リスボン二十八日發) 「ニューヨーク・タイムズ」紙のワシントン特電によれば、ソヴェト政府は現在米英兩國軍の手中にあるドイツ艦艇の引渡しを要求して、兩國政府に再三申入れを行つてゐるといはれる、ソ聯がどれだけの艦艇を要求してゐるかは明かにされてゐないが、バルト海の空軍基地その他戦略據點の防衛に必要とされる艦艇を要求してゐる様子で、イタリア艦艇を山分けした前例もあり、米英兩國政府としてもソ聯の要求に應ずるほかないとみられてゐる

ソ聯抑留者の歸國交渉

(ストツクホルム二十七日發) ソ聯政府は歐洲戰中ドイツからスイスに入國してスイス政府により抑留されたソ聯人約一萬名を本國に歸還させるため、さきにヴィコレフ少將を首班とする交渉團を結成したが、一行は二十六日ベルンに到着した、スイス側との交渉は米英佛三國側代表列席のもとに二十八日から開始される筈である

ペタン公判第五日目

(リスボン二十七日發) パリ來電ニペタン公判は二十七日、第五日目に入り、曾つての人民戰線内閣首相レオン・ブルート、一九四〇年レイノイ内閣の外務省官房總長シャルル・ルー兩名の證言があつたが要旨は左の通り

ブルーム・ヴィシー政府には二つの腐敗要素があつた、ドリオー一派に對する恐怖とドイツに對する恐怖である、ペタンは國民の信頼を裏切つたものである、レイノイ内閣がパリを防衛しなかつたのはこの世界の驚異たる都市を破壊から救ふためであつた、ペタンは余に終身刑を宣言したが何等辯護の餘地すら與へない一方的な裁判であつた

ルーニ英佛合邦案は閣内に數人の反對者があつて拒絶に決したものである、ヒトラーは北阿の鐵道及び基地の引渡しを要求して來たが、フランス政府はこれを拒絶した、以後ドイツ側からのこれに對する強要はなかつた、獨佛休戰協定には秘密條項は存在してゐなかつた、英國海軍のダカール攻撃事件はラヴァルの陰謀に油をそそいだものである、英佛軍には正式國交斷絶後もマドリードを通じて連絡が保たれてゐた、余はモントワールのヒトラー・ペタン會見後辭任したが、それはラヴァルに反對だつたからでなく、彼の政策が呑み込めなかつたからである

この日ペタン元帥は著しく疲勞のたいで裁判の經過には殆ど無關心であるかの如く、屢々頭を胸に深く埋めては思ひ出したやうにうつろな眼を上げるのみであつた

【英 帝 國】

總選舉最終結果

(ストックホルム二十七日發) ロンドン來電ニ英國總選舉の最終結果次の通り

△労働黨

議席 三九〇 一一、九六二、〇〇〇票

△保守黨

議席 一九五 九、〇二八、〇〇〇票

△自由國民黨

議席 一四 七七六、〇〇〇票

△自由黨

議席 一一 二、二八〇、〇〇〇票

△獨立労働黨

議席 三 四七、〇〇〇票

△共產黨

議席 二 一〇二、〇〇〇票

△聯邦黨

議席 一 一一〇、〇〇〇票

△無所屬

議席 一〇 五四五、〇〇〇票

その他十三區の結果は後に追加發表される豫定である

チャーチル憤慨

(ストックホルム二十七日發) チャーチルは自己の聲望からいつても保守黨の勝利に絶対の自信を持ち、特に海外派遣將兵の投票に信頼を置いてゐたといはれ、開票日の數日前にも「デーリー・メール」紙政治記者に對して

兵士諸君が余を必要としないならば、余はおとなしく引き退らう

と語つて自信のほどを披瀝したと傳へられる、しかるにモントゴメリー司令部からの「デーリー・ヘラルド」紙記者の報道によれば、英軍兵士達は労働黨勝利の報を熱狂的に歓迎、或る兵士は「われわれの八〇%は労働黨に投票した」と語つたといはれる、チャーチルも海外將兵間における不人氣を頗る意外ともし不満ともしてゐる様子で、一切の政治生活から引退、第二次世界大戦史の執筆に餘生を捧げる意向を洩したといふ報道もあるがニューヨークからのロイター電報によれば、米國

の某大出版會社は早くも第二の「大戦回顧録」の版權を獲得するため百萬弗の提供を申入れたと傳へられる

外交政策に變化なし

(リスボン二十七日發) 労働黨内閣の出現によつて英國の外交政策に根本的變化が齎されるといふのが聯合國及び中立國を通ずる觀測だが、UP記者シャックフォードは以上の觀測に疑問符をおいて二十七日次の通り報じてゐる

「英國における社會主義の勝利に伴ひ、米國政界の消息筋は外交政策に急激な變化が齎されると觀測してゐる、その典型的なものはフランコ政權に對する英國の新たな態度だ、たとへばホルド・ラスキーは二十六日夜「われわれは最後にはスペインの同志達を正しく扱ふ立場に移らう」と言明したが、米國をも含めて英國の労働黨、ソ聯の左翼はフランコに對する米英兩國政府の御氣嫌取り政策を猛烈に攻撃してきた、従つてもしも英國がフランコ政權と斷交するならば、米國だけがマドリドのファシスト政權を承認し續けるといふ奇妙な立場に追ひやられよう、しかしながら英國が外交政策に大きな轉換を齎し、二百年に亘つて英國の外交政策を決定して來た保守的な帝國主義的見解から絶縁するためには幾多の障壁がある、たとへば英國はギリシヤにおいて共產主義を彈壓し銃劍の保護の下にファシスト國家を樹立せしめてゐるが、消息筋の一部ではギリシヤに對する英國の支配に代るものは共產主義ソ聯の支配だといふ見解が壓倒的だ、もしもこの見解が正しいとすれば、労働黨政府といへどもギリシヤから手を引くことは出来まい、アルゼンチンのファシスト政府は英國労働黨の攻撃的であつたが、アルゼンチンには英國が巨額の投資を行つてゐるから、アトリー政府も掌を返したやうな政策に出ることは不可能だ」

モスクワ語らざ

(ストックホルム二十七日發) モスクワ來電ニソ聯各紙は二十七日の紙上に一齊に英國總選舉の結果を發表してゐるが、事實の報道に重點を置き一切の論評を控へてゐる

## 米政界失望

(リスボン二十六日發) 英國總選舉の結果チャーチルが敗北したことは米國政界に大きな衝動を與へ、いづれも深刻な失望の念をもつて労働黨内閣出現後における政策の變化を氣遣つてゐるが、議會方面の反響を傳へれば次の通り

△上院民主黨議員 ウォルター・ジョージ(上院外交委員長)

労働黨内閣の出現は國際關係に相當の不確實さを導入するであらう、しかしながら總選舉の結果が對日戰の遂行に影響するやうなことがあつてはならない

△上院共和黨議員 ハロルド・バートン

極めて興味ある趨勢だが、對日戰乃至は戦後の復興期において米英兩國の協力關係を弱めはしなないと考へる

△上院民主黨議員 リスター・ヒル

英國總選舉の結果は米國が再轉換期において失業の脅威を一掃するやうな力をつくさねばならぬといふことを示唆するものだ

△下院民主黨議員 ジョン・ランキン

チャーチルの敗北は英國の共產主義的傾向を示すものだ余は英國總選舉の結果に痛く失望した他方米國の労働界は英國における労働黨の勝利を大いに歓迎、CIO首脳も労働總同盟會長ウイリアム・グリーンも英國労働運動の勝利として謳歌してゐる

## 印度、労働黨内閣を歓迎

(リスボン二十七日發) 印度の輿論は労働黨の勝利が英國の印度政策を好轉させるとみてアトレー内閣の登場を歓迎してゐるが、ニューヨーク來電によれば在米印度聯盟會長シンは二十七日つぎの通り言明したといはれる

チャーチルの敗北と労働黨の勝利は全世界の帝國主義の敵手を大いに元氣付けるものだ、印度民衆及び印度の友はいまや印度を獨立せしめるといふ労働黨の誓約が實現されることを希望してゐる、サー・スタフォード・クリップスは印度相に任命されるものと思はれるが、新労働黨

内閣が印度民衆の信頼を得ようと望むならば、一刻も早く行動に移らねばならない  
また米國に滞在中のパンデイツト女史も次の見解を表明した

労働黨の勝利は英國民衆の覺醒を意味すると同時に、英國内外政策を根本的に修正するの必要を自覺したことを示すものです、新政府の直面する問題中最も困難なのは植民地問題ですが、この問題に關する態度を明確に決定しない限り内閣の更迭は無意味です

ワシントン來電によれば印度自由國民委員長ホサイン博士は労働黨の勝利を謳歌して次の通り述べたといはれる

チャーチルの敗北は米國民衆による保守主義の清算を意味する、彼等は歴史始つて以來初めて帝國主義的支配階級を自ら解放した、チャーチルは最も驕々しい帝國主義者であり、常にレーリー主義の實踐に努めた結果ウオーターロに直面したのだ、この制期的事件が論理的表現を見出すとすれば、それは印度の解放でなければならぬ

## 印度省を廢止せん

(ストックホルム二十八日發) 労働黨の領袖サー・アーネスト・ベヴィンは既にブラツクプールにおける黨大會で労働黨が政權を掌握する場合、印度省を自治領省に統合する旨言明したが、「ニューズ・クロニクル」紙の政治記者スタンレー・ホブリンは二十七日の紙上で「アトレー首相は印度省を廢止する方針で、印度は自治領省の管轄とならう」と報道してゐる、以上の變更が實施される場合現實に英國の印度政策が如何なる進展を遂げるかは依然疑問だが、アトレー首相としては右施策により印度に自治領の地位を賦與するかの印象を與へ印度人の好意を買取る意圖と解される

## 印度社會保險計畫

(リスボン二十七日發) ニューデリー來電に印度政府は印度の社會保險計畫を樹立するため英國の「社會保險案」作成者として有名なウイリアム・ビヴァリツジを印度に招聘するに決定した



## △政府案に先づ一矢

七月十九日の諮問會議國家改造委員會は政府の諮問案である一般投票案を十四票對八票で否決した。閣議では左翼分子まで一應賛成してゐたので政府にとつては寢耳に水だつた、委員會は相當に採めたらしく、政府案の反對論者の中には左翼の社會黨、共產黨ばかりでなく、右翼の方も加つてゐた。賛成したのはド・ゴールの個人的支持者のみだつたといはれるからには、政黨は左右こぞつて反對だといふことも云ひ得る、反對派の論據は一般投票は原則的に云つて、「個人權力の強化」への路をひらく惧れがあるといふのであるがこの際の個人權力とはド・ゴール自身の獨裁を意味すること勿論であり、ド・ゴールがフランスの一般民衆に有してゐる人氣が、選挙に反映して、フランス永遠の民主政治の基礎たるべき憲法が、權花一朝の夢の如きド・ゴールの個人の聲望によつて影響されては堪らないといふわけである、つまり彼等の主張は——新憲法の制定は衆愚を相手とせず、天下り式に規定した選挙方式で生み出された議會で行はう——最も民主的な憲法を最も民主的な方法で制定するのが、最も民主的であるといふ極めて非論理的な、よくいへば超論理的な主張である、これに對するド・ゴールの主張は民主的な憲法を制定するのに、全國民の一般投票に訴へるのは最も民主的ではないかといふ純理論である、この方が理論としては一貫してをり、フランス民衆に訴へる力も強い、反對派の主張は民衆は愚か者であるといふ、彼等が敢へて公言し得ない、彼等の日頃の主張とは逆の、政治の實際論から出發してゐる、少くとも一般受けはしない議論である、政府が敢然として反對論と戦ふ決意をしてゐると傳へられるのは、相手のこの弱點を突かるとするものである。

## △ド・ゴールの逆襲

ド・ゴールは二十一日ブレストで、この問題を、

取上げ憲法改正の是非を全國民直接の判斷に俟たうとする政府の決意には何等の變更のないことを強調し、制動機を有しない主權の全機能を具備した憲法議會の開設は悔ゆるに甲斐なき結果を生むだらうと、新憲法議會の機能制限説を主張して左翼の云ひ分に眞向から反撃を加へてゐる、ド・ゴールの考へ方では、新聞紙の論調、または諮問會議の大勢は自説に有利だとの判斷を持つてをり、委員會の少數「専門家」の主張はこの大勢の前には何等の力もないとたかをくくつてゐるらしいがド・ゴールをもつて第二のブーランジェ將軍と見做さうとする一部の見解は今、漸く眞劍にフランス有識層の間に勢力を擴大してゐる、ド・ゴールにブーランジェを氣取る氣持ちの有無は別として右翼には彼を擔いで、いま一度のブーランジェ事件を再演して見度い希望が絶対にないとはいへないだらう、もし、ド・ゴールのブレスト演説を聞いて見よう

「余は第四共和制の將來の憲法に、個人的にはかくかくの思想を組入れたいと考へてゐる等はこの際申述べ度くない、しかし、新憲法が行政、經濟、社會、フランス帝領の現在が要求する新條件を考慮に入れて、遠大な且つ廣汎な改革に資する態のものであり、同時に國家のながい運命の上から見て新憲法の適用によつて、最善の利益を享受し得るやうな保障を確保するものであつてはならない、一九四〇年以前われわれは憲法を有してゐた、われわれは欲すれば、それに復歸することも出来る、上、下兩院を選び、これが新憲法を起草することも出来る、事實、有力な、經驗多き人士の多數が、かかる解決案を主張してゐることを余は承知してゐる、しかし、余の意見では、この解決案は決して満足的ではない、われわれが決して忘却し去ることの出来ない或る種の出來事を考慮に入れるならばそして、一九四〇年以前に復歸することが國家の再建のために決して最善の方法とは思はれないことを思へば、この解決案は満足とは申し兼ねる、過去の制度に復歸しないと決まれば、國民はきたる十月選挙さるべき議會に憲法制定の權能をあたへねばならぬ、余はこの議會が新憲

法を起草する権能を付與されることを希望すると同時にまた、制動機のない、権限に制限のない、主権の全機能を具備した憲法議會は幾多嘆かたしい結果を生むだらうと考へる、錯誤について何等修正の可能性なく、その單獨の行動によつて意のままにあらゆる法律の制定あらゆる行爲が許されるといふことをわれわれはどうして容認し得るであらうか、あらゆる人、あらゆる物の運命がその意のままになるといふことは即ち、集團の、匿名の獨裁を意味し、ミシユレーの所謂あらゆるもの内の最悪なものであり、フランスには、その名に値する如何なる政府も存続が不可能になる危険を冒すことにならう」

「余の私見によれば、議會は可及的速かに新憲法を制定する業に従ふと同時に、権力の配分を承認し、かくて、その間に平衡を維持すべきであると考え、かくて憲法議會はその本分たる憲法起草の仕事に没頭することが出来ると共に、主なる立法事項についての決定権を保有することが出来るわけだ、議會によつて現實に選舉された首班を持つ政府は必然的に安定性を有する議會の権能を定め、これを國民の前に承認を得るために提出する役は、現在余が首班たる政府を除いてほかに責任を取るものが存しない、國民の意思表示を求め、措置がとられない限り現在の政府は何時までも存続しなくてはならないことになる、議會に與へらるべき權限次第では、國家が如何なる危険を冒す恐れがあるかも知れない事を十分知悉する人士の中には、現在の諸政黨、諸政派の指導者の間に協定を作り、それによつて將來の議會の運営方式を定めたらよからうと示唆するものもあるが、余は現在の状況にあつては政治家同志の間で協定を締結するにしても、それは誰の名によつて、如何にしてそれが爲し得るかを疑ふものである、かかる権力の行使方式について決定する権利を有するものは國民のみである、その故にこそ政府は憲法議會に制限された権能を與へるか、または全能の權力を與へて冒險に乗り出すかを決定するために、これを直接國民の選擇に委ねることをもつてその義務であると考へる

ンスの状態は前例のない過去五ヶ年の後に來つたものである、また一般投票に付せられる事項について國民の中には明確に理解し得ないものがあるだらうと心配する人間もある、余はフランス國民がその前に提出されてゐるこの問題を理解する能力がないとは信ずることが出来ない、政府が總選舉直前に國民の前に提出しようとしてゐる質問は次の如きものである、第一は選舉すべき議會は憲法制定議會たるや否やである、若しフランス國民の大多數がイエスであれば、この議會は新憲法の作製にとりかかることになる、若しノーであつたらならば以前の制度に復歸する、第二の質問は選舉された議會を憲法制定議會とするならば、諸君は新しい憲法が有効になる日までの、公權の運用を規定する政府提案を承認するや否やである」

#### △諮問會議の前哨戰

ここで又、一般投票の質問事項がド・ゴール自身によつて説明されたわけであるが、以上四つの電報が傳へる案でほぼ質問事項の正體は明白になつたやうだ、改めて追加説明をするまでもあるまい、ド・ゴールは、かくて、諮問會議の意向はとも角として直接國民と取引きをする決意のほどを示すに至つたが、諮問會議は文字通り諮問會議であり、ド・ゴールの方針は論理的には何等間違つてはゐないが、道徳的政治的には大いに異論があり得る、それは諮問會議が現在唯一の民意代表機關——假令合法性はないにしても——であることの儼たる事實である、國民諮問會議の意向がド・ゴール案に反對と決つた場合、政府としてはこれを無視する決意を有するのは結構であるが、實際問題として民論を指導しつゝあるのはこの諮問會議に列なる各政黨政派の首領分子である、國民の一部にはさなきだに、ド・ゴールであれ誰であれ獨裁政治は一日も早く解消したいといふ氣運が濃化してゐる、僅々七ヶ月をそここの話ではないかといふ論は彼等には問題ではない、もう十分獨裁にはたんのうしたといふのがその氣持ちだ、諮問會議無視はこの氣持ちに油をそそぎ、一般投票を當てにするド・ゴールの作戦に重大な喰違ひを來さないものでもない、七月末に豫定される諮問會議の本會議の論争が期待されるわけだ



## A 26 「インヴェエーダー」

「エアロ・ダイヂェスト」誌

五月 號

米陸軍航空隊は米國において最快速を誇る強力且つ頑丈な最新式爆撃機ダグラス A 26 「インヴェエーダー」を用ひ、太平洋戦に益々重要な役割を演じつつある、米陸軍航空隊は「インヴェエーダー」を軽爆並びに中型爆撃機の標準型と定めた、「インヴェエーダー」は既に歐洲戦でドイツ軍の補給物資集積場や戦車集團、集結中の軍隊、その他ドイツの船舶、飛行場、橋梁、列車、精油所等の撃破に素晴らしい成功を収めたと報ぜられてゐるが、太平洋戦線においてもこの爆撃機は徐々にダグラス A 20 「ハウオック」攻撃爆撃機やマーチン B 26 「マローダー」中型爆撃機等に代りつつある。

従來「インヴェエーダー」は専ら大陸における戦團に使用されてゐたが、對地攻撃や跳躍爆撃が歐洲戦の場合よりも一層重要な役目を持つ太平洋戦線ではこの「インヴェエーダー」が目標物の爆破に最適の軍用機であるとされてゐる。

### △双發機に凝結した要塞

現在「インヴェエーダー」搭乗員の訓練を行つてゐる米陸軍第一航空隊の第五十六戰鬥員訓練隊長オリヴァー代將は同機の性能について左の通り述べてゐる。

「インヴェエーダー」は分類上では輕爆撃機に屬するが、實際の性能は現在の凡ゆる輕爆並びに中型爆撃機を凌駕してゐる、即ち同機は他の輕爆や中型爆撃機よりも航續距離が長く、速力や爆彈の積載量も大だ、他の中型爆撃機や戰鬥機に比して火力も強大で、全く最優秀な輕爆であるばかりか双發戰鬥機にも通ずる點がある、「インヴェエーダー」は双發戰鬥機に見られるやうな從舵性と速力とを持ち、加ふるに強大な火力があつて宛ら双發機に凝結した一個の要塞だ。

「インヴェエーダー」は素晴らしく快速で、他の爆撃機の速力の二倍にも達する、中型爆撃機の爆

撃高度としては致命的とも言へる樹木すれすれの所にまで敵の頭上に舞ひ下り、敵戰鬥機が到底追ひ着けない程の快速で忽ち離脱するといふやうな藝當が出来るのはこの爆撃機ばかりである、余は「インヴェエーダー」を驅つて米陸軍の戰鬥機と模擬戦を行つたが戰鬥機の操縦士が報告したところによれば、「インヴェエーダー」が餘りにも快速であるため上空から「インヴェエーダー」に突込んでみてもすか喰はばかりだつたといふことだ。

### △優 秀 な 装 備

中型爆撃機として使用される場合、「インヴェエーダー」はその快速を利用して對空砲火の中が他の爆撃機よりも短時間の中に通過することが出来、従つて危険率も少い、また低空の對地攻撃機として使用される場合、前方に向ふ十門以上の砲による同機の恐るべき前方火力は十分に上砲火の大半を沈黙せしめるに足るのである、同機には二個の下部銃座があつてそれぞれ○・五吋機關銃二挺を備へ、B 29 の裝備と同様な遠隔發射調整裝置によつて兩銃座とも一名の射手が操作する、同機は目標上を時速三百哩で飛び過ぎることが出来、個々の發動機の性能は米陸軍航空隊中隨一で、他の爆撃の發動器等は遙か足下にも及ばない、從舵性は大抵の追撃機と同じ位良好で、爆彈を満載した時でさへ恐るべき上昇率を示す、「インヴェエーダー」は眞に追撃機の速力と從舵性とを兼ね備へた爆撃機である。

「インヴェエーダー」の火力に就いては同機が○・五吋機關銃のほか二十耗砲、三十七耗砲及び七十五耗砲を裝備するといふことで凡を察せられよう、これらの火砲が十挺以上の○・五吋機關銃を含め種々に組合されて使用されるのである。

搭乗員は通常の機首或ひは砲用手機首の何れかを用ひる場合に應じて二名または三名となる「インヴェエーダー」爆撃機の翼幅は七十呎で、断面が正方形をなす全長五〇・八呎の全金屬胴體を持ち、二千馬力のプラット・アンド・ウィットニー發動機二基を備へてゐる。